はじめに

こんにちは！『**ベーシックレベル世界史探究**』の講座を担当する山本です。

この講座では，「世界史探究」を学びます。すでに「**歴史総合**」を学習した皆さんは，次のステップとして「**探究**」を選択するのですが，とくに世界各地の歴史を**タテ（時間）とヨコ（地域）により広くより深く掘り下げる**のが「**世界史探究**」です。

世界史というと，世界の各地域について古代から現代までの歴史を学ぶわけですから，どうしても知識量が多く，「覚えてナンボ」と思われています。この講座の目的は，そんな世界史アレルギーを吹き飛ばすことにあります。そのための「カラクリ」が授業のところどころに仕掛けられています。映像授業では，これでもかっ！てくらいに「地図」「絵画」「スライドアニメーション」がちりばめられ，イメージしながらわかりやすく世界史を学ぶことができるでしょう。わかってくると勉強するのが楽しくなり，学習効果がどんどん高まります。知識の定着も進みます。

ぼくは予備校の講師になる前に，旅行会社のツアーコンダクターとして世界を飛び回りました。言語や文化が違うところを旅行するとき，その地の歴史を知っていると旅の喜びが何倍にも膨れあがると思いませんか。ぼくの最終目標は皆さんを世界各地に案内することですが，まずは授業で世界史の海原へ旅に出ようじゃありませんか。

受講するにあたって

①「いつ」「どこ」「なぜ」を常に気にかけてください。

世界史の内容がいまいちピンとこないなぁと感じる人は，自分が今どこにいるのかを見失っていることが多いようです。学習している内容が「いつのことなのか」「どの地域なのか」「なぜこうなったのか」ということに，少しだけ気を回してみましょう。世界史がグッとわかりやすくなりますよ。

②「世界史のセオリー」を修得しよう。

授業では，歴史の原理原則についてしつこくお伝えします。数学でいうところの定理みたいなものです。世界史のセオリーでモノゴトを俯瞰すると，地域が違ってもだいたい同じような事態が発生しています。まるで魔法にかかったかのように理解が進みますよ。

③予習と復習について

予習は必要ありません。復習は「１パートのテキスト」を見直して➡「確認問題」を解いてください。解けなかったら，授業を見直してみてくださいね。知識の定着にはアウトプットが必須です。確認問題を解くほか，授業で習ったことを誰かにかみくだいて話してみてもいいでしょう。

それでは，講義でお待ちしています！

山本直人

目次

＜前編＞

第1講　【古代編】世界の古代文明 …… 4

第2講　【古代編】西アジアと地中海世界の特質 …… 40

第3講　【古代編】南アジア・東南アジアと南北アメリカの特質 …… 76

第4講　【古代編】東アジア世界の特質 …… 100

第5講　【中世編】東アジア文化圏の形成 …… 124

第6講　【中世編】イスラーム世界の形成と発展 …… 154

第7講　【中世編】中世ヨーロッパの成立 …… 190

第8講　【中世編】中世ヨーロッパ世界の変容 …… 220

第9講　【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル …… 256

＜後編＞

第10講　【近世編】アジアの繁栄 …… 4

第11講　【近世編】近世のはじまり …… 40

第12講　【近世編】主権国家の形成 …… 58

第13講　【近代編】産業革命と大西洋革命 …… 94

第14講　【近代編】ウィーン体制 …… 130

第15講　【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編 …… 148

第16講　【近代編】ヨーロッパのアジア侵略 …… 184

第17講　【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗 …… 208

第18講　【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制 …… 244

第19講　【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦 …… 280

第20講　【現代編】冷戦の成立とその対立 …… 304

第21講　【現代編】冷戦の終結と現代世界 …… 340

第 1 講 【古代編】世界の古代文明
PART1 人類の出現と農耕のはじまり

Chapter1　人類の進化

目標
人類の分類について学ぼう。
人類が獲得していった文化について学ぼう。

1 猿人

① 700 万年前に最古の人類である**猿人**が〔　　　　　　　　　〕大陸で誕生
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕やサヘラントロプスなど
②人類とほかの動物とを区別する最大の特徴→〔　　　　　　　　　　　　〕
A　前足が両手となり，自由に道具を使いながら知能を発達させた
B　やがて**打製石器**（礫石器）を使用して狩猟・採集の生活をはじめる
③〔　　　　　　　　　　　〕のはじまり

2 原人

① 200 万年以上前に現れた**原人**がアフリカから世界各地に分散
ホモ＝ハビリスやホモ＝エレクトゥス
②インドネシア→ 150 万年前の〔　　　　　　　　　　　〕
③中国→ 70 万年前の〔　　　　　　　　　〕
※改良された打製石器であるハンドアックス（握斧）や〔　　　　〕を使用。言語能力もあったと考えられている。

3 旧人

① 60 万年前に現代人により近く進化した**旧人**が出現
②ヨーロッパに住んでいた〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕人が代表的
※毛皮を衣服として氷期に適応し，用途に応じて剥片石器を使用した。現代人と同じ脳容積を持ち，死者の**埋葬**，道具や身体への彩色の習慣を持つ。
→宗教意識や美意識など文化のめばえ

4　新人

① 20 万年前に現生人類（**ホモ = サピエンス**）に属する**新人**がアフリカに出現

→フランスの〔　　　　　　　　　　　　　　〕や中国の**周口店上洞人**

②進化した剥片石器，骨や角でつくった〔　　　　　　　〕→狩猟・採集・漁撈の技術向上

③**宗教的な儀礼の風習**

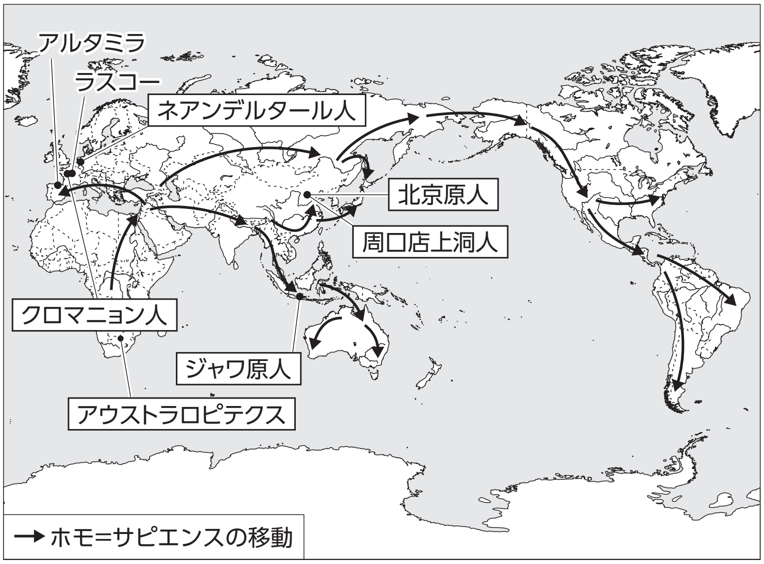
A　フランスの**ラスコー洞窟**やスペインの**アルタミラ洞窟**に描かれた

〔　　　　　　　　　〕

B　**女性裸像**（石のヴィーナス）

④ユーラシア大陸各地に進出し，3 万年前までには旧人と入れ替わる

→やがて一部はベーリング海峡を渡ってアメリカ大陸へ移動し，また一部は東南アジアを経てオセアニアにも広がり，ほぼ全世界に定住した



ホモ = サピエンスの移動図

まとめ　人類は猿人，原人，旧人，新人に分類される。
打製石器を用いた旧石器時代がはじまり，火や骨角器の使用により狩猟文化も発達していった。新人は宗教的風習も獲得していった。

Chapter2　農耕のはじまりと文明

目標
農耕・牧畜がどのようにはじまったか知ろう。
文明が生まれた経緯について学ぼう。

1　農耕・牧畜のはじまり

①約1万年前　氷期が終わり温暖化によって自然環境が変化

②約9000年前　**西アジア**で**農耕**（麦）・**牧畜**（羊，ヤギ，牛，豚）がはじまる

自然環境に食料を頼る〔　　　　〕経済から，農耕・牧畜による〔　　　　〕経済に移行

※平地や水に恵まれた土地の集落に住み，織物や土器（彩文土器）がつくられた。

※石斧・石臼・石鎌などの〔　　　　〕石器の使用→〔　　　　　〕時代のはじまり。

③雨水に頼り，肥料を使わない初期（乾地）農法が各地で成立

A　インダス川流域：麦・ナツメの栽培，羊・牛などの飼育

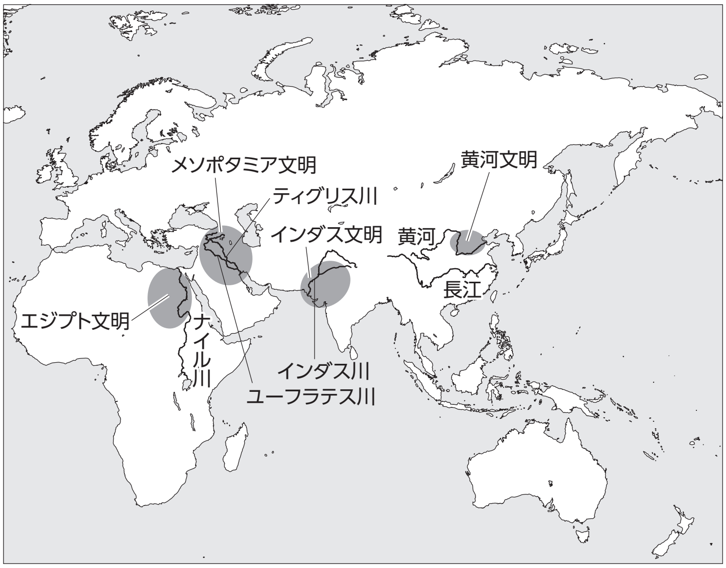
B　黄河流域：アワ・キビ，長江流域：米

C　中央アフリカ：シコクビエ，モロコシ

D　中央アメリカ：ジャガイモ・トウモロコシ

④農耕・牧畜により人口が飛躍的に増加→文明誕生の基礎

2　文明の誕生



古代文明がおこった位置

①メソポタミアなどの地域で，農耕に必要な水を人工的に供給する〔　　　　　　　　〕がはじまる

A　食糧増産による集落の人口増加によって分業が進む

B　共同作業の必要性による指導者の出現

C　余剰生産物の増加で商人や職人などの新たな職業・身分・階級が成立

→指導者が王や貴族として強い支配力を持つ〔　　　　　　　　〕が成立

②ナイル川，ティグリス川・ユーフラテス川，インダス川，黄河・長江などの流域に文明が誕生。やや遅れてアメリカ大陸でも独自の文明が形成

※支配階級の武器や祭器として〔　　　　　　〕（金属器）がつくられた。

※多くの文明で政治や祭祀，財政などの記録を残すために〔　　　　〕が発明された。

→**歴史時代**のはじまり

③多様な文明

A　多くの人を支配する仕組みである国家や祭祀が成立し，大集落であり交易の中心でもある都市が出現

B　さらに文字や青銅器などの発明は，人類に初めて文明をもたらした

→文明はそれぞれの地域によって独自性や，共通性が認められる

まとめ　温暖化により自然環境が変化し，多様な環境に適応するために生まれた。共同作業が必要な灌漑農業がはじまり，指導者の出現，身分が成立していく中，各地域で独自の文明が形成されていった。

第 1 講　PART1　確認問題

1　人類がほかの動物と区別される最大の特徴は何か。

①　脳の容積　　②　道具の使用
③　火の使用　　④　直立二足歩行

2　アウストラロピテクスが属する人類は何か。

①　猿人　　②　原人
③　旧人　　④　新人

3　ヨーロッパを中心に分布していたことが確認されている代表的な旧人は何か。

①　サヘラントロプス　　②　ホモ＝エレクトゥス
③　ネアンデルタール人　　④　クロマニョン人

4　鮮やかな洞窟絵画が発見されたスペインの遺跡は何か。

①　ラスコー　　②　アルタミラ
③　ショーヴェ　　④　ニオー

5　人類が農耕・牧畜によって獲得経済から移った経済を何というか。

①　商品経済　　②　貨幣経済
③　物流経済　　④　生産経済

6 磨製石器が使用されるようになった時代を何というか。

① 旧石器時代　② 新石器時代
③ 先史時代　④ 古墳時代

7 河川などを利用して農耕に必要な水を人工的に供給する農業を何というか。

① 天水農業　② 乾地農業
③ 灌漑農業　④ 略奪農業

8 中心となる都市とその周辺を支配する初期の国家形態を何というか。

① 立憲国家　② 小国家
③ 専制国家　④ 都市国家

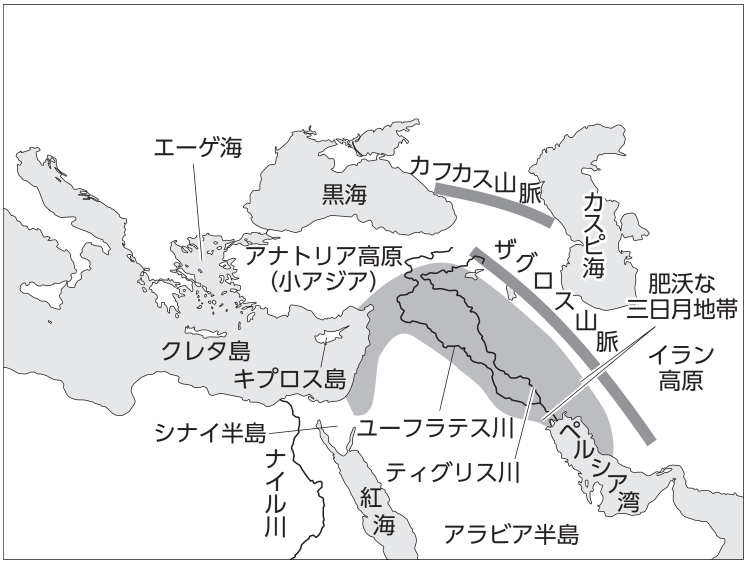
第 1 講 【古代編】世界の古代文明

PART2 古代オリエント文明 1

Chapter1 シュメール人と都市国家

目標
メソポタミアとエジプトの文明の特徴の違いは何だろう。
シュメール人の文明の特徴を知ろう。

1 オリエントの地形と気候



オリエントの地形図

①西アジアからエジプトにかけての地域を〔　　　　　　　　　　〕という

※ヨーロッパ側から見て**「日が昇るところ（東方）」**の意味。

気候→秋～冬の雨季以外は乾燥して高い気温

地形→砂漠・草原・岩山が多い

※羊・ラクダを飼育する遊牧や，地中海沿岸や河川流域の平野やオアシスでは麦・豆類・オリーブ・ナツメヤシなどの耕作が行われていた。

②オリエント社会の展開

A **ティグリス川・ユーフラテス川**流域の〔　　　　　　　　　　〕

富を求めて周辺の遊牧民が興亡を繰り返す

B **ナイル川**流域の〔　　　　　　　　〕

砂漠・海に囲まれた地勢により，他民族の侵入を受けにくかったため，長期に高度な文明が継続

C　メソポタミアとエジプトをつなぐ**シリア・パレスチナ**地方
メソポタミアと合わせて「**肥沃な三日月地帯**」と呼ばれ，小麦・オリーブを栽培，2 大文明の交通路と地中海への出入口として重要な役割を果たす

D　**地中海**
オリエントの西に広がる重要な交通路として沿岸部の都市を中心に文明が発達

2　シュメール人の都市国家

前 3500 年頃　メソポタミア南部で急激に人口が増加して大集落が成立
※文字が発明され，金属器が普及していった。

前 3000 年頃　大集落が都市に発展
系統不明の〔　　　　　　　　　　〕人が**ウル・ウルク**など，多くの**都市国家**を建設

都市国家の政治と文化

①それぞれ独自の守護神を祀る神殿が中心に建てられた城壁都市

②王や神官が宗教的権威によって統治する〔　　　　　　　　〕と，経済・軍事の実権を持つ商人や役人・戦士などによる**階級社会**

③粘土板に刻まれた〔　　　　　　　　〕や角度や時間の単位として〔　　　　　　　　〕を発明

④日干し煉瓦による**神殿**（**ジッグラト**）や伝説的叙事詩『ギルガメシュ叙事詩』

⑤暦法や数学・占星術の発展による**太陰暦**の使用
※河川の氾濫予測や灌漑工事のために暦法も発展し，太陰暦に閏月を加えた太陰太陽暦も生まれた。

まとめ
メソポタミアでは平原が広がり民族が興亡したが，エジプトは海や砂漠により王朝が維持された。
シュメール人は神権政治を行い，楔形文字を用いて民衆を支配した。

Chapter2　古代メソポタミアの統一と分裂

目標
メソポタミアの勢力がどのように移り変わっていったか知ろう。
ヒッタイトが発展させた技術は何だったのか。

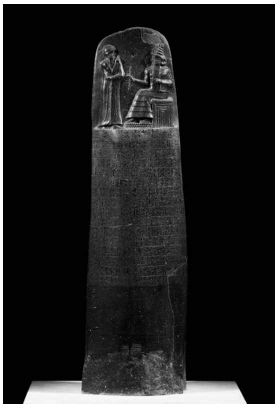
1　古代メソポタミアの王朝国家

古代メソポタミアの興亡

前24世紀中頃　セム語系の**アッカド人**が都市国家を征服して統一国家を建てる
→前22世紀崩壊

前19世紀　セム語系の**アムル人**が〔　　　　　　　　　　　　　〕（古バビロニア王国）を建てる

前18世紀　〔　　　　　　　　　　〕王が全メソポタミアを統一
運河建設により灌漑・治水事業を進める
ハンムラビ法典を制定する→法による強い支配を確立
※「**目には目を，歯には歯を**」の〔　　　　　　〕による刑法で知られる。


ハンムラビ法典碑

2　インド＝ヨーロッパ語系の侵入

①メソポタミア文明の波及

前17世紀半ば　インド＝ヨーロッパ語系の〔　　　　　　　　　　〕人がアナトリア（小アジア）に国家を建設
※小アジアはメソポタミアの西，黒海・エーゲ海・地中海に囲まれた半島部分。
※ヒッタイトは馬と戦車を使用し，アナトリアの製鉄技術を発展させ，初めて**鉄製武器**を使用した。

前16世紀　メソポタミアに遠征してバビロン第1王朝を滅ぼす

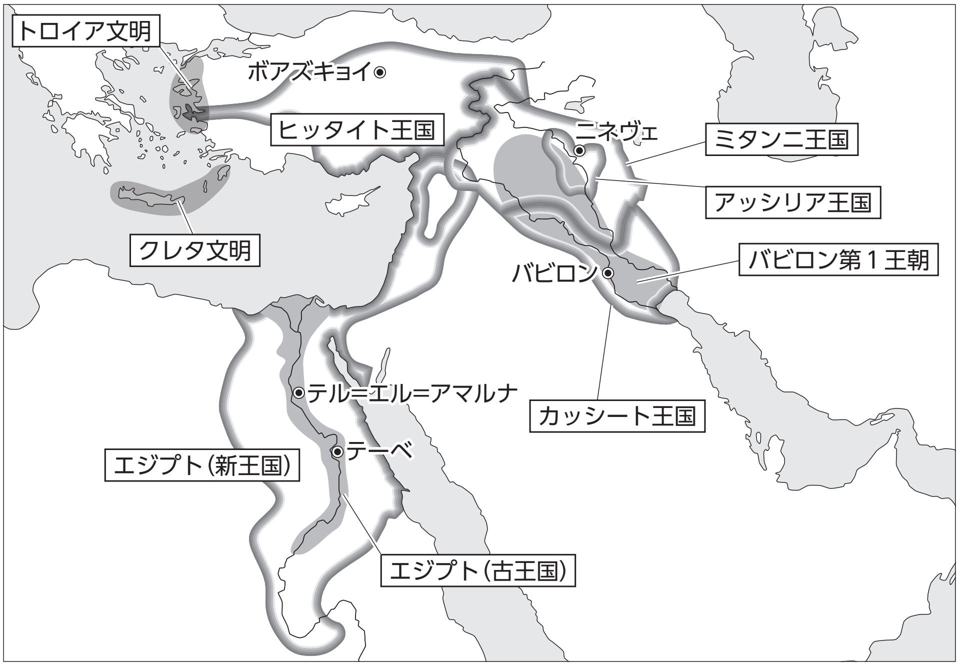
前13世紀　シリアに進出してエジプト新王国と戦う

②諸王国が割拠するオリエント

前16世紀　**カッシート人**がザグロス山脈方面からバビロニアに侵入して一時メソポタミアを支配（バビロン第３王朝）

北メソポタミアの**ミタンニ王国**がシリアへ領土拡大

※前15～前12世紀頃のオリエントには，ヒッタイト・カッシート・ミタンニ・エジプト新王国が並立した。



オリエントの勢力図

まとめ

メソポタミアはアッカド人⇒アムル人（バビロン第１王朝）⇒ヒッタイト人と勢力が移り変わっていった。

ヒッタイトは製鉄技術を発展させ，鉄製武器を使用して強国に成長していった。

第 1 講　PART2　確認問題

1 ティグリス川とユーフラテス川流域の地方はどこか。

① エジプト　② シリア
③ メソポタミア　④ パレスチナ

2 「肥沃な三日月地帯」と呼ばれるのはメソポタミア地方からどこの地方にかけてか。

① アラビア　② シリア・パレスチナ
③ アナトリア　④ ギリシア

3 シュメール人が築いた国家で行われていた政治は何か。

① 民主政治　② 独裁政治
③ 神権政治　④ 衆愚政治

4 シュメール人が発明し，粘土板に刻まれた文字は何か。

① ヒエログリフ　② インダス文字
③ 楔形文字　④ 甲骨文字

5 前 24 世紀，シュメール人の都市国家を征服して最初の統一国家を建てた民族は何か。

① アッカド人　② ギリシア人
③ エジプト人　④ ヒッタイト人

6 バビロン第 1 王朝（古バビロニア王国）の国王が発布した法典は何か。

① ナポレオン　② ジッグラト
③ ハンムラビ　④ ギルガメシュ

7 初めて鉄製武器を使用したヒッタイト人が，前 17 世紀半ばに国家を建設した場所はどこか。

① メソポタミア　② アナトリア
③ エジプト　④ シリア

8 前 16 世紀に北メソポタミアを征服し，ヒッタイトやエジプトなどとオリエントを割拠した国家はどこか。

① カッシート　② 古バビロニア
③ ウルク　④ ミタンニ

第 1 講 【古代編】世界の古代文明

PART3 古代オリエント文明 2

Chapter1　古代エジプト文明と王朝

目標
古代エジプトの各王朝の特徴を理解しよう。
新王国時代におこった宗教改革について学ぼう。

1　エジプトの古代王朝

ナイル川の灌漑農業によって豊かな農耕文化が成立。→「**エジプトはナイルのたまもの**」
やがて治水事業の統制と共同管理から生まれた強い支配者が，ナイル川流域にあった多数の集落（ノモス）を統一。

前 3000 年頃　〔　　　　　　　　　〕と呼ばれる王による統一国家が誕生
以降，約 30 の王朝が交代しながら統一を保つ

前 27～前 22 世紀　〔　　　　　　　〕時代
首都：**メンフィス**　クフ王らが巨大な**ピラミッド**を建設

前 21～前 18 世紀　〔　　　　　　　〕時代
首都：**テーベ**　末期にシリア方面から遊牧民の〔　　　　　　　　　〕が侵入し，一時支配を受ける

前 16～前 11 世紀　〔　　　　　　　〕時代
再統一。シリアへ進出しミタンニ王国・ヒッタイトとも抗争

古代エジプトの地図

2 エジプトの社会と文化

①宗教

動物神への盛んな信仰と多神教・一神教のおこり

A **古王国時代** ファラオは主神の太陽神〔　　　　〕の化身として絶大な権力を持つ
→**ピラミッド**建設

B **中王国時代** 首都テーベの守護神アモンが主神となる

C **新王国時代** アモン信仰と結びついたアモン＝ラーの信仰が盛んになる。来世信仰により，**ミイラ**を作成し，死後の世界のために〔　　　　　　　　〕を残す
※来世での幸福を祈ってミイラとともに埋葬された絵文書。
〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（在位前 14 世紀中頃）の宗教改革
→強力になった神官勢力を嫌ってテル＝エル＝アマルナに遷都し，従来の多神教から**アトン**を唯一神として，みずからを**イクナートン**と称した。改革は王の死により挫折したが，古い伝統にとらわれない写実的な**アマルナ美術**を生んだ

②文化

A 象形文字で神殿・墓に刻まれる〔　　　　　　　　〕（ヒエログリフ）と草からつくられた〔　　　　　　　　〕に書かれた民用文字（デモティック）
※ 18 世紀末のナポレオンのエジプト遠征中，**ヒエログリフ・**デモティック・ギリシア語の３種類で書かれた文章が刻まれた**ロゼッタ＝ストーン**が発見された。
フランス人の**シャンポリオン**がヒエログリフの解読に成功した。

ヒエログリフ

B **測地術**→幾何学の起源

C **太陽暦**→ローマ時代のユリウス暦のもと

まとめ
古王国はピラミッドが特徴的。中王国はヒクソスの侵入で滅亡し，新王国はアメンホテプ４世が宗教改革を行ったことが特徴。
新王国時代にアメンホテプ４世により多神教からアトンのみを信仰する一神教がおこった。

Chapter2　地中海とエーゲ文明

目標

エーゲ文明を分類してまとめよう。

クレタ文明とミケーネ文明にはどのような違いがあったのだろうか。

1　クレタ文明

前 3000 年頃からギリシアの東地中海沿岸を中心に〔　　　　　　　〕文明が栄える

→オリエントの影響でおこった**青銅器文明**の総称

→前 2000 年頃からエーゲ海最大のクレタ島を中心に栄えた〔　　　　　　〕文明

①城壁がない壮大で複雑な構造で建てられた〔　　　　　　　　　　　〕の宮殿

②海洋民族（民族系統不明）らしいのびやかな彩色壁画

→宗教的権威を持つ王による統治

※ 20 世紀初めにイギリスの考古学者**エヴァンズ**が発掘してクレタ文明を発見。

クノッソスの宮殿

2　ミケーネ文明

①前1600年頃からギリシア本土に**ギリシア人**が築いた〔　　　　　　　　　〕文明

※ギリシア人は前20世紀頃から南下してきたインド＝ヨーロッパ語系の民族。

A　堅固な巨石による城塞宮殿を中心とした小王国

→ミケーネ・ティリンス・ピュロスなど小王国に分立して抗争

※ 1952年にイギリス人建築家**ヴェントリス**が線文字B文書を解読したことにより，専制的な王が役人組織を使い，農民から農産物などを貢納させていたことが判明。

B　前15世紀にクレタ島を支配

②アナトリアの古代都市**トロイア**にまで進出

※ 19世紀後半にドイツの考古学者〔　　　　　　　　　　　　〕の発掘によって

ミケーネ文明とトロイア文明の存在が証明された。

ギリシアの古代文明

まとめ

エーゲ文明はクレタ文明とミケーネ文明に分けられる。
クレタ文明はエヴァンズの発掘やクノッソスの宮殿が特徴の平和的な海洋文明で，ミケーネ文明はシュリーマンの発掘や，線文字B，巨石の城塞が特徴である。

第 1 講　PART3　確認問題

1 エジプト古代王朝の古王国時代に，王（ファラオ）の権威を示すためにつくられた建築物は何か。

① ダム　② 宮殿
③ ピラミッド　④ ジッグラト

2 新王国時代に従来の多神教から一神教にする宗教改革を行った王はだれか。

① クフ王　② アメンホテプ４世
③ ラメス２世　④ ツタンカーメン

3 エジプトの来世信仰により，死後の世界のために書かれ，ミイラとともに埋葬された文書は何か。

① 死海文書　② アマルナ文書
③ ヒエログリフ　④ 死者の書

4 18 世紀末のナポレオンのエジプト遠征中に発見されたロゼッタ＝ストーンに刻まれたヒエログリフの解読に成功したのはだれか。

① シャンポリオン　② エヴァンズ
③ ヴェントリス　④ シュリーマン

5 エーゲ海のクレタ島を中心に栄えたクレタ文明を象徴する宮殿は何か。

① バチカン宮殿　② パルテノン神殿
③ クノッソスの宮殿　④ トプカプ宮殿

6 前 1600 年頃からギリシア本土にギリシア人が築いた文明は何か。

① メソポタミア文明　② ミケーネ文明
③ オリエント文明　④ エーゲ文明

7 巨石城塞を発掘してミケーネ文明を証明したのはだれか。

① シャンポリオン　② エヴァンズ
③ ヴェントリス　④ シュリーマン

8 エーゲ文明を代表する 2 つの文明で，かつ城壁のない宮殿などが特徴的である文明は何か。

① オリエント文明　② ミケーネ文明
③ クレタ文明　④ メソポタミア文明

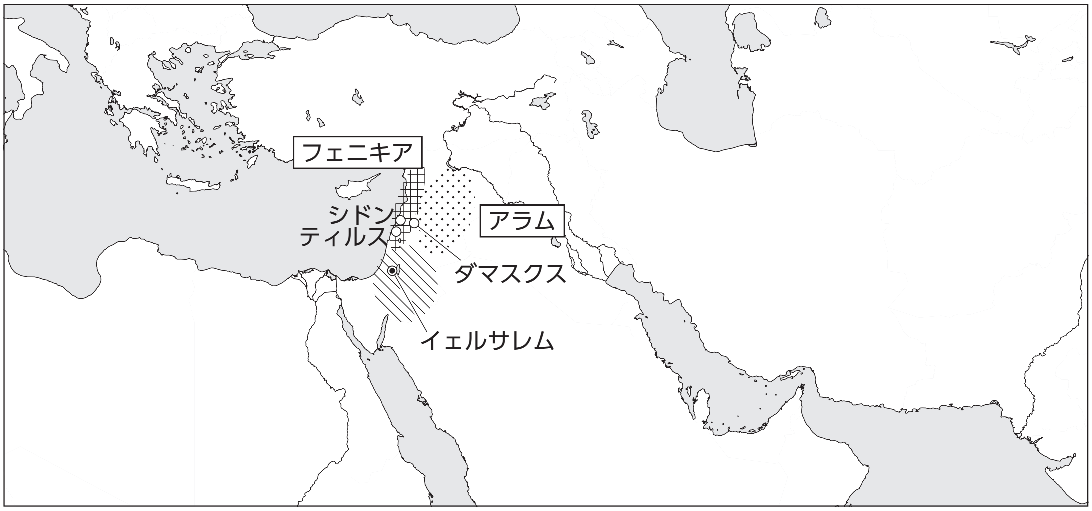
第1講　【古代編】世界の古代文明

PART4 オリエントの統一と分裂

Chapter1　東地中海の諸民族の活動

目標
アラム人・フェニキア人の共通点を学ぼう。
ユダヤ教が成立した経緯を知ろう。

1　アラム人とフェニキア人の活動



アラム人・フェニキア人・ヘブライ人の勢力図

海陸交通の要地シリア・パレスチナ地方

前13世紀頃からギリシア・エーゲ海方面から〔　　　　　　　　　　〕が進出

　→エジプト・ヒッタイトの勢力が後退

　→前1200年頃からセム語系の3民族（**アラム人・フェニキア人・ヘブライ人**）が活動

　※「海の民」は，この頃東地中海一帯を移動した集団の総称。

①**アラム人**

　A　シリアの〔　　　　　　　　　　〕を中心に内陸都市を結ぶ中継貿易で活躍

　B　アラム語→西アジアの国際商業語

　C　**アラム文字**→楔形文字に代わってオリエントで普及

　※アラム語はのちにアッシリアやペルシアでも公用語となり，アラム文字はアラビア文字やウイグル文字の母体となった。

②フェニキア人

A　東地中海に面した**シドン・ティルス**の海港都市を拠点として地中海貿易を独占

B　北アフリカのカルタゴなど多くの植民都市を建設

C　カナーン人の**表音文字**からつくった〔　　　　　　　　　　〕文字

※貿易活動によって地中海から西アジアに広まってギリシア文字を経て**アルファベット**となり，ラテン文字などヨーロッパの文字の基礎となった。

2　ヘブライ人とユダヤ教の成立

前 1500 年頃　遊牧民だった〔　　　　　　　　〕人がパレスチナに定住
一部はエジプト（新王国時代）に移住

前 13 世紀頃　圧政から逃れて指導者**モーセ**によりパレスチナに脱出（**出エジプト**）

前 11 世紀末　パレスチナに統一王国（ヘブライ王国）建国

前 10 世紀頃　ヘブライ王国第 2 代王**ダヴィデ**・第 3 代王**ソロモン**が治世
〔　　　　　　　　　　　　〕を中心に繁栄したが，ソロモン王の死後，
北の**イスラエル王国**と南の**ユダ王国**に分裂

前 722 年　イスラエル王国，アッシリアにより滅亡

前 586 年　ユダ王国，新バビロニアに征服されて住民は強制移住させられる
→これを〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ぶ

前 538 年　バビロンを占領したアケメネス朝により解放されてヘブライ人は帰国
その後，イェルサレムに唯一神〔　　　　　　　　〕の神殿を再興
→**ユダヤ教**確立

①ヘブライ人のユダヤ教信仰

「出エジプト」など民族が経験してきた歴史→唯一神**ヤハウェ**への信仰による結束

※やがてユダヤ人だけが救われるという選民思想と，救世主〔　　　　　　〕を待望する信仰を持つユダヤ教が形成された。

②ユダヤ教とキリスト教・イスラーム教

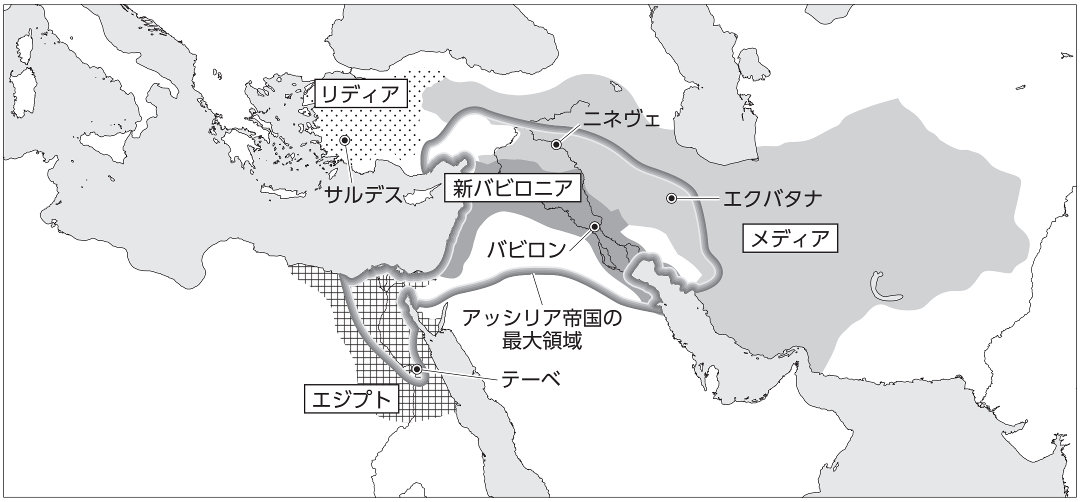
ユダヤ教の経典はキリスト教では〔　　　　　　　　　　　〕とされているもので，同書はイスラーム教でも聖典とされている

まとめ　アラム人もフェニキア人も貿易で活躍し，独自の文字を持った。
ヘブライ人はバビロン捕囚などの苦難により，唯一神ヤハウェを信仰し結束していったことでユダヤ教を成立させた。

Chapter2　アッシリア帝国と四国分立時代

目標
アッシリア帝国はどういった点で世界にとって意義があるのか考えよう。
アッシリアが滅亡した後オリエントはどうなったのだろう。

1　アッシリアのオリエント統一



アッシリア最盛期の勢力図

前2千年紀初め　メソポタミア北部に〔　　　　　　　　　　〕王国おこる

※前2千年紀とは前2000年～前1000年の間。

前15世紀　ミタンニ王国に服属

前9世紀頃　**鉄製の武器**や戦車，騎兵隊を採用して強国化

前8世紀　首都を〔　　　　　　　　〕とする

※大図書館が建築された。

前7世紀前半，メソポタミアとエジプトを征服して初めて**オリエントを統一**

〔　　　　　　　　　　　　　　〕の時代に最盛期

→**最初の世界帝国**となる

①アッシリア王は政治・軍事・宗教に強大な権力を持つ専制君主として帝国主義的政策で統治

A　服従した国は属国として，服従しない国は滅ぼして属州として支配

B　国土を州に分割し，総督を派遣して中央集権化

C　駅伝制を整備し，情報収集のため大図書館に粘土板文書を保存

D　前 612 年　重税や圧政などにより従属民の反抗
→新バビロニア，リディアにより滅亡

②エジプト～ナイル上流地域の変遷
前 10 世紀頃　ナイル川上流（現在のスーダン）に黒人最古の王国の〔　　　　　　〕王国成立
前 7 世紀　アッシリアのエジプト征服により，さらに上流域に移動
→都をメロエに移して**メロエ王国**として栄えたが，4 世紀中頃エチオピアのアクスム王国により滅亡

2　四国分立時代

アッシリア帝国滅亡（前 612 年）後のオリエントは以下の通り。

①エジプト
第 26 王朝がサイスを首都として独立を回復

②アナトリア（小アジア）
インド = ヨーロッパ語系リディア人による〔　　　　　　　　〕王国
首都はサルデス
※世界で初めて金と銀の合金による**金属貨幣**を鋳造。

③メソポタミア
セム語系カルデア人による〔　　　　　　　　　　　　〕王国
※ネブカドネザル 2 世時代に興隆（ユダ王国を滅ぼして**バビロン捕囚**を行う）。

④イラン高原
メディア人によるエクバタナを首都とする〔　　　　　　　　〕王国
※インド = ヨーロッパ語系イラン系民族による初の国家。

まとめ

アッシリアはメソポタミアとエジプトを征服して初めてオリエントを統一した大帝国であった。
アッシリア滅亡後に，エジプト，小アジアのリディア，メソポタミアの新バビロニア，イランのメディアに分裂した。

第 1 講　PART4　確認問題

1　前 12 世紀頃からシリア・パレスチナ地方の東地中海沿岸に都市国家を建設し，地中海貿易を独占した民族は何か。

①　アラム人　　②　フェニキア人
③　ヘブライ人　　④　ギリシア人

2　フェニキア文字を起源としてギリシア文字やラテン文字に発達し，その後ヨーロッパに広まった文字は何か。

①　ヒエログリフ　　②　線文字 B
③　アルファベット　　④　楔形文字

3　ヘブライ人がバビロン捕囚から解放されたのち，唯一神ヤハウェの信仰などにより民族意識を高めて確立させた宗教は何か。

①　ユダヤ教　　②　キリスト教
③　イスラーム　　④　ヒンドゥー教

4　前 586 年，新バビロニア王国に征服されたユダ王国の住民がその首都に強制移住させられた事件を何というか。

①　アヴィニョン捕囚　　②　嘆きの壁
③　出エジプト　　④　バビロン捕囚

5 鉄製武器や戦車により強国化し，前7世紀前半にオリエント最初の統一帝国となった国はどこか。

① ヒッタイト　② カッシート
③ ミタンニ　④ アッシリア

6 全盛期のアッシュルバニパル王が大図書館を建設したことでも知られるアッシリアの首都はどこか。

① ダマスクス　② ニネヴェ
③ エクバタナ　④ サルデス

7 アッシリア帝国の滅亡後，メソポタミアにおこった王国はどこか。

① エジプト　② リディア王国
③ メディア王国　④ 新バビロニア王国

8 前7世紀にリディア王国が世界で初めて金属を鋳造してつくったものは何か。

① 貨幣　② 装飾品
③ 農具　④ 武器

第1講 【古代編】世界の古代文明

PART5 南アジアの古代文明

Chapter1 インダス文明

目標
南アジアの地形が居住民族の文化に与えた影響を確認しよう。
インダス文明の特徴を理解しよう。

1 南アジアの地形と気候

①地形：世界最高峰の山々・砂漠・大平原・大河・高原など変化に富む

A ヒマラヤ山脈からインド北東部を東に流れる〔　　　　　　　〕川

B ヒマラヤ・カラコルム山脈からインド北西部を南西に流れる〔　　　　　　　〕川

インダス川流域は西アジアとの回廊

古くから異民族が侵入を繰り返す

→〔　　　　　　　〕系と

〔　　　　　　　〕系

多くの民族・言語・宗教が共存する独自の地方となる

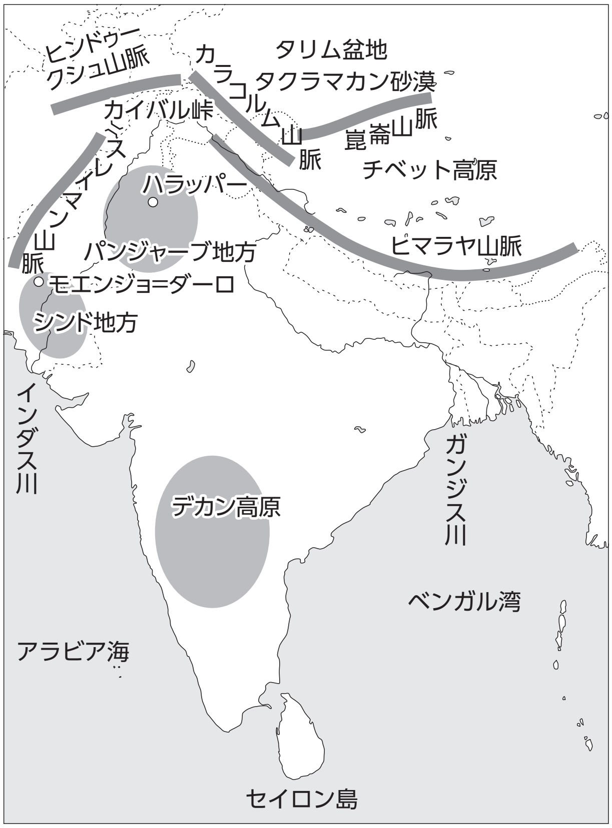
②気候：〔　　　　　　〕（モンスーン）による明確な雨季と乾季

A 北部→夏・冬で大きな寒暖差

B 南部→年間を通じて高い気温

地形と季節風による雨が地域ごとに多様な自然環境を形成

→稲作・雑穀・小麦・綿花・放牧など，湿潤～半乾燥地域に適した農業が盛ん



南アジアの地形図

2　インダス文明の特徴

前2600年頃　インダス川流域に都市文明の〔　　　　　　　　〕文明がおこる

※**ドラヴィダ系**の文明とされる。

①計画的な都市建設

すぐれた都市計画が特徴

A　〔　　　　　　　　　　〕や

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の都市遺跡

B　大沐浴場，穀物倉庫などの公共施設

C　道路や下水道

D　宮殿や王陵がなく，強大な王権を示すものがない

インダス文字

②遺跡からの出土品

A　〔　　　　　　　　　　　　〕が刻まれた〔　　　　　〕

→未解読

B　彩文土器

C　シヴァ神の原型と見られる像→南アジアの文明の源流

③前1800年頃までに衰退

インダス川流路の変更，気象の変化，異民族の侵入などが原因と考えられる

まとめ

インダス川流域は西アジアとの回廊となり，異民族が侵入を繰り返し独自の文化を形成していった。

すぐれた都市計画で建設されたが，宮殿など王権を示すものがなかった。

Chapter2　アーリヤ人の侵入とバラモン教

目標　アーリヤ人の侵入は，古代インド社会にどのような影響を与えたのだろうか。
バラモン教が成立した流れを学ぼう。

1　アーリヤ人の南アジア侵入

前 1500 年頃，インド = ヨーロッパ語系の〔　　　　　　　　　　〕人が中央アジアから，カイバル峠をこえてインダス川上流域の〔　　　　　　　　　　　　　〕**地方**に侵入。

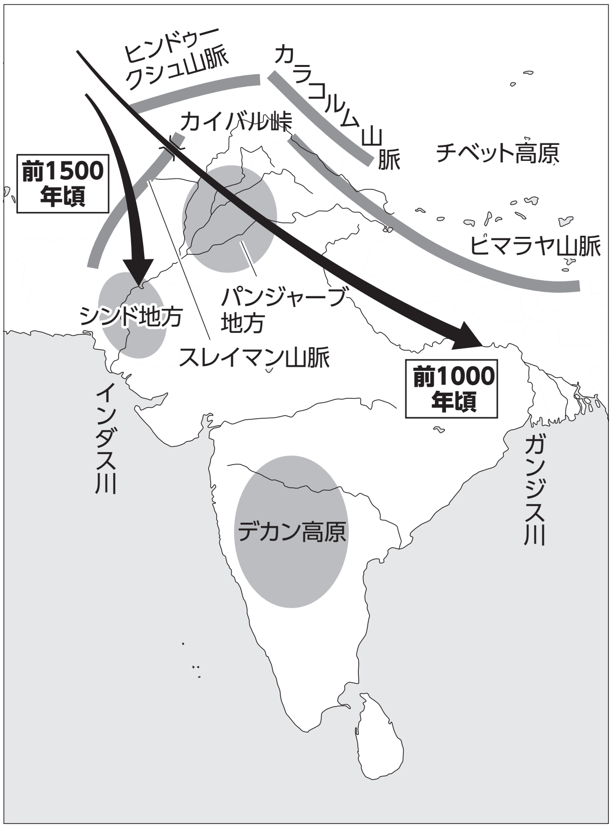
①馬と戦車により先住民を征服

②雷・火・風の自然現象を神として崇拝し，祭祀を行う

　前 1000 年頃　ガンジス川中流域へ進出

③先住民を支配し，共に定着農耕社会を形成

④森林の開墾に鉄器を使用し，稲作には牛に引かせる木製の犂も使用



アーリヤ人の侵入図

2 カースト制とバラモン教の成立

アーリヤ人は農耕社会への移行の過程で，祭祀を主導する王や司祭などが支配階層を形成。

①階層身分制度〔　　　　　　　　〕制

A 〔　　　　　　　　〕（司祭）

B 〔　　　　　　　　　　　　〕（王侯・戦士）

C 〔　　　　　　　　　　〕（庶民）

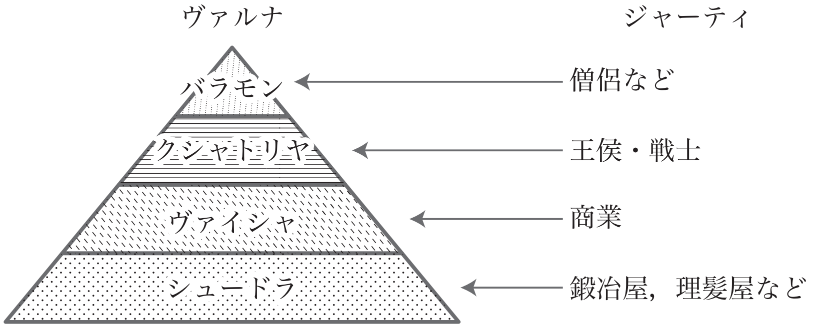
D 〔　　　　　　　　　　〕（隷属民・先住民）

→のちの〔　　　　　　　　〕（ジャーティ）制の基礎となる

②宗教的な知識を集めたインド最古の文献群は**ヴェーダ**と呼ばれ，その中で

〔　　　　　　　　　　　　　　〕は最古

→ヴェーダを聖典として司祭者がつかさどる宗教である〔　　　　　　　　〕教が成立した



カースト制

まとめ

アーリヤ人の侵入により先住民が支配されてゆき，カースト制と呼ばれる身分制度が成立していった。

バラモンたちの祭祀を中心として，ヴェーダを聖典とするバラモン教が成立していった。

第 1 講　PART5　確認問題

1 ヒマラヤ山脈からインド北東部を東に流れる川は何か。

① ナイル川　② ティグリス川
③ ガンジス川　④ インダス川

2 南アジアや東アジアなどで吹く，季節によって風向きが逆転する風を何というか。

① モンスーン　② 偏西風
③ 局地風　④ シロッコ

3 前 2600 年頃にインダス川流域におこった南アジア最古の都市文明は何か。

① エーゲ文明　② インダス文明
③ クレタ文明　④ ミケーネ文明

4 南アジア最古の都市文明を代表する遺跡はハラッパーとどこか。

① バビロン　② クノッソス
③ トロイア　④ モエンジョ = ダーロ

5 前 1500 年頃に中央アジアから，インダス川中流域のパンジャーブ地方に侵入したインド = ヨーロッパ語系の民族は何か。

① ドラヴィダ人　② アーリヤ人
③ シュメール人　④ ヒッタイト人

6 宗教的な知識を集めたインド最古の経典の中で，神々への賛歌集は何か。

① リグ＝ヴェーダ　② サーマ＝ヴェーダ
③ ヤジュル＝ヴェーダ　④ アタルヴァ＝ヴェーダ

7 アーリヤ人が形成した身分制度は何か。

① クシャトリア　② ヴァイシャ
③ ヴァルナ　④ シュードラ

8 ヴェーダを経典とし, 多神教でのちのヒンドゥー教の母体ともなっている宗教は何か。

① ユダヤ教　② バラモン教
③ シャーマニズム　④ ゾロアスター教

第 1 講　【古代編】世界の古代文明
PART6 中国の古代文明

Chapter1　黄河文明

目標　東アジアの地形や気候の違いが各地域にどのような影響をもたらしたか。
黄河文明の特徴を知ろう。

1　東アジアの地形と気候

二大河流域を中心とするユーラシア大陸東部と沿岸の島々。

①淮河以北の［　　　　　］流域（［　　　　　］）

A　冷帯から温帯に属する降水量が少ない気候

B　黄河中流域は内陸部の高原・砂漠から風で運ばれた土が堆積した肥沃な**黄土地帯**（台地）

→**畑作**中心

②淮河以南の［　　　　　］流域（**華中・江南**）

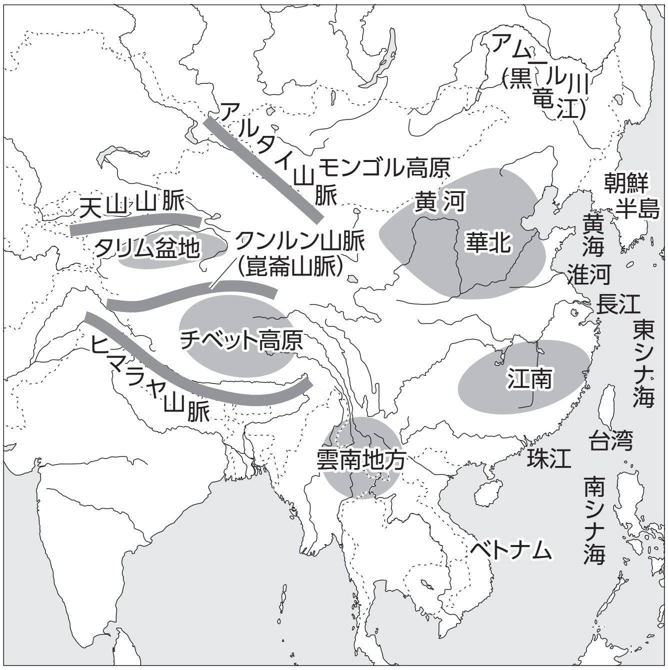
温帯の季節風（モンスーン）に影響される湿潤な気候

→**稲作**中心

③モンゴル高原・チベット高原

遊牧地帯。タリム盆地の砂漠で点在するオアシスで灌漑農業が行われる。東アジアと隣接する地域では，多様な自然環境によりさまざまな文化が生み出された

→活発な人の移動・交流



東アジアの地形図

2　黄河文明

前 6000 年頃　黄河流域にアワ・キビなどの**雑穀**をつくる農耕がはじまる

→豚・犬・牛などの家畜の飼育や，半地下式の竪穴住居の形成

前 5000 年頃　黄河中流域に〔　　　　　〕文化がおこる

→明るい色彩の〔　　　　　　　　　　〕（**彩陶**）

前 3000 年頃　黄河中・下流域に〔　　　　　〕文化が出現

→実用的な灰陶と薄手の〔　　　　　〕（**黒色土器**）

※三足土器はのちの青銅器の形に繋がる。

長江文明

黄河文明と同時期，長江流域で〔　　　　　〕が定着

遼河流域でも狩猟・採集と合わせて雑穀の栽培が行われ，新石器時代がはじまった

※前 2000 年頃と考えられている三星堆遺跡（四川省）など，近年，発掘・研究が進んでいる。

→各地で独自の文化のおこり。ヒト・モノの移動と交流が活発になり，集団での争いや首長の誕生に繋がる

黄河文明の分布図

まとめ

肥沃な黄土地帯の黄河流域では畑作，湿潤な気候の長江流域では稲作が盛んだった。

仰韶文化では彩文土器が用いられ，その後おこった竜山文化では黒陶が用いられた。

Chapter2　周の封建制

目標
殷王朝で行われた政治の特徴を知ろう。
周王朝の封建制とはどのようなものであったか。

1　殷王朝の特徴

前 2000 年頃　黄河中・下流域に氏族集団を中心とし，城壁を巡らせた大規模な
〔　　　　〕（都市）が出現
→有力な**大邑**（都市国家）へと成長

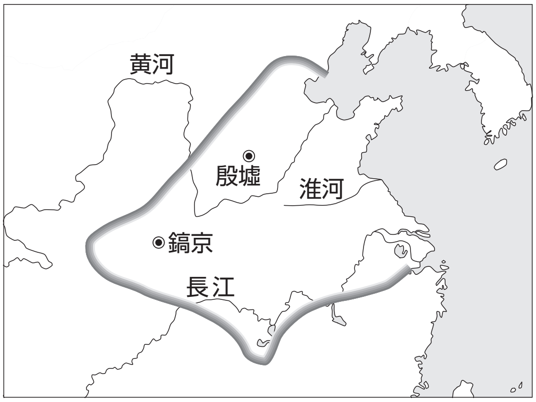
前 1600 年頃　大邑の連合組織（邑制国家）として，最古の王朝〔　　　　〕（商）が誕生
※伝説では中国最古の王朝は**夏**とされるが，事実関係はわかっていない。

①王朝後期の遺跡である〔　　　　　〕が発掘される
→豊かな経済力を持つ〔　　　　　　　〕**文明**
→青銅器は祭祀や武器として用いられた

②漢字のもととなった象形文字である〔　　　　　　　　　〕が発見・解読される
→重大な決定や予測は甲骨により神の意志を占う神権政治により行われた

甲骨文字

2　周王朝の封建制



周の勢力図

前 11 世紀　西方の渭水流域におこった〔　　　　〕が殷を滅ぼす

①都を**鎬京**（現在の西安市）とし，新たに洛邑（現在の洛陽市）を建設

②思想

徳の高い者には天から支配者となる命令が下るとする〔　　　　　　　　〕政治

③制度

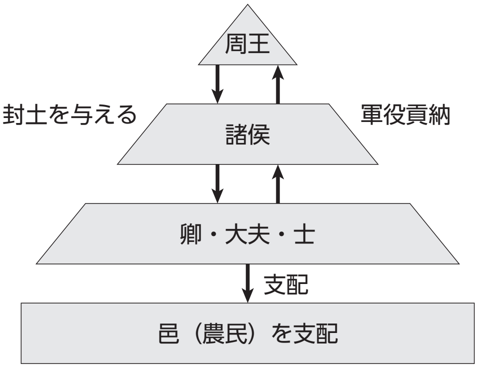
封土⇔軍役・貢納の義務で支配する

〔　　　　〕制度

A　王一族・功臣，有力氏族の首長に封土（領地）を与えて世襲の**諸侯**とする

B　王や諸侯は家臣に**卿・大夫・士**の身分と封土を与える

→王・諸侯・家臣はそれぞれ**血縁関係**を結ぶ



封建制度

C　氏族集団宗族の結束を固めるために定めた規範：〔　　　　〕

D　王と諸侯，諸侯と家臣など，社会の上下関係を律する行動規範：〔　　　〕

→以降の東アジア社会に大きな影響を与える

まとめ

殷王朝は，国の重要な出来事は神意を問う占いで決定される神権政治であった。

封建制とは，周王が諸侯に封土し，諸侯は周王に軍役するもので，血縁関係が重視された。

第 1 講　PART6　確認問題

1 中国の淮河以北の黄河流域はどこか。

① 華北　② 華中
③ 華南　④ 華東

2 中国内陸部の高原や砂漠から風で運ばれた土が堆積した黄河中流域の地帯を何というか。

① 三日月地帯　② デルタ地帯
③ 扇状地　④ 黄土地帯

3 前 6000 年頃には淮河以南の長江流域で栽培されるようになった穀物は何か。

① アワ　② ヒエ
③ 稲　④ トウモロコシ

4 前 3000 年頃に出現した，実用的な灰陶と薄手の黒陶に代表される後期の黄河文明を何というか。

① 仰韶文化　② 竜山文化
③ 紅山文化　④ 三星堆文化

5 前 1600 年頃に黄河中流域に成立した，現在確認される中国最古の殷王朝の遺跡を何というか。

① 夏　② 邑
③ 殷墟　④ 兵馬俑

6 殷王が占った神意を記録するためにつくられた象形文字は何か。

① 楔形文字　② 神聖文字
③ インダス文字　④ 甲骨文字

7 渭水流域におこり，前 11 世紀頃に殷を滅ぼした王朝は何か。

① 斉　② 晋
③ 秦　④ 周

8 周王が一族や功臣，有力氏族の首長に封土を与えて諸侯とし，国を統治した制度は何か。

① 中央集権制　② 封土制
③ 封建制　④ 世襲制

第 2 講 【古代編】西アジアと地中海世界の特質
PART1 イラン文明の興亡

Chapter1　アケメネス朝ペルシア

目標　アケメネス朝ペルシアで中央集権制を可能にした仕組みを理解しよう。
ゾロアスター教は後世にどのような影響を与えたのだろうか。

1　アケメネス朝ペルシアの興亡

前 6 世紀半ば　インド＝ヨーロッパ語系ペルシア人（イラン人）の**キュロス 2 世**が
〔　　　　　　　　　　〕**ペルシア**をおこす

前 538 年　ユダヤ人をバビロン捕囚から解放

前 525 年　エジプトを征服し，オリエントを再統一

第 3 代王〔　　　　　　　　　　〕（在：前 522 年～前 486 年）の時代に，

エーゲ海沿岸からインダス川に至る大帝国となる

①中央集権制による統治

A　全土を 20 州に分割し，〔　　　　　　　　〕（知事）を任命

B　州の行政や情報を収集する〔　　　　　　　　〕と呼ばれる監察官を巡回させた

C　全国の要地を結ぶ〔　　　　　〕と呼ばれる国道により**駅伝制**を整備

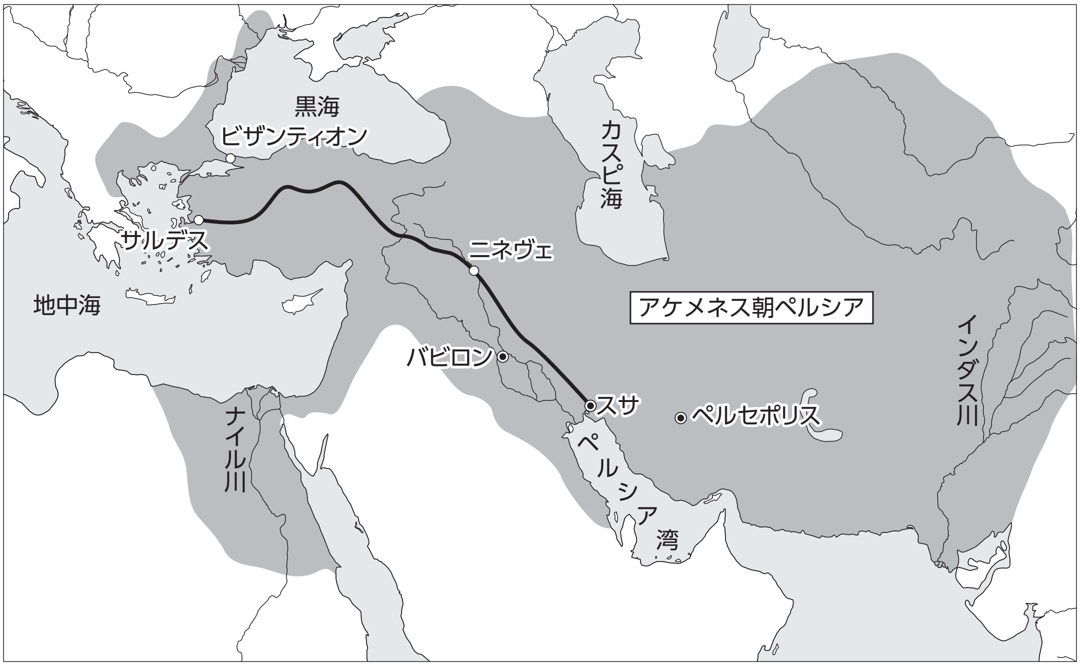
②帝国内のアラム人・フェニキア人・ギリシア人などの交易保護，金貨・銀貨の発行による財政基盤の確立

③公式行事のための新都〔　　　　　　　　〕を建設

→国内全土の諸民族から貢納のための使節が集まった

④軍役と貢納の義務をはたす異民族への寛容な支配

→それぞれの法や宗教を尊重



アケメネス朝ペルシア

2 ゾロアスター教

ペルシア人の民族宗教は〔　　　　　　　　　　　　〕。

→火を神聖な象徴として崇拝するので〔　　　　〕教とも呼ばれる

※ゾロアスターによって前７世紀頃までには成立したとされる。

ゾロアスター教の特徴

①世界は善（光明）の神アフラ＝マズダと，悪（暗黒）の神アーリマン（アンラ＝マンユ）とが抗争する場所

②終末には善が勝利して，最後の審判によって善き人の霊魂は天国に導かれる

→〔　　　　　　　　　　〕

※『最後の審判』の終末思想や「天国」などの観念は，その後のユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の一神教に大きな影響を与えたとされる。

※南北朝時代の中国にも伝わり，けん（祆）教と呼ばれた。

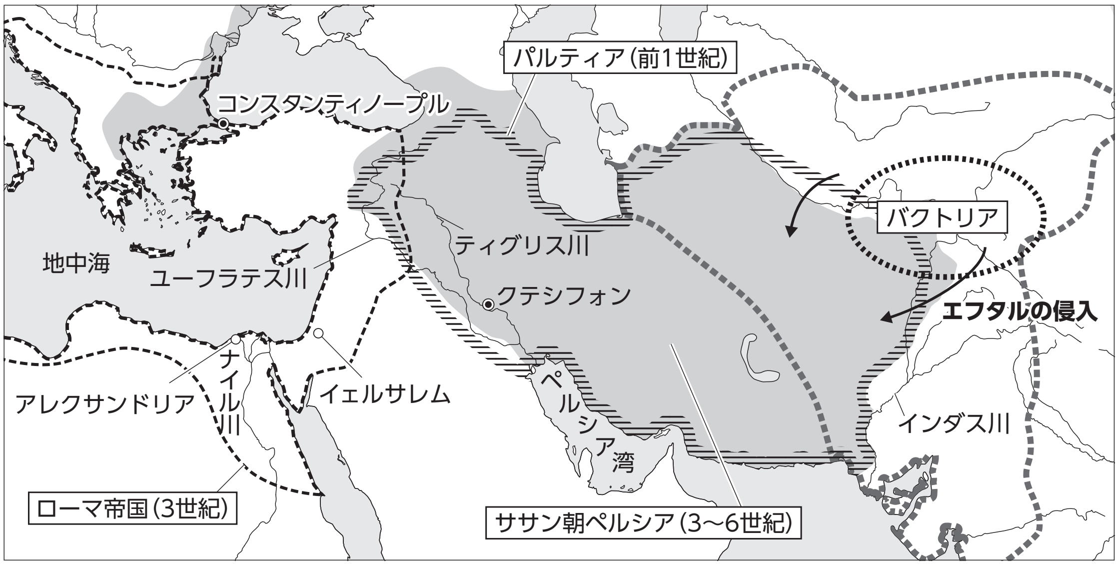
まとめ

アケメネス朝ペルシアは，各地にサトラップ（知事）を派遣し「王の目」「王の耳」がこれを監察したことで中央集権制を成立させた。
ゾロアスター教の善悪二元論や終末思想の考え方はユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の一神教に影響を与えることになった。

Chapter2　パルティアとササン朝

目標
パルティアがどのように建国され滅亡していったのか学ぼう。
ササン朝最盛期の対外政策について理解しよう。

1　バクトリアとパルティア



バクトリア・パルティア・ササン朝の勢力図

前330年　マケドニアのアレクサンドロス大王によりアケメネス朝ペルシア滅亡
　→エジプトから西アジア～インド北西部に至る大帝国が出現するが，大王の死後，ギリシア系の〔　　　　　　　　〕朝に受け継がれた

前3世紀中頃　アム川上流域のギリシア人が独立して**バクトリア**を建国
　※バクトリアは前145年，大月氏の攻撃により滅びたとされる。
　カスピ海南東部に遊牧イラン人族長の**アルサケス**が
　〔　　　　　　　　〕を建国

前2世紀中頃　パルティアがメソポタミアを併合
　A　ティグリス川中流域に首都**クテシフォン**を建設
　B　パルティアは「絹の道」（〔　　　　　　　　〕）の中継貿易で栄えた（中国名は**安息**）
　　※アケメネス朝の統治制度を受け継ぎ，ペルシア系やギリシア系のヘレニズム文化も栄えた。

2　ササン朝ペルシア

224 年　アルダシール 1 世に率いられたイラン高原南部のペルシア人（イラン人）が
　　　パルティアを倒し，［　　　　　　　　］ペルシアをおこす。クテシフォンを首都，
　　　ゾロアスター教を国教とした

①第 2 代皇帝シャープール 1 世（在：241 年～272 年）
　西方ではシリアに侵入してローマ帝国と対抗し，東方ではインダス川西岸までの地域を
　統合→中央集権的体制による統治

②［　　　　　　　　　　］（在：531 年～579 年）
　A　5 世紀に中央アジアの遊牧民**エフタル**の侵入を受けたが，トルコ系遊牧民突厥と結び
　　これを滅ぼす
　B　東ローマ帝国（［　　　　　　　　　　］）との抗争でも優位に立った

3　イラン文明の特徴

1 世紀頃　ギリシア文化の影響が強かったパルティアでイランの伝統文化が復活
　　　→ササン朝では建築・美術・工芸が発達し，インドやギリシアの影響を受けつつ
　　　　もペルシア語を用いたりイランの伝統を意識した文化に

3 世紀　ササン朝ペルシアの興隆で国教となったゾロアスター教の経典
　　　［　　　　　　　　　　］が編さんされた一方，ゾロアスター教・仏教・キリ
　　　スト教の要素を融合した［　　　　　　］がおこる

建築・美術・工芸の発達と伝播
　ササン朝ペルシアは，東西交易など諸地域のヒトやモノが行き交う広大な領域を統治した
　→ヘレニズム様式や周辺の文化の諸様式を取り入れた［　　　　　　　　］**美術**が発達
　　※技術や様式は，西はビザンツ帝国から地中海世界，東は中国～日本に伝えられた。

まとめ

パルティアはイラン人のアルサケスにより建国されたが，ササン朝ペルシアにより滅ぼされた。
ホスロー 1 世の時代に最盛期を迎え，突厥と協力しエフタルを滅ぼし，またビザンツ帝国と抗争した。

第２講　PART1　確認問題

1　ペルシア人（イラン人）が分類される語族系統は何か。

①　アフロ＝アジア語族　②　インド＝ヨーロッパ語族
③　ドラヴィダ語族　④　アルタイ語族

2　アケメネス朝ペルシアの第３代の王で，エーゲ海沿岸からインダス川に至る大帝国を築いたのはだれか。

①　ネブカドネザル２世　②　キュロス２世
③　ダレイオス１世　④　ソロモン

3　アケメネス朝ペルシアが広大な領土を分割して各州に置いた統治官を何というか。

①　サトラップ　②　王の目
③　ペルセポリス　④　スサ

4　前７世紀頃までには成立したとされるペルシア人の民族的宗教は何か。

①　ユダヤ教　②　バラモン教
③　マニ教　④　ゾロアスター教

5　アケメネス朝ペルシア滅亡後，メソポタミアを併合して東西交易で栄えた国はどこか。

①　リディア　②　新バビロニア
③　バクトリア　④　パルティア

6 ３世紀中頃に広大な領域を治めたササン朝ペルシアの第２代皇帝はだれか。

①　アルサケス　②　アルダシール１世
③　シャープール１世　④　ホスロー１世

7 ５世紀後半にササン朝ペルシアに侵入した中央アジアの遊牧民は何か。

①　エフタル　②　バクトリア
③　突厥　④　匈奴

8 ３世紀に編さんされたゾロアスター教の経典は何か。

①　死者の書　②　ヴェーダ
③　アヴェスター　④　最後の審判

第2講 【古代編】西アジアと地中海世界の特質

PART2 古代ギリシアの諸ポリス1

Chapter1 ポリスの成立とアテネ・スパルタ

目標 ポリスではどのような身分の人々が暮らしていただろうか。
アテネ民主政の基礎がどうやってつくられていったか学ぼう。

1 ポリスの成立と発展

①暗黒時代

ギリシアはミケーネ文明滅亡後の前13世紀頃から**暗黒時代**（初期鉄器時代）に突入

→ギリシア人はエーゲ海の島々や小アジアにも移住

→ギリシア語の方言の違いにより，**イオニア人・アイオリス人・ドーリア人**と呼ばれる

②ポリスの成立

前8世紀になると，集落が連合し，**集住（シノイキスモス）**する〔　　　　　　〕都市国家が各地に成立

③商業の活発化

前8世紀半ばから，各ポリスが地中海と黒海の沿岸各地に〔　　　　　　〕を建設し，地中海全域で活発に交易した

④ポリスの特徴

A　ポリスは中央に神殿が築かれた**アクロポリス**（城山）と，政治をする**アゴラ**（広場）を持つそれぞれが独立した都市国家

B　ポリス同士は対立・抗争し，ギリシア人として統一国家をつくることはなかった

C　共通の言語（**コイネー**）と神話を共有し，アポロン神の神託，オリンピアの祭典などを通じて同一民族の意識を持ち続け，自分たちを〔　　　　　　　　〕，異民族を〔　　　　　　　　　〕と呼んだ

D　ポリスの住民→自由人の**市民**と隷属する**奴隷**からなる
市民→世襲で土地（クレーロス）を所有する富裕な貴族と〔　　　　〕

2 アテネとスパルタ

①イオニア人のポリス

〔　　　　　　〕は，発達した奴隷制度で銀の採掘や交易で発展

②ドーリア人のポリス

〔　　　　　　　　〕は, 少数のスパルタ市民が多数の被征服民を**ヘイロータイ**（隷属農民），商工業に従事する**ペリオイコイ**（周辺民）として支配

※市民に厳しい軍国主義的な規律を課すなど，〔　　　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる体制により，ギリシア最強国となった。

3　アテネ民主政の発展基礎

①前７世紀頃，ポリスでは交易活動が盛んになり，貨幣経済の浸透，商工業の発達によって富裕な平民が現れた

②自費で武装して密集隊形で戦う〔　　　　　　　　〕となった平民→貴族に代わりポリスの軍隊の主力となり，参政権を要求して貴族と対立するようになった

③前７世紀後半,〔　　　　　　　　〕が従来の慣習法を**成文化**

④前６世紀初め,〔　　　　　　〕が貴族と平民の対立の調停者として改革を行う

A　血統ではなく財産額により市民の参政権を定める（**財産政治**）

B　負債を帳消し，平民が身体を抵当とする借財を負った市民を奴隷として売ることを禁止

⑤平民の支持により非合法に独裁政治を行う**僭主**の登場

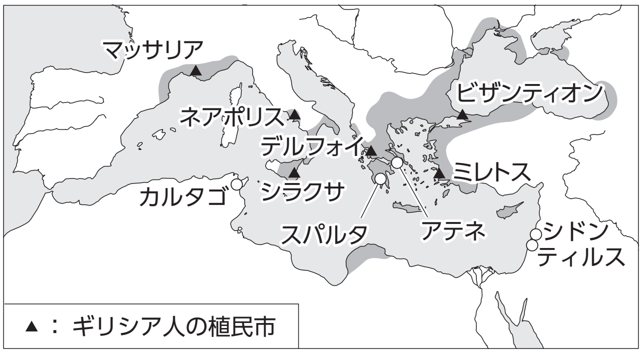
⑥前６世紀半ば,〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を最後に**僭主政治**が崩壊

⑦前 508 年,〔　　　　　　　　　　　　　　〕の改革

A　血縁からデーモス（区）に基づく 10 部族制や 500 人評議会を創設

→民主政の制度的基盤に

B　僭主の出現を防ぐため**陶片追放**（オストラキスモス）の制度を定める



ギリシア人の勢力範囲

まとめ　ポリスでは貴族と平民からなる市民と，隷属する奴隷が暮らしていた。アテネではドラコンの立法，ソロンの財産政治，ペイシストラトスの僭主制を経て，クレイステネスの改革で民主政の基礎がつくられていった。

Chapter2　ペルシア戦争とアテネ民主政の発展

目標
ペルシア戦争がはじまった経緯を理解しよう。
アテネ民主政は現在の民主主義とどのような違いがあったのだろうか。

1　ペルシア戦争

前 500 年　アケメネス朝ペルシア支配下にあったイオニアで，**ミレトス**を中心としたギリシア人ポリスが反乱をおこす

→アテネが反乱を支援し，〔　　　　　　　　　　　〕がおこる

※ペルシア軍はアテネに遠征軍を派遣した。

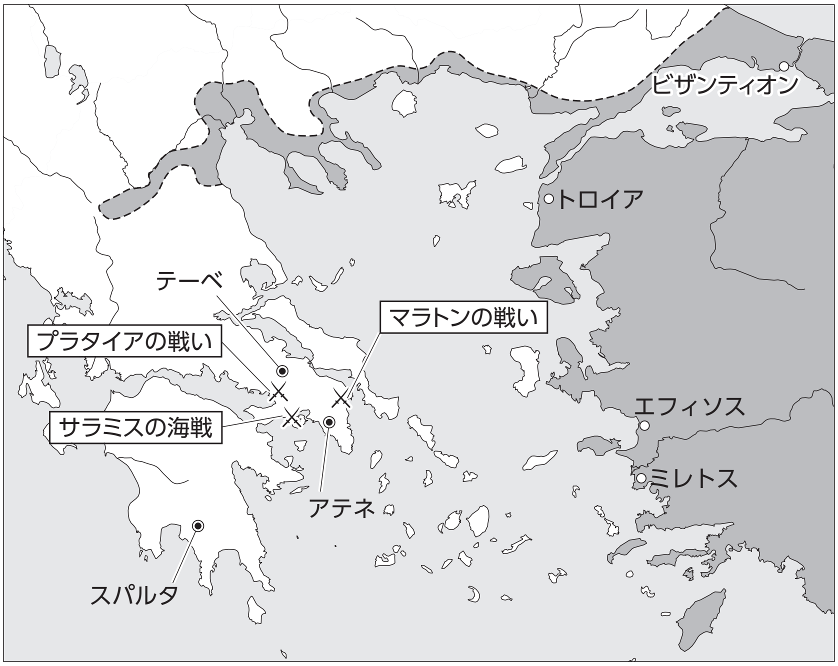
前 490 年　**マラトンの戦い**でアテネの重装歩兵軍がペルシア軍を破る

前 480 年　〔　　　　　　　　〕の海戦で〔　　　　　　　　　　　　　〕指揮のギリシア連合軍がペルシア軍を破る

前 479 年　**プラタイアの戦い**でギリシア連合軍がペルシア軍を破る

→〔　　　　　　　　〕の勝利が確定

※ギリシア人は大国からポリスを守ったことで自信を深めた。



ペルシア戦争時の勢力図

2　アテネ民主政の発展

①ペルシア戦争勝利後，ポリスはペルシアの再来に備え〔　　　　　　　　　　〕を結んだ

※アテネが同盟の盟主となり，支配体制を確立していった。

②前５世紀半ば頃，〔　　　　　　　　　　〕の指導により〔　　　　　　〕が確立

※アテネの軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民も政治に参加するようになっていた。

③ 18 歳以上の男性市民の全体集会である〔　　　　　〕が国政の最高決定機関となる

A　多数決によって決定する〔　　　　　　　　　　〕

B　市民は貧富にかかわらず平等に参政権

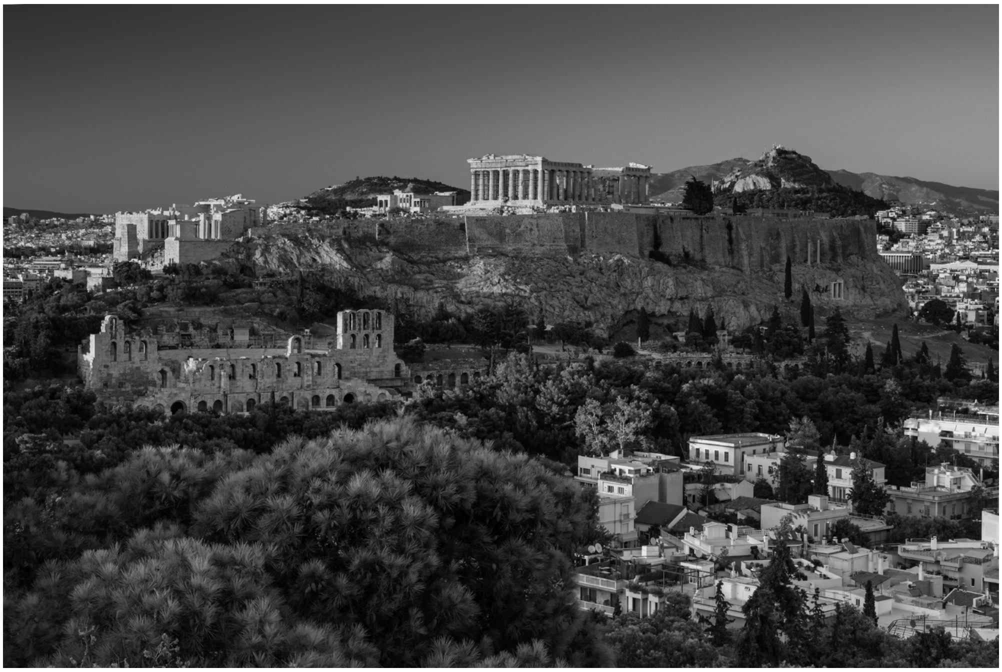
C　ほとんどの公職は一般市民から抽選で選出

D　裁判は抽選で選ばれた陪審員による民衆裁判所で判決

E　役人や政治家の責任は弾劾裁判で追及

F　デロス同盟国のポリスを中心に広まる

G　**女性・奴隷・在留外国人**には参政権はなかった



アテネの街並み

まとめ

ペルシア戦争は，アケメネス朝ペルシアに対するミレトスの反乱をきっかけにはじまった。

女性・奴隷・在留外国人には政治参加が認められなかった。

第2講 PART2 確認問題

1 前8世紀頃からギリシア各地で形成された，集落の連合である都市国家は何か。

① アクロポリス ② アゴラ
③ クレーロス ④ ポリス

2 同一民族の意識を持ち続けたギリシア人が自分たちのことを指した名称は何か。

① バルバロイ ② ヘレネス
③ アポロン ④ オリンピア

3 ドーリア人が形成した市民に軍国主義的規律を課したポリスはどこか。

① ヘイロータイ ② ペリオイコイ
③ スパルタ ④ アテネ

4 アテネなどのポリスにおいて，貴族政から民主政への過渡期に出現した平民の支持を利用した独裁者を何というか。

① 僭主 ② 地主
③ 大王 ④ 皇帝

5 アテネの民主政の過程で，10部族制や500人評議会を創設したのはだれか。

① ドラコン ② クレイステネス
③ ペイシストラトス ④ ソロン

6 ペルシア戦争でテミストクレスが指揮したギリシア連合軍がペルシア軍を破った戦いは何か。

①　マラトンの戦い　②　プラタイアの戦い
③　テルモピレーの戦い　④　サラミスの海戦

7 ペルシア戦争後，ペルシアの再侵攻に備えて多くのポリスが結んだ同盟は何か。

①　コリントス同盟　②　ハンザ同盟
③　デロス同盟　④　ペロポネソス同盟

8 前５世紀半ば頃にアテネで民主政を完成させたのはだれか。

①　ペリクレス　②　ドラコン
③　ペイシストラトス　④　ソロン

第2講 【古代編】西アジアと地中海世界の特質

PART3 古代ギリシアの諸ポリス2

Chapter1　ポリス社会の衰退とマケドニアの台頭

目標　ポリス社会が衰退していくきっかけは何だったのか。
ヘレニズム時代がどのようにはじまったのか学ぼう。

1　ポリス社会の衰退

ペルシア戦争後，**デロス同盟**のアテネと**ペロポネソス同盟**の盟主スパルタが対立。

前431年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕がはじまる

前404年　ペリクレスの死後，指導者を失ったアテネが敗北

→スパルタの勢力が拡大

→その後，〔　　　　　　〕が台頭。さらにアテネが勢力を回復する

前4世紀前半　ギリシアで有力ポリス同士が争い，大きく社会が変容していった

※ポリス市民の人口減少や貧富の拡大，**傭兵**の流行など。

前4世紀後半　ギリシア人の一派である北方の〔　　　　　　　　　〕王国が**フィリッポス2世**により軍事力を強化

前338年　**カイロネイアの戦い**でフィリッポス2世がテーベとアテネの連合軍を破る

→スパルタを除く全ポリスを集めた〔　　　　　　　　　〕**同盟**を結成して支配下に置いた

2　アレクサンドロス帝国とヘレニズム時代

前 334 年　フィリッポス２世の子，〔　　　　　　　　　　　〕がマケドニア・ギリシア連合軍を率いて〔　　　　　　〕に出発

前 333 年　**イッソスの戦い**でペルシア王**ダレイオス３世**を破り，エジプトを征服

前 331 年　**アルベラの戦い**でアケメネス朝ペルシアを撃破
→アケメネス朝ペルシア滅亡
→その後，さらに軍を進めて西北インドにまで達する
→ギリシア・西アジア・エジプト・インダス川流域に至る大帝国を築く

前 323 年　アレクサンドロス急死
ディアドコイ（後継者）を称する部下の将軍たちによる領土争い
→〔　　　　　　　　　　〕**朝マケドニア**・〔　　　　　　　〕**朝シリア**・〔　　　　　　　　　　〕**朝エジプト**などに分裂

※アレクサンドロスの東方への遠征からプトレマイオス朝エジプトの滅亡までの約 300 年間を〔　　　　　　　〕時代という。

アレクサンドロスの東征とヘレニズム３王国

まとめ　アテネとスパルタの対立とペロポネソス戦争，以降の内戦によりポリス社会が衰退していった。
アレクサンドロスが東方へ遠征したことが，ヘレニズム時代の幕開けであった。

Chapter2　古代ギリシア・ヘレニズムの文化

目標　古代ギリシアの哲学がのちの世にどのような影響を与えたか知ろう。
ヘレニズム世界では特にどのような学問が発展したか学ぼう。

1　古代ギリシアの文化

市民が対等に議論するポリス社会は，ギリシアに合理的で人間中心の文化を生み出した。

①文学：ギリシア人が信仰した〔　　　　　　　　　　　　　　〕の神々と人間が関わりあう叙事詩

A　〔　　　　　　　　〕『イリアス』『オデュッセイア』

B　**ヘシオドス**『神統記』『労働と日々』の叙事詩

②演劇：特に民主政期のアテネではポリスに建てられた劇場で盛んに演劇が上演された

A　**アイスキュロス**，**ソフォクレス**，**エウリピデス**（三大悲劇詩人）

B　**アリストファネス**（喜劇詩人）

③哲学：自然現象を合理的に説明しようとする**自然哲学**

A　**タレス**（万物の根源は水）

B　**ピタゴラス**（ピタゴラスの定理），ヘラクレイトス（万物の根源は火），**デモクリトス**（万物の根源は原子）など

C　直接民主政の発達により，弁論術の教師〔　　　　　　　　　　〕が現れる

D　〔　　　　　　　　　　〕が問答法により真理の絶対性を説く「無知の知」

→それを受け継いだ〔　　　　　　　　〕（イデア論），その弟子の**アリストテレス**（万学の祖）

※アリストテレスの哲学はイスラームや中世ヨーロッパのスコラ学に大きな影響を与えた。

④歴史：**ヘロドトス**，**トゥキディデス**

⑤建築・美術：アテネの〔　　　　　　　　　　〕神殿，**フェイディアス**（彫刻）

2 ヘレニズム世界の文化

ヘレニズム時代，東方に広まったギリシア文化にオリエント文化などが融合して〔　　　　　　　　　　　〕が生まれた。

①各地にギリシア風の都市が建設されてギリシア人が移住し，ギリシア語が共通語（〔　　　　　　　〕）となり，オリエントやギリシアの諸科学が集まり，特に自然科学が発達

A　**エウクレイデス**（ユークリッド / 平面幾何学）

B　**アルキメデス**（浮体の原理など）

C　**アリスタルコス**（地球の自転と公転を指摘）

D　エラトステネス（地球の子午線の長さを測定）

②アレクサンドロスが建設したエジプトの〔　　　　　　　　　　　　　〕は，プトレマイオス朝エジプトの首都となりヘレニズム世界最大の都市に成長

③王立研究所（〔　　　　　　　　　〕）では自然科学や人文科学が研究された

④ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とする**世界市民主義**（コスモポリタニズム）や，個人を重んじる個人主義の思想が生まれた

A　エピクロスによる精神的快楽を求める〔　　　　　　　　　　〕

B　ゼノンによる禁欲を重視する〔　　　　　　　　〕

⑤**ヘレニズム美術**は躍動感の表現が豊かでローマやインド・中国や日本にまで影響を与えた

ラオコーン

まとめ

アリストテレスは「万学の祖」と呼ばれ，のちのイスラームや中世ヨーロッパのスコラ学に大きな影響を与えた。
ヘレニズム世界では，オリエントやギリシアの科学を融合させた自然科学が発展した。

第 2 講　PART3　確認問題

1　前 431 年にアテネとスパルタの対立からおこった戦争は何か。

①　ペルシア戦争　②　サラミスの海戦
③　ペロポネソス戦争　④　マラトンの戦い

2　前 4 世紀後半からフィリッポス 2 世により強国となったギリシア北方の国はどこか。

①　トロイア　②　マケドニア
③　シリア　④　ミケーネ

3　アレクサンドロスがペルシア討伐のために行った軍事的行動を何というか。

①　イッソスの戦い　②　アルベラの戦い
③　西方遠征　④　東方遠征

4　アレクサンドロスの遠征からプトレマイオス朝の滅亡までの約 300 年間を何というか。

①　ヘレニズム時代　②　オリエント時代
③　マケドニア時代　④　ディアドコイ時代

5　ギリシア人の民族意識に強い影響を与えた英雄叙事詩『イリアス』の作者はだれか。

①　ヘシオドス　②　ソフォクレス
③　アリストファネス　④　ホメロス

6 プラトンの弟子で「万学の祖」とも呼ばれるギリシアの哲学者はだれか。

① タレス　② ヘロドトス
③ アリストテレス　④ ソクラテス

7 ヘレニズム時代に経済や文化の中心となったプトレマイオス朝の首都はどこか。

① アテネ　② アレクサンドリア
③ ペルセポリス　④ メンフィス

8 ゼノンが創始した禁欲と理性を重んじたヘレニズム哲学の一派は何か。

① ストア派　② イオニア学派
③ ピタゴラス学派　④ エピクロス派

第２講　【古代編】西アジアと地中海世界の特質

PART4 古代ローマ世界１

Chapter1　都市国家ローマの発展と地中海の統一

目標　ローマ共和政の身分闘争はどのように決着したのだろうか。
ポエニ戦争の目的は何であったのか理解しよう。

1　共和政ローマの政体

①前 10 世紀頃　イタリア半島にインド＝ヨーロッパ語系民族（古代イタリア人）が移住

→**ラテン人**は半島中西部に定住し，**ティベル**河畔に都市国家〔　　　　　　〕を建設

②前６世紀末　ローマから先住民**エトルリア人**の王を追放

③ローマの共和政

A　**貴族**（〔　　　　　　　　〕）から，任期１年で２名の執政官〔　　　　　　　　〕が選ばれ政治・軍事を統括

B　公職経験者の貴族からなる〔　　　　　　〕が最高決定機関

※実質的には元老院が指導権を維持し，非常時には**独裁官（ディクタトル）**が独裁権を行使できた。

C　**平民**（〔　　　　　　　　〕）は**中小農民**からなり，全市民による民会には参加できたが政治的影響力は小さかった→重装歩兵として国防を行った

2　身分闘争の変遷

前５世紀初め　元老院やコンスルの決定に拒否権を持つ平民による〔　　　　　　〕と，平民だけで構成される〔　　　　　　〕の設置

前５世紀半ば　〔　　　　　　　　〕を制定
→法知識を独占していた貴族に対して慣習法を成文化して公表

前 367 年　**リキニウス・セクスティウス法**を制定→コンスルの１名は平民から選出

前 287 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を制定
→平民会での決議は元老院の承認なしに国法とされ，平民と貴族の法律上の権利は同等となる

※有力な貴族と上層の平民が政権を独占し，新しい貴族（**ノビレス**）と呼ばれた。

3 ポエニ戦争

ローマは対外進出に力を注ぎ，周辺の都市国家を次々に征服していった。

①前３世紀前半　全イタリア半島を支配

　A　ローマは征服した都市と個別に異なった条件で同盟を結ぶ，

　　巧妙な〔　　　　　　　　　〕で反乱を防いだ

　　→植民市，自治市，同盟市に分けて待遇に差

　B　海上では地中海西方を支配していた〔　　　　　　　　　〕と衝突

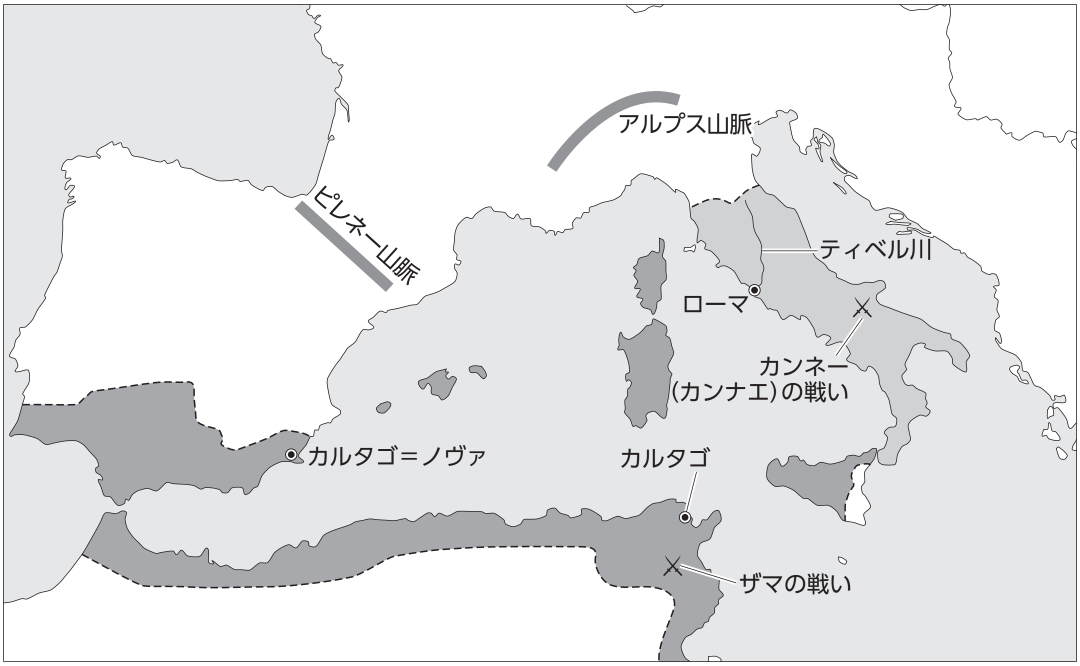
　　→３回にわたる**ポエニ戦争**をおこす

②前 264 年～前 241 年　第１回：ローマが勝利し，シチリア島獲得

③前 218 年～前 201 年　第２回：カルタゴの将軍〔　　　　　　　　　　　〕のイタリア半島侵入

　前 202 年の**ザマの戦い**で，ローマの将軍**スキピオ**がカルタゴ軍に勝利→カルタゴ降伏

④前 149 年～前 146 年　第３回：ローマがカルタゴを滅ぼして西地中海の覇権を握る



ポエニ戦争

まとめ　ホルテンシウス法で平民会の決議が国法とされると，貴族と平民の法的平等が達成された。
ポエニ戦争はローマとカルタゴの地中海の覇権争いであった。

Chapter2　ローマ共和政の変容と「内乱の 1 世紀」

目標　ローマの共和政はどのように変化したのだろうか。
「内乱の 1 世紀」の経緯を知ろう。

1　ローマ共和政の変容

ローマは第 1 回ポエニ戦争でシチリア島を獲得して以降，イタリア半島以外の占領地を次々に**属州**として支配した。

①属州の自治は許されず，ローマに任命された総督（元老院貴族）が軍隊で統治

②属州民は納税と軍事的義務を負わされ，徴税は**騎士**（〔　　　　　　　　〕）が請け負う

③征服戦争の主力として従事したローマの中小農民が没落すると，属州からの富を独占した元老院貴族と騎士は農地を買い集め，戦争捕虜を**奴隷**として使役する

〔　　　　　　　　　　　　〕（大土地所有制）が広まった

→新貴族（ノビレス）として新しい支配階層となった

④属州からの安価な穀物の流入は中小農民に打撃を与え，平民（中小農民）の没落が進み，市民間の経済格差が広がった

→土地を失った中小農民が無産市民となり都市ローマに流入

「パンと見世物」を要求

→市民の平等を原則とするローマの共和政は不安定になり，

元老院の支配を守ろうとする〔　　　　　〕と，

無産市民や騎士が支持する〔　　　　　〕に分かれて争うようになった

2　「内乱の 1 世紀」と地中海の平定

軍の主力である農民の没落は，軍事力と共和政の基盤をゆるがした。

前 2 世紀後半　〔　　　　　　　　　　　　〕の改革（前 133 年～前 121 年）

兄弟があいついで護民官に選ばれ，大土地所有者の土地を没収し，無産市民に再分配して中小農民の再建を目指した

→元老院と対立して失敗。政治的な対立による内乱が続き「**内乱の 1 世紀**」に突入

前 1 世紀前半　平民派マリウスと閥族派スラが激しく対立

A　イタリア半島の同盟市がローマ市民権を求めて反乱をおこす

B　剣闘士（剣奴）〔　　　　　　　　　　〕に率いられた奴隷反乱がおこる

→反乱を鎮圧した**ポンペイウス**が台頭し，元老院と対立

前60年　第1回〔　　　　　　　　〕:〔　　　　　　　　　　　　〕，平民派の〔　　　　　　　　〕，大富豪のクラッススが盟約を結んで政権を握る

前46年　カエサルが**ガリア**遠征に成功して主導権を握り，クラッススが戦死すると，対立したポンペイウスを倒して全土を平定→独裁官（ディクタトル）となり，属州の徴税請負人の廃止など社会の安定化に努めたが，**終身独裁官**に就任すると共和派の**ブルートゥス**らにより暗殺（前44年）

前43年　第2回三頭政治：カエサルの部下〔　　　　　　　　　　　〕，カエサルの養子〔　　　　　　　　　　　　　　〕，**レピドゥス**が再び盟約を結んで閥族派をおさえた

前31年　オクタウィアヌスはプトレマイオス朝の女王**クレオパトラ**と結んだアントニウスを〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕で破り，プトレマイオス朝は滅亡しローマの属州となる→地中海はローマによって統一

地中海全域の勢力図

まとめ

ラティフンディアからの安価な穀物の流入で中小農民が没落し，属州経営で富裕化した新貴族や騎士が台頭した。
グラックス兄弟の改革からはじまり，有力者が私兵を囲って抗争したが，オクタウィアヌスによって地中海は統一された。

第 2 講　PART4　確認問題

1 ローマ共和政で実質的な支配権を持っていた公職経験者の貴族による会議は何か。

① 僭主　② 民会
③ 元老院　④ 貴族院

2 前 5 世紀初めに設置された元老院やコンスルの決定に拒否権を持つ平民による官職は何か。

① 護民官　② 執政官
③ 独裁官　④ 裁判官

3 前 287 年に制定された, 元老院の承認なしに平民会での決議が国法となる法律は何か。

① 市民法　② リキニウス・セクスティウス法
③ 十二表法　④ ホルテンシウス法

4 前 3 ～前 2 世紀にかけてローマとフェニキア人の植民市カルタゴとの間で行われた戦争は何か。

① ペロポネソス戦争　② ポエニ戦争
③ シケリア戦争　④ イタリア戦争

5 ローマの拡張期に，没落した農民の土地や征服地などで行われた，奴隷を使った大規模な農業経営を何というか。

① オストラシズム　② 奴隷制
③ ラティフンディア　④ コロナトゥス

6 前2世紀後半に農民の没落を防ぐために護民官となり，改革を実行しようとして失敗したのはだれか。

① マリウス　② グラックス兄弟
③ スラ　④ スパルタクス

7 第1回三頭政治に参加した後，終身独裁官に就任すると暗殺された政治家はだれか。

① ポンペイウス　② クラッスス
③ カエサル　④ ブルートゥス

8 第2回三頭政治に参加したオクタウィアヌスが，アントニウスを破った戦いは何か。

① アクティウムの海戦　② ザマの戦い
③ カイロネイアの戦い　④ サラミスの海戦

第２講　【古代編】西アジアと地中海世界の特質

PART5 古代ローマ世界２

Chapter1　帝政ローマと「パクス=ロマーナ」

目標　アウグストゥスにはじまる元首政の特徴を理解しよう。
ローマ帝国はいつ最盛期を迎えたのだろうか。

1　ローマ帝国の成立と元首政

オクタウィアヌス

①前 27 年　元老院から〔　　　　　　　　〕（尊厳者）の称号を与えられる

②「**市民の第一人者（プリンケプス）**」を自称し，共和政の制度を尊重して元老院とも協調した→しかし，実際には軍の最高司令官・執政官・護民官も兼任する皇帝独裁で，ローマは〔　　　　〕となった

※共和政を尊重する帝政を〔　　　　　〕（プリンキパトゥス）と呼ぶ。

2　五賢帝時代

①オクタウィアヌスからはじまる約 200 年間のローマの繁栄と平和の時代を「〔　　　　　　　　〕」（パクス＝ロマーナ）と呼ぶ

②２世紀には〔　　　　　〕と呼ばれる有能な５人の皇帝によって最盛期を迎えた

A　**ネルウァ**（在：96 年～98 年）

B　〔　　　　　　　　〕（在：98 年～117 年）→ローマの領土が最大になり，北はブリテン島から南はサハラ砂漠，西はイベリア半島から東はティグリス川まで達した

C　**ハドリアヌス**（在：117 年～138 年）帝国の領域を維持。ブリタニアに長城を建設

D　**アントニヌス＝ピウス**（在：138 年～161 年）

E　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕
（在：161 年～180 年）哲人皇帝『自省録』

③下層市民に食料と娯楽を提供し社会の安定を図る（「**パンと見世物**」）

④各地に建設されたローマ風の都市を通じて属州を支配→都市の上層市民に〔　　　　　　　　〕を与え，支配に貢献させた

⑤東西交易が活発になり，**季節風貿易**により中国・東南アジア・南アジアから絹や香辛料を輸入し，ガラス器や金貨を輸出

→インド洋の季節風（モンスーン）を利用した貿易で，南インドまで海上交易が拡大

ローマ帝政最大領域

まとめ

アウグストゥスは軍事権の掌握など事実上の皇帝独裁をはじめたが，「市民の第一人者」を自称し，共和政の制度を尊重した。

２世紀を中心に，五賢帝と呼ばれる５人の皇帝の時代にローマは最盛期を迎えた。

Chapter2　古代ローマの終焉

目標
「３世紀の危機」とはどのような事態であったのか学ぼう。
ローマの政治体制は元首政からどのように変わっていったか。

1 軍人皇帝時代と「３世紀の危機」

「ローマの平和」も最後の五賢帝の治世末期頃から，財政問題や経済不振があらわになる。

①212年　**カラカラ帝**のときに帝国領内の全自由人に**ローマ市民権**が与えられた
　→ローマ人と外国人の区別がなくなり，属州などではローマに対する忠誠心は薄れた

②３世紀　軍人出身の皇帝が次々に現れる〔　　　　　　　　　　〕となった
　→235年から284年の**ディオクレティアヌス帝**の即位までの約50年間に26人の皇帝が乱立
　A　北方のゲルマン人や東方のササン朝ペルシアの侵入による混乱も発生
　　→内乱や外圧による社会不安は「〔　　　　　　　　　　〕」と呼ばれる
　B　生産体制の変化
　　あ　帝政期にはすでに有力者が，小作人〔　　　　　　〕に農地を貸して耕作させる小作制コロナトゥスが広がっていた
　　い　３世紀の内乱や異民族の侵入に対して，軍隊維持のために重税を課された都市が衰退
　　　→富裕層は都市から逃げ出した下層市民を小作人として働かせたので，小作制が従来のラティフンディアに取って代わった
　　　→中世の農奴制の先駆け

2 ローマ帝国の東西分裂

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（在：284年～305年）
　A　２人の正帝と２人の副帝が分担して東西の帝国を統治する
　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕により政治を安定
　B　行政・財政・軍事など，さまざまな分野で改革を実施し帝国分裂の危機を回避
　C　皇帝崇拝を行い，元老院を無力化すると以降の政治体制は元首政から
　　〔　　　　　　　　　〕（ドミナトゥス）となった
　　→皇帝を神と崇拝しない**キリスト教徒の迫害**を命じる

②［　　　　　　　　　　　］帝（在：306 年～337 年）→ディオクレティアヌス帝の改革を受け継ぐ

A　帝国全土に拡大していたキリスト教を［　　　　　　　　］（313 年）により公認

B　小作人（コロヌス）の移動の自由を禁止するなど，身分や職業を固定化

C　330 年　ビザンティウムに新しい首都を建設して**コンスタンティノープル**と改称

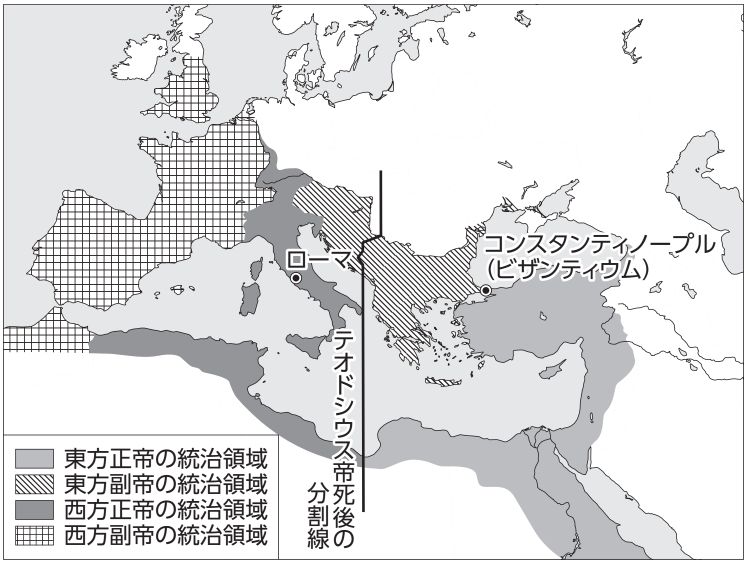
D　官僚体制を整備し，ソリドゥス金貨を発行して交易の活性化を促進

※ 375 年の西ゴート族の南下をきっかけにゲルマン人が帝国内に大移動をはじめた。

③**テオドシウス帝**（在：379 年～395 年）

A　392 年 ［　　　　　　　　］を**国教**と定める。

B　395 年　帝国を［　　　　　　　］**帝国**（ビザンツ帝国）と［　　　　　　　］**帝国**に分割



ローマの分裂

まとめ

軍人皇帝が乱立し，内乱や外圧により社会が不安定に陥ったことを「3 世紀の危機」と呼ぶ。

ローマはディオクレティアヌス帝により四分統治・専制君主政がはじまり，東西分裂へのきっかけとなった。

第2講 PART5 確認問題

1 前27年にオクタウィアヌスが元老院から与えられた「尊厳者」の意味を持つ称号は何か。

① インペラトル　② プリンケプス
③ アウグストゥス　④ ディクタトル

2 オクタウィアヌスによってはじまった，プリンキパトゥスともいわれる「市民の第一人者」によるローマの統治体制は何か。

① 帝政　② 共和政
③ 君主政　④ 元首政

3 オクタウィアヌス以降,「ローマの平和（パクス＝ロマーナ)」が続いたのは約何年か。

① 50年　② 100年
③ 200年　④ 300年

4 ローマに空前の繁栄と平和をもたらした2世紀の五賢帝の時代，その領土が最大となった時の皇帝はだれか。

① トラヤヌス帝
② ハドリアヌス帝
③ アントニヌス＝ピウス帝
④ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝

5 3世紀におこった，約50年間に26人の皇帝が乱立した時代を何というか。

① 五賢帝時代　② 軍人皇帝時代
③ 四分統治　④ 内乱の1世紀

6 帝政期から広がった，有力者が解放奴隷や没落した農民を小作人として使用する所領経営は何か。

① ヘイロータイ　② ラティフンディア
③ アシエンダ　④ コロナトゥス

7 ディオクレティアヌス帝以降, 皇帝の地位が大きく高められた政治体制を何というか。

① 専制君主政　② 帝政
③ 絶対君主政　④ 神権政治

8 395年に帝国を東ローマ帝国（ビザンツ帝国）と西ローマ帝国に分割した皇帝はだれか。

① マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝
② ディオクレティアヌス帝
③ コンスタンティヌス帝
④ テオドシウス帝

第 2 講 【古代編】西アジアと地中海世界の特質
PART6 古代ローマ世界 3

Chapter1 キリスト教の成立とローマ

目標
キリスト教はどのように成立していったのだろうか。
キリスト教はローマ帝国とどのような関わりがあったのだろうか。

1 キリスト教の成立

1 世紀初め頃ローマの支配下にあったパレスチナで，権威主義と戒律主義に陥っていた〔　　　　　　　〕を批判し，**神の愛**と**隣人愛**を説き，神の国の到来を約束した〔　　　　　〕。

①救世主の誕生

人々はイエスを**救世主**（メシア，ギリシア語で**キリスト**）と信じるようになる

②処刑

ユダヤ教の祭司や律法の厳守を重んじる**パリサイ派**が，イエスをローマに対する反逆者であるとローマの総督**ピラト**に告発

→ 30 年頃，イエスは処刑された

③イエスの復活

A　弟子たちによってイエスの復活という信仰が生まれ，イエスを救世主とする〔　　　　　　　〕が成立

→**ペテロ**や**パウロ**などの使徒による布教がはじまった

※ペテロはのちに「初代ローマ教皇」とされ，パウロは異邦伝道を行った。

B　1 世紀末頃から，教典となる〔　　　　　　　　　　〕の原型も整えられ，ローマ帝国内の各地に〔　　　　〕がつくられ，次第にキリスト教徒の数も増えていった

『最後の晩餐』

2　キリスト教とローマ帝国

ローマ帝国は諸宗教に寛容だったので，初期のキリスト教の伝道やキリスト教徒に対する迫害は**ネロ帝**（在：54年〜68年）の迫害などを除いて少なく，下層市民や女性を中心に帝国全土に広まっていった。

→３世紀から政治の混乱，皇帝崇拝が強化される時代になり，唯一絶対神を信じるキリスト教徒に対する圧力が強まった

303年　「３世紀の危機」を収拾した**ディオクレティアヌス帝**による大迫害

→しかし，キリスト教は全土に拡大を続けた

313年　**コンスタンティヌス帝**が〔　　　　　　　　　　〕でキリスト教を公認

→キリスト教は帝国との結びつきを深め，急速に勢力を強めた

325年　コンスタンティヌス帝が〔　　　　　　　　　　　　　〕を招集し，

アタナシウス派が正統教義，**アリウス派**が異端とされた

※アタナシウス派はイエスと神を同一とし，アリウス派はイエスの人性を強調した。

392年　**テオドシウス帝**によりアタナシウス派**キリスト教**が〔　　　　〕化された

→司教・司祭などの聖職者身分が成立，教会の組織化が進んだ

※その後も**アウグスティヌス**ら〔　　　　〕たちにより教義論争が続いた。

431年　**エフェソス公会議**で，キリストの神性と人性を分離するものとして**ネストリウス派**が異端とされた

※ネストリウス派はイエスの人性と神性の分離を強調。のちに，ネストリウス派はササン朝ペルシアを経て中国に伝わり，景教と呼ばれた。

451年　**カルケドン公会議**で，アタナシウス派が唱えたキリストと神の同一に聖霊を加えた〔　　　　　　　　　　〕が正統教義として確立

まとめ

イエスが処刑された後，弟子たちがイエスの復活を信じ，キリスト教の教えとした。
キリスト教は歴代皇帝による迫害を受けたが，拡大を続けたことによりミラノ勅令で公認され，テオドシウス帝の時代には国教とされた。

Chapter2　古代ローマの社会と文化

目標　古代ローマの文化で現代にも通ずるものは何だろうか。
ギリシア文化を土台としたローマ文化が，独自に発展させたものを理解しよう。

1　古代ローマの文化

ギリシア文化やヘレニズム文化に強く影響を受けたローマ文化が，帝政時代に地中海全域に広まった。

①文字　ギリシア文字からつくられた〔　　　　　　　　　　〕が各地で使用された
　→今日でもヨーロッパの大多数の言語に用いられている

②言語　ローマ人が話した**ラテン語**が公用語として帝国内で使用された
　→近代まで教会や学術で共通の文語として使われていた
　→現在のフランス，イタリア，スペインなど，全てのロマンス諸語の母体となった。
　　文芸でもラテン語による文学作品が発達した

③暦　前1世紀に**ユリウス暦**がカエサルによって制定された
　→ 1582年に現在のグレゴリウス暦（西暦）に改訂されるまで使用された

④文学　**ウェルギリウス**（前70年～前19年）『**アエネイス**』

⑤歴史・地理
　A〔　　　　　　　　〕（前100年～前44年）『**ガリア戦記**』
　B〔　　　　　　　　　　〕（前59年～後17年）『**ローマ建国史**』
　C〔　　　　　　　　　　〕（55年頃～120年頃）『**ゲルマニア**』
　D〔　　　　　　　　　　　〕（46年頃～120年頃）『**対比列伝**』

⑥哲学・思想
　A〔　　　　　　〕（前106年～前43年）雄弁家，ラテン語の散文
　B　セネカ（前4年頃～後65年）ストア派の学者，ネロ帝の師

⑦自然科学
　A　**プリニウス**（23年頃～79年）『博物誌』
　B〔　　　　　　　　　　　　　　〕（2世紀）天動説を主張

2　古代ローマの社会

ローマ人がすぐれた実用性を発揮して帝国支配に応用した能力は，土木・建築技術や法律に象徴される。

①土木・建築

A　街道網で結ばれた帝国各地には，**アーチ構造**を用いた石積み建築によるローマ風の都市が建設

B　都市は上層市民による自治で運営され，公衆浴場や上水道，競技場，劇場をはじめ公共施設が整備

C　ローマ市内の**コロッセウム**（円形競技場）では，「**パンと見世物**」を楽しみに生きる下層市民のために戦車競走や剣闘士競技などが開催

※政治家や皇帝，富裕者が民衆に対して保護者としての権威を示し，その統治を正当化する古代ローマ社会の一面でもあった。

コロッセウム

ガール水道橋

②法律

共和政期に制定された十二表法以来発展させてきた〔　　　　　　　　〕は，
本来，ローマ市民を対象とする市民法だったが，ローマの支配圏拡大に伴い，
帝国に住む全ての人々に適用される〔　　　　　　〕に成長
→６世紀に東ローマ帝国のユスティニアヌス帝が，法学者トリボニアヌスらに編さんさせた〔　　　　　　　　　　　　〕は，のちにヨーロッパ社会の法体系の規範となった

まとめ

特にラテン文字などは現代でも使用されており，また公用語のラテン語が全てのロマンス諸語の母体となった。
各地に実用的なローマ風の建築物を遺したほか，法体系がのちのヨーロッパの法規範となった。

第2講　PART6　確認問題

1　２～４世紀には現在の形に成立したとされる，キリスト教の教典は何か。

① 旧約聖書　② リグ＝ヴェーダ
③ アヴェスター　④ 新約聖書

2　３世紀の政治的混乱を収拾した皇帝で，皇帝崇拝を拒むキリスト教徒に大規模な迫害を命じたのはだれか。

① ディオクレティアヌス帝　② ウァレリアヌス帝
③ カラカラ帝　④ ハドリアヌス帝

3　313年にコンスタンティヌス帝によって出されたキリスト教を公認した命令は何か。

① ナントの王令　② ミラノ勅令
③ 聖像禁止令　④ アントニヌス勅令

4　325年にコンスタンティヌス帝が招集した教義統一のための会議は何か。

① エフェソス公会議　② カルケドン公会議
③ ニケーア公会議　④ クレルモン公会議

5　もともとは古代ローマ人が使い，ローマ帝国の拡大に伴って地中海全域に広がった言語は何か。

① ラテン語　② コイネー
③ イタリア語　④ フェニキア語

6 ギリシア・ローマの英雄的人物を比較評論した『対比列伝』の著者として知られる歴史家はだれか。

① ホメロス　② ヘロドトス
③ タキトゥス　④ プルタルコス

7 80 年に完成し，現在もローマに残る市民に娯楽を提供するための建築物は何か。

① パンテオン　② コロッセウム
③ 凱旋門　④ カタコンベ

8 6 世紀に編さんされた，ある法律の集大成といわれる法典は何か。

① 教会法大全　② 万民法
③ ローマ法大全　④ ナポレオン法典

第3講 【古代編】南アジア・東南アジアと南北アメリカの特質
PART1 古代インドの王朝１

Chapter１　バラモン教の内部改革と仏教・ジャイナ教の成立

目標　バラモン教の腐敗に対する改革運動を理解しよう。
仏教とジャイナ教の共通点を学ぼう。

1　バラモン教の腐敗と改革運動

①バラモン教のおこり

インドに侵入した〔　　　　　　　　〕人の自然崇拝からおこった多神教

→『〔　　　　　　　　〕』を聖典として成立

A　アーリヤ人が先住民を征服していくなかで，祭祀を司る**バラモン**を最上位とする身分秩序である**ヴァルナ制**が南アジアの社会基盤であった

B　**ガンジス**川流域で農業生産の拡大にともない商業活動が活発となり，前６世紀頃から中・下流域に城塞を持つ都市国家が多数生まれた

→バラモンより身分の低い武士階層**クシャトリヤ**と商業に従事する**ヴァイシャ**が台頭

②バラモン教の改革運動

バラモン教の形式的な祭式至上主義を批判する改革運動がおこり，人間の内面を深く考察した〔　　　　　　　　　　〕哲学が生まれた

※生命は死と再生を永遠に繰り返し(〔　　　　　　　〕),来世は現世の行い(**業・カルマ**)で決まると考え，宇宙の本体である**梵**（〔　　　　　　　　　〕）と人間の本質である**我**（〔　　　　　　　　　〕）が究極において同一（**梵我一如**）であることを悟ることで**輪廻**から**解脱**（げだつ）できると説いた。

2 仏教・ジャイナ教の成立

前５世紀頃　バラモン教の権威やヴァルナ制を否定した２つの宗教が生まれた

①仏教

〔　　　　　　　　　　　　　〕（**ブッダ**）が開祖

A　四諦（４つの真理）

心の内面から人々の悩みを解くことを重視し，人生の苦を解決するための真理

B　**八正道**

正しい行いの方法

C　ガンジス川中流から布教が始まり，クシャトリヤやヴァイシャ層にも広がった。出家した信者は仏教教団（サンガ）をつくり，在家信者も増えていった

サーンチの仏塔

②ジャイナ教

〔　　　　　　　　　　〕が開祖

禁欲的な苦行と徹底的な不殺生により解脱を得ると説かれ，主に商人のヴァイシャ層に多くの信者を得た

いずれの新宗教も祭式を行うだけで最高位の身分であるバラモンに不満

→都市国家を運営するクシャトリヤや経済を担うヴァイシャ（商人）たちから支持される

まとめ

バラモン階級が腐敗するとウパニシャッドの思想が生まれ，輪廻からの解脱が目指された。

仏教もジャイナ教も，バラモン教を否定し，クシャトリヤやヴァイシャに支持された。

Chapter 2　マウリヤ朝のインド統一

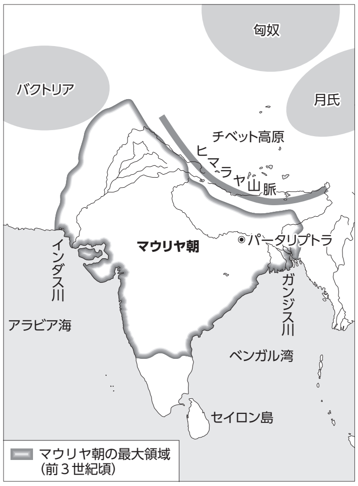
目標　マウリヤ朝が成立した背景を理解しよう。
アショーカ王の事績に影響を与えた宗教は何だったのだろうか。

1　マウリヤ朝の成立

前 6 世紀頃から　ガンジス川流域で城塞都市を持つ王国が多数分立
→**コーサラ国**を前 5 世紀に滅ぼした〔　　　　　　　　〕が，北インド最大の勢力となった

前 330 年　インダス川流域にまで進出していたアケメネス朝ペルシアが**マケドニア**の〔　　　　　　　　　　　〕大王の**東方遠征**によって滅ぼされた
→大王によって西北インドは制圧されたが、これをきっかけにインドの政治的統一が進められた

前 317 年頃　マガダ国の武将だった〔　　　　　　　　　　　　〕**王**（在：～前 296 年頃）が，ガンジス川中流域の**パータリプトラ**を首都とする〔　　　　　　　　　〕を建国
→インダス川流域のギリシア勢力を排して西南インド・デカン高原にも進出し，インド初の大帝国を形成



マウリヤ朝最大領域

2　アショーカ王の治世

①前３世紀中頃，マウリヤ朝は第３代〔　　　　　　　　　　　　〕の時代に
インド最初の統一王朝となった

②王は国土拡大のための征服活動による虐殺行為を悔い，〔　　　　　〕へ帰依

A　不殺生，慈悲などの守るべき〔　　　　　　〕（法，社会倫理）を理念とした統治

B　領内各地にダルマの詔勅を刻んだ磨崖（碑）・石柱（碑）を建造

C　仏教教団**サンガ**の保護

D　仏典の編さん（**第３回仏典の結集**）

E　スリランカ（セイロン島）への布教

③王の死後，仏教優遇へのバラモンの反発，財政難などで急速に衰退

アショーカ王の石柱碑

まとめ

アレクサンドロス大王の東方遠征によるインドの混乱から，マウリヤ朝が成立しインド初の統一王朝となった。
アショーカ王は仏教に帰依し，ダルマ（法）による社会統治を目指した。

第３講　PART１　確認問題

1　バラモン教の身分制であるヴァルナ制においてバラモンの次の武士階層を何というか。

①　シュードラ　　②　ヴァイシャ
③　クシャトリヤ　　④　カースト

2　バラモン教の改革運動から生まれた人間の内面を深く考察した哲学は何か。

①　ヴァルナ　　②　アヴェスター
③　ヘレニズム　　④　ウパニシャッド

3　仏教を開いたのはだれか。

①　アショーカ　　②　ガウタマ＝シッダールタ
③　ナーガールジュナ　　④　カーリダーサ

4　ヴァルダマーナが開いた宗教は何か。

①　ゾロアスター教　　②　マニ教
③　ヒンドゥー教　　④　ジャイナ教

5　ガンジス川中流域で前５世紀にコーサラ国を滅ぼして北インド最大の勢力となった国はどこか。

①　マガダ国　　②　メディア王国
③　カリンガ国　　④　バクトリア王国

6 前４世紀末にパータリプトラを首都とするマウリヤ朝を建てた王はだれか。

① クリシュナ　② ブッダ
③ チャンドラグプタ　④ シヴァ

7 マウリヤ朝をインド最初の統一王朝とした第３代の王はだれか。

① ラーマ　② アショーカ
③ ヴィシュヌ　④ サムドラグプタ

8 マウリヤ朝第３代の王が帰依した宗教は何か。

① バラモン教　② ヒンドゥー教
③ 仏教　④ ジャイナ教

第3講 【古代編】南アジア・東南アジアと南北アメリカの特質

PART2 古代インドの王朝2

Chapter 1　クシャーナ朝と大乗仏教の展開

目標
クシャーナ朝とほかの地域との関連性を理解しよう。
大乗仏教の特徴とその影響を学ぼう。

1　クシャーナ朝の成立

マウリヤ朝が衰退すると，西北インドではさまざまな民族や国家が興亡した。

後1世紀　〔　　　　　　〕から自立したイラン系の**クシャーン人**（クシャーナ族）が
バクトリア地方から進出し，〔　　　　　　　　　　　〕を建国

２世紀　王朝は最盛期を迎え，〔　　　　　　　　　　〕が**プルシャプラ**（現ペシャワール）
を都として中央アジアからガンジス川中流域までを支配
①王は仏教を保護し，第４回となる**仏典結集**を行った
②東西交易の中継で栄え，特に**ローマとの交易**では大量の金がインドにもたらされた
※クシャーナ朝が支配した中央アジアから西北インドは，陸路・海路とも東西交易の要衝にあった。

2　大乗仏教の成立と広がり

紀元前後　西北インドは政治的には不安定だったが，仏教は商人をはじめ都市に暮らす多くの人々が支持した
→同じ頃，保守・形式化した旧来の仏教（部派仏教）に対し改革運動がおこった

菩薩信仰

自己の悟りよりも衆生（命あるもの）救済が重要で，そのための修行者を菩薩として信仰する考え

①「大きな乗り物」の意味で〔　　　　　　　　　〕と自称

②これに対し，自らの悟りのみを目的とする旧来の仏教を小乗仏教（上座部仏教）とした

→菩薩信仰をもとにした大乗仏教の教理は，２～３世紀頃に**竜樹**

（〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕）によって体系化された

※竜樹が唱えた「空」の思想は，その後の仏教思想に大きな影響を与えた。

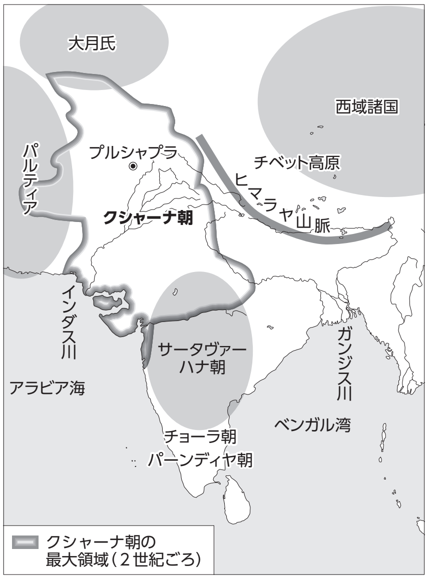
２世紀頃　クシャーナ朝の首都プルシャプラを中心とするガンダーラ地方を中心に，

ヘレニズム文化の影響を受けて〔　　　　　〕が制作されるようになる

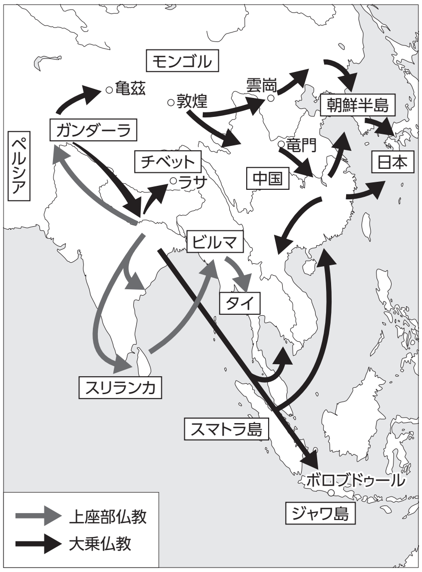
→のちに〔　　　　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれた

→クシャーナ朝の保護を受けた大乗仏教は，ガンダーラ美術とともに中央アジアから中国・朝鮮・日本へと伝わった

３世紀　クシャーナ朝は西部をイランのササン朝ペルシアに，東部を地方勢力に奪われ滅亡



クシャーナ朝の勢力範囲



仏教の広がり

まとめ

クシャーナ朝が支配した中央アジアから西北インドは，要衝にあったため東西交易で繁栄した。

菩薩信仰を特徴とする大乗仏教は，インドから中央アジア・中国・日本へ伝わった。

Chapter２　グプタ朝とヒンドゥー教の成立

目標
グプタ朝時代の文化の特徴を知ろう。
ヴァルダナ朝以降におこったインドの変化について考えよう。

1　グプタ朝の統治

４世紀前半　ガンジス川中流域でチャンドラグプタ１世が〔　　　　　　　〕**朝**を建国。
都はパータリプトラ

４世紀後半　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が北インドの大部分を統一し
最盛期を迎えた→分権的な統治体制

５世紀後半　地方勢力の台頭や，中央アジアの遊牧民**エフタル**の進出により衰退

６世紀半ば　グプタ朝滅亡

インド古典文化の黄金時代

①５世紀初め，中国（東晋）の僧，**法顕**がインドを訪れ『**仏国記**』を著した

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が設立され，仏教教学の中心として発展

グプタ朝勢力範囲

2 ヒンドゥー教の成立

①グプタ朝の時代，**バラモン教**に民間信仰や慣習が融合して〔　　　　　　　　　〕**教**が成立

A **シヴァ神**や**ヴィシュヌ神**などの神々を信仰する多神教

B ヴァルナごとの義務や生活規範を体系化した『〔　　　　　　　〕』が成立

②**サンスクリット語**が公用語化

A 戦争叙事詩『〔　　　　　　　　　　　　〕』と英雄叙事詩『〔　　　　　　　　　　〕』の二大叙事詩→ヒンドゥー教の聖典

B 詩人・劇作家の**カーリダーサ**による戯曲『**シャクンタラー**』
→サンスクリット文学の代表作

C インド数字・十進法・〔　　　　〕**の概念**
→イスラーム圏からヨーロッパに伝わり近代科学の発展の基礎となった

D インド西部の〔　　　　　　　　　　〕**石窟寺院**
→**グプタ様式**の代表作とされ，中国・朝鮮・日本にも影響を与えた

3 ヴァルダナ朝とインド分立時代

７世紀前半 **ハルシャ王**が〔　　　　　　　　　　〕を建国し，グプタ朝滅亡後の北インドを統一
→支配者の多くはヒンドゥー教のほか仏教やジャイナ教も保護

①中国（唐）の僧**玄奘**がナーランダー僧院で仏教を学び『大唐西域記』を著した

②７世紀後半に**義浄**がインドを訪れ『南海寄帰内法伝』を著した

８世紀から 13 世紀まで 北インドはヒンドゥー国家が分立して抗争する時代（**ラージプート**（王の子）**時代**）→**カースト**（ジャーティー）**制度**の基盤も成立

まとめ
二大叙事詩『マハーバーラタ』『ラーマーヤナ』が生まれるなど，グプタ朝時代にインドの文化的・民族的特徴が形成されていった。
ヴァルダナ朝以降，インド各地に諸王国が分立していった。

第３講 PART２ 確認問題

1 ２世紀半ばのクシャーナ朝全盛期の王はだれか。

① チャンドラグプタ　② アショーカ
③ クリシュナ　④ カニシカ

2 クシャーナ朝の都はどこか。

① パータリプトラ　② プルシャプラ
③ マトゥラー　④ ナーランダー

3 紀元前後に旧来の仏教に対して生まれた，衆生救済を目指した新しい仏教を何というか。

① 部派仏教　② 上座部仏教
③ 大乗仏教　④ 小乗仏教

4 ２世紀頃にプルシャプラを中心とした地方に発達した仏教美術を何というか。

① ガンダーラ美術　② カシミール美術
③ インド美術　④ チベット仏教美術

5 ４世紀前半にガンジス川中流域のマガダ地方におこり，第３代王の時に北インドの大部分を統一した王朝を何というか。

① ヴァルダナ朝　② グプタ朝
③ パーラ朝　④ チャールキヤ朝

6 ４世紀に北インドの大部分を統一した王朝が公用語化した言語はどれか。

① アッサム語　② ヒンディー語
③ サンスクリット語　④ ベンガル語

7 グプタ様式の代表作とされる壁画が数多く残る石窟はどこか。

① キジル石窟　② エローラ石窟
③ 雲崗石窟　④ アジャンター石窟

8 ７世紀前半のヴァルダナ朝時代にインドを訪れて仏教を学び，帰国後に『大唐西域記』を著した中国の僧はだれか。

① 法顕　② 玄奘
③ 義浄　④ 鳩摩羅什

第３講 【古代編】南アジア・東南アジアと南北アメリカの特質

PART3 南インドと東南アジアの古代王朝

Chapter１　南インドの王朝と海上交易

目標
南インドで交易が盛んであった理由を理解しよう。
南インド諸王朝の共通点を知ろう。

1　南インドとモンスーン交易

①航路

A　１世紀頃，アラビア半島とインドの間で，**季節風**（**モンスーン**）を利用した航海が確立

B　同じ頃，インドと中国とを結ぶ航路も開かれる
→この２つの航路によって〔　　　　　　　　〕が開けて活発に交易が行われる

C　インド洋に突き出した**南インド**は東西交易の重要地となった

②交易品

A　ローマ帝国時代の１～４世紀頃，インドからは胡椒・宝石・象牙などを輸出，
地中海世界からは大量の金貨・ガラス・金属細工・ワインなどを輸入

B　スリランカ・**扶南**（ベトナム南部からカンボジア）・**チャンパー**（ベトナム中部）・**シュリーヴィジャヤ**（スマトラ島・マレー半島）などが，香辛料・絹・茶・陶磁器などの交易によって栄える

③書物

１世紀中頃にエジプト在住のギリシア人が紅海・アラビア海・インド洋の航海案内書
『〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕』を著す

2　南インドの王朝国家

前１世紀　マウリヤ朝が衰退すると，南インドのデカン高原に〔　　　　　　　　　　〕系の〔　　　　　　　　　　　　　　〕が独立

→インド洋沿岸にかけて勢力を伸ばし，インド洋交易で栄える

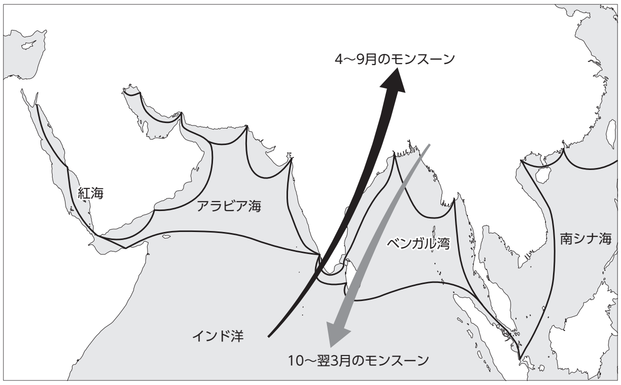
→半島南端部では，ドラヴィダ系**タミル人**王朝の〔　　　　　　　　　　〕，最南端部の**パーンディヤ朝**が，南インドの特産品である綿布など，重要商品の産出地として栄える

※パーンディヤ朝は独自のタミル文化を生んだことでも知られる。

※南インドにヒンドゥー教文化が広がると，６世紀半ば頃から，ヒンドゥー教のシヴァ神やヴィシュヌ神に対する熱烈な信仰がおこる。

〔　　　　　　　　〕**運動**が盛んになり，ジャイナ教や仏教を排除しながらインド全体にヒンドゥー教が定着する要因となった。

前３世紀　スリランカに進出していたアーリヤ系の**シンハラ人**に仏教が伝わり，**上座部仏教**（小乗仏教）の中心地となる



南アジアの海上交易

南インドの王朝

まとめ　南インドは地理的に航海上の要衝となったことで交易が栄えた。
サータヴァーハナ朝・チョーラ朝，パーンディヤ朝はいずれも海上交易で栄えた。

Chapter 2　東南アジアの地理と諸文明

目標
東南アジアの風土の特徴を考えよう。
東南アジアではどのように国家が形成されていったのだろうか。

1　東南アジアの地理

①**大陸部**

A　インドシナ半島→北部の山地から河川が平原に流れてデルタを形成

B　平原部は雨季と乾季のある熱帯サバナ気候

C　紅河（ホン河），メコン川，チャオプラヤ川，イラワディ川など大河川水系で結ばれ，多彩な言語系統の人々が入り組んで分布

②**諸島部**

A　インドネシア，フィリピンなどは主として年中雨量が多い熱帯雨林気候
→河川と海を水路として移動し，主に**マレー系**の諸言語を話す民族が往来
→インド洋と南シナ海にまたがる国際的な海上交易路と接続
→交易が拡大すると，多くの〔　　　　　　　　〕が生まれ，発展

B　前2000年紀には大陸部に稲作が伝わり，前1000年紀には諸島部にも及ぶ

2　東南アジア大陸部の古代王朝

①ベトナム北部

前４世紀頃　青銅器の**銅鼓**で知られる〔　　　　　　　　〕文化
※銅鼓は中国南部～東南アジアの広い地域に分布→交易が活発だったとわかる。

前214年　秦の始皇帝が**南海郡**などを設置→以降，中国王朝のベトナム支配が続く

1009年　**李朝**が独立。1054年に国号を**大越**国とする

②ベトナム中南部

２世紀末　チャム人が独立。中国名で**林邑**と呼ばれ，南シナ海で盛んに交易
→４世紀頃から「インド化」が進み，インド風の〔　　　　　　　　　　〕と自称

③カンボジア

１世紀末頃　メコン川下流に〔　　　　〕が成立→**オケオ**の遺跡の出土品から，東西交易の繁栄が示された

６世紀　内陸部のメコン川中流域に**クメール人**の**カンボジア**（**真臘**）が建国される

12世紀　仏教寺院の〔　　　　　　　　　　　　〕を造営

④ビルマ（ミャンマー）

9世紀まで　イラワディ川下流域に，ビルマ系の**ピュー人**の都市国家が栄えた

11世紀　ビルマ族の**パガン朝**がおこり，スリランカなどから上部座仏教が広まった

⑤タイ

7世紀　チャオプラヤ川下流域で，**モン人**の**ドヴァーラヴァティー王国**が栄える

13世紀半ば　タイ北部に**タイ人**最古の統一王朝〔　　　　　　　　　　〕がおこる

3　東南アジア諸島部の古代王朝

①スマトラ島

7世紀半ば　マレー人が東南部に〔　　　　　　　　　　　　　　〕王国を建国

→パレンバンを中心に海上交易の要衝として繁栄

7世紀後半　唐僧の**義浄**が南アジアへの往復途中に訪れ，大乗仏教の興隆を記す

②ジャワ島

8世紀後半　マレー人が島中部に大乗仏教国の**シャイレンドラ朝**を建て，

世界最大の仏教寺院の〔　　　　　　　　　　　〕を造営

→島中部の盆地ではジャワ人による**古マタラム王国**が生まれた

東南アジア

まとめ

大陸部にはベトナム，ラオス，カンボジア，タイ，ビルマ（ミャンマー）があり，諸島部にはマレー半島，スマトラ島がある。

各地域の民族が独自に国家を形成し，東西交易や海上交易により発展した。

第３講 PART３　確認問題

1　１世紀頃には開かれていた，地中海から南アジアを経由して中国に至る海上交易のルートを何というか。

①　シルクロード　　②　草原の道
③　海の道　　④　オアシスの道

2　１世紀頃のインド洋の季節風を利用した海上交易でローマ帝国からインドに大量にもたらされたものは何か。

①　胡椒　　②　宝石
③　綿布　　④　金貨

3　前１世紀のマウリヤ朝衰退後，南インドのデカン高原で独立した王朝は何か。

①　パーンディヤ朝　　②　サータヴァーハナ朝
③　チョーラ朝　　④　チャールキヤ朝

4　スリランカで前３世紀頃に上座部仏教を受容したアーリヤ系の民族は何か。

①　シンハラ人　　②　クシャーナ族
③　タミル人　　④　シャカ族

5　前４世紀頃にベトナム北部を中心におこった金属器文化を何というか。

①　スキタイ文化　　②　シュメール文化
③　ドンソン文化　　④　メコン文化

6 13世紀半ばにタイ北部におこったタイ人最古の統一王朝は何か。

① スコータイ朝　② パガン朝
③ ドヴァーラヴァティー王国　④ アンコール朝

7 ７世紀半ばにマレー人らがスマトラ島東南部に建てた王国は何か。

① チャンパー　② 大越国
③ シュリーヴィジャヤ王国　④ マタラム朝

8 ジャワ島中部の大乗仏教国シャイレンドラ朝が造営した寺院は何か。

① アンコール＝ワット　② ボロブドゥール
③ オケオ　④ パゴダ

第 3 講　【古代編】南アジア・東南アジアと南北アメリカの特質

PART4 南北アメリカの古代文明

Chapter 1　南北アメリカの地理的特徴

目標
南北アメリカがどのようにおこっていったか知ろう。
南北アメリカの文明がほかの文明と比べてどのようであったか学ぼう。

1　南北アメリカのおこり

①**ベーリング海峡**が陸続きだった氷期に，**ユーラシア大陸**から
　〔　　　　　　　　　　　〕系と考えられる人々がアメリカ大陸に渡った
　→約 1 万年前には南アメリカ大陸南端のフエゴ島まで達した
②氷期が終わり，**ベーリング海峡**が形成されてユーラシア大陸から隔離
　→南北に長い大陸の各地に定住した先住民たちは，それぞれの環境に適応した独自の文化・文明を築いていった
　A　アメリカ先住民は，のちにヨーロッパ人から「〔　　　　　　　　　　〕」（インディアン）と呼ばれた
　B　北米地域の大半は温暖な気候，広大な平原に恵まれ先住民が狩猟・採集が中心の生活で部族的な社会を形成していたが，高度な文明は発達しなかった
　C　中南米地域は赤道付近の熱帯雨林気候をはさみ，北米大陸の**メキシコ高原**から中央アメリカの**ユカタン半島**，南米大陸の**アンデス高地**一帯の 2 地域で独自の農耕文化が発達した
③ 16 世紀，ヨーロッパ人の進出によって**アステカ**や**インカ**などの高度な文明が征服され，滅亡

2　南北アメリカの文化的特徴

南北アメリカの文化は 16 世紀頃まで，ユーラシア大陸でおこったほかの文化と関わることなく独自に発達した。
① 2 つの文明圏
　A　北アメリカ大陸のメキシコ高原から中央アメリカのユカタン半島で生まれた文明を
　　〔　　　　　　　　　　　〕**文明**と総称

B　南米アンデス山脈一帯で生まれた文明を〔　　　　　　　　　　〕**文明**と総称

②独自の農耕文化

A　前 2000 年紀から，温帯半乾燥のメソアメリカでは〔　　　　　　　　　　　　　〕を栽培

B　アンデス高地ではトウモロコシに加えて〔　　　　　　　　　　　〕を主食として栽培
→リャマやアルパカなどの小型動物を家畜化

C　主作物のトウモロコシ・ジャガイモをはじめサツマイモ・トマト・トウガラシ・カボチャ・ラッカセイなど，独自の作物群を栽培する農耕文化が確立
→ 16 世紀からユーラシア大陸にも普及していった

D　大河ではなく，雨水や湖沼・泉（井戸）を活用する独自の灌漑技術で乾燥帯や山地に適応

E　金・銀・青銅などの金属は利用したが，**鉄器**はなく**車輪**や**馬**，ラクダなどの大型の家畜は利用されなかった

南北アメリカ

まとめ

南北アメリカはユーラシア大陸からモンゴロイド系の一部がアメリカ大陸に渡りおこった。
主食はトウモロコシやジャガイモ，馬やラクダは使役されず鉄器や車輪も用いられなかったなど，独自性を持っていた。

Chapter２　南北アメリカの諸文明

目標
中央アメリカの古代文明の特徴を知ろう。
インカ帝国の支配体制はどのようなものであったか学ぼう。

1　中央アメリカの古代文明

メソアメリカ文明

前1200年頃まで　メキシコ湾岸地域で**オルメカ文明**が成立
→ピラミッド型神殿，石彫，絵文字，ジャガーの神格化など，その後のメソアメリカ文明に大きな影響を与えた

前10世紀頃　**ユカタン半島**一帯に〔　　　　〕文明がおこる
①４～９世紀には半島の各地に都市が成立し，繁栄期を迎える
②**二十進法**による数学，高度な天文観測による**精密な暦法**，**マヤ文字**で知られる

前１世紀頃　**メキシコ高原**に〔　　　　　　　　　　〕文明がおこる
①交易による商業が盛んに行われた都市文明
②６世紀頃には衰退したが，南下した諸族に受け継がれた
③多くの巨大階段ピラミッド型神殿が有名

14世紀　メキシコ高原に**アステカ王国**がおこり，〔　　　　　　　〕文明が成立
①現在のメキシコ市に湖上の大都市〔　　　　　　　　　　　　　〕を建設
②ピラミッド状の神殿で神権政治を行い，メキシコ湾岸から太平洋湾岸まで統治

古代アメリカの王朝，文明

2　アンデスの古代文明

アンデス文明

アンデス地方では前 2500 年頃から石造の神殿が建てられた

前 1000 年頃　北部に〔　　　　　　　　〕**文化**がおこる

→巨大な神殿，土器，金属器（金・銀・銅）などが発掘され，初期アンデス文明とされる。以来，さまざまな文化・王国がおこる

15 世紀半ば　南部の〔　　　　　　　〕を都とした〔　　　　　　　〕帝国が成立

①皇帝は太陽の化身として崇拝される神権政治

②クスコを中心として，山地や密林をつらぬく「〔　　　　　　　　　　　〕」と呼ばれる道路網と宿駅制度

③現在のコロンビアからチリ中部にいたる大帝国を支配

④すぐれた石造建築による巨大な神殿や要塞を建設

⑤文字はなかったが，〔　　　　　　　〕（結縄）と呼ばれる縄の結び方で情報を記録

⑥アンデス山岳地帯，標高 2500 メートルの高地に建設された都市〔　　　　　　　　　　　〕はインカの技術力や文化の高さを伝える

マチュ＝ピチュ

まとめ

中央アメリカにはオルメカ文明からアステカ文明まで，さまざまな文明が興亡した。

アンデスのインカ帝国では，太陽の化身である王が神権政治を行った。

第 3 講　PART 4　確認問題

1 最初にユーラシア大陸からアメリカ大陸に渡ったと考えられている人々の人種は何か。

① ネグロイド　② コーカソイド
③ モンゴロイド　④ オーストラロイド

2 メキシコ高原から中央アメリカのユカタン半島で生まれた文明の総称を何というか。

① オルメカ文明　② メソアメリカ文明
③ トルテカ文明　④ テオティワカン文明

3 アンデスでトウモロコシに加えて主食として栽培していた作物は何か。

① サツマイモ　② カボチャ
③ ラッカセイ　④ ジャガイモ

4 前 1200 年頃までに成立し，ピラミッド型神殿や石彫などその後の中央アメリカの諸文明に大きな影響を与えた文明は何か。

① テオティワカン文明　② トルテカ文明
③ オルメカ文明　④ メソアメリカ文明

5 前 10 世紀頃からユカタン半島一帯で栄えた文明は何か。

① マヤ文明　② アステカ文明
③ トルテカ文明　④ オルメカ文明

6 14 世紀にメキシコ高原で湖上の大都市テノチティトランを建設した国はどこか。

① チチェン＝イッツァ　② アステカ王国
③ チャン＝チャン　④ チムー王国

7 15 世紀半ばにアンデスに成立したインカ帝国の都はどこか。

① リマ　② ポトシ
③ マチュ＝ピチュ　④ クスコ

8 文字がなかったインカ帝国で情報を記録するための縄の結び方を何というか。

① ケチュア　② キープ
③ インカの道　④ チャスキ

第 4 講　【古代編】東アジア世界の特質

PART1 春秋戦国時代と中国の思想

Chapter 1　春秋戦国時代の動乱

目標　春秋戦国時代がはじまった背景に何があったのかを理解しよう。
戦国の七雄が台頭していった理由を理解しよう。

1　東周と春秋戦国時代

①〔　　　　〕時代（東周時代前半）

前 770 年，西方の遊牧民に**鎬京**を攻略された周が都を**洛邑**に移す

※これ以後の周を東周，この時代を**東周時代**と呼ぶ。

A　周王の支配力が弱まり，大国化した南方の**楚**が北方諸国の脅威になる

B　実力のある有力諸侯が〔　　　　〕（盟主）となり周王を支える

C　なかでも〔　　　〕の**桓公**，〔　　　〕の**文公**など，代表的な 5 人を**春秋の五覇**と呼ぶ

D　有力諸侯たちは，〔　　　　　　　　〕（周王を尊び，異民族の侵入を防ぐ）を名目としつつ勢力拡大を図る

②〔　　　　〕時代（東周時代後半）

前 403 年，大国の晋が**趙・魏・韓**の 3 国に分裂。諸国間の秩序が失われる

A　〔　　　　　　　　　〕と呼ばれた七大強国（**燕，斉，楚，秦，韓，魏，趙**）が分裂。激しい勢力争いを繰り広げる

B　家臣が諸侯の地位を奪うなど，**下剋上**の風潮が広まる

C　前 4 世紀中頃になると，諸侯が**王**を自称。周王はまったくの有名無実に

2　春秋戦国時代と社会の変化

①〔　　　　　　　　〕（中華思想）の形成

華（中国）を文化の中心とし，周辺民族を夷狄と呼んでさげすむ思想が生まれる

②**鉄製農具**の普及

A 〔　　　　　　　〕と，牛に鉄製の犂をひかせる〔　　　　〕の使用により農業生産力が飛躍的に向上

B 家族単位での農業経営が可能となり，氏族の統制がゆるくなる

C 農産物の流通や，製鉄，製塩などに従事する**商工業者**が活躍

③貨幣の流通

商工業の発達にともない，**戦国の七雄**の各国が，**刀銭（燕や斉）**，**布銭（韓・魏・趙）**，**円銭（秦）**，**蟻鼻銭（楚）**などの〔　　　　　　　〕を発行

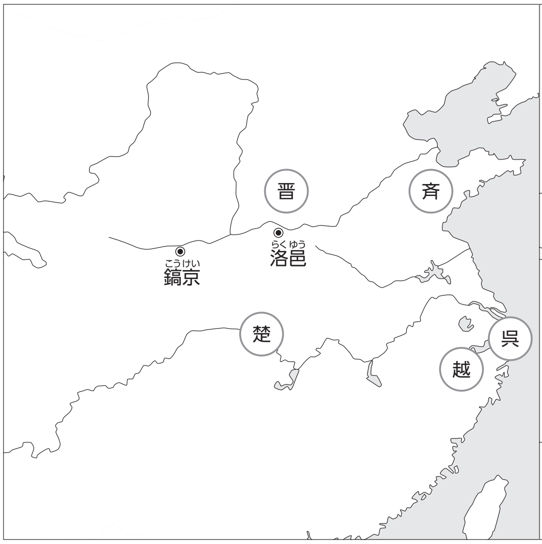
④**富国強兵**

戦国の七雄の各国は競って富国強兵に努め，鉄器を用いて未開地を開拓したり，強力な軍隊を編成したりした

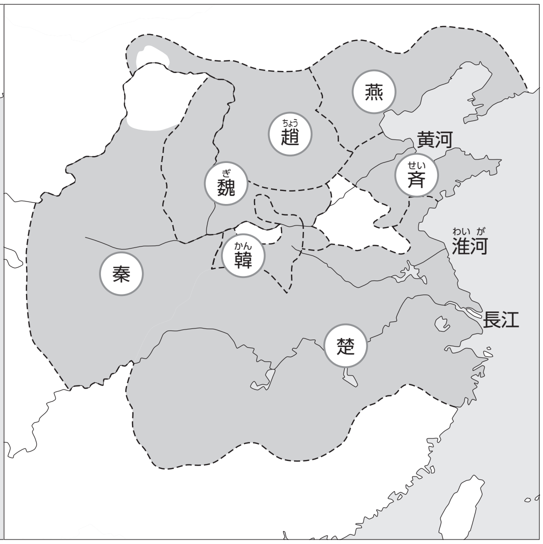
※**秦**は法家の商鞅を登用して変法（改革）を断行し，急激に強大化。

⑤〔　　　　　　　〕の登場

実力主義の社会になった戦国時代には，思想・言論の自由な風潮が広まり，**新しい思想**や**学派**が現れる



春秋の五覇



戦国の七雄

まとめ

周王の権力が低下すると，諸侯が乱立して台頭してゆき，春秋戦国時代がはじまった。

戦国の七雄と呼ばれた燕，斉，楚，秦，韓，魏，趙では，農業生産力の向上で富国強兵が進んだ。

Chapter２　諸子百家の思想

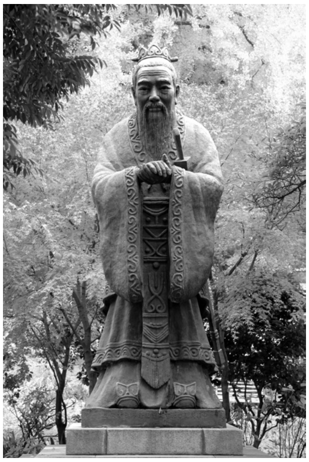
目標
諸子百家が生まれた背景に何があったのかを理解しよう。
儒家，法家，道家の主張を比較してみよう。

1　儒家の思想と中国思想

春秋戦国時代には，個人の能力が重視されて各国の君主が有能な人材を求めるようになり，自由な思想が広がっていった。そのため〔　　　　　　　　〕と呼ばれる思想家や学派が多数生まれた。

①〔　　　　〕は春秋時代末期の思想家の〔　　　　〕を祖とする学派で，
　礼（社会秩序）と仁（社会道徳）の実践による理想社会の実現を説いた
　→孔子の教えと言行を弟子たちがまとめたのが『**論語**』

②孔子の教えが戦国時代の**孟子**，**荀子**らによって発展
　A〔　　　　〕
　　あ　人の本性は善であるとする〔　　　　　　〕に立ち，徳治主義（道徳によって政治を行うこと）による**王道政治**を説いた
　　い　孟子は「王朝が変われば姓も易（か）わる（易姓）。悪政を行った天子を廃することは，天の命を革（あらた）める行為である（革命）」とする**易姓革命**を容認
　　　※代表的な著作は『**孟子**』。
　B〔　　　　〕
　　人の本性を悪であるとする〔　　　　　　〕の立場から，**礼**に基づく国家統治を説いた
　　※代表的な著作は『**荀子**』。



孔子の銅像

2 法家の思想

①商鞅や韓非などの〔　　　　〕は，徳治主義ではなく，法律に基づいて国家を治める**法治主義**を主張

②〔　　　　〕は**秦**の孝公に仕え，**郡県制**の施行などの政治改革（変法）を断行し，秦を強国にした

③韓の王族出身の〔　　　　〕は法家を理論的に大成させた
※代表的な著作は『韓非子』。

3 道家の思想

①〔　　　　〕や〔　　　　〕に代表される道家は，人為的な礼や仁を否定し，**無為自然**（自然のままであること）を主張

②漢代の初めに為政者の間に流行した**黄老思想**に影響を与えた

4 その他の諸子百家の思想家

①**孫子**，呉子らの〔　　　　〕は，戦略や戦術の理論から国家経営までを説いた

②**墨子**を祖とする〔　　　　〕は，**兼愛**（すべての人を平等に愛すること）や国家間における**非攻**（非戦論）を主張

③〔　　　　　〕の**鄒衍**(すうえん)は，世界のすべてのものは日と月，木，火，水，金（金属），土からなるとする**陰陽五行説**を説いた

④蘇秦，張儀らの〔　　　　　〕は，秦と東方の６国が争っていた戦国時代に各国を回り，外交策を説いた

A　蘇秦
　東方６国の合従策を説く

B　張儀
　秦や東方６国に対する個別の連衡策を説く

まとめ
春秋戦国時代では個人の能力が重視され，さまざまな思想が生まれるきっかけとなった。
儒家は徳治主義で，法家は法治主義，道家は無為自然を主張した。

第 4 講　PART 1　確認問題

1 前 8 世紀に周王が新たな都とした都市はどこか。

① 鎬京　② 咸陽
③ 洛邑　④ 長安

2 戦国時代，特に有力だった七大強国は何と呼ばれたか。

① 戦国の七将　② 戦国の七雄
③ 戦国の七侯　④ 戦国の七覇

3 春秋戦国時代に鉄製農具とともに普及したものはどれか。

① 印刷術　② 製紙法
③ 有輪犂　④ 牛耕

4 戦国時代の諸国が発行した青銅貨幣はどれか。

① 和同開珎　② 刀貨
③ 開元通宝　④ 貝貨

5 王道政治を理想とし，易姓革命を唱えた儒家はだれか。

① 孔子　② 荀子
③ 孟子　④ 老子

6 秦に仕え，法家思想に基づいて政治改革を行い，秦を強国にするのに貢献した人物はだれか。

① 商鞅　② 老子
③ 韓非　④ 孫子

7 無為自然を主張した，老子や荘子に代表される学派を何というか。

① 法家　② 墨家
③ 道家　④ 儒家

8 戦国時代に諸国を遊説して外交策を説いた学派を何というか。

① 兵家　② 陰陽家
③ 法家　④ 縦横家

第４講 【古代編】東アジア世界の特質
PART2 秦と漢の中国統一１

Chapter１　秦の統一と前漢の成立

目標
秦が中国統一を成しとげた意義について理解しよう。
前漢が成立した経緯について学ぼう。

1 秦の中国統一とその支配

秦の勢力図

①秦の全国統一

A　前 221 年，６国を征服した**秦**が中国を統一

B　秦王の政が**皇帝**の称号を初めて用いる。のちに〔　　　　　　〕と呼ばれる

※皇帝とは「光り輝く帝」の意味で，以後，統一君主の称号となる。

C　**咸陽**を首都とする

②秦の全国統治

A　封建制を廃し，全国を郡と県に分け，中央から官吏を派遣して治めさせる

〔　　　　　　〕を敷き，中央集権化を進める

B　言論や思想を統一するため，農業，医薬，占い以外の書物を没収して焼却する

〔　　　　〕，批判的な儒家を生き埋めにする〔　　　　〕を強行

C　諸国で異なっていた**度量衡**（長さ・容積・重さ），文字，貨幣，車軌を統一

③秦の対外政策

A　騎馬遊牧民族の〔　　　　　〕を討ち，オルドス地方を奪取

B　匈奴の侵入を防ぐため，〔　　　　　〕を修理・拡張　※のちの万里の長城。

C　中国南部を征服して南海郡などを設置

④秦の滅亡

始皇帝の没後，秦の厳しい政治に対する人々の不満が爆発

A　前209年，陳勝・呉広による農民反乱〔　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

B　前206年，**劉邦**が咸陽を占領。わずか15年で秦が滅ぶ

2　前漢の成立と統治

農民出身の〔　　　　　〕が楚の貴族出身の〔　　　　　〕を倒して中国を統一する。

①〔　　　　〕の建国

A　前202年，**劉邦**が**高祖**として即位

B　〔　　　　　〕を都とする　※高祖が建てた統一王朝を**前漢**（前202～後８年）と呼ぶ。

②漢の統治制度

高祖は直轄地には**郡県制**を敷き，東方諸国には皇族や功臣を王・侯に封じて支配させる**封建制**を導入。郡県制と封建制を併用したこの制度を〔　　　　　　〕と呼ぶ

③対外政策と周辺諸国

A　前200年，冒頓単于率いる〔　　　　　〕に大敗　※以後，漢は匈奴に対して和親政策を取る。

B　中国南方には南越国が，朝鮮半島には衛氏朝鮮が建国

④諸侯王との対立

政治が安定すると，高祖は諸侯王を抑制。反発した諸侯王が高祖の死後，反乱をおこす

A　前154年，第６代**景帝**が諸侯王の反乱〔　　　　　　　　　　　〕を鎮圧

B　乱後，諸国にも**郡県制**を導入。諸国はしだいに弱体化　※以後，中央集権体制が進んでいく

まとめ　秦王政が中国を初めて統一すると，皇帝の称号を用いた。
劉邦が項羽を破り前漢を建てると，皇帝に即位し高祖となった。

Chapter 2　前漢の内政と外政

目標
武帝の経済政策について知ろう。
武帝期はどのような外政を行ったのだろう。

1　武帝期の内政と統治

前２世紀後半，第７代皇帝〔　　　　〕（位前 141 年～前 87 年）が漢王朝の最盛期を現出。

①武帝の統治政策

A　地方長官の推薦によって官僚を登用する〔　　　　　　　　〕を実施

B　儒家の**董仲舒**の意見を入れて徳や礼を重んじる〔　　　　〕を官学とし，思想の統一を図る

※『**易経**』『**書経**』『**詩経**』『**礼記**』『**春秋**』の５つの経典（**五経**）を整備し，儒学を教授する**五経博士**を設置。

②武帝の経済政策

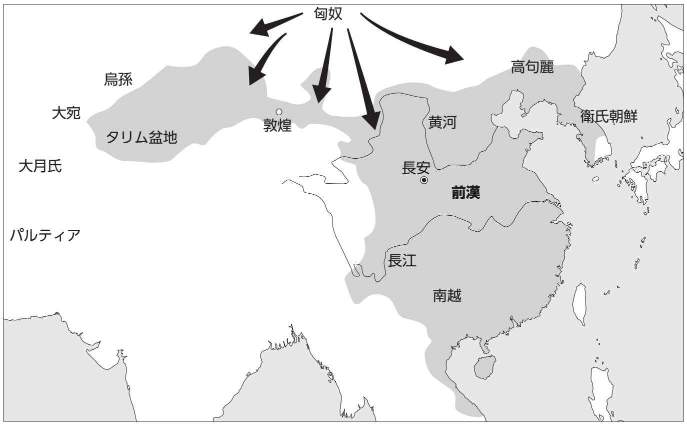
A　外征費用獲得のため，**塩**，**鉄**，**酒**を〔　　　　〕にした

B　新たな貨幣である〔　　　　　　〕を鋳造

C　国家が地方の産物を他の地方へ輸送して物価を調整する〔　　　　　　〕と，地方で物価が下がるとその産物を国家が買い入れて貯蔵し，物価が上がると売りに出す〔　　　　　　〕を実施

五銖銭

2 武帝の外政



前漢最大領域

武帝は対外政策を積極的に推し進めて勢力を拡大した。

①北方の動き

騎馬遊牧民族の〔　　　　〕にたびたび攻撃を加えて，ゴビ砂漠の北に追いやる

※以後，オルドス地方にも勢力を伸ばす。

②西方の動き

A　匈奴を挟みうちにするため，〔　　　　〕を西方の**大月氏**に派遣

※大月氏との同盟には失敗するも，張騫によってもたらされた西域地域の情報は，西方進出の足掛かりとなる。

B　匈奴の侵入に備えるため，河西地方に**敦煌郡**など 4 郡を設置

C　西方のパルティア王国との交易路である**シルクロード**の東半分を支配

③東方の動き

A　前 108 年，朝鮮半島に遠征して〔　　　　　　　〕を征服

B　朝鮮北部に〔　　　　　　〕など 4 郡を設置し，朝鮮半島でも郡県制を施行

④南方の動き

A　前 111 年，中国南方の〔　　　　　　〕を征服

B　**南海郡**など 9 郡を設置し，ベトナム北部にまで勢力を拡大

まとめ

武帝は均輸・平準法で物価の安定を図ると，塩・鉄・酒の専売を行い財政基盤を確保した。

匈奴討伐のために張騫を西域に派遣したほか，朝鮮やベトナム北部に郡を設置して支配した。

第 4 講　PART 2　確認問題

1 前 221 年に中国を統一した国を何というか。

① 魏　② 秦
③ 晋　④ 楚

2 前 221 年に中国を統一した国の皇帝が言論や思想を統一するために行った弾圧を何というか。

① 党錮の禁　② 易姓革命
③ 焚書坑儒　④ 商鞅の変法

3 前 221 年に中国を統一した国の皇帝が全国を統治するために行った政策を何というか。

① 郡県制　② 郷挙里選
③ 均輸・平準法　④ 郡国制

4 前 202 年に漢を建国して，初代皇帝となった人物はだれか。

① 項羽　② 曹操
③ 劉邦　④ 劉備

5 前 154 年，漢の景帝のときにおこった諸侯王の反乱を何というか。

① 陳勝・呉広の乱　② 赤眉の乱
③ 黄巾の乱　④ 呉楚七国の乱

6 漢の武帝が実施した, 地方の長官に有能な人材を推薦させる官吏登用法を何というか。

① 九品中正　② 郷挙里選
③ 科挙　④ 均輸・平準法

7 武帝によって西方の大月氏に遣わされた人物はだれか。

① 董仲舒　② 鄭玄
③ 張騫　④ 蔡倫

8 前 2 世紀初めに朝鮮半島に建国され, のちに武帝によって征服された国を何というか。

① 李氏朝鮮　② 高句麗
③ 衛氏朝鮮　④ 百済

第４講　【古代編】東アジア世界の特質

PART3 秦と漢の中国統一２

Chapter１　新と後漢の盛衰

目標
前漢が衰退した原因は何だろう。
後漢が滅亡したきっかけを理解しよう。

1　前漢の衰退

武帝の死後，皇帝の支配力が弱まり，前漢が衰退した。

①朝廷では，皇后や皇太后の親族である〔　　　　〕と，後宮に仕える去勢された男子〔　　　　〕が権力を振るう

②地方では大土地経営を行う〔　　　　〕が台頭。官僚となって地方政治や国政に進出する者も現れる

2　新の成立

①**前漢**の滅亡

A　８年，**外戚**の〔　　　　〕が劉氏から帝位を奪い，〔　　　〕を建国
→これにより，劉氏の政権（前漢）が滅ぶ

B　周の時代を理想として土地国有策，商工業の統制など，時代にそぐわない政治を行い，社会が混乱→農民や豪族の不満が高まる

②新の崩壊

農民反乱〔　　　　　　　〕（18 年～ 27 年）や豪族の反乱がおこり，わずか 15 年で滅亡

※農民らが眉を赤く染めて王莽軍の兵と識別したことから，この名がある。

3　後漢の成立と衰退

①漢王朝の再興

A　新の滅亡後，豪族反乱軍を率いた劉氏一族の**劉秀**が台頭

B　25年，劉秀が即位し，**後漢**の初代皇帝〔　　　　　　〕になる

C　都を**洛陽**に置く

②後漢の衰退

２世紀に入ると，宦官と外戚によって政治が乱れ，地方では豪族に圧迫されて困窮する農民が増加

166年　〔　　　　　　　　〕がおこる

宦官の政治に批判的な官僚（党人）が宦官に弾圧された事件

※ 166年と169年の２度おこった。

184年　〔　　　　　　　　〕がおこる

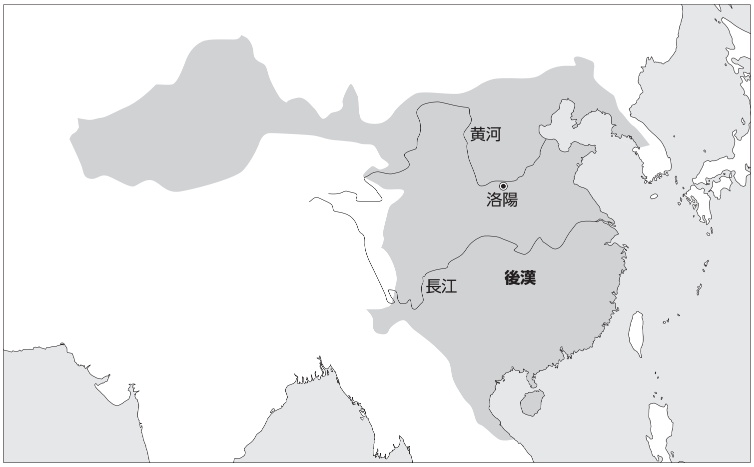
宗教結社〔　　　　　　〕の教祖**張角**が率いた大規模な農民反乱

※農民たちが目印に黄色い頭巾を着用していたことから，この名がある。

→各地の豪族が台頭する

220年　後漢が滅亡

華北の〔　　　〕,長江下流域の〔　　　〕,四川盆地の〔　　　〕の３国が分立（**三国時代**）



後漢の勢力範囲

まとめ
朝廷の宦官や外戚の専横や地方豪族の台頭により前漢は衰退していった。
後漢は黄巾の乱で衰退したのち各地の豪族が台頭して滅亡した。

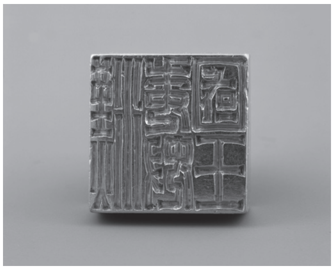
Chapter 2　漢代中国の社会と文化

目標　中国の統一王朝と周辺諸国はどのような関係性だったのだろうか。
漢代の歴史書にはどのようなものがあったのだろう。

1　東西交流と東アジアの秩序

①後漢の〔　　　　　　〕が，〔　　　　〕の**奴国**の王の使者に「漢委奴国王」と記された**印綬**を授ける

※中国の皇帝が朝貢をしてきた周辺諸国の首長に王の称号を与え，代わりに首長はそのことを示す印綬を授かる〔　　　　　　　　〕のはじまり。

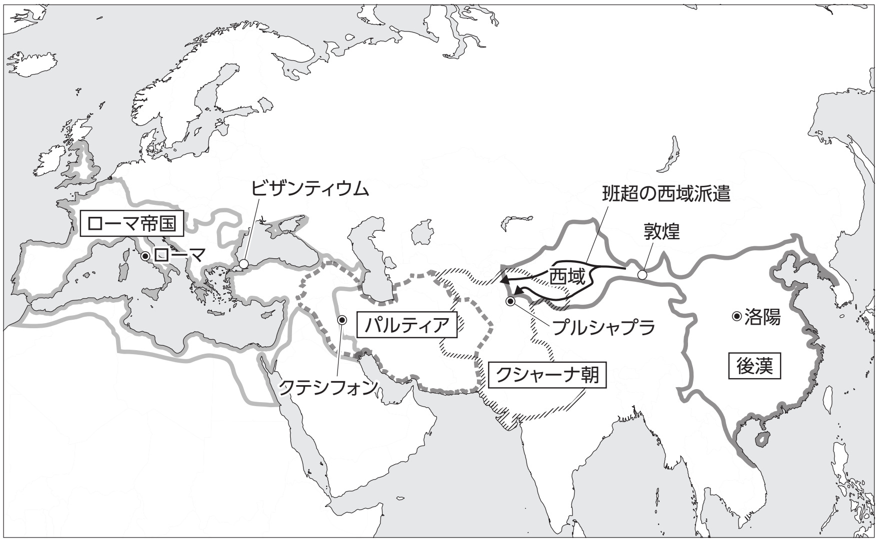


金印

②西域に派遣された前漢の**張騫**や，後漢の〔　　　　　〕らによって西域の情報がもたらされる

③２世紀半ば，**大秦王安敦**の使節が日南郡（ベトナム中部）を訪れる

※大秦王安敦はローマ皇帝**マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス**とされる。



２世紀の世界勢力図

2　漢代の社会

①〔　　　　　〕の台頭

地方の有力者は，土地を買い集めて大土地経営を行うようになる。官僚となって地方政治や国政に進出する者も現れる

②農民の没落

農民の貧富の差が拡大。重い税や飢饉などのために，土地を売って小作人となったり，奴隷になったりする者が現れる

3 漢代の文化

①儒学

A　儒学の国教化

あ　武帝の時代，**董仲舒**の献策により，儒学が官学（中国の正統的教学）になる

い　『**易経**』『**書経**』『**詩経**』『**礼記**』『**春秋**』の５つの経典（**五経**）を整備し，五経を講義する**五経博士**を設置

B　〔　　　　　　〕の発達

後漢の**鄭玄**らによって，古典の注釈，字句の解釈を行う学問が確立

②宗教の伝来

後漢時代にインドから〔　　　　〕が伝わる

③歴史書の編さん

A　〔　　　　　　〕（前漢）の〔　　　　　　　　〕

伝説時代から前漢の**武帝**の治世までを〔　　　　　　〕で記述

※後世の中国の歴史書の模範となる。

B　〔　　　　〕（後漢，班超の兄）の〔　　　　　　　　〕

前漢の**高祖**（**劉邦**）から**王莽**までの歴史を紀伝体で記述

④詩歌

戦国時代の詩歌が『**詩経**』や『**楚辞**』にまとめられる

⑤科学技術の発達

A　後漢時代，宦官の**蔡倫**がくずやぼろ布を使って〔　　　　　　〕を改良

それまでの木簡や竹簡に代わって紙が普及

※７世紀に日本にも伝わる。

B　張衡が天球儀や地震計を考案

まとめ　東西の交流が進み，中国を中心とする東アジアの秩序が生まれた。
前漢では司馬遷の『史記』，後漢では班固の『漢書』が紀伝体で書かれた。

第 4 講　PART 3　確認問題

1　漢の武帝の死後に権力を振るうようになった皇后の親族を何と呼ぶか。

①　宦官　　②　党人
③　外戚　　④　豪族

2　漢の皇帝から帝位を奪って新朝を開いた人物はだれか。

①　劉秀　　②　王莽
③　張騫　　④　孫権

3　後漢の末期，宗教結社の太平道がおこした大規模な農民反乱を何というか。

①　赤眉の乱　　②　黄巾の乱
③　紅巾の乱　　④　黄巣の乱

4　後漢が滅亡したあと，中国に分立した国は魏と呉とどこか。

①　楚　　②　晋
③　宋　　④　蜀

5　倭の奴国の王が使者を遣わした中国の国はどこか。

①　魏　　②　後漢
③　隋　　④　唐

6 前漢の司馬遷によって紀伝体で書かれた歴史書はどれか。

① 『漢書』　② 『三国志』
③ 『後漢書』　④ 『史記』

7 後漢時代に，鄭玄らが確立した儒学の新しい学問を何というか。

① 古文辞学　② 朱子学
③ 訓詁学　④ 陽明学

8 後漢時代に蔡倫によって改良され，のちに日本へも伝わったものはどれか。

① 印刷術　② 製紙法
③ 羅針盤　④ 火薬

第4講 【古代編】東アジア世界の特質

PART4 古代の東アジア世界

Chapter 1　中央ユーラシアと遊牧民

目標
騎馬遊牧の技術はどのように伝わっていったのだろうか。
オアシス民がどのような交易を行っていたか理解しよう。

1　騎馬遊牧民の活動，スキタイと匈奴

遊牧民の分布図

①中央ユーラシアの気候と風土

A　大陸内部に特徴的な**大陸性**気候で，日中の寒暖差が大きい

B　モンゴル高原から黒海北岸にかけて広大な草原と砂漠が広がる

C　砂漠の中に〔　　　　　　　　〕が点在し，人々が定住

②遊牧民の社会と国家の形成

A　水や草を求めて家畜とともに移動生活を送る

B　血縁的な繋がりのある氏族が集まって部族を作り，部族単位で活動

C　部族が連合して**遊牧国家**を建て，有力な部族長を君主とする

③〔　　　　　　　　〕

モンゴル高原からアルタイ山脈を経て，南ロシア草原に至る東西交通路で，騎馬遊牧民の

支配のもと，交易や文化交流が行われた

④中央ユーラシアの遊牧民

A〔　　　　　　　　〕

あ　イラン系の騎馬遊牧民で，前６世紀頃，黒海沿岸に最初の**遊牧国家**を建設

※アケメネス朝ペルシア帝国の遠征軍を退けた。

い〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる独自の文化を持つ

う　周辺の遊牧民に騎馬技術を伝える

B〔　　　　　〕

あ　トルコ系の騎馬遊牧民で，**単于**(ぜんう)と呼ばれる君主のもと遊牧国家を建設。中国にたびたび侵入した

い　前３世紀末に単于の位についた〔　　　　　　　　　〕が**月氏**など周辺の諸民族を討ち，モンゴル高原を統一。匈奴の全盛期を築く

う　**漢**の**武帝**に攻撃されて後退。前１世紀半ばに東西に，さらに後１世紀半ばに東匈奴が南北に分裂

※４世紀半ば，北匈奴の西走で，中央アジアの遊牧民フン人がヨーロッパへ移動。フン人はゲルマン人の大移動を引きおこした。

C　**月氏**

イラン系とされる騎馬遊牧民で，モンゴル高原の西半を支配。

匈奴に攻撃されて西走し，アム川流域で〔　　　　　　　〕となった

2　オアシス民の交易

①オアシスに沿って**オアシス都市**と農村ができ，農村ではオアシス農業が行われる

②オアシス都市間を結ぶ交易の道**オアシスの道**が形成され，ラクダに荷物を乗せた隊商による**隊商交易**が発達した

※中国産の絹が主要な交易品だったため，絹の道〔　　　　　　　　　　　　〕とも呼ばれた。

まとめ　南ロシア平原のスキタイが，モンゴル高原の遊牧民に騎馬遊牧の技術を伝えた。
中央アジアのオアシス民が，東西のシルクロード交易で活動した。

Chapter２　中国と古代の東アジア地域

目標　朝鮮半島・日本の国家はどのように形成されていったのだろうか。
周辺諸国が中国に朝貢した理由を理解しよう。

1　朝鮮半島の分裂

前２世紀初め　**衛氏朝鮮**成立

前２世紀末　**武帝**が衛氏朝鮮を滅ぼし，朝鮮４郡を設置

→以降，中国が支配

３世紀頃　南部に韓族による馬韓，辰韓，弁韓が成立（**三韓時代**）

４世紀初め　〔　　　　　　〕が中国の拠点の一つ**楽浪郡**を滅ぼし，朝鮮半島に進出

４世紀半ば　西南部の馬韓の地に〔　　　　　〕, 東南部の辰韓の地に〔　　　　　〕が建国され，**三国時代**に

→南端は加羅（伽耶）諸国となる

※戦乱を避けて日本へ移り住む人々（渡来人）によって，先進的な文化や技術が日本へ伝えられた。

４世紀末　〔　　　　　　　　〕**（好太王）**が即位し，高句麗が最盛期を迎える

※王の功績を記念して「広開土王碑」が建てられた。

広開土王碑

2 日本の統一王朝

前1千年紀　**縄文時代**

前3世紀頃　**弥生時代**　※中国から稲作が伝わる。

→国の形成がはじまる

3世紀頃　小国に分立していた国々が〔　　　　　　　　〕を中心に連合

239年　**邪馬台国**の女王〔　　　　　　〕が中国の**魏**へ朝貢

「**親魏倭王**」の称号と金印を得る

4世紀頃　〔　　　　　　　　　　　〕による統一が進む

3 ベトナムの状況

前3世紀末　越人の〔　　　　　〕が成立→ベトナム北部まで勢力が及ぶ

前111年　**前漢**の**武帝**が**南越**を征服し，中部ベトナムまで漢の支配下に入る

4 周辺諸国の朝貢

中国を中心とするアジアの文化圏が形成される。

①朝鮮半島の諸国や倭国が中国に使者を派遣

②中国の皇帝は朝貢をしてきた周辺諸国の首長に王の称号を与え，代わりに首長はそのことを示す印綬を授かった。このような体制を〔　　　　　　　　〕と呼ぶ

東アジア勢力図

まとめ　朝鮮半島では，高句麗，百済，新羅の三国が分立していき，日本では小国が邪馬台国により連合していった。
日本の卑弥呼やヤマト政権，朝鮮は中国に朝貢して，自国の支配を正当化した。

第４講　PART４　確認問題

1 中央ユーラシアの騎馬遊牧民が利用した東西交通路を何というか。

①　オアシスの道　　②　シルクロード
③　海の道　　④　草原の道

2 前６世紀頃に最初の遊牧国家を建て，周辺の遊牧民に影響を与えたイラン系の民族を何というか。

①　ウイグル　　②　キルギス
③　スキタイ　　④　エフタル

3 冒頓単于のもとで繁栄した遊牧国家を何というか。

①　突厥　　②　大月氏
③　烏孫　　④　匈奴

4 ゲルマン人の大移動を引きおこした中央アジアの遊牧民を何というか。

①　フン人　　②　ソグド人
③　東ゴート人　　④　トルコ人

5 ４世紀初め，高句麗によって滅ぼされた中国の拠点を何というか。

①　楽浪郡　　②　南海郡
③　敦煌郡　　④　日南郡

6　４世紀の末に広開土王によって隆盛した，朝鮮半島の国を何というか。

①　高麗　　②　新羅
③　高句麗　　④　百済

7　邪馬台国の女王の卑弥呼が使者を派遣した，中国の国はどこか。

①　倭　　②　魏
③　蜀　　④　呉

8　漢の武帝によって滅ぼされた，ベトナム北部を支配していた国を何というか。

①　月氏　　②　南越
③　加羅　　④　扶南

第５講　【中世編】東アジア文化圏の形成

PART1 北方遊牧民の台頭と中国の分裂

Chapter１　五胡の動向とトルコ人の台頭

目標　モンゴル高原や中央アジアの遊牧民の特徴について学ぼう。
ウイグル人の西進とその影響を考えよう。

1　モンゴル高原の遊牧民

３世紀になると，中央アジアの東西で遊牧民の活動が活発になり，**五胡**と呼ばれた遊牧民の〔　　　　〕，**羯**，〔　　　　〕，**氐**，**羌**が華北に進出した。

316年　**晋（西晋）**が滅亡し，五胡が**華北**で政権を樹立。興亡を繰り広げる

※この時代を〔　　　　　　　　〕時代と呼ぶ。

386年　五胡の一つ**鮮卑**の**拓跋氏**が**北魏**を建国

439年　北魏の第３代皇帝〔　　　　　〕が華北を統一

５世紀　モンゴル系の遊牧民〔　　　　〕がモンゴル高原で勢力を伸ばし，北魏と対立

５世紀中頃　中央アジアにトルコ系（イラン系とも）の遊牧民〔　　　　　　　〕が勃興

５世紀末　トルコ系の遊牧民**高車**がモンゴル高原西部で勢力を伸ばす

※５～６世紀には，**柔然**，**高車**，**エフタル**が中央ユーラシアを三分。

555年　トルコ系の遊牧民**突厥**が柔然を滅ぼす

※突厥は，**可汗**と称する君主の統率のもと，中央ユーラシアに領土を拡大。

※中国と馬と絹織物を交換する**絹馬交易**で莫大な利益を得た。

６世紀中頃　**突厥**がササン朝と挟撃し，中央アジアの遊牧民**エフタル**を征服。
モンゴル高原から中央アジアにかけて大帝国を築く

583年　**突厥**が東西に分裂

744年　トルコ系の遊牧民**ウイグル**が**東突厥**を滅ぼして建国

※ウイグルは，独自の文字〔　　　　　　　　　〕を使用。**マニ教**を国教とする。

2　中央アジアの王朝とソグド人

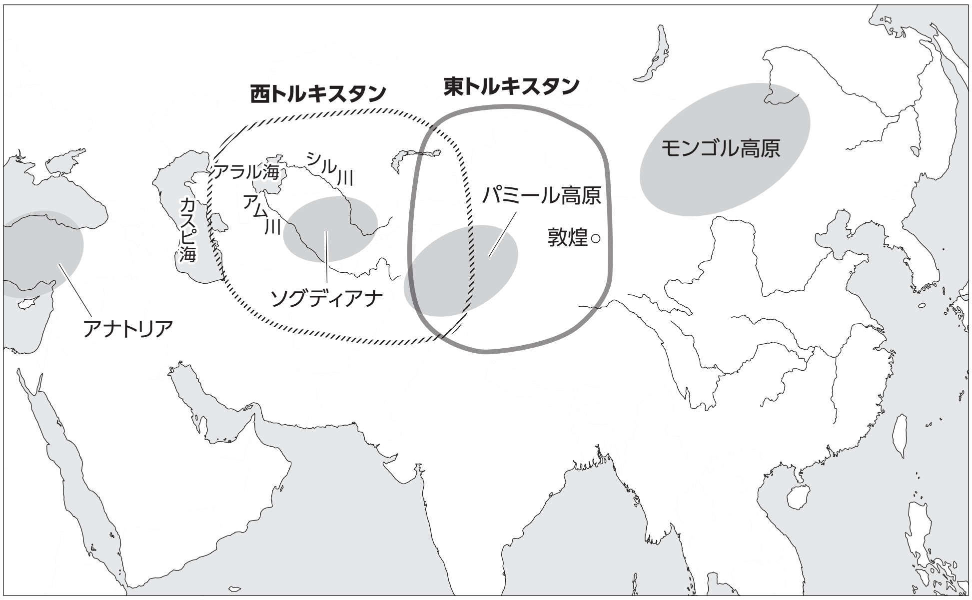
遊牧国家の発展には，オアシス地域に住むイラン系の**ソグド人**が大きな役割を果たした。

①隊商交易のルートの拠点に集落を形成

②**突厥**や**ウイグル**など遊牧国家に保護されて，中央アジアの東西交易に従事。
中央ユーラシア一帯に及ぶ**通商ネットワーク**をつくり上げた
③遊牧国家の絹織物や奢侈品などを，**ビザンツ帝国**（東ローマ帝国）などと交易。
突厥やウイグルに莫大な富をもたらした
④遊牧国家の外交を担い，政治や経済の情報，文字や宗教を突厥やウイグルに伝えた
※ソグド人たちの**ソグド文字**がもとになって**ウイグル文字**がつくられた。

3　ウイグル人の西進

763 年　**安史の乱**で**ウイグル**が**唐**に援軍を派遣
840 年　ウイグルが同じトルコ系の遊牧民〔　　　　　　　　〕に敗れて四散
※ウイグル人の一部は西進してタリム盆地に移住。
※トルコ系民族の西方への移住が活発化してトルコ化が進み，
〔　　　　　　　　　　　　〕（トルコ人の土地）と呼ばれるようになる。



トルコ人の西進

まとめ
モンゴル高原には，匈奴，鮮卑，柔然，突厥，ウイグルの順に遊牧民が台頭し，中央アジアではソグド人が東西貿易で活躍した。
ウイグル人の西進で中央アジアがトルコ化（トルキスタン）した。

Chapter 2　三国時代と晋の盛衰

目標
三国時代の勢力争いを理解しよう。
晋の中国統一と衰退の流れを理解しよう。

1　三国時代の分立

後漢末期の混乱のなか，華北の**曹操**，江南の**孫権**，四川盆地の**劉備**が抗争した。

①三国時代

208 年　**赤壁の戦い**で孫権・劉備の連合軍が，揚子江南岸の赤壁で曹操の軍を破る

220 年　**曹操**の子〔　　　　〕が後漢から政権を奪い〔　　　〕を建国。**洛陽**を都とする

221 年　劉備が**成都**を都として〔　　　〕を建国

222 年　孫権が**建業**（現・南京）を都として〔　　　〕を建国

※中国を三分したこの時代を**三国時代**と呼ぶ。なかでも魏が華北の大半を支配。

263 年　**魏**が**蜀**を滅ぼす

②**魏**の統治政策

A　集団で国有地を耕作させる〔　　　　　　〕を実施

B　有能な人材を登用するため〔　　　　　　　　〕の法（九品官人法）を採用

官位を九品（９つの等級）に分け，すぐれた人材を**中正官**が推薦する官吏登用制度

C　豪族の官界進出

地方の豪族が中央政界に進出，要職を世襲的に独占する〔　　　　　　　　〕となる

魏・呉・蜀

2 西晋の成立と衰退

①西晋の建国

265年　魏の将軍〔　　　　　　〕が皇帝となり（**武帝**），**晋**（**西晋**）を建国。**洛陽**を都とする

280年　**武帝**が**呉**を滅ぼして**中国を統一**

土地制度**占田・課田法**で土地の所有の制限を定め，税を徴収

3世紀末　武帝の死後，一族の権力争い〔　　　　　　〕がおこり，国内が混乱

※華北西部や河西地方に移住していた遊牧民が兵力として活躍。

②**五胡十六国時代**（304年～439年）

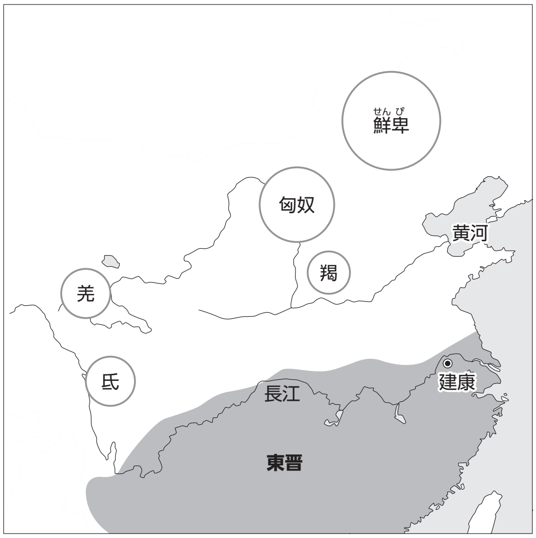
316年　**五胡**に攻略されて**晋（西晋）**が滅亡

華北に五胡および多数の国々が政権を樹立。興亡を繰り広げた

317年　西晋の一族の**司馬睿**が，**建康**（建業を改称。現・南京）で即位。

〔　　　　〕を建国し，晋を復興

420年　東晋の滅亡



五胡の侵入

まとめ

後漢末期の混乱のなか三国が台頭するが，魏が呉，蜀を圧倒した。
魏を倒した西晋が中国を統一するも五胡の侵入で滅亡し，江南に逃れた西晋の一族が東晋を建国した。

第５講　PART１　確認問題

1　モンゴル高原に台頭した遊牧民の順番として正しいものはどれか。

①　匈奴→鮮卑→柔然→ウイグル→突厥
②　匈奴→鮮卑→柔然→突厥→ウイグル
③　鮮卑→匈奴→柔然→ウイグル→突厥
④　鮮卑→匈奴→柔然→突厥→ウイグル

2　５～６世紀に中央ユーラシアを三分割した国として正しい組み合わせはどれか。

①　柔然・高車・エフタル　　②　柔然・高車・突厥
③　エフタル・突厥・匈奴　　④　匈奴・突厥・柔然

3　５世紀前半に華北を統一した北魏は，何という民族の国家か。

①　匈奴　　②　烏孫
③　鮮卑　　④　柔然

4　ウイグルを滅ぼしたトルコ系の遊牧民を何というか。

①　エフタル　　②　匈奴
③　突厥　　④　キルギス

5　三国時代に孫権が建てた国を何というか。

①　蜀　　②　呉
③　晋　　④　魏

6 魏が実施した，有能な人材を登用するための官吏登用法を何というか。

① 郷挙里選　② 占田・課田法
③ 九品中正　④ 科挙

7 魏の皇帝から帝位を奪って晋（西晋）を建国した人物はだれか。

① 司馬炎　② 司馬遷
③ 司馬睿　④ 司馬光

8 ３世紀末の晋でおこった皇帝一族の争いを何というか。

① 赤眉の乱　② 八王の乱
③ 安史の乱　④ 黄巣の乱

第５講　【中世編】東アジア文化圏の形成

PART2 中国の南北朝時代

Chapter 1　鮮卑族の北魏と南北朝の分裂

目標
鮮卑族の北魏の政治状況をまとめてみよう。
南北朝の王朝の流れを理解しよう。

1　北魏の華北支配と統治

①北魏の建国

386 年　遊牧民〔　　　　　〕の**拓跋氏**が華北に**北魏**を建国

平城（現・大同）を都とする

439 年　第３代皇帝〔　　　　　　　〕が**華北**を統一。**五胡十六国時代**を終わらせる

②北魏の統治政策

A　第６代皇帝〔　　　　　　　〕が〔　　　　　　　〕を施行

国家が成年男子，妻，奴婢，耕牛に給田し，税を徴収する制度

土地と人民を正確に把握し，税を確実に徴収することが目的

B　**三長制**の実施

５つの家を隣，５隣で里，５里で党としてそれぞれに長を置く

C　〔　　　　　　　　　〕を推進

鮮卑の制度や習俗，文化を中国的なものに改め，都を平城から**洛陽**に移す

2　北魏の分裂

６世紀　六鎮の乱をきっかけに，北魏が**東魏**と**西魏**に分裂

６世紀後半　西魏を継いだ〔　　　　　〕が，東魏を継いだ**北斉**を征服。華北を再統一する

※北魏から西魏・北周・東魏・北斉の５王朝を〔　　　　　〕と呼ぶ。

北魏と南朝

3 南朝の王朝

江南では，約 100 年続いた**東晋**が滅亡すると，以降４つの王朝が興亡した。この時代には皇帝の力は弱まり，門閥貴族の勢力が強まった。

①４王朝の興亡

420 年　江南に〔　　　〕が建国

479 年　宋が滅亡し，〔　　　〕が建国

502 年　斉が滅亡し，〔　　　〕が建国

557 年　梁が滅亡し，〔　　　〕が建国

※東晋を含め，江南の諸王朝を〔　　　　〕と呼び，北朝と対立した時代を**南北朝時代**，三国時代から南北朝の動乱期までを**魏晋南北朝時代**と呼ぶ。

②江南の開発

戦乱の続く華北から長江流域へ漢民族の大規模な移住がおこり，江南の開発が進んだ

まとめ　鮮卑族の北魏が華北を統一し，漢化政策を行うが，東魏と西魏に分裂した。
江南では東晋の滅亡後，宋，斉，梁，陳の順番で王朝が交替した。

Chapter 2　魏晋南北朝時代の文化

目標　魏晋南北朝時代に道教や仏教が流行した背景を考えよう。
魏晋南北朝時代の芸術にはどのようなものがあったか知ろう。

1　魏晋南北朝時代の宗教・思想

魏晋南北朝時代動乱期には，礼や仁による理想社会の実現を説く**儒教**は振るわず，代わって**道教**や**仏教**が社会に広まった。

①道教

A　俗世間を逃れて竹林に集まり，自由な議論を楽しむ〔　　　　　〕が流行。

老荘思想がもてはやされた

阮籍ら７人の清談家が**竹林の七賢**と呼ばれた

B　北魏の〔　　　　　　　〕が道教を大成。教団を組織して布教に努める

第３代**太武帝**の時期に道教が国教となり，保護を受ける

②仏教

A　仏僧の来朝

あ　西域の亀茲（クチャ）出身の僧〔　　　　　　　〕が華北で布教

い　西域の亀茲出身の僧〔　　　　　　　　　　〕が**仏典**を**漢訳**する

う　東晋の僧〔　　　　　〕がインドに留学し，その記録を旅行記『**仏国記**』にまとめる

B　**敦煌**，**雲崗**，**竜門**に巨大な〔　　　　　　　　　〕がつくられる

※中国の三大石窟寺院といわれ，世界遺産に登録されている。

石窟寺院

2　南北朝時代の芸術

①詩文

A　東晋の詩人〔　　　　　　〕（陶潜）が『帰去来辞』を著す

B　宋の詩人**謝霊運**が山水詩をつくる

C　梁の文学者**昭明太子**が古今のすぐれた詩文を集めて詩文集『**文選**』を編さん

　※日本文化にも影響を与えた。

D　散文では**四六駢儷体**と呼ばれる華麗な文体が流行

②書画

A　東晋の書家〔　　　　　　〕が書道を大成

　※作品に「**蘭亭序**」などがある。

B　東晋の文人画家〔　　　　　　〕が「**女史箴図**」などを描く

「女史箴図」

まとめ

動乱期の中国では，礼や仁による理想社会の実現を説く儒教ではなく，無為自然を説く道教や，無常観を説く仏教が広まった。

王羲之は書道の大家となり，顧愷之は「女史箴図」を描いた。

第５講　PART２　確認問題

1　４世紀の末，鮮卑を率いて華北に北魏を建国した氏族を何というか。

①　司馬氏　　②　劉氏
③　拓跋氏　　④　王氏

2　華北を統一して五胡十六国時代を終わらせた皇帝はだれか。

①　孝文帝　　②　太武帝
③　光武帝　　④　武帝

3　税収を確実に確保するため，北魏がはじめた土地制度を何というか。

①　三長制　　②　班田収授法
③　均田制　　④　租庸調制

4　北魏が推進した，鮮卑の制度や習俗などを中国風に改める政策を何というか。

①　漢化政策　　②　欧化政策
③　中国化政策　　④　海禁政策

5　東晋の滅亡後，江南に興亡した４王朝の順番として正しいものはどれか。

①　宋→梁→陳→斉　　②　宋→斉→梁→陳
③　斉→梁→陳→宋　　④　斉→宋→梁→陳

6 魏晋南北朝時代に来朝して，仏典の翻訳に活躍した亀茲出身の僧はだれか。

① 仏図澄　　② 寇謙之
③ 鳩摩羅什　　④ 陶淵明

7 東晋の僧の法顕が著した旅行記を何というか。

① 『大唐西域記』　　② 『仏国記』
③ 『帰去来辞』　　④ 『南海寄帰内法伝』

8 「女史箴図」を描いた東晋の文人画家はだれか。

① 謝霊運　　② 顧愷之
③ 王羲之　　④ 昭明太子

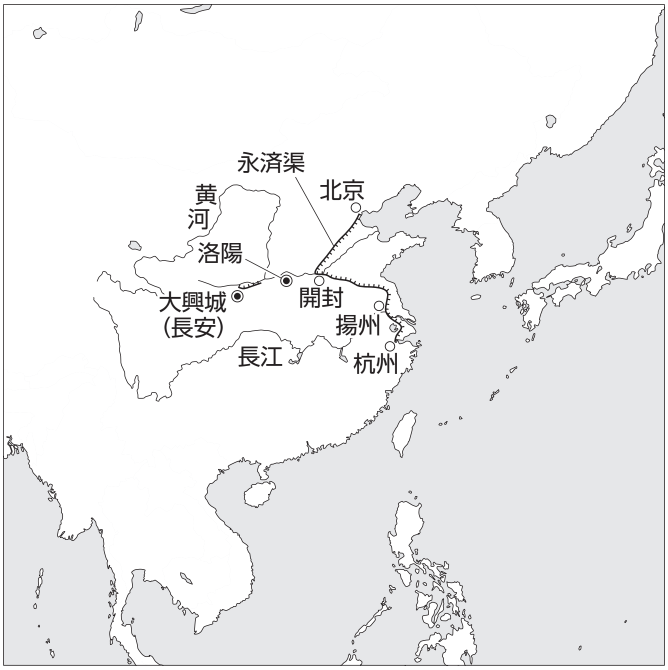
第5講 【中世編】東アジア文化圏の形成

PART3 隋唐の中国統一

Chapter 1　隋の中国統一と滅亡

目標
隋の統治制度の特徴を知ろう。
隋が衰退，滅亡した原因を学ぼう。

1　隋の統一とその制度



隋代の地図

６世紀末，南北朝に分裂していた中国を隋が統一。隋は統一国家による支配体制を固めるため，さまざまな制度を施行し，中央集権化に努めた。

①隋の統一

581年　**北周**の外戚の**楊堅**が政権を奪って皇帝〔　　　　　〕になり，〔　　　　〕を建国
　　　　大興城（長安近郊）を都に置く
583年　騎馬遊牧民の**突厥**を破り，東西に分裂させる
584年　**大運河**の建設に着手
589年　**南朝**の**陳**を滅ぼして中国を統一

②文帝の統治

A　成年男子に均等に給田する土地制度〔　　　　　　〕を整備

B　税制〔　　　　　　　　〕を整備

それまでの**租**と**調**に加えて，労役を米や布で代納できる**庸**の制度をはじめる

C　兵制〔　　　　　　〕を整備

※均田農民から徴兵し，辺境の防衛に当たる。

D　学科試験によって官吏を選ぶ〔　　　　〕を創設

才能によって人材を登用。清の末期まで約 1300 年間続けられた

2　煬帝の統治と衰退

①煬帝の統治

604 年　楊堅の子の楊広が第２代皇帝〔　　　　〕になる

607 年　日本の**聖徳太子**の使者（**遣隋使**）が来朝

610 年　〔　　　　　　〕が完成

華北の涿郡（現・北京）から江南の杭州までが水路で結ばれる

②隋の衰退

611 年　中国東北部から朝鮮半島北部を支配する〔　　　　　　〕に遠征

614 年にかけて３回にわたって遠征を行うも失敗

→各地で農民反乱，豪族の反乱がおこる

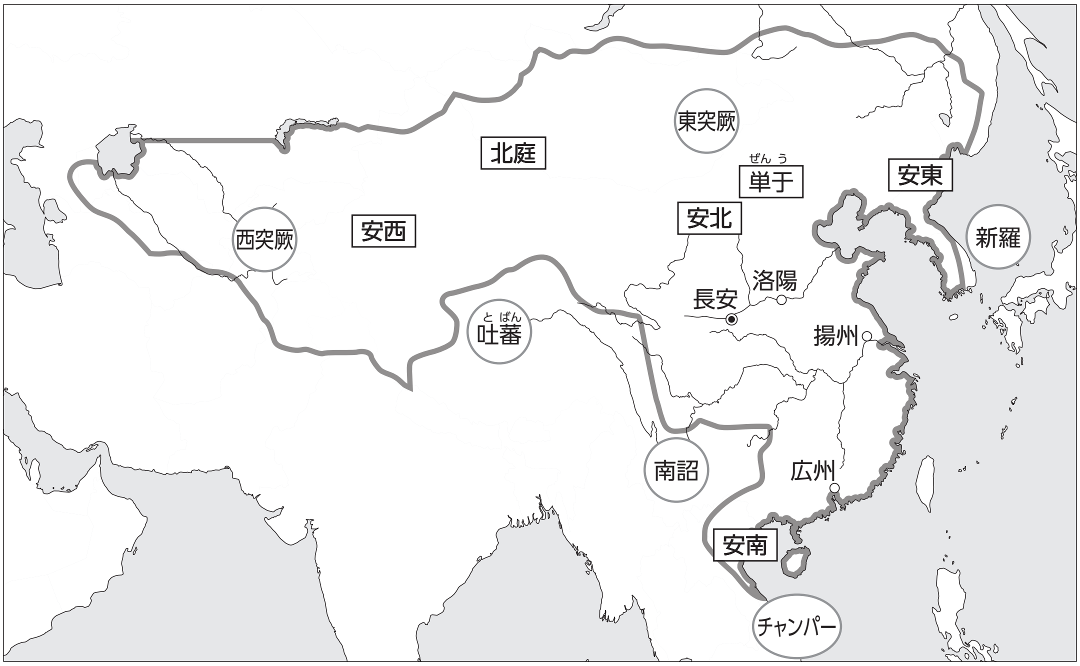
618 年　煬帝が殺害され，隋が滅ぶ

まとめ　隋は均田制や租調庸制，府兵制，科挙などを実施して中央集権化を進めた。大運河を完成させるも高句麗遠征に失敗し，各地で反乱がおこったため隋は衰退し，滅亡した。

Chapter 2　唐の中国支配と制度

目標
初期の皇帝についてまとめよう。
唐の統治体制を学ぼう。

1　唐の成立と最盛期



唐の最大領域

①高祖の治世

618 年　隋の武将〔　　　　〕(**高祖**) が政権を奪い，〔　　　〕を建国

〔　　　　〕(大興城を改称) を都とする

624 年　**均田制**，**租調庸制**を実施

②太宗の治世

626 年　高祖の子の〔　　　　　　〕(**太宗**) が即位

628 年　中国統一が完成

律令政治を整備して支配体制の基礎を固める

※太宗の治世を**貞観の治**と呼ぶ。

630 年　騎馬遊牧民の〔　　　　　　〕を服属させる

③高宗の治世

649 年　〔　　　　　〕が第３代皇帝になる

657 年　騎馬遊牧民の**西突厥**を征服し，西アジアまで勢力を広げる

660 年　**新羅**と結んで**百済**を征服

668 年　**高句麗**を征服し，朝鮮半島に進出

2　唐の制度

唐は隋の制度を継承し，法典（律令）に従って国を統治する**律令政治**を行った。

①行政機関

A　中央政府に〔　　　　　　　　　　〕と，監察を司る〔　　　　　　〕を設置

あ　三省は，詔勅の草案を作成する**中書省**，詔勅を審議する**門下省**，政務の執行機関である**尚書省**をいう

い　このうち〔　　　　　　〕は，**吏部**（官吏の人事），**戸部**（財政），**礼部**（儀礼），**兵部**（軍事），**刑部**（司法），**工部**（土木・建築）の六部を管轄

B　地方では，州の下に県を置く**州県制**を実施

C　服属した諸民族を統治するため，６か所の〔　　　　　　〕を設置

②唐の統治

A　成年男子に土地を均等に支給し，代わりに税や兵役の義務を課す土地分配制度〔　　　　　　〕を施行

B　農民に均等に税を負担させる**租調庸制**を税制の基本とする

〔　　　〕は穀物の納入，〔　　　〕は織物の納入。

労役につくこと，または絹などで代納することを〔　　　〕と呼んだ

C　農民から徴用した兵に都や辺境を守備させる〔　　　　　　〕を実施

D　隋の時代に創始された官吏登用試験制度〔　　　　　〕を採用

※ただし，貴族の子弟が優先された。

E　法体系（律・令・格・式）による律令制度を整備

まとめ　唐は高祖が建国し，太宗の時期に最盛期を迎え，高宗が最大領域を実現した。唐は均田制，租調庸制，府兵制を基礎に置き，三省・六部や律令体制を整備した。

第５講　PART３　確認問題

1　６世紀末に建国された隋の初代皇帝はだれか。

①　煬帝　　②　武帝
③　光武帝　　④　文帝

2　隋が優秀な人材を登用するために導入した，試験による官吏登用法を何というか。

①　九品中正　　②　科挙
③　骨品制　　④　郷挙里選

3　中国の南北を結ぶ大運河を完成させた人物はだれか。

①　玄宗　　②　煬帝
③　文帝　　④　光武帝

4　隋が滅亡する原因になった遠征失敗は，朝鮮半島の何という国への遠征か。

①　百済　　②　高句麗
③　高麗　　④　新羅

5　隋を倒して唐を建国した人物はだれか。

①　李世民　　②　李鴻章
③　李淵　　④　李白

6 中国を統一した唐の太宗の治世は何と呼ばれているか。

① 延喜の治　② 開元の治
③ 天暦の治　④ 貞観の治

7 唐が服属した諸民族を統治するため，要所に設置した機関を何というか。

① 都護府　② 市舶司
③ 鎮　④ 御史台

8 全国を統治するために隋の時代に整備され，唐の時代にも実施された三大制度は，均田制，租調庸制のほか何という制度か。

① 募兵制　② 郡県制
③ 府兵制　④ 両税法

第5講 【中世編】東アジア文化圏の形成

PART4 唐の盛衰と五代十国時代

Chapter 1　唐の盛衰

目標
唐中期の皇帝の，それぞれの特色を知ろう。
安史の乱がおこった理由は何だろう。

1　則天武后と玄宗の治世

①則天武后の治世

A　高宗の皇后の〔　　　　　　　　〕（武則天）が帝位につき，国号を〔　　　〕に改める

B　貴族官僚に対抗するため，科挙による官僚を積極的に登用。**科挙官僚**が政治の担い手になっていく

C　中宗の后である韋后も皇帝即位を画策
→「**武韋の禍**」と呼ばれる

②玄宗の治世

A　712年，**玄宗**が第6代皇帝になる
治世前半は善政を敷いたので政治が安定（**開元の治**）

B　**府兵制**を廃止し，傭兵を募集する〔　　　　　　〕を採用
→国境を警備する傭兵軍団の司令官として〔　　　　　　〕を設置

C　751年，〔　　　　　　　　　　　　　　　〕で，アッバース朝の軍に敗北
→これにより，唐は中央アジアから撤退
※唐軍の捕虜によって中国の**製紙法**が西方に伝来。

2 唐の変容と安史の乱

①外戚の専横

玄宗が治世後半，〔　　　　　　〕を寵愛。その一族（外戚）の**楊国忠**らを重用して政治が乱れる

※玄宗と楊貴妃の恋愛は，詩人**白居易**の『長恨歌』にうたわれた。

②安史の乱

A　755年，楊国忠と権勢争いをしていたソグド人の武将〔　　　　　　〕が，部下の史思明とともに挙兵し，〔　　　　　　〕がおこる

→反乱軍が長安を占領し，玄宗は四川に逃亡。楊貴妃，楊国忠が殺害される

B　763年，節度使と，トルコ系遊牧民の**ウイグル**の援軍を得て乱を鎮圧。

乱後，国内各地にも**節度使**が置かれるようになる

玄宗と楊貴妃

まとめ

則天武后は中国史上唯一の女帝として「周」を建国。玄宗の治世前半は「開元の治」で政治が安定した。

玄宗が楊貴妃を寵愛して政治が乱れると，節度使の安禄山らによる安史の乱が勃発した。

Chapter 2　唐の滅亡と五代十国時代

目標
唐が衰退した理由を考えよう。
唐が滅亡すると，中国はどのような状況に陥ったか。

1　唐の衰退

第6代皇帝玄宗の頃になると，府兵の負担に耐えかねて逃亡する農民が増加。律令政治の基礎である均田制や租庸調制，府兵制は崩壊し，各制度は変容した。

①農村統治制度

大土地所有を認められた貴族, 官僚らが**荘園**を経営。〔　　　　　〕と呼ばれる小作人によって耕作された

②租税制度

農民から均等に税を徴収する**租調庸制**に代わり，〔　　　　　　〕を施行。
資産の額に応じて毎年夏と秋の2回徴税するもので，銭納を原則とする
→貨幣経済にまきこまれて没落する農民が増加

③兵制度

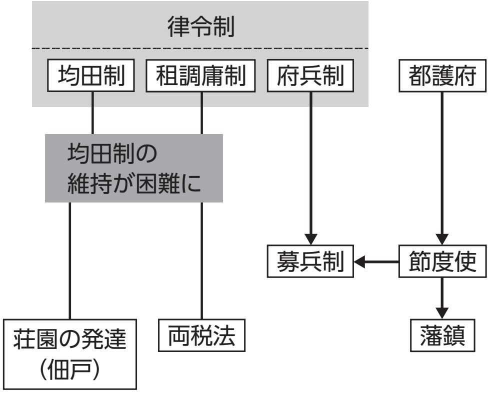
A　徴兵による**府兵制**を廃止し，傭兵を募集する〔　　　　　　〕を採用
B　傭兵軍団の指揮官として**節度使**を設置

④塩の専売

国家の重要な財源となる一方で，人々の生活は一層困窮した

⑤地方分権化

安史の乱後，各地に置かれた**節度使**が，管轄区域の行政や財政を掌握。〔　　　　　〕と呼ばれて地方に割拠した



唐の制度の変化

2 唐の滅亡

875 年　塩の密売人の黄巣が率いる反乱〔　　　　　　　　〕がおこる

→困窮する農民が結集して大規模反乱に発展

907 年　汴州（開封）を拠点とする**節度使**の〔　　　　　　〕が唐を滅ぼす

3 五代十国の時代

黄巣の乱後，門閥貴族に代わって節度使や武将が政権を握るようになった。

①華北で５つの王朝〔　　　　〕が興亡

907 年　節度使の**朱全忠**が，**開封**を都として〔　　　　〕を建国

923 年　突厥出身の節度使が**後唐**を建国（都は洛陽）

936 年　突厥出身の節度使が**後晋**を建国（都は開封）

947 年　突厥出身の節度使が**後漢**を建国（都は開封）

951 年　後漢の節度使が**五代最後の王朝**〔　　　　〕を建国（都は開封）

※第２代皇帝世宗は後周の全盛期を築き，五代随一の名君といわれた。

②江南では，節度使による 10 余りの国〔　　　　〕が分立

その後，後周の武将**趙匡胤**が**宋**（北宋）を建国。中国を統一する

まとめ

均田制，租調庸制，府兵制が崩壊し，荘園制，両税法，募兵制を施行すると，地方分権化が進んで衰退した。

朱全忠が唐を滅ぼし，後梁を建国すると，五代十国が興亡する混乱時代となった。

第５講　PART４　確認問題

1 高宗の皇后で中国史上唯一の女帝となり，国号を周に改めた人物はだれか。

① 楊貴妃　② 西太后
③ 則天武后　④ 韋后

2 玄宗が国境を警備するために設置した，軍の司令官を何というか。

① 単于　② 節度使
③ 中正官　④ 按察使

3 ８世紀半ばのタラス河畔の戦いで，捕虜となった唐軍から西方へ伝えられたものはどれか。

① 羅針盤　② 製紙法
③ 火薬　④ 活版印刷術

4 安史の乱で唐軍に援軍を送った民族はどれか。

① ウイグル　② 突厥
③ 匈奴　④ 大月氏

5 資産の額に応じて年２回の税を徴収する唐の税制を何というか。

① 租調庸制　② 地丁銀制
③ 一条鞭法　④ 両税法

6 唐の末期，塩の密売人がおこした大規模な反乱を何というか。

① 赤眉の乱　② 黄巾の乱
③ 黄巣の乱　④ 六鎮の乱

7 907 年に唐を滅ぼした人物はだれか。

① 朱全忠　② 王莽
③ 劉秀　④ 朱元璋

8 唐の滅亡後，華北に興亡した５つの王朝の順番として正しいものはどれか。

① 後梁→後唐→後晋→後漢→後周
② 後梁→後晋→後唐→後漢→後周
③ 後周→後唐→後晋→後漢→後梁
④ 後周→後晋→後唐→後漢→後梁

第５講 【中世編】東アジア文化圏の形成
PART5 唐代の社会・文化と東アジア世界

Chapter 1　唐代の社会と文化

目標
唐が国際的な王朝であったといわれる理由を考えよう。
唐の文芸の特徴を考えよう。

1　国際的な唐の特徴

①国際都市・**長安**

A　唐代に最も繁栄。外国使節や留学生，商人などが集まる国際都市になった

B　有能な外国人を官僚に取り立てる

あ　８世紀の初め，遣唐留学生として入唐した**阿倍仲麻呂**は玄宗に仕え，李白や王維などの詩人と交流

い　中央アジアの東西交易に従事する〔　　　　　　　　〕が軍事や経済など，多方面で活躍

②新しい宗教の伝来

西方諸国から**ネストリウス派キリスト教**〔　　　　　〕，**ゾロアスター教**〔　　　　　〕，**イスラーム教**〔　　　　　〕，**マニ教**（摩尼教）などが伝わり，寺院も建立された

③港町の発展

揚州や**広州**などの港町が発展し，アラビアやペルシアの**ムスリム商人**（イスラーム教徒の商人）が来航

大秦景教流行中国碑

2 唐代の文化

唐代には，西方の宗教や文化が伝来。また，北朝の遊牧民系の文化と南朝の貴族的文化が融合した，国際色豊かな文化が花開いた。

①思想・宗教の発展

A　儒教では，儒学者の〔　　　　　　〕らが五経の官撰注釈書『**五経正義**』を編さん。南北で対立していた解釈を統一した

B　仏教では，僧の**玄奘**や**義浄**が仏典を求めてインドに赴いた

あ　〔　　　　〕は『**大唐西域記**』を著し，中央アジアやインドの事情を紹介

い　〔　　　　〕は『**南海寄帰内法伝**』を著し，インドや東南アジアの仏教事情を紹介

C　仏典の漢訳や教理の研究が進み，**禅宗**や**浄土宗**などの新しい宗派が成立

D　**道教**は唐室の保護を受けて発展。民衆のなかに広く浸透した

②文学

A　**科挙**の試験科目に詩作が採用されたことから，**唐詩**が隆盛。唐中期には，詩人の〔　　　　〕や〔　　　　〕，**王維**が活躍。唐後期の詩人〔　　　　　　〕（白楽天）は，長編の漢詩『長恨歌』などを著した

B　文学者の〔　　　　〕（韓退之）や〔　　　　　　〕らが，**四六駢儷体**の流行を批判し，**古文の復興**（漢代の文体）を主張

③芸術

A　書道では，書家の**欧陽詢**や，政治家で書家の〔　　　　　　〕らが活躍

B　絵画では，玄宗に仕えた宮廷画家の**呉道玄**が，山水画の基礎を築いた

④工芸

〔　　　　　　〕と呼ばれる，白，緑，黄色の３色で彩色された陶器がつくられた

顔真卿の筆致

まとめ

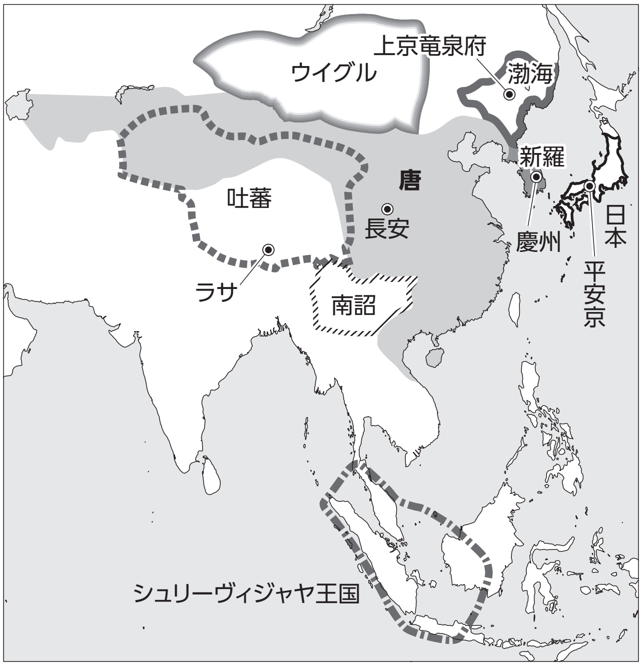
長安はさまざまな国から使節や留学生，商人が集まったことで国際都市と呼ばれた。

貴族の間で唐詩が流行し，李白や杜甫などの詩人が活躍した。

Chapter 2　東アジア世界の秩序の形成

目標
唐王朝が各地域の制度へ与えた影響を学ぼう。
唐と対立した地域について知ろう。

1　唐代の日本と朝鮮



唐代の東アジア

①日本（奈良・平安時代）

A　日本は隋・唐に対して朝貢の使節**遣隋使・遣唐使**を派遣

あ　唐の律令に倣って**大宝律令**を制定し，**律令国家**を目指す

い　唐の都城制を導入し，**長安**に倣って**平城京**や**平安京**を造営

う　唐の土地配分制度**均田制**に倣って**班田収授法**を施行

え　仏教と唐の文化の影響を受けた，国際色豊かな文化（**天平文化**）が開花

B　百済を支援するも，663 年に〔　　　　　　〕の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗

C　唐の衰退にともない，894 年に遣唐使を停止

②朝鮮半島

A　〔　　　　　　〕・〔　　　　　〕・〔　　　　　〕の 3 国が隋・唐に朝貢，冊封を受ける

B　**新羅**が唐と結んで**百済**，**高句麗**を滅ぼし，676 年に朝鮮半島に初の統一国家を建国

C　出自による身分制度〔　　　　　　〕によって社会秩序を整える

D　都の**慶州**に仏教寺院〔　　　　　　〕がつくられ，仏教文化が開花

E　**大祚栄**が698年に，高句麗の遺民を中心として中国東北部から朝鮮半島北部に〔　　　　〕を建国。唐に朝貢し，日本とも密接に交流

2　唐代の西方・北方地域

①東南アジア

7世紀，スマトラ島に〔　　　　　　　　　　　　〕王国が建国される。唐に朝貢使節を派遣

※唐の僧**義浄**はインドへの往復路の途中で王国に立ち寄り，『南海寄帰内法伝』を著してその繁栄ぶりを紹介した。

②雲南地方

8世紀中頃，チベット・ビルマ系の王国〔　　　　〕が雲南を統一。漢字や仏教など唐の文化を導入するが，のちに関係が悪化して唐へ侵攻

③チベット

7世紀の初め，〔　　　　　　　　　　　　〕がチベットを統一し，**ラサ**を都として〔　　　　〕を建国。唐とインドの影響を受け〔　　　　　　　　〕（ラマ教）が成立し，**チベット文字**がつくられた。8世紀には唐と抗争するが，9世紀に講和

④モンゴル高原

583年　トルコ系の遊牧民**突厥**が，隋に敗れて東西に分裂

630年　**東突厥**が唐に服属。7世紀に独立を回復すると，唐と，馬と絹織物を交換する**絹馬貿易**を行った

※**突厥文字**を持ち，突厥文字を刻んだ**突厥碑文**が残される。

657年　西突厥が唐に滅ぼされる

744年　トルコ系の遊牧民〔　　　　　　　　〕が東突厥を倒して建国。**安史の乱**では唐を支援するも，その後関係が悪化して圧迫するようになる

まとめ

唐の律令制度や文化が，外交使節を通して日本や朝鮮半島の周辺諸国へ広がった。

唐は雲南の南詔，チベットの吐蕃，モンゴル高原のウイグルなどからたびたび侵攻を受けた。

第 5 講　PART 5　確認問題

1　８世紀の初め，遣唐留学生として入唐した阿倍仲麻呂が仕えた皇帝はだれか。

① 玄宗　② 高祖
③ 太宗　④ 則天武后

2　インドを訪れた僧の玄奘が，中央アジアやインドの事情を紹介した書物を何というか。

①『南海寄帰内法伝』　②『五経正義』
③『仏国記』　④『大唐西域記』

3　玄宗と楊貴妃の悲恋の物語を題材にした『長恨歌』で知られる，唐後期の詩人はだれか。

① 杜甫　② 白居易
③ 李白　④ 王維

4　古文（漢代の文体）の復興を主張した文学者はだれか。

① 孔穎達　② 欧陽詢
③ 顔真卿　④ 韓愈

5　日本が平安京や平城京のモデルにした唐の都はどこか。

① 洛陽　② 長安
③ 咸陽　④ 北京

6 朝鮮半島最初の統一国家をつくった新羅の都はどこか。

① 漢城　② 慶州
③ 平壌　④ 白村江

7 ７世紀にスマトラ島に建てられた王国を何というか。

① チャンパー　② ドヴァーラヴァティー
③ シュリーヴィジャヤ　④ カンボジア

8 ソンツェン＝ガンポがチベットを統一して建てた国を何というか。

① 吐蕃　② 突厥
③ 南詔　④ 渤海

第6講 【中世編】イスラーム世界の形成と発展
PART1 イスラーム教の成立

Chapter 1　ムハンマドとイスラーム教の誕生

目標　６世紀にアラビア半島で交易が盛んになった背景を知ろう。
ムハンマドが聖遷を行ったのはなぜだろうか。

1　6世紀の西アジアの変容

①［　　　　　　　　］**ペルシア**（224年～651年）と**東ローマ帝国**の抗争

A　６世紀半ばに**ホスロー１世**が勢力を拡大

B　**東ローマ帝国（ビザンツ帝国）**と抗争を繰り広げた

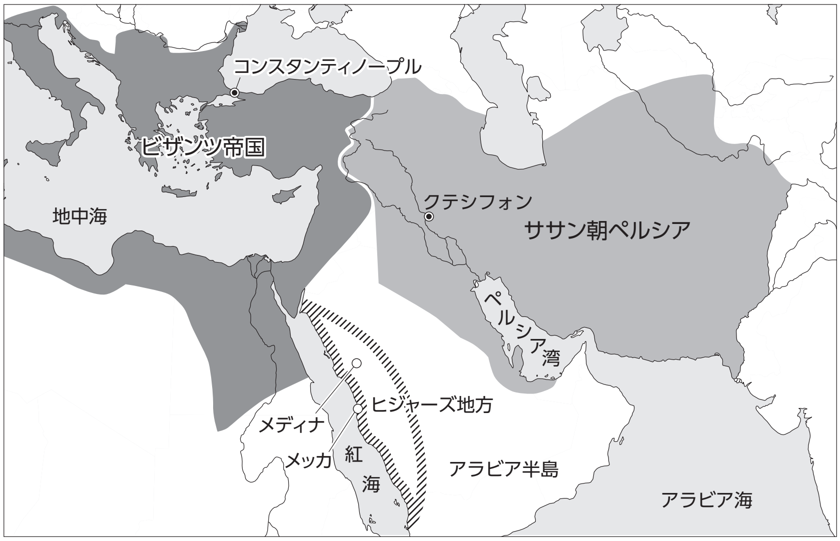
②アラビア半島を通る交易の発展

A　抗争により**シルクロード**交易が衰退

B　アラビア半島の西部沿岸部（ヒジャーズ地方）を通る交易が盛んになった

→アラビア半島では多神教が信仰されていたが，一神教のユダヤ教やキリスト教の思想が流入し，広まりつつあった

→商業が発展し，経済的格差が広がった



６世紀の西アジアの情勢

2 イスラーム教の誕生

610年頃　〔　　　　　〕の名家クライシュ族出身の〔　　　　　　　　〕が
〔　　　　　　　　〕を創始
A　神の啓示を受け，自らを**預言者**と考え布教をはじめる
B　多神教の偶像崇拝を否定し，唯一神〔　　　　　　〕への信仰を説いた

622年　〔　　　　　　〕へ移住（〔　　　　　　〕，**聖遷**）
A　メッカの有力者たちから迫害を受け，信徒**ムスリム**とともにメッカを逃れる
B　当地にてイスラーム共同体（〔　　　　　〕）を形成

630年　メッカを征服
多神教の神殿であった〔　　　　　　　〕をイスラーム教の聖殿とした

ムハンマドはさらに勢力を伸ばし，多くのアラブ諸部族を従えてアラビア半島のほとんどを支配下に置いた

3 イスラーム教の特徴

①唯一神アッラーへの絶対帰依
イスラームとは「アッラーへの絶対帰依（自分の全てを神に委ねること）」を意味する
※イスラーム教は，ユダヤ教･キリスト教と同じ一神教であり，共通の唯一神を信仰する。
ユダヤ教徒・キリスト教徒は「啓典の民」として信仰の自由を認められた。

②啓典『〔　　　　　　　〕（**コーラン**）』
ムハンマドが受けたアッラーの啓示をアラビア語でまとめた書物

③ムスリムの平等
A　全てのムスリムは神の前で平等とされ，信徒と神の間に介在する聖職者はいない
B　偶像崇拝は厳禁とされる

④〔　　　　　　〕
神・天使・啓典・預言者・来世・天命の六つを信じること（**六信**），信仰告白・礼拝・断食・喜捨・巡礼の五つを行うこと（**五行**）がムスリムの義務とされる

まとめ
東ローマ帝国とササン朝ペルシアが抗争したため，シルクロード交易が衰退し，アラビア半島経由の交易が盛んになった。
ムハンマドがイスラーム教を創始すると，メッカの有力者たちから迫害を受けたため，聖遷（ヒジュラ）を行った。

Chapter２　正統カリフ時代と征服運動

目標
アラブ軍の征服活動がもたらした影響について考えよう。
正統カリフ時代におけるカリフの継承はどのように行われたのだろうか。

1　イスラームの征服活動

①**正統カリフ時代**（632 年～ 661 年）

ムハンマドの死後，預言者の後継者として〔　　　　　　〕の地位が設けられ，ウンマを指導した。その地位は世襲ではなくウンマの合議によって決められた。そのため，初代から第４代カリフまでの時代を〔　　　　　　　　　　〕と呼ぶ

②正統カリフの征服戦争

A　初代正統カリフ：**アブー＝バクル**

カリフに就任後，ウンマに反抗する勢力を鎮圧し，アラビア半島外への征服活動をはじめた

B　第２代正統カリフ：**ウマル**

あ　大規模な征服戦争〔　　　　　　　〕（聖戦）を行い，東ローマ帝国からシリアやエジプトを獲得

い　642 年　**ニハーヴァンドの戦い**

ササン朝ペルシアを撃破。イラク・イランを支配下に置き，大帝国を築いた

ジハード

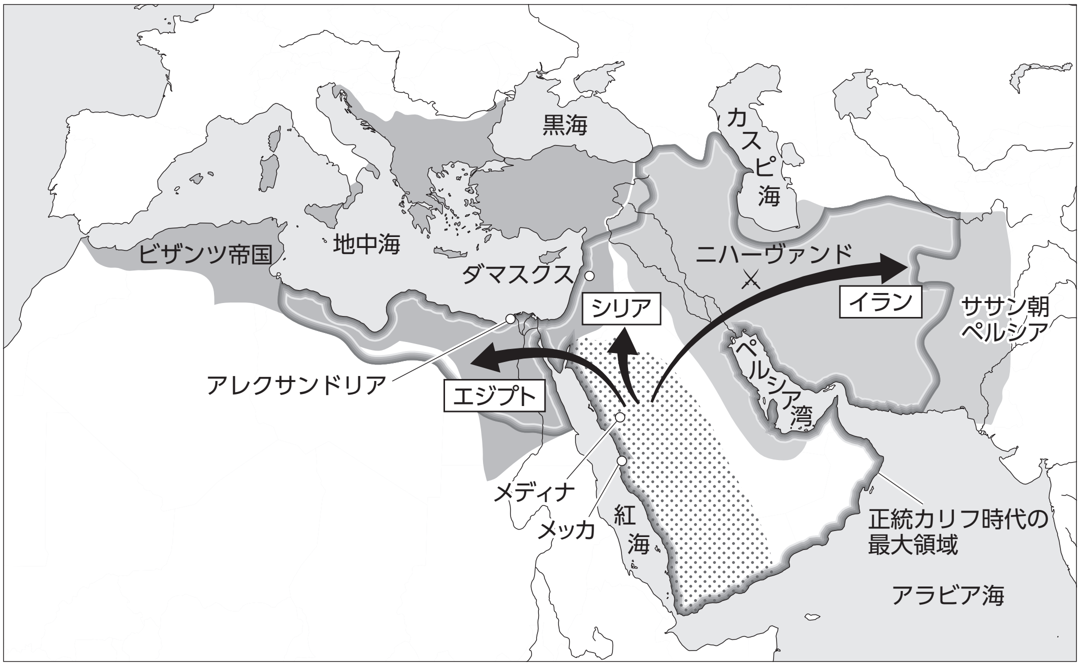
C　第３代正統カリフ：**ウスマーン**

あ　治世の前半は征服地を順調に拡大したが，征服活動停滞後は内部対立が表面化

い　今日に残る『クルアーン（コーラン)』を編さんした

D　第４代正統カリフ：〔　　　　　　〕

アラブ諸部族間の対立の中で暗殺された



正統カリフ時代の征服地

2　征服地の統治

①軍営都市（〔　　　　　　　〕）の建設

統治の拠点としてミスルが築かれ，カリフから任命された〔　　　　　　　　　〕（総督）が統治。治安維持と徴税を行う。兵士には俸給（**アター**）が支給された。多くのアラブ人がミスルに移住した

※非アラブ人のイスラーム教改宗者は〔　　　　　　　　　　　〕と呼ばれた。

②税の徴収

異教徒（ズィンミー）に**人頭税**（〔　　　　　　〕）と**土地税**（〔　　　　　　　　　　〕）が課された

※異教徒も税を納めることで生命・財産の安全や従来の信仰が認められた。

まとめ　征服活動の結果，シリアやエジプト，イランにイスラーム教が広がった。正統カリフ時代は，ウンマの合議でカリフ位が継承された。

第６講 PART 1 確認問題

1 ６世紀半ばのホスロー１世時代に勢力を拡大し，東ローマ帝国と抗争を繰り広げた王朝はどれか。

① 西ローマ帝国　② アケメネス朝ペルシア
③ 漢　④ ササン朝ペルシア

2 イスラーム教を創始したのはだれか。

① ガウタマ＝シッダールタ　② ムハンマド
③ アッラー　④ ペテロ

3 イスラーム教を創始した人物が迫害から逃れ，メディナへ移住したことを何というか。

① バビロン捕囚　② ヒジャーズ
③ ヒジュラ（聖遷）　④ 陶片追放

4 イスラーム教徒の共同体のことを何というか。

① ポリス　② 植民市
③ オアシス　④ ウンマ

5 イスラーム教の聖典はどれか。

① 旧約聖書　② 新約聖書
③ クルアーン（コーラン）　④ 六信五行

6 ムハンマドの死後に設けられたイスラーム共同体の指導者の地位はどれか。

① カリフ　② 護民官
③ メシア　④ 皇帝

7 アラブ軍の大規模な征服戦争を何というか。

① ジハード（聖戦）　② アター
③ ミスル　④ ペルシア戦争

8 イスラーム政権が土地に対して課した税を何というか。

① ズィンミー　② ハラージュ
③ マワーリー　④ ジズヤ

第 6 講 【中世編】イスラーム世界の形成と発展
PART2 イスラーム世界の拡大

Chapter 1　ウマイヤ朝の興亡

目標
ウマイヤ朝はどの地域にまで拡大したのかを知ろう。
ウマイヤ朝が衰退した背景を理解しよう。

1　ウマイヤ朝の成立と拡大

①**ウマイヤ朝**（661 年～ 750 年）の成立

661 年　第 4 代正統カリフの**アリー**が暗殺される

アリーと対立していたシリア総督〔　　　　　　　　　　〕がカリフの地位に就いて，〔　　　　　　　　　〕を開き，首都を**ダマスクス**に定めた

→以後，ウマイヤ家の出身者がカリフの地位を世襲するようになった（正統カリフ時代との違い）

②支配地の拡大

ウマイヤ朝成立後も征服活動が続けられ，東は**中央アジア**とインド西北部，西は**北アフリカ**を征服

711 年　**イベリア半島**に進出し，〔　　　　　　　　　　〕を滅ぼす

732 年　**フランク王国**領に進出したが，

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕に敗れる

→支配地の拡大はイベリア半島で止まった

ダマスクスのウマイヤモスク

2　ウマイヤ朝の衰退

8 世紀前半に領土の拡張が終わると，ウマイヤ家の統治に対する批判が強まってきた。

①アラブ人の特権と〔　　　　　　　　　〕の不満

A　アラブ人の特権

アラブ人は，**ジズヤ**（人頭税）と**ハラージュ**（土地税）が免除されていた

※このため，ウマイヤ朝は「**アラブ帝国**」と呼ばれる。

B　**マワーリー**の不満

非アラブ人の間にイスラーム教改宗者が増えていったが，ジズヤ・ハラージュが免除されることはなかった

→マワーリー（非アラブのムスリム）の不満が高まっていく

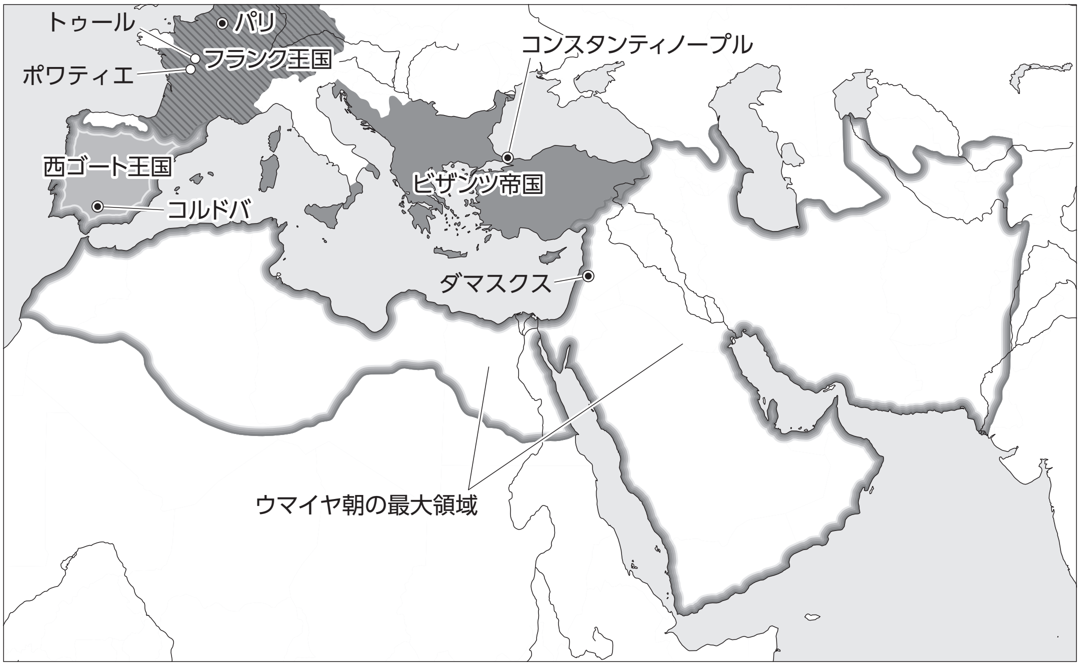
②スンナ派とシーア派の対立

A　ウマイヤ朝成立後，**ムハンマド**の血統を重視する少数派の〔　　　　　　　　〕が形成され，**アリー**（ムハンマドの従弟で娘婿）とその子孫だけがムハンマドの後継者であると主張

B　ウマイヤ朝カリフの権威を認める多数派の〔　　　　　　　　〕

→シーア派はたびたび反乱をおこしウマイヤ朝は次第に弱体化。**750年**に滅亡。

　アッバース朝が成立する



ウマイヤ朝の最大領域

まとめ　**ウマイヤ朝は中央アジアからイベリア半島まで支配した。**
アラブ人が特権を有したため，非アラブの改宗者やシーア派の反発を招いた。

Chapter 2　アッバース朝とイスラーム帝国

目標　アッバース朝がイスラーム帝国と呼ばれていたのはなぜだろうか。
アッバース朝の衰退の原因を理解しよう。

1　アッバース朝の成立と繁栄

①アッバース朝（750年～ 1258年）の成立

750年　ムハンマドの叔父の子孫のアッバース家がウマイヤ朝を滅ぼす。

［　　　　　　　　　　　　］を開き，カリフ位を世襲した。

ティグリス川中流域に新都［　　　　　　　　　　］を造営

②アッバース朝の繁栄

A　アッバース朝の最盛期

あ　第5代カリフ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］の頃に最盛期を迎える

※『**千夜一夜物語**（**アラビアン＝ナイト**）』の主人公の一人として知られる。

い　ビザンツ帝国に侵攻

う　**フランク王国**の**カール大帝**と使節を交換

B　国際交易と農業の発展

あ　広大な地域を支配する中で，バグダードと各地を結ぶ交通網が整備され，安全が確保された

→バグダードは国際交易の中心として繁栄

い　農地開発が積極的に行われ，灌漑により農業生産力が向上した

C　ムスリムの平等

あ　イスラーム知識人（**ウラマー**）によるイスラーム法（**シャリーア**）の体系化が進められ，シャリーアに基づく統治が行われた

い　アラブ人の特権が廃止され，ムスリムは民族にかかわらず**ジズヤ**を免除され，アラブ人であっても征服地に土地を所有する場合は**ハラージュ**が課せられた

→ムスリムの平等が実現し，ムスリム人口が急速に増大

※このため，アッバース朝は「［　　　　　　　　　　　　　］」と呼ばれた。

アッバース朝の最大領域

2 アッバース朝の衰退

①後ウマイヤ朝の成立

756年　ウマイヤ家の一族がイベリア半島へ逃れ，〔　　　　　　　　　　　　〕(756年～1031年）をおこした

→イスラーム政権分裂のはじまり。アッバース朝カリフの権威が低下しはじめる

②地方政権の成立

9世紀後半にはアッバース朝の周辺地域で地方政権が成立していった

A　マムルークの自立

アッバース朝では，〔　　　　　　　　〕と呼ばれるトルコ系軍人奴隷を用いてカリフの親衛隊を組織していたが，9世紀後半にはカリフを廃立するほどの力を持つようになり，地方で自立をはじめた

B　エジプトでトゥールーン朝（868年～905年）が成立

C　中央アジアにイラン系の〔　　　　　　　　〕(875年～999年）が成立

→地方分権化が進行し，アッバース朝は衰退していった

まとめ　アッバース朝がアラブ人と非アラブ人ムスリムの平等を達成し，ムスリムの数を増やしたため。
非アラブ人の軍事勢力が自立し，サーマーン朝などの地方政権に分裂したこと。

第６講 PART２ 確認問題

1 第４代正統カリフ・アリーの次にカリフになったのはだれか。

① ダレイオス１世　② アレクサンドロス大王
③ オクタウィアヌス　④ ムアーウィヤ

2 ウンマの合議によらずカリフ位の世襲をはじめた最初のイスラーム王朝はどれか。

① プトレマイオス朝　② クシャーナ朝
③ ウマイヤ朝　④ バビロン第１王朝

3 アラブ軍がフランク王国に敗れた戦いはどれか。

① トゥール・ポワティエ間の戦い　② マラトンの戦い
③ ニハーヴァンドの戦い　④ イッソスの戦い

4 非アラブ人のイスラーム教改宗者のことを何というか。

① ムスリム　② マワーリー
③ バラモン　④ クシャトリヤ

5 アリーとその子孫だけがムハンマドの後継者であると主張するイスラーム教の一派はどれか。

① パリサイ派　② アタナシウス派
③ シーア派　④ スンナ派

6 ウマイヤ朝を滅ぼし，新たなイスラーム政権となったのはどれか。

① 西ゴート王国　② アッバース朝
③ グプタ朝　④ ビザンツ帝国

7 『千夜一夜物語（アラビアン＝ナイト)』の主人公の一人であるカリフはだれか。

① ハールーン＝アッラシード　② ウスマーン
③ トラヤヌス帝　④ テミストクレス

8 アラブ人の特権が廃止され，ムスリムの平等が達成されたことからアッバース朝は何と呼ばれるか。

① ローマ帝国　② アラブ帝国
③ ペルシア帝国　④ イスラーム帝国

第 6 講 【中世編】イスラーム世界の形成と発展
PART3 イスラーム世界の分裂 1

Chapter 1　イスラームの分裂とイラン人の台頭

目標
アッバース朝カリフの権威が低下した理由を考えよう。
ブワイフ朝はどのようにして実権を握ったのだろうか。

1　アッバース朝カリフの権威低下

①後ウマイヤ朝（756 年～ 1031 年）の成立

756 年，イベリア半島に〔　　　　　　　　　　〕が成立。首都を〔　　　　　　〕に定める

A　君主は**アミール**の称号を用い，当初はアッバース朝**カリフ**の権威を否定しなかった →のちにカリフを自称

B　イベリア半島にイスラーム教が広まり，学問が発達

C　芸術分野でも装飾文様として植物やアラビア文字を文様化した。**アラベスク**を多用したすぐれた作品がつくられた

②ファーティマ朝（909 年～ 1171 年）

A　10 世紀に入り，北アフリカに**シーア派**の〔　　　　　　　　　　〕が成立

B　アッバース朝の正統性を否定し，君主は当初より〔　　　　　〕を自称

※アッバース朝がムハンマドの叔父の子孫の系譜であるのに対して，ファーティマ朝はムハンマドの直系の子孫であることを強調した。

→後ウマイヤ朝のアブド = アッラフマーン 3 世もこれに対抗してカリフを自称した（929 年）。3 人のカリフが並存する形となり，イスラーム政権の分裂が決定的となった

C　10 世紀後半にはエジプトを征服し，首都〔　　　　　〕を建設

D　カイロや**アレクサンドリア**が交通網の中心として繁栄し，カイロにはイスラーム教の最高学府として〔　　　　　　　　　　〕（世界文化遺産）が設立された

2 イラン人の台頭とブワイフ朝

①ブワイフ朝（932年～1062年）の台頭

西北イランにシーア派の**イラン系**〔　　　　　　　　　　〕がおこる

946年　**バグダード**に入城

君主はアッバース朝カリフの権威を認め，自らは〔　　　　　　　　　　〕の称号を得て，イラン・イラク地域を支配した

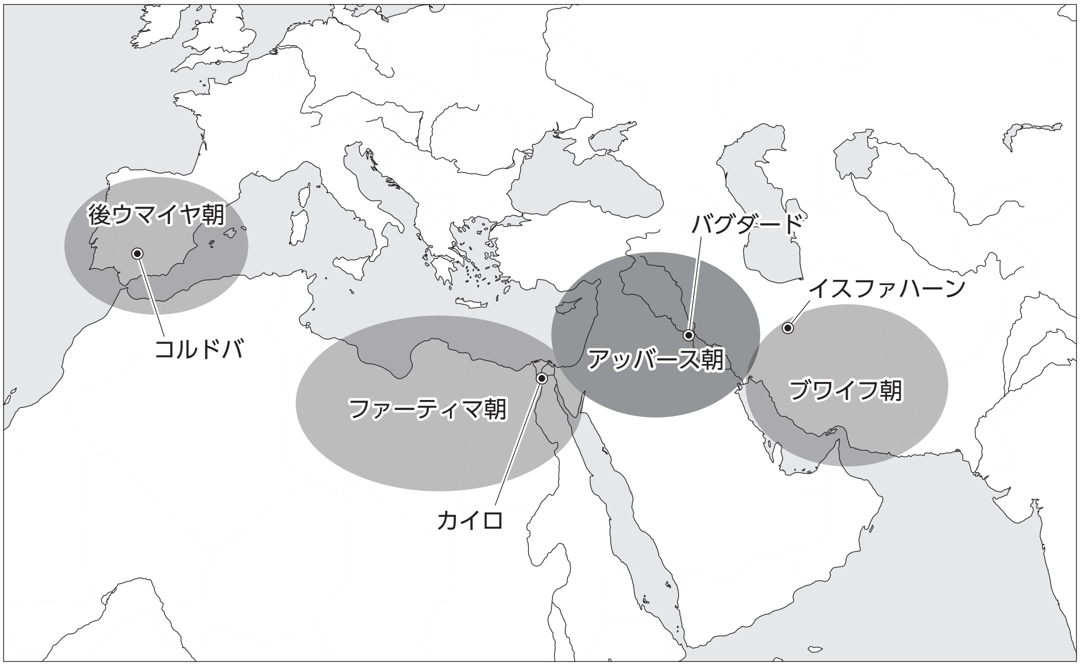
→アッバース朝の政治的実権はほとんど失われることになった

ブワイフ朝では，イラン人が官僚として登用された

②イクター制の施行

ブワイフ朝では，軍人に対してそれまでの俸給の代わりに一定の土地の徴税権（イクター）を与え，土地を管理させた。これを〔　　　　　　　　　　〕と呼ぶ

※イクター制は以降のイスラーム王朝で採用される。



イスラーム世界の多極化

まとめ　ファーティマ朝や後ウマイヤ朝がアッバース朝の正統性を否定し，カリフを自称したため。
ブワイフ朝はカリフから大アミールの称号を得て，政治の実権を握った。

Chapter 2　トルコ系イスラーム王国のおこり

目標
中央アジアがトルコ化していったきっかけを考えよう。
セルジューク朝はどのようにしてイスラーム世界の政治的実権を握ったのだろうか。

1　トルコ人の西進

①ウイグルの西進

8 世紀半ば　トルコ系騎馬遊牧民の〔　　　　　　　　〕が**突厥**を滅ぼし，モンゴル高原を支配

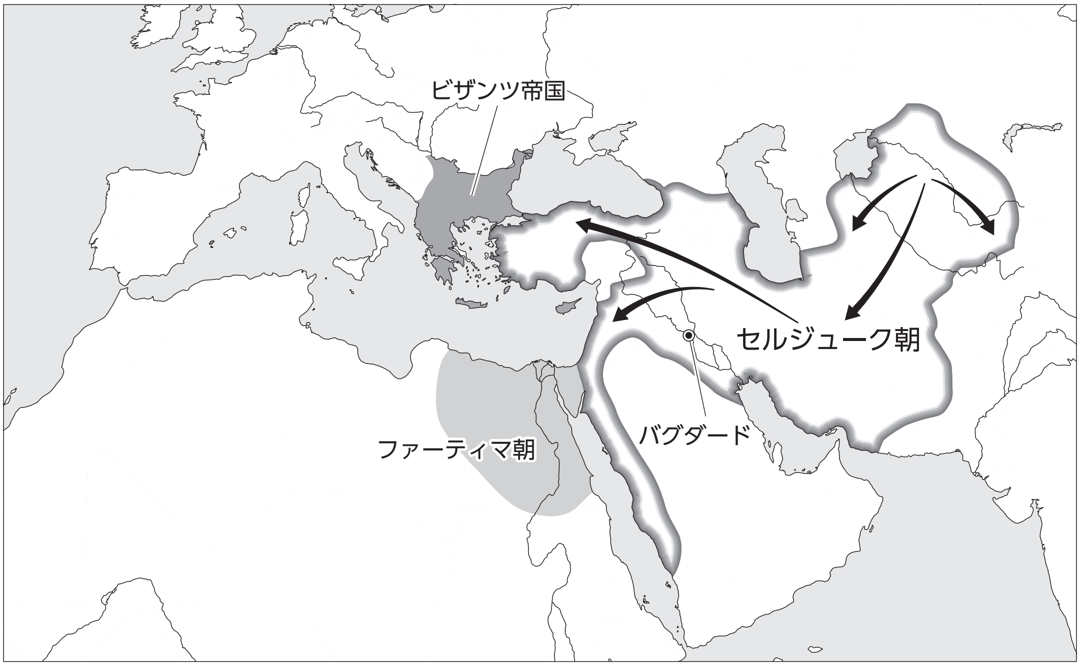
9 世紀半ば　トルコ系の**キルギス**によりウイグルが滅亡し，のちにウイグル人の一部が西方へ移住。トルコ系騎馬遊牧集団の西方への移住が活発となる

10 世紀末　イスラーム教を受容したトルコ系の〔　　　　　　　　〕が**サーマーン朝**を倒して中央アジアに進出

→中央アジアにはトルコ語を話す人々が増加。トルコ化が進み，その地域は〔　　　　　　　　〕（トルコ人の土地）と呼ばれるようになった

②マムルークとしての登用

9 世紀　アッバース朝カリフらが**マムルーク**（トルコ系軍人奴隷）を登用



ウイグルの西進

2　セルジューク朝の成立

①セルジューク朝（1038年～1194年）の成立と発展

11世紀前半　トルコ系王朝である〔　　　　　　　　　　〕が成立

1055年　創始者の〔　　　　　　　　　　〕がブワイフ朝を攻め，

バグダードに入城。アッバース朝カリフから〔　　　　　　〕（支配者）の称号を得る

1071年　小アジアに侵入し，ビザンツ帝国軍を破る

→キリスト教国の**十字軍**遠征のきっかけとなった

②セルジューク朝の統治

A　イラン系官僚の登用

イラン系の人々が官僚に登用された。イラン系の宰相

ニザーム＝アルムルクが各地に〔　　　　　　　　　　〕という

マドラサ（学院）を建設し，スンナ派の学問を振興した

B　イクター制の継承

軍隊ではマムルークを重用し，彼らにイクターを与えた

3　セルジューク朝の衰退

①内部分裂による弱体化

イクター保有者の自立が進み，地方政権に分裂。セルジューク朝は衰退

②ルーム＝セルジューク朝（1077年～1308年）

小アジアに侵攻したセルジューク朝の一族が

ルーム＝セルジューク朝を建てる。13世紀には**モンゴル**の侵攻を受けて衰退

→小アジア各地に建てられた侯国のうち，北西部に**オスマン朝**がおこり，

のちの**オスマン帝国**に発展

まとめ

トルコ人がマムルーク（軍人奴隷）として西方で登用されたことで中央アジアのトルコ化が進んだ。

セルジューク朝のトゥグリル＝ベクがバグダードに入城し，カリフからスルタンの称号を得て政治権力を得た。

第 6 講　PART 3　確認問題

1　文芸が栄えた後ウマイヤ朝の首都はどこか。

①　メッカ　　②　メディナ
③　アレクサンドリア　　④　コルドバ

2　後ウマイヤ朝の君主が当初使用した称号はどれか。

①　カリフ　　②　アミール
③　ウラマー　　④　ディクタトル

3　10 世紀に北アフリカでおこったシーア派の王朝はどれか。

①　ファーティマ朝　　②　ウマイヤ朝
③　アッバース朝　　④　トゥールーン朝

4　ブワイフ朝がはじめた，軍人に土地の徴税権を与えて管理させる制度を何というか。

①　封建制　　②　アター
③　イクター制　　④　カースト

5　トルコ系軍人奴隷のことを何というか。

①　トルキスタン　　②　マムルーク
③　シュードラ　　④　ズィンミー

6 11 世紀におこったトルコ系スンナ派王朝はどれか。

① サーマーン朝　② 突厥
③ ウイグル　④ セルジューク朝

7 トゥグリル＝ベクがアッバース朝カリフから得た称号はどれか。

① ファラオ　② スルタン
③ 大アミール　④ アウグストゥス

8 小アジアに侵攻したセルジューク朝の一族が 11 世紀に建てた王朝はどれか。

① ルーム＝セルジューク朝　② オスマン朝
③ ムラービト朝　④ ムワッヒド朝

第6講 【中世編】イスラーム世界の形成と発展

PART4 イスラーム世界の分裂2

Chapter 1　中央アジア，イベリア半島，北アフリカの状況

目標
中央アジアに王朝を建てた民族の変遷について知ろう。
イベリア半島や北アフリカは西欧とどんな関係にあったのだろうか。

1　中央アジアのイスラーム王朝

①**サーマーン朝**（875年～999年）

イラン系王朝。アッバース朝カリフの権威を認めつつ，支配地を拡大

トルコ人をカリフの親衛隊に，**マムルーク**（トルコ系軍人奴隷）として供給

②**カラハン朝**（10世紀半ば頃～12世紀半ば頃）

トルコ系初のイスラーム王朝として成立。その後，サーマーン朝を滅ぼす

→中央アジアのトルコ化が進む

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1077年～1231年）

トルコ系マムルーク出身者が建国

同じトルコ系のセルジューク朝が滅ぶと，中央アジアからイランにまで支配地を拡大したが，13世紀前半，**モンゴル**軍に征服され，滅亡

2　イベリア半島のイスラーム王朝

①**後ウマイヤ朝**（756年～1031年）

ウマイヤ朝（750年）滅亡後，イベリア半島に逃れたウマイヤ家の一族が建国。首都は**コルドバ**

→イベリア半島にイスラーム教が広がる

②〔　　　　　　　　〕（1232年～1492年）

イベリア半島最後のイスラーム王朝。1492年，スペイン王国に滅ぼされる

→キリスト教徒による〔　　　　　　　　　　〕（**国土回復運動**）が完了

首都〔　　　　　　　　〕には**アラベスク**で装飾された世界文化遺産の

〔　　　　　　　　　　　　　　〕がある

3 北アフリカのイスラーム王朝

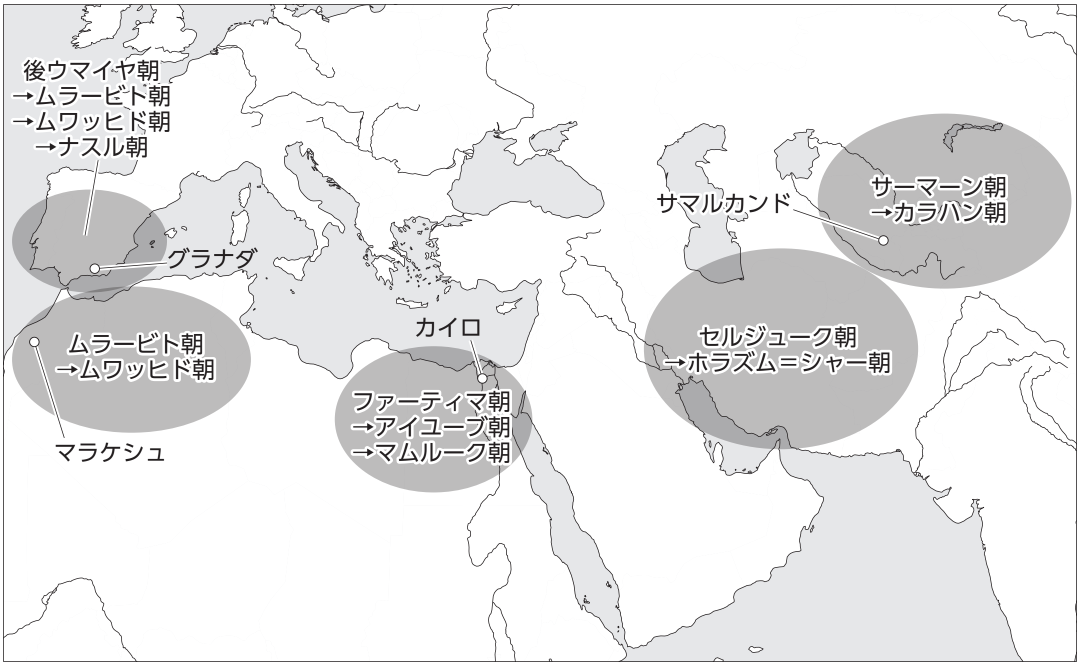
エジプト以西の北アフリカ（**マグリブ**）では，先住民である〔　　　　　　　　　　〕のイスラーム教（スンナ派）への改宗が進んでいた。

①〔　　　　　　　　　　〕（1056年～1147年）

11世紀半ば，モロッコの〔　　　　　　　　　　〕を首都に成立した**ベルベル人**の王朝
ガーナ王国を滅ぼす

②〔　　　　　　　　　　〕（1130年～1269年）

12世紀前半にムラービト朝を批判する宗教運動がおこり，成立したベルベル人の王朝
ムラービト朝を滅ぼす。首都は**マラケシュ**
→両王朝とも，後ウマイヤ朝滅亡（1031年）後に盛んになっていた**レコンキスタ**に対抗するためイベリア半島に進出したが，13世紀初めにキリスト教連合軍に敗れた



各地域のイスラーム王朝

まとめ

中央アジアにはイラン系のサーマーン朝が建てられた。トルコ人が台頭すると，トルコ系のカラハン朝が成立した。
イベリア半島のナスル朝，北アフリカのムラービト朝とムワッヒド朝はレコンキスタに対抗した。

Chapter 2　エジプトの状況とモンゴル人の西アジア支配

目標
エジプトのイスラーム王朝の対外的な活動について学ぼう。
モンゴル人の西アジア征服はどのように進んだのだろうか。

1　エジプトのイスラーム王朝

①**ファーティマ朝**（909年～1171年）

シーア派の王朝で，10世紀後半にはエジプトを征服し，首都**カイロ**を建設した

②〔　　　　　　　　　　〕（1169年～1250年）

〔　　　　　　　　　　〕（**サラーフ＝アッディーン**）が建国

1171年にファーティマ朝を滅ぼし，**スンナ派**の支配を回復。首都は**カイロ**。**マムルーク**を重用して強力な軍隊を組織し，十字軍国家に反撃。1187年にはイェルサレムを奪還

→第3回十字軍を撃退

③〔　　　　　　　　　　〕（1250年～1517年）

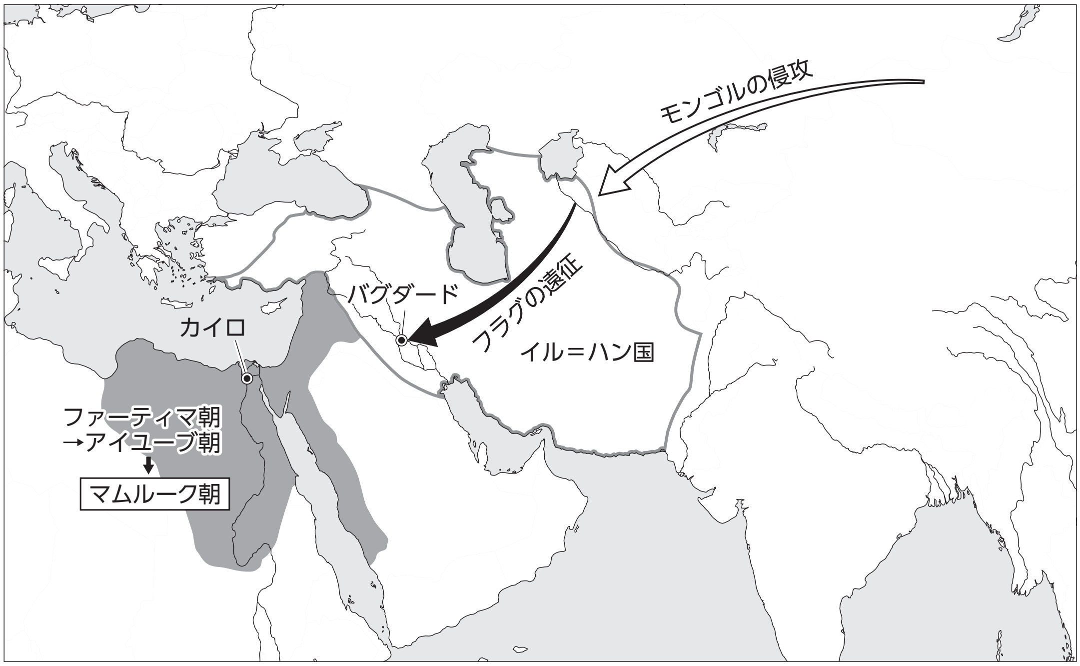
A　マムルーク朝の成立と支配

アイユーブ朝のマムルーク軍団がクーデタをおこし，アイユーブ朝を滅ぼす。**フラグ**の**モンゴル**軍を撃退。モンゴル軍によって滅ぼされた**アッバース朝**の一族をカリフとして擁立し，支配を固め，1291年には十字軍最後の拠点である**アッコン**を陥落させ，**十字軍を終わらせた**

B　交易の発展

モンゴル軍に侵攻された**バグダード**に代わり，首都**カイロ**が商業・手工業の中心都市として繁栄した

※11世紀以降，カイロを拠点とする〔　　　　　　　　　　〕と呼ばれるイスラーム商人集団が，インド洋・紅海と地中海を結ぶ**香辛料**交易を独占した。



エジプトの王朝とモンゴルのアジア支配

2　モンゴルの西アジア進出とイル＝ハン国

①モンゴルの西アジア進出（13世紀半ば）

1258年,〔　　　　　　〕率いるモンゴル軍がバグダードに侵攻し,500年続いた**アッバース朝**を滅ぼした

②**イル＝ハン国**（1258年～1353年）

フラグがイランに〔　　　　　　　　〕を建国。第7代の〔　　　　　　　〕は自ら**イスラーム教に改宗**し，イスラーム教を国教に定めてイスラーム文化を保護した。

また，交通網が整備され，ユーラシア大陸東西の交易が活発になった

→東アジアの文化が伝わり，**イラン＝イスラーム文化**が栄えた

※宰相〔　　　　　　　　　　〕の『集史』など。

※火薬・羅針盤・印刷術などが**モンゴル**経由でヨーロッパに伝わり，世界史に大きな影響をもたらした。

まとめ　アイユーブ朝は第3回十字軍を撃退し，マムルーク朝はフラグのモンゴル軍を退けたほか，十字軍を終わらせた。
フラグがアッバース朝を滅ぼし，西アジアにイル＝ハン国を建てた。

第 6 講　PART 4　確認問題

1 トルコ系マムルーク出身者が建国し，12 世紀末に中央アジアからイランまで支配地を広げた王朝はどれか。

① セルジューク朝　② サーマーン朝
③ ブワイフ朝　④ ホラズム＝シャー朝

2 スペイン王国に滅ぼされたナスル朝の首都グラナダにある世界文化遺産はどれか。

① カーバ神殿　② パルテノン神殿
③ アルハンブラ宮殿　④ ヴェルサイユ宮殿

3 ムラービト朝を建てたマグリブの先住民はどれか。

① トルコ人　② ベルベル人
③ イラン人　④ クルド人

4 ムラービト朝を滅ぼし，イベリア半島でレコンキスタに対抗した王朝はどれか。

① ウマイヤ朝　② 後ウマイヤ朝
③ ムワッヒド朝　④ ササン朝

5 エジプトでアイユーブ朝を創始し，第 3 回十字軍を撃退したのはだれか。

① サラディン（サラーフ＝アッディーン）　② リチャード 1 世
③ ハールーン＝アッラシード　④ トゥグリル＝ベク

6 モンゴル軍を撃退し，また，十字軍を終わらせるなど，カイロを中心に繁栄した王朝はどれか。

① マムルーク朝　② トゥールーン朝
③ ファーティマ朝　④ プトレマイオス朝

7 モンゴル軍を率いてアッバース朝を滅ぼした人物はだれか。

① チンギス＝ハン　② アブー＝バクル
③ フラグ　④ ムアーウィア

8 イスラーム教を国教にしたイル＝ハン国の第７代君主はだれか。

① ユスティニアヌス大帝　② ニザーム＝アルムルク
③ ガザン＝ハン　④ ラシード＝アッディーン

第６講　【中世編】イスラーム世界の形成と発展

PART5 インドとアフリカのイスラーム化

Chapter 1　インドと東南アジアのイスラーム化

目標　インドのイスラーム化はどのように進んだのだろうか。
東南アジアのイスラーム化の発端を理解しよう。

1　アフガニスタンのイスラーム王朝

７世紀　北インドでは**ヴァルダナ朝**滅亡後，ヒンドゥー教諸王朝の分立時代が続く

８世紀　インド洋交易の発展により，沿岸部では**ムスリム商人**が活動開始。

アフガニスタンを拠点とするイスラーム２王朝が西北インド侵入を繰り返す

10 世紀半ば　サーマーン朝のマムルークが〔　　　　　　　　　〕をおこす

12 世紀　ガズナ朝から〔　　　　　　　　　〕が自立

→イスラーム２王朝がインドのヒンドゥー勢力（ラージプート）を征服

12 世紀末　ゴール朝が北インド支配の基礎を築く

2　インドのイスラーム王朝

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕：デリーを首都とする５つのイスラーム系王朝の総称

A　〔　　　　　　　　　〕（1206 年～ 1290 年）：インド最初のイスラーム王朝

あ　トルコ系マムルーク出身の〔　　　　　　　　　〕がゴール朝から独立

い　デリーにインド最古のモスクである**クトゥブ＝ミナール**を建てた

B　**ハルジー朝**（1290 年～ 1320 年）

→金納・直接納税などの税制改革を実施し，南インド遠征により支配地域を拡大

C　**トゥグルク朝**（1320 年～ 1414 年）

D　**サイイド朝**（1414 年～ 1451 年）

E　〔　　　　　　　　　　　〕（1451 年～ 1526 年）

→この王朝が滅ぼされてムガル帝国が成立

②ヒンドゥー教の支配層を存続させたインド支配

A　イスラーム改宗の強制はなかったが，ムスリム商人やスーフィーの活動により，一部

でイスラームへの改宗も促された

B　ヒンドゥー教とイスラームは敵対することなく，北インドの社会に浸透

3　マラッカ王国と東南アジアのイスラーム化

①ムスリム商人

8 世紀頃から〔　　　　　　　〕と呼ばれる帆船で，東南アジアから中国沿岸まで進出

②中国商人

9 世紀〔　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる帆船で，南シナ海交易に直接参加

→マラッカ海峡やマレー半島，スマトラ島沿岸の港市国家を中心に，東南アジアは**香辛料**などの特産品を巡ってさまざまな国や地域の商人たちで栄えた

③イスラームとその文化の広がり

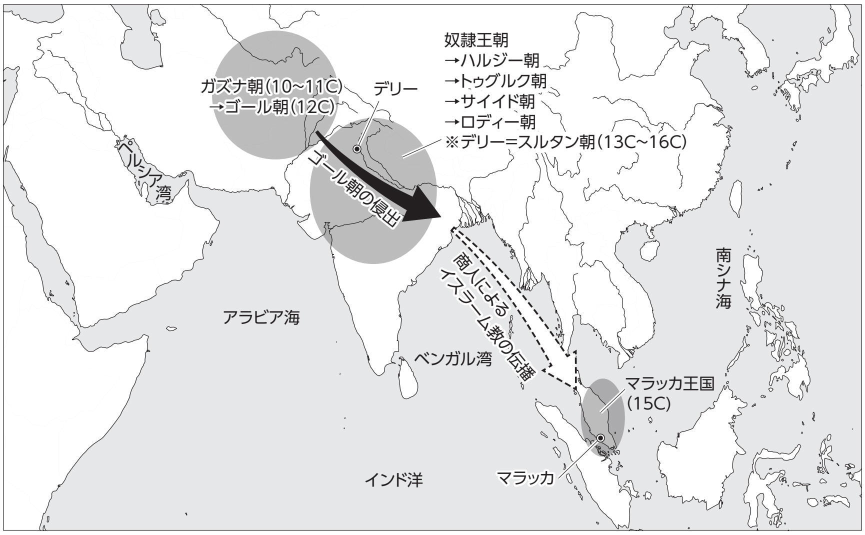
13 世紀末　ジャワでは，中国・元の侵攻を排した後にヒンドゥー教国の**マジャパヒト王国**がジャワ全島からスマトラ島東海岸までの海上交易を独占

15 世紀初め　**マラッカ王国**が明の永楽帝による鄭和の南海遠征の拠点となる

15 世紀半ば〔　　　　　　　　　　　　〕がイスラーム教に改宗し，インド洋・南シナ海・東南アジアを結ぶ海上交易の中心として栄えた

15 世紀末　スマトラ島にイスラーム国家である**アチェ王国**が誕生

16 世紀末　マジャパヒト王国滅亡後イスラームの〔　　　　　　　　　　　　〕が成立



アフガニスタン・インド・東南アジアのイスラーム王朝

まとめ
アフガニスタンのイスラーム王朝のインド侵入によりイスラーム化が進んだ。
マラッカ王国のイスラーム改宗により諸島部のイスラーム化が進んだ。

Chapter２　アフリカの古代王朝とイスラーム化

目標　西アフリカになぜイスラーム教が広まったのだろうか。
アフリカ東海岸でスワヒリ語が成立した背景を理解しよう。

1　ナイル川上流域の諸王朝

前８世紀頃　最古の黒人王国である**クシュ王国**がエジプト全土を支配するほど繁栄

前７世紀前半　アッシリアのエジプト侵入によりナイル上流（現スーダン）に後退

前６世紀　首都をメロエとして以降は**メロエ王国**と呼ばれる
→高い製鉄技術とナイル川の交易によって栄え，独自の〔　　　　　　　　〕を用いた

４世紀中頃　**エチオピア**（アビシニア）高原で栄えていた〔　　　　　　　　〕がナイル川上流に進出してメロエ王国を滅ぼし，キリスト教を受容

６世紀　アクスム王国はアラビア半島にも進出，紅海交易でインドやローマ帝国とも交流

2　西アフリカのイスラーム化と王朝

４世紀頃　西アフリカはラクダによるサハラ砂漠縦断が可能になり，地中海沿岸と結ばれた
→地中海からの物資とサハラ砂漠で採取される岩塩が西アフリカへ，西アフリカ産の金や象牙などが地中海沿岸へと運ばれて取引された（**塩金貿易**）

８世紀頃以前から　西アフリカのニジェール川流域におこった〔　　　　　　　　〕がサハラ縦断交易で栄える

８世紀　北アフリカからムスリム商人が訪れるようになり，ガーナ王国とイスラーム世界との塩金貿易が発展

11 世紀後半　**ムラービト朝**の侵入によりガーナ王国が滅亡
→西アフリカ一帯のイスラーム化が進む

13 世紀　ニジェール川上流域にイスラーム王朝の〔　　　　　　　　〕が建国される
→ニジェール川中流の首都〔　　　　　　　　〕は交易都市，イスラーム文化や学術の中心としても繁栄し，〔　　　　　　　　〕（在 :1312 年～ 37 年）の頃に最盛期を迎えた

15 世紀後半　マリ王国を滅ぼし，〔　　　　　　　　〕が成立

16 世紀　**トンブクトゥ**に黒人による初の大学が創設される

アフリカのイスラーム王朝

3　アフリカ東海岸の海港都市

アフリカ東海岸では古くからアラビア半島などと海上交易が行われていた。

→いずれの国もムスリム商人によるインド洋交易で繁栄

①インド洋交易

8 世紀　ムスリム商人が**季節風（モンスーン）**と**ダウ船**を使ったインド洋交易を活発化させ，金や香料，象牙などが輸出された

A　ムスリム商人たちは〔　　　　　　　　　〕，**モンバサ**，**ザンジバル**，**キルワ**などの港市に居留地をつくった

B　現地のバントゥー系言語とアラビア語が混交して共通語の〔　　　　　　　　〕語が，黒人文化とイスラーム文化が融合して**スワヒリ文化**が生まれた

※商業語として成立したこの言語は，現在でもケニア，タンザニア，ウガンダの公用語となっている。

②〔　　　　　　　　　〕王国

13 世紀頃　スワヒリ文化圏よりさらに南方のザンベジ川流域で**グレート・ジンバブエ**が栄えた

14 世紀頃　グレート・ジンバブエ衰退後に王国が成立し，栄える

まとめ
西アフリカとイスラーム世界はサハラ砂漠を縦断する塩金貿易で結ばれた。
アフリカ東海岸の言葉とアラビア語が融合してスワヒリ語が形成された。

第6講　PART5　確認問題

1 12世紀にアフガニスタンを拠点とするガズナ朝から自立して，インド侵入を繰り返したイスラーム王朝はどれか。

① サーマーン朝　② カラハン朝
③ ゴール朝　④ ヴァルダナ朝

2 13～16世紀にデリーを首都として続いた5つのイスラーム系王朝の総称はどれか。

① 奴隷王朝　② デリー＝スルタン朝
③ ローディー朝　④ ハルジー朝

3 15世紀末からスマトラ島の港市国家として発展したイスラーム王朝はどこか。

① アチェ王国　② バンテン王国
③ ジョホール王国　④ マタラム王国

4 15世紀初めの鄭和の南海遠征後に，東南アジアで最初の本格的なイスラーム国家となって発展した国はどこか。

① シュリーヴィジャヤ王国　② マジャパヒト王国
③ マタラム王国　④ マラッカ王国

5 4世紀にエチオピア高原からナイル川上流に進出して紅海交易で栄えた国はどこか。

① クシュ王国　② メロエ王国
③ アクスム王国　④ エチオピア王国

6　８世紀以前からサハラ縦断交易で栄え，その後ムスリム商人との塩金貿易で繁栄した国はどこか。

①　ガーナ王国　　②　カネム王国
③　コンゴ王国　　④　ルンダ王国

7　13 世紀に建国されたイスラーム王朝のマリ王国の首都で，交易やイスラーム文化の中心としても繁栄した都市はどこか。

①　アルジェ　　②　アシャンティ
③　トンブクトゥ　　④　チュニス

8　アフリカ東海岸の海港都市で現地の言語とアラビア語が混交してできた言語はどれか。

①　ベルベル語　　②　アムハラ語
③　ソマリ語　　④　スワヒリ語

第6講　【中世編】イスラーム世界の形成と発展

PART6 イスラームの社会と文化

Chapter 1　イスラームの社会と思想

目標　イスラーム社会の特徴は何だろうか。
スーフィズム（神秘主義）がどのように生まれたのか知ろう。

1　イスラームの社会

①商業

西アジアや北アフリカに拡大しながら，公正な取引など商人の倫理を大切にする宗教として発展

②宗教と言語

イスラームによる社会は，同じ宗教とアラビア語を持つ文明として征服された広大な地域で展開

③文化

地域の言語や文化が融合されて**イラン＝イスラーム文化**，**トルコ＝イスラーム文化**，**インド＝イスラーム文化**などの多様性も形成

④都市の特徴

〔　　　　　　〕（礼拝堂）と常設の〔　　　　　　〕（市場），商人たちの宿である**キャラバンサライ**（隊商宿），公衆浴場が建ち，〔　　　　　　　〕（学院）も設置

→モスクや病院などの公共施設の建設費や運営費は，財産寄進制度である〔　　　　　　〕によって維持される

※マドラサはイスラームの学者である〔　　　　　　　〕を育成するための教育機関。11世紀以降，各都市に設けられた。

モスク

スーク

2　シャリーアの形成

〔　　　　　　　　　　〕（**イスラーム法**）は，イスラームの信仰や倫理から家族や商行為などの世俗生活までに関わる規定。

①聖典『**クルアーン**（**コーラン**）』と，ムハンマドの言行（**スンナ**）に関する伝承である〔　　　　　　　　　　〕などを基盤として，**ウラマー**（学者）によって解釈された

②正しい解釈を行うための学問として**イスラーム法学**が発達し，ウラマーたちは司法や政治の分野で活躍するようになった

→拡大していくイスラーム世界でもシャリーアは統治の基本となった

3　スーフィズムの広がり

11世紀頃　イスラーム世界の拡大とともに，禁欲的な修行により神との一体感を求める〔　　　　　　　　　　〕（神秘主義）が生まれた

①シャリーアの難解さや形式化に対して，個人の内面の信仰を重視するその教理は感覚的で民衆が受け入れやすかったため各地で広がった

②スーフィズムの修行者は〔　　　　　　　　　　〕と呼ばれ，高名な修行者は聖者として崇拝され，死後は聖者廟への参詣が盛んに行われた

→12世紀頃　聖者廟を中心とした**神秘主義教団**も組織されるようになり，各地で活発に活動

③**カーディリー教団**

12世紀にバグダードに組織された最古の神秘主義教団で，15世紀以降イスラーム世界の各地に広まった

④**メフレヴィー教団**

13世紀にアナトリア（現トルコ）で組織され，旋回する舞踏によって神との一体感を得る独特の信仰は，オスマン帝国時代には有力な教団に発展した

⑤イスラームの大衆化と布教に貢献

イスラームが中央アジア，インド，東南アジア，アフリカへ広がる背景にはムスリム商人の活動とともにスーフィズムが果たした役割も大きい

まとめ

商業を重視し，モスク等の公共施設はワクフで運営した。シャリーア（イスラーム法）で秩序を保った。
シャリーアの形式化とイスラーム世界の拡大によってスーフィズムが生まれた。

Chapter２　イスラーム世界の文化史

目標　イスラーム世界の歴史書について学ぼう。
イスラーム世界は他の地域とどのように関わっていたのだろうか。

1　イスラーム固有の学問

『クルアーン（コーラン）』の解釈から発達した神学や法学，言語学，詩学，歴史学→アラブ人の「**固有の学問**」。

①教育機関**（マドラサ）**の設置

A　**アズハル学院**（ファーティマ朝期）

972 年カイロにつくられ，現在でもイスラーム法学の最高権威

B　**ニザーミーヤ学院**（セルジューク朝期）

スーフィズムを理論化した**ガザーリー**が教授を務めていた

②歴史学の発展

A　イル＝ハン国の宰相**ラシード＝アッディーン**による『**集史**』はモンゴル史の重要資料

B　イスラームを代表する歴史家〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕は

主著『**世界史序説**』で都市と遊牧民の交渉から歴史の法則性を探った

2　外来の学問

哲学・医学・天文学・幾何学・光学・地理学などの分野→「**外来の学問**」。

→９世紀，バグダードの**知恵の館**に移して組織的に翻訳作業

※中国で生まれた製紙や火薬，羅針盤の技術もイスラーム世界を通して西欧に伝わった。

①**イブン＝ルシュド**（ラテン語名**アヴェロエス**）

アリストテレスの著作への注釈によりスコラ学に大きな影響を与えた

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（ラテン語名**アヴィケンナ**）

医学の分野では『**医学典範**』を著し，長くヨーロッパの医学の教科書とされた

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

『**旅行記（三大陸周遊記）**』は 14 世紀の世界を伝える貴重な資料

④**フワーリズミー**

代数学（アルジェブラ）を発達させる

⑤**ウマル＝ハイヤーム**

イラン暦を改良してより正確なジャラリー暦をつくった

⑥**錬金術**

特にアラビアでは物質と物質を化合させる実験として発展して近代化学の基礎となった

3 イスラーム世界の芸術

①文学

イランではペルシア語のアラビア文字表示によってペルシア語による文芸活動も活発化

A **フィルドゥシー**

ガズナ朝時代のイランの詩人。大長編叙事詩『**シャー=ナーメ**（**王の書**）』の著者

B ［　　　　　　　　　　　　］

セルジューク朝時代の詩人。『**ルバイヤート**（四行詩集）』の著者

C 『［　　　　　　　　　　］（アラビアン=ナイト）』

ペルシアの説話集より発展し，16 世紀に成立した説話集

②建築・美術

A **ウマイヤ=モスク**

8 世紀前半にシリアのダマスクスに建てられた世界最古のモスク

B **スレイマン=モスク**

16 世紀にオスマン帝国イスタンブルに建てられたモスク

C ［　　　　　　　　　　　　］

グラナダ（現スペイン）に建てられた 13 ～ 15 世紀のナスル朝の宮殿

D **タージ=マハル**

17 世紀，ムガル帝国時代にイスラーム様式とインド様式が融合して建てられた墓廟

E ［　　　　　　　　］

植物やアラビア文字を幾何学的に図案化した装飾模様で，タイルなどで飾られた

F ［　　　　　　　　　　　］（細密画）

中国絵画の技法に影響を受けて装飾的で，書物や写本の挿し絵として発達

まとめ

歴史学がアラブ人「固有の学問」として発展し，『集史』や『世界史序説』のような歴史書が生まれた。

東アジアとヨーロッパの中間に位置するイスラーム世界では，他の地域との文化的な交流が進んだ。

第 6 講　PART 6　確認問題

1 イスラームの都市に建てられている礼拝堂はどれか。

① スーク　② モスク
③ キャラバンサライ　④ ミナレット

2 11 世紀以降，イスラーム諸国の都市に設けられたウラマーを育成するための教育機関はどれか。

① モスク　② ミナレット
③ スーク　④ マドラサ

3 イスラームの信仰から世俗生活までに関わるイスラーム法はどれか。

① シャリーア　② ハディース
③ スンナ　④ ワクフ

4 11 世紀頃，イスラームに生まれた禁欲的な修行により神との一体感を求める考え方を何というか。

① ラマダーン　② スーフィズム
③ ジハード　④ ヒジュラ

5 14 世紀にアラビア語で『世界史序説』を著した歴史家はだれか。

① ガザーリー　② タバリー
③ イブン＝ハルドゥーン　④ イブン＝ハズム

6 ラテン名をアヴェロエスといい，アリストテレスの著作への注釈によりスコラ哲学に大きな影響を与えた哲学者はだれか。

① イブン＝シーナー　② イブン＝ルシュド
③ ウマル＝ハイヤーム　④ フワーリズミー

7 14世紀に北アフリカ・インド・中国などを旅行したイブン＝バットゥータが口述した著作はどれか。

① 東方見聞録　② 大唐西域記
③ 旅行記　④ 南海寄帰内法伝

8 植物やアラビア文字を幾何学的に図案化したイスラーム美術の装飾模様はどれか。

① ミニアチュール　② アラベスク
③ モザイク　④ オーナメント

第7講 【中世編】中世ヨーロッパの成立

PART1 ゲルマン人の大移動とゲルマン国家

Chapter 1　ゲルマン人の大移動のはじまり

目標
ゲルマン人の大移動の原因は何だったのだろうか。
ゲルマン人が西ローマ帝国を滅ぼすに至った背景を理解しよう。

1　大移動前のゲルマン人

前６世紀頃　ヨーロッパの広範囲に**ケルト人**が定住
　→バルト海沿岸に居住していた〔　　　　　　　　〕は，ケルト人を圧迫しながら西へ移動
紀元前後頃　ゲルマン人はライン川とドナウ川流域で〔　　　　　　　　〕と接する
当時のケルト人・ゲルマン人
①ガリア（現フランス）に遠征した**カエサル**による〔　　　　　　　　〕
　歴史家の**タキトゥス**によるゲルマン民族誌『**ゲルマニア**』
②ゲルマン人は部族集団で，貴族・平民・奴隷の身分制があり，最高意思決定機関は全成年男性による〔　　　　〕
③一部のゲルマン人はローマ帝国の下級官吏や傭兵，コロヌスとなり帝国領内に移住する者もいた（～２世紀頃まで）

2 ゲルマン人の大移動

４世紀半ば　アジア系遊牧民族の〔　　　　　　〕が中央アジアからヨーロッパへ移動開始

→黒海北岸にいたゲルマン人の一派〔　　　　　　　　〕を服属させ，

ドナウ川沿いの〔　　　　　　　　〕を圧迫

375 年　西ゴート人は南下して翌年，ドナウ川を渡りローマ帝国内に流入

他のゲルマン諸部族も帝国内に大規模な移動を開始

→約 200 年にわたる**ゲルマン人の大移動**がはじまる

395 年　ローマ帝国東西分裂

3 西ローマ帝国の滅亡

フン人は〔　　　　　　　　〕王（在 :433 年～ 453 年）により**パンノニア**（現ハンガリー）を拠点として西方の西ローマ帝国内に進出。

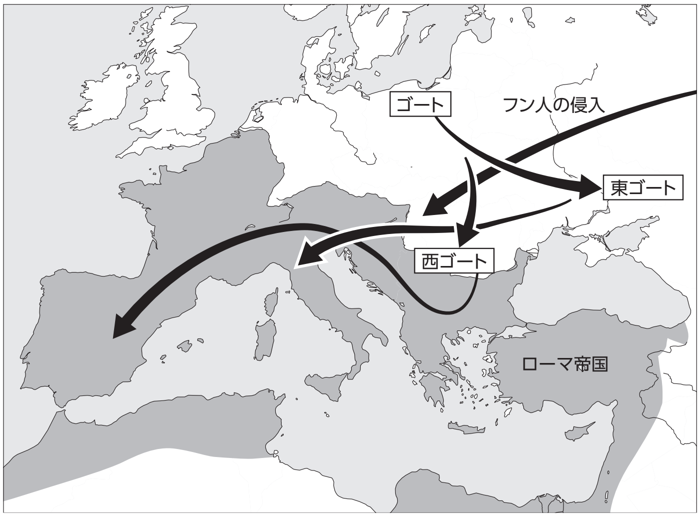
→パンノニアを中心とする大帝国を築く

451 年　**カタラウヌムの戦い**で西ローマ帝国とゲルマン人の連合軍がフン人を破る

→アッティラ王の死後，大帝国は崩壊

476 年　ゲルマン人傭兵隊長の〔　　　　　　　　〕により

〔　　　　　　　　　〕が滅亡



ゲルマン人の移動のはじまり

まとめ
フン人の西進が西ゴート人を圧迫してゲルマン人の大移動がはじまった。
西ローマ帝国は傭兵として用いたゲルマン人のオドアケルに滅ぼされた。

Chapter 2　ゲルマン人国家の形成

目標
西ゴート人や東ゴート人は，どの地域に進出したのだろうか。
ゲルマン人の中でも，長期的に王国を維持した部族とその理由を知ろう。

1　東ゲルマン人の移動

①［　　　　　　　　　　　　］
西ゴート人がイタリアに侵入してローマを占領（410 年）した後，イベリア半島に建国
→ 711 年，**ウマイヤ朝**のイスラーム勢力により滅亡

②［　　　　　　　　　　　　］
東ゴート人が**テオドリック王**に率いられてイタリアに侵入し，493 年にオドアケルを倒して建国
→ 555 年，**ビザンツ帝国**（東ローマ帝国）のユスティニアヌス大帝により滅亡

③［　　　　　　　　　　　　］
ブルグンド人が 443 年に建て，現在のフランス東南部からスイスに及ぶ地域を支配
→ 534 年，**フランク王国**により滅亡

④［　　　　　　　　　　　　］
ヴァンダル人がパンノニアから北イタリア，イベリア半島を経て，429 年に北アフリカに建国
→ 534 年，**ビザンツ帝国**のユスティニアヌス大帝により滅亡

⑤［　　　　　　　　　　　　］
ランゴバルド人が６世紀半ばに北イタリアに建国し，ゲルマン人の大移動は終息
→ 774 年，**フランク王国**のカール大帝により滅亡

2　西ゲルマン人の移動

①［　　　　　　　　　　　　］
ユトランド半島周辺に居住していたゲルマン人の一派
A　５世紀に大ブリテン島に渡った

B　先住民の**ケルト人**を追いやり，アングロ＝サクソン七王国

（［　　　　　　　　　　　　　］）を建国

※アングロ＝サクソン人とは，アングル人，サクソン人，ジュート人などのゲルマン系諸部族の総称。

②［　　　　　　　　　　　　］

A　ライン川東岸を原住地とするゲルマン人の一派

B　各部族は，**クローヴィス**によって統一

C　５世紀にガリアに侵入

D　481 年，**ガリア**（現フランス）北部に［　　　　　　　　　　　　　　］を建国

※ゲルマン人の大移動によって建てられた各王国は，移住先で機能していたローマ帝国の法や行政制度を継承した。

ゲルマン民族の原住地と移動先

まとめ　西ゴート人はイベリア半島，東ゴート人はイタリア半島に王国を建てた。移動距離が短かったフランク人やアングロ＝サクソン人は，長期的に王国を維持した。

第７講　PART１　確認問題

1 前６世紀頃からヨーロッパの広範囲に定住していた先住民はどれか。

① ゲルマン人　② スラヴ人
③ フン人　④ ケルト人

2 大移動前のゲルマン人の全成年男性による最高意思決定機関はどれか。

① 平民会　② 議会
③ 民会　④ 元老院

3 ４世紀半ばに中央アジアからヨーロッパへ移動をはじめたアジア系遊牧民族はどれか。

① スラヴ人　② フン人
③ マジャール人　④ 突厥

4 西ローマ帝国を滅亡させたゲルマン人の傭兵隊長はだれか。

① アッティラ王　② テオドリック王
③ オドアケル　④ クローヴィス

5 410年にローマを占領した後，イベリア半島に建国した東ゲルマン人の一派はどれか。

① 東ゴート人　② 西ゴート人
③ ブルグンド人　④ ランゴバルド人

6 ６世紀半ばに東ゲルマン人の一派が北イタリアに建てた国はどこか。

① 東ゴート王国　② 西ゴート王国
③ ブルグンド王国　④ ランゴバルド王国

7 ５世紀に大ブリテン島に渡った西ゲルマン人の一派はどれか。

① アングロ＝サクソン人　② ケルト人
③ フランク人　④ ブルグンド人

8 ５世紀後半に西ゲルマン人の一派がガリア北部に建てた国はどこか。

① 東ゴート王国　② ブルグンド王国
③ フランク王国　④ ヴァンダル王国

第7講 【中世編】中世ヨーロッパの成立
PART2 カトリック教会とフランク王国

Chapter 1　ローマ＝カトリック教会の発展

目標
ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の勢力関係を考えよう。
ローマ＝カトリック教会はなぜ教皇領を獲得できたのだろうか。

1　ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会

キリスト教がローマ帝国の国教となり，帝政末期には５つの管区に分けて信徒を管理へ
→大司教が置かれた５管区の教会（**ローマ**，**コンスタンティノープル**，**アンティオキア**，**イェルサレム**，**アレクサンドリア**）を**五本山**という
→ギリシア語が典礼用語
①［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］
　使徒**ペテロ**の後継者を自認し，ローマの司教は［　　　　　］（法王）を自称
②［　　　　　　　　　　　　　　　　］（コンスタンティノープル教会）
　ビザンツ帝国（東ローマ帝国）の保護の下に発展，次第に教会の**首位権**を争うように
③ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会
　A　ゲルマン人の移動によって西ローマ帝国が滅亡
　　→イタリアはオドアケルの国，東ゴート王国，ランゴバルド王国というゲルマン人諸国の支配を受け，ローマ＝カトリック教会も弱体化
　B　ゲルマン人の移動による影響も少なく，繁栄を続けたビザンツ帝国の保護下にあるギリシア正教会が優勢になった
　　※６世紀の**ユスティニアヌス大帝**はかつてのローマ帝国の領土を再現し，『ローマ法大全』を編さんするなど帝国の権威を高め，首都コンスタンティノープルに**ハギア＝ソフィア大聖堂**を再建して総主教座を置いた。

2　カトリック教会の発展

ゲルマン人の移動によって建てられた諸国は多くがニケーア宗教会議（325年）で異端とされたキリスト教**アリウス派**を信仰した。
496年　フランク王国の建国者の**クローヴィス**は正統教義の**アタナシウス派**に改宗し，ロー

マ = カトリック教会との関係を深めた

6 世紀末　ローマ教皇**グレゴリウス１世**はゲルマン人への布教に努め，アングロ = サクソン人の改宗に成功

726 年　ビザンツ皇帝**レオン３世**が教会で聖像を崇拝することを禁止する，〔　　　　　　　　　〕を発布

※聖人の立体像や画像（**イコン**）を礼拝する行為はローマ = カトリック教会でもギリシア正教会でも行われていたが，偶像崇拝を禁じたキリスト教の初期の教理に反すると考えられたこと，同様に偶像崇拝を禁じるイスラームからの批判に応えるためだった。

→ゲルマン人への布教に聖像を利用していたローマ = カトリック教会は反発，東西教会の対立が深まる

3　カトリックとフランク王国の接近

ビザンツ帝国と結びついたギリシア正教会との対立を深めたローマ = カトリック教会は，政治権力を求めてフランク王国に接近した。

①フランク王国宮宰のカール = マルテルの子**ピピン（小ピピン）**の〔　　　　　　　　　〕創始をローマ教皇が容認

②ローマ教皇はピピンより**ラヴェンナ地方**の寄進を受ける

→初の**教皇領**となる

③ピピンの子である〔　　　　　　　　　　　　　〕が西ヨーロッパを統一

→ 800 年に教皇〔　　　　　　　〕は**カール**に**ローマ皇帝**の帝冠を授けた（**カールの戴冠**）

「西ローマ帝国の復活」 ローマ帝国の伝統とゲルマン人，ローマ = カトリックが融合

まとめ

ローマ = カトリック教会に対して，東ローマ皇帝を後ろ盾にしたギリシア正教会が優勢だった。

カロリング朝の創始者ピピンからラヴェンナ地方の寄進を受け，教皇領が成立した。

Chapter２　フランク王国の発展とカール大帝

目標　メロヴィング朝のクローヴィスがアタナシウス派に改宗した理由について学ぼう。
カロリング朝のカールは，なぜローマ教皇から戴冠を受けたのだろうか。

1　メロヴィング朝の盛衰

481年　〔　　　　　　　　　　〕が**フランク王**に即位し〔　　　　　　　　　　〕を開く

①小国に分立していたフランク人を統一

②クローヴィスは正統教義の〔　　　　　　　　　　〕に改宗し，ガリアのローマ人を取り込む

③フランク王国は領内のローマ貴族の支持を得て，西ヨーロッパの中心に

6世紀半ば　**ブルグンド王国**などを滅ぼして全ガリアを統一

732年　西ゴート王国を滅ぼしてイベリア半島から侵入した**ウマイヤ朝**イスラーム軍を〔　　　　　　　　　　〕で撃退

→戦いで活躍した宮宰の〔　　　　　　　　　　〕がフランク王国の実権を握り，**カロリング家**が台頭

2　カロリング朝の成立とカトリック教会

751年　**カール＝マルテル**の子〔　　　　　　〕（小ピピン）が，ローマ教皇の支持を得て**カロリング朝**を開き，フランク国王となる

756年　ピピンはランゴバルド王国から獲得した**ラヴェンナ地方**を教皇に献上（「**ピピンの寄進**」）

→ローマ教皇との関係を深めた

3　カール大帝の戴冠

ピピンの子**カール大帝**（シャルルマーニュ）（在:768年～814年）は積極的な外征で西ヨーロッパの大部分を統一。

①教皇と対立していた**ランゴバルド王国**を滅ぼす

②北方のゲルマン人一派**ザクセン人**を制圧してカトリックに改宗させる

③東方から侵入した〔　　　　　　　　　　　　〕を撃退する

④イベリア半島の後ウマイヤ朝と戦う

⑤広大な領地を効率的に支配するため，在地の有力豪族を地方長官である〔　　　　〕に任命して治めさせた

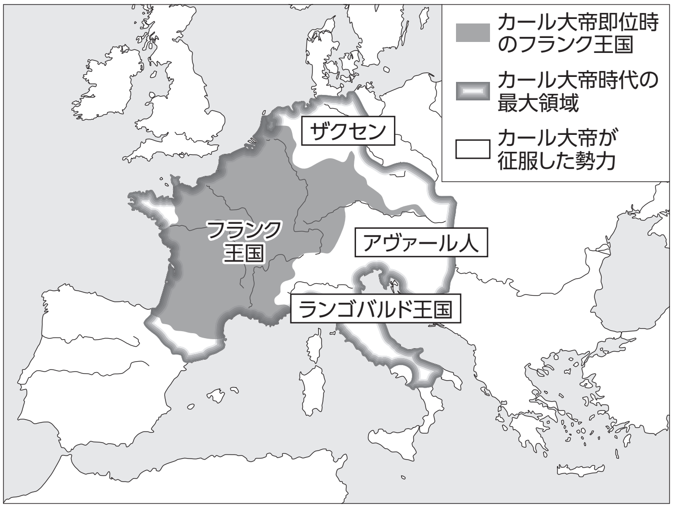
→地方長官の監督には中央から〔　　　　　　〕を派遣

⑥イングランドから〔　　　　　　　　　　〕などの学者を宮廷に多数招き，ラテン語による文芸復興運動〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕をおこした

⑦アッバース朝全盛期のカリフである**ハールーン＝アッラシード**と使節を交換

⑧800 年，ローマ教皇〔　　　　　　　　　〕から**ローマ皇帝**の帝冠を授けられ西ローマ帝国の復活が宣言された

→「〔　　　　　　　　　　　　〕」は，ローマ文化とローマ＝カトリック教会にゲルマン人が融合した西ヨーロッパ世界の誕生を象徴し，ビザンツ帝国からの独立を意味する



カール大帝の勢力範囲

まとめ
クローヴィスはローマ人を取り込むため，アタナシウス派に改宗した。
外征で大きな功績をあげたカールに対し，ローマ教皇はフランク王国の権威を後ろ盾とするため，カールは帝冠を受けた。

第７講　PART２　確認問題

1　ローマ＝カトリック教会と首位権を争うようになった教会はどれか。

①　イェルサレム教会　　②　アレクサンドリア教会
③　コンスタンティノープル教会　　④　ギリシア正教会

2　フランク王国の建国者クローヴィスが改宗したキリスト教の宗派はどれか。

①　アリウス派　　②　アタナシウス派
③　ネストリウス派　　④　単性論派

3　フランク王国宮宰のカール＝マルテルの子，ピピンが開いた王朝はどこか。

①　メロヴィング朝　　②　ノルマン朝
③　ザクセン朝　　④　カロリング朝

4　西ヨーロッパを統一したフランク王国のカール大帝が教皇レオ３世から授けられた帝冠はどれか。

①　ローマ皇帝　　②　イギリス国王
③　フランス皇帝　　④　ランゴバルド国王

5　732年にフランク王国がイベリア半島から侵入したイスラーム軍を破った戦いを何というか。

①　タラス河畔の戦い　　②　カタラウヌムの戦い
③　トゥール・ポワティエ間の戦い　　④　レヒフェルトの戦い

6 756 年にローマ教皇との関係を深めるために，獲得したラヴェンナ地方を献上したフランク王国の国王はだれか。

① クローヴィス　② カール＝マルテル
③ ピピン　④ カール大帝

7 カール大帝が地方の有力豪族に任命した官職はどれか。

① 侯　② 公
③ 伯　④ 市長

8 カール大帝が学者を宮廷に多数招いて奨励した文芸復興運動を何というか。

① ルネサンス　② カロリング＝ルネサンス
③ リバイバル　④ ヘレニズム

第7講 【中世編】中世ヨーロッパの成立
PART3 フランク王国の分裂とノルマン人の侵入

Chapter 1　フランク王国の分裂

目標　フランク王国はどのように分裂したのだろうか。
神聖ローマ帝国が成立した流れを理解しよう。

1　フランク王国の分裂

カール大帝の死後，王国の相続を巡って内紛がおこり，フランク王国は３国に分裂した。

843 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が結ばれる

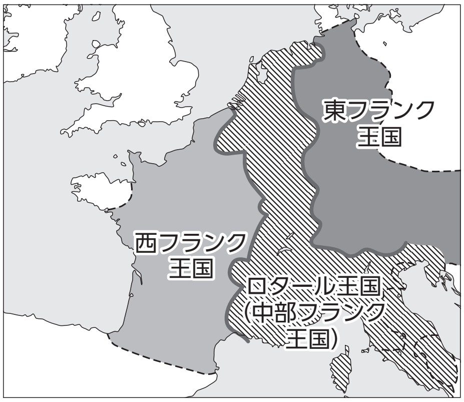
カール大帝の３人の孫によってフランク王国が分割相続され，

西フランク・中部フランク・東フランクの３国が誕生

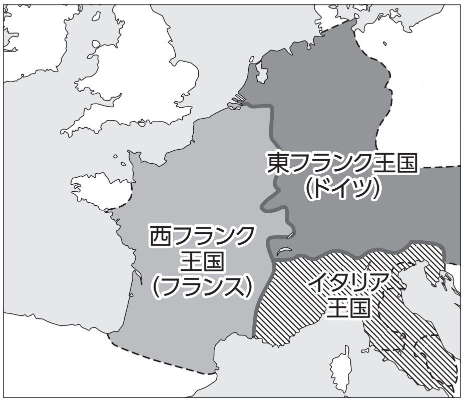
870 年　〔　　　　　　　　　　〕が結ばれる

中部フランクの北部を東フランクと西フランクが再分割

※これにより現在の**フランス**，**イタリア**，**ドイツ**の原形が形成された。



ヴェルダン条約により分割した領域



メルセン条約により分割した領域

2　西フランクの状況

987 年　カロリング家が断絶。**パリ伯**の〔　　　　　　　　　　　　〕が**フランス国王**に選出され，〔　　　　　　　〕を開く

※当初，王の権威はパリ周辺に限られた。

→ 12 世紀以降に王朝の権威が伸張。350 年近くフランスに君臨した

3　中部フランクの状況

870 年　**メルセン条約**によりイタリアの領土が確定

875 年　カロリング家が断絶。ローマ教皇領，ヴェネツィアやジェノヴァなどの都市国家が分立する

９世紀以降　**イスラーム勢力**が**シチリア島**を支配

シチリア島

4　東フランクの状況

911 年　カロリング家が断絶。国王を選挙で選出する**選挙王政**になる

936 年　**ザクセン家**の〔　　　　　　　　　　〕が国王に選出される

※一族などを大司教・修道院長などの聖職者に任命し，教会組織を王権の統制下に置く**帝国教会政策**を進める。

951 年　**オットー１世**がイタリア王を兼任

955 年　オットー１世が**レヒフェルトの戦い**で〔　　　　　　　　　　〕を撃破

※スラヴ人との戦いにも勝利。

962 年　オットー１世が教皇ヨハネス 12 世より**ローマ皇帝**の帝冠を授けられ，〔　　　　　　　　　　〕（現ドイツ）が成立

まとめ

フランク王国はヴェルダン条約とメルセン条約で西・中部・東フランクに分裂し，現在のフランス，イタリア，ドイツの原形が形成された。

東フランク王国のオットー１世がマジャール人を撃退し，ローマ教皇の信任を得て戴冠，神聖ローマ帝国が成立した。

Chapter２　ノルマン人の侵入とノルマン国家

目標
イギリスのノルマン朝成立の流れを理解しよう。
東ヨーロッパでノルマン人とスラヴ人はどのように同化したのだろうか。

1　ノルマン人の侵入とノルマン国家

８世紀後半から，スカンディナヴィア半島などに住む**ノルマン人**の活動が活発になる。彼らは卓越した造船・航海技術を駆使して略奪行為を行い，**ヴァイキング**と恐れられた。

①ノルマンディー公国の成立

911 年　ノルマン人の〔　　　　　〕が率いる一派が北フランスに上陸し
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建国
※ロロは西フランク王から**ノルマンディー公**に封じられる。

②イングランド王国の成立

449 年　**アングロ = サクソン人**が，大ブリテン島南部に７つの王国**ヘプターキー（七王国）**を建国

829 年　七王国の一つウェセックスの王**エグバート**がイングランドを統一
→イングランド王国の基礎ができる

９世紀末　ウェセックス王家のイングランド王〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が，**デーン人**（デンマークのノルマン人の一派）を撃退

1016 年　**デーン人**の王〔　　　　　　　　〕がイングランドを征服
※イングランド，デンマーク，ノルウェーを支配し，**北海帝国**を築く。
※死後，アングロ = サクソン系の王家が復活。

③**ノルマン = コンクェスト**（ノルマンの征服）

1066 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が，
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕でイングランドを征服。
ウィリアム１世として即位して〔　　　　　　　　　　　〕を開く
※イギリスと北フランスにまたがる国家となる。

2　ノヴゴロド国とキエフ公国の成立

862 年　〔　　　　　　　　　　〕が率いるノルマン人の一派（**ルーシ**）が，ドニエプル川流域のスラヴ人地域に侵入。ノヴゴロドを中心に〔　　　　　　　　　　〕を建国

※ロシアの起源とされる。

882 年頃　リューリクの後継者に率いられたノルマン人が**ドニエプル川**水系を南下，キエフを中心に〔　　　　　　　　　　〕を建国

※ノルマン人とスラヴ人の同化が進む。

3　その他のノルマン人の活動

1130 年　ノルマン人の**ルッジェーロ２世**が，シチリア島と南イタリアを領有する王国〔　　　　　　　　　　〕（ノルマン＝シチリア王国）を建国

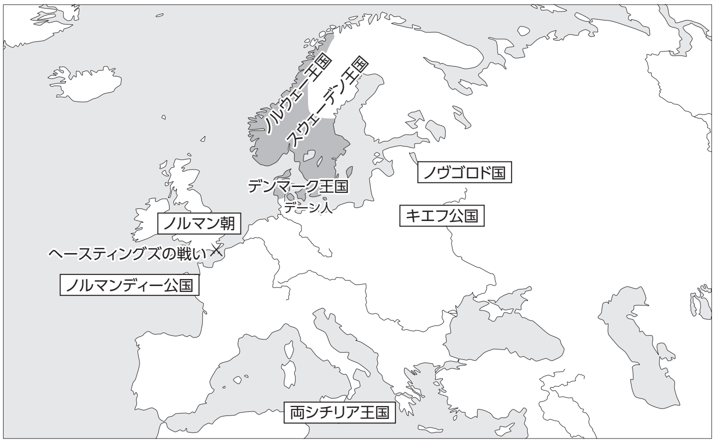
※シチリア島はイスラーム勢力，イタリア半島南部はビザンツ帝国の支配下にあったため，ノルマンとイスラーム，ビザンツの文化が融合。

８世紀頃　ユトランド半島に〔　　　　　　　　　　〕王国を建国

※**クヌート**の時代には，イングランド，ノルウェーも支配。

９世紀末頃　スカンディナヴィア半島西岸に〔　　　　　　　　　　〕王国を建国

10 世紀頃　スカンディナヴィア半島東岸に〔　　　　　　　　　　〕王国を建国



ノルマン人の移動

まとめ　ノルマンディー公ウィリアムが大ブリテン島に侵攻し，ノルマン朝を成立させた。ノルマン人の一派がキエフ公国を建てると，先住のスラヴ人との同化が進んだ。

第７講　PART３　確認問題

1 カール大帝の死後に３分割されたフランク王国の領土を再分割した，870 年の条約を何というか。

① ウェストファリア条約　② メルセン条約
③ ヴェルダン条約　④ ヴェルサイユ条約

2 987 年にフランス王国に開かれた最初の王朝を何というか。

① カロリング朝　② ザクセン朝
③ ヴァロア朝　④ カペー朝

3 955 年のレヒフェルトの戦いで，オットー１世が撃退した民族はどれか。

① ノルマン人　② マジャール人
③ デーン人　④ スラヴ人

4 オットー１世がローマ教皇から帝冠を授けられて成立させた国はどこか。

① ビザンツ帝国　② 東フランク王国
③ 神聖ローマ帝国　④ イタリア王国

5 ロロに率いられたノルマン人の一派がフランスに建国した国はどこか。

① フランス王国　② キエフ公国
③ ノルマンディー公国　④ 西フランク王国

6　９世紀末，デーン人を撃退したアングロ＝サクソン人の王はだれか。

①　エグバート　②　アルフレッド大王
③　クヌート　④　リューリク

7　ノルマン朝初代のイングランド国王となった人物はだれか。

①　ウィリアム１世　②　ジェームズ１世
③　リチャード１世　④　エドワード１世

8　862年にノルマン人の一派のルーシが，ドニエプル川流域に建国した国はどこか。

①　キエフ公国　②　ノルマンディー公国
③　両シチリア王国　④　ノヴゴロド国

第7講 【中世編】中世ヨーロッパの成立

PART4 中世の封建社会とカトリック教会の発展

Chapter 1　封建体制と荘園社会

目標　中世ヨーロッパの封建体制の特徴を理解しよう。
中世の農奴はどのような義務を負っていたのだろうか。

1　中世の封建体制

外敵の侵入があいついだ中世の西ヨーロッパでは，**封建的主従関係**と**荘園制**という２つの仕組みが生まれた。この仕組みの上に成立した社会を〔　　　　　　　　〕という。

①封建的主従関係

主君は家臣に土地（〔　　　　　〕）を与えて保護する代わりに，家臣は主君に忠誠を誓い，騎士として**軍事的奉仕**の義務を負う

※主君が契約を破ったときは解消すること，家臣が複数の主君に仕えることが可能。

②〔　　　　　　　　　　〕関係

封建的主従関係の下では，主君と家臣の双方に契約を守る義務がある

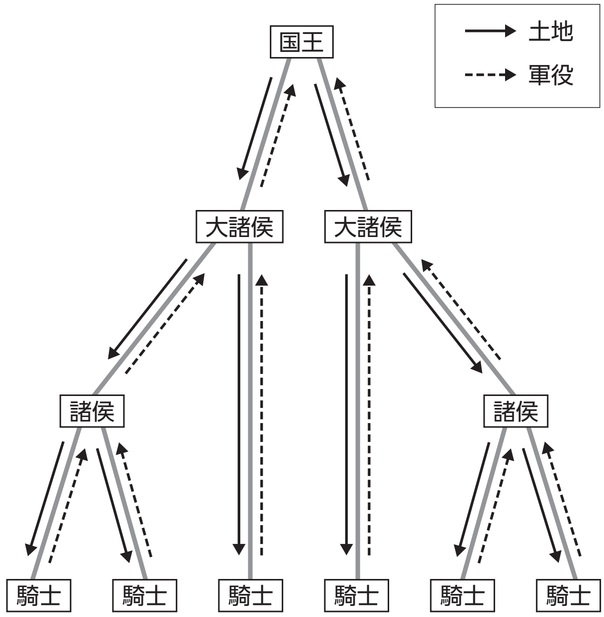
③封建的主従関係の起源

A〔　　　　　　　　　　〕

自分の土地を有力者に献上してその保護下に入り，有力者から改めてその土地を貸与してもらう制度で，ローマ帝国末期に見られた

B〔　　　　　　〕

有力者の保護下に入る代わりに従者として忠誠を誓う制度で，ゲルマン社会に見られた



封建体制

2　中世ヨーロッパの荘園社会

皇帝や国王，諸侯，騎士，聖職者などの有力者は，領地（**封土**）をそこに住む農民とともに〔　　　　〕として経営した。

①荘園の構成

荘園は，領主が直接経営する〔　　　　　　　　　〕と，領主が農民に保有させた〔　　　　　　　　　〕，牧草地や森林，河川などの**共同利用地**（入会地）からなる

②領主の権利

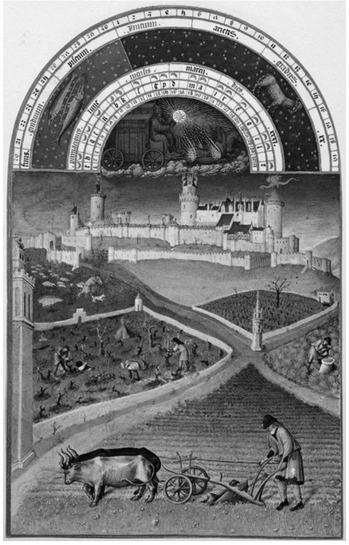
国王の役人が荘園に立ち入ることや課税を拒否する権利〔　　　　　　　　　〕（**インムニテート**），農民を裁く権利〔　　　　　　　　　〕を認められていた

③農民の義務

A　農民の多くは〔　　　　〕と呼ばれる不自由身分で，領主に隷属

B　農民は，保有地の収穫物の一部を領主に納める義務〔　　　　〕，領主直営地で労働する義務〔　　　　〕を課せられた

C　農民は，教会に〔　　　　　　　　　〕を納めたほか，結婚税（結婚によって領外へ出る場合）や死亡税（相続税）を課せられた



ベリー公のいとも豪華なる時祷書

まとめ　中世ヨーロッパの封建体制には，主君と家臣の双務的契約という特徴があった。中世の農奴は直営地での賦役，保有地での貢納，教会への十分の一税などが義務付けられていた。

Chapter 2　教会の改革運動と教皇権の伸長

目標
修道院を中心に教会刷新運動が進んだ経緯を理解しよう。
「カノッサの屈辱」の歴史的意義は何だろう。

1　教会の改革運動と修道院

中世の西ヨーロッパでは，**ローマ＝カトリック**教会が絶大な権威を持っていた。10世紀になると，教会の世俗化と腐敗に対して改革運動がおこった。

①ローマ＝カトリック教会の組織と腐敗

A　ローマ教皇を頂点として大司教・修道院長，司教，司祭などからなるピラミッド型の管理組織である，**階層制組織**（ヒエラルキー）が成立

B　大司教・修道院長は土地の寄進を受け，大荘園を経営。教会は農民から**十分の一税**を取り立てた

C　皇帝や国王などの世俗権力が，聖職者でない者を大司教や修道院長などに任命
→**聖職売買**や聖職者の妻帯が横行

②教会の改革運動

A　6世紀〔　　　　　　　　〕がイタリア中部の〔　　　　　　　　〕に修道院を建立→「清貧・純潔・服従」を基本理念とし，「祈り，働け」を掲げる→修道院運動の先駆けに

B　10世紀　フランス中東部の〔　　　　　　　　〕が，ベネディクトゥスの戒律への回帰を掲げ，聖職売買や聖職者の妻帯を批判

C　12世紀　フランスの〔　　　　　　　　〕が，清貧と献身を唱える
→ヨーロッパの大開墾運動を進める

D　13世紀　**フランチェスコ**や**ドミニコ**が，財産を持たず，信者からの施しを生活の糧として布教を行う〔　　　　　　　　〕を創設

2　聖職叙任権闘争

教皇〔　　　　　　　　〕が，聖職売買や聖職者の妻帯を禁止。皇帝や国王が高位聖職者を任命する権利〔　　　　　　　　〕を否定。
→**帝国教会政策**をとるドイツ王〔　　　　　　　　〕（のち神聖ローマ皇帝）と対立。聖職者の任命権を巡り**聖職叙任権闘争**がはじまる

1077 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕

教皇に破門されたハインリヒ４世がイタリアの**カノッサ**で謝罪し，許される

1122 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕で**聖職叙任権闘争**が終結

※ローマ教皇と神聖ローマ皇帝との間で妥協が成立。皇帝は叙任権を失う。

3　教皇権の絶頂期

1198 年　ローマ教皇〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が即位

→インノケンティウス３世は世俗君主を次々と屈服させ，教皇権の絶頂期を確立。

「教皇は太陽であり，皇帝は月である」という言葉を残した

1201 年　フランス王**フィリップ２世**を屈服させる

1202 年　第４回十字軍を提唱

1209 年　イングランド王**ジョン**を破門

インノケンティウス３世

まとめ　ローマ＝カトリック教会が腐敗すると，クリュニー修道院を中心に改革運動がおこった。
ローマ教皇がドイツ王を屈服させ，聖職者の叙任権を獲得し優位に立った。

第７講　PART４　確認問題

1　封建的主従関係の起源となった，ローマ帝国末期の制度を何というか。

①　従士制　②　プロノイア制
③　恩貸地制度　④　募兵制

2　荘園領主に認められた権利のうち，国王の役人の立ち入りや課税を拒否する権利を何というか。

①　領主裁判権　②　立入拒否権
③　領事裁判権　④　不輸不入権

3　農民が領主から課せられた「賦役」の説明として正しいものを選べ。

①　農民は収穫物の一部を領主に納めた
②　農民は親の土地を継承するとき税金を納めた
③　農民は都市の警備と辺境の防衛にあたった
④　農民は領主直営地で労働を行った

4　次の４つの税のうち，教会に対して農民が負担した税はどれか。

①　結婚税　②　十分の一税
③　人頭税　④　死亡税

5　12 世紀に，清貧と献身を唱えて教会の改革運動を行った修道会を何というか。

①　ベネディクト修道会　②　フランチェスコ修道会
③　シトー修道会　④　ドミニコ修道会

6 教皇グレゴリウス７世のときにおこった叙任権闘争の説明として，**誤っているもの**はどれか。

① 教皇権が衰退するきっかけとなった
② 聖職者の任命権を巡って争った
③ ローマ教皇がドイツ王を破門した
④ ヴォルムス協約で終結した

7 カノッサの屈辱でローマ教皇に謝罪した人物はだれか。

① オットー１世　② オットー４世
③ ハインリヒ１世　④ ハインリヒ４世

8 教皇権の絶頂期を確立し，「教皇は太陽であり，皇帝は月である」という言葉を残した教皇はだれか。

① インノケンティウス３世　② グレゴリウス７世
③ レオ３世　④ ウルバヌス２世

第７講 【中世編】中世ヨーロッパの成立
PART5 東ヨーロッパ世界

Chapter１ 東ローマ（ビザンツ）帝国の盛衰

目標
ビザンツ帝国のユスティニアヌス大帝は，どの地域を征服したのだろうか。
ビザンツ帝国が滅亡した経緯を理解しよう。

１ ビザンツ帝国の最盛期

①ビザンツ帝国の成立

395年　ローマ帝国が東西に分裂して**東ローマ帝国**が成立

首都は〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（現イスタンブル）

※首都の旧称ビザンティウムにちなみ，**ビザンツ帝国**と呼ばれる。

②宗教

A　コンスタンティノープルを頂点とする〔　　　　　　　　　　　〕を国教とする

※ラテン語のローマ教会に対して，ギリシア語を典礼用語とするキリスト教。

B　皇帝が政治と宗教の両面を掌握

③ビザンツ帝国の最盛期

A　６世紀の〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の時代に，北アフリカの

ヴァンダル王国，イタリアの**東ゴート王国**を滅ぼす

→**地中海帝国**の復活

B　ユスティニアヌス大帝の治世

あ　ササン朝最盛期の王**ホスロー１世**と対立

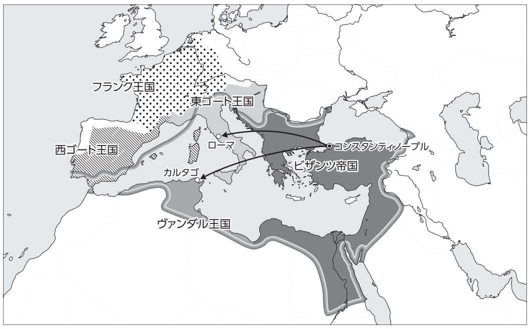
い　**トリボニアヌス**らに法典

〔　　　　　　　　　　　　〕

を編さんさせる

う　中国から養蚕技術を導入し，

絹織物産業をおこす



ビザンツ帝国最盛期

2　ビザンツ帝国の衰退と滅亡

7世紀　**ヘラクレイオス１世**が中央集権体制を強化

726年　〔　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　〕を発布

※聖像崇拝の禁止と破壊を命じた法令で，ローマ＝カトリック教会との対立が深まる。

1054年　教会が東西（東・ギリシア正教会，西・ローマ＝カトリック教会）に分裂

11世紀後半　セルジューク朝に敗れ，小アジア（アナトリア）を奪われる

13世紀初頭　**第４回十字軍**にコンスタンティノープルを占領され，以降，急速に衰退

1453年　〔　　　　　　　　　　〕の**メフメト２世**に，コンスタンティノープルを攻略され滅亡

3　ビザンツ帝国の社会と文化

①地方統治

A　〔　　　　〕制

異民族の侵攻に対処するため，帝国領をいくつかの**テマ**（軍管区）に分け，司令官に軍事と行政をゆだねる

→農民に兵役の義務と引き換えに農地を与える屯田兵制により，自作農が増加

B　〔　　　　　　　　〕制

軍事奉仕と引き換えに，貴族に国有地の管理権**プロノイア**を与える

→世襲されるようになり，貴族の勢力が拡大。皇帝の権力が弱まる

②文化・建築

A　スラヴ人への布教のため，**キリル文字**を考案

B　ドームと**モザイク壁画**を特色とする**ビザンツ様式**建築が生まれる

※ユスティニアヌス大帝が再建した〔　　　　　　　　　　　　　　〕や，**サン＝ヴィターレ聖堂**が代表的建築物。

C　キリストや聖母などを描いた〔　　　　　〕が制作される

まとめ

ユスティニアヌス大帝はヴァンダル王国と東ゴート王国を滅ぼし，ビザンツ帝国の最大領域を実現した。

オスマン帝国のメフメト２世が，首都コンスタンティノープルを陥落させ，ビザンツ帝国が滅亡した。

Chapter２　スラヴ人の移動と東ヨーロッパ

目標　ポーランド王国がリトアニア大公国と連合した理由は何だろう。
モスクワ大公国が自立した経緯を学ぼう。

1　西スラヴ人の動向

①ポーランド人

960年頃　**ポーランド王国**を建国

14世紀　**カジミェシュ**（カシミール）**大王**のとき最盛期

1386年〔　　　　　　　　　　　〕に対抗するため，ポーランド女王が**リトアニア**大公ヤゲウォと結婚，〔　　　　　　　　〕**朝リトアニア＝ポーランド王国**が成立

※ポーランド最盛期の王朝，国教に〔　　　　　　　　　　　　　　〕を採用。

②チェック人（チェコ人）

10世紀〔　　　　　　　〕（ボヘミア）王国を建国。※ローマ＝カトリックを受容。

11世紀　神聖ローマ帝国に編入

2　南スラヴ人の動向

①クロアティア人・スロヴェニア人

クロアティア人とスロヴェニア人がフランク王国の影響下でローマ＝カトリックを受容

②セルビア人

９世紀　ビザンツ帝国の支配下に入り，ギリシア正教を受容

12世紀　自立して**セルビア王国**を建国

14世紀　バルカン半島北部を支配するが，**オスマン帝国**に敗れて支配下に入る

3　東スラヴ人の動向

①ロシア人・ウクライナ人

９世紀　**ノルマン人**が東スラヴ人の住む地域に〔　　　　　　　　　　　〕，ついで〔　　　　　　　　　　〕を建国

10世紀末　キエフ大公〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が領土を拡大。ビザンツ

帝国の皇女との結婚を機にギリシア正教（**ロシア正教**）を国教とする

11 世紀　貴族による大土地所有と農民の農奴化が進展

1243 年　**モンゴル軍**に制圧され〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の支配下に

→「**タタールのくびき**」による統治

15 世紀後半　**モスクワ大公**〔　　　　　　　　　　　　〕がロシアの諸侯国を併合

※ビザンツ最後の皇帝の姪との結婚により，ローマ皇帝の後継者を自任。

〔　　　　　　　　〕（皇帝）の称号を用いる。

1480 年　モスクワ大公国がモンゴルの支配から独立。ロシア帝国の基礎ができる

②スラヴ人への布教

ギリシア正教の宣教師**キュリロス**がスラヴ人への布教のため，**グラゴール文字**を考案

→のちに〔　　　　　　　　　　〕（ロシア文字の原型）に発展

4　東欧の非スラヴ系の諸民族

①ルーマニア人

ダキアのラテン人を起源とする

９世紀　ギリシャ正教を受容

14 世紀　ワラキア公国，ついでモルダヴィア公国を建国

②マジャール人

10 世紀末　**パンノニア**平原に〔　　　　　　　　　　　　　　〕を建国

※ローマ＝カトリックを受容。

16 世紀　オスマン帝国の支配下に入る

③ブルガール人

７世紀　ドナウ川南岸に〔　　　　　　　　　　　　　　〕を建国

※ギリシア正教に改宗後，ビザンツ帝国に併合される。

まとめ

ポーランド王国はドイツ騎士団に対抗するためにリトアニアと連合し，ヤゲウォ朝が成立した。

モスクワ大公国のイヴァン３世は，モンゴル人の支配から自立し，ロシア帝国の基礎をつくった。

第７講　PART５　確認問題

1　４世紀末に成立したビザンツ帝国の首都はどこか。

①　アレクサンドリア　②　コンスタンティノープル
③　イェルサレム　④　アドリアノープル

2　地中海帝国を復活させ,『ローマ法大全』を編さんさせたビザンツ帝国の皇帝はだれか。

①　ユスティニアヌス大帝　②　コンスタンティヌス帝
③　ヘラクレイオス１世　④　トリボニアヌス

3　ローマ教会との対立を深めた，レオン３世が発布した法令を何というか。

①　ミラノ勅令　②　奢侈禁止令
③　宗教寛容令　④　聖像禁止令

4　ビザンツ帝国を滅ぼしたのはどこか。

①　フランク王国　②　オスマン帝国
③　セルジューク朝　④　神聖ローマ帝国

5　ビザンツ様式建築を代表する建物を何というか。

①　ピサ大聖堂　②　ノートルダム大聖堂
③　ハギア＝ソフィア大聖堂　④　ケルン大聖堂

6 リトアニアと同盟してできた，ポーランドの最盛期の王朝を何というか。

① ヴァロワ朝　② ヤゲウォ朝
③ カペー朝　④ ロマノフ朝

7 ロシアにおける皇帝の称号「ツァーリ」を最初に用いた人物はだれか。

① イヴァン３世　② ウラディミル１世
③ イヴァン４世　④ カジミェシュ大王

8 10世紀末にマジャール人が，パンノニア平原に建国した国はどこか。

① ブルガリア王国　② ノヴゴロド国
③ ハンガリー王国　④ セルビア王国

第 8 講　【中世編】　中世ヨーロッパ世界の変容
PART1 西欧社会の安定と十字軍

Chapter 1　西欧社会の安定と十字軍のはじまり

目標
11 世紀からのヨーロッパ社会の変容の背景を知ろう。
十字軍の派遣に至った要因を理解しよう。

1　西欧社会の安定

①農業生産力の向上

11 世紀頃から西ヨーロッパでは気候の温暖化にともない農業生産力が大きく向上

A　森林や荒れ地の開墾による農地の拡大

B　水車や鉄製農具の普及，牛馬を使った**重量有輪犂**の使用などの技術革新

C　耕地を春・秋・休耕地に三分して農業生産力を高める

〔　　　　　　〕の普及

②人口の増加

外敵の侵入による混乱の終了→飛躍的に人口が増大し，社会が安定

③西欧の拡大

人口増加は，次第に西ヨーロッパ世界を内外に拡大させる動きに繋がった

A　イベリア半島の〔　　　　　　　　　　〕（国土回復運動）やオランダの開拓，

エルベ川以東への〔　　　　　　　　〕が進んだ

B　〔　　　　　　〕運動もこの動きの一環としておこった

2 十字軍のはじまり

①〔　　　　　　　　　　　　　　〕の小アジア進出

A 11世紀に〔　　　　　　　　　　〕を支配

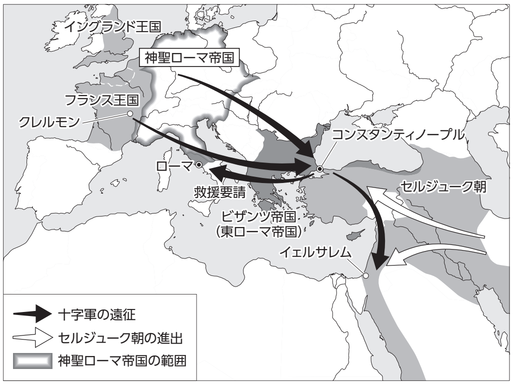
→**アナトリア**（小アジア）へ進出

B ビザンツ皇帝はローマ教皇に救援を求めた

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

1095年 教皇〔　　　　　　　　　　　　　　〕が招集

→聖地イェルサレム回復のための**十字軍**派遣を決定



十字軍のはじまり

3 十字軍の進捗

1096年 各国の諸侯や騎士を中心とする**第1回十字軍**が出発

1099年 イェルサレムを占領して〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を建国

→その後，イスラーム側が勢力を回復

1147年～49年 **第2回十字軍**がダマスクス攻略に失敗

1187年 アイユーブ朝の**サラーフ=アッディーン（サラディン）**がイェルサレム奪回

1189年～92年 **第3回十字軍**がイェルサレム攻略に失敗

※第3回十字軍にはイングランド王**リチャード1世**，フランス王**フィリップ2世**，神聖ローマ皇帝**フリードリヒ1世**らが参加したが，フリードリヒ1世は途中で死亡，フィリップ2世は引き上げて，リチャード1世のみが戦った。

まとめ

西ヨーロッパでは農法の革新や温暖化で人口が増加し，社会が安定した。ビザンツ皇帝の要請で，ローマ教皇により聖地イェルサレム回復のため十字軍の派遣が決定された。

Chapter 2　十字軍の展開とその影響

目標　第４回十字軍以降，十字軍の特徴はどのように変わったのだろうか。
十字軍の派遣が西欧社会に与えた影響を理解しよう。

1　十字軍の変容

1202 年～ 04 年　**第４回十字軍**が教皇
〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の提唱で決定
→東地中海への商業圏拡大を狙う
〔　　　　　　　　　　　　〕の支援で
ビザンツ帝国のコンスタンティノープルを占領，
〔　　　　　　　　〕を建国

第４回十字軍

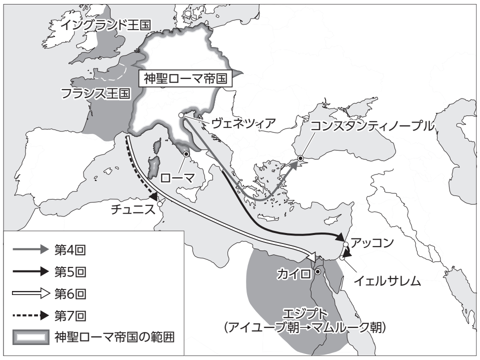
1228 年～ 29 年　**第５回十字軍**では神聖ローマ皇帝
〔　　　　　　　　　　　　〕がイスラーム側との外交交渉でイェルサレムを一時的に回復

1248 年～ 54 年　**第６回十字軍**がフランス王〔　　　　　　　〕の主導でエジプトに侵攻したが，敗退

1270 年　**第７回十字軍**がフランス王**ルイ９世**の主導で北アフリカのチュニスに侵攻
→ルイ９世が病死し，最後の十字軍となる

1291 年　イェルサレム王国の最後の拠点だった**アッコン**が，マムルーク朝により陥落
→十字軍運動の終了

※第４回十字軍以降は，十字軍の海上輸送を担って繁栄したイタリア諸都市が東方との交易を再び盛んにするなど，経済的な側面が大きくなり，本来の宗教的目的は弱まった。



第４回～第７回の十字軍の遠征

2　宗教騎士団

十字軍の派遣にともなう聖地の防衛や巡礼者の保護のため，修道騎士によって

〔　　　　　　　　　　〕が結成された。

①〔　　　　　　　　　　〕

A　第1回十字軍で成立

B　主にイェルサレムでの傷病者の救護などで活躍

C　16 世紀にカール5世からマルタ島を与えられて**マルタ騎士団**と呼ばれるように

→18 世紀まで騎士団国家を維持した

②〔　　　　　　　　　　〕

A　1119 年，聖地の防衛と巡礼者の保護を目的に設立

B　寄進により全ヨーロッパに支部を拡大

C　14 世紀初め，資産を目的としたフランス王**フィリップ4世**により解体

③〔　　　　　　　　　　〕

A　第3回十字軍進行中の 1190 年に成立

B　13 世紀に十字軍がゆきづまるとバルト海沿岸の〔　　　　　　　　〕に参加

C　**ドイツ騎士団領**を形成→プロイセンのもとになった

3　十字軍の影響

①教皇権の低下

十字軍を提唱し主導した教皇の権威は，その失敗とともに低下

②国王権の伸長

戦いを指揮した王の権威は高まり，諸侯や騎士に対して優位に立った

③領主の没落

領主でもある諸侯や騎士は，遠征費用を自弁したため経済的に困窮

④農民の地位向上

領主の経済的疲弊や没落により，相対的に農民（農奴）の地位が向上

まとめ

第4回十字軍以降，十字軍は経済的な動機に変わっていった。

十字軍派遣の失敗はローマ教皇の権威を衰退させ，国王の権力を伸長させた。

第 8 講　PART 1　確認問題

1 11 世紀から普及した，耕地を三分して農業生産力を高める農法を何というか。

① 輪栽式農業　② 混合農業
③ 二圃制　④ 三圃制

2 11 世紀にイェルサレムを支配したイスラーム王朝はどれか。

① ファーティマ朝　② セルジューク朝
③ アイユーブ朝　④ アッバース朝

3 1095 年に教皇ウルバヌス 2 世によって招集され，十字軍派遣が決定された会議はどれか。

① ニケーア公会議　② エフェソス公会議
③ クレルモン宗教会議　④ コンスタンツ公会議

4 第 1 回十字軍がイェルサレムを占領して建てた国を何というか。

① イェルサレム王国　② ラテン帝国
③ アラゴン王国　④ ビザンツ帝国

5 第 4 回十字軍がラテン帝国を建国したのはどこか。

① チュニス　② コンスタンティノープル
③ イェルサレム　④ ダマスクス

6 1291年にイェルサレム王国の最後の拠点だったアッコンを陥落させたイスラーム王朝はどれか。

① ナスル朝　② ムラービト朝
③ アイユーブ朝　④ マムルーク朝

7 第１回十字軍で成立し，のちにマルタ騎士団とも呼ばれるようになった宗教騎士団を何というか。

① テンプル騎士団　② 聖ラザロ騎士団
③ ヨハネ騎士団　④ アルカンタラ騎士団

8 ドイツ騎士団が参加した，バルト海沿岸で行われた植民活動を何というか。

① 植民地支配　② 移民政策
③ 国土回復運動　④ 東方植民

第８講　【中世編】　中世ヨーロッパ世界の変容

PART2 商業の復活と都市の形成

Chapter 1　商業の復活と西欧各地の都市

目標　北ヨーロッパはどのような商業同盟を結び，主にどんな産物を扱ったのだろうか。
地中海商業圏で取り引きされたものを知ろう。

1　商業の復活と都市の発展

①商業の復活

４世紀以降　ゲルマン人の大移動後に続いた混乱により，西ヨーロッパの商業は衰退

11 世紀から　気候の温暖化にともなって農業生産力が向上，余剰生産物が取り引きされるようになる

A　余剰生産物の取り引きのために各地で〔　　　　　　〕が開かれ，交易の拠点として新しい都市に発展

B　商業活動の交換手段として〔　　　　　　〕が広がった

②都市の発展

A　大量の人と物資が移動する十字軍運動を契機として，**遠隔地貿易**が発展

B　イタリアの港市，内陸の商業都市が発達

2　北ヨーロッパ商業圏

①**リューベック**，**ハンブルク**，ブレーメンなど（北ドイツ）

A　海産物・木材・毛皮・穀物などの生活必需品を主力として繁栄

B　12 世紀頃，〔　　　　　　〕を盟主に〔　　　　　　〕を結成

→広域の都市が加盟，ヨーロッパ主要都市に在外商館を設置

②〔　　　　　　〕やガンなどの〔　　　　　　〕(現ベルギー北部)

毛織物産業で発展

3 地中海商業圏

①〔　　　　　　　　〕,〔　　　　　　　　〕, ピサなどの**北イタリアの港市**

A　ムスリム商人を介した〔　　　　　　　　　　　〕

B　**香辛料**, 絹織物, 陶磁器, 宝石などの奢侈品を輸入

C　南ドイツの銀などを輸出

②〔　　　　　　　　〕

A　毛織物産業と金融業で栄えた

B　15世紀になると**メディチ家**が独裁権を握った

③〔　　　　〕

A　毛織物産業や中継貿易などで栄えた

B　〔　　　　　　　　　　　　　〕の盟主として, 神聖ローマ帝国のイタリア政策に対抗

④〔　　　　　　　　　　〕(ドイツ南部)

A　南北商業圏の交易地として, また東方貿易に使われた銀の産出地として栄えた

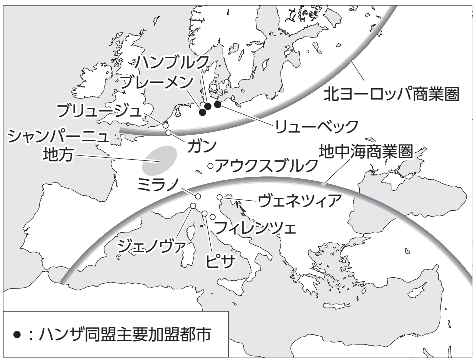
B　15世紀末におこった**フッガー家**が銀鉱山を支配

アウクスブルクの街並み

⑤〔　　　　　　　　　　　　　〕(フランス東北部)

A　南北商業圏の中間に位置

B　北ヨーロッパと地中海の産物を交換する, 大規模な定期市の開催地



北ヨーロッパ商業圏と地中海商業圏の都市

まとめ
北ヨーロッパはハンザ同盟を結び, フランドル地方の毛織物が主に取り引きされた。
ムスリム商人からの香辛料や南ドイツの銀などが取り引きされた。

Chapter２　都市の形成とその特徴

目標
ドイツの自由都市は，どのようにして形成されたのだろうか。
都市で市政を行ったギルドの特徴を理解しよう。

1　都市の自立

11～12 世紀になると，中世都市は封建領主による保護と支配からの自由と自治を求めはじめた。

①都市の発達
　領主から闘争や買収により〔　　　　　　　〕を得て**自治権**を獲得

②神聖ローマ帝国と都市の結託
　A　ドイツの有力都市は諸侯の支配から自立するため，神聖ローマ帝国と結託
　B　皇帝から特許状を得て，神聖ローマ帝国直属の**自由都市**（帝国都市）に
　　→領邦と同じ地位となった

③自由都市への発展
　自治が認められた都市は自由都市として発展し，農奴であっても一定期間都市に移り住めば自由民になり，次の時代の新しい市民階級を形成した（**「都市の空気は自由にする」**）

2　ギルドの成立

①〔　　　　　　〕
　A　自治都市では同業組合で，行政の基礎的な組織となった
　B　商品価格や品質を規定し，事業への新規参入を防ぐ排他的な組織

②〔　　　　　　　　　　〕
　A　大商人などの特権層が相互扶助と市場の独占を目的として結成
　B　初期に市政を独占

③〔　　　　　　　　　　〕
　A　都市経済の発展から勢力を拡大した手工業者が職業別に結成
　B　抗争により市政参加権を獲得（**ツンフト闘争**）
　C　正規組合員である**親方**が，傘下の職人・徒弟に対して絶対的権力を持つ徒弟制度で成り立っていた

3　イタリアの都市共和国，イギリスやフランスの都市

①［　　　　　　　　　］（都市共和国）

A　貴族や大商人が主導

B　北イタリアのヴェネツィアやジェノヴァ，フィレンツェなどの**自治都市**

→周辺地域も併合して都市国家に成長

②イギリスやフランスの諸都市

国王と強く結びついていたので，国の行政の中心地として発達

ヴェネツィアの街並み

4　都市のユダヤ人

①都市のユダヤ人

A　中世ヨーロッパではユダヤ人に土地所有の自由がなかった

→農民になれなかった

B　都市に住んで商業や金融業を営む者が多かった

→十字軍運動がはじまると，イスラーム教徒と同様の異教徒とみなされ迫害がはじまった

②**ゲットー**（強制隔離地区）

ドイツや東ヨーロッパの都市に設けられて，ユダヤ人への差別と迫害が長く続いた

まとめ　領邦内部で都市が台頭すると，神聖ローマ帝国の庇護により自由都市となり，領邦と同じ地位を得た。
ギルドは価格や品質を厳格に定めて，事業への新規参入を防いだ。

第 8 講　PART 2　確認問題

1 十字軍運動を契機として盛んになった遠距離間で行われる貿易を何というか。

① 遠距離貿易　② 地中海貿易
③ 遠隔地貿易　④ 自由貿易

2 12 世紀頃に，北ドイツのリューベックを盟主として結成された都市同盟はどれか。

① ハンザ同盟　② ペロポネソス同盟
③ ライン都市同盟　④ 六都市同盟

3 ブリュージュやガンなど，毛織物産業で発展した現在のベルギー北部の地方を何というか。

① シャンパーニュ地方　② フランドル地方
③ ロンバルディア地方　④ トスカナ地方

4 東方貿易で栄えた港市ではない北イタリアの内陸都市はどこか。

① ヴェネツィア　② フィレンツェ
③ ジェノヴァ　④ ピサ

5 都市が自治権を獲得するために，領主から闘争や買収により得たものは何か。

① 免許証　② 権利証
③ 表彰状　④ 特許状

6 自治都市での行政の基礎的な組織となった同業組合を何というか。

① 労働組合　② 都市ハンザ
③ ギルド　④ ユニオン

7 手工業者が職業別に同職ギルドを結成して，市政参加権を獲得していった経緯を何というか。

① 叙任権闘争　② ツンフト闘争
③ コミューン運動　④ 市民革命

8 北イタリアで貴族や大商人の主導により成立し，都市国家に成長した自治都市を何というか。

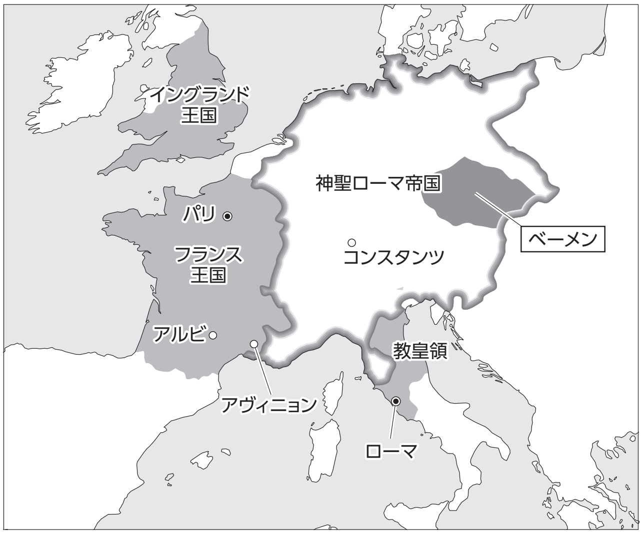
① ポリス　② 植民市
③ 自由都市　④ コムーネ

第8講 【中世編】 中世ヨーロッパ世界の変容

PART3 教会権威と封建社会の衰退

Chapter 1　教会権威の衰退と異端運動

目標
教会権威衰退の発端となった，アナーニ事件の経緯を知ろう。
コンスタンツ公会議では何が取り決められたのだろうか。



教皇権衰退，異端信仰に関係のある都市

1 アナーニ事件と大シスマ

十字軍運動の失敗により教皇の権威は衰え，代わって王権が伸長した。

13 世紀末　教皇権の絶対性を唱える〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が，
　　聖職者にも課税しようとするフランス王〔　　　　　　　　　　　　〕と対立

1302 年　フィリップ４世が聖職者・貴族・平民の代表からなる〔　　　　　　〕を初めて開催して，国内の支持を得る

1303 年　ボニファティウス８世がフィリップ４世に一時捕らえられたのち，
　　憤死（〔　　　　　　　　　　〕）
　　→教皇権没落のはじまり

1309 年　フィリップ４世がローマの教皇庁を南フランスの**アヴィニョン**に移す
　　教皇クレメンス５世を強制的に移転

→以降，69年間に7代の教皇がアヴィニョンに移転させられたこの事件は
「**教皇のバビロン捕囚**」と呼ばれる

1377年　教皇庁がローマに戻った後も，フランスはアヴィニョンに別の教皇を擁立
→複数の教皇が正統性を主張して対立する〔　　　　　　　　〕(**教会大分裂**)
がおこった

2 異端運動の進展とコンスタンツ公会議

教皇権の失墜は，教会の堕落や腐敗を批判する運動に繋がった。

12世紀末頃から　教会の権力や富を否定するマニ教の影響を受けたキリスト教の異端派
〔　　　　　　　　〕の信仰が南フランスに広がる
※**アルビジョワ派**とも呼ばれた。

1209年～29年　フランス国王**フィリップ2世**が〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕
を派遣して壊滅

14世紀後半　イングランドの〔　　　　　　　　　　〕は聖書主義から教会財産と教皇権
を否定
→聖書を英訳し宗教改革の先駆者となる

15世紀前半　ウィクリフに共鳴した〔　　　　〕が，神聖ローマ帝国領邦の**ベーメン**(現チェコ)でカトリック教会を批判
→**チェコ語**で説教して，ベーメンの貴族や民衆に広く受け入れられた

1414年～18年　神聖ローマ皇帝ジギスムントの提唱で
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が開催される
①ローマ教皇を正統と認めて大シスマ(教会大分裂)を終結させる
②ウィクリフとフスを異端とし，フスを火刑とした
→1419年にベーメンでフス派の住民が反乱をおこし，15年以上続く
〔　　　　　　　　〕に発展

まとめ　仏王フィリップ4世が三部会で国民の支持を得て，教皇を捕縛・憤死させた。コンスタンツ公会議ではローマ教皇を正統と認め大シスマを解消し，ウィクリフとフスを異端とした。

Chapter 2　農村の変容と封建社会の衰退

目標
ペストの流行で農奴解放が進んだ理由について考えよう。
騎士（領主）が没落した背景を理解しよう。

1　農奴解放の進展

①〔　　　　　　〕（**黒死病**）の大流行

A　14 世紀の西ヨーロッパでは天候不順による凶作，あいつぐ戦乱に加えて**ペスト（黒死病）**の大流行で人口が激減

B　労働力が不足した農村→領主が農業生産力を確保するため，農民の待遇を改善

C　〔　　　　　　　　〕が浸透してくると，領主は直営地を農民に貸与し，貨幣で地代を納めさせるように

D　農奴的な立場から解放される農民が増え，荘園制の解体が進んだ（**農奴解放**）
→対抗した領主は農民への支配権を再強化しようとした（**封建反動**）

②農奴解放

A　封建反動に対し，各地で農奴解放を求める大規模な農民一揆がおこった
1358 年　北フランスで〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる
1381 年　イングランドで〔　　　　　　　　　　　　〕が指導する
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる
→いずれも鎮圧されたが，領主層の荘園経営はますます困難になった

B　イングランドでは，〔　　　　　　　　〕と呼ばれる**独立自営農民**が出現

ペストの流行

2 諸侯（領主）の没落

①荘園経営が困難になった領主層や，火砲や傭兵の普及による戦術の変化で価値を低めた
騎士階級が没落
→国王の宮廷に仕える〔　　　　　〕となった
②イングランドでは，騎士は農民から地代を取り立てるだけの地方地主となり，
〔　　　　　　　　　　　　〕（郷紳）と呼ばれた

まとめ
ペストの流行で農民の数が減少すると，領主が農民の待遇を改善した。
火砲の利用により戦術が歩兵中心に変化したため，騎士の没落が進んだ。

第 8 講　PART３　確認問題

1 1302 年にフランスで初めて開催された，聖職者・貴族・平民の代表からなる議会を何というか。

① 民会　② 帝国議会
③ 三部会　④ コルテス

2 14 世紀初め，対立した教皇を一時捕らえて憤死させるアナーニ事件をおこしたフランス王はだれか。

① フィリップ２世　② フィリップ４世
③ ルイ９世　④ シャルル７世

3 フランス王がアヴィニョンに別の教皇を擁立したために，２人の教皇が対立して教会が分裂した状態を何というか。

① 大シスマ　② 教会の東西分裂
③ 対立教皇　④ 教区教会

4 15 世紀前半にチェコ語で説教し，ベーメンでカトリック教会を批判した人物はだれか。

① ウィクリフ　② ジョン＝ボール
③ フス　④ ルター

5 1414 年～18 年に開かれた，教会の分裂を解消するための宗教会議を何というか。

① ニケーア公会議　② エフェソス公会議
③ コンスタンツ公会議　④ トリエント公会議

6 14 世紀に西ヨーロッパで大流行して人口が激減した病気はどれか。

① 天然痘　② ペスト
③ スペイン風邪　④ コレラ

7 1381 年にイングランドでおこった大規模な農民一揆を何というか。

① ワット = タイラーの乱　② コムネロスの反乱
③ ジャックリーの乱　④ グリンドゥールの反乱

8 農奴解放によってイングランドに出現した独立自営農民を何というか。

① ジェントリ　② 廷臣
③ コロヌス　④ ヨーマン

第8講 【中世編】 中世ヨーロッパ世界の変容

PART4 イギリスとフランスの王朝

Chapter 1　イギリスの王朝と立憲君主政の成立

目標　マグナ＝カルタ（大憲章）の承認には，どのような意義があったのだろうか。
イングランドで議会制度が確立していったきっかけを学ぼう。

1　イギリスのノルマン朝とプランタジネット朝

1066年　**ノルマンディー公ウィリアム**がウィリアム1世として即位
（［　　　　　　　　　　　　　　　　　　］）して
［　　　　　　　　　　］が成立
①征服王朝だったため王権が強大
②イギリス初の検地を実施

1154年　フランスのアンジュー伯がヘンリ2世として
［　　　　　　　　　　　　　　　　］を開く
※イングランド王でありながら，フランスでは広大なアンジュー伯領を持つフランス王の臣下という複雑さがイギリスとフランスの対立の起源となった。
→リチャード1世が第3回十字軍（1189年～92年）に参加

プランタジネット朝とアンジュー伯

2 イギリスの立憲政治のはじまり

①〔　　　　　　　　〕（欠地王，リチャード1世の弟）の失政

1199年～1214年　フランス国王**フィリップ2世**と戦って敗れ，フランス内の領土の大半を失う

1209年　教皇〔　　　　　　　　　　　　　　　〕とも争い，破門される

②マグナ＝カルタの承認

ジョン王は戦費による財政難から重税を課した

1215年　貴族（封建領主）が団結し，新たな課税に聖職者と貴族の会議の承認が必要とすることや，不当逮捕の禁止などを定めた〔　　　　　　　　　　　　　　〕を提出，王に認めさせる

→イギリスの**立憲政治**の基礎となる

③シモン＝ド＝モンフォールの議会

ジョン王の子**ヘンリ3世**が大憲章を無視して貴族に重税を課した

1264年～67年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を中心に貴族が反乱をおこす

1265年　聖職者・貴族に加えて，州と都市の代表者による**議会**を招集する

→イギリス議会の起源となる

④模範議会の成立

1295年　〔　　　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　〕と呼ばれる**身分制議会**を招集

⑤二院制の成立

14世紀半ば　議会は聖職者・貴族による**上院**（**貴族院**）と，州と都市を代表する**下院**（**庶民院**）の二院制となり，法律の制定や新課税には庶民院の承認が必要となる

A　下院では騎士から地方地主となった**ジェントリ**（郷紳）が大きな勢力となった

B　**エドワード3世**は百年戦争継続の戦費の調達のために，議会をたびたび開催するようになり，制度も整えられていった

まとめ　国王の権限が制限され，イギリス立憲政治のはじまりとなった。
エドワード1世により模範議会が開催され，議会制度が確立していった。

Chapter 2　フランスの王朝と百年戦争

目標　フランスのカペー朝が王権を拡大していった流れを理解しよう。
百年戦争はなぜはじまったのだろうか。

1　フランスのカペー朝

初期カペー朝の王権はパリ周辺に限られ，諸侯の力が強かったが，教会との癒着や十字軍の参加にともない歴代の王が着実に権力を拡大させ，西ヨーロッパの強国となった。

①〔　　　　　　　　　　　　　〕

A　第3回十字軍（1189年～92年）に参加

B　ジョン王と戦い，国内にあったイギリス領の大半を奪回し，王権拡大の基礎をつくった

C　南フランスの**カタリ派**を討伐するために**アルビジョワ十字軍**を提唱

②〔　　　　　　　　〕

A　第6・7回十字軍を主導

B　1209年～29年のアルビジョワ十字軍を成功させ，南フランスにも王権を拡大

C　1253年　モンゴル帝国に修道士の**ルブルック**を派遣

③〔　　　　　　　　　　　　　〕

A　1302年　フランス初の身分制議会である**三部会**を開催，翌年に教皇**ボニファティウス8世**を捕縛した（〔　　　　　　　　　　　　〕）

B　1309年　教皇クレメンス5世を南フランスのアヴィニョンに強制移転させる〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を行った

C　1312年　**テンプル騎士団**を弾圧・解体し，財産を没収

2　ヴァロワ朝の成立と百年戦争

①ヴァロワ朝の成立

1328年　カペー朝が断絶

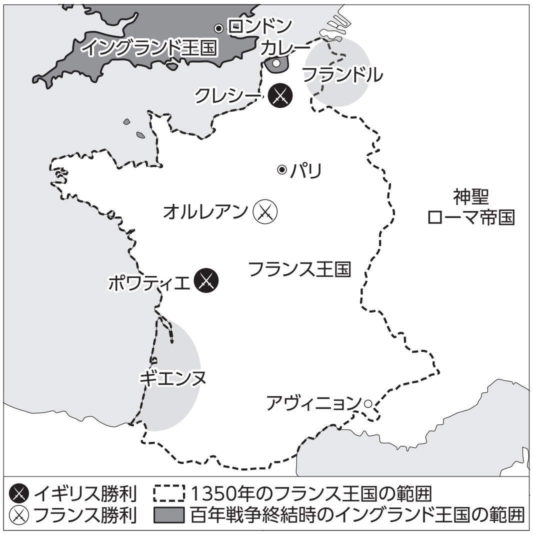
→フィリップ6世により〔　　　　　　　　　　〕が成立

②百年戦争の原因と背景

1339年　イングランド王**エドワード3世**がカペー朝の**王位継承権**を主張

→フランスへ侵攻して〔　　　　　　　　〕がはじまる

※背景には毛織物産地の**フランドル地方**の支配権争いや，ワイン産地のギエンヌ地方の領地争いがあった。



百年戦争の抗争図

③百年戦争の経過と結果

A　開戦当初はクレシーの戦い（1346年）やポワティエの戦い（1356年）に勝利したイングランドが優勢，エドワード黒太子の活躍

B　ペストの流行や両国で相次いでおこった農民反乱による社会不安で，戦争が長期化

C　一時フランスが盛り返すも15世紀になると内部分裂などで再度劣勢に
→神の啓示を信じる農民の娘〔　　　　　　　　〕の指揮によって包囲された**オルレアン**を解放

D　フランスで〔　　　　　　　　〕が戴冠して正式に王位に就く
→反攻に転じて**カレー**を除く全領土を確保して戦争終結

④百年戦争の影響

A　イングランド・フランスとも諸侯と貴族の封建領主が没落し，王権が強化

B　フランスでは，シャルル7世のもとで官僚制と常備軍が整備されて中央集権が進展

C　イングランドでは1455年，王位継承権を巡って**ランカスター家**と**ヨーク家**が争う〔　　　　　　〕が勃発
1485年，ランカスター派のヘンリが**ヘンリ7世**として即位
→〔　　　　　　　　〕を開き，王権に反抗する貴族を裁くための**星室庁裁判所**を設置するなど，さらに王権を強化

ジャンヌ＝ダルク

まとめ　フランスの王権は十字軍派遣やアナーニ事件で拡大していった。
王位継承権問題，領有権での対立などを背景に百年戦争がはじまった。

第8講 PART4 確認問題

1 1154年に，フランスのアンジュー伯がヘンリ2世としてイングランドに開いた王朝はどれか。

① ノルマン朝 ② プランタジネット朝
③ テューダー朝 ④ ステュアート朝

2 1215年にイングランドで貴族たちがジョン王に認めさせ，その後のイギリスの立憲政治の基礎となった文書を何というか。

① マグナ＝カルタ ② 権利の章典
③ 人権宣言 ④ コモン・センス

3 イングランド王ヘンリ3世に対する貴族の反乱の中心的存在となり，議会の招集を認めさせた人物はだれか。

① ロジャー＝ベーコン ② ウィリアム＝オブ＝オッカム
③ ワット＝タイラー ④ シモン＝ド＝モンフォール

4 1295年に，イングランド王エドワード1世が招集した身分制議会を何というか。

① 三部会 ② 帝国議会
③ 模範議会 ④ 国民議会

5 フランスでカペー朝が断絶したあと，フィリップ6世により成立した王朝はどれか。

① カロリング朝 ② ヴァロワ朝
③ ハプスブルク朝 ④ ブルボン朝

6 イングランド王エドワード３世が，王位継承権を主張してフランスと戦った戦争を何というか。

① 七年戦争　② 十三年戦争
③ 三十年戦争　④ 百年戦争

7 1455 年にイングランドで勃発したバラ戦争で，ヨーク家と争った貴族はどれか。

① ノーサンバランド家　② ダービー家
③ ノーフォーク家　④ ランカスター家

8 1485 年にテューダー朝を開いたイングランド王はだれか。

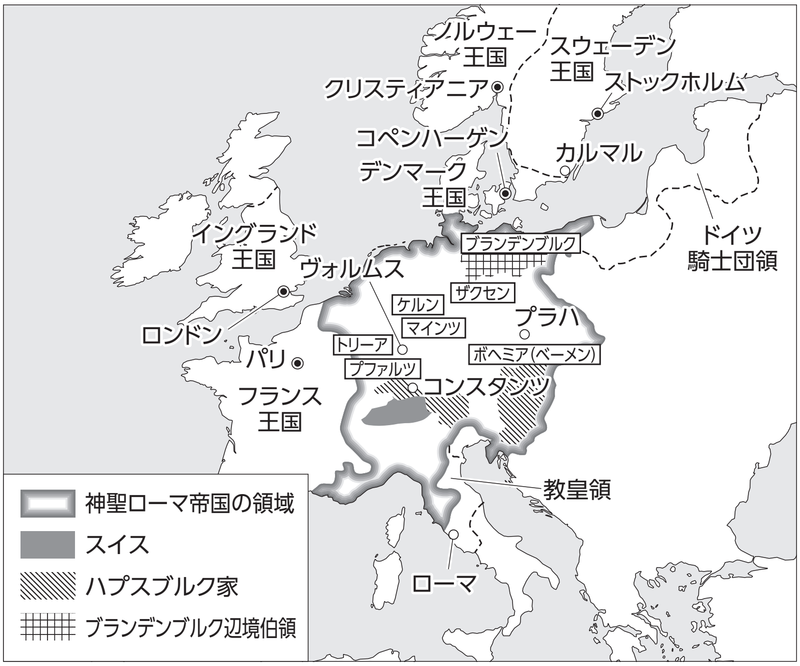
① エドワード３世　② リチャード３世
③ ヘンリ６世　④ ヘンリ７世

第8講 【中世編】 中世ヨーロッパ世界の変容

PART5 ヨーロッパ各地の状況

Chapter 1　ドイツ, スイス, 北欧の状況

目標　金印勅書が定めたことや, それによりドイツがどうなっていったのか学ぼう。
中世の北欧で主導権を握った国はどこだろう。



ドイツ，北欧，スイスの勢力図

1　ドイツの分裂

①神聖ローマ皇帝の〔　　　　　　　　　　　　〕

10～13 世紀，歴代の神聖ローマ皇帝が，イタリア半島の権益を求めて行ったイタリア介入政策。教皇やイタリア諸都市が抵抗

→ドイツ国内の統治が疎かになり，国内が分裂

※ドイツの諸侯は**領邦諸侯**と呼ばれる。

②〔　　　　　　　　　　〕

シュタウフェン朝が途絶え，1256 年から 1273 年まで神聖ローマ皇帝が不在となる

③皇帝選挙制

1356 年　皇帝カール４世が〔　　　　　　　　　〕を発布。７人の**選帝侯**が多数決によって皇帝を選出する**皇帝選挙制**を定める

※マインツ大司教，トリーア大司教，ケルン大司教，ベーメン王，ザクセン公，ファルツ伯，ブランデンブルク辺境伯の７名。

※諸侯領（領邦）や自由都市に関税徴収権などの特権が与えられる。

1438 年　アルブレヒト２世が神聖ローマ皇帝として即位。以降，オーストリアの〔　　　　　　　　　　　　　　〕が帝位を世襲

→帝国の統一に努めるが失敗。最多期には 300 余りの領邦が分立

④〔　　　　　　　　　〕の推進

12～14 世紀，ドイツ人によるエルベ川以東への植民・開墾運動が行われる

→ドイツ騎士団による〔　　　　　　　　　　　　　　〕や，**ブランデンブルク辺境伯領**が設置される

2　スイスの状況

13 世紀後半以降　**ハプスブルク家**の支配が本格化

1291 年　スイス３州が独立闘争をおこす

1499 年　スイス 13 州が事実上神聖ローマ帝国からの独立を達成

1648 年　**ウェストファリア条約**で独立が正式に承認される

3　北欧の状況

北欧には８世紀から 10 世紀にかけて, ユトランド半島に**デンマーク王国**, スカンディナヴィア半島西岸に**ノルウェー王国**，スカンディナヴィア半島東岸に**スウェーデン王国**が成立。

1397 年　ドイツ騎士団の台頭などに対抗するため，３国がデンマーク王女**マルグレーテ**の主導のもと〔　　　　　　　　　　　　〕を締結，３国の**同君連合**が成立

※デンマークが優位に立つ。

1523 年　**スウェーデン**がカルマル同盟から離脱

まとめ

金印勅書では，神聖ローマ皇帝は選帝侯の選挙によって選出されると定められ，以降領邦諸侯によるドイツの分裂に拍車がかかった。
カルマル同盟で同君連合の結成を主導したデンマークが，北欧の主導権を握った。

Chapter 2　イタリア, スペイン, ポルトガルの状況

目標　イタリアの分裂状況はどのようなものだったのだろうか。
スペインがレコンキスタ（国土回復運動）を完成させた経緯を学ぼう。

1　イタリアの分裂

イタリアの分裂の様子

①南部イタリア

1282 年　**両シチリア王国**の過酷な支配に反発したシチリア島民が反乱をおこす

13 世紀末　シチリア王国と，イタリア半島の〔　　　　　　　　　　〕に分裂

②北・中部イタリア

A　12 世紀以降　神聖ローマ皇帝の**イタリア政策**に対し, 政策を支持する〔　　　　　　　〕（ギベリン）と反対する〔　　　　　　　〕（ゲルフ）に分かれて抗争

※ギベリンは農村領主出身の貴族に，ゲルフは都市の大商人に支持者が多かった。

B　北イタリアでは，ヴェネツィア，フィレンツェ，ジェノヴァ，ミラノなどの都市国家が覇権を争う

2　イベリア半島の状況

レコンキスタの進展

①スペイン

８世紀に後ウマイヤ朝が成立して以降，キリスト教徒がイスラーム教徒からイベリア半島を奪回するため〔　　　　　　　　〕（**国土回復運動**）を進め，奪回された土地に，**カスティリャ・アラゴン・ポルトガル**の３国が成立

1479 年　カスティリャ女王〔　　　　　　　〕とアラゴン王〔　　　　　　　　　〕の結婚により両国が統合，**スペイン王国**が成立

1492 年　イスラーム勢力の拠点である**ナスル朝**の〔　　　　　　　〕を占領して国土を統一。レコンキスタを完成させる

※イサベル女王は**コロンブス**の航海を支援するなど，海外進出を進める。

②ポルトガル

12 世紀　カスティリャから独立

15 世紀後半　国王**ジョアン２世**のもとで統一国家となる

※国王は**バルトロメウ＝ディアス**の航海を援助するなど，インド航路開拓を進め，ヨーロッパ人による海洋進出の先駆けとなる。

まとめ

イタリアにはローマ教皇領が存在し，南部には両シチリア王国，北中部には都市国家が分立していた。

カスティリャ王国とアラゴン王国が合併してスペイン王国が成立し，ナスル朝を滅ぼしてレコンキスタを完成させた。

第８講　PART５　確認問題

1　金印勅書を発布して，皇帝選挙制を定めた神聖ローマ皇帝はだれか。

①　カール５世　②　オットー１世
③　カール４世　④　ハインリヒ４世

2　15 世紀前半から神聖ローマ皇帝位を世襲し，スイスも支配した有力な家系はどれか。

①　メディチ家　②　ハプスブルク家
③　ヴァロワ家　④　ザクセン家

3　17 世紀半ばに，スイスの独立を正式に承認した条約を何というか。

①　ブリュッセル条約　②　ヴェルダン条約
③　パリ条約　④　ウェストファリア条約

4　14 世紀末，北欧の３国の間で結ばれた同盟を何というか。

①　カルマル同盟　②　ハンザ同盟
③　ロンバルディア同盟　④　ライン同盟

5　８世紀以降，キリスト教徒がイベリア半島を奪回するために行った戦いを何というか。

①　十字軍　②　ジハード
③　レコンキスタ　④　百年戦争

6 イベリア半島のイスラム政権であるナスル朝の都はどこか。

① トレド　② グラナダ
③ コルドバ　④ マドリード

7 15 世紀後半に，カスティリャとアラゴンが統合して成立した国を何というか。

① ポルトガル王国　② デンマーク王国
③ スペイン王国　④ ポーランド王国

8 スペインのイサベル女王が援助した，ジェノヴァ出身の船乗りはだれか。

① コロンブス　② ヴァスコ＝ダ＝ガマ
③ マゼラン　④ バルトロメウ＝ディアス

第8講 【中世編】 中世ヨーロッパ世界の変容

PART6 中世ヨーロッパの文化

Chapter 1　中世キリスト教神学とスコラ学の発展

目標　スコラ学が発展した背景を理解しよう。
普遍論争が収束し，スコラ学が大成した経緯を学ぼう。

1 スコラ学の発展

中世の西ヨーロッパではローマ＝カトリック教会が絶大な権威を持ち，学問もキリスト教の影響を受けた。

①中世の学問

A　キリスト教の教理や信仰を探究する〔　　　　〕が，最高の学問とされる

※「哲学は神学の婢（はしため)」と言われたように，哲学はその下に置かれた。

B　教会用語の〔　　　　　　　〕が，学者・知識人の共通語となる

C　教会附属の学校（**スコラ**）を拠点として，神学をアリストテレス哲学によって体系化しようとする〔　　　　　　　〕がおこる

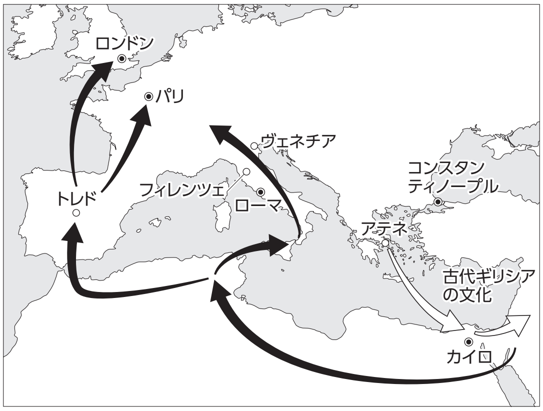
スコラ学の授業風景

②文化の復興運動

12世紀，イスラーム圏で研究されていたギリシアやローマの古典が，イベリア半島の**トレド**，シチリア島の**パレルモ**などを経由して伝えられ，〔　　　　　　　〕に翻訳されて学問や文化が発展した。これを〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ぶ

→スコラ学に影響

※トレドやシチリアでは，特に**アリストテレス**などギリシアの古典や，アラビアの学術書がラテン語に翻訳された。



12世紀ルネサンスの流れ

2 普遍論争

①〔　　　　　　　　〕の勃発

A 〔　　　　　　〕

普遍は現実に存在するとして，信仰は理性に優先すると主張。スコラ学の父とされる〔　　　　　　　　　　　　〕が代表的論者

B 〔　　　　　　〕

普遍は思考の中にしか存在しないとして，信仰よりも理性が優先すると主張。フランスのスコラ学者〔　　　　　　　　　　〕が代表的論者

※のちに，イギリスのスコラ学者**ウィリアム＝オブ＝オッカム**が信仰と理性を分離。

②スコラ学の大成

13世紀半ば,〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　　　〕を著して信仰と理性を統一。キリスト教神学にアリストテレスの哲学を調和する。普遍論争が収束してスコラ学が大成した

③自然科学の発達

イギリスのスコラ学者〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が，イスラーム科学の影響を受けて観察と実験を重視

→17世紀の科学革命に影響を及ぼす

まとめ

十字軍や東方貿易でイスラーム世界から文化や思想が流入し，スコラ学が発展した。

トマス＝アクィナスが『神学大全』を著し，キリスト教神学にアリストテレスの哲学を調和して，普遍論争が収束しスコラ学が大成した。

Chapter 2　中世ヨーロッパの文化史

目標　中世ヨーロッパの大学は，どのように成立していったのだろう。
中世の文学の基調精神を理解しよう。

1　中世ヨーロッパの大学

各大学が位置する場所

①大学の形成

A　教会や修道院の付属学校だった大学が，都市の発達や12世紀ルネサンスの影響のもと，専門性の高い研究機関に発展

B　主な大学には**神学・法学・医学**の３学部があり，基礎的な教養科目として**自由七科**も学ばれた

※教養科目は，文法・修辞学・論理学の初級３学科と，算術，幾何学，天文学，音楽の上級４学科を指す。

②中世に設立された主な大学

A　〔　　　　　　　　　〕（法学）：11世紀後半に北イタリアのボローニャに設立された，現存する最古の大学

B　〔　　　　　　〕（神学）：12世紀に設立されたフランス最古の大学。トマス＝アクィナスが教鞭をとった

C　〔　　　　　　　　〕（医学）：イタリアのサレルノに設立された最古の大学の一つ。医学校から発展

D　**オックスフォード大学**（神学）：12 世紀にパリ大学を模範として創設されたイギリス最古の大学

E　**ケンブリッジ大学**（神学）：オックスフォード大学から分離

※オックスフォード大学やケンブリッジ大学では，学寮（コレッジ）が発展。

2　中世ヨーロッパの文学

①〔　　　　　　　　　　〕

中世騎士の武勇や恋愛などを主題とした口語文学

A　**『アーサー王物語』**（英）：ケルト人の英雄アーサー王と円卓の騎士の物語

B　**『ニーベルンゲンの歌』**（独）：ゲルマンの英雄伝説をもとにした叙事詩

C　**『ローランの歌』**（仏）：カール大帝時代の騎士の武勇物語

吟遊詩人

②〔　　　　　　　　〕

西ヨーロッパ各地の宮廷を遍歴して，騎士の恋愛を題材とする抒情詩をうたった

※フランスでは**トゥルバドゥール**，ドイツでは**ミンネジンガー**と呼ばれた。

3　中世の建築

教会の権威が高まり，経済的に豊かになった中世には，教会建築が盛んに行われた。

① 11 世紀以降，ローマ風の半円アーチと厚い石壁，小さな窓を特色とする

〔　　　　　　　　　　　　　　〕が流行

※イタリアの〔　　　　　　　　　　　〕やドイツの**シュパイアー大聖堂**などが有名。

② 12 世紀半ば以降，高くそびえる尖塔と**ステンドグラス**の広い窓を特色とする

〔　　　　　　　　　　　　〕の大聖堂がつくられる

※フランスの**ノートルダム大聖堂**や**シャルトル大聖堂**，フランス王の戴冠式が行われた**ランス大聖堂**，ドイツの〔　　　　　　　　　　　　〕などが有名。

まとめ

学問を修めたい若者が都市に集まると，ボローニャに初めて大学が設立され，法学が学ばれた。

中世の文学は，騎士道精神に則るものだった。

第 8 講　PART6　確認問題

1 中世の西ヨーロッパで，最高の学問とされたものはどれか。

① 哲学　② 神学
③ 医学　④ 幾何学

2 中世の西ヨーロッパで，学者・知識人の共通語とされた言語はどれか。

① ギリシア語　② イタリア語
③ フランス語　④ ラテン語

3 13 世紀にスコラ学を大成したトマス = アクィナスの著書はどれか。

① 『神曲』　② 『君主論』
③ 『神学大全』　④ 『神の国』

4 スコラ学の学者でありながら，イスラーム科学の影響を受けて実験や観察の重要性を説いた人物はだれか。

① ロジャー = ベーコン　② ウィリアム = オブ = オッカム
③ フランシス = ベーコン　④ アイザック = ニュートン

5 法学で有名だった，現存する最古の大学はどこか。

① サレルノ大学　② オックスフォード大学
③ ボローニャ大学　④ パリ大学

6 騎士道文学の作品はどれか。

①　『ドン＝キホーテ』　②　『アーサー王物語』
③　『カンタベリ物語』　④　『千夜一夜物語』

7 11 世紀以降に流行した，ローマ風の半円アーチと厚い石壁などを特色とする建築様式を何というか。

①　ビザンツ様式　②　ルネサンス様式
③　バロック様式　④　ロマネスク様式

8 ゴシック様式の建築の説明として**誤っているもの**はどれか。

①　広い窓にステンドグラスが飾られる。
②　代表的な建築にノートルダム大聖堂がある。
③　ドームとモザイク壁画を特色とする。
④　尖塔が高くそびえる。

第９講　【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル

PART1 東アジア世界の変容

Chapter 1　中国の動揺と東アジア世界

目標　高麗の朝鮮半島統一を，唐の滅亡との関連性から理解しよう。
唐の衰退に際して，日本が取った対応を学ぼう。

1　高麗の朝鮮半島統一

唐の滅亡にともない，朝鮮半島では新羅が衰退。後百済，後高句麗との３国に分裂したあと，935 年，高麗に滅ぼされた。

①高麗の建国

918 年　地方豪族の〔　　　　〕が**高麗**を建国，〔　　　　〕を都とする

936 年　高麗が朝鮮半島を統一

12 世紀　文官優位に不満を募らせた武官がクーデターをおこし，実権を握る（武臣政権）

②高麗の支配体制

A　学科試験によって官僚を選ぶ**科挙**を採用

B　〔　　　　〕と呼ばれる官僚を中心に国家を運営

※文官（文班）と武官（武班）に分けられていたので，この名前になった。

当時の東アジアの勢力範囲

2　日本の平安時代と鎌倉時代

894 年　唐の衰退を理由に〔　　　　　　〕の派遣を停止

→貴族が担い手の〔　　　　　　　　〕が栄える

かな文字，大和絵の流行などが特色

11 世紀　武装化した地方豪族（武士）が台頭

12 世紀中頃　平清盛が政治の実権を握り，**平氏政権**が成立

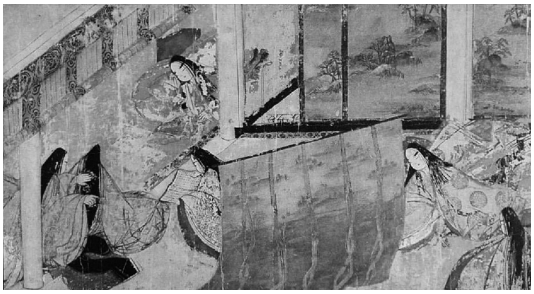
※大輪田泊（現・神戸港）や博多を窓口に**日宋**貿易を積極的に行う。

→宋銭が大量に輸入され，貨幣経済が進展

12 世紀末　**源頼朝**が東国の武士団を従え，〔　　　　　　　　〕を樹立

→本格的な武家政権が成立

13 世紀初頭　北条氏が政治の実権を握り，**執権政治**が確立



大和絵

3　ベトナムの自立

10 世紀　唐末期の政治混乱を機に，北部ベトナムが中国王朝の支配から独立

1009 年　北部ベトナムに〔　　　　　〕が成立。のちに国号を〔　　　　　〕とする。

昇竜（ハノイ）を都とする

※仏教や儒学など，宋の文化を取り入れた。

※宋，大理，チャンパーなどの侵入を撃退。

4　雲南地方の南詔と大理

902 年　唐の衰退にともない，**南詔**が滅亡

937 年　〔　　　　　〕がおこる

※南詔の仏教文化を継承。

まとめ

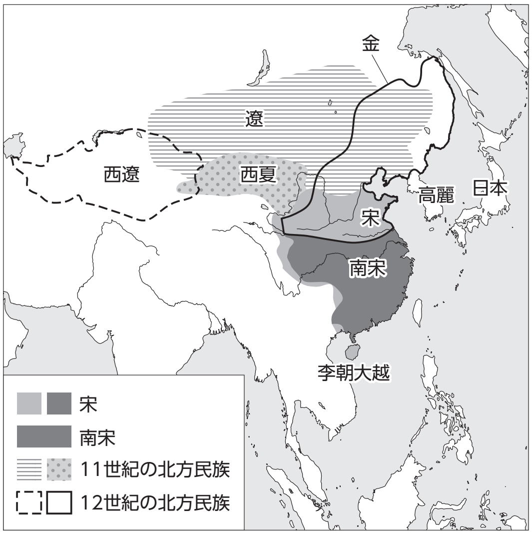
唐の滅亡にともない新羅が衰退すると，王建が高麗を建てて朝鮮半島を統一した。

唐の衰退が明らかになると，平安時代の日本は遣唐使を廃止し，以降は国風文化が栄えた。

Chapter 2　北方民族の台頭

目標
契丹の遼が，北宋をどのように圧迫したのかおさえよう。
遼や金による中国支配の特徴を理解しよう。

1　遼の台頭



11 ～ 12 世紀の北方民族の勢力図

①遼の建国

840 年　ウイグルがトルコ系遊牧民キルギスに敗れて四散
　→モンゴル高原で，モンゴル系遊牧民〔　　　　　〕（キタイ）が台頭

916 年　〔　　　　　　　　　　〕（太祖）が諸部族を統一し，モンゴル高原東部に〔　　　〕（**契丹**）を建国
　※遼は中国風の国号。

926 年　耶律阿保機が，朝鮮北部の**渤海**を滅ぼす

936 年　後晋の建国を援助した代償として，**燕雲十六州**を獲得
　※燕（現・北京）と雲（大同）を中心とする華北平野の農耕地帯。

1004 年　**宋**（**北宋**）と和議〔　　　　　　　　〕を結ぶ
　※宋を兄，遼を弟とし，宋は遼に毎年銀や絹を贈ること（歳貢・歳幣），国境を保全することを約束。
　→以後 100 年以上，両国間の平和が保たれた

契丹文字

②遼の統治

A　北面官が契丹人などの遊牧民を部族制で統治し，南面官が燕雲十六州の漢人を中国的な州県制で統治する**二重統治体制**を取る

B　漢字を参考にして民族文字〔　　　　　　　　〕をつくる

2　西夏と中継貿易

西夏文字

① 1038 年にチベット系の遊牧民〔　　　　　　　　〕の〔　　　　　　〕が，黄河上流域に〔　　　　〕を建国

②はじめ**宋**（**北宋**）に臣下の礼を取り，のちに**金**に服属しながら中継貿易で繁栄

③漢字を参考にして民族文字〔　　　　　　　　〕をつくり，仏典などを翻訳

※日本やロシアの学者によって解読が進んだ。

3　金の成立

①金の建国

女真文字

12 世紀　ツングース系の〔　　　　〕が**遼**（**契丹**）から独立

1115 年　完顔部の首長〔　　　　　　　　　　〕（太祖）が皇帝となり，〔　　　〕を建国
会寧に都を置く

1125 年　**宋**（**北宋**）と結び，〔　　〕を滅ぼす
→遼の王族**耶律大石**が中央アジアに逃れて，**西遼**（**カラキタイ**）を建国

1127 年　〔　　　　　　　　〕により宋（北宋）を滅ぼす

1142 年　**宋**（**南宋**）と和議を結ぶ
※淮河以北を確保し，毎年銀や絹の貢ぎ物（歳貢・歳幣）を受ける。

1153 年　**燕京**（現・北京）に遷都

②金の統治

A　遼の**二重統治体制**を継承
女真など遊牧民は部族制に基づく軍事・行政組織〔　　　　　　　　　　〕で統治し，華北の漢人は州県制で統治
※ 300 戸を 1 謀克，10 謀克を 1 猛安として組織し，1 謀克から 100 人の兵士を徴集。

B　中国王朝の統治体制を採用

C　漢字や契丹文字を参考に，民族文字〔　　　　　　　　〕をつくる

まとめ　遼は北宋と澶淵の盟を結び，北宋に対して歳賜（貢ぎ物）を要求して圧迫した。
遊牧地帯には部族制を，農耕地帯には州県制を敷く二重統治体制を取った。

第 9 講　PART 1　確認問題

1　10 世紀初めに，王建が朝鮮半島に建てた国を何というか。

①　高句麗　②　新羅
③　高麗　④　渤海

2　日本の平安時代に栄えた文化の特色を説明した文として，**誤っているもの**はどれか。

①　漢字から生まれた，かな文字が発達した。
②　貴族が担い手の優雅な文化だった。
③　大和絵と呼ばれる絵画が描かれた。
④　国際的な唐の文化の影響を強く受けていた。

3　日本の平氏政権が中国と行った貿易を何というか。

①　日元貿易　②　日宋貿易
③　南蛮貿易　④　勘合貿易

4　11 世紀に，北部ベトナムに建てられた国を何というか。

①　大越　②　大理
③　チャンパー　④　南詔

5　唐が滅亡した 10 世紀初めに，モンゴル高原に遼を建国した人物はだれか。

①　李元昊　②　耶律大石
③　耶律阿保機　④　冒頓単于

6 1004年に遼が澶淵の盟を結んだ王朝を何というか。

① 後周　② 南宋
③ 後漢　④ 北宋

7 遊牧民のタングートが建てた国家でつくられた民族文字はどれか。

① 西夏文字　② 契丹文字
③ パスパ文字　④ 突厥文字

8 12世紀初め，女真の完顔阿骨打が建てた国を何というか。

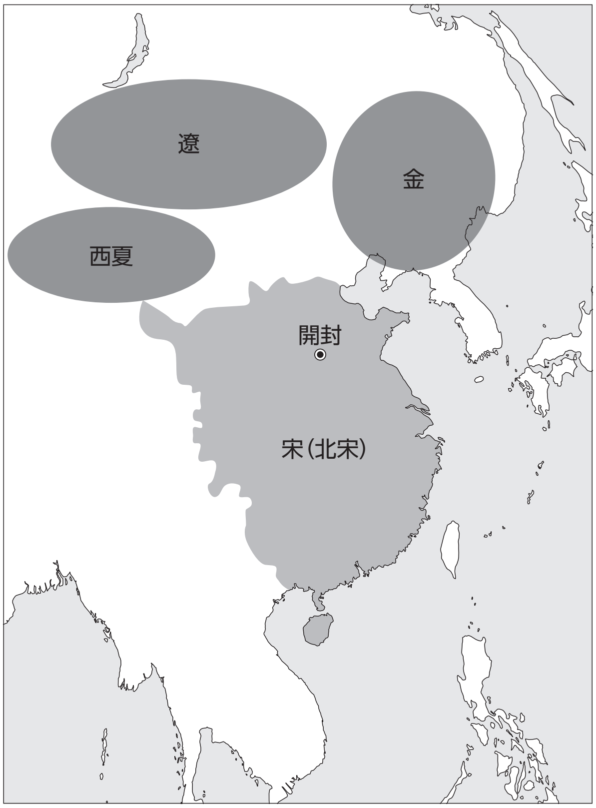
① 西夏　② 金
③ 大理　④ 元

第 9 講 【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル
PART2 宋の興亡

Chapter 1　北宋の成立と変革

目標
北宋の太祖趙匡胤は，どのような統治体制を築いたのだろうか。
王安石が行った新法の目的を理解しよう。

1　北宋の成立とその支配



北宋と北方民族の位置関係

①北宋の建国

960 年　武将の〔　　　　　　　　〕(太祖) が**後周**を滅ぼし，**宋**（**北宋**）を建国

大運河と黄河の結節点に位置する〔　　　　　〕に都を置く

979 年　第 2 代皇帝**太宗**が中国を統一

1004 年　遼と和議**澶淵の盟**を結び，遼に対して毎年銀や絹を贈ることなどを約束

②北宋の統治

A　**科挙**で選出された文人官僚を重用する〔　　　　　　　　　　〕を採用

※**形勢戸**と呼ばれる新興地主層から文人官僚を多く輩出。彼らは没落した小農民を小作農（**佃戸**）として荘園を経営した。

B　科挙に皇帝が自ら最終審査を行う〔　　　　　　〕を創設

→科挙官僚に忠誠を誓わせ，皇帝の権力を強化する目的

2　王安石の新法

①新法実施の背景

北宋では，周辺異民族への貢ぎ物や官僚の人件費などで国家財政が逼迫。1070 年，第６代皇帝**神宗**は〔　　　　　　　　〕を宰相に登用し**新法**を施行→財政再建，富国強兵を図る

②王安石の新法

A　富国策

〔　　　　　　　　〕：貧しい農民に低利で金銭や穀物を融資

〔　　　　　　　　〕：中小商人への低利融資

〔　　　　　　　　〕：物資流通の円滑化と物価の調整

〔　　　　　　　　〕：労役の代わりに徴収した金銭で人を雇い，労役に就かせる

B　強兵策

〔　　　　　　　　〕：兵農一致の強兵策

〔　　　　　　　　〕：民間に軍馬の育成を委託

③新法の廃止

官僚たちが〔　　　　　　　〕と，それに反対する〔　　　　　　　〕に分かれて争う

→新法により財政は好転するも，王安石が宰相を辞任すると，政治家で学者の**司馬光**を中心とする旧法党が新法を廃止

※歴史書『**資治通鑑**』を編さんしたことでも知られる。

→党争によって宋（北宋）の政治が混乱

まとめ　文治主義を採用し，武人から兵力を奪って文人（官僚）による統治を進めた。青苗法や市易法にみられるように農業や商業の活性化を図り，財政再建を目指した。

Chapter 2　金と南宋

目標

女真の金が北宋を滅ぼした経緯を理解しよう。
南宋の金に対しての，外交的なふるまい方を確認しよう。

金の華北支配と南宋

1　北宋の滅亡と金

1125 年　燕雲十六州の奪還を目指す**宋**（**北宋**）が〔　　　　〕と結び，**遼**を滅ぼす

※宋（北宋）が銀や絹を贈る約束を破るなどしたため，同盟が破綻。

1126 年　〔　　　　　　　　　〕がおこり，金に**開封**を陥落される

1127 年　上皇の**徽宗**，皇帝の**欽宗**らが金に連行され，宋（北宋）が滅ぶ

※金が華北を占領。

2　南宋の成立

1127年　欽宗の弟の**高宗**が江南に宋を再興し，〔　　　　　〕を建国

〔　　　　　〕（現・杭州）を都とする

→**金**と対峙するなか, 金に奪われた華北の奪還を主張する抗戦派の〔　　　　　〕と,

和平派の〔　　　　　〕が対立

1141年　宰相の秦檜が岳飛を処刑

1142年　金と和議が成立

※〔　　　　　〕を国境とし, 金に**臣下の礼**を取り, 毎年銀や絹を貢ぎ物（歳貢･歳幣）

として贈ることを約束。

→中華思想の動揺

3　南宋の統治と滅亡

①朱子学の大成

南宋の儒学者**朱熹**が宋代の儒学を大成（**朱子学**）

②経済が発展

金との和議が結ばれて平和が保たれ，経済・文化が発展

③南宋の滅亡

1276年　モンゴル軍（元軍）に**臨安**を占領されて滅亡

まとめ

金は靖康の変で北宋の開封を陥落させ，徽宗と欽宗を金に連行し北宋が滅亡した。

岳飛は華北奪還を主張したが，和平派の秦檜に倒され，南宋は金に臣下の礼を取って歳賜を贈った。

第9講 PART2 確認問題

1 960年に趙匡胤が後周を滅ぼして建てた国を何というか。

① 南宋　② 金
③ 遼　④ 北宋

2 宋代に勢力を伸ばし，文人官僚を多く輩出した新興地主層を何というか。

① 士大夫　② 佃戸
③ 形勢戸　④ 両班

3 宋の第６代皇帝神宗によって宰相に登用されて，新法と呼ばれる政治改革を行った人物はだれか。

① 王陽明　② 王安石
③ 王重陽　④ 王羲之

4 宋の新法で，中小の商人に低利で資金を貸し付ける法を何というか。

① 均輸法　② 市易法
③ 保甲法　④ 青苗法

5 宋の旧法党の中心人物で，新法を廃止した政治家はだれか。

① 司馬光　② 蘇軾
③ 岳飛　④ 秦檜

6 1126 年におこった，宋が滅ぶ原因となった事件を何というか。

① 土木の変　② 呉楚七国の乱
③ 靖康の変　④ 黄巾の乱

7 高宗が江南に逃れて建てた国の都はどこか。

① 開封　② 臨安
③ 洛陽　④ 長安

8 1142 年に金との和議を成立させた，和平派の政治家はだれか。

① 岳飛　② 蘇軾
③ 司馬光　④ 秦檜

第９講 【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル
PART3 宋代の社会と文化

Chapter 1　宋代の商業と都市

目標
宋代にはどの地域が穀倉地帯として発展したのだろうか。
宋代の商業都市が形づくられた経緯を理解しよう。

1　農業の発達

宋代には，長江下流域の低湿地の干拓や開発が進み，稲の生産量が増大

①新興地主層の〔　　　　　〕が〔　　　　〕（小作農）を駆使して**囲田**（低湿地を堤防で囲んで干拓した農地）を造成

②ベトナム地方から，日照りに強い早稲種の**占城稲**を導入して栽培
　→稲の生産量が増大し，また二毛作（裏作に麦）が可能となる

③長江下流域が「**蘇湖（江浙）熟すれば天下足る**」といわれた穀倉地帯となる
　※蘇は蘇州，湖は湖州の略。

④江南では茶の栽培が盛んになり，**喫茶**の風習が広まる
　→日本や朝鮮半島などにも広まり，茶が重要な輸出品となる

宋代の商店

2 都市と商業の発展

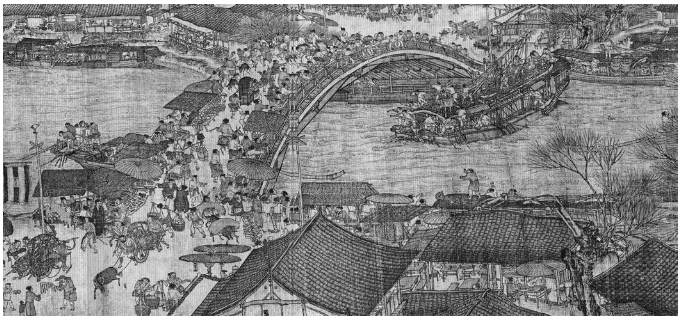
農業の発展にともなって商工業が盛んになり，貨幣経済が発達した。

①商業・流通の拠点の出現

A　城壁の外や交通の要衝に小規模な定期市〔　　　　〕が建つ

B　定期市**草市**が，〔　　　〕と呼ばれる商業都市に発展

※北宋の画家張択端の「**清明上河図**」に，都市の賑わいや商業活動の様子が描かれる。



「清明上河図」

②同業組合の形成

都市では，商人の同業組合〔　　　〕や手工業者の同業組合〔　　　〕が組織される

③貨幣経済の発展

A　貨幣経済が発展し，**銅銭**（宋銭）が大量に発行される

※宋銭は，日本をはじめ東アジア全域に輸出されて用いられた。

B　手形としてはじまった〔　　　　〕（世界最古の紙幣）や〔　　　　〕が紙幣として流通し，送銭手形の**飛銭**も用いられる

3 宋代の社会

海上交易の発展にともない，**広州**，**泉州**，**明州**（現・寧波）などの港に，海上交易を管理する役所〔　　　　　〕が置かれる。

まとめ　宋代には長江下流域が穀倉地帯となり，「蘇湖熟すれば天下足る」といわれた。農業生産力の増大により商業が発展し，定期市の草市が商業都市の鎮に発展した。

Chapter２　宋代の文化

目標
宋学（朱子学）と以前の儒学の特徴の違いについて学ぼう。
司馬光の歴史書『資治通鑑』が書かれた形式を知ろう。

1　宋代の文化の特徴

①貴族に代わり，儒学の教養を身につけた〔　　　　　　〕が文化の担い手となる
②経済が発展したことを背景に，庶民的な文化や革新的な技術が生まれる

2　朱子学の発展

①宋学の成立
北宋の儒学者〔　　　　　　〕が経典全体を哲学的に読み込み，宇宙万物の正しい本質（理）を追究する**宋学**をおこす
※それまでの訓詁学から転換し，哲学的な広がりをみせる。
②宋学の大成
南宋の儒学者〔　　　　〕（朱子）が宋学を大成（**朱子学**ともいう）
※朱子学では，経典として『大学』『中庸』『論語』『孟子』の〔　　　　〕を重視。
→朱子学は儒学の正統とされ，日本や朝鮮半島などに伝えられて官学となる
③陽明学の先駆け
南宋の儒学者〔　　　　　　〕（陸象山）が心即理を主張し，明代の**陽明学**に影響を与える

3　仏教と道教

①仏教
士大夫層に〔　　　　〕が受容され，民間には**浄土宗**が普及
②道教
金支配下の華北で，**王重陽**が儒・仏・道を融合した
〔　　　　　　〕をおこす

4　歴史書

①〔　　　　　　　〕

北宋の政治家で学者。歴史を年代順に記録する〔　　　　　　〕の通史〔　　　　　　　　〕を編さん

②**欧陽脩**

北宋の政治家で学者。史書『新唐書』『新五代史』を編さん

5　文芸や美術・技術

①文芸

Ａ　歌劇の一種である〔　　　　〕が流行

Ｂ　散文が盛んとなり，〔　　　　　〕，〔　　　　〕（蘇東坡）らの名文家を輩出

Ｃ　民謡から発展した〔　　　〕（宋詞）が流行

②美術

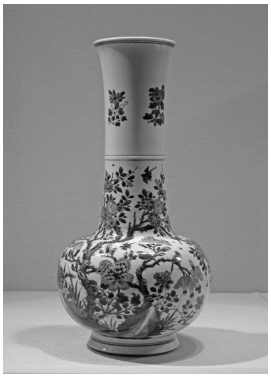
Ａ　宮廷画家による写実的で装飾性の強い〔　　　　　　〕（**北宗画**）が成立

※代表作に，北宋の第８代皇帝**徽宗**の「**桃鳩図**」がある。

Ｂ　士大夫や禅僧などが水墨や淡彩で描く〔　　　　　　〕（**南宗画**）が成立

③工芸

磁器の技術が発達。**景徳鎮**（江西省北部）などで〔　　　　〕や〔　　　　〕がつくられ，海外へ盛んに輸出される



景徳鎮の磁器

④科学技術

Ａ　〔　　　　　　　　〕が普及し，書物が大量に出版される

Ｂ　船の進路や方角を測る〔　　　　　　〕（磁針）や〔　　　　〕が実用化される

→ムスリム商人らによってヨーロッパに伝えられる

※漢代に改良された製紙法と合わせて，**中国の四大発明**という。

まとめ

宋学（朱子学）は，訓詁学が主流であった以前の儒学とは違い，宇宙の理を追究する哲学的な広がりがあった。

『資治通鑑』では，歴史を年代順に記述する編年体が用いられた。

第 9 講　PART 3　確認問題

1 宋代の農業の説明として**誤っているもの**はどれか。

① 形勢戸が佃戸を使って囲田を造成した。
② 長江中流域が穀物生産の中心となった。
③ 江南で茶の栽培が盛んになった。
④ 占城稲が伝わり，稲の生産量が増大した。

2 宋代に生まれた，手工業者の同業組合を何というか。

① 座　② 作
③ 行　④ ギルド

3 宋代に流通した世界最古の紙幣はどれか。

① 交子　② 宝鈔
③ 飛銭　④ 会子

4 宋代の文化の担い手になったのはどんな人々か。

① 郷紳と呼ばれた地方の有力者
② 外戚と呼ばれた皇后の親族
③ 士大夫と呼ばれた資産家官僚
④ 形勢戸と呼ばれた新興地主層

5 宋代に成立した宋学を大成した儒学者はだれか。

① 周敦頤　② 陸九淵
③ 王陽明　④ 朱熹

6 華北で王重陽がおこした道教教団の一派を何というか。

① 太平道　② 全真教
③ 五斗米道　④ 白蓮教

7 北宋の司馬光が編さんした編年体の歴史書はどれか。

① 『資治通鑑』　② 『史記』
③ 『四庫全書』　④ 『新五代史』

8 宋代に成立した，水墨あるいは淡い色彩で描かれた絵画の手法を何というか。

① 院体画　② 水墨画
③ 文人画　④ 山水画

第 9 講 【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル
PART4 モンゴル帝国と元の中国支配

Chapter 1　モンゴル帝国の成立とユーラシア制覇

目標
チンギス = ハンが遠征した地域や国を確認しよう。
モンゴル人がユーラシア大陸西方に建てた国家について知ろう。

1　モンゴル帝国成立とチンギス=ハンの遠征

①モンゴル帝国の成立

1206 年　モンゴル民族の**テムジン**がモンゴル高原の諸部族を統一。〔　　　　　　　　　　〕（部族会議）でハンに選ばれ，〔　　　　　　　　　　　　　　〕として即位。〔　　　　　　　　　　　　〕（**モンゴル帝国**）を建てる

②チンギス = ハンの統治

支配下の遊牧民を〔　　　　　　〕で組織

※遊牧民を 95 の千戸（1000 人隊）に編成し，さらに各千戸を百戸，十戸に分ける軍事・行政制度。

③チンギス = ハンの遠征

1218 年　**西遼**（**カラキタイ**）を倒したトルコ系遊牧民**ナイマン**を滅ぼす

1220 年　トルコ系イスラーム王朝〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を攻撃，滅亡に追いやる

1227 年　タングートが建てた〔　　　　〕を滅ぼす

チンギス = ハンの次男**チャガタイ**が，

中央アジアに〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建てる

2　モンゴルの拡大とユーラシア征服

チンギス = ハンの死後は子や孫が遠征を続け，13 世紀後半までに征服地にモンゴル人の国（ハン国）を建てた。モンゴル帝国は，ユーラシア大陸の過半を支配する大帝国になった。

①オゴタイ = ハンの時代

1229 年　チンギス = ハンの三男〔　　　　　　　　　〕が第 2 代大ハン（皇帝）に即位

1234 年　**金**を滅ぼして華北を支配下に入れる

1235 年　〔　　　　　　　　　　〕を都とする

1241 年　チンギス = ハンの孫〔　　　　　　　〕がヨーロッパまで遠征。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（リーグニッツ）の戦いで，ポーランド・神聖ローマ帝国の連合軍を破る

1243 年　バトゥが**キエフ公国**を制圧。南ロシア平原に

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建てる

1246 年　オゴタイの子**グユク = ハン**が第 3 代大ハンに即位

②モンケ = ハンの時代

1251 年　チンギス = ハンの孫〔　　　　　　　　　　　　　〕が第 4 代大ハンに即位

1253 年　弟の〔　　　　　　　　〕が雲南地方の**大理**を征服，南進の足がかりとする

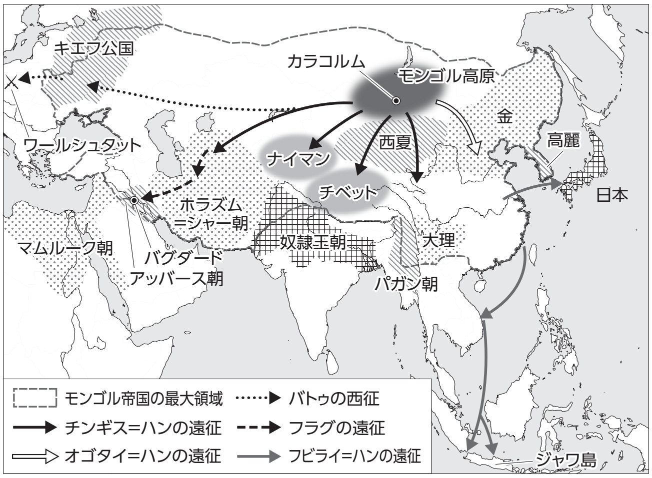
1258 年　西方に派遣された弟の〔　　　　　　〕が**バグダード**を陥落させて**アッバース朝**を滅ぼし，西アジアに〔　　　　　　　　　　　　〕を建てる

1259 年　フビライが朝鮮半島の**高麗**を降伏させ，属国とする

③フビライ = ハンの時代

1260 年　**フビライ**が第 5 代大ハンに即位

1271 年　**フビライ**が国号を中国風の〔　　　〕とする



13 世紀のモンゴルの勢力拡大図

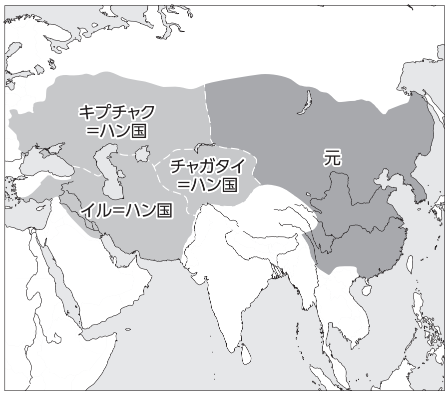
まとめ

チンギス = ハンは，ナイマン，ホラズム = シャー朝，西夏に遠征を行った。南ロシア平原にはキプチャク = ハン国，西アジアにはイル = ハン国，中央アジアにはチャガタイ = ハン国が建てられた。

Chapter２　元の成立と中国支配

目標
元の中国支配の特徴を理解しよう。
元代のユーラシアの交通ネットワークについて知ろう。

1　元の成立と遠征



元と諸ハン国の勢力図

①元の成立

1260年　〔　　　　　　　　　〕が第５代大ハンに即位

1266年　オゴタイの孫**ハイドゥ**が，フビライの即位に反対して反乱をおこす
※この反乱は1301年に鎮圧されるまで30年以上続いた。

1271年　**フビライ**が，国名を中国風の**元**とする
※〔　　　　　〕（現・北京）に都を置く。

1276年　臨安を陥落させ，**南宋**を滅ぼす

1279年　南宋の残存勢力を滅ぼして中国を統一
※元が，諸ハン国の上に立つ宗主国となる。

②元の遠征

1274年　日本へ遠征（文永の役）
※1281年にも遠征（弘安の役）するが，いずれも敗退。

1287年　ベトナムの大越（**陳朝**）に遠征するが，撃退される

1287年　ビルマの〔　　　　　　　　　〕に遠征し，滅ぼす

1292年　ジャワ島に遠征するが，敗退

③元の東アジア支配

A　モンゴル語を公用語とし，政治の中枢をモンゴル人が握る

B　中央アジア・西アジア出身の〔　　　　　　　〕を財務官僚として重用

C　**漢人**（旧金支配下の漢人や契丹人，女真人）や**南人**（旧南宋の住民）から税を徴収

2　ユーラシア＝ネットワークの成立

①**ジャムチ**と呼ばれる〔　　　　　　　〕の整備

支配地域の主要街道沿いに**駅**を置き，官庁が発行するパスポート

牌符を所持する者に宿泊施設や馬などを提供した

→ジャムチを利用した陸路の交通や通信が活発になる

②陸路と海路の交易ネットワークの整備

A　海上交易が発展し，**杭州**，**泉州**，**明州**（**寧波**），**広州**などの港市が繁栄

B　大運河を大都まで延ばし，江南から山東半島を経て大都に至る**海運**を整備

C　海路，陸路の交易でムスリム商人が活躍

→イスラーム教がモンゴル人の間にも広まる

③貨幣経済の進展

A　銀を決済手段とし，銀錠（銀塊）を流通させる

B　銀と交換可能な紙幣〔　　　　　〕を発行，流通させる

3　元の衰退と滅亡

14世紀になると，自然災害や疫病がユーラシア規模で流行し，モンゴル帝国は衰退した。元でも，飢饉や疫病に加えて，チベット仏教への過度の帰依や寄進により財政が逼迫。交鈔を乱発したこともあって経済は混乱した。

1351年～66年　宗教結社の白蓮教の信者が〔　　　　　　　　　〕をおこす

※この反乱をきっかけに各地で群雄が割拠。

1368年　紅巾の乱の指導者の一人だった〔　　　　　　　〕が**明**を建てる

明軍が大都を占領し，元が滅びる

→元朝の残存勢力がモンゴル高原に退いて〔　　　　　〕を建てる

まとめ

元では色目人と呼ばれるイラン人などの西方の官僚が登用され，中国人は漢人や南人としてモンゴル人の支配を受けた。
内陸交通では駅伝制（ジャムチ）が整備され，大運河から海運へと繋がり，陸上と海上の交通が一体化した。

第 9 講　PART 4　確認問題

1 1206 年にモンゴル高原の諸部族を統一して，モンゴル帝国を建てた人物はだれか。

① フビライ　② チャガタイ
③ チンギス＝ハン　④ オゴタイ

2 1227 年にチンギス＝ハンの遠征軍に滅ぼされた国はどこか。

① 西夏　② 大越
③ 金　④ 大理

3 バトゥが 1241 年のワールシュタットの戦いで破ったのは，ポーランドとどこの国の連合軍か。

① フランス王国　② ハンガリー王国
③ ビザンツ帝国　④ 神聖ローマ帝国

4 1258 年にフラグが西アジアに建てた国を何というか。

① イル＝ハン国　② カラキタイ
③ チャガタイ＝ハン国　④ キプチャク＝ハン国

5 国名を元として中国を統一したフビライが，元朝の都としたのはどこか。

① カラコルム　② 臨安
③ 成都　④ 大都

6 元の遠征を撃退した大越の王朝はどれか。

① アッバース朝　② 陳朝
③ 李朝　④ パガン朝

7 元が重用した中央アジア・西アジアの出身者は何と総称されたか。

① 南人　② 漢人
③ 色目人　④ 華人

8 元末期の 1351 年，宗教結社の白蓮教の信者がおこした乱を何というか。

① 黄巾の乱　② 紅巾の乱
③ 黄巣の乱　④ 安史の乱

第９講 【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル
PART5 モンゴルの東西交流と元の文化

Chapter 1　モンゴルの東西交流と東アジアの状況

目標　モンゴルの遠征は，東南アジアの諸地域にどのような影響を与えたのだろうか。マルコ＝ポーロの『世界の記述』（『東方見聞録』）がヨーロッパに与えた影響を理解しよう。

1　元代の東アジアの状況

①朝鮮半島

A　モンゴル軍の侵攻

1259 年　**高麗**がモンゴル軍に侵攻されて武臣政権が崩壊。モンゴルに服属する

1274 年　元軍に属して日本へ遠征

B　高麗の文化

あ　仏教を国教とし，木版印刷によって**高麗版**〔　　　　　　　　〕を刊行

い　世界で最初に金属で活字をつくる技術〔　　　　　　　　〕を考案

う　宋の青磁の影響を受けて〔　　　　　　　　〕を開発

②日本

1268 年　**フビライ**が**高麗**を通じて**鎌倉幕府**に朝貢を求めてくるが，これを無視

1274 年　元・高麗の連合軍に侵攻される（**文永の役**）

1281 年　元軍が再び侵攻してくる（**弘安の役**）

※元軍の襲来（**元寇**）は，２度とも鎌倉武士の抵抗と暴風雨によって撤退。

→しかし，元寇に対する恩賞不足によって鎌倉幕府への不満が高まる

③ベトナム

13 世紀後半　南部の〔　　　　　　　　〕が元軍の侵攻を受けるが撃退

1284 年　北部の〔　　　　　　　　〕が元軍に侵攻されるが撃退

※陳朝のとき，漢字をもとに民族文字〔　　　　　　　　〕がつくられる。

④ジャワ島

1292 年　内乱によって，シンガサリ朝が滅亡

1293 年　元の遠征を撃退，ヒンドゥー王国〔　　　　　　　　〕が建国される

2　元代の東西交流

①東西交流の進展

モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸の東西が結ばれ，交流が活発になる

②外交使節や商人の来朝

ローマ教皇やフランス王が情報収集のため，使節をモンゴル帝国に派遣する

A　ローマ教皇がフランチェスコ会修道士〔　　　　　　　　　　　　〕をカラコルムに派遣

B　仏王ルイ９世がフランチェスコ会修道士〔　　　　　　　　　　　　〕をカラコルムに派遣

C　ローマ教皇がフランチェスコ会修道士〔　　　　　　　　　　　　〕を派遣

※元朝の保護を受けて**大都**の初代大司教となる。

D　ヴェネツィア出身の商人〔　　　　　　　　　　　　〕が，大都を訪れて**フビライ**に仕えたとされる

※旅行記『**世界の記述**』（『**東方見聞録**』）がヨーロッパ人のアジアへの関心を高める。

E　モロッコ出身のイスラーム教徒〔　　　　　　　　　　　　〕が大都を訪れる

※帰国後，『旅行記』（『三大陸周遊記』）を口述筆記。

まとめ

モンゴルの遠征を撃退した陳朝大越国では民族文字チュノムがつくられ，ジャワ島ではマジャパヒト王国が建国された。
マルコ＝ポーロの『世界の記述』は東方世界の情報をヨーロッパにもたらし，大航海時代に繋がった。

Chapter２　元代の社会と文化

目標
元代ではどのような宗教が興隆したのか確認しよう。
元で授時暦が生まれた経緯を知ろう。

1　元代社会の文化の特徴

①貴族の宮廷文化が衰退し，庶民文化が発達

②モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸の東西が結ばれ，東西の文化交流が盛んに

2　元代の宗教

①儒教

元は中国の官僚制度を継承したが，儒教は軽視し，科挙を停止

※のちに江南に儒教を学ぶ学院（廟堂）を設立。1313 年に科挙を復活。

②仏教

A　禅宗や浄土宗が栄える

B　宋代にはじまった宗教結社の〔　　　　　　　〕が民間で流行

※元代には，弥勒菩薩が救世主として現れるという信仰と結びつき，勢力が拡大。

C　**フビライ**が高僧の**パスパ**を宗教・文化顧問の国師に任じたため，

皇室では〔　　　　　　　　　　　　　〕が保護されて栄える

→過度な帰依や寄進が，元の財政悪化の一因となる

※**パスパ**がフビライの命でモンゴル語を表記するための〔　　　　　　　　　　　　〕を

つくる。

パスパ文字

3 元代の文芸や美術，書画，工芸

①公用語のモンゴル語をウイグル文字で記す

②宋代の雑劇を発展させた戯曲〔　　　　〕が，都市の庶民の間で流行

A 『**西廂記**』：封建的な束縛に抵抗する男女の恋愛物語

B 『**琵琶記**』：琵琶を弾いて物乞いをしながら上京した妻が，出世した夫と再会する物語

C 『**漢宮秋**』：匈奴に嫁がされた宮女の悲劇の物語

③歴史書

イル＝ハン国の宰相**ラシード＝アッディーン**が〔　　　　　　〕を編さん

④美術・工芸・技術

A 物語の挿し絵として〔　　　　　　〕（**ミニアチュール**）が流行

B 中国から絵画技法が伝えられ，イランの**写本絵画**が発展

C **景徳鎮**などで，西方から伝来したコバルト顔料を用いた磁器〔　　　　〕が生まれる

→白磁に青色の模様を浮かべる磁器で，世界各地に輸出される

D イスラーム天文学の影響を受けて元の天文学・暦学が発展

※**郭守敬**が天体観測を行い，そのデータをもとに〔　　　　　〕をつくる。

→日本で江戸時代に渋川春海がつくった**貞享暦**に影響を与える

E 中国の**火薬**，**羅針盤**，**木版印刷**がイスラーム諸国を通してヨーロッパに伝わる

まとめ

元代では儒教が不振で，民間では白蓮教が流行し，皇室ではチベット仏教が厚遇された。

東西交流の進展によってイスラーム天文学が導入された影響で，郭守敬が授時暦を作成した。

第 9 講　PART 5　確認問題

1 朝鮮半島の高麗で考案された，世界初とされるものはどれか。

① 印刷機　② 火薬
③ 金属活字　④ 製紙法

2 元軍の侵攻を機に，ジャワ島東部に建てられた国を何というか。

① マジャパヒト王国　② クメール王国
③ チャンパー　④ 大越

3 フランチェスコ会の修道士で，元の都の大都で布教に努めたのはだれか。

① プラノ＝カルピニ　② イブン＝バットゥータ
③ モンテ＝コルヴィノ　④ ルブルック

4 『東方見聞録』で知られる，ヴェネツィア出身の商人マルコ＝ポーロが仕えたとされる元の皇帝はだれか。

① オゴタイ　② フビライ
③ モンケ　④ フラグ

5 元朝のもとで保護されて栄えた宗教はどれか。

① ヒンドゥー教　② マニ教
③ ゾロアスター教　④ チベット仏教

6 モンゴル語を表記するために，フビライの命でつくられた文字を何というか。

① ソグド文字　② パスパ文字
③ チュノム　④ ウイグル文字

7 元代に流行した元曲の一つで，匈奴に嫁がされた宮女の悲劇の物語はどれか。

① 『西廂記』　② 『漢宮秋』
③ 『琵琶記』　④ 『金瓶梅』

8 郭守敬がつくり，のちの日本の貞享暦に影響を与えた暦を何というか。

① 授時暦　② 宝暦暦
③ 宣明暦　④ 時憲暦

はじめに

こんにちは！『**ベーシックレベル世界史探究**』の講座を担当する山本です。

この講座では，「世界史探究」を学びます。すでに「**歴史総合**」を学習した皆さんは，次のステップとして「**探究**」を選択するのですが，とくに世界各地の歴史を**タテ（時間）とヨコ（地域）により広くより深く掘り下げる**のが「**世界史探究**」です。

世界史というと，世界の各地域について古代から現代までの歴史を学ぶわけですから，どうしても知識量が多く，「覚えてナンボ」と思われています。この講座の目的は，そんな世界史アレルギーを吹き飛ばすことにあります。そのための「カラクリ」が授業のところどころに仕掛けられています。映像授業では，これでもかっ！てくらいに「地図」「絵画」「スライドアニメーション」がちりばめられ，イメージしながらわかりやすく世界史を学ぶことができるでしょう。わかってくると勉強するのが楽しくなり，学習効果がどんどん高まります。知識の定着も進みます。

ぼくは予備校の講師になる前に，旅行会社のツアーコンダクターとして世界を飛び回りました。言語や文化が違うところを旅行するとき，その地の歴史を知っていると旅の喜びが何倍にも膨れあがると思いませんか。ぼくの最終目標は皆さんを世界各地に案内することですが，まずは授業で世界史の海原へ旅に出ようじゃありませんか。

受講するにあたって

①「いつ」「どこ」「なぜ」を常に気にかけてください。

世界史の内容がいまいちピンとこないなぁと感じる人は，自分が今どこにいるのかを見失っていることが多いようです。学習している内容が「いつのことなのか」「どの地域なのか」「なぜこうなったのか」ということに，少しだけ気を回してみましょう。世界史がグッとわかりやすくなりますよ。

②「世界史のセオリー」を修得しよう。

授業では，歴史の原理原則についてしつこくお伝えします。数学でいうところの定理みたいなものです。世界史のセオリーでモノゴトを俯瞰すると，地域が違ってもだいたい同じような事態が発生しています。まるで魔法にかかったかのように理解が進みますよ。

③予習と復習について

予習は必要ありません。復習は「１パートのテキスト」を見直して→「確認問題」を解いてください。解けなかったら，授業を見直してみてくださいね。知識の定着にはアウトプットが必須です。確認問題を解くほか，授業で習ったことを誰かにかみくだいて話してみてもいいでしょう。

それでは，講義でお待ちしています！

山本直人

目次

＜後編＞

第10講　【近世編】アジアの繁栄 …… 4
第11講　【近世編】近世のはじまり …… 40
第12講　【近世編】主権国家の形成 …… 58
第13講　【近代編】産業革命と大西洋革命 …… 94
第14講　【近代編】ウィーン体制 …… 130
第15講　【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編 …… 148
第16講　【近代編】ヨーロッパのアジア侵略 …… 184
第17講　【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗 …… 208
第18講　【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制 …… 244
第19講　【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦 …… 280
第20講　【現代編】冷戦の成立とその対立 …… 304
第21講　【現代編】冷戦の終結と現代世界 …… 340

＜前編＞

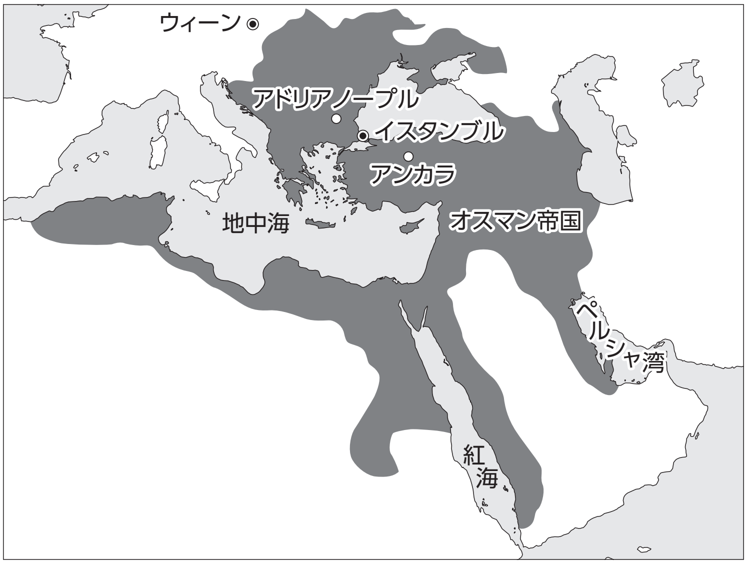
第1講　【古代編】世界の古代文明 …… 4
第2講　【古代編】西アジアと地中海世界の特質 …… 40
第3講　【古代編】南アジア・東南アジアと南北アメリカの特質 …… 76
第4講　【古代編】東アジア世界の特質 …… 100
第5講　【中世編】東アジア文化圏の形成 …… 124
第6講　【中世編】イスラーム世界の形成と発展 …… 154
第7講　【中世編】中世ヨーロッパの成立 …… 190
第8講　【中世編】中世ヨーロッパ世界の変容 …… 220
第9講　【中世編】東アジア世界の変容とモンゴル …… 256

第10講 【近世編】アジアの繁栄
PART1 オスマン帝国とサファヴィー朝

Chapter 1　オスマン帝国の発展

目標
メフメト２世の征服活動の歴史的意義を考えよう。
スレイマン１世の外征を学ぼう。

1　オスマン帝国の成立



オスマン帝国の最大領域

〔　　　　　　　　　　　　〕(1300年頃～1922年)

①14世紀後半にバルカン半島のアドリアノープルに遷都

②**バヤジット１世**が，ニコポリスの戦いでハンガリー王の率いるヨーロッパ連合軍を撃退

③1402年，〔　　　　　　　　　　　　〕で**ティムール軍**に大敗し，帝国は一時滅亡

2　オスマン帝国の拡大

①〔　　　　　　　　　　　　〕(征服王)

1453年，**ビザンツ帝国**の首都**コンスタンティノープル**を陥落させ，これを滅ぼす

→コンスタンティノープルを〔　　　　　　　　　　　　〕に改称し，遷都

②〔　　　　　　　　　　〕

1517年，**マムルーク朝**を滅ぼし，メッカ・メディナを保護下に置く

3　スレイマン1世の治世

オスマン帝国は〔　　　　　　　　　　　　〕（在位1520年～66年）の時代に最盛期を迎える。

①ハンガリー征服

モハーチの戦いに勝利して**ハンガリー**を征服

②〔　　　　　　　　　　　　〕（1529年）

ハプスブルク家が支配するウィーンを包囲攻撃

③地中海覇権

〔　　　　　　　　　　　　〕（1538年）でスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を破った

→彼の死後，〔　　　　　　　　　　　　〕（1571年）で敗れたが，地中海では優勢を確保

④トルコ＝イスラーム文化の繁栄

〔　　　　　　　　　　　　〕などの壮大な建造物が多数つくられた

4　オスマン帝国の社会

①**ティマール制**（イクター制の発展形）

騎士に土地の徴税権（ティマール）を与える代わりに戦時に従軍させる制度を用いた

②**ミッレト**（非ムスリムの宗教自治体）において非ムスリムの自治を認めた

③**デヴシルメ制**

キリスト教徒の子弟を教育し，官僚・軍人に登用する**デヴシルメ制**を整備した

→この制度により育成した兵士で常備軍〔　　　　　　　　　　　　〕を組織した

④〔　　　　　　　　　　　　〕による交易の発展

同盟を結んだフランスに通商特権を与えた

まとめ

メフメト2世がビザンツ帝国を滅ぼしたことで，1000年以上続いたローマ帝国の伝統が途絶えた。
スレイマン1世はハンガリーを征服すると，第一次ウィーン包囲でヨーロッパに脅威を与えた。

Chapter 2　ティムール朝とサファヴィー朝

目標　ティムール朝の勢力は，どこまで及んだのか理解しよう。
サファヴィー朝のアッバース1世の事績を学ぼう。

1　ティムール朝の拡大

①〔　　　　　　　　　　　　　〕(1370年～1507年) の建国

ティムールが西チャガタイ＝ハン国から自立し，中央アジアにティムール朝を建国。首都は〔　　　　　　　　　　　　〕

②ティムール朝の発展

A　支配地の拡大

中央アジアからイラン・イラクまで制圧し，小アジアに侵入

→1402年，〔　　　　　　　　　　　　　　〕で**オスマン帝国軍**を撃退し，スルタンのバヤジット1世を捕虜にした

B　ティムールの死去

モンゴル帝国の再興を目指して明に遠征したが，その途上で病死

③ティムール朝の統治

ティムールの死後，ティムール朝は周辺諸国と和睦し，商工業や文化を発展させた

→第4代君主の〔　　　　　　　　　　　　〕はサマルカンドに天文台をつくった

④ティムール朝の滅亡

15世紀後半にティムール朝は分裂し，トルコ系遊牧民の**ウズベク人**の侵入を受け，滅亡

→ウズベク人は中央アジアに**ブハラ＝ハン国**，**ヒヴァ＝ハン国**，**コーカンド＝ハン国**を建国

2　サファヴィー朝の統治

①〔　　　　　　　　　　　　　　〕(1501年～1736年) の建国

1501年，シーア派神秘主義のサファヴィー教団の教主**イスマーイール（1世）**がイランに建国。〔　　　　　　〕(イラン人の王) の称号を名乗る

→シーア派の中の〔　　　　　　　　　　　　　　〕を国教とした

※十二イマーム派はシーア派最大の派であり，現在のイランの国教である。

②アッバース1世の治世

A 領土の回復

第5代君主〔　　　　　　　　　　　　　〕はホルムズ島からポルトガル人を追い出すなど領土を回復

→商業や文化も発展し，サファヴィー朝の最盛期を築いた

B 新都〔　　　　　　　　　　　　　〕の建設

アッバース1世が造営。「イマームの広場」を中心に華麗な**イマームモスク**（「王のモスク」）などを建立した

→「**イスファハーンは世界の半分**」といわれるほど国際商業都市として繁栄

イスファハーンの「イマームの広場」

ティムール朝とサファヴィー朝の領域

まとめ

ティムール朝はアンカラの戦いでオスマン帝国を破ると，中央アジア，イラン，イラク，小アジアまでを支配した。

アッバース1世は新都イスファハーンを建設し，また，ポルトガルをホルムズ島から駆逐するなど，サファヴィー朝の最盛期をつくった。

第 10 講　PART 1　確認問題

1 ビザンツ帝国を滅ぼしたオスマン帝国の皇帝はだれか。

①　メフメト２世　②　ユスティニアヌス帝
③　カール大帝　④　セリム１世

2 スレイマン１世がフランスと同盟し，ハプスブルク家が支配する都市に行った攻撃を何というか。

①　第二次ポエニ戦争　②　ニコポリスの戦い
③　ニハーヴァンドの戦い　④　第一次ウィーン包囲

3 オスマン帝国軍がスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を破った戦いはどれか。

①　レパントの海戦　②　プレヴェザの海戦
③　サラミスの海戦　④　アクティウムの海戦

4 オスマン帝国がキリスト教徒の子弟を育成して整備した常備軍を何というか。

①　ミスル　②　イェニチェリ
③　マムルーク　④　ジハード

5 ティムール朝の首都で，世界文化遺産の天文台がある都市はどこか。

①　アドリアノープル　②　コンスタンティノープル
③　サマルカンド　④　グラナダ

6 ティムールがオスマン帝国軍を破った戦いはどれか。

①　マラトンの戦い　②　イッソスの戦い
③　トゥール・ポワティエ間の戦い　④　アンカラの戦い

7 サファヴィー朝が国教としたシーア派の宗派はどれか。

①　アタナシウス派　②　スンナ派
③　ストア派　④　十二イマーム派

8 アッバース1世が造営したサファヴィー朝の新都はどこか。

①　カイロ　②　イスファハーン
③　アレクサンドリア　④　バグダード

第 10 講 【近世編】アジアの繁栄
PART2 ムガル帝国と東南アジアの状況

Chapter 1　ムガル帝国の成立と支配

目標
アクバルがインド統治に用いた宗教政策の特徴を理解しよう。
アウラングゼーブの統治はそれまでとどのように異なっていたのかをおさえよう。

1 ムガル帝国の成立

①**ティムール**の子孫〔　　　　　　　　　〕が建国

1526 年，パーニーパットの戦いでロディー朝に勝利

→北インドに〔　　　　　　　　　　　〕（1526 年～ 1858 年）を建国。首都はデリー

②第 3 代君主〔　　　　　　　　〕の治世

A 〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の導入

官位に応じて給与と維持する騎兵・騎馬の数を定める

B 〔　　　　　　　〕に遷都

C 〔　　　　　　　〕（**人頭税**）を廃止し，ヒンドゥー教徒との融和を図った

2 ムガル帝国の社会と文化

①**インド = イスラーム文化**の発達

A 〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**細密画**）

→イランから伝来し，ムガル宮廷で貴族的な〔　　　　　　　　　　　〕に発展

→ムガル絵画の影響を受けて，庶民的なラージプート絵画が成立

B 〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（世界文化遺産）

シャー = ジャハーン帝がインド = イスラーム建築の最高傑作とされる妻の墓廟を建立

②ペルシア語の使用と〔　　　　　　　　　　　　　〕の成立

ペルシア語が公用語として用いられた

※ペルシア語やアラビア語とヒンディー語が融合し，ウルドゥー語が生まれた。

3 ムガル帝国の変容

①第６代君主〔　　　　　　　　　　　　　〕の治世

A　帝国領土が最大領域に

B　非ムスリムの弾圧

厳格なムスリムのアウラングゼーブは**ジズヤを復活**するなど非ムスリムを弾圧

②ムガル帝国の分裂

ラージプートや**シク教徒**が反乱をおこし，ムガル帝国は弱体化

→君主の死後，ムガル帝国は分裂した

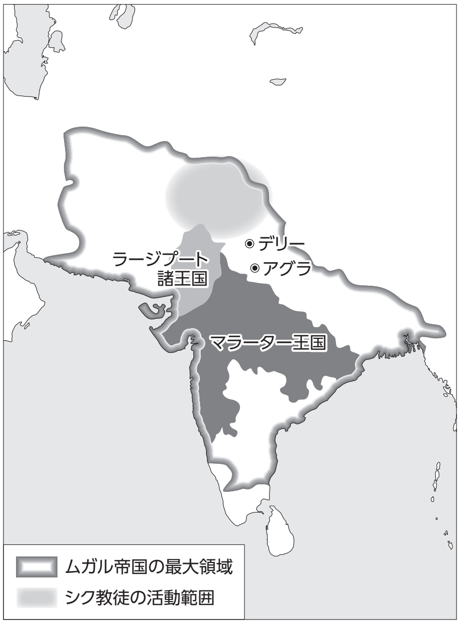
A　〔　　　　　　　　　　　　〕

17 世紀後半，ヒンドゥー教徒の**シヴァージー**がインド西部に建国

B　シク教の成立

パンジャーブ地方出身の〔　　　　　　　　〕が，イスラーム教とヒンドゥー教を融合し〔　　　　　〕を創始

→不可触民への差別を批判した**カビール**などの影響を受け，カーストを否定



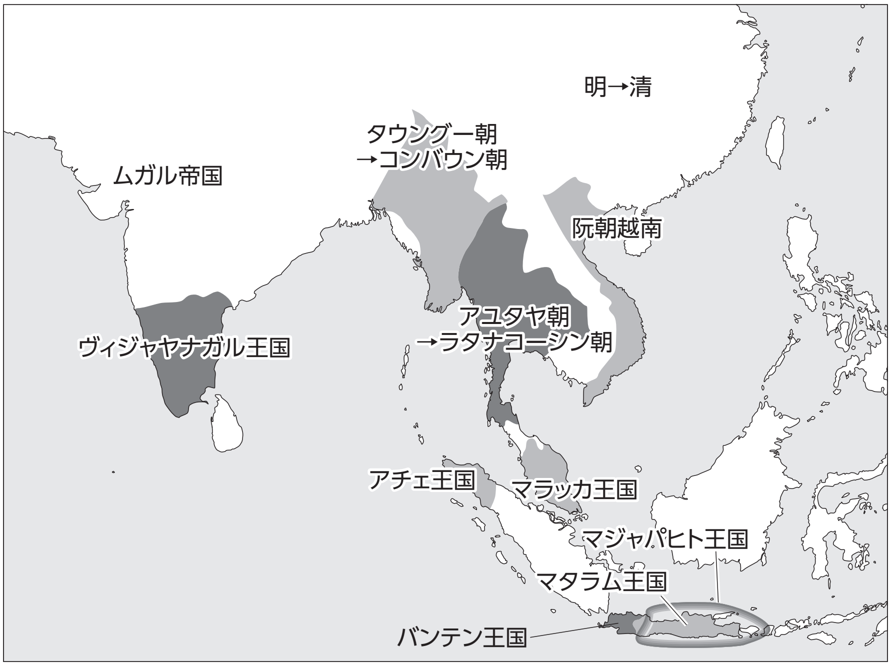
ムガル帝国の最大領域とシク教徒の活動範囲

まとめ

アクバルはジズヤを廃止し，デリーからアグラに遷都するなど，ヒンドゥー教徒との融和を目指した。
アウラングゼーブはそれまでの宗教寛容策を改め，ジズヤを復活したほか，ヒンドゥー教徒など非ムスリムを弾圧した。

Chapter 2　南インドと東南アジアの諸王朝

目標
ジャワ島の王朝はどのような宗教の変遷をたどったのか知ろう。
タイのアユタヤ朝になぜ日本人町が形成されたのか学ぼう。



南インドと東南アジアの王朝の位置

1　南インドの状況

①［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］（1336年～1649年）の繁栄

14世紀に成立。ヒンドゥー教国

→**カリカット**を中心に，**「海の道」**を利用した交易などで栄えた

2　東南アジア諸島部の状況

①マレー半島

15世紀に［　　　　　　　　　　　　　　］（14世紀末～1511年）がイスラーム化

→諸島部のイスラーム化が進展

②ジャワ島

ジャワ島最後のヒンドゥー教国家である［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］（1293年～1527年頃）が諸島部の中心的な国家として繁栄

→ 16 世紀には，東部で**マタラム王国**，西部で**バンテン王国**などのイスラーム教国が台頭

③スマトラ島

北端部にイスラーム教国の**アチェ王国**が発展

3 東南アジア大陸部の状況

①ミャンマー

A〔　　　　　　　　　　〕（1531 年～ 1752 年）

パガン朝滅亡後に成立

B〔　　　　　　　　　　〕（1752 年～ 1885 年）

タウングー朝を滅ぼして成立

②タイ

A〔　　　　　　　　〕（1351 年～ 1767 年）

スコータイ朝を併合して成立

→中継貿易で繁栄し，朱印船貿易で訪れた日本人により**日本人町**も形成された

18 世紀後半に**コンバウン朝**に滅ぼされる

B〔　　　　　　　　　　　　　　〕（1782 年～）

現在に続くタイの王朝

③ベトナム

19 世紀初頭，〔　　　　〕（1802 年～ 1945 年）がベトナムを統一し，国号を

〔　　　　〕に定める

まとめ

最後のヒンドゥー教国であるマジャパヒト王国が滅亡すると，マタラム王国などイスラーム教国が成立した。

アユタヤ朝は中継貿易で繁栄し，朱印船貿易で到来した日本人が居住地を形成し日本人町となった。

第10講　PART2　確認問題

1 ムガル帝国を建国したのはだれか。

① アッバース1世　② トゥグリル＝ベク
③ ムアーウィア　④ バーブル

2 ムガル帝国のアクバルがヒンドゥー教徒との融和を図るために廃止したものはどれか。

① イクター　② ハラージュ
③ ジズヤ　④ カピチュレーション

3 シャー＝ジャハーン帝が建てたインド＝イスラーム建築の最高傑作とされる建造物はどれか。

① イマームモスク　② タージ＝マハル
③ スレイマン＝モスク　④ ニザーミーヤ学院

4 非ムスリムを弾圧したムガル帝国の君主はだれか。

① ハールーン＝アッラシード　② ウルグ＝ベク
③ イスマーイール　④ アウラングゼーブ

5 南インドで繁栄したヴィジャヤナガル王国の中心都市はどこか。

① デリー　② ダマスクス
③ アグラ　④ カリカット

6 ジャワ島最後のヒンドゥー教国家はどこか。

① アチェ王国　② マジャパヒト王国
③ マタラム王国　④ マラッカ王国

7 タウングー朝を滅ぼして成立したミャンマーの王朝はどれか。

① パガン朝　② コンバウン朝
③ ムラービト朝　④ ムワッヒド朝

8 中継貿易で栄え，日本人町が形成されたタイの王朝はどれか。

① セルジューク朝　② アユタヤ朝
③ ラタナコーシン朝　④ スコータイ朝

第10講 【近世編】アジアの繁栄
PART3 明の成立と衰退

Chapter 1　明の成立と制度

目標
洪武帝が行った独裁政治を学ぼう。
永楽帝はどのようにして即位したのかおさえよう。

1　明の成立と洪武帝の独裁

①〔　　　　〕(1368年～1644年)の成立

1368年,〔　　　　　　　〕が建国し,〔　　　　　　　〕として即位

→都を**金陵**(現・南京)に定める

②洪武帝の独裁政治

洪武帝は中華帝国(漢民族)の復興を目指して**独裁政治**を行った

→**中書省**とその長官である丞相を廃止し,**六部**を皇帝の直属とした

→元号を洪武と定め,**一世一元の制**をはじめた

2　明の制度

①農村の統治

農村を里と甲に分けて統治する〔　　　　　　　〕を敷き,徴税・治安維持を担わせた

②税制基盤の整備

〔　　　　　　　　　〕(租税台帳)と〔　　　　　　　　　〕(土地台帳)をつくり,租税を明確にした

③兵制度

農業を行う**民戸**と軍役を課す**軍戸**を戸籍上区別

→軍戸を衛所の管理下に置き(〔　　　　　　　〕),兵制度を整えた

④法制度

明律・明令を定めた

⑤民衆の教化

里老人に人々が守るべき徳目である**六諭**を唱えさせた

3　永楽帝の即位と治世

①〔　　　　　　　　〕

燕王朱棣が**建文帝**を廃し，〔　　　　　　〕として即位。「君側の奸を除き，帝室の難を靖んずる」

②永楽帝の内政

A　**北京**に遷都

B　皇帝を補佐する機関として内閣を設置し，**内閣大学士**に重要政務を補佐させた

C　『〔　　　　　　　〕』『〔　　　　　　　〕』（儒教の経典の注釈書）などを編さん

③永楽帝の外政

A　**モンゴル**親征，**ベトナム**出兵，チベット服属化

B　鄭和の遠征

イスラーム教徒で宦官の〔　　　　〕が大海軍を率いて東南アジアからインド洋へ遠征

→マラッカ王国を拠点に活動し，南海諸国に朝貢を促した

鄭和の遠征範囲

まとめ　洪武帝は中華帝国の復興を進めるため，中書省を廃止し六部を直属にするなど，独裁体制を敷いた。
燕王朱棣は靖難の役で建文帝を廃し，永楽帝に即位した。

Chapter 2　北虜南倭と明の衰退

目標
北虜の圧迫はどのように進んだのか知ろう。
17世紀に明が衰退し，滅亡した経緯を理解しよう。

1　北虜南倭

15世紀半ば以降，明は南北から圧迫を受けるようになった。

→〔　　　　　　　　　〕

①モンゴルの侵入（北虜）

A〔　　　　　　　　　〕（瓦剌）

勢力を伸ばし，1449年には〔　　　　　　　　　　　　　　〕が**正統帝（英宗）**を捕虜にした（〔　　　　　　　　〕）

B〔　　　　　　　　　〕（韃靼）

1550年にタタールの〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が北京を包囲

→明は万里の長城の修築を余儀なくされた

②〔　　　　〕の活動（南倭）

A **前期倭寇**

14世紀後半，日本人が主体となり，朝鮮や中国の沿岸を襲った

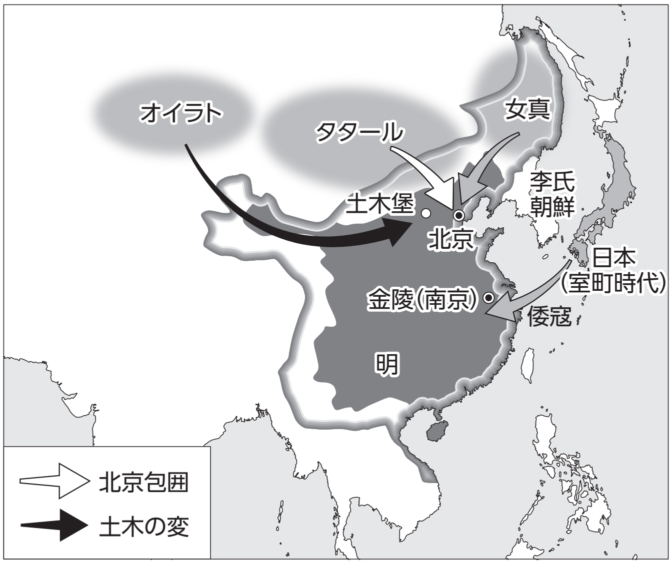
→明は人々が海外に出ることを禁じる〔　　　　〕で対抗

倭寇図巻

→**日明貿易（勘合貿易）**などにより一時鎮静化

B **後期倭寇**

16世紀は，中国人や朝鮮人も加わり，略奪を行った



明への圧迫

2 明の衰退と滅亡

①〔　　　　　　　〕の財政改革

万暦帝の時代に，税制を見直す**一条鞭法**などの施策が行われた

②財政窮乏

日本の朝鮮出兵に対する援軍や，〔　　　　　〕の台頭で軍事費が増加

③政治の混乱

顧憲成が設立した東林書院を拠点とする**東林派**と**非東林派**の政争が激化

④明の滅亡

1631年～1645年の〔　　　　　　　　　　　　〕により1644年，明は滅亡

まとめ

オイラトのエセン＝ハンは土木の変で正統帝を捕虜にし，タタールのアルタン＝ハンは北京を包囲した。
豊臣秀吉の朝鮮出兵に対する援軍や女真の台頭で国力が疲弊すると，明は李自成の乱で滅亡した。

第 10 講　PART 3　確認問題

1 明を建国し，洪武帝として即位したのはだれか。

① 広開土王　② 朱元璋
③ 趙匡胤　④ 朱全忠

2 明が税制基盤を整備するために作成した租税台帳を何というか。

① 明律　② 六諭
③ 賦役黄冊　④ 魚鱗図冊

3 建文帝を廃し，永楽帝が明の皇帝に就いた出来事はどれか。

① 靖康の変　② 靖難の役
③ 紅巾の乱　④ 安史の乱

4 永楽帝の時代に大海軍を率いて東南アジア，インド洋などに遠征したのはだれか。

① 司馬炎　② 冒頓単于
③ 鄭和　④ 成祖

5 土木の変で正統帝を捕虜にしたモンゴルの部族はどれか。

① タタール　② オイラト
③ 女真　④ 突厥

6 前期倭寇に対抗するため明がとった政策はどれか。

① 里甲制　② 衛所制
③ 鎖国　④ 海禁

7 万暦帝のもと，一条鞭法を施行するなどの財政改革を行った人物はだれか。

① 張居正　② 司馬遷
③ 李淵　④ 顧憲成

8 明の滅亡に繋がった農民の反乱はどれか。

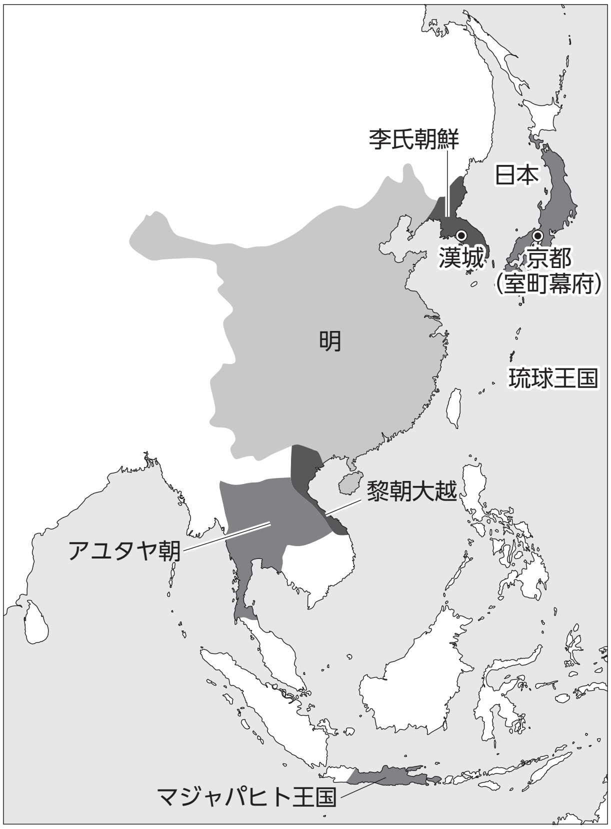
① 黄巾の乱　② 李自成の乱
③ 朝鮮出兵　④ 北虜南倭

第 10 講 【近世編】アジアの繁栄

PART4 明代の東アジア世界と明の社会

Chapter 1　明代の東アジア世界

目標　朝鮮王朝（李朝）と明の関係性を理解しよう。
日本が明とどのような貿易をしていたのか確認しよう。



明代の東アジア王朝

1　琉球や東南アジア

①［　　　　　　　　］（1429 年～ 1879 年）

［　　　　　　］（尚氏）により統一され，成立

→明に朝貢し，中継貿易で繁栄

②東南アジア

A　鄭和の遠征

鄭和の遠征を受け，ジャワ島の**マジャパヒト王国**やタイの**アユタヤ朝**が明に朝貢

B　ベトナム

〔　　　　〕大越が明を撃退し，自立

2　朝鮮王朝

①〔　　　　　　　　〕（**李朝**）（1392 年～ 1910 年）の成立

1392 年,〔　　　　　　〕が**高麗**を打倒して建国。首都を〔　　　　〕（現ソウル）に置く

②明との関係

明と冊封関係を結び，朝貢。朱子学や科挙を導入

③朝鮮王朝の発展

15 世紀前半，第 4 代君主**世宗**のときに中央集権的体制が整い，最盛期を迎える

A　出版

〔　　　　　　　　〕を用いた活版印刷が実用化され，出版が盛んに行われた

B　〔　　　　　　　　〕（**ハングル**）

独自の表音文字が考案された

3　日本の状況

①室町幕府の南北朝合一

1392 年，第 3 代将軍**足利義満**が南北朝の合一を成し遂げる

②〔　　　　　　　　〕（**日明貿易**）

足利義満が明から冊封を受け，貿易を開始

③戦国時代（15 世紀末～ 16 世紀末）

A　織田信長の台頭

→豊臣秀吉の天下統一

B　豊臣秀吉の朝鮮出兵

（文禄・慶長の役，1592 年，1597 年）

まとめ

朝鮮王朝は明に朝貢すると，科挙や朱子学を制度として導入した。
足利義満は明に朝貢し勘合貿易を行い利益を得た。

Chapter 2　明代の社会と文化

目標
明代の儒学はどのような変化を遂げたのか確認しよう。
来朝したイエズス会士が中国に与えたものについて知ろう。

1　明代の経済と社会

①農業

A　長江中流域が最大の穀倉地帯に

→**「湖広熟すれば天下足る」**といわれる

B　商品作物栽培の拡大

蘇州の絹織物と生糸，**杭州**の茶など

②手工業

〔　　　　　　〕が陶磁器の一大産地に発展。**染付**と**赤絵**の作製など

③商業

山西商人や**徽州（新安）商人**などが明朝と結びつき，特権商人として活躍

→〔　　　　　　　　　〕を形成し，商業活動の拠点とする

④華僑の増加

中国南部の沿岸地方出身者が海外に拠点を移し，商業活動などに従事（**南洋華僑**）

⑤税制度

人頭税と土地税を併せて銀納する

〔　　　　　　　〕が定められた

※**メキシコ銀**や**日本銀**が大量に流入し，銀が主要通貨になっていたことが背景。

⑥社会

〔　　　　〕が地主となって佃戸を使役

→〔　　　　〕（小作料不払い）運動などの農民反乱がしばしば発生

明代の産業地域

2　明代の文化

①中国四大奇書の完成

四大奇書と呼ばれる**『三国志演義』**〔　　　　　　　　〕

『西遊記』〔　　　　　　　　〕が完成

②〔　　　　　　〕の成立

〔　　　　　　〕（**王陽明**）が心即理と知行合一を主張して創始。朱子学を批判

→**李贄**が発展させる

③大編さん事業

『五経大全』『四書大全』『性理大全』（儒教の経典の注釈書）〔　　　　　　　　　　〕（百科事典）が編さんされた

3　明代の技術とイエズス会士の来朝

①実学の発展

現実に役立つ学問（実学）が発展

→**李時珍**の〔　　　　　　　　　　〕，**徐光啓**の〔　　　　　　　　　　〕，

宋応星の〔　　　　　　　　　　〕などが刊行された

②イエズス会士の来朝

イエズス会士がヨーロッパの技術などを中国に伝えた

A　イタリア人〔　　　　　　　　　　　　〕の〔　　　　　　　　　　　　〕

作製や**『幾何原本』**の翻訳協力

B　ドイツ人〔　　　　　　　　　　　　〕の**『崇禎暦書』**

まとめ　知行合一を唱える王守仁により陽明学が創始された。
イエズス会士によってヨーロッパの技術が中国に紹介された。

第10講 PART4 確認問題

1 15世紀前半に中山王により統一され，成立した国はどこか。

① 黎朝 ② 高麗
③ 大越 ④ 琉球王国

2 朝鮮王朝（李朝）の首都はどこか。

① 大都 ② 金陵
③ 開城 ④ 漢城

3 訓民正音を制定するなど，朝鮮王朝の最盛期を築いた王はだれか。

① 李成桂 ② 李世民
③ 世宗 ④ 高宗

4 足利義満が中国の王朝と行った貿易はどれか。

① 勘合貿易 ② 中継貿易
③ 日宋貿易 ④ 密貿易

5 明代に陶磁器の一大生産地となった都市はどこか。

① 蘇州 ② 杭州
③ 景徳鎮 ④ 洛陽

6 人頭税と土地税を併せて銀納する明代の税制度はどれか。

① 両税法　② 一条鞭法
③ 抗租　④ 均輸・平準法

7 陽明学を創始したのはだれか。

① 陶淵明　② 王守仁
③ 朱熹　④ 李贄

8 『坤輿万国全図』を作製したのはだれか。

① マテオ＝リッチ　② 徐光啓
③ アダム＝シャール　④ 宋応星

第10講 【近世編】アジアの繁栄
PART5 清の中国支配

Chapter 1　女真の台頭と清の中国支配

目標
女真の台頭と「清」の成立について知ろう。
清の中国支配はどのように行われたのかおさえよう。

1 女真の台頭

16 ～ 17 世紀，中国東北部では，**ツングース系**の**女真**の諸部族が台頭した。

①女真の統一

1616 年　建州部の〔　　　　　　　　　〕（太祖）が全**女真族**を統一し，〔　　　　　〕を建国

※ 12 世紀に女真が建国した金と区別して，こう呼ばれる。

※**盛京**（現・瀋陽）を都とする。

②ヌルハチの支配体制

A　軍事・行政組織〔　　　　　〕を創設

全軍を８つの軍団に編成，８種類の旗をそれぞれの標識とした（満洲八旗）

※旗地（土地）を与えられた旗人が軍を統括した。

※モンゴル人による蒙古八旗，漢人による漢軍八旗もつくり，要地に駐屯させる。

B　満洲語を表記するため〔　　　　　　　　〕を創始

女真の勢力範囲

③清の成立

1635年　ヌルハチの子〔　　　　　　　〕が内モンゴルの**チャハル**を平定

1636年　**ホンタイジ**が国号を〔　　　〕に改称，遊牧民族共通の皇帝（太宗）となる

※民族名も満洲族に改める。

1637年　**朝鮮（李朝）**を服属させる

2　清の中国支配

①清の中国侵入

1644年　**李自成**が北京を占領し，明が滅亡。山海関を守る明の将軍〔　　　　　〕が**清軍**に降伏

※順治帝を北京に招く。

清の第3代皇帝**順治帝**（世祖）が李自成を倒し，〔　　　〕に遷都

※呉三桂ら3人の漢人武将を優遇。雲南，広東，福建の〔　　　〕とする。

②清の漢人社会の統治

A　懐柔策

あ　明朝の宮殿だった**紫禁城**を再建，宮殿とする

い　**科挙**など明の諸制度を継承し，儒学を振興，中国王朝の伝統を尊重

う　中央官庁の要職の定員を，満洲人と漢人が同数とする

〔　　　　　　　　〕を採用

え　漢人主体の治安維持部隊〔　　　〕を組織

B　威圧策

あ　漢人男性に服従の証明として，満洲人の髪型

〔　　　〕を強制

→抵抗運動がおこり，反満的な思想が広がる

い　反清的な言論・思想を弾圧する〔　　　　　　〕，

特定の書籍を禁じる〔　　　〕を行う

辮髪

まとめ

ヌルハチが女真族を統一して後金を建て，ホンタイジが国号を「清」とした。高級官僚には満漢併用制をとるなど懐柔策を行う一方，辮髪の強制や文字の獄による思想弾圧など威圧策も行った。

Chapter 2　清の繁栄

目標
康熙帝がどの地域を征服したのか知ろう。
清がどのようにして多民族の中国社会を統治したのか学ぼう。

1　康熙帝の治世

清は，第4代皇帝康熙帝のときに統治の基礎ができ，康熙・雍正・乾隆の3代の時代に最盛期を迎えた。

①〔　　　　　　　〕の内政

1673年　**呉三桂**ら三藩王が〔　　　　　　　　　〕をおこす
　※康熙帝が雲南・広東・福建の三藩の廃止を決定したことに反発。
1681年　康熙帝が三藩の乱を平定
18世紀初頭　イエズス会以外の布教を禁止（**典礼問題**）
1717年　広東から〔　　　　　　　　　〕を施行
　※**丁税**（人頭税）を**土地税**の中にくり入れて徴収。人頭税を廃止。

②康熙帝の外政

1661年　明の遺臣〔　　　　　　〕が**台湾**からオランダを追放。反清勢力の拠点とする
　※明の貿易商，鄭芝竜と日本人女性の間に生まれた。国姓爺とも呼ばれる。
1661年　**遷界令**を公布。沿岸住民を内陸に強制移住させて沿岸を無人化する
　→海禁の強化により鄭成功の活動を抑制
1683年　鄭氏が降伏。〔　　　　　〕を領土とする
1684年　海禁をゆるめて翌年広州など4か所に税関（海関）を設置。民間貿易を認める
1689年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結
　※アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境とする。
1720年　**チベット**に大軍を送って保護下に置く
　※外モンゴルのハルハを征服する。

2　雍正帝と乾隆帝

①〔　　　　　　　〕の治世

1724年　**キリスト教の布教を全面的に禁止し**，宣教師を国外に追放
1727年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　〕を締結

※モンゴル北部の国境線の画定，ロシアが北京へ隊商を派遣することが定まる。

1732 年　軍事事務処理のために〔　　　　　　〕を設置

→のちに政治の最高決定機関となる

②〔　　　　　　〕の治世

1757 年　海外交易を〔　　　　〕1 港に制限し，特権商人団体〔　　　　〕が管理する

1758 年　オイラト系の〔　　　　　　　　　〕を滅ぼし，**東トルキスタン**全域を占領

※回部と合わせて東トルキスタン地域を〔　　　　〕（新しい領土）と名づける。

3　清の統治

清は，広大な版図を直轄地と非直轄地に分けて統治した。

①**直轄地**（中華十八省・東北地方・台湾）

中央から科挙官僚を派遣して統治

②〔　　　　〕（非直轄地のモンゴル・チベット・新疆・青海）

中央官庁の〔　　　　　　〕の監督のもと，自治が行われる

③**属国**

朝鮮，琉球，ビルマ，タイ，ベトナム，ネパールが清へ朝貢

清の最大領域

まとめ

鄭成功を討伐し，台湾を直轄地としてチベットやモンゴルを征服したほか，ロシアと国境画定条約を結んだ。

中国内地や東北地方などは直轄地，モンゴルやチベットなど少数民族の地域を藩部とし，藩部は理藩院が監督した。

第10講 PART5 確認問題

1 女真を統一して，1616年に後金を建国した人物はだれか。

① ホンタイジ　② シヴァージー
③ 完顔阿骨打　④ ヌルハチ

2 後金の建国者が創設した軍事・行政組織を何というか。

① 八旗　② 猛安・謀克
③ 千戸制　④ 募兵制

3 明が滅亡すると清に降伏した明の将軍はだれか。

① 顧憲成　② 李自成
③ 呉三桂　④ 張居正

4 人頭税を土地税にくり入れて一括徴収する，清の税制はどれか。

① 両税法　② 一条鞭法
③ 地丁銀制　④ 租庸調制

5 清に抵抗した明の遺臣，鄭成功が拠点としたのはどこか。

① マカオ　② 台湾
③ 琉球　④ アユタヤ

6 1689年に清がロシアと締結した国境画定条約を何というか。

① カトー＝カンブレジ条約　② メルセン条約
③ トルデシリャス条約　④ ネルチンスク条約

7 東トルキスタン全域を占領するなどして，清の領土を拡大させた皇帝はだれか。

① 康熙帝　② 乾隆帝
③ 雍正帝　④ 順治帝

8 清が藩部を監督するために設置した中央官庁はどれか。

① 理藩院　② 軍機処
③ 御史台　④ 緑営

第10講　【近世編】アジアの繁栄

PART6 清代の周辺地域と文化

Chapter 1　清代の周辺地域の状況

目標

チベットにおけるチベット仏教の改革運動を理解しよう。

琉球王国と中国や日本との関係がどのようなものだったのか知ろう。

清代の周辺諸国

1　チベット

14～15世紀初め　〔　　　　　　　　　　　〕がチベット仏教の改革を行い,

〔　　　　　　〕（ゲルク派）を創始

16世紀後半　タタールのアルタン＝ハンが黄帽派チベット仏教に帰依

教主に〔　　　　　　　　　　　〕の称号を贈る

→チベット仏教がモンゴル，オイラト，満洲にも広がる

1720年　清の保護下に入る

チベット仏教の教主

ダライ＝ラマが政教両権を把握

※**ラサ**が政治・宗教の中心地となる。

※郊外の**ポタラ宮殿**が歴代**ダライ＝ラマ**の宮殿になる。

2　琉球や台湾

①琉球

1609年　**薩摩藩**の島津氏により，琉球王国の**首里城**が陥落

※中国へ朝貢を続けながら江戸幕府にも使節を派遣。日中両国に服属する

〔　　　　　　　　　　　〕となる。

→日本と中国の要素を含む琉球独特の文化が花開く

②台湾

1624 年　**オランダ**に占領される

1661 年　明の遺臣〔　　　　　　〕がオランダ人を追放，反清勢力の拠点とする

1683 年　鄭氏が清の康熙帝に降伏，清の領土に組み込まれる

3　日本や朝鮮

①日本

1603 年　徳川家康が江戸に武家政権**江戸幕府**を開く

1607 年　朝鮮の使節〔　　　　　　　　　〕が来日

※朝鮮侵略以来悪化していた日朝関係が，対馬藩の仲介で改善。

1609 年　平戸にオランダ商館が開設される

1641 年　**鎖国**体制が完成

※長崎の出島で，**中国**（**清**）と**オランダ**だけに貿易を行うことを許可。

②朝鮮（朝鮮王朝）

16 世紀以降　〔　　　　〕と呼ばれる官僚による権力争いが激化

1592 年，1597 年　日本の豊臣秀吉に侵攻される（壬辰・丁酉倭乱）

1637 年　清の侵攻を受けて服属，朝貢国となる

※両班の間に，朝鮮が中国文明の唯一の継承者とする「**小中華**」思想が広まる。

4　ベトナム

1778 年　**黎朝**が倒れ，**西山政権**が成立

1802 年　**阮福暎**が西山政権を破り，〔　　　　〕が成立

※ユエ（フエ）を都とする。

清に朝貢し，国号を〔　　　　〕（ベトナム）とする

まとめ

チベットではツォンカパが黄帽派を創始し厳しい戒律を定め，タタールからダライ＝ラマの称号を得た。

琉球王国は中国に朝貢したが，薩摩藩の島津氏の侵攻後は服属し，日中両属体制となった。

Chapter 2　清代の社会と文化

目標
清代の貿易政策はどのようなものだったのかおさえよう。
清代で発達した儒学について知ろう。

1　清代の社会

①南洋華僑の増加

A　17世紀末には約1億人だった中国の人口は，18世紀末には約3億人になった

B　貿易の活発化に伴い，東南アジアに移住する〔　　　　　　　　〕が増加

→経済力を伸ばし，主要港市に**華人**（現地の国籍を取得した人）の街を形成

※**会館**などの相互扶助組織をつくり，各地の社会に根づく。

②貿易

1757年以降，貿易船の来航を**広州**一港に限定。〔　　　　〕と呼ばれる特権商人組合に関税の徴収などを請け負わせる

③税制

丁税（人頭税）を地銀（土地税）にくり入れて一括徴収する〔　　　　　　　　〕を施行

※丁税逃れの人口隠しがあったため。

→徴税が地域レベルに委ねられ，〔　　　　〕（地方有力者）の勢力が強まる

2　清代の文化

明代に引き続き，郷紳（地域の指導者）や商人たちによる都市文化が発展。

①学問

思想家の**顧炎武**や**黄宗羲**らが，儒学の古典を実証的に研究する学問〔　　　　　　〕を創始

→考証学者の〔　　　　　　〕が考証学的な史学を確立

②文学

上流社会の栄華没落を描写した〔　　　　　　　　　　〕や，科挙と官僚を風刺した『**儒林外史**』，短編の怪奇小説を集めた『**聊斎志異**』などの小説が生まれる

③中国の伝統的な学術の尊重

A　康熙帝の命で字書〔　　　　　　　　　　　〕を編さん

B　雍正帝の時代に百科事典『**古今図書集成**』が完成

C　乾隆帝の命で中国最大の叢書〔　　　　　　　　　　　〕を編さん

3　イエズス会士の来朝と典礼問題

①イエズス会士と技術の伝来

イエズス会士が布教のために来朝。ヨーロッパの技能をもたらす

A　ドイツ人**アダム＝シャール**が時憲暦を作成し，欽天監監正（天文台の長官）になる

B　ベルギー人〔　　　　　　　　　　　〕が大砲を鋳造

C　フランス人**ブーヴェ**が清の実測図〔　　　　　　　　　　　〕を作製

D　イタリア人〔　　　　　　　　　　　〕が西洋画法を紹介し，

離宮〔　　　　　　〕を設計

※アロー戦争で英仏軍に破壊された。

②カトリック会派の論争〔　　　　　　　〕がおこる

布教のため，伝統的な孔子崇拝や祖先祭祀（典礼）を容認した**イエズス会**を，他会派の宣教師が糾弾。カトリック内部の論争に発展

18世紀初頭　ローマ教皇クレメンス11世がイエズス会の布教を異端とする

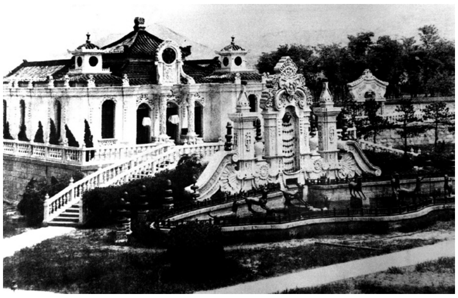
→康熙帝が**イエズス会**だけに布教を許可

1724年　雍正帝が〔　　　　　　　　　〕の布教を全面的に禁止

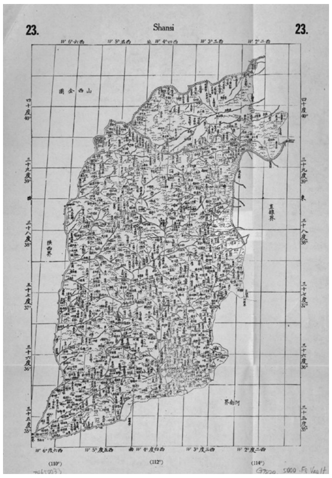
③**中国趣味**（**シノワズリ**）の流行

宣教師たちが儒教・科挙など中国の思想や政治体制，

造園術などをヨーロッパに伝え，中国への関心が高まる



円明園



『皇輿全覧図』

まとめ

貿易港を広州一港に限定し，特権商人の公行が貿易を独占した。

実学を重んじる清代では，経典を実証的に研究する考証学が発達した。

第 10 講　PART6　確認問題

1　チベット仏教の教主ダライ = ラマのために建設された宮殿はどれか。

①　紫禁城　②　ポタラ宮殿
③　景福宮　④　アルハンブラ宮殿

2　江戸時代，鎖国下の日本と貿易を行っていたヨーロッパの国はどこか。

①　ポルトガル　②　イギリス
③　スペイン　④　オランダ

3　1802 年に成立したベトナムの王朝はどれか。

①　阮朝　②　李朝
③　陳朝　④　西山朝

4　乾隆帝の時代，ヨーロッパ船の来航が唯一許されていた港はどこか。

①　明州（寧波）　②　臨安（杭州）
③　広州　④　泉州

5　顧炎武らが創始した，儒学の古典を実証的に究めようとする学問はどれか。

①　訓詁学　②　公羊学
③　陽明学　④　考証学

6 乾隆帝の命によって編さんされた中国最大の叢書はどれか。

① 『四書大全』　② 『四庫全書』
③ 『古今図書集成』　④ 『儒林外史』

7 フランス人宣教師ブーヴェが作製した，清の実測図はどれか。

① 『太極図説』　② 『坤輿万国全図』
③ 『皇輿全覧図』　④ 『海国図志』

8 イエズス会宣教師フェルビーストが清で行った活動として正しいものはどれか。

① 大砲を鋳造した　② 円明園を設計した
③ 時憲暦を作成した　④ 『康熙字典』を編さんした

第 11 講 【近世編】近世のはじまり
PART1 大航海時代とヨーロッパの拡大

Chapter 1　ポルトガルのインド航路開拓とスペインの新大陸到達

目標
ポルトガルがどのようにインド航路を開拓したのかを学ぼう。
スペインとポルトガルの間で結ばれた協定を知ろう。

1 大航海時代の背景

15 世紀～ 16 世紀には，ポルトガルやスペインをはじめヨーロッパの国々がインドやアメリカ大陸に至る新航路を開拓，海外に進出した。この時代を「**大航海時代**」と呼ぶ。

①〔　　　　　　　　　　　　　　〕の『**世界の記述**』（『東方見聞録』）でアジアへの関心が高まる

②胡椒，シナモン，ナツメグなどの〔　　　　　　　〕の需要が高まる

※ムスリム商人を介さず，直接取引する交易路の開拓が期待される。

③オスマン帝国の東地中海進出により，東方貿易が不安定に

④領土拡大への期待が高まる

⑤地球球体説，羅針盤の改良，航海術が発達

2 ポルトガルの海外進出

①インド航路の開拓

15 世紀　〔　　　　　　　　　〕航海王子が，**アフリカ西岸**に探検隊を送る

1488 年　国王**ジョアン２世**の支援で〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が，アフリカ南端の〔　　　　　　　〕に到達

※インド航路実現の可能性を開いたことから，ジョアン２世がこの名をつけた。

1498 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が喜望峰を回り，インド西岸の港市**カリカット**に到達

→ヨーロッパとアジアを結ぶ**インド航路**を開拓

②アジアへの進出

1510年　インド西岸の港市**ゴア**を占領。総督府を置いてアジア進出の拠点とする

1511年　マレー半島西南部の**マラッカ**を占領

1512年　香辛料の主産地**モルッカ諸島**に到達

※その後，スペイン，オランダも来航し，香辛料貿易の主導権を巡って争う。

1543年　ポルトガル人を乗せた船が日本の**種子島**に漂着

1550年　ポルトガル船が長崎の**平戸**に来航。対日貿易（南蛮貿易）の根拠地とする

1557年　明朝から〔　　　　　　〕の居住権を得て，中国貿易の拠点とする

3　スペインの海外進出

①〔　　　　　　　　　　〕の新大陸航行

1492年　8月，**イサベル女王**の援助を受け，スペインのパロス港を出港

※イタリアの天文学者**トスカネリ**の地球球体説を信じ，**西回り**でインドを目指す。

1492年　2か月後，コロンブスが〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕に到達

※コロンブスは，到達した地がインディアス（アジア）の一部と信じ，新大陸の先住民を〔　　　　　　　　　　〕と呼んだ。

②スペインとポルトガルの対立

1493年　ローマ教皇の仲介で植民地分界線（教皇子午線）を設定

※分界線の東をポルトガル，西をスペインの勢力圏とする。

1494年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結し，両国の勢力範囲を定める

※分界線を大幅に移動した結果，1500年に**カブラル**が漂着したブラジルが，アメリカ大陸で唯一のポルトガル領になる。

まとめ

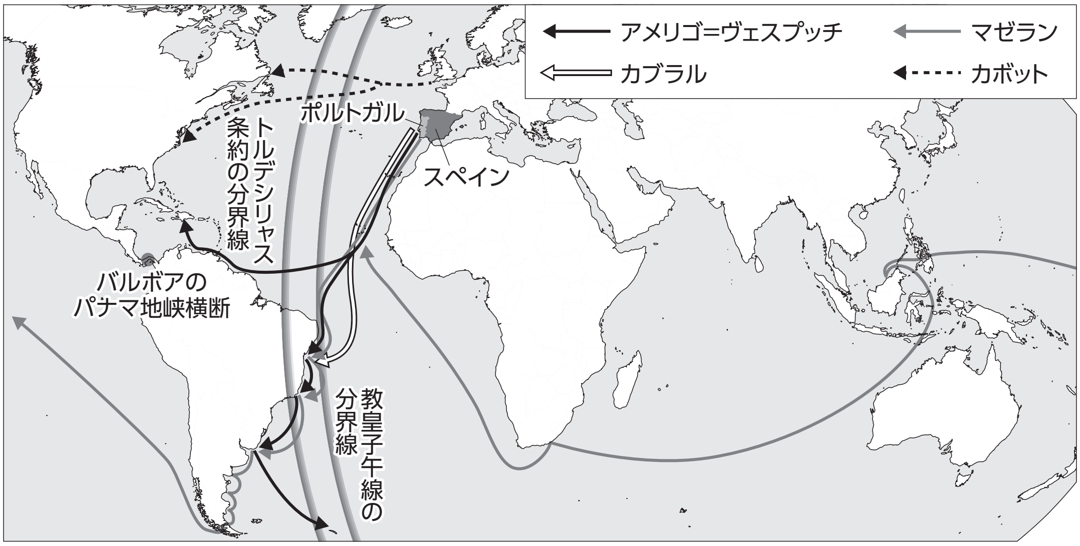
バルトロメウ＝ディアスがアフリカ南端の喜望峰を発見し，その後ヴァスコ＝ダ＝ガマがインドのカリカットに到達した。
スペインとポルトガルの間にトルデシリャス条約が結ばれ，アメリカ大陸での境界線が設定された。

Chapter 2　スペインのアメリカ大陸支配と大航海時代の影響

目標　スペインがアメリカ大陸の先住民をどのように扱ったのかをおさえよう。
大航海時代が，ヨーロッパの商業圏にどのような変化をもたらしたのかを理解しよう。

1　新大陸の探検

1497 年　ジェノヴァ出身の**カボット**（父）がイギリス王の支援で北米大陸を探検
1500 年　ポルトガルの〔　　　　　　　　〕がブラジルに漂着
1501 年～ 02 年　フィレンツェ出身の〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が
南アメリカ大陸を探検し，アジアとは別の大陸（新大陸）であると確認
→彼の名前にちなみ「アメリカ」と呼ばれる
1513 年　スペインの〔　　　　　　　　〕がパナマ地峡を横断し，**太平洋**に到達
1519 年　ポルトガル人〔　　　　　　　　〕がスペイン王の支援で西回りの航海に出発
1521 年　マゼランが南アメリカ大陸南端（**マゼラン海峡**）を通り，フィリピン諸島に到達
1522 年　**マゼラン**の船隊がスペインに帰還し，**世界周航**を達成
※マゼランは前年にフィリピン諸島の現地人との戦いで戦死し，部下が成功。
→地球が球体であることが確認される



新大陸の探検経路

2　スペインのアメリカ大陸支配

1521 年　スペインの〔　　　　　　　　〕が**アステカ王国**（メキシコ）を征服

1533 年　スペインの〔　　　　　　　　　〕が**インカ帝国**（ペルー）を征服

①征服した領土に〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を導入

キリスト教の布教と先住民の保護を条件に，征服者に新領土と先住民の支配を委託

②先住民を大農園や**ポトシ銀山**（ボリビア。1545 年に発見）などで酷使

→過酷な労働，ヨーロッパから持ち込まれた疫病によって先住民の人口が激減

③ドミニコ会修道士〔　　　　　　　　　　　　〕がエンコミエンダ制を批判

※『**インディアスの破壊についての簡潔な報告**』でインディオの状況を国王に訴える。

④先住民に代わる労働力として，アフリカから黒人奴隷を大量に運び込む

※スペインは，ポルトガルやイギリスの外国商人と奴隷供給契約（**アシエント**）を結ぶ。

⑤ 17 世紀，〔　　　　　　　　　　　　〕が普及

※広大な農園で先住民や黒人奴隷を使役して，農業や牧畜を営む。

⑥**プランテーション**（大農園）で商品作物を栽培

3　大航海時代による影響

この時代に世界の諸地域が商業活動などを通して結ばれ，「**世界の一体化**」が進んだ。

①〔　　　　　　　　〕

地中海沿岸の諸都市に代わり，ポルトガルの首都**リスボン**やスペイン領ネーデルラントの**アントウェルペン**などが世界商業の中心となる

②〔　　　　　　　　〕

アメリカ大陸から大量の銀が流入したことで，銀の価格が下落して物価が高騰

→固定した地代収入に依存する封建領主層に打撃

③ヨーロッパ東西の分業体制の成立

A　西ヨーロッパ諸国では商工業が発達。東欧の国々は原材料や穀物の供給地になる

B　東欧では西欧向けの穀物輸出を増やすため，農民への賦役労働を強化した

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（農場領主制）が普及

④アメリカは原料の供給地になる。アフリカは人口が減少し，社会が混乱

まとめ

スペインはアメリカ大陸の先住民をエンコミエンダ制でキリスト教徒に改宗させ，プランテーションや鉱山で使役した。

大航海時代によって，地中海を中心としたそれまでの商業圏が大西洋岸に移動する商業革命がおこった。

第 11 講　PART 1　確認問題

1　大航海時代がはじまるきっかけとなった，アジアの特産品はどれか。

①　絹織物　②　香辛料
③　砂糖　④　茶

2　アフリカ西岸の探検を推し進め，「航海王子」と呼ばれた人物はだれか。

①　フェルナンド　②　ジョアン 2 世
③　エンリケ　④　カルロス 1 世

3　1488 年にアフリカ南端の喜望峰に到達した，ポルトガル人の航海者はだれか。

①　バルトロメウ = ディアス　②　ヴァスコ = ダ = ガマ
③　カブラル　④　カボット

4　1494 年に結ばれた，ポルトガルとスペインの勢力範囲を定めた条約はどれか。

①　メルセン条約　②　ヴェルダン条約
③　トルデシリャス条約　④　ヴォルムス協約

5　南アメリカ大陸を探検し，そこが新大陸であると最初に確認したイタリア人の航海者はだれか。

①　バルボア　②　アメリゴ = ヴェスプッチ
③　イグナティウス = ロヨラ　④　コロンブス

6 ポルトガル人の航海者，マゼランの世界一周を支援したのはどの国の王か。

① スペイン　② オランダ
③ ポルトガル　④ イギリス

7 アメリカ大陸のスペイン植民地において，国王が征服者に先住民の統治を委託した制度はどれか。

① エンクロージャー　② アシエンダ制
③ プランテーション　④ エンコミエンダ制

8 『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著してインディオの悲惨な状況をスペイン国王に訴えた，ドミニコ会修道士はだれか。

① ラス＝カサス　② フランシスコ＝ザビエル
③ マテオ＝リッチ　④ ドミニコ

第 11 講 【近世編】近世のはじまり

PART2 ルネサンスの精神と広がり

Chapter 1　ルネサンスの背景とイタリア = ルネサンス

目標
ルネサンス運動の基調となる考えを理解しよう。
イタリア = ルネサンスが衰退した理由をおさえよう。

1　イタリア = ルネサンスの背景

14 世紀のイタリアで，古代ギリシア・ローマの文化を模範とし，人間の自由・理性を尊重する文化運動「**ルネサンス**」が開花した。

①地中海経由の東方貿易によってイタリアの諸都市が繁栄。〔　　　　　　　　　　〕などの富裕な商人や，ローマ教皇，貴族などが学者や芸術家を保護した

②十字軍などによってビザンツ帝国やイスラーム圏の文化，諸学問と接触した

③ローマには古代ローマの遺跡や美術品が各地に残されていた

④中世キリスト教の禁欲的な価値観から脱却し，人間性豊かな生き方を追求する**「人文主義（ヒューマニズム）」**が，ルネサンスの基調精神となった

2　初期のイタリア = ルネサンス

①文芸

A 〔　　　　　　〕…詩人。イタリア = ルネサンスの先駆者。ラテン語ではなく，だれでもわかる**トスカナ地方**の口語で『**神曲**』を著す

B 〔　　　　　　　　　　〕…詩人・人文主義者。ローマ時代の古典作品を復活させ，恋愛詩『**叙情詩集**』を著す

C 〔　　　　　　　　　　〕…作家・人文主義者。『**デカメロン**』を著し，ペスト（黒死病）流行下の人間の欲望や偽善を風刺

D 〔　　　　　　　　　　　　〕…政治家・思想家。『**君主論**』を著し，政治を宗教や道徳と切り離し，現実的な統治を行う君主の必要性を唱える

②芸術

A 〔　　　　　　　　〕…ルネサンス絵画の先駆者。「聖フランチェスコの生涯」

B ［　　　　　　　　　　　　　　］…画家。
「ヴィーナスの誕生」「春」（プリマヴェーラ）

C **ブルネレスキ**…建築家・彫刻家。フィレンツェの**サンタ = マリア大聖堂**のドームを設計

D **ブラマンテ**…建築家・彫刻家。カトリック教会の総本山**サン = ピエトロ大聖堂**を設計

「春」（プリマヴェーラ）

E **ドナテルロ**…彫刻家。ルネサンス最初の裸体像「ダヴィデ像」,「聖ジョルジオ像」

3 最盛期のイタリア = ルネサンス

①［　　　　　　　　　　　　　　　　　　］
芸術・科学・技術などあらゆる分野に才能を発揮し,「万能人」と呼ばれる。遠近法を用いた絵画**「最後の晩餐」「モナ = リザ」**がある

②［　　　　　　　　　　　　　］
イタリア = ルネサンスを代表する彫刻家・画家。彫刻**「ダヴィデ像」「ピエタ」**,システィナ礼拝堂の大壁画**「最後の審判」「天地創造」**がある

③［　　　　　　　　　　　　　］
聖母子像を多く描く。システィナ礼拝堂の**「アテネの学堂」**が有名

4 イタリア = ルネサンスの衰退の要因

16 世紀後半には,イタリア = ルネサンスは衰退し,ルネサンスの中心は西欧諸国へ移った。
①**商業革命**で,東方貿易が衰退。経済の中心が大西洋へ移ってイタリア諸都市が没落した
② 1494 年～ 1559 年の**イタリア戦争**で外国軍の侵攻を受け,国内が荒廃した
③教会や君主,富裕な商人の保護下にあり,社会変革をもたらさなかった

まとめ

ルネサンスの基調である人文主義は,古代ギリシアやローマにならって人間性を解放しようとする運動であった。
商業革命で商業の中心部が大西洋岸に移り,イタリア戦争の混乱も伴ってイタリア諸都市が衰退したことによる。

Chapter 2　ルネサンスの広がり

目標
トマス = モアは主著で何を批判したのだろうか。
エラスムスの活動が後世に与えた影響について学ぼう。

1　西欧ルネサンス

①フランス

A 〔　　　　　　　　〕…『**ガルガンチュアとパンタグリュエルの物語**』で社会を風刺

B 〔　　　　　　　　〕…随筆集『**エセー（随想録）**』で人間の内面を探究

②イギリス

A 〔　　　　　　　　〕…『**ユートピア**』で理想社会を描き，イギリスの政治を批判

B 〔　　　　　　　　〕…劇作家。『**ハムレット**』『**ヴェニスの商人**』

C **チョーサー**…『**カンタベリ物語**』で社会を風刺

③スペイン

〔　　　　　　　　〕…『**ドン = キホーテ**』で騎士道や社会の矛盾を風刺

④ネーデルラント地方

A 〔　　　　　　　　〕…油絵画法を改良。「ガン（ヘント）の祭壇画」

B 〔　　　　　　　　〕…16 世紀最大の人文主義者。『**愚神礼賛**』で教会の腐敗を批判

C 〔　　　　　　　　〕…農民の風俗を生き生きと描き，農民画家といわれる。「農民の踊り」

⑤ドイツ

A 〔　　　　　　　　〕…銅版画で有名。「四人の使徒」

B **ホルバイン**…肖像画家。「エラスムス像」

「農民の踊り」

2 ルネサンスの科学や技術

①地球観の転換

A ポーランドの神父〔　　　　　　　　　　　　〕が，宇宙の中心は太陽であり，その周りを惑星が回っているとする**地動説**を理論化

※中世は，地球が宇宙の中心で，その周りを太陽や惑星が回っているとする**天動説**が主流だったため，教会の弾圧を恐れて死の直前に公表。

※地動説を主張したイタリアの哲学者**ジョルダーノ＝ブルーノ**は処刑される。

※地動説を擁護した〔　　　　　　　　　　〕は宗教裁判で，地動説の放棄を迫られる。

B ドイツの天文学者〔　　　　　　　　　　〕が，天体観測の結果をもとに惑星の運行法則を発見

C 天文学者の**トスカネリ**が**地球球体説**を唱える

→コロンブスはトスカネリの説を根拠に，西回りでインドを目指す

②技術の発達

A 火薬を使用する鉄砲や大砲などの**火器**が改良され，戦術が変化

→騎士階級が没落（軍事革命）

B 中国伝来の〔　　　　　　　　〕が実用化され，海外進出を可能にする

→**大航海時代**の到来

C 〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が**活版印刷**を実用化

※製紙法の普及とともに大量の印刷物が可能となり，新しい思想の普及に貢献。

まとめ

トマス＝モアは主著『ユートピア』で理想郷を描き，イギリスの政治を批判した。
エラスムスは主著『愚神礼賛』でカトリック教会を批判し，その活動は宗教改革の下地になったとされる。

第 11 講 PART 2 確認問題

1 イタリア = ルネサンスを保護した，フィレンツェの富裕な商人の一族はどれか。

① ハプスブルク家　② ヴァロワ家
③ メディチ家　④ テューダー家

2 トスカナ地方の口語で『神曲』を著した，イタリア = ルネサンスの先駆者はだれか。

① チョーサー　② ペトラルカ
③ ダンテ　④ マキャヴェリ

3 黒死病流行下の人間の欲望や偽善を風刺した，ボッカチオの代表作はどれか。

① 『カンタベリ物語』　② 『デカメロン』
③ 『抒情詩集』　④ 『ガルガンチュアとパンタグリュエルの物語』

4 イタリア = ルネサンスを代表する画家，ラファエロの説明として正しいものはどれか。

① システィナ礼拝堂の壁画「最後の審判」を描いた。
② 遠近法を用いて「最後の晩餐」を描いた。
③ ヴァチカン宮殿の壁画「アテネの学堂」を描いた。
④ ギリシア神話を題材に「ヴィーナスの誕生」を描いた。

5 著書『愚神礼賛』で教会の腐敗を批判した人物はだれか。

① エラスムス　② トマス = モア
③ ラブレー　④ セルバンテス

6 『農民の踊り』などを描き，農民画家とも呼ばれたネーデルラントの画家はだれか。

① デューラー　② ホルバイン
③ ファン＝アイク兄弟　④ ブリューゲル

7 地球球体説を唱え，コロンブスの大西洋西航に影響を与えた天文学者はだれか。

① コペルニクス　② トスカネリ
③ ケプラー　④ ガリレイ

8 中国から伝来し，大航海時代における遠洋航行を可能にしたものはどれか。

① 羅針盤　② 製紙法
③ 火薬　④ 活版印刷

第11講 【近世編】近世のはじまり
PART3 宗教改革とその拡大

Chapter 1　ルターの宗教改革

目標　ルターが「九十五カ条の論題」を発した理由を学ぼう。
ルターの宗教改革に対するカール５世の最終的な判断を知ろう。

1　宗教改革のはじまり

①宗教改革の背景

16世紀初め，教皇〔　　　　　　　　　　〕が**贖宥状**〔　　　　　　〕の販売を許可

A　カトリック教会の総本山**サン＝ピエトロ大聖堂**の改築資金を集めることが目的

B　教皇が発行するこの証明書を購入すれば，罪は許されるとされた

C　ドイツで大々的に販売されたので，ドイツは「ローマの牝牛」と呼ばれた

②ルターの宗教改革

A　1517年，ドイツの神学者〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が
〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を発表。「人は信仰によってのみ義とされる」と主張し，異議を唱える

B　全てのキリスト教徒は司祭であるとする万人司祭主義を説き，教会の権威を否定
→教皇がルターを破門

③皇帝との対立

1521年，**ヴォルムス帝国議会**で神聖ローマ皇帝
〔　　　　　　　　　　〕がルターに自説の撤回を要求。これを拒否して国外追放になる

④聖書のドイツ語訳

ザクセン選帝侯フリードリヒの保護を受け，『**新約聖書**』の**ドイツ語訳**を完成

2　ドイツの宗教改革の展開

1519 年　〔　　　　　　　　　　〕が，ヴァロワ朝のフランス王**フランソワ 1 世**を抑えて神聖ローマ皇帝になる

※イタリアの支配権を巡り，フランス，オスマン帝国と争う。

1524 年　〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※ルターの教えに触発された農民による一揆に，ルターは当初，同情的だった。

※宗教改革者〔　　　　　　　　　　　　〕の指導のもと，農民が農奴制・領主制の廃止など社会変革を要求すると，一揆の鎮圧を主張。

1526 年　**カール 5 世**が，オスマン帝国の圧力に抵抗するため，**ルター派**の信仰を容認

1529 年　カール 5 世がルター派の信仰を再び禁止

※ルター派の諸侯が抗議。〔　　　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる。

※のちに，カルヴァン派，イギリス国教会派など諸宗派の総称になる。

1530 年　ルター派の諸侯と都市が〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

1546 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる（～ 47 年）

1555 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕でルター派を公認

※諸侯にだけ宗派を選ぶ権利が認められる。（個人の信仰の自由ではない。）

※領邦諸侯が領域内の教会を支配する**領邦教会制**が成立。

→領邦君主の支配権が強化される

宗教改革に関連する動き

まとめ　カトリック教会が贖宥状（免罪符）の販売をドイツで進めたため。
カール 5 世は，アウクスブルクの宗教和議で諸侯のルター派信仰を容認した。

Chapter 2　宗教改革のヨーロッパへの波及

目標
カルヴァン派の特徴と，その広がりを理解しよう。
新教派の拡大に対して，カトリック勢力がどのように対抗したのかを確認しよう。

1　カルヴァン派の広がり

①［　　　　　　　　　　］の宗教改革

スイスの**チューリヒ**で宗教改革に乗り出すも，カトリック派と戦って戦死。

②［　　　　　　　　　　］の宗教改革

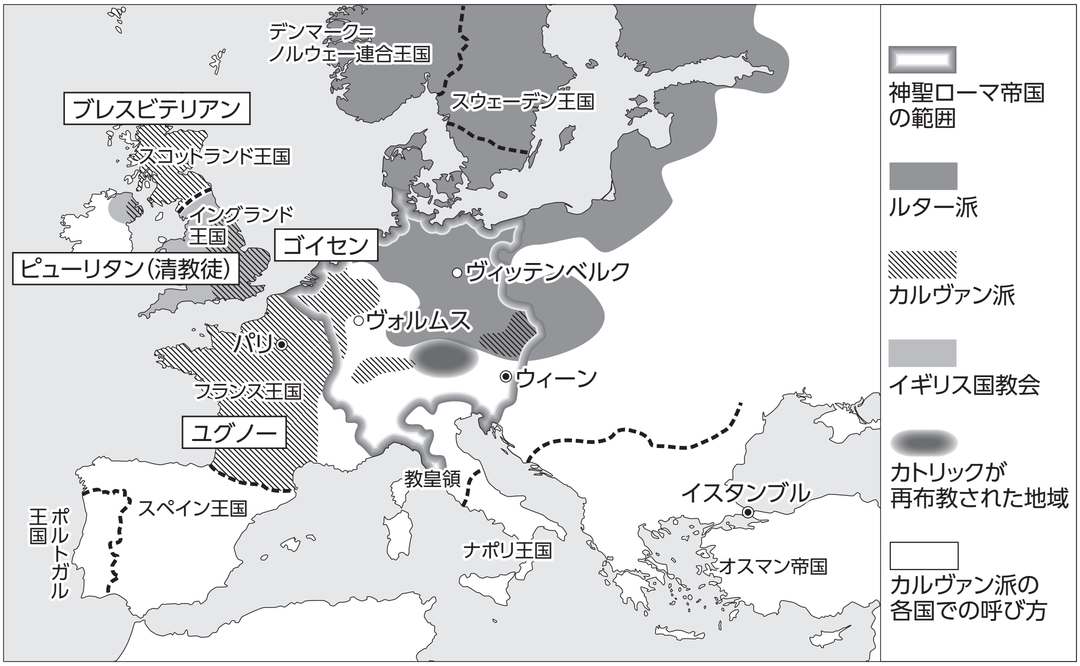
A　スイスの**ジュネーヴ**を拠点に宗教改革を進める

B　信徒から選ばれた**長老**と牧師が教会を管理・運営する［　　　　　　　　］を導入

C　人が救済されるかどうかは，神の意志によってあらかじめ定められているという［　　　　　　］を主張→**蓄財**を肯定

D　商工業者や知識人に受け入れられ，西ヨーロッパ各地に広がる

※カルヴァン派は，イングランドでは［　　　　　　　　　　］(清教徒)，フランスでは［　　　　　　　　］，スコットランドでは**プレスビテリアン**(長老派)，オランダでは**ゴイセン**と呼ばれた。



宗教改革の広がり

2　イギリス国教会の成立

1534 年　教皇に離婚を反対されたテューダー朝の国王〔　　　　　　　　　　〕が，

〔　　　　　　〕（国王至上法）を発布。国王を首長とする

〔　　　　　　　　　　　　　　〕を設立

※教会組織や宗教儀式などにカトリック的要素を残す。

※国内の修道院を解散させ，土地や財産を没収。

1553 年　ヘンリ８世の娘**メアリ１世**が即位。**カトリックの復活**を図る

→プロテスタントを弾圧し，「血まみれのメアリ」と呼ばれる

1559 年　女王〔　　　　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　〕を定め，**イギリス国教会**を確立

※イギリス国教会の祈祷や礼拝の統一を図る。

ヘンリ８世と妃たち

3　対抗宗教改革

宗教改革の動きに対し，カトリック教会でも〔　　　　　　　　　　　　〕がはじまる。

1534 年　**イグナティウス＝ロヨラ**や**ザビエル**らが，〔　　　　　　　　　　〕を結成

※布教と教育を重視。アメリカ大陸やアジア諸地域でも活動。

※ザビエルは 1549 年に日本へ初めてキリスト教を伝えた。

1545 年　イタリアで〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が開かれる

※新旧両教会の調停という目的は実現せず。

※教皇の至上権，カトリック教義の再確認，**禁書目録**の作成，**宗教裁判**の強化。

まとめ

カルヴァン派は予定説を説き，蓄財を肯定して商工業者に受け入れられ，西欧に普及した。

イエズス会を承認して再布教を進め，トリエント公会議で教皇の至上権を確認して権威復活を図った。

第11講　PART3　確認問題

1　ドイツの宗教改革者マルティン＝ルターの説明として**正しくないもの**はどれか。

①　ローマ教皇による贖宥状の販売に異議を唱えた。
②　『新約聖書』をドイツ語に翻訳し，出版した。
③　全てのキリスト教徒を司祭とする万人司祭主義を説いた。
④　ヴォルムス帝国議会でローマ教皇に破門された。

2　ルターの宗教改革のきっかけとなった贖宥状の販売を許可した，ローマ教皇はだれか。

①　ウルバヌス２世　②　レオ10世
③　グレゴリウス７世　④　インノケンティウス３世

3　ドイツのルター派の諸侯と諸都市によって結成された同盟を何というか。

①　シュマルカルデン同盟　②　ハンザ同盟
③　ライン同盟　④　ロンバルディア同盟

4　ルター派の諸侯・諸都市と信仰の自由を巡って争った，神聖ローマ帝国の皇帝はだれか。

①　ヨーゼフ２世　②　ハインリヒ４世
③　カール５世　④　フリードリヒ２世

5　カルヴァンが宗教改革に乗り出した都市は、ヨーロッパのどこか。

①　チューリヒ　②　アウクスブルク
③　パリ　④　ジュネーヴ

6 カルヴァンの教えを支持する宗派は，フランスでは何と呼ばれたか。

① ピューリタン　② ゴイセン
③ ユグノー　④ プレスビテリアン

7 1559 年に統一法を制定して，イギリス国教会を確立させた人物はだれか。

① ヘンリ８世　② エリザベス１世
③ メアリ１世　④ エドワード３世

8 教皇の至上権や教義の再確認などを行った，1545 年の宗教会議を何というか。

① コンスタンツ公会議　② エフェソス公会議
③ トリエント公会議　④ クレルモン宗教会議

第12講 【近世編】主権国家の形成
PART1 主権国家体制の形成1

Chapter1　イタリア戦争と主権国家の形成

目標　近世ヨーロッパで，どのように主権国家が成立していったのかを学ぼう。
イタリア戦争の歴史的な意義を理解しよう。

1　主権国家体制

16世紀になると，ヨーロッパには**主権国家**と呼ばれる新しい国家群が出現し，主権国家を中心とする国際秩序（主権国家体制）が成立した。

①主権国家出現の背景

A　**ローマ教皇**や**神聖ローマ皇帝**など，超国家的な権威の衰退

B　国家群が国内の統一を強化し，国内における最高権力**主権**を主張

②主権国家とは

A　国家は互いに対等であり，国家間の紛争は戦争で解決する

※外交と戦争によって，一国が強大化しないように牽制。

B　国家群が互いに主権を承認し合って国際関係を展開

C　王権を絶対的なものとする政治体制〔　　　　　　　　〕をとる

あ　王権は神から与えられた神聖不可侵なものであるという〔　　　　　　　　〕により，絶対王政を正当化

※実際には，国王はギルド，都市・村落共同体などの**中間団体**を介して統治。

い　国王の政治を補佐する**官僚制**と，国王の軍隊**常備軍**を整備

う　国家が積極的に経済に介入する〔　　　　　　　　〕政策をとる

え　商業資本家が**問屋制**家内工業，**マニュファクチュア**（工場制手工業）を展開

2　イタリア戦争

1494年　フランス王**シャルル8世**がイタリアへ侵入し，**イタリア戦争**が勃発

※イタリアの諸都市，スペイン，神聖ローマ帝国が同盟を結び，フランスと戦う。

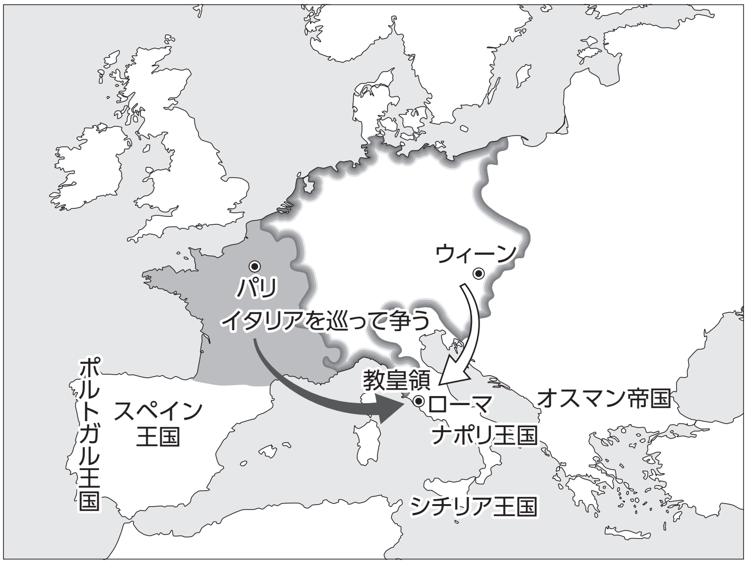
1519年　**ハプスブルク家**のスペイン王〔　　　　　　　　〕が，ヴァロワ朝のフ

ランス王**フランソワ1世**を抑え，**神聖ローマ皇帝**（カール5世）に選出される
→ハプスブルク家の強大化を恐れるイタリア諸都市，イギリス，さらにはオスマン帝国がフランス側につき，戦いが激化

1527年　神聖ローマ皇帝カール5世がローマを襲撃，破壊
※ローマ教皇がフランス側についたことがきっかけ。
→イタリア＝ルネサンスが衰退する一因となる

1559年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕で和議が成立
※フランス王アンリ2世，スペイン王**フェリペ2世**，イギリス王**エリザベス1世**の間で締結。
※ハプスブルク家はミラノ，ナポリなどを領有。フランスはイタリア支配を断念。

イタリア戦争は主権国家間の最初の戦争で，主権国家体制成立のきっかけとなった



イタリア戦争の構図

まとめ
多くの主権国家は絶対王政をとって支配を正当化し，官僚制と常備軍を整備して中央集権化を進めていった。
イタリア戦争は，神聖ローマ帝国のハプスブルク家とフランスのヴァロワ家による，主権国家間で行われた初めての戦争であった。

Chapter 2　スペインの全盛期

目標
最盛期のスペインがどれほどの領域を支配したのかをおさえよう。
スペインが衰退した理由を理解しよう。

1　スペインの最盛期

①イサベル女王の治世

1479年　スペイン王国が成立

1492年　**コロンブス**がアメリカ大陸に到達

②〔　　　　　　　　　　〕の治世

1516年　スペイン王となり，スペインにハプスブルク家を開く

1519年　**神聖ローマ皇帝**カール5世として即位

→スペイン，ドイツにまたがる広大な領土とアメリカ大陸の植民地を支配

1538年　**プレヴェザの海戦**でオスマン帝国に敗北

1545年　アメリカ大陸最大の銀山**ポトシ銀山**を発見

→大量の銀がスペインを通してヨーロッパに運ばれ，価格革命をおこす

1555年　アウクスブルクの宗教和議

1556年　スペイン王，神聖ローマ皇帝を退位

→ハプスブルク家がスペインとオーストリアの両家に分かれる

③〔　　　　　　　　　　〕の治世

フェリペ2世

1556年　スペイン王として即位

※スペイン，**ネーデルラント**，南イタリア，アメリカ大陸の植民地を相続。

1559年　**カトー＝カンブレジ条約**を締結。イタリア戦争を終結させる

1571年　〔　　　　　　　　　　〕でオスマン帝国の海軍を撃破

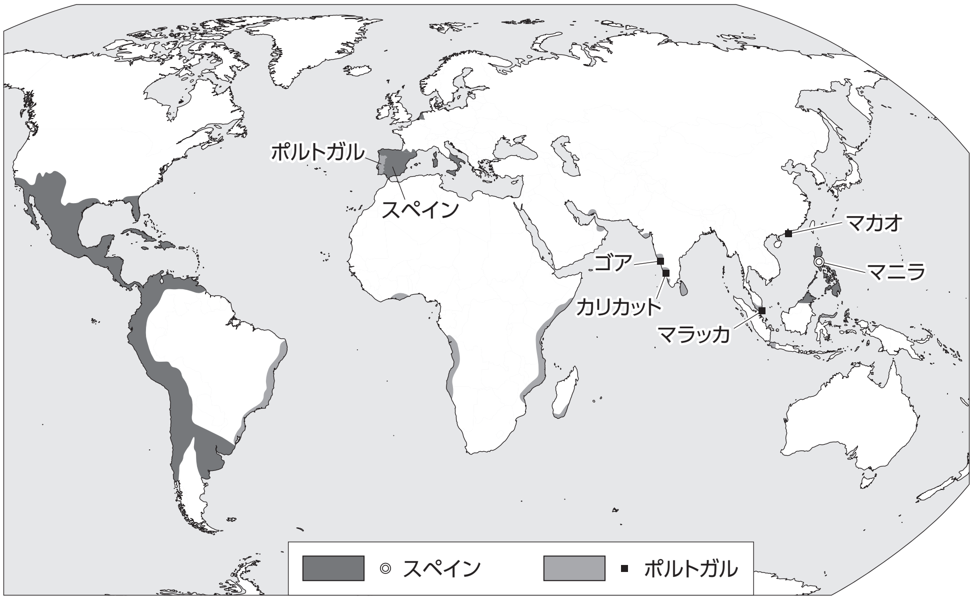
1580年　**ポルトガル**を併合。イベリア半島全域とポルトガルの海外領土を手中にする

※領土が全世界に及び，〔　　　　　　　　　　〕といわれる。

④フェリペ2世の統治

A　カトリック化政策を強化し，プロテスタントを弾圧

B　イギリス女王メアリ１世との結婚など，婚姻を通してイギリス，フランスの内政に干渉



スペイン最盛期の領域

2　スペインの衰退

17世紀に入ると，外征や宮廷の浪費による財政難などで急速に衰退していった。

①ネーデルラントの抵抗運動

1568年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

1581年　北部７州が独立を宣言，**ネーデルラント連邦共和国**（**オランダ**）を樹立

1609年　オランダと休戦協定を結び，独立を承認

→スペインはネーデルラントの北半分を失う

②イギリスとの戦い

1588年　〔　　　　　　　　　　　　〕でイギリスに敗北

※オランダ独立戦争を支援するイギリスに〔　　　　　　　〕（アルマダ）を派遣するが，撃退されて海上覇権を失う。

まとめ

スペインはポルトガルを併合し，ヨーロッパからアメリカ大陸，アジアを支配して，「太陽の沈まぬ帝国」と呼ばれた。
スペインからオランダが独立し，アルマダの海戦でイギリスに敗れ海上覇権を失ったことで，衰退していった。

第 12 講　PART 1　確認問題

1 ヨーロッパに主権国家体制が成立するきっかけとなった，15 世紀末におこった戦争はどれか。

①　百年戦争　②　バラ戦争
③　イタリア戦争　④　三十年戦争

2 王権は神聖不可侵なものであるとする政治体制はどれか。

①　封建制　②　専制君主政
③　絶対王政　④　共和政

3 1519 年に神聖ローマ帝国の皇帝となった人物はだれか。

①　カルロス 1 世　②　フランソワ 1 世
③　ハインリヒ 4 世　④　オットー 1 世

4 1559 年にフランス，スペイン，イギリスの間で締結された条約を何というか。

①　メルセン条約　②　ヴェルダン条約
③　トルデシリャス条約　④　カトー = カンブレジ条約

5 スペインとオーストリアを支配し，神聖ローマ皇帝位も継承した王家はどこか。

①　メディチ家　②　ハプスブルク家
③　ブルボン家　④　スチュアート家

6 ポルトガルを併合して広大な植民地を支配し，「太陽の沈まぬ帝国」を手中にしたスペイン王はだれか。

① フェルディナント１世　② ヘンリ８世
③ マクシミリアン１世　④ フェリペ２世

7 オランダ独立戦争において，北部７州が結成した同盟はどれか。

① ユトレヒト同盟　② ロンバルディア同盟
③ カルマル同盟　④ シュマルカルデン同盟

8 1588 年にスペインがイギリスに敗北した戦いはどれか。

① プレヴェザの海戦　② レパントの海戦
③ アルマダの海戦　④ サラミスの海戦

第 **12** 講　【近世編】主権国家の形成

PART2 主権国家体制の形成 2

Chapter 1　オランダの独立とその繁栄

目標　オランダの独立が，どのように成功したのかを考えよう。
オランダが繁栄した背景を知ろう。

1　オランダの独立戦争

スペイン王**フェリペ２世**のカトリック化政策と重税に**ネーデルラント**の住民が反発，独立戦争がおこった。

1556 年　ハプスブルク家の分立によって，ネーデルラントがスペイン領となる

1568 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を指導者とし，**オランダ独立戦争**がおこる

1579 年　プロテスタント（カルヴァン派，オランダでは**ゴイセン**と呼ばれる）が多い**北部７州**（現オランダ）が〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

※カトリック教徒の多い南部 10 州（現**ベルギー**）は離脱，スペインの支配下にとどまる。

1581 年　北部７州が独立を宣言。〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を樹立

1585 年　商業都市〔　　　　　　　　　　　　　　　〕がスペイン軍に占領される

1609 年　スペインと休戦協定を締結。事実上独立を達成

※オランダの独立は，1648 年のウェストファリア条約で国際的に承認される。

2　オランダの最盛期

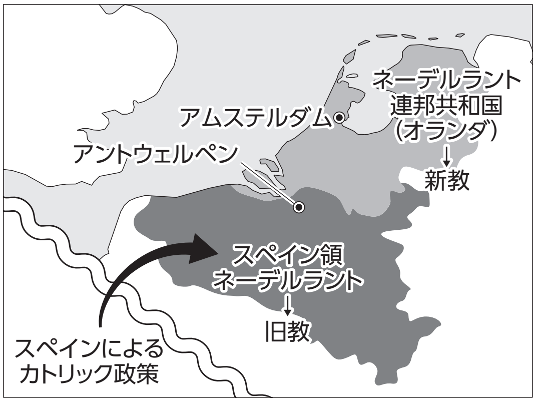
オランダは 17 世紀には世界貿易の覇権を握り，首都〔　　　　　　　　　　　　　　　〕がヨーロッパ最大の国際商業都市として繁栄した。

①オランダの産業

当時最先端の造船技術を持ち，バルト海交易や漁業で栄える。豊富な資源を背景に金融業が発展した

②オランダの外政

1602 年　貿易特許会社〔　　　　　　　　　　　　　〕を設立し，アジアへ進出
1619 年　ジャワ島西部の〔　　　　　　　　　　　〕（現ジャカルタ）に商館を設置。
　　　　アジア進出の拠点とする
1621 年　**西インド会社**を設立し，南北アメリカへも進出
1623 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕でイギリスを東南アジアから排除。香辛料
　　　　の主産地**モルッカ**（マルク）諸島を支配
1624 年　**台湾**を占領，日中交易の中継基地とする
　　　　※日本の徳川幕府からヨーロッパで唯一貿易を許され，日本貿易を独占。
17 世紀前半　北アメリカに**ニューネーデルラント植民地**を建設
1626 年　ニューネーデルラントに**ニューアムステルダム**を建設
1641 年　ポルトガルからマレー半島の**マラッカ**を奪う
1652 年　南アフリカに**ケープ植民地**を建設
1658 年　インド南東の**スリランカ**を占領



ネーデルラントの南北の状況

③オランダの都市化
都市化が進み，**ブルジョワ**（市民）が文化の保護者となる
※ルーベンス，レンブラントらの画家が市民の依頼で絵画を制作。

3　オランダの衰退

1651 年　イギリスで**航海法**が成立
1652 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる
　　　　→敗北し，海上覇権を失う
1664 年　イギリスに**ニューアムステルダム**を割譲

まとめ
オランダ独立戦争で，北部７州がユトレヒト同盟を結成してスペインに抵抗し，独立を勝ち取った。
オランダは香辛料交易を独占し，中継貿易で利益を得て，市民文化が繁栄した。

Chapter 2　イギリスのテューダー朝の発展

目標
テューダー朝の時代に，第一次囲い込みが行われた理由を考えよう。
エリザベス１世がどのようにしてスペインを打倒したのかを学ぼう。

1　テューダー朝の時代

テューダー朝の時代には，商工業が発達した。

①新興地主層の**ジェントリ**が社会的地位を高め，地方行政権を握る

※以後，貴族とともにジェントルマンと呼ばれ，社会の指導的立場に立つ。

②毛織物市場が拡大し，毛織物工業が主要産業となる

※〔　　　　　〕家内工業・〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**工場制手工業**）によって毛織物の生産が増大。

A　問屋制家内工業：商業資本家が職人や農民に原料・道具を貸しつけ，製品を買い取る経営形態

B　マニュファクチュア：産業資本家が工場に労働者を集め，分業によって毛織物などを生産する生産様式

③羊毛の需要が高まり，〔　　　　　　　　　　　〕（**エンクロージャー**）が進行

※**ジェントリ**が，農民から耕地や共有地を強制的に取り上げて生け垣で囲み，毛織物の原料となる羊の牧草地に転換。

→土地を失った農民が都市に流れ込んで浮浪人となり，社会不安が高まる

※この状況を〔　　　　　　　　　　〕が，著書『ユートピア』で「羊が人間を食い殺す」と批判。

『ユートピア』

2　エリザベス 1 世の治世

①内政

1559 年 〔　　　　　　〕を制定し，イギリス国教会を確立

1601 年 貧民を救済する**救貧法**を制定

※貧民を教区の責任のもとに救済する法律で，社会保障制度のはじまり。

主要産業である毛織物業を保護

②外政

1577 年 ドレークが世界周航に出発

※エリザベス 1 世は，ドレークに私拿捕船（私掠船）でスペインの植民地や銀の輸送船を襲撃させ，アルマダの海戦の一因をつくる。

1580 年 **ドレーク**がイギリス人として初めて世界周航を達成

1588 年 〔　　　　　　　　　　〕で，スペインの**無敵艦隊**を撃破

16 世紀後半 ローリーが北アメリカに入植を試みるが失敗

※のちに植民地が開かれ，処女王エリザベス 1 世にちなんでヴァージニアと名づけられる。

1600 年 貿易特許会社〔　　　　　　　　　〕を設立し，アジアへ進出

エリザベス 1 世

まとめ

テューダー朝では毛織物産業が振興され，牧羊地確保のため農地の囲い込みが行われた。

海賊のドレークなどに私拿捕船を組織させスペインの銀輸送船を襲い，アルマダの海戦では無敵艦隊を破った。

第 12 講　PART 2　確認問題

1 1568 年，ネーデルラントの住民がスペインからの独立を求めておこした戦争の指導者はだれか。

①　トマス = ミュンツァー　②　オラニエ公ウィレム
③　ザクセン選帝侯フリードリヒ　④　マルティン = ルター

2 17 世紀にヨーロッパ最大の国際商業都市として繁栄した都市はどこか。

①　アムステルダム　②　リスボン
③　アントウェルペン　④　ロンドン

3 オランダが 1623 年のアンボイナ事件で，東南アジアから排除した国はどこか。

①　スペイン　②　フランス
③　ポルトガル　④　イギリス

4 17 世紀前半にオランダが北アメリカに建設した植民地はどこか。

①　ケベック植民地　②　ヴァージニア植民地
③　ニューネーデルラント植民地　④　ルイジアナ植民地

5 1652 年に勃発したイギリス = オランダ戦争の原因となった，イギリスの法はどれか。

①　航海法　②　統一法
③　首長法　④　均輸法

6 ヘンリ7世からエリザベス1世まで5人の王が即位したイギリスの王朝はどれか。

① プランタジネット朝　② テューダー朝
③ ヨーク朝　④ カロリング朝

7 第一次囲い込みを「羊が人間を食い殺す」と批判した人物はだれか。

① エラスムス　② シェークスピア
③ トマス＝モア　④ モンテーニュ

8 1588年にスペインの無敵艦隊を撃破したイギリスの王はだれか。

① メアリ1世　② ヘンリ8世
③ ヘンリ7世　④ エリザベス1世

第 12 講 【近世編】主権国家の形成
PART3 イギリスの市民革命

Chapter 1　ステュアート朝とピューリタン革命

目標
ピューリタン革命がおこった背景を確認しよう。
イギリスの共和政期の政治の特徴を理解しよう。

1　ステュアート朝の成立とピューリタン弾圧

1603 年　独身を通した**エリザベス 1 世**が死去し，**テューダー朝**が断絶
テューダー家の血をひくスコットランド王が**ジェームズ 1 世**として即位
〔　　　　　　　　　　　　　〕を開く
→国教会を重視し，〔　　　　　　　　　　　　〕（カルヴァン派）を弾圧

1625 年　〔　　　　　　　　　　　　　〕が即位
※王権は神から授かったものであるとする**王権神授説**を背景に専制政治を行い，**議会**と対立。

1628 年　議会が〔　　　　　　　　　　〕を提出し，議会の同意のない課税や国民の不当逮捕などに反対
→国王が**議会を解散**（以後，11 年間議会を招集しなかった）

1639 年　**スコットランドの反乱**
※チャールズ 1 世が国教会を強制したことに反発。

1640 年　反乱鎮圧の戦費調達のため**議会を招集**するも，王と議会が対立し，３週間で解散

2　ピューリタン革命

1640 年　チャールズ 1 世が議会を招集
王党派と〔　　　　　　〕が対立し，〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が勃発
①王党派…国王を支持。貴族，特権商人，保守的ジェントリ。国教徒が多数
②議会派…議会による改革を支持。進歩的ジェントリ。ピューリタンが多数

1642 年　内戦に発展

1645 年　ネーズビーの戦い

ジェントリ出身のピューリタン〔　　　　　　　　　　〕が率いる
議会派軍（**鉄騎隊**）が，王党派軍に勝利
※勝利後，議会派が国王に妥協的な〔　　　　　　〕と，徹底した改革の推進を
目指す〔　　　　　　〕に分裂。

1648 年　**クロムウェル**率いる**独立派**が**長老派**議員を追放

1649 年　チャールズ 1 世を処刑。〔　　　　　　〕（**コモンウェルス**）が成立
※さらに議会派の中の急進的な**水平派**（支持層は小作農や職人）を弾圧。

ネーズビーの戦い

3　共和政期のイギリス

①共和政期の外征

1649 年　王党派打倒を名目に**アイルランド**を征服

1650 年　長老派の本拠地だった**スコットランド**を征服

1651 年　〔　　　　　　〕を制定し，オランダの中継貿易に打撃を与える

1652 年　第一次**イギリス＝オランダ戦争**（英蘭戦争）がおこる
※ 3 回にわたる戦いで，イギリスは制海権を手中にした。

②クロムウェルの軍事独裁体制

1653 年　議会を武力で解散し，〔　　　　　　〕（ロード＝プロテクター）に就任。軍事独裁を強める
→ピューリタン的な厳粛政治に国民が反発，クロムウェルの死後共和政廃止

まとめ

ジェームズ 1 世やチャールズ 1 世のイギリス国教会強制政策に，議会の多くを占めるピューリタンが反発し革命がおこった。
クロムウェルが独裁を進め多くの外征を行ったが，ピューリタン的な厳粛主義が国民の不満を招いた。

Chapter 2　王政復古と名誉革命の勃発

目標
カトリックを強要する国王に対し，議会がどのように対抗したのかをおさえよう。
名誉革命がイギリスの政治に与えた役割を理解しよう。

1　王政復古と議会へのカトリック強制

1660年　〔　　　　　　　　〕が実現
クロムウェルの死後，チャールズ1世の子〔　　　　　　　　　　　　　〕が即位
※カトリックを保護し，公職にカトリック教徒を登用する。

1673年　国教会を重視する議会が〔　　　　　　〕を制定
※国教徒でない者が公職に就くことを禁止。

1679年　〔　　　　　　　　　　〕を制定
※国王による不当な逮捕や投獄を禁止。
※このころから議会は，王権を重んじ国教会を擁護する〔　　　　　　　　〕と，議会の権利を主張する〔　　　　　　　　　　〕に二分され，**二大政党制**が成立。

1685年　カトリック教徒の〔　　　　　　　　　　　　　　〕が即位
※カトリックの復活を図り，議会の立法権を無視して政治を行う。

2　革命と立憲君主政の確立

1688年　〔　　　　　　　　〕がおこる
※両党が，ジェームズ2世の娘**メアリ**の夫でオランダ総督の**オラニエ公ウィレム**を招く。ジェームズ2世はフランスへ亡命。

1689年　夫妻が議会が提出した〔　　　　　　　　　　〕を承認
〔　　　　　　　　　　　　　　〕と〔　　　　　　　　　　〕として即位
「権利の宣言」を〔　　　　　　　　　　〕として制定
※1688年～89年におこった革命は流血がなく進行したので，名誉革命と呼ばれた。
→憲法などの法律に基づいて君主が治める**立憲君主政**が確立

1702年　メアリの妹が**アン女王**として即位

1707年　スコットランドと合併。〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

3 ハノーヴァー朝の成立

1714年 アン女王が死去し，ステュアート朝が断絶
ドイツからハノーヴァー選帝侯が王（〔　　　　　　　　〕）として迎えられ，〔　　　　　　　　〕が成立

1721年 **ホイッグ党**の〔　　　　　　　　〕が首相となり，内閣は国王ではなく議会に対して責任を負う〔　　　　　　　　〕が確立
※**「王は君臨すれども統治せず」**という伝統が形成される。

名誉革命

まとめ

審査法で公職の就任をイギリス国教会教徒に限り，また人身保護法で不当な逮捕・投獄を禁止した。
名誉革命で権利の章典が成立すると，イギリスの立憲君主政が確立し，議会が主権を持つようになった。

第 12 講　PART 3　確認問題

1 1603 年，ジェームズ 1 世によってイギリスに開かれた王朝はどれか。

① ステュアート朝　② ティムール朝
③ アイユーブ朝　④ テューダー朝

2 議会が国王に対して，議会の同意なく課税しないことなどを要求した文書はどれか。

① 権利の章典　② 金印勅書
③ 権利の請願　④ マグナ＝カルタ

3 専制政治を行って議会と対立し，ピューリタン革命の発端をつくったイギリス国王はだれか。

① チャールズ 2 世　② ジェームズ 1 世
③ ヘンリ 8 世　④ チャールズ 1 世

4 ピューリタン革命のとき，国王に妥協的で，1648 年にクロムウェルによって追放された一派はどれか。

① 王党派　② 長老派
③ 水平派　④ 独立派

5 1673年に制定された，国教徒でない者が公職に就くことを禁止した法律を何というか。

① 統一法　② 寛容法
③ 人身保護法　④ 審査法

6 名誉革命によって確立した，法律に基づいて君主が治める政治体制はどれか。

① 立憲君主政　② 専制君主政
③ 共和政　④ 絶対王政

7 アン女王の治世の1707年に，スコットランドとの合併により成立した国はどこか。

① スコットランド王国
② イングランド王国
③ グレートブリテン王国
④ グレートブリテン及び北アイルランド連合王国

8 ホイッグ党の議員で，1721年に首相となり，政治を主導した人物はだれか。

① クロムウェル　② ウォルポール
③ ウィレム　④ ホッブズ

第 12 講 【近世編】主権国家の形成
PART4 ブルボン朝のフランスと三十年戦争

Chapter 1　ブルボン朝の絶対王政

目標
ユグノー戦争からブルボン朝が成立した過程を理解しよう。
ルイ 14 世の統治の特徴を学ぼう。

1　ユグノー戦争の勃発

16 世紀後半　カルヴァン派の**ユグノー**とカトリック教徒の対立が激化

1562 年　宗教内戦〔　　　　　　　　　　　〕が勃発

1572 年　パリで**サンバルテルミの虐殺**がおこる。これを機に戦争が激化

※結婚式のためパリに集まったユグノー数千人をカトリック教徒が虐殺。

※ユグノーの台頭を恐れた，王母で摂政の**カトリーヌ = ド = メディシス**が主導。

1589 年　アンリ 3 世が暗殺され，**ヴァロワ朝**が断絶

2　ブルボン朝の成立

1589 年　ユグノーの指導者〔　　　　　　　　　　〕が即位。**ブルボン朝**を開く

→カトリックに改宗し，カトリック教徒を取り込む

1598 年　〔　　　　　　　　　　　〕を発して**ユグノー戦争**を終結させる

※ユグノーに信仰の自由を保障。

1604 年　東インド会社を設立するが，活動はほとんどなし

3　ブルボン朝の絶対王政

1610 年　〔　　　　　　　　　〕が即位

1615 年　王権の制約になっていた議会〔　　　　　　〕の招集を停止

1624 年　〔　　　　　　　　　　　〕が宰相になる

①王権に反抗的な貴族やユグノーを抑え，**絶対王政**の基礎を固める

②**ハプスブルク家**に対抗し，三十年戦争にプロテスタント側で参戦

③フランス語の統一と純化を目的に，学士院**アカデミー = フランセーズ**を創設

4　ルイ14世の治世

①治世前半

1643 年　〔　　　　　　　　〕が即位。〔　　　　　　　〕が補佐

※中央集権化を進めたため，貴族や最高司法機関**高等法院**が反発。

1648 年　〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※新興の貴族，民衆が三部会の開催などを要求。

1648 年　**ウェストファリア条約**でアルザスなどを獲得

ルイ 14 世

②ルイ 14 世の親政

1661 年にマザランが死去すると，自ら政治を行い，絶対王政の最盛期を迎える

A　**王権神授説**を唱えて絶対王政を極め，「**太陽王**」と呼ばれる

B　政治家の〔　　　　　　　　　〕を登用して，**重商主義**政策を推進

あ　東インド会社を再建し，貿易の拡大を図る

い　**王立マニュファクチュア**（王立の工場）の創設

C　パリ郊外に〔　　　　　　　　　　　　〕を造営。華やかな宮廷生活を送る

→各国の宮殿・宮廷のモデルとなり，フランス語がヨーロッパの外交用語となる

D　1685 年に〔　　　　　　　　　　　　　　〕。信仰の統一を図る

→弾圧されたユグノーの商工業者が，オランダやイギリスに亡命

③対外侵略戦争

1667 年　**南ネーデルラント継承戦争**をおこす

1672 年　**オランダ侵略戦争**をおこす

1688 年　**ファルツ継承戦争**をおこす

1701 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕をおこし，オーストリア，オランダ，イギリス，プロイセンと戦う

1713 年　講和条約〔　　　　　　　　　　　〕を締結

フランスとスペインが合同しないことを条件に，孫をスペイン王位につける

まとめ

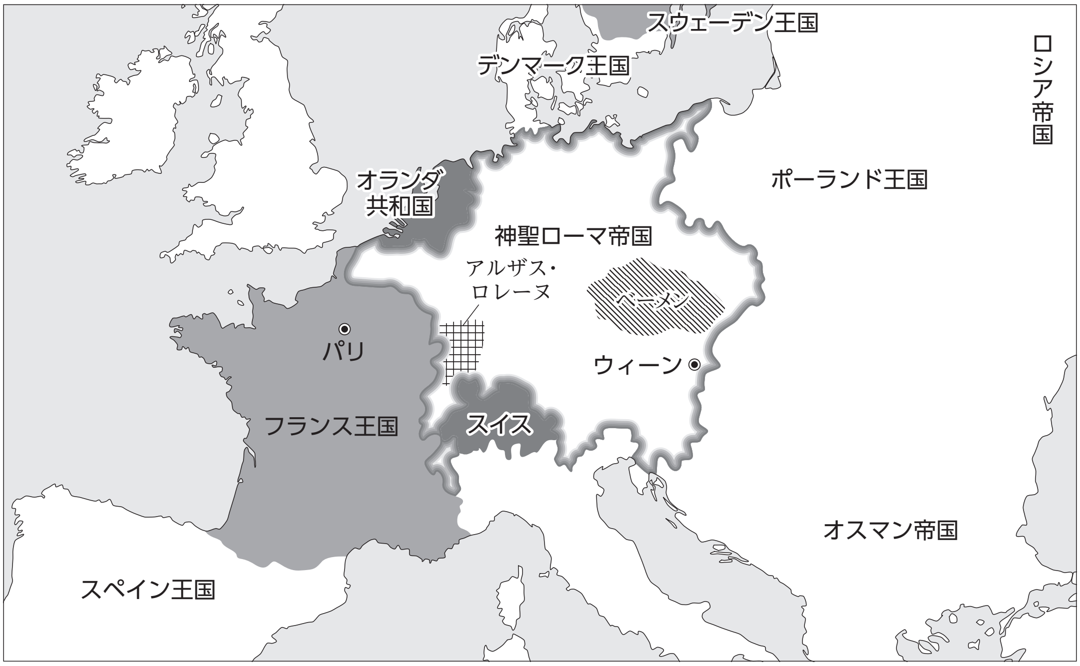
ユグノー戦争中にヴァロワ朝が滅び，ブルボン家のアンリが即位し，ナントの王令でユグノーの信仰を承認した。

絶対王政最盛期でヴェルサイユ宮殿を建てたほか，対外侵略戦争を積極的に行った。

Chapter 2　三十年戦争とドイツの状況

目標
三十年戦争が勃発した理由を理解しよう。
三十年戦争により神聖ローマ帝国はどのような状況に置かれたのかをおさえよう。

1　三十年戦争のはじまりとその構造



三十年戦争

17 世紀には，寒冷化による凶作や飢饉，疫病などで人口が減少し，経済活動も停滞した（「**17 世紀の危機**」）。

①三十年戦争のはじまり

1555 年　**アウクスブルクの宗教和議**が成立

→和議以降もカトリックとプロテスタントの対立が続く

1618 年　神聖ローマ帝国内の〔　　　　　　　　〕（ボヘミア）で**プロテスタント**が反乱

※新ベーメン王（のちの神聖ローマ皇帝）がカトリックを強制したことに反発。

1618 年　〔　　　　　　　　　　〕が勃発

→初めは宗教戦争であったが，主権国家間の戦争に。

②三十年戦争の構造

A　カトリック側：神聖ローマ皇帝，スペイン（ハプスブルク家）

傭兵隊長〔　　　　　　　　　　〕率いる皇帝軍

B　プロテスタント側：ベーメンのプロテスタント

スウェーデン，デンマーク，フランス，イギリス，オランダ

※ルター派のデンマーク王，スウェーデン王

〔　　　　　　　　　　〕がプロテスタント支援を名目に参戦。カトリックの〔　　　　　　〕も**ハプスブルク家**に対抗してプロテスタント側につく。

C　金で雇われた〔　　　〕が軍隊の中心

※傭兵たちによる略奪や暴行が横行し，戦場となったドイツは荒廃

2　ウェストファリア条約

1648年に〔　　　　　　　　　　〕が締結されて三十年戦争が終結した。これにより，ヨーロッパの主権国家体制が確立した。

①アウクスブルクの宗教和議の原則を再確認

②ドイツ国内で，ルター派のほかに〔　　　　　　　　〕を公認

③〔　　　　　　〕と〔　　　　　〕の独立を正式に承認

④神聖ローマ帝国の〔　　　〕君主が**主権**を獲得

→神聖ローマ帝国が有名無実化。この条約は「**神聖ローマ帝国の死亡証明書**」といわれた

⑤**フランス**がアルザスなどを獲得して領土を拡大

⑥**スウェーデン**が北ドイツの西ポンメルンを獲得して北欧の大国になる

まとめ　カトリックを強制されたベーメンが反乱をおこし，三十年戦争がはじまった。ウェストファリア条約で領主の主権が認められたことで神聖ローマ帝国の解体が確定し，有名無実となった。

第12講 PART4 確認問題

1 1562年にカルヴァン派とカトリック教徒の対立からおこった宗教内戦はどれか。

① フス戦争　② ピューリタン革命
③ シュマルカルデン戦争　④ ユグノー戦争

2 アンリ4世が開き，17世紀後半から18世紀初頭に最盛期を迎えたフランスの王朝はどれか。

① ブルボン朝　② ヴァロワ朝
③ カペー朝　④ ステュアート朝

3 ルイ13世の宰相を務め，ハプスブルク家に対抗して三十年戦争に介入した人物はだれか。

① マザラン　② コルベール
③ リシュリュー　④ ラブレー

4 ヨーロッパ諸国の宮殿・宮廷のモデルとされたヴェルサイユ宮殿を造営したフランス王はだれか。

① ルイ13世　② ルイ14世
③ アンリ3世　④ アンリ4世

5 ルイ14世がおこした侵略戦争の順番として正しいものはどれか。

① 南ネーデルラント継承戦争→オランダ侵略戦争→スペイン継承戦争→ファルツ継承戦争
② 南ネーデルラント継承戦争→オランダ侵略戦争→ファルツ継承戦争→スペイン継承戦争
③ オランダ侵略戦争→南ネーデルラント継承戦争→ファルツ継承戦争→スペイン継承戦争
④ オランダ侵略戦争→南ネーデルラント継承戦争→スペイン継承戦争→ファルツ継承戦争

6 三十年戦争に，プロテスタント支援を名目に参戦したスウェーデン王はだれか。

① ジョアン２世　② ヴァレンシュタイン
③ マルガレーテ　④ グスタフ＝アドルフ

7 三十年戦争で，皇帝軍を率いて，スウェーデンやデンマーク軍と戦った人物はだれか。

① ヴァレンシュタイン　② イェルマーク
③ トマス＝ミュンツァー　④ グロティウス

8 「神聖ローマ帝国の死亡証明書」といわれた，三十年戦争の講和条約を何というか。

① カルロヴィッツ条約　② ユトレヒト条約
③ ウェストファリア条約　④ トルデシリャス条約

第12講 【近世編】主権国家の形成
PART5 ドイツとロシアの発展

Chapter 1 プロイセンとオーストリア

目標 プロイセンのフリードリヒ２世がどのような改革を行ったのかをおさえよう。
オーストリアの中央集権化が難しかった理由を理解しよう。

1 プロイセン王国の成立

1525 年 ドイツ騎士団領をもとに**プロイセン公国**が成立

1618 年 〔　　　　　　　　　　〕の**ブランデンブルク選帝侯国**がプロイセン公国を併合，〔　　　　　　　　　　〕が成立

1701 年 スペイン継承戦争で神聖ローマ皇帝を支援。王号を許され，**プロイセン王国**となる

2 プロイセンの発展

①**フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世**の治世

A 徴兵制を敷いて軍事力を強化し，「兵隊王」と呼ばれる

B 農場領主制の担い手だった領主貴族〔　　　　　　〕を官僚や将校とする

②〔　　　　　　　　　　〕（大王）の近代化

A **啓蒙思想**の影響を受けて農業・商工業の保護・育成，教育の奨励などの改革に努める

※啓蒙思想家**ヴォルテール**を宮殿に招き，「**君主は国家第一の下僕である**」と自称。

→啓蒙専制君主（上からの近代化を目指した君主）の典型とされる

B ポツダムにロココ様式の宮殿〔　　　　　　　　　　〕を建設

③フリードリヒ２世の領土拡大

1740 年 **オーストリア継承戦争**がおこる

※**マリア＝テレジア**のハプスブルク家領継承に反対する諸国に，フランスとともに同調。戦争に介入して鉱工業地帯の〔　　　　　　　　　　〕を占領。

1748 年 アーヘン条約で**シュレジエン**を獲得

1756年　**七年戦争**がおこる

※イギリスと同盟してオーストリアと戦い，シュレジエンを確保。強国となる。

1772年　〔　　　　　　　　　　　〕に参加

※プロイセン，オーストリア，ロシアの3国がポーランドに侵入，国土を奪う。

※1795年までに3国によって領土全てが分割，ポーランド王国が消滅。

3　ハプスブルク家のオーストリア

①三十年戦争後のオーストリア

1648年　ウェストファリア条約で神聖ローマ帝国が形骸化

※ハプスブルク家のオーストリアが神聖ローマ帝国の称号を継承。

1683年　**第二次ウィーン包囲**でオスマン帝国を撃退

1699年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕を締結し，ハンガリーを奪還

→領内にチェコ（チェック）人，マジャール人など異民族が増える

②〔　　　　　　　　　　　　〕の治世

1740年　オーストリア大公となり，**ハプスブルク家領**を継承

→諸国が抗議し，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

1748年　アーヘン条約でハプスブルク家領継承を承認されるが，**シュレジエン**を失う

→国内改革の必要性を痛感。中央集権化に努め，行政・軍制改革を実施

1756年　フランスと同盟し，シュレジエン奪回を目指して〔　　　　　　〕をおこす

※イタリア戦争以来，敵対関係にあったハプスブルク家とフランス王家との同盟関係は，「**外交革命**」と呼ばれる。

1765年　〔　　　　　　　　　〕がオーストリア大公となり，母マリア＝テレジアと共同統治

※**啓蒙専制君主**として宗教寛容政策，農奴解放などの改革を進める。

→中央集権化が貴族や領内の異民族の反発を招き，改革のほとんどを撤回

まとめ

フリードリヒ2世は啓蒙専制君主として，行政機構の改革など上からの近代化を進めた。

オーストリアは領内にチェコ人やマジャール人など異民族が居住しており，急激な中央集権化は反発を招いた。

Chapter 2　ロマノフ朝ロシアの台頭

目標　モスクワ大公国のイヴァン４世がどのように領土拡大を進めたのかを知ろう。
ロマノフ朝ピョートル１世の外政はロシアに何をもたらしたのかを理解しよう。

1　モスクワ大公国の拡大

①**イヴァン３世**の治世

15 世紀後半　ビザンツ帝国最後の皇帝の姪との結婚により，ローマ皇帝の後継者を自任。

〔　　　　　　　　〕（皇帝）の称号を用いる

1480 年　モンゴルの支配から独立し，農奴制を強化

②〔　　　　　　　　　　　〕（雷帝）の治世

A　ツァーリの称号を正式に使用，大貴族を抑えて中央集権化を進める

B　農奴制を強化

C　カザン = ハン国を征服し，ヴォルガ川流域をおさえる

D　コサックの隊長〔　　　　　　　　　　　　〕の協力を得てシベリアに領土を拡大

2　ロマノフ朝の成立と発展

1613 年に**ミハイル = ロマノフ**が即位し，〔　　　　　　　　　　〕を開く。

→ 1670 年（～ 71 年）にコサックと農奴の反乱である**ステンカ = ラージン**の反乱が発生

①〔　　　　　　　　　　　　　　〕（大帝）の治世

西欧を視察し，国内の近代化を進める

1689 年　**清**と〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を結び，国境を画定

※アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境とする。

1696 年　黒海北東部の**アゾフ海**に進出

1700 年　ポーランド，デンマークと結んで

〔　　　　　　　　〕をおこし，スウェーデン

王**カール 12 世**と対立

※**スウェーデン**を破り，**バルト海**の覇権を奪う。

1712 年　バルト海沿岸に

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

ピョートル１世

を建設して遷都

※西ヨーロッパの文明摂取の拠点とする。

1721 年　デンマーク人の探検家〔　　　　　　　　　　〕をカムチャツカ方面へ派遣

→ 1728 年にベーリング海峡を確認

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

1762 年　夫ピョートル 3 世から帝位を奪い，皇帝となる

1772 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕を主導

※プロイセン，オーストリアとともにポーランドを分割し，領土を拡大。

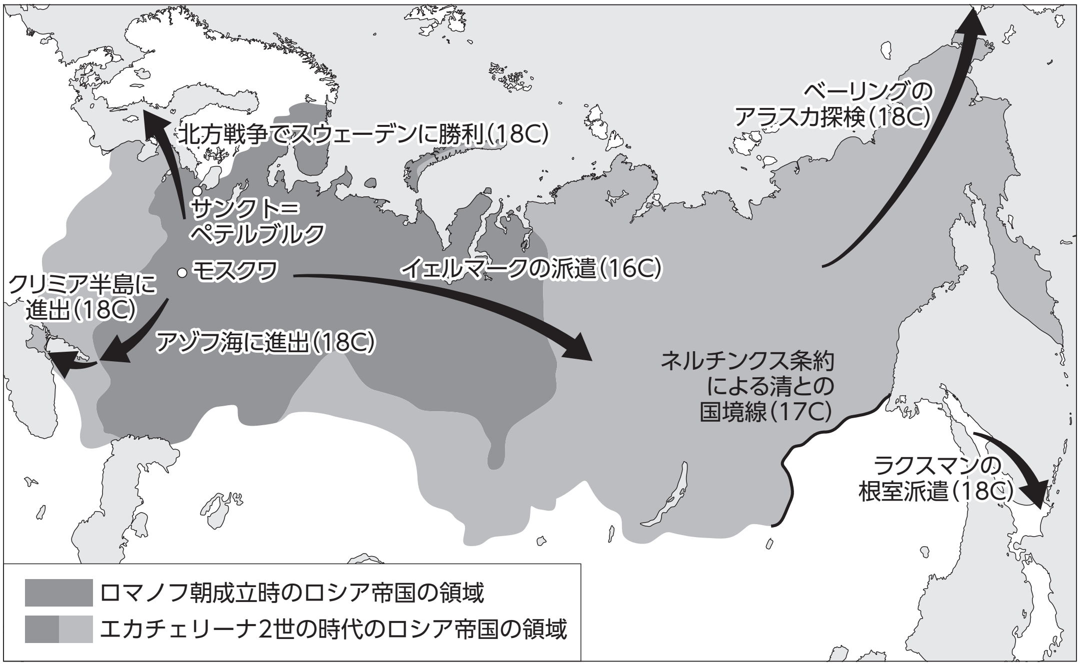
1773 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※コサック出身の**プガチョフ**が指導した農民反乱で，農奴解放を訴えた。

→鎮圧後，農奴制を強化

1783 年　クリム＝ハン国を併合し，**クリミア半島**に進出

1792 年　日本に使節**ラクスマン**を派遣。通商を求める



ロシアの領域の拡大

まとめ

コサックの首長イェルマークを東方に派遣し，シベリア開拓を進めた。
南方では黒海へ進出してアゾフ海，北方戦争ではバルト海の覇権を手に入れた。

第12講　PART5　確認問題

1 プロイセンを支配した国王の一族はどれか。

①　ヤゲウォ家　②　ザクセン家
③　ハプスブルク家　④　ホーエンツォレルン家

2 「君主は国家第一の下僕である」と称して改革を行ったプロイセン国王はだれか。

①　ヨーゼフ２世　②　フリードリヒ１世
③　フリードリヒ２世　④　ハインリヒ４世

3 農場領主制の担い手だったプロイセンの領主貴族はどれか。

①　コサック　②　ユンカー
③　ジェントリ　④　士大夫

4 鉱工業地帯のシュレジエンを巡って，1756年におこった戦争はどれか。

①　七年戦争　②　オーストリア継承戦争
③　スペイン継承戦争　④　ウィリアム王戦争

5 シュレジエン奪回を目指すマリア＝テレジアが，外交革命を行った国はどこか。

①　オランダ　②　スイス
③　ポーランド　④　フランス

6 スウェーデンと北方戦争を戦い，バルト海の覇権を奪ったロマノフ朝の王はだれか。

①　イヴァン3世　②　イヴァン4世
③　ピョートル1世　④　エカチェリーナ2世

7 ロシア，プロイセンとともにポーランド分割を行った国はどこか。

①　スウェーデン　②　フランス
③　オーストリア　④　オスマン帝国

8 1773年にロシアでおきた農民反乱を率いた人物はだれか。

①　プガチョフ　②　ラクスマン
③　コシューシコ　④　イェルマーク

第12講 【近世編】主権国家の形成
PART6 17 ～ 18 世紀の西欧文化

Chapter 1　17～18世紀の西欧思想

目標　17 ～ 18 世紀の科学技術にどのような変化があったのかを考えよう。
フランスの啓蒙思想が後世に与えた影響について学ぼう。

1　17～18世紀における西欧の科学技術

近世ヨーロッパではそれまでの迷信が否定され合理的な科学精神が発達した。「科学革命」と呼ばれる。

①イギリス

A 〔　　　　　　　　　　〕…血液循環の原理を発見

B **ボイル**…気体の圧力と体積の関係を解明し，近代化学の父とされる

C 〔　　　　　　　　　　〕…**万有引力の法則**を発見して『プリンキピア』を著す

D 〔　　　　　　　　　　〕…種痘法を開発，予防医学への道を開く

②フランス

A **ラヴォワジェ**…燃焼理論を説く。質量保存の法則を発見

B ラプラース…宇宙進化論を説く

③スウェーデン

〔　　　　　　〕…植物分類学を確立。分類学の父とされる

2　17～18世紀における西欧の哲学

①イギリス経験論

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（英）…観察と実験を重視し，現象から法則を導き出す帰納法を確立。イギリス経験論の基礎をつくる

②大陸合理論

A 〔　　　　　　　　〕（仏）…法則から現象を説明する演繹法を確立し，**大陸合理論**の基礎をつくる。『方法序説』の一節「われ思う，ゆえにわれあり」

B **ライプニッツ**（独）…単子（モナド）論を説き，信仰と合理論の調和を図る

C **スピノザ**（蘭）…万物に神が宿っているとする汎神論を主張

D〔　　　　　　　　〕（仏）…『パンセ（瞑想録）』「人間は考える葦である」

③ドイツ観念論

〔　　　　　〕（独）…経験論と合理論を統合。**ドイツ観念論**の基礎を築く

3 17〜18世紀における西欧の政治思想

①王権神授説

A **ボーダン**（仏）…**国家主権**の絶対性を説く。『国家論』

B **ボシュエ**（仏）…ルイ 14 世に仕えて王権神授説を説き，絶対王政を正当化

②自然法思想

〔　　　　　　　　　　　〕（蘭）…自然法を国際関係に適用。国際法の祖となる

③社会契約説

A〔　　　　　　　　〕（英）…『**リヴァイアサン**』を著して国家主権の絶対性を主張。自然状態では「万人の万人に対する闘争」を生むと説く

B〔　　　　　　〕（英）…『**市民政府二論**（統治二論）』を著して名誉革命を擁護

※革命権の思想はアメリカの独立戦争，フランス革命にも影響を与える。

④啓蒙思想

A〔　　　　　　　　　　　　　〕（仏）…『**法の精神**』を著し，三権分立を説く

B〔　　　　　　　　　　　〕（仏）…『哲学書簡』でフランスの後進性を批判

C〔　　　　　　〕（仏）…『人間不平等起源論』『**社会契約論**』を著し，人民主権を説く

D **ディドロ，ダランベール**（仏）…『**百科全書**』を編さん，啓蒙思想を普及させる

4 17〜18世紀における西欧の経済学

①〔　　　　　　　　〕…絶対王政国家でとられた国家による経済政策

※重金主義，貿易差額主義，産業保護主義の３段階がある。

②〔　　　　　　　　〕…富の源泉を農業生産とする。『経済表』の著者**ケネー**が主張

③**古典派経済学**…『諸国民の富（国富論）』の著者〔　　　　　　　　　　　　　　〕が創始した自由主義経済学

まとめ
それまでの迷信が否定されたことで，科学技術が一気に発達した。
啓蒙思想はアメリカ独立戦争やフランス革命の思想的背景となった。

Chapter 2　17〜18世紀の芸術

目標
17 〜 18 世紀のヨーロッパの建築様式におこった変化を理解しよう。
17 〜 18 世紀のイギリス文学におこった変化を理解しよう。

1　17〜18世紀における西欧の社会

①識字率が高まり，フランス，イギリス，ドイツなど諸国で**新聞**が発行される

②フランスの上流階級の女性などが主催する**サロン**や，新聞や雑誌の閲覧可能なイギリスの飲食店**コーヒーハウス**，フランスの**カフェ**などが誕生。社交や情報交換の場になる
→世論が形成され，王権も無視できなくなる

③各国で**科学アカデミー**や土木学校などが設立される

2　17〜18世紀の絵画

①フランドル派
A　〔　　　　　　　　　　〕…王侯，貴族らの注文を受けて宗教画，歴史画などを制作
B　**ファン＝ダイク**…チャールズ１世とその家族の肖像画を多く残す

②オランダ
A　〔　　　　　　　　　　　　〕…「光と影の画家」といわれる。代表作に「夜警」がある
B　**フェルメール**…市民の日常生活を描く

③スペイン
A　エル＝グレコ…トレドで活躍し，宗教画を多く残す
B　〔　　　　　　　　　　〕…宮廷画家として活躍。「女官たち」

④フランス
ワトー…ロココ様式の絵画を描く

3　17～18世紀の建築

①〔　　　　　　　　　〕様式

A　躍動的で豪華な表現が特徴

B　フランスの**ルイ14世**が造営した〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕，オーストリアのシェーンブルン宮殿が代表的建築

ヴェルサイユ宮殿

②〔　　　　　　〕様式

A　繊細で優美，フランスを中心に発展

B　プロイセンの**フリードリヒ2世**が造営した〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が代表的建築

4　17～18世紀の文学

①イギリス

A　ピューリタン文学…17世紀のピューリタン革命の時期に興隆

あ〔　　　　　　　　　〕…ピューリタン革命を支持。楽園追放を題材とした『失楽園』

い〔　　　　　　　　　〕…寓意物語『天路歴程』

B　空想旅行記…イギリスの海外発展を反映し18世紀に出版された

あ〔　　　　　　　　　　　〕…『ガリヴァー旅行記』でイギリス社会や政治を風刺

い〔　　　　　　　　　〕…『ロビンソン＝クルーソー』など多くの小説を残す

②フランス

ルイ14世のもと，悲劇の**コルネイユ**や**ラシーヌ**，喜劇の〔　　　　　　　　　　　〕の三大劇作家が活躍し，古典主義文学を確立

まとめ　豪華なバロック様式から，繊細で優美なロココ様式へと流行が移った。
17世紀には市民革命を背景にピューリタン文学が興隆したが，18世紀の植民地拡大などの影響により空想旅行記が流行った。

第12講　PART6　確認問題

1 万有引力の法則を発見して『プリンキピア』を著したイギリス人はだれか。

① ガリレイ　② ケプラー
③ ニュートン　④ ライプニッツ

2 イギリスのジェンナーの業績として正しいものはどれか。

① 血液の循環の原理を発見した　② 種痘法を開発した
③ 宇宙進化論を説いた　④ 植物分類学を確立した

3 演繹法を確立し，「われ思う，ゆえにわれあり」の言葉で有名なフランスの哲学者はだれか。

① カント　② フランシス＝ベーコン
③ デカルト　④ パスカル

4 著書『法の精神』で三権分立を説いた啓蒙思想家はだれか。

① ルソー　② ヴォルテール
③ ダランベール　④ モンテスキュー

5 17～18世紀のイギリスに誕生した，新聞や雑誌の閲覧が可能だった飲食店を何というか。

① サロン　② クラブ
③ コーヒーハウス　④ カフェ

6 代表作に『夜警』があり，「光と影の画家」といわれたオランダの画家はだれか。

① レンブラント　② ルーベンス
③ フェルメール　④ ベラスケス

7 フランスのヴェルサイユ宮殿に代表される建築様式はどれか。

① ロマネスク様式　② ロココ様式
③ ゴシック様式　④ バロック様式

8 ピューリタン革命を支持し，『失楽園』を執筆した作家はだれか。

① バンヤン　② ミルトン
③ スウィフト　④ デフォー

第 13 講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART1 ヨーロッパ世界の拡大

Chapter 1 ヨーロッパのアジア進出

目標
オランダが進出した地域を確認しよう。
インドにおけるイギリスとフランスの抗争がどのように決着したのかをおさえよう。

1 ポルトガル，スペイン，オランダの東南アジア進出

①ポルトガルの東南アジア進出

1505 年 **セイロン島**（スリランカ）に到達
1510 年 インド西岸の〔　　　　〕を占領。アジア進出の拠点とする
1511 年 マラッカ王国の王都**マラッカ**を占領
1512 年 香辛料の主産地**モルッカ諸島**に進出。香辛料貿易を独占
1543 年 **種子島**に漂着し，日本に鉄砲を伝える
1550 年 長崎の平戸に来航。以後，**南蛮貿易**が盛んになる
1557 年 明朝から〔　　　　　　〕の居住を認められ，中国との貿易の拠点とする

②スペインのフィリピン進出

1521 年 **マゼラン**がフィリピン諸島に到達
1571 年 ルソン島に〔　　　　　　〕を建設し，フィリピン経営の拠点とする
※大型帆船の**ガレオン船**を用いてマニラとメキシコのアカプルコを結ぶ
〔　　　　　　　　　　　　〕を行い，メキシコ銀を中国の絹や陶磁器と交換した。

③オランダのインドネシア進出

1602 年 貿易特許会社**東インド会社**を設立し，アジアへ進出
1619 年 ジャワ島の〔　　　　　　　　　〕（現ジャカルタ）に商館を設置
1623 年 〔　　　　　　　　　　　　〕を機にインドネシアからイギリスを排除
※モルッカ諸島のアンボイナで，オランダ商館員がイギリス商館員を虐殺。
→香辛料の主産地**モルッカ諸島**を支配。イギリスは**インド**へ拠点を移す
1624 年 **台湾**を占領，日中交易の中継基地とする
1641 年 ポルトガルから**マラッカ**を奪う

1652 年　アフリカ南端に〔　　　　　　　　　　　　〕を建設

1658 年　ポルトガルから**スリランカ**を奪う

2　イギリス，フランスのインドでの抗争

17 世紀後半　イギリス東インド会社が**マドラス，ボンベイ，カルカッタ**に，フランス東インド会社が**シャンデルナゴル，ポンディシェリ**に，インド進出の拠点をつくる

1744 年　インド争奪戦争〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※当初は，フランスのインド総督**デュプレクス**の活躍でフランスが有利だったが，のちに戦況が逆転。勝利したイギリスが南インドでの覇権を手中にする。

1757 年　七年戦争に応じて〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※〔　　　　　　　〕の活躍でフランス・ベンガル太守の連合軍を破る。

1763 年　**パリ条約**でフランスが植民地の武装解除

→イギリスがインドの支配を確立。フランスはインドシナ半島へ

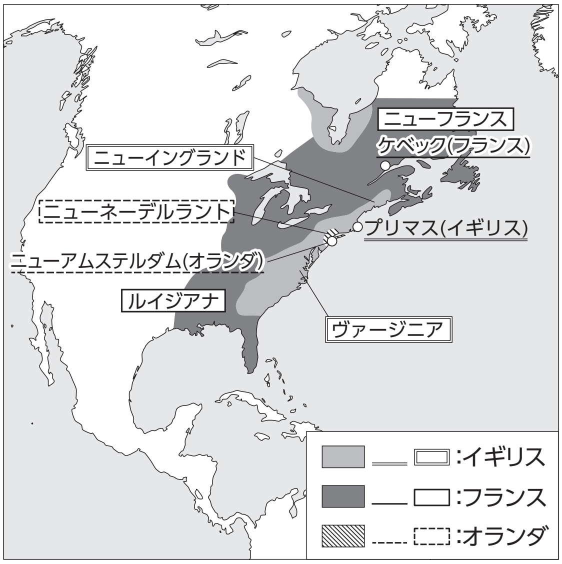
ヨーロッパのアジア進出

まとめ　オランダはジャワ島のバタヴィアを拠点として，インドネシアに進出した。プラッシーの戦いで勝利したことでイギリスがインド支配を進め，一方フランスはインドシナ半島に進出した。

Chapter 2　ヨーロッパのアメリカ進出

目標
イギリスが英蘭戦争の結果，オランダから獲得した地域を確認しよう。
イギリスとフランスの北米での抗争がどのように決着したのかをおさえよう。

1　オランダ，イギリス，フランスの北米進出



オランダ，イギリス，フランスの北米進出

①オランダの北米進出

17 世紀前半　北アメリカに**ニューネーデルラント植民地**を開く

1626 年　その中心地に〔　　　　　　　　　　　〕を建設

②イギリスの北米進出

16 世紀後半　エリザベス 1 世の時代にローリーが北アメリカに入植を試みるが，失敗

17 世紀初頭　北アメリカ南東部に〔　　　　　　　　　〕植民地を開く

1620 年　ピューリタンの一団〔　　　　　　　　　　　　　〕
が，東海岸に**ニューイングランド植民地**を形成
※国王ジェームズ 1 世による迫害を逃れたピューリタンたちが，**メイフラワー号**で北アメリカに渡り，**プリマス**などへ入植。

1664 年　オランダの植民地ニューネーデルラントを侵略。**ニューアムステルダム**を占領し〔　　　　　　　　　〕と改称
→第二次**イギリス = オランダ（英蘭）戦争**に勝利

17～18世紀前半　東海岸に**13植民地**が成立

③フランスのカナダ進出

17世紀初頭　セントローレンス川河口に〔　　　　　　　　　〕植民地を開く

17世紀後半　ミシシッピ川流域に進出し，〔　　　　　　　　　　〕植民地を開く

2　イギリスとフランスの北米での抗争

1689年　イギリスとフランスとの間に第二次英仏百年戦争がおこる（～1815年）

※イギリスとフランスが，ヨーロッパでの戦争と並行して植民地でも抗争。

1689年　ウィリアム王戦争（ファルツ継承戦争と並行）

1702年　**アン女王戦争**（スペイン継承戦争と並行）

1713年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕でイギリスはハドソン湾一帯などを獲得

1744年　**ジョージ王戦争**（オーストリア継承戦争と並行）

1754年　**フレンチ＝インディアン戦争**（七年戦争と並行）

1763年　〔　　　　　　　　〕が結ばれ，イギリスはフランスから**カナダ**と**ミシシッピ川以東のルイジアナ**を，スペインから**フロリダ**を獲得

→イギリスは北米大陸からフランスを排除し，植民地を拡大

3　大西洋三角貿易

①イギリスは，西ヨーロッパ・西アフリカ・アメリカを結ぶ**大西洋三角貿易**を展開

A　西ヨーロッパの武器や国内で生産した綿織物を西アフリカに輸出，黒人奴隷を輸入

B　西アフリカの黒人奴隷を北米の植民地に運び，砂糖，タバコ，綿花などを輸入

C　砂糖，タバコ，綿花などを西ヨーロッパで販売

②アメリカや西インド諸島で，黒人奴隷を酷使してサトウキビ，綿花，タバコなどを生産する大農園**プランテーション**を展開

③西アフリカの**ベニン王国**や**ダホメ王国**などが**奴隷貿易**に協力し，黒人奴隷を武器や工業製品と交換

まとめ

イギリスはニューアムステルダムを獲得し，ニューヨークと改称した。
イギリスはフランスとの覇権争いに勝ち，カナダやミシシッピ川以東のルイジアナを獲得し，北米大陸からフランスを排除した。

第13講 PART1 確認問題

1 ポルトガルが1510年に占領し，アジア進出の拠点としたのはどこか。

① ボンベイ　② ゴア
③ カルカッタ　④ マドラス

2 スペインがアカプルコ貿易で用いた大型帆船はどれか。

① ダウ船　② ガレー船
③ ジャンク船　④ ガレオン船

3 1619年にオランダ東インド会社が商館を建てて，東南アジア貿易の拠点としたのはどこか。

① マニラ　② マカオ
③ バタヴィア　④ マラッカ

4 1757年にイギリス東インド会社が，フランス・ベンガル太守の連合軍を破った戦いはどれか。

① プラッシーの戦い　② カーナティック戦争
③ カタラウヌムの戦い　④ ワールシュタットの戦い

5 イギリスが17世紀初頭に，北アメリカに開いた植民地はどこか。

① ルイジアナ植民地　② ニューネーデルラント植民地
③ ヴァージニア植民地　④ ケベック植民地

6 北米大陸で，1702 年にヨーロッパのスペイン継承戦争と並行しておこった戦争はどれか。

① アン女王戦争　② ジョージ王戦争
③ ウィリアム王戦争　④ フレンチ＝インディアン戦争

7 イギリスが北米大陸からフランスを駆逐した，1763 年の条約を何というか。

① ユトレヒト条約　② パリ条約
③ キャフタ条約　④ カルロヴィッツ条約

8 17 ～ 18 世紀に行われた大西洋三角貿易で，西アフリカから北米の植民地へ運ばれたのはどれか。

① 綿織物　② 武器
③ メキシコ銀　④ 黒人奴隷

第13講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART2 イギリスの産業革命

Chapter 1　産業革命の背景と発明

目標
イギリスになぜ工場労働力が豊富に存在したのかを考えよう。
綿布の機械化の流れを学ぼう。

1　イギリス産業革命の背景

18 世紀後半，「**資本**の形成」「**市場**の確保」「**労働力**の確保」の３つの条件を満たしたイギリスで，世界に先駆けて産業革命がはじまった。

①資本の形成
　A　大西洋を舞台に展開した**大西洋三角貿易**で莫大な利益を得る
　B　主要産業の**毛織物業**が繁栄

②市場の確保
　植民地戦争に勝利し，**北アメリカ**や**インド**などに広大な植民地を獲得
　→植民地で綿織物の原料である綿花を栽培させ，自国の製品を輸出

③労働力の確保
　A　**新農法**（ノーフォーク農法）の普及
　　※ノーフォークで開発された輪作法で，農業生産が飛躍的に増大（**農業革命**）。
　B　新農法導入のため〔　　　　　　　　　　　　〕（**エンクロージャー**）が進行
　　※議会の承認のもと，地主たちが農民から農地を合法的に取り上げて囲い込む。
　　→土地を失った農民が都市へ流入し，**工場労働者**となる

④豊富な資源と科学技術の発展
　A　鉄鉱石や石炭などの資源に恵まれていた
　B　科学革命を背景とする機械工学の伝統があった

2　綿工業の機械化

①イギリスの産業革命は**綿織物**の機械化を中心に進展
　※ 17 世紀以降にインドから安価な綿織物（キャラコ）が輸入されると，毛織物に比べて丈夫で染色も容易なことから大流行。政府はインド産綿布の輸入を禁止。

→インド産綿布に代わる国産の綿織物の必要性が高まり，織布・紡績の機械化が進む

②織布・紡績の技術革新

1733年 〔　　　　　　　　〕が織布用具の〔　　　　　〕を発明

※織布の作業能率が向上し，織布の生産が倍増。

→原料の綿糸の不足を引きおこし，紡績機の発明を促す

1764年頃 〔　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　〕（多軸紡績機）を発明

※一度に複数の糸をつむぐことができるようになる。

1769年 〔　　　　　　　　〕が**水力紡績機**を発明

※ジェニー紡績機を改良したもので，糸の生産力が飛躍的に高まる。

1779年 〔　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　〕を発明

1785年 〔　　　　　　　　〕が〔　　　　　〕を発明

※ワットが改良した蒸気機関を動力源とした織機。

3 産業革命におけるさまざまな発明

1709年 〔　　　　　　〕（父）がコークス燃料による**製鉄法**を発明

1735年 **ダービー（子）**がコークス製鉄法実用化に成功

→鉄の大量生産が可能になる

1769年 **ニューコメン**が考案した**蒸気機関**を〔　　　　　〕が改良

→さまざまな機械に動力として利用される

1793年 アメリカの〔　　　　　　　　〕が〔　　　　　　〕を発明

1807年 アメリカの〔　　　　　　〕が**蒸気船**クラーモント号を建造

→蒸気を動力にして進む外輪式蒸気船で，やがて帆船に取って代わった

1814年 〔　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　〕を改良

※蒸気機関を動力とする機関車で，1825年に実用化に成功。

蒸気船や蒸気機関車の発明は，交通機関や交通網を発展させた（**交通革命**）

まとめ

農業革命によって第二次囲い込みが進むと，失地農が都市に流入して工場の労働力となった。

ジョン＝ケイが飛び杼を発明すると，糸をつくる紡績機が進化を重ねていき，カートライトが力織機を発明した。

Chapter 2　イギリス産業革命の影響

目標　産業革命の結果，どのような問題が生まれたのかを考えよう。
産業革命によって発展した都市を学ぼう。

1　資本主義体制の成立と労働問題

①産業革命の影響

工場で機械によって製品を生産する工場制機械工業が普及

→**産業資本家**（資本を持つ経営者，〔　　　　　　　　　　〕）が労働者

（〔　　　　　　　　　　〕）を雇用して商品を生産し，利潤を得る経営形態

〔　　　　　　　〕体制が確立

②労働問題の発生

A　安価な労働力として，女性や子どもが雇用される

B　劣悪な労働環境のもと，低賃金で長時間労働を強制される

→産業資本家と労働者が対立

③労働組合の結成

1799年　団結禁止法を制定

※労働者の結社を禁止し，労働組合を違法とする。

1810年代　手工業者，労働者による機械打ちこわし運動（〔　　　　　　　　　　〕）がピークを迎える

1824年　団結禁止法が廃止される

→労働者が〔　　　　　　　〕を結成

2　新興工業都市の発展

産業革命によって工業が盛んになると，工業都市に人口が集中して都市化が急速に進んだ。

①〔　　　　　　　　　　〕

イギリス中西部にある工業都市。産業革命期には，綿織物業の中心地として繁栄

②〔　　　　　　　　　　〕

マンチェスターの外港。マンチェスターで生産された綿製品の輸出港として繁栄

→1830年に，マンチェスター・リヴァプール間に鉄道が開通

③バーミンガム

イギリス中部にある工業都市。周辺に石炭・鉄鉱石の産地があり，産業革命期には，製鉄業や機械工業の中心都市として繁栄

新興工業都市

3　産業革命の波及

1774 年　イギリスが機械の輸出を禁止

1825 年　イギリスが機械の輸出を一部解禁

1830 年代　七月革命（1830 年）後の**フランス**で産業革命がはじまる

独立を正式に承認（1831 年）された**ベルギー**で産業革命が進展

アメリカ = イギリス戦争（1812 年～ 14 年）後の**アメリカ**で産業革命がはじまる

1840 年代　**ドイツ**で産業革命が本格化

1890 年代　露仏同盟以降，**ロシア**で産業革命がはじまる

日清戦争（1894 年～ 95 年）前後から**日本**でも産業革命がはじまる

まとめ

産業革命の結果，資本主義が確立し，労働環境の悪化による長時間労働などの問題が発生した。

綿工業のマンチェスター，外港のリヴァプールなどが新興工業都市として発展した。

第 13 講　PART 2　確認問題

1 18 世紀後半，世界で最初に産業革命がはじまった国はどこか。

① オランダ　② ドイツ
③ イギリス　④ フランス

2 イギリスの産業革命の発端となった工業分野はどれか。

① 綿工業　② 毛織物業
③ 鉄鋼業　④ 製紙業

3 18 世紀後半に力織機を発明した人物はだれか。

① アークライト　② カートライト
③ クロンプトン　④ ハーグリーヴズ

4 19 世紀前半にスティーヴンソンが実用化したものはどれか。

① 蒸気機関　② 蒸気船
③ コークス製鉄法　④ 蒸気機関車

5 産業革命によって普及した生産様式はどれか。

① 工場制手工業　② 工場制機械工業
③ 問屋制家内工業　④ 家内制手工業

6 1810年代にピークを迎えた，労働者による機械打ちこわし運動はどれか。

① エンクロージャー　② レコンキスタ
③ ラダイト運動　④ チャーティスト運動

7 産業革命期に製鉄業や機械工業の中心都市として栄えた，イギリス中部の都市はどこか。

① バーミンガム　② ノッティンガム
③ マンチェスター　④ リヴァプール

8 ドイツで産業革命が本格化したのはいつ頃のことか。

① 18世紀後半　② 1830年代
③ 1840年代　④ 1890年代

第13講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART3 アメリカ独立革命

Chapter 1　アメリカ独立革命の背景

目標　アメリカの独立精神がどのように形成されたのかを考えよう。
イギリスの課税政策に対してアメリカがどう抵抗したかを学ぼう。

1　アメリカ13植民地と植民地議会

アメリカ 13 植民地

① 13 植民地の建設

A　**ヴァージニア植民地**：テューダー朝時代に入植がはじまり，ステュアート朝の時期にジェームズタウンが完成

B　**ニューイングランド植民地**：1620 年, ピューリタンの一団（**ピルグリム = ファーザーズ**）が〔　　　　　　　　　　　　〕にてプリマスに上陸
→入植者により植民地の基礎がつくられる。**ボストン**など

C　ペンシルヴェニア植民地：クェーカー教徒の**ウィリアム = ペン**が植民し，翌年，**フィラデルフィア**を建設

D　ジョージア植民地：13 植民地のうち最後の植民地

②〔　　　　　　　　　　　〕

入植者は自立精神が強く，各地で自治を行った

2　イギリスの課税政策と抵抗のはじまり

①植民地を巡るフランスとの抗争

イギリスは**フレンチ＝インディアン戦争**でフランスに勝利

→ 1763 年，〔　　　　　　　　〕でカナダとミシシッピ川以東のルイジアナをフランスから獲得

→以降イギリスはアメリカ植民地へ重商主義政策を強化

②イギリスのアメリカ植民地への課税政策

A　〔　　　　　　〕(1765 年)

出版物などに印紙を貼り付けることを義務化する法律を制定

→植民地側は〔　　　　　　　　　　　　〕と反発

印紙法に反発する人々

B　〔　　　　〕(1773 年)

東インド会社に茶の独占販売権を与える法律を制定

→ 1773 年，

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が勃発し，対立が激化

→イギリスは**ボストン港閉鎖**，マサチューセッツ植民地の自治権廃止など制裁を発動

③〔　　　　　　　　　　　　　　〕(1774 年)

植民地側は**フィラデルフィア**で会議を開き，イギリスに抗議

まとめ　13 植民地では植民地議会が自治を行っていたため，自立精神が強かった。印紙法に対して「代表なくして課税なし」と反発し，茶法に対してはボストン茶会事件で抵抗した。

Chapter 2　アメリカ独立戦争の過程とその後の状況

目標
アメリカ独立戦争の発端について学ぼう。
アメリカ合衆国憲法の特徴を理解しよう。

1　アメリカ独立戦争の勃発と過程

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の勃発

1775 年，アメリカ市民兵がコンコードへ派遣中のイギリス軍と

〔　　　　　　　　　　　　　　〕で衝突

②第 2 回**大陸会議**

フィラデルフィアで開かれ，〔　　　　　　　　　　　　　　〕が軍総司令官に任命される

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が著す

→独立派，中立派，国王派に分裂していた世論が独立に傾倒

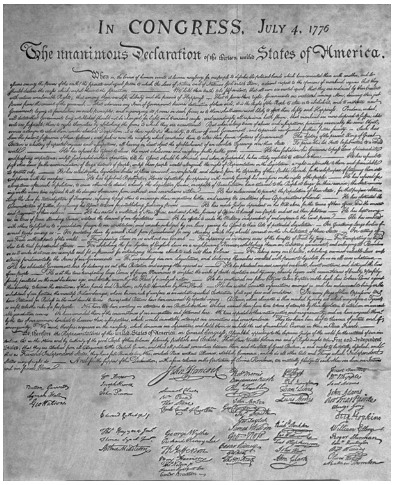
④〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

1776 年，

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

らが起草

→**人民主権**などを組み込む



アメリカ独立宣言の史料

2　アメリカ独立戦争の終結

①諸外国の支援

A　フランス，スペイン，オランダの支援

駐仏大使**フランクリン**がヨーロッパ外交で活躍し，支援を獲得

B　義勇兵の参戦

ラ＝ファイエット（フランス）や**コシューシコ**（ポーランド）などが義勇兵で参戦

C　武装中立同盟

ロシアの**エカチェリーナ 2 世**が主導し，〔　　　　　　　　　　　　　　〕を結成→イギリスは外交的に孤立

②〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の成立

大陸会議で**アメリカ連合規約**（1777 年）が採択され，成立

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

1781 年，独立軍がイギリス軍に勝利

→アメリカの勝勢が決定的となる

④独立承認

1783 年，〔　　　　　　　　〕でアメリカの独立が承認される

→アメリカはミシシッピ川以東のルイジアナを獲得

3 アメリカ合衆国憲法の成立

①憲法制定議会の開催

1787 年，**憲法制定会議**が開催され，**連邦派**と**反連邦派**（州権主義）が対立

→〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

②アメリカ合衆国憲法の内容

A　**人民主権**，立法・司法・行政の**三権分立**，抵抗権の明記

※先住民や黒人の権利は認められなかった。

B　〔　　　　　　　　〕の採用による連邦政府の権限を強化

※ただし各州にも大幅な権限を認めた。

③新政府の発足

〔　　　　　　　　　　〕が初代大統領に

国務長官に**ジェファソン**（反連邦派），財務長官に**ハミルトン**（連邦派）が任命される

まとめ

アメリカ市民兵とイギリス本国軍がレキシントンで衝突し，アメリカ独立戦争がはじまった。

人民主権や三権分立が反映されて連邦主義をとったが，各州の大幅な自治権が認められた。

第13講　PART3　確認問題

1 アメリカ13植民地のうち，入植したピューリタンが中心となって建設された植民地はどこか。

①　ジョージア植民地　②　ニューイングランド植民地
③　ペンシルヴェニア植民地　④　ヴァージニア植民地

2 1774年にフィラデルフィアで開催された会議はどれか。

①　大陸会議　②　ニケーア公会議
③　植民地議会　④　民会

3 「代表なくして課税なし」と反発を受け，撤廃された法律はどれか。

①　航海法　②　印紙法
③　茶法　④　首長法

4 アメリカ独立戦争のきっかけとなったアメリカの市民兵とイギリス軍の衝突がおこった場所はどこか。

①　プリマス　②　ボストン
③　フィラデルフィア　④　レキシントン

5 アメリカ独立宣言を起草した中心人物はだれか。

①　トマス＝ジェファソン　②　トマス＝ペイン
③　ウィリアム＝ペン　④　ローリー

6 アメリカ独立戦争において植民地側の勝利を決定づけた戦いはどれか。

① ヨークタウンの戦い ② プラッシーの戦い
③ レキシントンの戦い ④ ニコポリスの戦い

7 アメリカの独立が承認された条約を何というか。

① ウェストファリア条約 ② トルデシリャス条約
③ ユトレヒト条約 ④ パリ条約

8 アメリカ合衆国憲法の制定において，連邦政府の権限を強化する考え方はどれか。

① 重商主義 ② 重農主義
③ 連邦主義 ④ 州権主義

第13講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART4 フランス革命の勃発と進展

Chapter 1　フランス革命の背景と勃発

目標　フランス革命前の，フランスの身分の構造について学ぼう。
フランス人権宣言発表の目的を考えよう。

1　フランス革命の背景

①フランスの身分制社会

免税特権を持つ〔　　　　　　　　〕（聖職者）・〔　　　　　　　　〕（貴族）と〔　　　　　　　　〕（平民）に分かれる**旧体制**（〔　　　　　　　　　　　　　〕）が存在

→第三身分の不満が増大

※平民の中にもブルジョワジーや大地主と貧民などの間に格差があり，各層に不満が生じていた。

②時代背景

A　啓蒙思想が発展

B　対外戦争での財政窮乏，宮廷の浪費

C　ユグノー亡命による経済疲弊やアメリカ独立戦争の影響

③改革の雰囲気の高まり

〔　　　　　　　　　〕が『**第三身分とは何か**』を著す

④ルイ16世の財政改革

テュルゴーや〔　　　　　　　　〕が特権身分への課税を主張

→第一身分・第二身分が反発したため，国王〔　　　　　　　　　〕は〔　　　　　　〕を招集

→三部会は議決方法（特権身分は身分別議決を要求）を巡って紛糾

→第三身分は独自に〔　　　　　　　　〕を組織

⑤**球戯場の誓い**（〔　　　　　　　　　　　　　〕）

憲法を制定するまで議会を解散しないことを決意

→国民議会を**憲法制定議会**と改称

2 フランス革命の勃発

①ルイ 16 世の対応

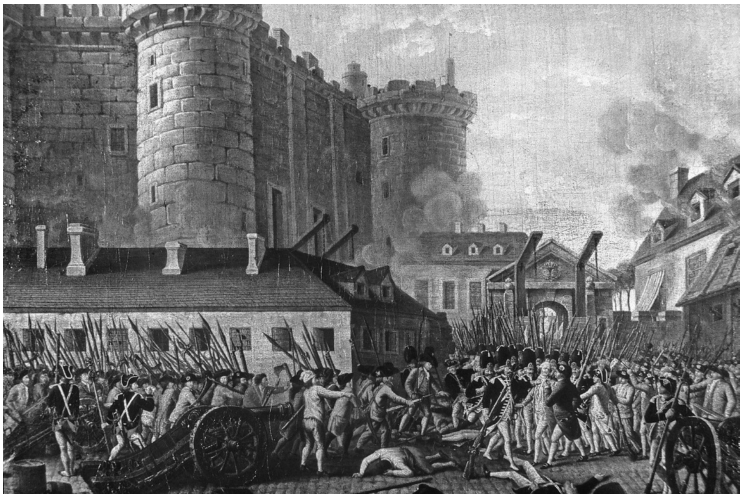
対立が深まるなか，ルイ 16 世はネッケルを罷免し，軍をパリに進駐させた

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

1789 年 7 月 14 日，パリの民衆が襲撃

→〔　　　　　　　　　　　　〕が勃発

→暴動は全国に波及し，「大恐怖（パニック）」と呼ばれるほどに拡大



バスティーユ牢獄の襲撃

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

国民議会が封建的特権の廃止を決議

※領主制・農奴制・領主裁判権・十分の一税の廃止，**土地の譲渡は有償**など。

→暴動は収まる

④フランス〔　　　　　　　　〕

法の前の平等，国民主権，三権分立，私有財産の不可侵

→理念を掲げ革命を正当化

まとめ

第一身分の聖職者や第二身分の貴族に免税特権があり，第三身分の平民が不満を募らせていた。

人権宣言は国民主権や法の前の平等を掲げ，フランス革命の正当性を内外に示すものであった。

Chapter 2　改革の進展と革命戦争

目標
フランス国王への信頼が失われていった背景を理解しよう。
ジャコバン派の中で急進派が台頭していった経緯を知ろう。

1　革命の進展と諸外国の反発

①［　　　　　　　　　　　　　　］（1789年）

パリの女性たちにより国王一家がヴェルサイユからパリに連れ戻される

②諸改革の進展

［　　　　　　　　　　　　　　］や**ミラボー**らが改革を推進した

A　教会財産の国有化

B　聖職者の公務員化

C　度量衡の統一（のちのメートル法など）

D　ギルドの廃止

③［　　　　　　　　　　　　　　］

ミラボーの死去で国王はオーストリアへの逃亡を画策したが，ヴァレンヌで捕らえられて失敗

→国王はフランス国民からの信頼を失う

④**ピルニッツ宣言**

オーストリア，プロイセンの両国王がフランス革命の非正当性とフランス国王の名誉回復を主張

⑤［　　　　　　　　　　］の制定

立憲君主政の維持を図る憲法が制定される

→制限選挙を定めるなど，革命の現実からずれる

2　革命戦争と第一共和政の成立

①［　　　　　　　］の成立

1791年憲法に基づき成立。派閥が形成される

→［　　　　　　　　］は立憲君主政，［　　　　　　　　］は共和政（穏健），

［　　　　　　　　　　］（**山岳派**）は共和政（過激）

共和政を主張するジロンド派が主流

②**革命戦争**の勃発

ジロンド派内閣が革命に反対するオーストリアに宣戦

→義勇兵を募る

※このときマルセイユの義勇兵が歌った歌が**「ラ＝マルセイエーズ」**で，現在のフランス国歌である。

③ジャコバン急進派の台頭

義勇兵や〔　　　　　　　　　　〕（貴族が着用したキュロット（半ズボン）をはいていない者の意味）が集まり，フランス革命の原動力となった

④〔　　　　　　　　　　〕（1792 年）

パリの民衆と義勇兵が国王を幽閉し，ブルボン朝の**王権を停止**する事件が発生

⑤〔　　　　　　　　　　〕

フランス軍がオーストリア・プロイセン連合軍に初めて勝利

※**ゲーテ**はこのとき「この日この場所から世界史の新しい時代がはじまる」と記した。

BATAILLE DE VALMY (1792).

ヴァルミーの戦い

⑥〔　　　　　　　　　　〕の成立（1792 年～）

新憲法制定のための〔　　　　　　　　　　〕が招集され，王権の廃止が宣言された

→翌 1793 年，**ルイ 16 世**が処刑される

まとめ

ヴァルレンヌ逃亡事件で国王がフランスからの逃亡を図ったことで，国民の支持を失った。

革命戦争がはじまって義勇兵が集まると，急進派が勢力を拡大し，王権を停止させた。

第13講　PART4　確認問題

1 第一身分・第二身分・第三身分に分かれた革命前のフランスの社会体制はどれか。

① 旧体制（アンシャン＝レジーム）　② エンコミエンダ制
③ カースト制度　④ 共和政

2 財政改革のためにルイ16世が招集した会議はどれか。

① 国民議会　② 憲法制定議会
③ 三部会　④ 連邦議会

3 フランス革命の発端となった出来事はどれか。

① ボストン港閉鎖　② サン＝バルテルミの虐殺
③ バスティーユ牢獄の襲撃　④ ヴァルミーの戦い

4 フランス革命の理念を示したものはどれか。

① 権利の請願　② 権利の章典
③ 「権利の宣言」　④ 人権宣言

5 ルイ16世一家が女性たちによりパリに連れ戻された出来事はどれか。

① 八月十日事件　② ヴァレンヌ逃亡事件
③ カノッサの屈辱　④ ヴェルサイユ行進

6 制限選挙を定めるなどフランス革命の現実からずれ，立憲君主政の維持を図った法律はどれか。

① 統一法　② ナントの王令
③ マグナ＝カルタ（大憲章）　④ 1791年憲法

7 フランス革命時の立法議会において立憲君主政を主張した一派はどれか。

① ジャコバン派（山岳派）　② フイヤン派
③ カルヴァン派　④ ジロンド派

8 国民公会が成立させたフランスの新しい政治体制はどれか。

① 第一共和政　② 大統領制
③ 選挙王政　④ 直接民主政

第 13 講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART5 革命の急進化と失速

Chapter 1 国民公会と革命の急進化

目標
国民公会の政策の特徴を理解しよう。
国民公会の革命が失速した理由を考えよう。

1 第 1 回対仏大同盟と反乱

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1793 年）
ルイ 16 世の処刑とフランスのベルギー進出に対抗して結成される。イギリス首相**ピット**の主導

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕
大規模な徴兵制に反対するフランス西部の農民が王党派と結び反乱をおこす
→鎮圧される

2 国民公会と革命の急進化

①国民公会の構成員
〔　　　　　　　　　　　　　　〕（主導），マラー，ダントン，エベールなど

②〔　　　　　　　　　　　　〕
共和政に対応した民主的憲法が制定される。**男性普通選挙制**など

③国民公会の施策
理性を崇拝した急進的な施策を行った

A　土地を得た農民の保守化

B　〔　　　　　　　　　　〕
生活必需品や賃金の最高価格を決定

C　〔　　　　　　〕（共和暦）
グレゴリウス暦に代えて導入。カトリック的なものを排除

D　理性崇拝

E　黒人奴隷の解放を宣言

3　恐怖政治と革命の失速

①国民公会の〔　　　　　　　　〕

内外の危機に対応するため〔　　　　　　　　　　〕に強力な行政権を持たせる

→**革命裁判所**で反革命派を〔　　　　　　　　〕（断頭台）に送り，次々に処刑

②革命への反発

A　農民の保守化

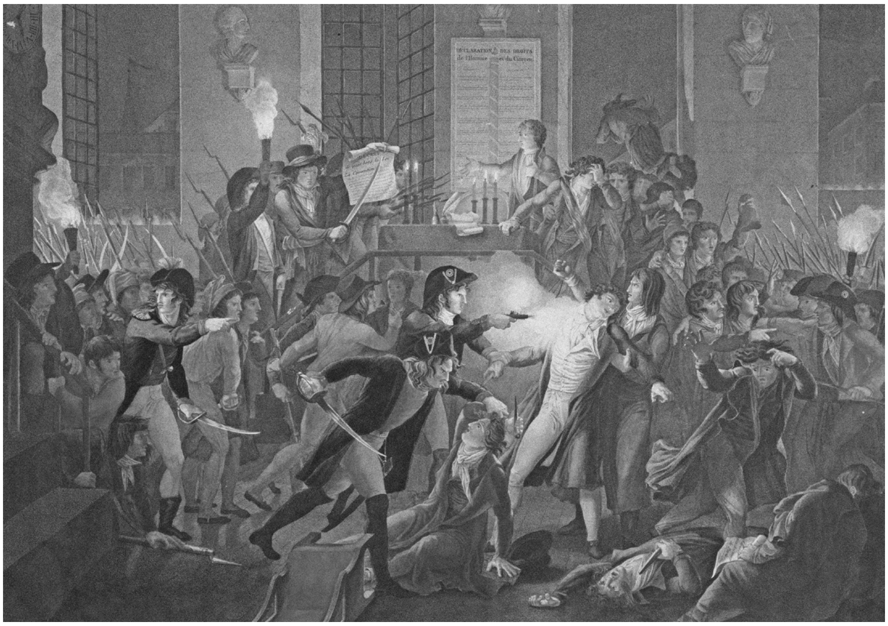
B　中産階級は最高価格令で当てが外れる

C　恐怖政治への不満

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1794 年）

恐怖政治を主導した**ロベスピエール**が処刑される

→ジャコバン派の失脚



テルミドール９日のクーデタ

まとめ

封建地代の無償廃止や最高価格令，男性普通選挙制など，第三身分を中心とした急進的な改革であった。

恐怖政治を進めたため国民の支持を失い，テルミドール９日のクーデタで国民公会は主導権を失った。

Chapter 2　革命の失速とナポレオンの台頭

目標
ナポレオンが総裁政府を倒し，統領政府を成立させた経緯を理解しよう。
ナポレオンによる統領政府の政治の特徴をおさえよう。

1　総裁政府の成立

①［　　　　　　　　　　］
　テルミドール９日のクーデタ後に成立。制限選挙を導入し，穏健な共和政を目指す
②［　　　　　　　　］の発足
　５人の総裁による権力分散政治
③［　　　　　　　　　　　　　　　　　］発生
　総裁政府の打倒が企てられた
　→その他，王党派の陰謀や革命戦争の継続による財政窮乏などにより総裁政府は不安定

2　ナポレオンの台頭

①［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］
　コルシカ島出身の軍人。王党派の討伐で台頭
②**イタリア遠征**（1796年～97年）
　オーストリア軍を破る
　→第１回対仏大同盟は崩壊
③**エジプト遠征**（1798年～99年）
　イギリスとインドの連絡路を寸断するために遠征
　→**第２回**［　　　　　　　　　　］が結成される（ピットによる）
　→アブキール湾の戦いでネルソンのイギリス海軍に敗北し，失敗
　※この遠征のときにロゼッタ＝ストーンが発見され，神聖文字の解読に繋がった。
④［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］（1799年）
　ナポレオンが総裁政府を打倒
　→［　　　　　　　　］を樹立し，第一統領に就任。独裁的権力を手中にした

3　統領政府期のナポレオン

ナポレオン＝ボナパルト

①内政重視

フランス銀行設立，公教育制度の拡充などを推進

②第二次イタリア遠征

リュネヴィルの和約を結び，オーストリアと和睦

③コンコルダート（宗教和約）

1801年，フランス革命後から対立してきたローマ＝カトリック教会と和解

④［　　　　　　　　　　　　　　］

1802年，イギリスと和約を結ぶ→第２回対仏大同盟が崩壊

⑤［　　　　　　　　　］に就任

独裁体制をさらに強化

⑥フランス民法典（［　　　　　　　　　　　　　　　］）の制定

1804年，私有財産の不可侵など，フランス革命の成果を集約

まとめ

王党派の討伐や革命戦争で活躍し，ブリュメール18日のクーデタで総裁政府を倒して統領政府を樹立した。

フランス銀行設立やナポレオン法典を制定して内政を安定させた一方，対外的には和親策をとった。

第13講　PART5　確認問題

1 ルイ 16 世の処刑を機に，ヨーロッパ諸国がフランスに対抗するために結成したものはどれか。

① ユトレヒト同盟　② 第 1 回対仏大同盟
③ デロス同盟　④ 武装中立同盟

2 国民公会を主導した人物はだれか。

① ロベスピエール　② マザラン
③ ピット　④ リシュリュー

3 強力な行政権限を持ち，反対派を弾圧して恐怖政治を行った機関はどれか。

① 立法議会　② 公安委員会
③ 鉄騎隊　④ 元老院

4 恐怖政治を主導した人物が処刑され，ジャコバン派が失脚した出来事はどれか。

① ラダイト運動　② ヴァンデーの反乱
③ 名誉革命　④ テルミドール 9 日のクーデタ

5 1795 年憲法の成立により発足した政権はどれか。

① 連邦政府　② 三頭政治
③ 総裁政府　④ 庶民院

6 ナポレオンがイギリスとインドの連絡路を断つためにおこした軍事行動はどれか。

① エジプト遠征　② イタリア遠征
③ フレンチ＝インディアン戦争　④ ユグノー戦争

7 ナポレオンがクーデタにより打ち立てた政権はどれか。

① 独裁政府　② 元首政
③ 専制君主政　④ 統領政府

8 ナポレオンがイギリスと結び，第２回対仏大同盟を崩壊させた条約を何というか。

① コンコルダート　② ユトレヒト条約
③ アミアンの和約　④ リュネヴィルの和約

第 13 講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART6 ナポレオンの時代

Chapter 1　ナポレオンの戴冠とヨーロッパ征服

目標
ナポレオン 1 世の征服により，ドイツがどのような状況に陥ったのかを確認しよう。
ナポレオン 1 世による大陸封鎖令が諸国に与えた影響を理解しよう。

1　ナポレオンの戴冠と第一帝政

ナポレオンの戴冠

1804 年，ナポレオンは**国民投票**により皇帝に即位し，〔　　　　　　　　　　　　　　〕となる

→〔　　　　　　　　〕が成立

→イギリスのピットはアミアンの和約を破棄し，**第 3 回対仏大同盟**を結成

ナポレオン戴冠式

2　ナポレオンの征服戦争

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

ネルソンのイギリス海軍に敗北

→イギリス侵攻を断念

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（三帝会戦）

ロシア・オーストリア連合軍を撃破

→第３回対仏大同盟が崩壊

③［　　　　　　　　　　］の結成

1806 年，ナポレオン 1 世が西南ドイツ諸邦をまとめる

→［　　　　　　　　　　　　　］が消滅

④［　　　　　　　　　　　　　］

プロイセンとロシア撃破後に締結

→プロイセンとロシアの領土を削減。プロイセン領ポーランドに

［　　　　　　　　　　　　　　］を建国

⑤［　　　　　　　　　　］（ベルリン勅令）

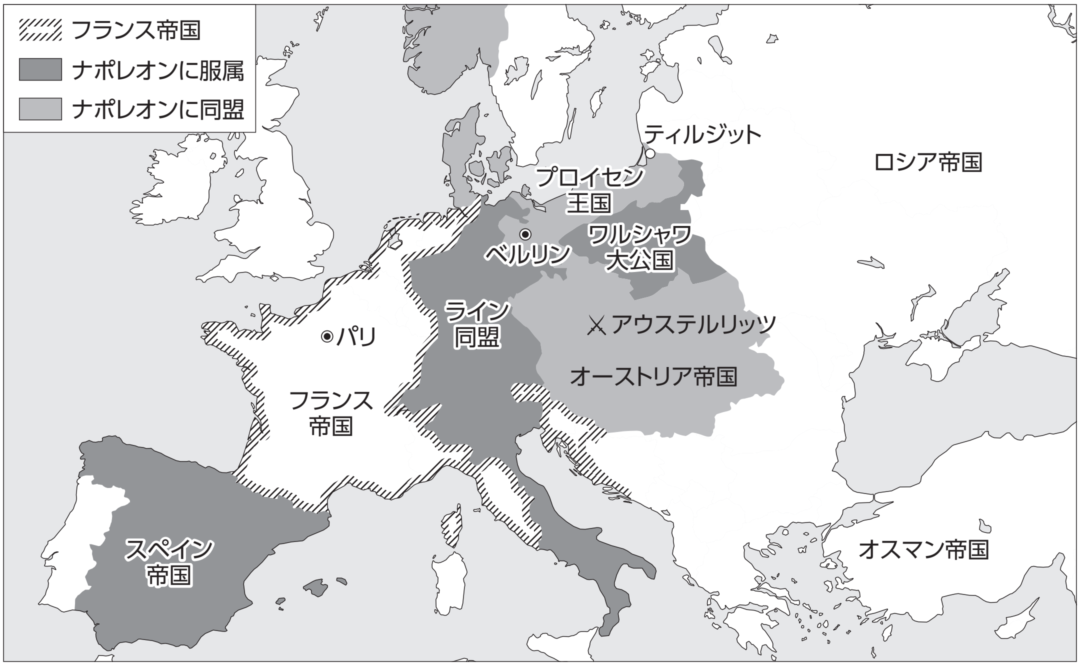
1806 年，イギリスと大陸諸国間の通商，交通を禁止。フランスによる大陸経済支配を狙う

→イギリスは植民地が多く打撃は少なかった

→大陸諸国はイギリス市場を失い，不満を募らせる

⑥ヨーロッパ支配

兄弟をヨーロッパ諸国の王につけて支配を固めた



ナポレオンの支配領域

まとめ
西南ドイツ諸邦をライン同盟にまとめられ，神聖ローマ帝国は滅亡した。大陸封鎖令で大陸の支配を確立しようとしたが，イギリスには打撃が少なく，イギリス市場を失った諸国の不満を招いた。

Chapter 2　ナポレオン時代の崩壊

目標
ナポレオンの没落の経緯を確認しよう。
フランス革命とナポレオンが後世の世界に及ぼした影響を理解しよう。

1　諸国の目覚め

ナポレオンの征服により諸国に自由主義とナショナリズムが波及した。

①プロイセン改革

A 〔　　　　　　　　〕と〔　　　　　　　　　　　〕による改革

→農民解放などの改革が行われた

B 〔　　　　　　　〕

〔　　　　　　　　　　　　　　〕という連続講演で**国民意識**を持つことを訴えた

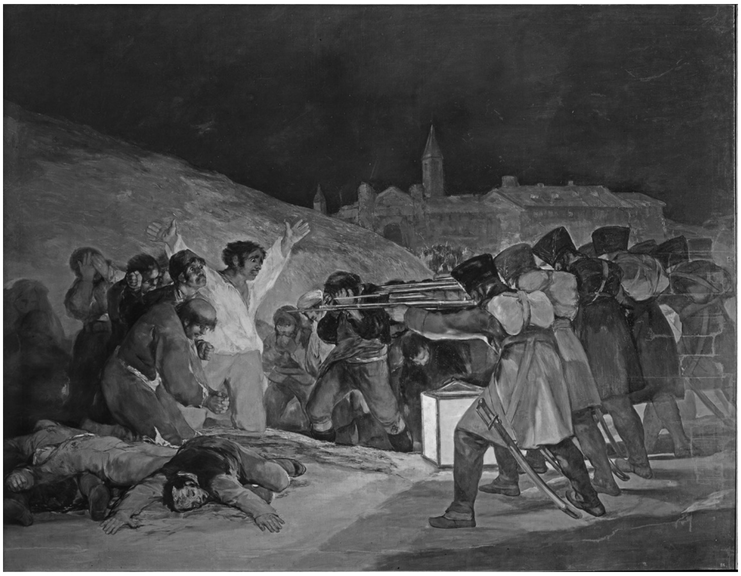
C **ベルリン大学**の設立

フンボルトにより設立される

②スペイン反乱

ナポレオン支配に対して民衆が抵抗

→〔　　　　〕はナポレオンに抵抗する民衆の姿を絵画に描いた（**「1808年5月3日」**）



「1808年5月3日」

2　ナポレオンの没落

①［　　　　　　　　　　］

1812 年，大陸封鎖令を無視したロシアに侵攻

→モスクワを攻略したが，冬将軍やロシアのゲリラに苦戦して失敗

②解放戦争

1813年，［　　　　　　　　　　　　　　］（**諸国民戦争**）でプロイセン・オーストリア・ロシア連合軍に敗北

→翌年，パリを占領されてナポレオンは失脚。**エルバ島**に流刑

③ブルボン復古王政

［　　　　　　　　　　］が即位し，ブルボン朝が復活

④百日天下

フランス革命とナポレオン戦争の収拾を図る**ウィーン会議**が長引く

→ナポレオンはエルバ島を脱出。パリに戻り，一時的に帝政を復活

⑤［　　　　　　　　　　　　　　］

イギリスの**ウェリントン**将軍に敗北

→ナポレオンは大西洋の孤島［　　　　　　　　　　　　］に流刑

3　フランス革命とナポレオンの歴史的意義

①**自由主義**

封建体制打破に繋がる

→以降，19 世紀には各地で革命運動が勃発

②［　　　　　　　　　　　　］

国民国家の思想

→以降，統一運動や独立運動が頻発

まとめ

ナポレオンはロシア遠征の失敗を皮切りに諸国による解放戦争で敗北し，失脚した。

封建体制を打破する自由主義と，国民国家を目指すナショナリズムの思想を後世に波及させた。

第13講 PART6 確認問題

1 ナポレオンが皇帝になったことにより成立したフランスの政治体制はどれか。

① 軍管区制　② 冊封体制
③ 第一帝政　④ 立憲君主政

2 ナポレオン 1 世がロシア・オーストリア連合軍に勝利した戦いはどれか。

① アウステルリッツの戦い　② アブキール湾の戦い
③ トラファルガーの海戦　④ ワールシュタットの戦い

3 ナポレオン 1 世によって組織された西南ドイツ諸邦の同盟はどれか。

① ロンバルディア同盟　② ライン同盟
③ ハンザ同盟　④ ペロポネソス同盟

4 イギリスとヨーロッパ大陸諸国の通商，交通を禁止するために発出されたものはどれか。

① 金印勅書　② 「鎖国」政策
③ 海禁政策　④ 大陸封鎖令

5 連続講演「ドイツ国民に告ぐ」によってドイツの人々の国民意識を目覚めさせようとしたのはだれか。

① フィヒテ　② ハルデンベルク
③ フンボルト　④ シュタイン

6 ナポレオン1世がプロイセン・オーストリア・ロシアの連合軍に敗北した戦いはどれか。

① 諸国民戦争　② ロシア遠征
③ プラタイアの戦い　④ 第二次ウィーン包囲

7 エルバ島を脱出したナポレオンがウェリントン将軍に敗北した戦いはどれか。

① スペイン反乱　② ワーテルローの戦い
③ タラス河畔の戦い　④ ライプツィヒの戦い

8 フランス革命とナポレオンの征服戦争によって芽生えた国民国家の思想が生み出したものはどれか。

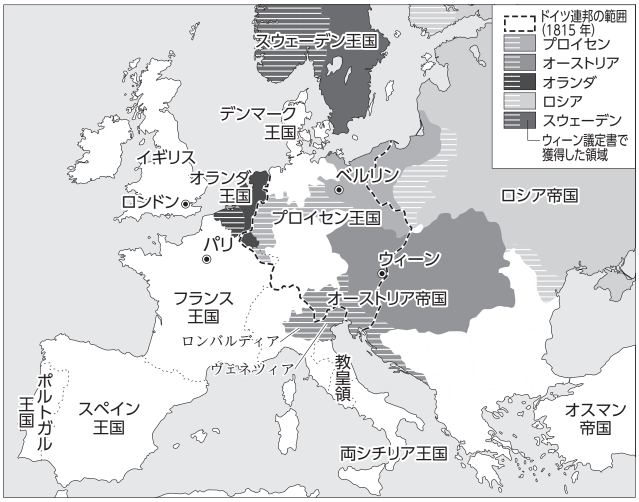
① 啓蒙専制主義　② デモクラシー
③ ナショナリズム　④ 自由主義

第 14 講 【近代編】ウィーン体制
PART1 ウィーン体制の成立と反動

Chapter 1　ウィーン体制の成立とその反動

目標
ウィーン会議で原則となった考え方について学ぼう。
ウィーン体制の反動にはどのようなものがあったのかを考えよう。

1 ウィーン会議とウィーン体制の成立



ウィーン会議当時のヨーロッパ勢力図

①［　　　　　　　　　　　　］の開催

1814 年，ヨーロッパ各国代表が集まり，ナポレオン戦争後の国際秩序について話し合う

A　［　　　　　　　　　　　　］（オーストリア外相（のち宰相））が主催

カースルレー（イギリス），**ハルデンベルク**（プロイセン），**アレクサンドル 1 世**（ロシア），［　　　　　　　　　　］（フランス）らが参加

B　会議の原則

あ　［　　　　　　　　］：フランス革命前の政治体制を正統とみなす

い　［　　　　　　　　］：大国間のパワーバランスを取る

②［　　　　　　　　　　　　］の調印

A　イギリス…オランダから**ケープ植民地**，**スリランカ**を獲得

B　フランス，スペイン，両シチリア王国…**ブルボン朝**が復活

C　ドイツ…**神聖ローマ帝国は復活せず**

→〔　　　　　　　　　〕が成立したが，統一的な連邦とはならなかった

D　プロイセン…西ポンメルンなどを獲得し，領土を拡大

E　オーストリア…**ロンバルディア**，**ヴェネツィア**を獲得

F　オランダ…オーストリアから〔　　　　　　　　〕を獲得

G　ロシア…**フィンランド**を獲得

H　ポーランド…〔　　　　　　　　　　　　〕が成立→国王は**ロシア皇帝が兼任**

③〔　　　　　　　　　　　〕の成立

自由主義と**ナショナリズム**を抑圧した復古的な国際秩序がつくられた

A　〔　　　　　　　　〕：ロシアのアレクサンドル 1 世が提唱した同盟

→イギリスやローマ教皇，オスマン帝国を除くヨーロッパの全君主が参加

B　〔　　　　　　　　〕：イギリス・オーストリア・プロイセン・ロシアによる軍事同盟を結成

→フランスがのちに加盟し，五国同盟に

2　ウィーン体制の動揺

ウィーン体制に反発する人々がナショナリズム運動をおこすが，いずれも鎮圧された。

①ドイツ

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（学生同盟）運動

→**メッテルニヒ**により弾圧

②イタリア

秘密結社〔　　　　　　　　　　〕による改革運動も，失敗

③スペイン

スペイン立憲革命

④ロシア

ニコライ 1 世の即位に反発した青年将校たちによる〔　　　　　　　　　　　〕の乱

まとめ

ウィーン会議では，正統主義と勢力均衡が原則となった。
ドイツではブルシェンシャフトが，イタリアではカルボナリが統一運動を進め，ロシアではデカブリストの乱が発生した。

Chapter 2　ギリシアとラテンアメリカ諸国の独立

目標　ギリシア独立戦争でイギリスやロシアがギリシアを支援した理由を考えよう。
ラテンアメリカの独立を進めた勢力を知ろう。

1　ギリシア独立戦争

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の勃発

1821 年，ギリシアがオスマン帝国からの独立運動を開始

②義勇兵の参加

イギリスの詩人**バイロン**など，ヨーロッパ中から義勇兵が参加。フランスの画家**ドラクロワ**が**「キオス島の虐殺」**を描く

③イギリス，ロシア，フランスの支援

イギリスはインドへの経路，ロシアは不凍港を求めてギリシア独立を支援

→ナヴァリノの海戦でオスマン帝国軍を撃破

④**アドリアノープル条約**

ロシアとオスマン帝国間で締結。ギリシアの独立を承認

→イギリスが危惧

⑤〔　　　　　　　　　　〕

1830 年，ギリシアの独立が国際的に承認される

→ロシアの黒海北岸進出は失敗。のちに**東方問題**に発展

2　ラテンアメリカの独立

①独立運動の展開

植民地生まれの白人である〔　　　　　　　　　　〕を中心に独立運動が進む

→**ペニンスラール**（本国の白人）の支配に抵抗

※ラテンアメリカ社会では，ほかにも〔　　　　　　　　　　〕（白人と先住民インディオの混血）や**ムラート**（白人と黒人の混血）などの階層が存在。

②〔　　　　　〕の独立

黒人の〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が指導。フランス

から独立し，世界初の黒人共和国となる

→各地の独立運動に影響

③ラテンアメリカ諸国の独立

A　メキシコ…［　　　　　　　　　　］の指導

B　大コロンビア，ボリビア…［　　　　　　　　　　］の指導

C　アルゼンチン，チリ，ペルー…［　　　　　　　　　　］の指導

D　ブラジル…ポルトガルから平和的に独立

④パナマ会議

シモン＝ボリバルが提唱して開催

→ラテンアメリカ諸国の平和と独立維持のため，連帯を主張

⑤イギリスやアメリカの支援

A　イギリス

［　　　　　　　　］外交を展開

→ラテンアメリカ市場への進出を企図し，諸国の独立を支持

B　アメリカ

［　　　　　　　　　　］

でアメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を主張

ラテンアメリカの独立

まとめ　イギリスはインドへの経路開拓を目的として，ロシアは不凍港を求める南下政策で，ギリシアの独立を支援した。
植民地生まれの白人であるクリオーリョを中心に，独立が進められた。

第 14 講　PART 1　確認問題

1 ウィーン会議を主催したオーストリアの外相（のち宰相）はだれか。

① カースルレー　② ハルデンベルク
③ メッテルニヒ　④ タレーラン

2 ウィーン会議の原則の一つで，フランス革命前の政治体制への復帰を目指す考え方はどれか。

① 正統主義　② 帝国主義
③ 勢力均衡　④ 国民主義

3 ロシア皇帝が提唱したウィーン体制を支える国際的枠組みはどれか。

① 第 3 回対仏大同盟　② 学生同盟
③ 神聖同盟　④ 四国同盟

4 イタリア統一を目指す運動をおこした秘密結社はどれか。

① トーリー党　② ホイッグ党
③ カルボナリ　④ デカブリスト

5 ギリシア独立戦争の様子を描いたフランスの画家はだれか。

① ラファエロ　② ドラクロワ
③ ボッティチェリ　④ バイロン

6 ラテンアメリカ諸国独立運動の中心となった植民地生まれの白人の呼称はどれか。

① ペニンスラール　② クリオーリョ
③ メスティーソ　④ ムラート

7 フランスから独立し，世界初の黒人共和国となった国はどこか。

① アルゼンチン　② チリ
③ ペルー　④ ハイチ

8 大コロンビア，ボリビアの独立を指導した人物はだれか。

① サン＝マルティン　② イダルゴ神父
③ トゥサン＝ルヴェルチュール　④ シモン＝ボリバル

第14講　【近代編】ウィーン体制
PART2 七月革命とイギリスの自由主義改革

Chapter 1　フランス七月革命と各地への影響

目標
七月革命が勃発した原因を学ぼう。
七月革命が各地へ与えた影響を理解しよう。

1　七月革命の勃発

①**ルイ18世**の中道政治

ブルボン復古王政において中道政治を推進（革命の成果を反映）

②〔　　　　　　　　　　　〕の反動政治

A　貴族を保護する反動政治

→国民の不満が増大

B　〔　　　　　　　　　　〕**出兵**

国民の不満をそらすため海外派兵を行うが，効果なし

→選挙を行うが国王派は敗北

→未招集の議会を解散し，言論・出版の自由を制限

③〔　　　　　　　　〕の勃発

1830年7月，パリの民衆が蜂起し，国王は退位・亡命

④〔　　　　　　　　〕の成立

自由主義者〔　　　　　　　　　　　　　　〕が即位

→のちに専制化し，上層ブルジョワジーを優遇

「民衆を導く自由の女神」

2 七月革命の影響

①［　　　　　　　　　　］（南ネーデルラント）

　オランダから独立し，立憲王国となる

②イギリス

　第 1 回選挙法改正により選挙制度改革が行われる

③［　　　　　　　　　　　　］

　独立を求めるワルシャワ蜂起はロシアにより鎮圧され，失敗

④イタリア

　カルボナリが再度蜂起し，独立と統一を目指すが失敗

　→その後，カルボナリは消滅

⑤ドイツ統一運動も失敗に終わる

まとめ

七月革命は，シャルル 10 世の反動政治に対してパリの民衆が蜂起して勃発した。
革命の影響でベルギーが独立を達成したが，ポーランドの反乱は鎮圧され，ドイツやイタリアの統一運動も失敗した。

Chapter 2　イギリスの自由主義改革

目標
第 1 回選挙法改正で選挙権を得た階層を確認しよう。
穀物法が廃止となった背景を理解しよう。

1　選挙法の改正

①**産業革命**の進展

イギリスでは〔　　　　　　　　　　　　〕（産業資本家）が台頭

→身分に見合った待遇がなく，不満を募らせる

②〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

1832 年，選挙制度が改革され，ブルジョワジーが選挙権を得る。有権者が極めて少ない〔　　　　　　　　　　〕は廃止

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

労働者が選挙権要求運動をおこす。〔　　　　　　　　〕（**ピープルズ＝チャーター**）を掲げる

→フランスの**二月革命**で高揚

2　労働問題の進展

①〔　　　　　　　　　　〕（機械打ちこわし運動）の勃発

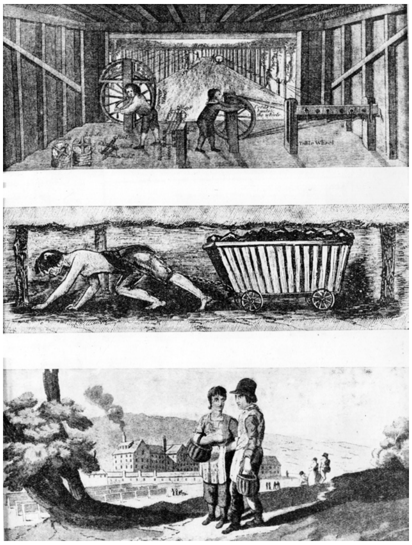
機械化の進展に抵抗する労働問題が発生

②**団結禁止法**の廃止

労働組合運動の合法化に繋がる

③〔　　　　　〕の成立（1802 年，19 年，33 年など）

労働環境・待遇が改善される



炭鉱で働く子ども

3 自由主義貿易

①〔　　　　　　　　　　　　〕の貿易独占の廃止

A　インド貿易（綿花）の独占廃止

←**アメリカ＝イギリス戦争**（米英戦争）でアメリカからの綿花供給が止まる

B　中国貿易（茶）の独占廃止

→東インド会社はインドの統治機関に

②〔　　　　　　〕の廃止

ナポレオン戦争後に，穀物の輸入に高関税をかけ，国内の地主階級を保護

→パンの値上がりに労働者が苦慮

→**コブデン・ブライト**らの産業資本家が〔　　　　　　　　　　　　〕を結成。みずからの利益を守るために撤廃運動を展開

→ 1846 年に廃止

③**航海法**の廃止

1849 年に廃止。**自由主義貿易**が確立される

④奴隷貿易や奴隷制の廃止

1807 年に奴隷貿易禁止。1833 年に**奴隷制廃止**（イギリス植民地）

まとめ　第 1 回選挙法改正では，ブルジョワジー（産業資本家）が選挙権を獲得した。労働者の不満を解消し，ブルジョワジーの利益を守るために，穀物法の廃止が叫ばれた。

第14講　PART 2　確認問題

1 フランスのブルボン復古王政において反動政治を行った国王はだれか。

① シャルル10世　② チャールズ2世
③ ルイ16世　④ ルイ18世

2 1830年にパリの民衆が蜂起し，国王を退位させた出来事はどれか。

① フランス革命　② ピューリタン革命
③ 七月革命　④ 名誉革命

3 七月王政でフランス国王に即位した人物はだれか。

① ルイ＝フィリップ　② アレクサンドル1世
③ マリア＝テレジア　④ アンリ4世

4 19世紀にオランダから独立し，立憲王国となった国はどこか。

① デンマーク　② ベルギー
③ ポーランド　④ ルクセンブルク

5 イギリスで1832年の第1回選挙法改正により廃止されたものはどれか。

① 団結禁止法　② 奴隷制
③ 免税特権　④ 腐敗選挙区

6 イギリス労働者による選挙権要求運動において掲げられた文書はどれか。

① マグナ = カルタ（大憲章）　② 人民憲章（ピープルズ = チャーター）
③ 人権宣言　④ モンロー宣言

7 イギリスで発生した，機械化の進展に反対する労働者の運動はどれか。

① チャーティスト運動　② ラダイト運動
③ ブルシェンシャフト運動　④ バクティ運動

8 イギリスでコブデン・ブライトらの運動により撤廃された法律はどれか。

① 工場法　② 航海法
③ 穀物法　④ 審査法

第14講　【近代編】ウィーン体制
PART3 ウィーン体制の崩壊

Chapter 1　社会主義思想の発展

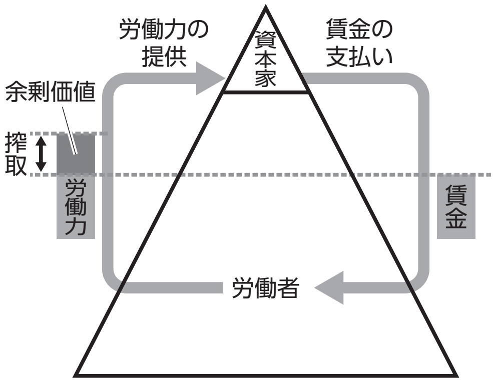
目標
社会主義思想が出現した背景を考えよう。
マルクスの科学的社会主義が，どのように社会主義を実現しようとしたのかをおさえよう。

1　社会主義の発生と初期の社会主義思想

①［　　　　　　　　　　　　　］の出現

資本主義の発展に伴い，貧富の差，労働問題など，資本主義社会の矛盾が生じる

→私有財産を廃止し，生産手段を共有して平等な社会を目指す思想が出現



資本家と労働者の構造

②空想的社会主義

A　［　　　　　　　　　　　　］（イギリス）

工場法の成立に尽力したほか，ニューラナークで模範工場を運営。ニューハーモニー村を設立するも，失敗

B　［　　　　　　　　　　　　　　　］，**フーリエ**など。**ルイ＝ブラン**は国家による生産統制を主張（いずれもフランス）

③無政府主義（アナーキズム）

A　［　　　　　　　　　　　　］（フランス）　無政府主義の先駆者。著書は『財産とは何か』

B　［　　　　　　　　　　　　］（ロシア）　マルクスと対立

資本家による労働者搾取

2 マルクスの科学的社会主義

①**科学的社会主義**の思想

弁証法的唯物論と階級闘争理論により，資本主義の没落を予言

②〔　　　　　　　　　〕

1848 年，ドイツの〔　　　　　　　　〕と〔　　　　　　　　　　〕が発表。労働者の団結を訴える

③〔　　　　　　〕

マルクスが理論を確立。後世に大きな影響を与える

④**第一インターナショナル**の成立

1864 年，社会主義者の国際的組織として結成される

まとめ

資本主義社会では労働者が抑圧されたため，生産手段を共有して平等な社会を目指す社会主義思想が誕生した。
労働者の団結によって階級闘争に勝利し，資本家を打倒して社会主義を実現しようとした。

Chapter 2　フランス二月革命と「1848年革命」

目標
二月革命によるフランスの政治情勢の変遷を学ぼう。
ドイツの統一問題が，三月革命を経てどのように決着したのかを確認しよう。

1　二月革命

①七月王政期のフランス

七月王政期に産業革命が進展し，中小ブルジョワジーと労働者が成長

→国王**ルイ＝フィリップ**が上層ブルジョワジーを優遇し，専制政治を行う（銀行家の王）

②選挙権要求運動

市民は**「改革宴会」**を開催し，選挙権を要求

→ギゾー内閣は「改革宴会」を禁止し，選挙権を制限

③〔　　　　　　　　　　〕の勃発

1848 年 2 月，パリの市民が蜂起。国王は亡命

→〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

→臨時政府はブルジョワジーが中心だったが，**ルイ＝ブラン**などの社会主義者も参画

④社会主義者とブルジョワジーの対立

社会主義者は失業者救済のため〔　　　　　　　　　　　　〕を設立するが，資本家や農民は反発

→**四月選挙**で社会主義者は敗北。労働者が蜂起するが（**六月蜂起**），鎮圧される

⑤〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（ナポレオンの甥）の大統領就任

ナポレオンの権威によって政治を統括。**1851 年クーデタ**で大統領権限を拡大

→翌 52 年に国民投票で〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕となる（**第二帝政**）

2　三月革命

①〔　　　　　　　　　　〕の勃発

ウィーンとベルリンで勃発

→二月革命の影響でおこった独立を求める運動などは「**1848 年革命**」，

〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる

②ウィーン三月革命

メッテルニヒが追放される。帝国内の諸民族が独立・自治を求めて反発運動をおこす

A　ハンガリー

〔　　　　　　　　　　〕の指導の下にマジャール人の独立運動がおこる

B　ベーメン（ボヘミア）

スラヴ民族会議がプラハで開かれる

→諸民族間の利害対立などにより革命運動は失敗，弾圧される

③ベルリン三月革命

ドイツ統一に関する〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が開かれる

→〔　　　　　　　　〕主義（オーストリアを含むドイツ統一）と，

〔　　　　　　　　〕主義（オーストリアを除いてプロイセンを中心にドイツを統一）が対立

→**小ドイツ主義**が勝利するが，プロイセン王の戴冠拒否で失敗。議会は弾圧される

④反動政治の進展

革命運動が失敗した後，オーストリア，ドイツでは反動的な政治が行われた

3　二月革命の影響

①イギリス

チャーティスト運動が高揚

②ポーランド

独立運動がおこるが，ロシアにより鎮圧される

③イタリア

〔　　　　　　　　　　　〕を組織した〔　　　　　　　　　　　〕が「**ローマ共和国**」を指導し，統一運動を展開

→フランスの介入で失敗

まとめ

二月革命の結果，資本家と労働者の対立が顕著となったが，ルイ＝ナポレオンが大統領に就任して独裁を行った。

フランクフルト国民議会では大ドイツ主義と小ドイツ主義が対立し，プロイセン王の戴冠拒否でドイツの統一は失敗した。

第 14 講　PART 3　確認問題

1 ニューラナークでの模範工場運営などで知られる社会主義者はだれか。

① サン＝シモン　② フーリエ
③ ルイ＝ブラン　④ オーウェン

2 『財産とは何か』を著し，無政府主義の先駆者とされるのはだれか。

① バクーニン　② シェイエス
③ プルードン　④ ミラボー

3 マルクスとエンゲルスが労働者の団結を訴えた文書はどれか。

① 『共産党宣言』　② 「95 か条の論題」
③ 「ドイツ国民に告ぐ」　④ 「権利の宣言」

4 社会主義の理論を確立したマルクスの著書はどれか。

① 『統治二論』　② 『資本論』
③ 『社会契約論』　④ 『国富論』

5 二月革命直後に成立したフランスの政治体制はどれか。

① 第一共和政　② 第二共和政
③ 第二帝政　④ 大統領制

6 ウィーン三月革命の影響を受けてハンガリーで独立運動を指導した人物はだれか。

① ルイ = ナポレオン　② ミュンツァー
③ コシュート　④ コシチューシコ

7 ベルリン三月革命後にドイツ統一に関して開かれた会議はどれか。

① スラヴ民族会議　② 「改革宴会」
③ フランクフルト国民議会　④ ロンドン会議

8 青年イタリアを組織した人物はだれか。

① オコンネル　② マラー
③ ギゾー　④ マッツィーニ

第15講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART1 イタリアとドイツの統一

Chapter 1　イタリア統一運動の完成

目標
サルデーニャ王国のイタリア統一運動が，誰によって進められたのかを知ろう。
イタリアの統一が達成された経緯を知ろう。

1　サルデーニャ王国のイタリア統一運動

1848 年の革命運動の失敗後，〔　　　　　　　　　　　　〕が統一運動を進めた。

①サルデーニャ王国の台頭

1831 年　革命家の**マッツィーニ**が**青年イタリア**を結成

1849 年　**マッツィーニ**らが共和政府〔　　　　　　　　　　〕を樹立するも失敗

1849 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が，**サルデーニャ王国**の国王になる

1852 年　〔　　　　　　　〕が，サルデーニャ王国の首相に就任

※鉄道建設など，近代化を推進。また，**クリミア戦争**に参戦するなど，巧みな外交戦術で王国の国際的地位を向上させる。

②イタリア統一戦争

1858 年　サルデーニャ王国が，フランス皇帝**ナポレオン３世**と**プロンビエールの密約**を結ぶ

※イタリア統一戦争支援の代わりに，〔　　　　　　　　　〕，〔　　　　　〕の割譲を約束。

1859 年　**オーストリア**と開戦。フランスの支援を得て勝利（**イタリア統一戦争**）

→オーストリアから北イタリアの〔　　　　　　　　　　　〕を獲得

ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世

1860 年　〔　　　　　　　　　　〕を併合

※代償として，フランスに**サヴォイア・ニース**を割譲。

1860 年　**青年イタリア**出身の革命家〔　　　　　　　　　〕が，義勇軍「**千人隊**」を率いて**両シチリア王国**を占領

※千人隊は赤シャツを着用したことから，**赤シャツ隊**とも呼ばれた。

→占領したシチリア島や南イタリアを，サルデーニャ国王に献上

2 イタリア統一の達成

①イタリア王国の成立

1861 年 **ヴィットーリオ = エマヌエーレ 2 世**を初代国王とする**イタリア王国**が成立

1866 年 **プロイセン = オーストリア**（普墺）**戦争**にプロイセン側で参戦

→オーストリアとの講和条約により，〔　　　　　　　　　　　〕を併合

1870 年 **プロイセン = フランス**（普仏）**戦争**に乗じて，ヴァチカンを除く

〔　　　　　　　　　　　〕を併合。**イタリア統一**をほぼ達成

※ローマ教皇は「**ヴァチカンの囚人**」と宣言し，イタリア政府と対立。

②「**未回収のイタリア**」問題

〔　　　　　　　　　〕や〔　　　　　　　　〕地域はオーストリアの領土として残り，

領土問題でオーストリアと対立

イタリア統一までの分裂状況

まとめ

イタリア統一運動は，サルデーニャ王国のヴィットーリオ = エマヌエーレ 2 世と首相のカヴールによって進められた。

イタリア王国は普墺戦争に乗じてヴェネツィアを，普仏戦争に乗じてローマ教皇領を併合し，統一が達成された。

Chapter 2　ドイツ統一とドイツ帝国の成立

目標
ドイツの統一がどのように達成されたのかを考えよう。
ビスマルク外交の特徴を理解しよう。

1　ドイツ統一運動

1815 年　ウィーン議定書に基づき，35 君主国と 4 自由市からなる**ドイツ連邦**が成立

1834 年　経済学者**リスト**らの提唱で〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

※プロイセンを中心とした経済的統一が進む。

1848 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を開催

※ドイツの統一を巡り，プロイセン中心の**小ドイツ主義**をとるか，オーストリアを含む**大ドイツ主義**をとるかで紛糾。

→小ドイツ主義が採択されるも，普王の載冠拒否で失敗

2　プロイセン王国の統一運動

1861 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕が**プロイセン王**として即位

1862 年　**ユンカー**出身の〔　　　　　　　　　　〕がプロイセン首相となる

※軍備拡張政策〔　　　　　　　　〕を推進して，ドイツ統一を目指した。

※「現在の大問題は演説や多数決ではなく，鉄（武器）と血（兵士）によってのみ解決される」と演説したことから，こう呼ばれる。

1864 年　〔　　　　　　　　　　　　　〕でオーストリアと連合する

→シュレスヴィヒ・ホルシュタインの分割問題でオーストリアと対立

1866 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（普墺戦争）が勃発

※オーストリアと戦って勝利。このとき，**ドイツ連邦**が解体。

1867 年　プロイセンを盟主とする〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

※南ドイツ諸邦を除く，マイン川以北の 22 の国で結成された連邦国家。

1867 年　アウスグライヒ（妥協）で，

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（二重帝国）が成立

※オーストリア皇帝がハンガリー国王を兼ねる同君連合であった。

1870 年　**スペイン王位継承問題**を機に

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（普仏戦争）が勃発

※プロイセンを主力とするドイツがフランスを圧倒。ナポレオン３世を捕虜にした。

3　ドイツ帝国の政治

①ドイツ帝国の成立

1871 年　普仏戦争末期の１月，ドイツ統一を宣言。

プロイセン王**ヴィルヘルム１世**が**ヴェルサイユ宮殿**で即位し，

〔　　　　　　　　　〕が成立

※ 22 君主国と３自由市からなる連邦国家で，プロイセン王が皇帝位を世襲。

ドイツ帝国戴冠式

1871 年　プロイセン首相〔　　　　　　　　　〕がドイツ帝国初代首相となる

1871 年　フランスと講和し，〔　　　　　　　〕・〔　　　　　　　〕を獲得

②ビスマルクの内政

A 〔　　　　　　　〕

政教分離政策に反対する南部のカトリック勢力を「帝国の敵」として弾圧

B 〔　　　　　　　　　　　　　〕（1878 年）の制定

ドイツ社会主義労働者党など，社会主義的な政党・労働組合の活動を禁止。

C 社会保障制度の導入（社会政策）

労働者の支援を得るため，災害保険・疾病保険・養老保険などを制定

③ビスマルクの外政

1873 年　オーストリア・ロシアと〔　　　　　　　〕を結ぶ

1882 年　オーストリア・イタリアと〔　　　　　　　〕を結ぶ

1887 年　ロシアと〔　　　　　　　　　〕を結ぶ

※フランスの孤立化とヨーロッパの勢力均衡を目的に同盟網を構築し，**ビスマルク体制**と呼ばれる国際体制をつくりあげた。

まとめ

ドイツは「鉄血政策」で軍備補強を行い，普墺戦争や普仏戦争に勝利して統一を達成した。

フランスを孤立させるため，ビスマルクは三国同盟や再保障条約を結び，ヨーロッパの勢力均衡を図った。

第15講 PART1 確認問題

1 1852年からサルデーニャ王国の首相を務め，イタリア統一に貢献した人物はだれか。

① カヴール ② マッツィーニ
③ ガリバルディ ④ ブルネレスキ

2 1859年のイタリア統一戦争によって，サルデーニャ王国が獲得した地域はどこか。

① ヴェネツィア ② トリノ
③ ロンバルディア ④ ローマ

3 義勇軍「千人隊」を率いて両シチリア王国を占領し，その地をサルデーニャ王国に献上した革命家はだれか。

① ブルネレスキ ② ガリバルディ
③ マッツィーニ ④ カブール

4 1870年以後もオーストリア領に残り，「未回収のイタリア」と言われたのは，南チロルとどこか。

① ニース ② シチリア島
③ サヴォイア ④ トリエステ

5 ドイツの統一と憲法制定のために，1848年に開催された会議はどれか。

① 憲法制定国民議会 ② ウィーン会議
③ フランクフルト国民議会 ④ 憲法制定会議

6 1862 年にプロイセン首相となり，鉄血政策を推進した人物はだれか。

① ヴィルヘルム 1 世　② ヴァレンシュタイン
③ メッテルニヒ　④ ビスマルク

7 ドイツ統一過程の 1870 年に，スペイン王位継承問題をきっかけにおこった戦争はどれか。

① スペイン継承戦争　② プロイセン = オーストリア戦争
③ プロイセン = フランス戦争　④ クリミア戦争

8 フランスの孤立化を図るドイツが，1873 年にオーストリア，ロシアと締結した同盟はどれか。

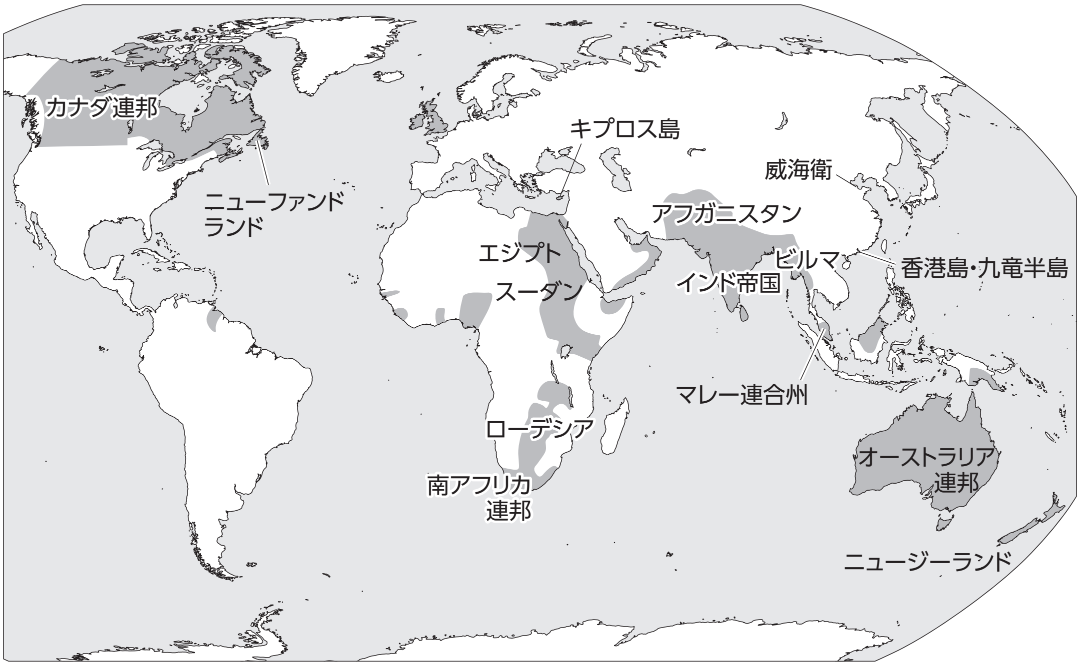
① 三帝同盟　② 三国同盟
③ 再保障条約　④ ライン同盟

第 15 講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART2 19 世紀後半のイギリスとフランス

Chapter 1　ヴィクトリア時代のイギリス

目標
19 世紀後半の保守党と自由党の政治の特徴を比べてみよう。
第 2 回，第 3 回選挙法改正ではどのような人々が選挙権を獲得したのかをおさえよう。

1　イギリスの繁栄



イギリスの勢力範囲

①イギリスの最盛期

1837 年　［　　　　　　　　　　　　　　　　　］が即位（～ 1901 年）

※圧倒的な軍事力と経済力を背景に，「**パクス = ブリタニカ**」を実現

1851 年　ロンドンで世界初の［　　　　　　　　　　　　］を開催

※ガラス張りの水晶宮（クリスタルパレス）が，イギリスの国力を世界に誇示。

19 世紀半ば　圧倒的な工業生産力を誇り，「**世界の工場**」と呼ばれる

1875 年　保守党の**ディズレーリ**首相が，**スエズ運河株式会社**の株を買収

1877 年　**ヴィクトリア女王**を皇帝とするイギリス領**インド帝国**を樹立

1882 年　**エジプト**を事実上の保護国とする

②二大政党制による議会政党政治の定着

グラッドストン率いる**自由党**と，**ディズレーリ**率いる**保守党**が交互に政権を担当

A〔　　　　　　〕…ホイッグ党が起源。産業資本家が支持層。自由主義的な政策

B〔　　　　　　〕…トーリ党が起源。地主階級，貴族が支持層。帝国主義的な政策

第 1 回万国博覧会の水晶宮

2　選挙権の拡大

1832 年　ホイッグ党内閣のもとで**第 1 回選挙法改正**が実現

→ブルジョワジー（産業資本家）に選挙権が拡大

1837 年　労働者による政治運動〔　　　　　　　　　　〕がおこる

→男性普通選挙制などを要求して集会，請願運動を行ったが，成果を得られないまま 1850 年代に終息

1867 年　保守党内閣のもとで〔　　　　　　　　　　〕が実現

→都市労働者が選挙権を獲得した

1870 年　公立学校の初等教育を定めた**教育法**を制定

1871 年　労働組合を合法化する**労働組合法**を制定

1884 年　グラッドストン自由党内閣のもとで〔　　　　　　　　　　〕が実現

→農業労働者，鉱山労働者が選挙権を獲得した

まとめ

保守党ではディズレーリを中心に帝国主義的政策を行ったが，自由党はグラッドストンを中心に自由主義的政策を行った。

第 2 回では都市労働者が，第 3 回では農民や鉱山労働者が選挙権を獲得した。

Chapter 2　フランス第二帝政とその崩壊

目標　ナポレオン３世に対する国民の支持が低下した理由を考えよう。
普仏戦争に敗北したフランスはどのような状況に陥ったのかを学ぼう。

1　第二帝政期のフランス

①第二帝政の成立

1852 年　ナポレオンの甥のルイ＝ナポレオンが国民投票で皇帝となり，
〔　　　　　　　　　　　　〕を称す（〔　　　　　　　　〕）

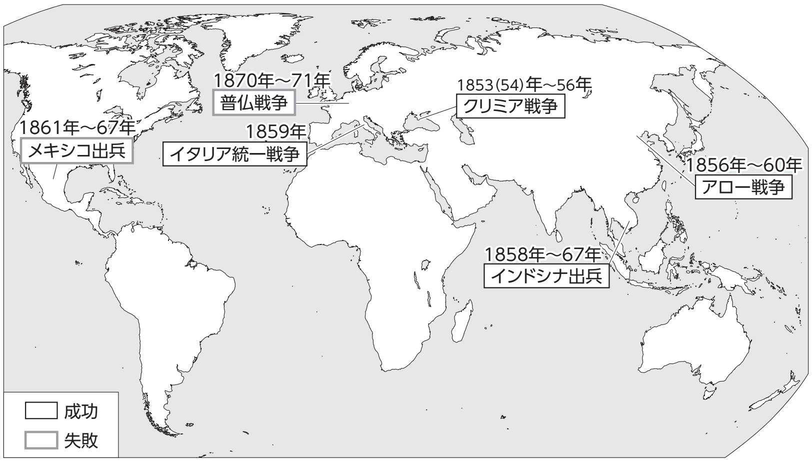
1853 年　オスマンをセーヌ県知事に抜擢し，**パリの都市大改造**に着手
※道路網の整備，鉄道建設，上下水道の設置などの都市改造を行った。

1860 年　イギリスと**英仏通商条約**を結ぶ
※関税率の大幅引き下げなど，自由貿易による国内産業の育成を図る。
→フランスの工業化が急速に発展

1867 年　〔　　　　　　　　　　　　〕を開催

②ナポレオン３世の対外政策

独裁を維持するため，数多くの外征を行った。



ナポレオン３世の進出先

1853 年　〔　　　　　　　　　　　　〕（～ 56 年）
ロシアの地中海進出を阻止するため，オスマン帝国を支援
→パリ講和会議で，ナポレオン３世の名声が高まる

1856年 〔　　　　　　　　　　〕(第二次アヘン戦争，～ 60年)
フランス人宣教師殺害事件を口実に，イギリスとともに中国に侵攻

1858年 〔　　　　　　　　　　　　　〕(～ 67年)
宣教師殺害事件を口実に，スペインとともにインドシナを侵略

1859年 〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕
サルデーニャ王国と密約を結んで参戦。**サヴォイア**と**ニース**を獲得

1861年～ 67年 〔　　　　　　　　　　　　〕
メキシコの混乱に乗じて，イギリス・スペインを誘って出兵
→メキシコ人の激しい抵抗にあい，撤退。ナポレオン3世の支持が低下

2 帝政の崩壊と第三共和政の混乱

①普仏戦争

1870年 **プロイセン＝フランス**（普仏）**戦争**に大敗
→ナポレオン3世がスダンでプロイセンの捕虜となり，廃位される
→**第二帝政**の崩壊

②第三共和政の成立

1870年 〔　　　　　　　　　　〕**の宣言**←ブルジョワ共和派によって**臨時政府**が成立。

1871年 ティエールを首班とする臨時政府が，ドイツ帝国と仮講和条約を結ぶ
※**アルザス**と**ロレーヌ**を失う。

1871年 敗戦と講和に抗議してパリ民衆が蜂起，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕
(労働者による自治政府) を樹立。臨時政府からの自立を宣言

1871年 臨時政府軍がパリを包囲。市外戦**血の週間**の末に鎮圧
→**パリ＝コミューン**が72日で崩壊

1875年 **共和国憲法**を制定
三権分立・二院制・任期7年の大統領制などを規定

まとめ

ナポレオン3世は数多くの外征を行い，独裁を進めたが，メキシコ出兵に失敗すると国民の支持を失った。
第二帝政が崩壊すると第三共和政が成立したが，労働者の自治政府パリ＝コミューンは弾圧された。

第 15 講　PART 2　確認問題

1　ヴィクトリア女王の時代に，帝国主義的な政策を行った保守党の政治家はだれか。

① ウォルポール　② ハーヴェー
③ ジョゼフ = チェンバレン　④ ディズレーリ

2　ヴィクトリア女王の時代に自由主義的な政策を行った自由党の政治家はだれか。

① グラッドストン　② クロムウェル
③ ジョン = ボール　④ スティーヴンソン

3　1837 年から 1850 年代にかけて，労働者が男性普通選挙制などを求めておこした政治運動はどれか。

① ブルシェンシャフト運動　② ラダイト運動
③ チャーティスト運動　④ ツンフト闘争

4　イギリスで，都市労働者が選挙権を獲得したのはどの選挙法改正か。

① 第 1 回選挙法改正　② 第 2 回選挙法改正
③ 第 3 回選挙法改正　④ 第 4 回選挙法改正

5　1852 年にフランス皇帝となり，1870 年の普仏戦争の敗北で廃位された人物はだれか。

① ナポレオン = ボナパルト　② シャルル 10 世
③ ルイ = フィリップ　④ ナポレオン 3 世

6 フランスがイタリア統一戦争に参戦して獲得したのは，サヴォイアとどこか。

① ニース　② 南チロル
③ サルデーニャ島　④ ヴェネツィア

7 普仏戦争に大敗したフランスがプロイセンに割譲したのは，アルザスとどこか。

① スダン　② ロレーヌ
③ ニース　④ マルセイユ

8 敗戦と領土割譲を不服とするパリ民衆が蜂起し，1871 年に樹立した政府はどれか。

① 臨時政府　② 統領政府
③ パリ＝コミューン　④ 総裁政府

第 15 講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART3 東方問題

Chapter 1　ロシアの南下政策とクリミア戦争

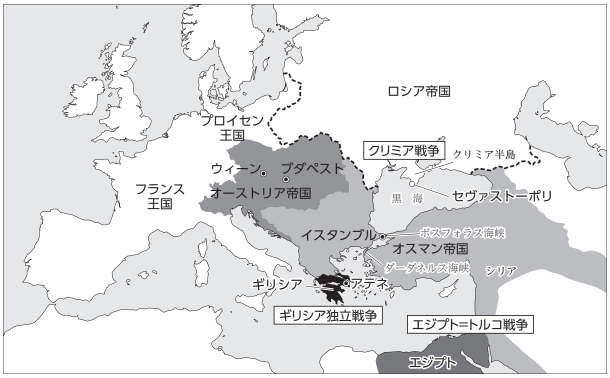
目標
イギリスとロシアによる東方問題の背景を理解しよう。
クリミア戦争の結果，ロシアの南下政策が陥った状況について学ぼう。

1 東方問題

①東方問題

A　19 世紀，オスマン帝国内でスラヴ人など，諸民族の独立の動きが高まる

B　オスマン帝国の民族問題にヨーロッパ列強が介入して争い，国際情勢が不安定になる



東方問題の位置関係

C　ロシアは，穀物の販路として黒海から地中海に抜ける〔　　　　　　　　〕を進め，エジプトからインドへの交通路を確保するイギリスなどと対立

→オスマン帝国を巡るヨーロッパ列強間の国際問題を，**東方問題**と呼ぶ

②ギリシアの独立

1821 年　バルカン半島で〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

→イギリス，フランス，ロシアがギリシアを支援して参戦

1829 年　ロシアとオスマン帝国が講和条約（**アドリアノープル条約**）を締結

→オスマン帝国が，ギリシアの独立を承認

→ロシアが，黒海と**ダーダネルス・ボスフォラス両海峡**の自由航行権を獲得

1830 年　〔　　　　　　　　　　〕で，ギリシアの独立を国際的に承認

2 エジプトの台頭

1805 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が，エジプト総督に就任

1825 年　**ギリシア独立戦争**でオスマン帝国に援軍を送る

※見返りに**シリア**の領有とエジプト総督の世襲権を要求し，オスマン帝国が拒否。

1831 年　第一次〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕勃発

※ロシアがオスマン帝国を，フランス，イギリスなどがエジプトを支援。

※エジプトが**シリア**を占領。

1833 年　オスマン帝国とロシアが秘密協定を締結

※オスマン帝国がロシアに**ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の通行権**を認める

→ロシアの**南下政策が前進**し，列強が警戒を強める

1839 年　第二次**エジプト＝トルコ戦争**勃発

※フランスがエジプトを支援。エジプトの強大化を警戒するイギリス，ロシアなどがオスマン帝国を支援した。

1840 年　講和会議〔　　　　　　　　　　　〕開催

※ムハンマド＝アリーに総督位の世襲を認め，シリアからの撤退を要求した。

1841 年　５か国海峡協定が結ばれ，全ての外国軍艦の両海峡の通行が禁止される

→ロシアの**南下政策が失敗**

3　クリミア戦争

1853 年　〔　　　　　　　　　　　〕勃発←聖地管理権問題によりロシアがギリシア正教徒保護を口実に開戦

※ロシアを牽制するイギリス，フランスが，オスマン帝国を支援して参戦。

1855 年　**セヴァストーポリ要塞**の攻略

※クリミア半島のロシアの軍港が，イギリス・フランス艦隊に攻撃されて陥落。

※看護師**ナイティンゲール**が戦地で活躍。

1856 年　ロシアが敗北。〔　　　　　　　〕で，黒海の中立化が決定

→ロシアの**南下政策が挫折**

まとめ

イギリスはエジプトからインドへの交通路として，ロシアは穀物の販路として地中海への進出を図り，両国は衝突した。

クリミア戦争の結果，パリ条約で黒海の中立化が約束されると，ロシアの南下政策は失敗した。

Chapter 2　南下政策の挫折

目標
ロシアがバルカン半島でどのように南下を進めたのかをおさえよう。
露土戦争の結果，東方問題がどのように決着したのかを確認しよう。

1　パン = スラヴ主義

① 1870 年代，オスマン帝国のバルカン半島では，ロシアが唱える
〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が盛んになり，諸民族の独立運動が活発になる
→スラヴ民族の統一と連帯を目指した運動で，1848 年にスラヴ民族会議が開かれた
②ロシアがスラヴ人の民族意識をあおって**南下政策**を再開

スラヴ叙事詩

2　露土戦争の勃発と南下の失敗

①露土戦争
1875 年　オスマン帝国が，ボスニア・ヘルツェゴヴィナのスラヴ系民族の反乱を弾圧
1877 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（露土戦争）←ロシアがスラヴ民族の保護を口実にオスマン帝国に宣戦し，オスマン帝国を破る
②ロシアとオスマン帝国の講和
1878 年　講和条約〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結ぶ

A　オスマン帝国から〔　　　　　　　　　〕,〔　　　　　　　　　　　〕,

〔　　　　　　　　　　　　〕が独立

B　〔　　　　　　　　　　　〕の領土が拡大し，ロシア保護下の自治国となる

→ロシアの**南下政策**が前進。これにオーストリア，イギリスが反発

③ベルリン会議

1878 年　ドイツ首相〔　　　　　　　　　　　〕が調停役となり，**ベルリン会議**を主催

→〔　　　　　　　　　　　　〕が結ばれる

A　**サン = ステファノ条約**を破棄

B　**ブルガリア**の領土が縮小され，オスマン帝国支配下の自治国となる

→ロシアの**南下政策**が失敗。以降，ロシアは中央アジア，東アジアで勢力を拡大

C　**セルビア，ルーマニア，モンテネグロ**の独立が国際的に承認される

D　オーストリアが，**ボスニア・ヘルツェゴヴィナ**の行政権を獲得

E　イギリスが，**キプロス島**の統治権を獲得

サン = ステファノ条約によるバルカン半島の勢力図

まとめ

パン = スラヴ主義で，バルカン半島のスラヴ人の独立心をあおり，南下を進めた。

ロシアの南下が一時成功したかにみえたが，ベルリン条約でロシアの進出が抑えられ，南下が失敗した。

第 15 講 PART 3　確認問題

1 オスマン帝国からの独立を求めて戦争をおこし，1830 年のロンドン会議で独立を承認された国はどこか。

① セルビア　② ブルガリア
③ ギリシア　④ モンテネグロ

2 フランス軍撤退後にエジプト総督に就任し，近代化政策を推進した人物はだれか。

① スレイマン 1 世　② ムハンマド = アリー
③ アウラングゼーブ　④ オスマン = ベイ

3 第一次エジプト = トルコ戦争でオスマン帝国を支援し，ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の通行権を認められた国はどこか。

① オーストリア　② イギリス
③ フランス　④ ロシア

4 ロシアがギリシア正教保護を口実に，1853 年にオスマン帝国に対しておこした戦争はどれか。

① ロシア = トルコ戦争　② 解放戦争
③ クリミア戦争　④ 北方戦争

5 1870 年代にオスマン帝国支配下のバルカン半島で盛んになった動きはどれか。

① 革新主義　② パン = スラヴ主義
③ 諸国民の春　④ 大ドイツ主義

6 露土戦争に敗れたオスマン帝国が，1878 年にロシアと結んだ条約はどれか。

① サン = ステファノ条約　② カトー = カンブレジ条約
③ ネルチンスク条約　④ アドリアノープル条約

7 列強の調停役として，1878 年にベルリン会議を主催した人物はだれか。

① メッテルニヒ　② ディズレーリ
③ ビスマルク　④ タレーラン

8 1878 年に締結された，ロシアの南下政策を最終的に挫折させた条約はどれか。

① ユトレヒト条約　② ロンドン条約
③ パリ条約　④ ベルリン条約

第 15 講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART4 ロシアの改革と国際協調の進展

Chapter 1　ロシアの改革と北欧諸国の状況

目標　ロシアのアレクサンドル２世の改革運動を理解しよう。
北欧の主導権が中世から近世にかけて移り変わっていった経緯をおさえよう。

1　ロシアの改革運動

①［　　　　　　　　　　　　］の治世（1825 年～）

1825 年　**デカブリストの乱**（十二月党員の乱）を鎮圧
※ニコライ 1 世の即位日に，西欧の自由主義にふれた青年士官たちが，専制打倒や農奴制の解体を掲げて蜂起。

1830 年　**ポーランド**の反乱
独立を求めてポーランドの士族階級が蜂起。ロシア軍に鎮圧される

1853 年　**クリミア戦争**

②［　　　　　　　　　　　　　　　　　］の治世（1855 年～）

1856 年　**クリミア戦争**に敗北
※ロシアの後進性が敗因と考え，近代化改革に着手。

1861 年　農奴を身分的に自由にする［　　　　　　　　　　　］を布告
※農民は**ミール**（農村共同体）に帰属。不徹底な改革であった。

1863 年　**ポーランドの蜂起**
ポーランドの民族主義者が蜂起するが，ロシア軍に弾圧される
→皇帝が**専制政治**を強化

農奴解放令を宣言するアレクサンドル２世

③社会改革運動

1870 年代　［　　　　　　　　　　　　　　　　　］がおこる
※知識人（**インテリゲンツィア**）や学生が「**ヴ＝ナロード**（人民のなかへ)」を標語に，平等な社会を実現しようとするが，農民の無関心で挫折。
→**テロリズム**（暴力主義）が台頭，要人を暗殺

1881 年　**アレクサンドル２世**が暗殺される

2 北欧諸国の状況

①デンマーク

1397年 デンマークの主導で**カルマル同盟**を締結。北欧３国の**同君連合**が成立

1814年 ウィーン会議（～15年）で〔　　　　　　　　　　〕を失う

1848年 三月革命で絶対王政が終わり，責任内閣制がはじまる

1864年 **デンマーク戦争**に敗北し，シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国を失う

②スウェーデン

1523年 カルマル同盟から離脱

1648年 **ウェストファリア条約**（三十年戦争の講和条約）で領土を拡大。**バルト海の覇権**を握る

1721年 **北方戦争**に敗れて，**ロシア**にバルト海の覇権を奪われる

1814年 ウィーン会議で**ノルウェー**を併合

③ノルウェー

1814年 ウィーン会議でスウェーデン領となる

1814年 独自の憲法を制定

1905年 スウェーデンから平和的に独立

④フィンランド

1809年 **ロシア**に併合される

1917年 ロシア革命に際して独立

まとめ

アレクサンドル２世は農奴解放令を布告したが，農民はミールに帰属し，不徹底な改革であった。
デンマークが強国であったが，三十年戦争後スウェーデンが台頭し，北方戦争ではロシアがバルト海の覇権を握った。

Chapter 2　アイルランド問題と国際協調の進展

目標
アイルランドの独立運動がどのように進んだのかを確認しよう。
社会主義運動の国際協調について理解しよう。

1　アイルランド問題

1649 年　**クロムウェル**が**アイルランド**を征服，土地を没収する

1801 年　イギリスがアイルランドを併合

※土地の 9 割をイギリス人不在地主が占有。カトリック教徒のアイルランド人の大半が小作農となり，貧困と差別に苦しむ。

1828 年　非国教徒が公職に就くことを禁じた〔　　　　　　　　　　〕

1829 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

宗教差別が緩和され，カトリック教徒のアイルランド人も公職に就けるようになる

※独立運動の指導者**オコンネル**が尽力。

1840 年代後半　常食のジャガイモの凶作による〔　　　　　　　　　　　〕が発生

※栄養失調などで 100 万人以上が死亡した。こののち，大量の移民が北アメリカなどに移住し，人口が激減。

19 世紀後半　アイルランド国民党による自治権要求運動が本格化

1886 年　イギリス自由党の**グラッドストン**内閣が

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を議会に提出

※ 1893 年にも提出するが，自由党の議員の多くが反対にまわり，否決される。

→これを巡って自由党が分裂

ジャガイモ飢饉の追悼碑

2　国際協調の進展

①国際的な社会主義運動

1864 年　国際労働者協会〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

※各国の社会主義者がロンドンで結成した国際的な労働者組織。

1889 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

※各国の社会主義政党がパリで結成した国際団体で，労働問題に取り組む。

②国際的な組織や催しの誕生

A　万国博覧会

1851 年　**ロンドン**で世界初の**万国博覧会**を開催

1855 年　**パリ**で第 2 回万国博覧会を開催

B　国際赤十字

1863 年　戦時における負傷者の救護を目的に，ジュネーヴに**国際赤十字**を創設

※創設者のスイス人実業家〔　　　　　　　〕は，ナイティンゲールの活動に影響を受けた。

C　万国平和会議

1899 年　オランダのハーグで**ハーグ万国平和会議**を開催

※ロシア皇帝ニコライ 2 世の提唱で開かれた国際会議。

D　国際オリンピック大会

1896 年　ギリシアのアテネで第 1 回**国際オリンピック大会**を開催

※スポーツを通じた国際親善を目指し，フランスの**クーベルタン**が提唱。

まとめ

カトリック教徒解放法の成立によりアイルランド人の公職就任が進んだが，19 世紀中にアイルランド自治法は成立せず，独立はできなかった。

第 1 インターナショナルは国際的な労働組合となり，第 2 インターナショナルは社会主義政党による議会闘争を進めた。

第 15 講　PART 4　確認問題

1 1825 年，ニコライ 1 世の即位の日におこった，自由主義的な青年士官による反乱はどれか。

① カルボナリの乱　② デカブリストの乱
③ ワット＝タイラーの乱　④ シモン＝ド＝モンフォールの乱

2 クリミア戦争の敗北を機にロシアの近代化改革に着手し，農奴解放令を発布した人物はだれか。

① ニコライ 1 世　② ニコライ 2 世
③ アレクサンドル 1 世　④ アレクサンドル 2 世

3 1870 年代のロシアで展開された，インテリゲンツィアや学生による社会改革運動はどれか。

① ナロードニキ運動　② ブルシェンシャフト運動
③ チャーティスト運動　④ ラダイト運動

4 18 世紀前半にバルト海の覇権を巡って戦われた，スウェーデンとロシアの戦争はどれか。

① 露土戦争　② 三十年戦争
③ 七年戦争　④ 北方戦争

5 1814年のウィーン会議でノルウェーを併合した国はどこか。

① ロシア　② デンマーク
③ スウェーデン　④ プロイセン

6 アイルランド独立運動の指導者として活躍し，カトリック教徒解放法の成立に尽力した人物はだれか。

① デュナン　② バイロン
③ オコンネル　④ ガリバルディ

7 アイルランド自治法案の成立を目指した，イギリスの自由党の政治家はだれか。

① ディズレーリ　② グラッドストン
③ ウォルポール　④ ジョゼフ＝チェンバレン

8 1855年に第2回万国博覧会が開催された都市はどこか。

① ウィーン　② ロンドン
③ パリ　④ ハーグ

第 15 講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART5 アメリカの拡大と南北戦争

Chapter 1　初期のアメリカ大統領と領土の拡大

目標
アメリカで木綿産業が発達した契機について学ぼう。
アメリカがカリフォルニアを獲得した経緯を知ろう。

1　初期のアメリカ大統領

①初代〔　　　　　　　　　　〕
1789 年　初代大統領に就任，新政府が発足
※ヨーロッパに対して中立を宣言，国家の安定化に努める。

②第３代〔　　　　　　　　　　〕
反連邦派。南部農民の支持を受け，ジェファソン民主主義が進む

③第４代マディソン
1812 年　イギリスが海上封鎖で通商を妨害したため，
〔　　　　　　　　　　〕（米英戦争）が勃発
→工業製品の輸入が途絶えた結果，国内の木綿産業が発展

④第５代〔　　　　　　　　〕
1823 年　〔　　　　　　　　　　〕（モンロー主義）を表明
※アメリカ大陸とヨーロッパ諸国の相互不干渉を唱える。以降，アメリカ外交の基本方針。

⑤第７代〔　　　　　　　　　　〕（西部出身の初の大統領）
A　民主主義的改革「**ジャクソニアン＝デモクラシー**」を実行
→南部を基盤とするジャクソン支持者が〔　　　　　　〕を結成。北部の商工業者を基盤とする反対派がホイッグ党（のちの〔　　　　　　〕）を結成
B　1830 年に〔　　　　　　　　　　〕を制定
※**インディオ**から土地を奪い，ミシシッピ川以西への移住を強制。
移住させられた先住民に**保留地**（荒れ地）を与える。
→チェロキー族は「**涙の旅路**」と呼ばれた移住の途上，約 4000 人の死者を出す

2 アメリカの領土拡大

1776年　イギリスの**13植民地**が独立宣言

1783年　**パリ条約**でアメリカ合衆国の独立が承認される

※イギリスから**ミシシッピ川以東のルイジアナ**を取得。

1803年　フランスから**ミシシッピ川以西のルイジアナ**を購入。国土が倍増する

1819年　スペインから〔　　　　　　　　〕を購入

1840年代　〔　　　　　　　　〕を行う

※西部への領土拡張は神から託された「**明白な天命**」として西部開拓を推進。

→**フロンティア**（開拓地と未開拓地の境界）が西へ移動

1845年　メキシコから独立を宣言していた〔　　　　　　　　〕を併合

→これを機に翌年〔　　　　　　　　　　　　　　〕が勃発

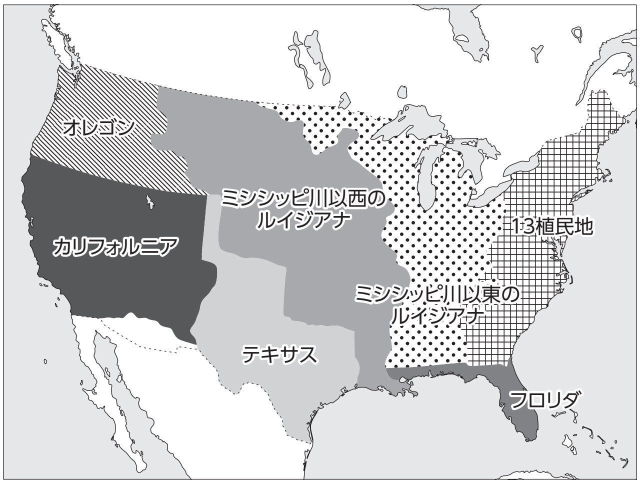
1846年　イギリスから**オレゴン**を獲得

1848年　**メキシコ**に勝利して〔　　　　　　　　　　　　〕などを獲得

1848年　**カリフォルニア**で金鉱発見

※全世界から移民が殺到して〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる。

1867年　ロシアから**アラスカ**を購入



アメリカの領土拡大

まとめ

米英戦争の勃発でイギリスからの商品流入が止まり，その結果国内の木綿産業が発展し経済的な自立に繋がった。

テキサス問題に関わるアメリカ＝メキシコ戦争に勝利し，カリフォルニアの割譲を受けた。

Chapter 2　南北戦争とアメリカの発展

目標
アメリカの北部と南部の対立構造を理解しよう。
南北戦争の結果，アメリカがどのように発展していったのかを学ぼう。

1　アメリカの南北対立

①南北対立の構造

A　北部…商工業が発達。人道的立場から奴隷制に反対。〔　　　　　　　　　〕を支持。
中央政府の権力を維持しようとする連邦主義

B　南部…**奴隷制プランテーション**で綿花を栽培。奴隷制の存続と〔　　　　　　　　　〕
を支持。州の自治制を重視する〔　　　　　　　　　〕

②奴隷制を巡る南北の対立

1820 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が結ばれ，南北の妥協が成立
※北緯 36 度 30 分以北には**奴隷州**（奴隷制を認める）をつくらないとする

1852 年　女性作家〔　　　　　　〕が奴隷制を批判した『**アンクル = トムの小屋**』を刊行
→奴隷州拡大の可能性により奴隷制反対の機運を盛り上げる

1854 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を制定
※ミズーリ協定を否定。奴隷州になるか否かを住民投票で決定する。
→奴隷制を巡る南北の対立が激化

1854 年　北部諸州を基盤として，奴隷制拡大に反対する**共和党**が発足
※南部では，奴隷制を容認する**民主党**が合衆国からの分離を訴える。

2　南北戦争

1860 年　大統領選で**共和党**の〔　　　　　　　　〕が当選

1861 年　南部諸州が合衆国を離脱。〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**南部連合**）を結成
→アメリカ合衆国の分裂

1861 年　〔　　　　　　　　〕が勃発
※当初は有能な指揮官が多い南部が優勢で，北軍は苦戦を強いられる。

1862 年　リンカンが，〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（自営農地法）を制定
※開拓農民に無償で土地を与えることを約束し，西部農民の支持を集める。

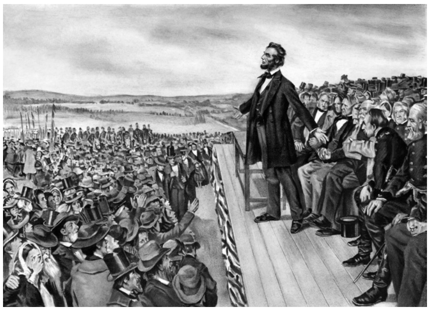
1863年　リンカンが〔　　　　　　　　　　〕を公布し，世論を味方につける

1863年　北部が，最大の激戦〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕に勝利

※ゲティスバーグの演説**「人民の，人民による，人民のための政治」**

1865年　北部が，南部の首都リッチモンドを陥落させ，南部が降伏

1865年　憲法修正第13条で〔　　　　　　〕を正式に廃止



リンカンのゲティスバーグの演説

3　アメリカの発展

①奴隷解放後も続く差別

A　元奴隷の多くは〔　　　　　　　　　　　　　　〕（小作人）として貧しい生活を送る

B　元南軍の兵士らが,白人の優越を主張する秘密結社**クー＝クラックス＝クラン**（KKK）を組織して，黒人を迫害

C　南部では，学校や鉄道，レストランなどの公共施設での人種隔離制度が拡大

②経済圏の統一

A　南北戦争後，アメリカでは産業革命が進展

B　1869年に〔　　　　　　　　　　〕が開通し，東西で経済圏が結びつく

※鉄道建設には，中国やアイルランドからの**移民**が従事。

③アメリカの大国化

A　1886年に〔　　　　　　　　　　　　　　〕（AFL）を結成

※職業別組合の連合組織で，労働条件の改善を目指す。

B　1890年代に〔　　　　　　　　　　〕**の消滅**を宣言

C　石炭，石油，鉄鋼など重工業が躍進。**世界最大の工業国**になる

D　19世紀を通して人口が10倍以上に増加

まとめ

商工業中心の北部が保護貿易を主張する一方，農業中心の南部は自由貿易を主張して対立した。

南北戦争の結果，北部を中心として産業革命が進展し，資本主義が発展していった。

第 15 講　PART 5　確認問題

1 第３代大統領ジェファソンが，1803 年にフランスから購入した領土はどこか。

① フロリダ　② ルイジアナ
③ オレゴン　④ カリフォルニア

2 南北アメリカ大陸とヨーロッパ諸国の相互不干渉を表明した第５代大統領はだれか。

① マディソン　② ワシントン
③ モンロー　④ リンカン

3 第７代大統領ジャクソンが，1830 年に制定した法律はどれか。

① カンザス＝ネブラスカ法　② 人身保護法
③ ホームステッド法　④ 先住民強制移住法

4 アメリカがテキサスを併合したことをきっかけにおこった戦争はどれか。

① アメリカ＝メキシコ戦争　② アメリカ＝イギリス戦争
③ フレンチ＝インディアン戦争　④ ジョージ王戦争

5 『アンクル＝トムの小屋』を著して，奴隷制を批判した作家はだれか。

① ストウ　② ルソー
③ スウィフト　④ デフォー

6 奴隷制拡大に反対する人々が1854年に結成した政党はどれか。

① 保守党　② 自由党
③ 共和党　④ 民主党

7 アメリカ合衆国から脱退した南部諸州が，1861年に結成したのはどれか。

① アメリカ労働総同盟　② アメリカ連合国
③ 反連邦派　④ 共和党

8 南北戦争最大の激戦で，北軍が南軍に勝利した1863年の戦いはどれか。

① ヨークタウンの戦い　② レキシントンの戦い
③ レヒフェルトの戦い　④ ゲティスバーグの戦い

第15講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART6 19世紀の欧米文化

Chapter 1　19世紀の技術・哲学・政治思想

目標
19世紀の技術革新の発明を確認しよう。
19世紀の経済学の特徴を理解しよう。

1 科学・技術の進展

①物理学

A〔　　　　　　　　〕（英）…電磁誘導の法則，電気分解の法則を発見

B マイヤーとヘルムホルツ（独）…**エネルギー保存の法則**を発見

C〔　　　　　　　　〕（独）…X線を発見

D〔　　　　　　　　　　〕（仏）…放射性物質のラジウムを発見

②生物学

A〔　　　　　　　　〕（英）…『種の起源』を著して**進化論**を提唱

→キリスト教に基づく人間観を信じていた人々に衝撃を与える

B〔　　　　　　〕（墺）…**遺伝の法則**を発見

C〔　　　　　　　　　　〕（仏）…狂犬病予防接種を開発。感染症の予防に貢献

D〔　　　　　〕（独）…結核菌・コレラ菌を発見。**細菌学**の基礎を確立

③技術

A〔　　　　　　〕（スウェーデン）…ダイナマイトを発明

B〔　　　　　　〕（米）…電信機とモールス信号を発明

C **ベル**（米）…電話を発明

D〔　　　　　　　　〕（米）…白熱電球，蓄音機，映画などを発明

E **マルコーニ**（伊）…無線電信を発明

F **ダイムラー**（独）…ガソリンエンジンと自動車を開発

G **ディーゼル**（独）…ディーゼル機関を完成させる

④探検・調査

A **タスマン**（蘭）…タスマニア島，ニュージーランドを探検

B〔　　　　　〕（英）…オーストラリアなどを探検

C　ヘディン（スウェーデン）…中央アジアを探検し，楼蘭遺跡を発見

D　**リヴィングストン**（英）…宣教のために派遣された南アフリカで，ナイル川源流を探検

E　**スタンリー**（米）…リヴィングストンを救出した後，コンゴを探検

F　**ピアリ**（米）…北極点に初到達

G　〔　　　　　　　　　　〕（ノルウェー）…南極点に初到達

H　**スコット**（英）…アムンゼンの 1 か月後に南極点到達

2　哲学や思想

①哲学・社会思想

A　フィヒテ（独）…主観的観念論を説く。連続講演「ドイツ国民に告ぐ」

B　〔　　　　　　　　〕（独）…**弁証法哲学**を樹立して**ドイツ観念論哲学**を大成

C　**マルクス**（独）…**史的唯物論**を確立。『共産党宣言』『資本論』

D　〔　　　　　　〕（仏）…**実証主義**を提唱。社会学の創始者

E　〔　　　　　　　　〕（英）…「最大多数の最大幸福」を主張して**功利主義**を創始

F　〔　　　　〕（英）…ベンサムの功利主義を発展させ，幸福の質的側面を追求

G　キェルケゴール（デンマーク）…実存主義哲学の先駆け

H　〔　　　　　　　　〕（独）…「神は死んだ」，『ツァラトゥストラはかく語りき』で超人による永劫回帰を主張

②経済学

A　〔　　　　　　　　〕（英）…**古典派経済学**を確立。『人口論』

B　**リカード**（英）…古典派経済学を確立。『経済学および課税の原理』で労働価値説を主張

C　**リスト**（独）…**歴史学派経済学**で保護関税貿易を提唱。ドイツ関税同盟の成立に貢献

③歴史

〔　　　　　　〕（独）…史料批判に基づいた**近代歴史学**の基礎を確立

④法学

サヴィニー（独）…**歴史法学**を創始。法律に民族的な価値感を投影

まとめ

電信機や電灯など，現在の産業や生活の発展に影響を与えるものの多くが，この時代に発明された。
自由放任を主張する古典派経済学が主流であったが，ドイツでは歴史学派経済学で保護関税貿易が主張された。

Chapter 2　19世紀の芸術

目標
19 世紀の芸術がどのような流れをたどったかを理解しよう。
印象派とはどのような潮流なのかをおさえよう。

1　文学の流れ

①〔　　　　　　　　〕文学…18 世紀末～ 19 世紀初め。調和と形式美を重視

〔　　　　　　〕（独）…『若きウェルテルの悩み』『ファウスト』

②〔　　　　　　　　　　〕文学…19 世紀前半。人間の個性や個人の感情を重視

A　**グリム兄弟**（独）…ドイツの民話を収集し『**グリム童話集**』を著す

B　**ハイネ**（独）…革命の詩人。『歌の本』

C　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（仏）…国民的詩人。『レ＝ミゼラブル』

D　**バイロン**（英）…『チャイルド＝ハロルドの遍歴』

E　〔　　　　　　　　　　〕（露）…ロシア近代文学の父。『大尉の娘』

③〔　　　　　　　　〕文学…19 世紀後半。人間や社会をありのままに表現

A　〔　　　　　　　　　　　　〕（仏）…近代フランス文学の創始者。『赤と黒』

B　**バルザック**（仏）…『人間の喜劇』

C　〔　　　　　　　　　　　　〕（英）…『二都物語』『オリヴァー＝ツイスト』

D　**トゥルゲーネフ**（露）…農奴制を批判。『父と子』

E　**ドストエフスキー**（露）…『罪と罰』『カラマーゾフの兄弟』

F　**トルストイ**（露）…『戦争と平和』『アンナ＝カレーニナ』

④〔　　　　　　　　〕文学…19 世紀後半。現実社会を科学的に捉え，正確に表現

A　〔　　　　　〕（仏）…『居酒屋』。ドレフュス事件でドレフュスを弁護

B　**モーパッサン**（仏）や**イプセン**（ノルウェー）が女性解放をテーマに作品を残す

⑤耽美主義・象徴主義（19 世紀末）

…**ボードレール**（仏）が『悪の華』を著す

2　絵画の流れ

①**古典主義**絵画（18 世紀末～ 19 世紀初め）：〔　　　　　　　　　〕（仏）…「ナポレオンの戴冠式」

②**ロマン主義**絵画（19 世紀前半）：〔　　　　　　　　　　〕（仏）…「民衆を導く自由の女神」

③**自然主義**絵画…19 世紀後半

A　〔　　　　　　〕（仏）…農民の生活をありのままに描く。「落ち穂拾い」「晩鐘」

B　**ゴヤ**（西）…「裸のマハ」「1808 年 5 月 3 日」

④**写実主義**絵画（19 世紀後半）：**クールベ**（仏）…労働者の生活をありのままに描く。「石割り」

⑤〔　　　　　　〕…19 世紀後半。対象物の直接的印象を表現。光と色彩を重視

A　**マネ**（仏）…近代絵画の父。「草上の昼食」

B　〔　　　　〕（仏）…印象派の語源となった「印象・日の出」，「睡蓮」

C　**ルノワール**（仏）…庶民を描く。「ムーラン＝ド＝ラ＝ギャレット」

⑥**後期印象派**…19 世紀末。印象派の影響を受けつつ人間の内面をも表現

A　**セザンヌ**（仏）…「サント＝ヴィクトワール山」

B　**ゴーガン**（仏）…原始的な美を求めてタヒチ島に移住。「タヒチの女たち」

C　〔　　　　　　〕（蘭）…印象派と日本の浮世絵に影響を受ける。「ひまわり」

⑦ 19 世紀末の絵画・彫刻

A　〔　　　　　　〕（仏）…近代彫刻の開拓者。「考える人」

B　ジャポニズム…浮世絵を中心とする日本美術がヨーロッパで流行

C　**アール＝ヌーボー**（新しい芸術）…絵画だけでなく建築や工芸品などにも展開

3　音楽の流れ

①**古典派**音楽

A　**モーツァルト**（墺）…幼少期より各国の宮廷で演奏。「フィガロの結婚」

B　〔　　　　　　　　　　　　　〕（独）…楽聖。交響曲「運命」「第九」

②**ロマン主義**音楽

A　**シューベルト**（墺）…歌曲の王。「野ばら」「未完成交響曲」

B　〔　　　　　　　　〕（ポーランド）…ピアノの詩人。「革命」

③**国民楽派**：**チャイコフスキー**（露）や**ドヴォルザーク**（チェコ）など民族的な背景を投影

④**印象派**音楽：ドビュッシー（仏）…印象派音楽を創始。「月の光」

まとめ
19 世紀前半はロマン主義が，後半は写実主義や自然主義が主流となった。
19 世紀後半から現れた，直接的な印象を描く絵画や音楽の潮流である。

第 15 講 PART6　確認問題

1 X 線を発見したドイツの物理学者はだれか。

① キュリー夫妻　② ファラデー
③ レントゲン　④ ヘルムホルツ

2 『種の起源』を著して進化論を提唱したイギリス人はだれか。

① メンデル　② ダーウィン
③ コッホ　④ パストゥール

3 スウェーデンのノーベルが発明したものはどれか。

① ガソリンエンジン　② 白熱電球
③ 電信機　④ ダイナマイト

4 弁証法哲学を樹立して，ドイツ観念論哲学を大成したドイツ人はだれか。

① ベンサム　② マルクス
③ ヘーゲル　④ キェルケゴール

5 『レ＝ミゼラブル』などの代表作がある，ロマン主義文学の作家はだれか。

① ドストエフスキー　② プーシキン
③ トルストイ　④ ヴィクトル＝ユゴー

6 19 世紀後半に盛んになった，人間や社会をありのままに表現しようとする文学の潮流はどれか。

① 自然主義　② 古典主義
③ 写実主義　④ ロマン主義

7 印象派の語源となった「印象・日の出」で知られる，印象派の画家はだれか。

① モネ　② マネ
③ ミレー　④ ルノワール

8 「野ばら」などの歌曲を数多くつくり，歌曲の王といわれたロマン主義音楽の作曲家はだれか。

① モーツァルト　② シューベルト
③ ショパン　④ チャイコフスキー

第16講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART1 西アジアの危機と変容

Chapter 1　アラビア半島とエジプトの状況／オスマン帝国の衰退

目標
イギリスがエジプトを保護国化した経緯を理解しよう。
オスマン帝国衰退のきっかけとなった出来事を知ろう。

1 アラビア半島の民族運動

18 世紀半ば　アラビア半島で〔　　　　　　　　　　　〕がおこる

※**イブン＝アブドゥル＝ワッハーブ**によるイスラーム改革運動。預言者ムハンマドの教えに戻る原理主義を主張し，神秘主義や聖者崇拝を批判。

1744 年頃　ワッハーブ派が**リヤド**の豪族〔　　　　　　　〕と協力して〔　　　　　　　　　〕を建国

2 エジプトの保護国化

1798 年　**ナポレオン**率いるフランス軍に占領される（～ 99 年）

1805 年　オスマン帝国の軍人〔　　　　　　　　　　　　　〕が**エジプト総督**に就任。旧勢力のマムルークを一掃して，近代化政策を推進

1818 年　オスマン帝国の要請に応じてアラビア半島に出兵，**ワッハーブ王国**を一時滅ぼす

1825 年　オスマン帝国の要請に応じて，**ギリシア独立戦争**に援軍を派遣

※見返りに**シリア**の領有と**エジプト総督の世襲権**を要求し，拒否される。

1831 年　第一次〔　　　　　　　　　　　　　〕をおこす（～ 33 年）

→シリア領有に成功

1839 年　第二次**エジプト＝トルコ戦争**をおこす（～ 40 年）

1840 年　〔　　　　　　　　　　〕でシリアを返還，エジプト総督の世襲権は獲得

→**ムハンマド＝アリー朝**が国際的に承認される

1869 年　紅海と地中海を結ぶ〔　　　　　　　　　〕が完成

→フランス人〔　　　　　　　　　〕が指導。建設資金の出費がかさみ，エジプトの国家財政が破綻

1875 年　**スエズ運河株式会社**の持ち株を，イギリスの首相**ディズレーリ**が買収

→イギリスは運河の管理権を握り，エジプトへの内政干渉を強める

1881 年　軍人〔　　　　　　　　〕が**ウラービー運動**をおこす

※「**エジプト人のためのエジプト**」をスローガンに反乱を指導。

※**パン = イスラーム主義**を唱える〔　　　　　　　　〕の影響を受ける。

1882 年　イギリスが出兵し，エジプトを事実上の**保護国**とする

3　オスマン帝国衰退のはじまり

16 世紀　スルタンの**スレイマン１世**のもとで最盛期を迎える

1683 年　第二次〔　　　　　　　　〕に失敗。オーストリアに撃退される

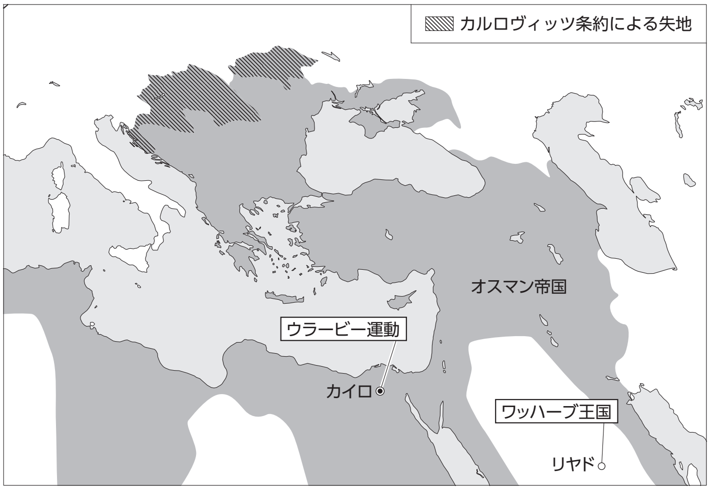
1699 年　〔　　　　　　　　〕で，オーストリアにハンガリー，トランシルヴァニアなどを割譲し，中央ヨーロッパから後退

18 世紀前半　**チューリップ時代**

※アフメト３世の治世下，西欧の影響を受けた華麗な文化が開花。

1789 年　セリム３世が第 28 代スルタンに即位。近代化改革を進める

※**イェニチェリ**（歩兵常備軍）の解体を目論むも失敗。廃位される。



オスマン帝国の支配領域の変遷

まとめ　イギリスはスエズ運河の株式を買収すると，エジプトへの内政干渉を強めた。第二次ウィーン包囲に失敗し，カルロヴィッツ条約で領土を失って以降，衰退していった。

Chapter 2　オスマン帝国の改革／イランとアフガニスタンの状況

目標　オスマン帝国の近代化がどのように進んでいったのかを知ろう。
カージャール朝のイラン民族運動を学ぼう。

1　オスマン帝国の改革運動

①**マフムト２世**の治世

1826 年　〔　　　　　　　　　　　　〕軍団を廃止，西欧式軍隊を創設

1829 年　**ギリシア**の独立を承認

1838 年　イギリスと**トルコ＝イギリス通商条約**を結ぶ

※イギリスに有利な関税率の設定など，片務的な不平等条約であった。

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

1839 年　**ギュルハネ勅令**を発布し，〔　　　　　　　　　　　　〕を開始

※司法，行政，財政，軍事，教育にわたる西欧化改革。全臣民の平等を認める**オスマン主義**のもと近代国家を目指す。

→保守派の抵抗にあい，挫折

1853 年　**クリミア戦争**がおこり，ロシアと開戦

→イギリス，フランスの支援を受けて勝利するが，戦費により財政危機に陥る

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

1876 年　〔　　　　　　　　　　　　〕を発布

※宰相**ミドハト＝パシャ**が起草したアジア初の憲法で，議会開設などを規定。

1877 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（露土戦争）勃発

1878 年　**アブデュルハミト２世**が戦争を理由に議会を解散，憲法を停止する

→アブデュルハミト２世が専制政治を復活

1878 年　ロシアに敗北。**サン＝ステファノ条約**を結ぶ

1878 年　**ベルリン条約**によりバルカンの諸民族の独立や自立が承認され，領土が縮小

2　イランの民族運動

1736 年　イラン高原の**サファヴィー朝**が，アフガン人の侵入を受けて滅亡

1796 年　**テヘラン**を首都として〔　　　　　　　　　　　　　　〕（トルコ系）が成立

1828年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結ぶ

→ロシアにアルメニアとアゼルバイジャン北半分を割譲

※治外法権やロシアに有利な関税率の設定などの不平等条約。

1848年　〔　　　　　　　　　　　　〕がおこるが，政府軍が鎮圧

※サイイド＝アリー＝ムハンマドが指導し，農民や商人に拡大。

1891年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（～92年）

※政府がタバコ販売の利権をイギリス人に譲渡したことに，国民が反対。

→イギリスはタバコ利権を放棄。これを機にイラン人の民族意識が高まる

3　アフガニスタンの状況

1747年　アフガン人が，カブールを首都として**アフガン王国**を建国

1838年　第一次〔　　　　　　　　　　〕（～42年）

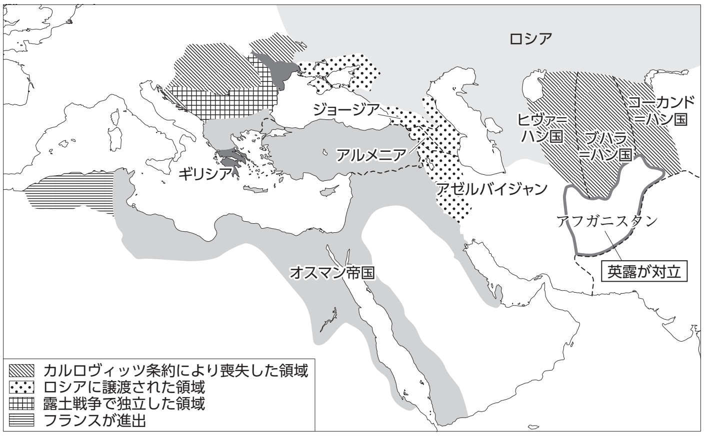
※イギリスとロシアの対立からはじまる。

1878年　**第二次アフガン戦争**

1880年　イギリスに敗れ，事実上イギリスの**保護国**となる

1907年　イギリスとロシアが〔　　　　　　　〕を結ぶ

※イラン北部はロシア，南東部とアフガニスタンはイギリスの勢力範囲に。



トルコ・イラン・アフガニスタンの支配領域

まとめ　アブデュルメジト1世がタンジマートで近代化を行い，アブデュルハミト2世の治世ではミドハト憲法が成立した。
バーブ教徒の乱やタバコ＝ボイコット運動が発生した。

第16講 PART 1 確認問題

1 1744年頃にアラビア半島に建国された王国はどれか。

① マジャパヒト王国 ② アフガン王国
③ ムガル帝国 ④ ワッハーブ王国

2 エジプトの財政難に乗じて，スエズ運河株式会社の株を買収したヨーロッパの国はどこか。

① イギリス ② フランス
③ ロシア ④ オスマン帝国

3 1881年に「エジプト人のためのエジプト」をスローガンに反乱をおこした，エジプトの軍人はだれか。

① ムハンマド＝アリー ② ウラービー
③ アフガーニー ④ ティムール

4 オスマン帝国の最盛期を現出した第10代スルタンはだれか。

① セリム1世 ② スレイマン1世
③ メフメト2世 ④ セリム3世

5 オスマン帝国の近代化を目指して，タンジマートと呼ばれる西欧化改革をはじめた人物はだれか。

① アブデュルメジト1世　② アブデュルハミト2世
③ マフムト2世　④ アフメト3世

6 議会の開設などを定めた，ミドハト憲法を起草した人物はだれか。

① アブデュルハミト2世　② サイイド＝アリー＝ムハンマド
③ ミドハト＝パシャ　④ ムアーウィヤ

7 1877年におこった戦争はどれか。

① ギリシア独立戦争　② クリミア戦争
③ エジプト＝トルコ戦争　④ ロシア＝トルコ戦争

8 イランのカージャール朝が，ロシアにアルメニアなどを割譲することになった条約はどれか。

① サン＝ステファノ条約　② トルデシリャス条約
③ トルコマンチャーイ条約　④ カルロヴィッツ条約

第 16 講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART2 南アジアと東南アジアの植民地化

Chapter 1　イギリスのインド侵略とインド帝国の成立

目標
イギリスがインド征服をどのように進めていったのかを確認しよう。
インド帝国成立までの経緯を理解しよう。

1　英仏のインドにおける抗争

17 世紀から 18 世紀にかけてイギリス・フランスがインドに進出して対立。

1744 年　**カーナティック戦争**（～ 61 年）

1757 年　**プラッシーの戦い**

→イギリスがフランスに勝利し，インド支配を進める

2　イギリスのインド侵略

1765 年　**ベンガル地方の**〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**徴税権**）を獲得

1767 年　南部で〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる（～ 99 年）

※マイソール王国との 4 次にわたる戦争に勝利，南インドの支配を確立。

1775 年　中西部で〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる（～ 1818 年）

※マラーター同盟との 3 次にわたる戦争に勝利，デカン高原の支配を確立。

1833 年　イギリス東インド会社が商業活動を停止し，インドの統治機関に

1845 年　北西部で〔　　　　　　　　〕がおこる（～ 49 年）

※シク王国との 2 次にわたる戦争に勝利，パンジャーブ地方を獲得。

→イギリスは，19 世紀半ばまでにインド全域を征服

イギリスによるインド支配

3　インド大反乱とムガル帝国の滅亡

①イギリス東インド会社のインド支配

A　直轄支配地に近代的な徴税制度の導入

あ　ベンガル管区で〔　　　　　　　　　　　　　〕制を実施

※ザミンダール（領主層・地主層）に土地所有権を認めて徴税の義務を負わせる。

い　インド南部を中心に〔　　　　　　　　　　　　　〕制を実施

※**ライヤット**（農民）に土地保有権を認めて直接徴税。

B　イギリスの機械製綿布の流入や近代的地租制によりインド社会が崩壊

②インド大反乱

1857 年　インド人傭兵〔　　　　　　　　　〕が反乱をおこす

※ムガル皇帝を盟主とする大反乱に発展（**インド大反乱**）。

1858 年　ムガル皇帝を流刑に処し，〔　　　　　　　　　〕が滅亡

1858 年　**イギリス東インド会社**が，大反乱の責任を問われて解散

→インドを本国の政府が直接統治

1877 年　**ヴィクトリア女王**を皇帝とする〔　　　　　　　　　〕が成立

※直轄地と，在地の有力者に統治を任せる**藩王国**に分けて**分割統治**を実施。

まとめ

イギリスはベンガル地方を獲得したのち，マイソール王国，マラーター同盟，シク王国を征服し，インド支配を確立させた。
インド大反乱でムガル帝国が滅び，イギリス本国支配となったが，ヴィクトリア女王が皇帝を兼任するインド帝国が成立した。

Chapter 2　東南アジアの植民地化

目標
ヨーロッパのどの国が東南アジアのどの地域に進出したかを知ろう。
フランスによるインドシナ半島進出の経緯を確認しよう。

1　マレー半島とビルマ

①マレー半島…**イギリス**が進出

1786 年　**ペナン**を獲得

1819 年　〔　　　　　　　　　　〕を獲得

1824 年　オランダから**マラッカ**を獲得

1826 年　**ペナン・シンガポール・マラッカ**を〔　　　　　　　　〕とする

1895 年　マレー半島の４国を保護国化し，〔　　　　　　　　　　〕を結成させる

20 世紀初頭　〔　　〕，〔　　　〕の生産が盛んになる

※錫鉱山では**華僑**が，ゴム農園では**印僑**が労働に従事。

②ビルマ（現ミャンマー）…**イギリス**が進出

1752 年　〔　　　　　　　　　　〕が成立し，ビルマ全土を支配

1824 年　〔　　　　　　　　〕勃発

３次にわたる戦争でコンバウン朝が滅亡，1886 年，**インド帝国**に併合される

2　フィリピン

1571 年　スペインがルソン島の**マニラ**を領有，フィリピン経営の拠点とする

※マニラとメキシコのアカプルコを結ぶ**アカプルコ貿易**で繁栄。

※政教一致政策によって，住民の**カトリック化**を進める。

1834 年　マニラを自由港とし，欧米諸国の船に開放

3　インドネシア

17 世紀　オランダが**バタヴィア**（現ジャカルタ）を拠点としてジャワ島に進出

1755 年　イスラーム教国の**マタラム王国**を滅ぼし，ジャワ島の大半を支配下に置く

1825 年　オランダの支配に対して〔　　　　　　　　〕がおこるが，鎮圧される

→本国の財政再建のため，住民にコーヒー，サトウキビ，藍，タバコなどを低賃

金で栽培させる〔　　　　　　　　　　〕を導入，莫大な利益を上げる
1912年　アチェ王国を征服。植民地〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

4 インドシナ半島（ベトナム・カンボジア・ラオス）

1802年　〔　　　　　〕が西山政権を倒してベトナムを統一。〔　　　〕を建国
※ユエ（フエ）を都と定め，清に朝貢して国号を**越南**（ベトナム）とする。
1858年　フランスのナポレオン3世による**インドシナ出兵**
1863年　フランスが**カンボジア**を保護国とする
1867年　フランスがベトナム南部を奪う
→**劉永福**（ベトナムに亡命した清の軍人）が〔　　　　　〕を率いて抵抗
1883年　**ユエ**（フエ）**条約**によって，フランスがベトナムを保護国とする
1884年　**清**がベトナムに派兵。ベトナムの宗主権を巡り，〔　　　　　　〕が勃発
1885年　清がフランスと〔　　　　　　〕を締結，フランスのベトナム支配を承認
※清はベトナムの宗主権を放棄，中華思想の崩壊が進む。
1887年　フランスがベトナムとカンボジアを合わせ，植民地化
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立。
※1899年に**ラオス**を編入。

5 タイ

1782年　バンコクを都として〔　　　　　　　　　　　　〕が成立
※現在のタイの領域全域に支配を広げる
1855年　**ラーマ4世**が西欧諸侯に対して開放政策に転じ，イギリスと不平等な条約を結ぶ
19世紀後半　〔　　　　　　　　〕が，行政・司法・軍事の近代化を推進
→不平等条約の一部改正。イギリス・フランスの緩衝地帯として**独立を維持**

まとめ

イギリスはマレー半島やビルマに，スペインはフィリピンに，オランダはインドネシアに，フランスはインドシナ半島に進出した。
フランスがベトナムの保護国化を進めると清仏戦争が勃発し，勝利したフランスは仏領インドシナ連邦を形成した。

第 16 講　PART 2　確認問題

1 1744 年にインドでおこった，イギリスとフランスの戦いはどれか。

① プラッシーの戦い　② カーナティック戦争
③ マイソール戦争　④ マラーター戦争

2 イギリスがシク王国との戦いに勝利して獲得したのは，インドのどこか。

① ベンガル地方　② デカン高原
③ 南インド　④ パンジャーブ地方

3 イギリス東インド会社がインド支配のために，ベンガル管区で実施した徴税制度はどれか。

① ザミンダーリー制　② アシエンダ制
③ エンコミエンダ制　④ ライヤットワーリー制

4 1857 年に反乱をおこしたインド人傭兵はどれか。

① ユンカー　② イェニチェリ
③ ライヤット　④ シパーヒー

5 1886 年に，イギリスにビルマ戦争で滅ぼされた王朝はどれか。

① ラタナコーシン朝　② アユタヤ朝
③ コンバウン朝　④ タウングー朝

6 1755 年にマタラム王国を滅ぼして，ジャワ島を支配下に置いたヨーロッパの国はどこか。

① スペイン　② イギリス
③ オランダ　④ フランス

7 清がフランスのベトナム支配を承認した，1885 年の条約を何というか。

① ユエ条約　② 天津条約
③ イリ条約　④ 北京条約

8 イギリスとフランスの緩衝地帯として，東南アジアで唯一植民地化を回避した国はどこか。

① タイ　② ビルマ
③ フィリピン　④ カンボジア

第16講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART3 列強の中国進出とその影響

Chapter 1　清朝の衰退と諸外国の進出

目標
アヘン戦争がおこった背景を理解しよう。
アヘン戦争の南京条約とアロー戦争の北京条約を比較しよう。

1　清の衰退と三角貿易

①清朝の支配体制の動揺

A　18世紀から人口が急増。19世紀半ばには約4億3000万人に達する

B　内陸部の開発が，乱開発や森林伐採によって限界に達する

C　四川などで白蓮教が広まり，1796年，**白蓮教徒の乱**が発生

※清朝の八旗，緑営に代わり，地方有力者の**義勇軍**（**郷勇**）が反乱鎮圧に活躍。

②片貿易

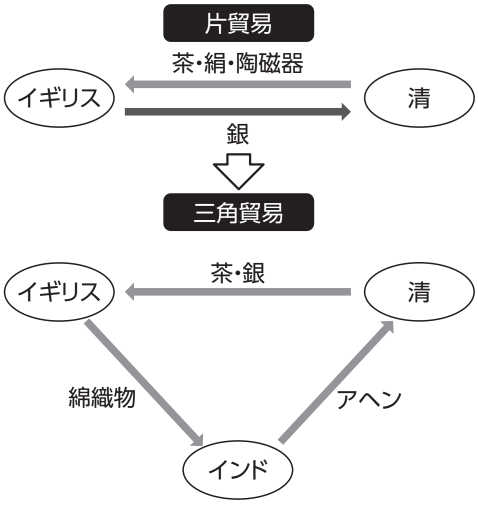
清が茶，絹，陶磁器をイギリスへ輸出，イギリスからは大量の**銀**が流入

→対清貿易が輸入超過だったイギリスが，〔　　　　　　　　　　　　〕や**アマースト**を清に派遣，貿易条件の改善を求めるが拒否

③イギリス・インド・清を結ぶ**三角貿易**

イギリスが，インド産の**アヘン**を清に輸出。清から茶を輸入して本国へ運び，イギリスから綿製品をインドへ輸出

→清ではアヘンの害毒に苦しむ民衆が激増。銀価格が高騰し，社会不安を招く



片貿易と三角貿易

2　アヘン戦争と朝貢貿易体制の崩壊

1796年　清がアヘンの輸入を禁止

1839年　広州に〔　　　　　　　〕を派遣，アヘンを没収して廃棄する

1840年　〔　　　　　　　　　　　〕が勃発

※イギリス軍が最新の兵器と戦術によって，清軍を圧倒。

1842年　アヘン戦争の講和条約〔　　　　　　　　〕を締結

※（1）**上海・寧波・福州・厦門・広州**の開港，（2）〔　　　　　　〕の割譲，（3）賠償金の支払い，（4）**公行**（特許商人）廃止による自由貿易などを定める。

→朝貢貿易体制の崩壊

→その後，イギリスと五港通商章程や**虎門寨追加条約**を締結

※（1）領事裁判権（治外法権）の承認，（2）関税自主権の喪失，
（3）片務的**最恵国**待遇などを定めた**不平等条約**。

1844年　アメリカと**望厦条約**，フランスと**黄埔条約**を締結，イギリスと同等の権利を承認される

3　アロー戦争と列強の進出

1856年　**アロー号事件**

香港船籍の中国人船員を，清が海賊容疑で逮捕

1856年　〔　　　　　　　　　　〕（**第二次アヘン戦争**）

※アロー号事件，宣教師殺害事件を口実にイギリス・フランスが共同出兵。

1858年　イギリス・フランスと〔　　　　　　　　〕を締結

※（1）イギリス・フランスへ賠償金の支払い，（2）開港場の増加
（3）**外国公使の北京在駐**，（4）外国人の**内地旅行の自由**，（5）**キリスト教布教の自由**，（6）アヘン貿易の公認などを定める。

1859年　批准書交換のために北京へ向かう英仏軍と清軍が衝突し，戦闘が再開

※このとき，英仏軍が北京郊外の**円明園**を略奪，破壊。

1860年　ロシアの調停で〔　　　　　　　　〕を締結

※天津条約の内容に加えて（1）賠償金の増額，（2）天津の開港，（3）九竜半島南部のイギリスへの割譲などを定める。

1861年　外交交渉のため，北京に〔　　　　　　　　　　　　　〕を設立

まとめ

イギリスが清にアヘンを流したことで，清がアヘンの密貿易を取り締まると，アヘン戦争が勃発した。

南京条約では五港の開港など貿易関連の条項が取り決められたが，北京条約では外国公使の北京駐在権など，政治関連の条項が中心であった。

Chapter 2　清の内乱と改革運動

目標
太平天国の乱の鎮圧に活躍した軍隊は何だろう。
洋務運動の問題点を理解しよう。

1 太平天国の乱

19世紀半ば　安徽の**捻軍**，貴州の少数民族（ミャオ族）など，各地で反乱が勃発

1851年　宗教結社（**拝上帝会**）の〔　　　　　　　〕が広西省の金田村で挙兵し，**太平天国**を建てる

※洪秀全はキリスト教の影響を受け拝上帝会を創設。

※清朝打倒を目指してスローガン「〔　　　　　　　〕」を掲げる。

1853年　太平天国軍が**南京**を占領して天京と改称し，華中・華南を支配

→漢人官僚の〔　　　　　　　〕が湖南で**義勇軍**（**郷勇**）の**湘軍**を，〔　　　　　　　〕が安徽で**淮軍**をそれぞれ組織して，反乱鎮圧に活躍

※イギリス人**ゴードン**やアメリカ人**ウォード**が，近代的装備の中国人の軍隊〔　　　　　　　〕を指揮して郷勇を助ける。

1864年　天京が陥落し，太平天国が滅亡

2 近代化の進展

①同治の中興

1861年に**同治帝**が即位。その治世は内政・外政が比較的安定

②〔　　　　　　　〕（1860年代～1890年代）

曾国藩，**李鴻章**，**左宗棠**ら有力漢人官僚が中心となって，欧米の技術を導入。軍事・技術面で近代化を推進する

③〔　　　　　　　〕

洋務運動の基本思想。伝統的な政治体制のもと，軍事・技術面の近代化（欧米の技術の導入）を図る

→抜本的な改革にならず，中途半端に終わる

3 ロシアの極東南下

1858年　アロー戦争に乗じてロシアが清に圧力,〔　　　　　　　　　　　　〕を締結

※**黒竜江**(**アムール川**)以北をロシアに割譲,ウスリー川以東を共同管理地とする。

1860年　英仏との調停の見返りとして,ロシアと〔　　　　　　　〕を締結

※〔　　　　　　〕(**ウスリー川以東**)をロシアに割譲。

→軍港〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建設

1871年　ロシアが新疆に出兵し〔　　　　　　　　〕がおこる

※新疆のイスラーム教徒の反乱を利用してイリを占領,清と対立。

1881年　**左宗棠**が新疆を奪還,ロシアと**イリ条約**を締結

※ロシアはイリ地方から撤退するが,通商上の特権を獲得。

ロシアの割譲地

まとめ

太平天国の乱は,漢人官僚の義勇軍である郷勇や,外国が介入した常勝軍により鎮圧された。

洋務運動は「中体西用」を掲げ,中国の伝統を守ったため,中途半端に終わった。

第16講　PART3　確認問題

1　1796年に四川などで発生した反乱はどれか。

① 赤眉の乱　② 黄巣の乱
③ 白蓮教徒の乱　④ 黄巾の乱

2　広州に派遣されて，アヘンの密輸を取り締まった清の政治家はだれか。

① 林則徐　② 秦檜
③ 趙匡胤　④ 張居正

3　アヘン戦争に敗れた清が，南京条約でイギリスに割譲したのはどこか。

① 九龍半島南部　② 台湾
③ 遼東半島　④ 香港島

4　1858年に清がイギリス・フランスと締結した，アロー戦争の講和条約を何というか。

① 北京条約　② 天津条約
③ 黄埔条約　④ 望厦条約

5　1851年に広西省の金田村で挙兵し，太平天国を建てた人物はだれか。

① 呉三桂　② 朱全忠
③ 洪秀全　④ 王仙芝

6 漢人官僚の曾国藩が，太平天国の乱鎮圧のために組織した義勇軍はどれか。

① 湘軍　② 八旗
③ 緑営　④ 淮軍

7 同治帝の治世に行われた洋務運動の説明として，**適当でない**ものを一つ選べ。

① 1860 年代から 1890 年代に行われた。
② 同治帝の母である西太后が中心となって進められた。
③ 軍事・技術面の近代化を図った。
④ 中体西用が洋務運動の基本思想だった。

8 ロシアに黒竜江（アムール川）以北を割譲することになった，1858 年の条約を何というか。

① ネルチンスク条約　② イリ条約
③ キャフタ条約　④ アイグン条約

第 16 講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART4 日本の台頭と朝鮮半島の動乱

Chapter 1 明治維新と日本の台頭

目標
明治維新で，日本の政治体制はどのように変わったのだろうか。
明治維新後の日本の領域がどのように決まったのかをおさえよう。

1 日本の明治維新

1853 年　アメリカ東インド艦隊司令官**ペリー**が浦賀に来航し，開国を要求

1854 年　江戸幕府がアメリカと**日米和親条約**を締結し，開国
※（1）下田・函館の開港，（2）片務的最恵国待遇の付与などを定める。

1858 年　〔　　　　　　　　　　　　　〕を締結
※米駐日総領事ハリスと結んだ**不平等条約**で，（1）神奈川など 5 港の開港，（2）領事裁判権，（3）協定関税制（関税自主権の喪失）などを定める。

1858 年　オランダ，ロシア，イギリス，フランスとも同様の通商条約を締結
→尊王攘夷運動が広まる。やがて，薩摩藩・長州藩を中心とする倒幕運動へ発展

1867 年　第 15 代将軍徳川慶喜が**大政奉還**（政権を朝廷に返上）を行う

1868 年　王政復古のクーデタによって，新政府が成立（〔　　　　　　　〕）
※富国強兵，殖産興業を目指し，天皇を中心とする近代国家建設を進める。

2 国境策定

1871 年　不平等条約の改正の予備交渉のため，〔　　　　　　　　〕を欧米に派遣

1871 年　清と〔　　　　　　　　　〕を締結
※日清間で結ばれた最初の条約で，領事裁判権と協定関税率を相互に承認。

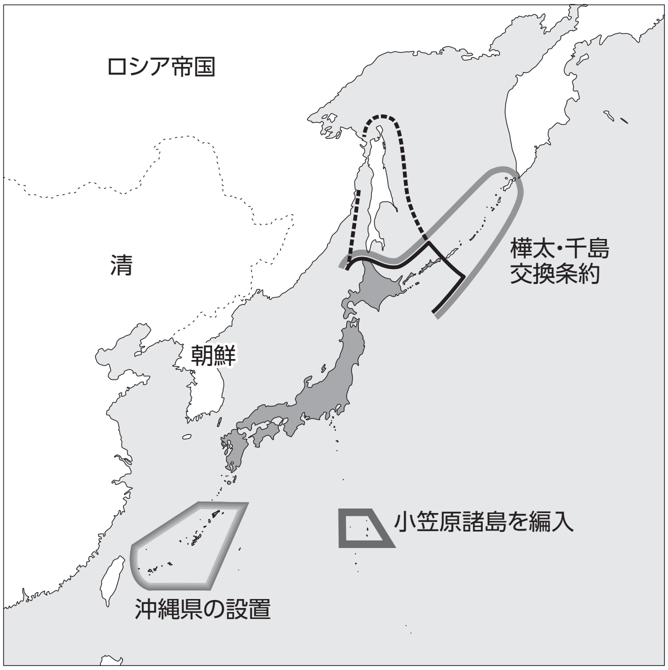
1872 年　日清両属状態にあった〔　　　　　　〕を琉球藩とする

1874 年　〔　　　　　　〕
※台湾に漂着した琉球島民の殺害事件を口実に出兵。
→ 1879 年に**沖縄県**とし，琉球を日本に併合（**琉球処分**）

1875 年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結ぶ

※樺太（サハリン）をロシア領，全千島列島を日本領とし，両国の国境が確定。

1876 年　**小笠原諸島**の日本領有が確定



日本の国境策定

3　自由民権運動と大日本帝国憲法

1874 年　板垣退助らが，国会開設を要求する**民撰議院設立の建白書**を政府に提出

→民主的改革を要求する政治運動〔　　　　　　　　　　　　〕が勃発

1881 年　政府が**国会開設の勅諭**を出し，10 年後に国会を開くことを約束

1889 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（明治憲法）を発布

※君主権の強いプロイセン憲法を手本とし，欽定憲法として発布。

1890 年　第 1 回**帝国議会**を開催

1894 年　イギリスと日英通商航海条約を結び，領事裁判権の撤廃に成功

まとめ　江戸幕府の封建体制から，天皇を中心とする中央集権体制に変化した。日清修好条規や樺太・千島交換条約で国境が策定されたほか，琉球処分で沖縄を領域に加えた。

Chapter 2　朝鮮半島の動乱

目標
壬午軍乱や甲申政変の歴史的意義を理解しよう。
日清戦争に勝利した日本が得たものについて知ろう。

1　李朝の衰退と日本の進出

1811年　洪景来の乱がおこる
　※没落した官人の洪景来が，李朝に不満を持つ官僚や農民を率いる。
1863年　**高宗**が即位。父である〔　　　　　　〕が摂政として実権を握る
　※鎖国政策を取り，欧米諸国からの開国要求を拒否。日本とも対立。
1873年　王妃閔妃の一族（〔　　　　〕）が実権を握り，**大院君**が失脚
1875年　日本が〔　　　　　　　　　　〕をおこし，開国を迫る
1876年　日本と〔　　　　　　　　　　　　〕（江華条約）を締結し，開国
　※（1）釜山，仁川，元山の開港，（2）日本の領事裁判権，関税の免除など。

2　朝鮮半島の動乱

1882年　**漢城**（現ソウル）で，攘夷派の軍人による反乱〔　　　　　　　　〕が勃発
　※**大院君**を擁立して閔氏派を攻撃，日本公使館を襲撃するも，清軍に制圧される。
　→清を後見とする閔氏ら（事大党）と日本に接近する開化派（独立党）が対立
1884年　開化派の〔　　　　　　〕らが反乱〔　　　　　　　　〕をおこす
　※日本の支援を受け閔氏政権打倒を目指すが，清軍に鎮圧される。
　→清が朝鮮への影響力を強め，日本と対立

3　日清戦争とその影響

19世紀末　**崔済愚**がおこした新宗教〔　　　　〕が，朝鮮王朝の圧政に苦しむ民衆の間に広まる
1885年　日本と清が**天津条約**を結び，出兵の際の事前通告を定めて朝鮮から撤兵
　※将来出兵する際には，事前に通告することなどを定める。
1894年　〔　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　　　〕（東学の乱）をおこす
1894年　朝鮮政府が反乱鎮圧のために，清に派兵を要請

日本も出兵して〔　　　　　　　　〕が勃発

※日本が陸海両面で清軍を圧倒

1895年　日本と清が講和条約〔　　　　　　　　〕を結ぶ

※日本全権は**伊藤博文**，清朝全権は**李鴻章**。

※（1）清は**朝鮮の独立**を承認,（2）**遼東半島**・〔　　　　〕・**澎湖諸島**を日本へ割譲,（3）2億両の賠償金の支払い，（4）開港場の企業設立権などを定める。

→賠償金によって，日本の産業革命が進む

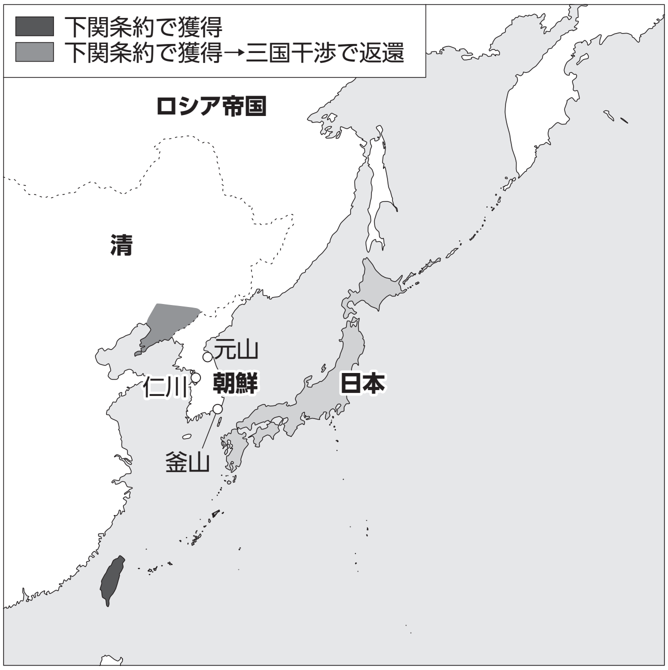
1895年　ロシア・ドイツ・フランスによる〔　　　　　　　　〕がおこる

※日本は遼東半島を清に返還。

1895年　日本公使が中心となり，**閔妃**を暗殺

※日本とロシアの対立が進む。

→朝鮮民衆の反日感情が高まる



日清戦争により日本が得た土地

まとめ

壬午軍乱や甲申政変の動乱で閔氏政権は清に，開化派は日本に援助を求め，朝鮮進出を図る日本と清の対立が激化した。
台湾などの領土に加え，開港場における企業の設立が認められた。また賠償金によって日本の産業革命が進んだ。

第 16 講 PART 4 確認問題

1 日本の江戸幕府が鎖国をとき，開国へ踏み出すことになった条約を何というか。

① 日露和親条約　② 日露修好通商条約
③ 日米和親条約　④ 日米修好通商条約

2 日本とロシアの国境を画定させた，1875 年の条約を何というか。

① ポーツマス条約　② 樺太・千島交換条約
③ 下関条約　④ アイグン条約

3 高宗の摂政として，朝鮮の鎖国政策を推し進めた人物はだれか。

① 西太后　② 閔氏
③ 大院君　④ 洪景来

4 日本が朝鮮を開国させるきっかけになった，1875 年の出来事はどれか。

① アロー戦争　② 琉球処分
③ 台湾出兵　④ 江華島事件

5 19 世紀後半，閔氏政権打倒を掲げて甲申事変をおこした開化派の人物はだれか。

① 金玉均　② 崔済愚
③ 李舜臣　④ 全琫準

6 日清戦争勃発のきっかけとなった，朝鮮農民たちの反乱はどれか。

① 李自成の乱　② 太平天国の乱
③ 白蓮教徒の乱　④ 東学の乱

7 日清戦争の結果，日本が獲得したのは，遼東半島・澎湖諸島とあともう一つはどこか。

① 青島　② 香港島
③ 台湾　④ マカオ

8 下関条約で日本が遼東半島を獲得したことに対し，ドイツ・フランスを誘って三国干渉を行ったのはどこの国か。

① ロシア　② アメリカ
③ イギリス　④ 朝鮮

第 17 講 【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗
PART1 帝国主義時代の欧米諸国 1

Chapter 1 帝国主義のありよう

目標
19 世紀後半に産業革命がどのように変化したのかをおさえよう。
列強諸国が帝国主義で植民地への進出・分割を行った流れを理解しよう。

1 第二次産業革命と独占資本の出現

①〔　　　　　　　　　　　　〕

A 19 世紀後半からドイツ，アメリカで先行

B 石油や電力を用い，重化学工業が発展

C 金融資本と結びついた**独占資本**が出現

→**資本投下**先として植民地を求める

②独占資本の形成

第二次産業革命は，莫大な資本（大規模な設備投資など）を必要としたため，少数の大企業に生産が集中し，大企業が市場を独占的に支配する**独占資本**が形成された。また，資本を提供する銀行と企業が結びついた**金融資本**が大きな力を持つようになった。

独占資本の形態

A 〔　　　　　　　〕

同一業種の企業が価格や生産量において協定を結ぶ**企業連合**。

B 〔　　　　　　　〕

同一業種の企業が有力資本のもとに吸収・合併されて合同する**企業合同**

C **コンツェルン**

異なる業種の企業が同一資本のもとに統合される企業グループ

③イギリスやフランス

第二次産業革命に遅れをとったイギリスやフランスは，余剰資本を外国に輸出する**資本投下**を盛んに行い，植民地や勢力範囲を拡大

2 帝国主義と植民地の再分割

①植民地の役割の変化

商品市場の確保，原料・資源の供給地，さらには余剰資本の投下先としての植民地の重要性が高まり，列強による植民地獲得競争が激化

②世界の再分割

イギリス，フランス，ロシア，オランダなどに加え，第二次産業革命が進展したドイツやアメリカなども植民地獲得競争に参入，**世界の再分割**が進む

→［　　　　　　　　　］時代のはじまり

③帝国主義時代の特徴

A　1870 年代にはじまった世界的な不況のもとで，中小企業が次々と倒産

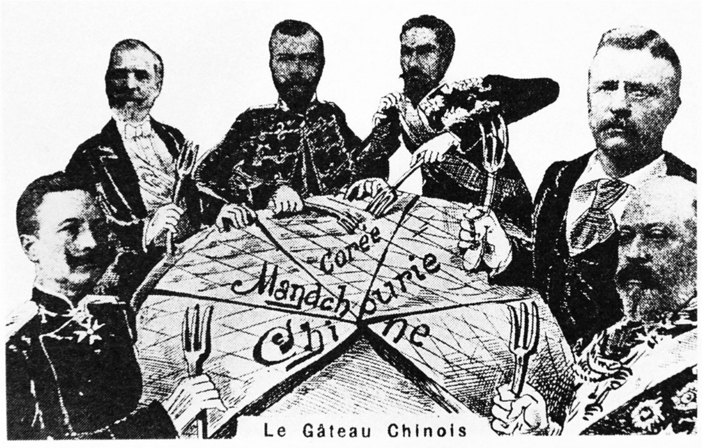
B　のちに**ベルエポック**（すばらしい時代）と呼ばれる

19 世紀末には長期の低成長期が終わり，好景気が持続して一大繁栄期に入る

C　移民が増加

あ　南欧・東欧からアメリカへの**新移民**

い　中国からの**華僑**やインドからの**印僑**



帝国主義で分割している中国

まとめ

重化学工業を中心とする第二次産業革命がアメリカとドイツで先行し，金融資本と結びついて大規模化が進んだ。

第二次産業革命で植民地拡大に乗り出した列強諸国は，互いに牽制しつつ，領土の再分割を進めた。

Chapter 2　イギリスの情勢とフランス第三共和政

目標
イギリスの社会主義政党が形成された過程を知ろう。
フランスが帝国主義政策を進めていった流れをおさえよう。

1　帝国主義時代のイギリス

①イギリスの帝国主義政策

A 「世界の工場」から「**世界の銀行**」へ

B 植民地・勢力圏の拡大

1875 年　保守党の**ディズレーリ**首相が**スエズ運河株式会社**の株を買収
→運河の経営権を握り，「インドへの道」を確保

1877 年　ヴィクトリア女王を皇帝とする**インド帝国**が成立

1882 年　自由党の**グラッドストン**首相が**エジプト**を事実上の保護国とする

1899 年　植民地相**ジョゼフ = チェンバレン**が**南アフリカ戦争**を開始（~ 1902 年）

C 白人中心の植民地を自治領として間接統治

※**カナダ連邦**（1867 年），**オーストラリア連邦**（1901 年），**ニュージーランド**（1907 年），**南アフリカ連邦**（1910 年）。

②国内の動き

1900 年　**フェビアン協会**などの社会主義団体が，〔　　　　　　　　　　　　〕を結成
※フェビアン協会は改良主義を掲げる社会主義団体で，ウェッブ夫妻や劇作家バーナード = ショーらによって 1884 年に結成された。

1906 年　労働代表委員会が〔　　　　　　〕と改称
※自由党と連携しつつ議席を拡大。

1911 年　〔　　　　　　〕を制定し，下院（庶民院）の優位を確定

1914 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が成立
→**アルスター地方**の反対
第一次世界大戦勃発を口実に実施を延期

1916 年　自治法実施の延期に抗議して**イースター蜂起**が勃発
→以後，民族主義政党〔　　　　　　　　　　　　〕（1905 年に結成）が独立運動を主導

2　帝国主義時代のフランス

①対外政策

農業国であったフランスは，イギリス，ドイツに比べて工業化が停滞し，資本投下による利益回収を目指した

1894 年　ロシアと**露仏同盟**を結び，ドイツによる国際的孤立から脱出

→大量の余剰資本をロシアへ投資する契機となる

1904 年　イギリスと**英仏協商**を結び，対立関係を解消

→ドイツ包囲網の一角が形成される

②国内の動き

19 世紀後半，ドイツへの報復，反ユダヤ，反共和政の動きが高まり，政情が不安定

1889 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕

※ブーランジェ将軍によるクーデタ未遂事件。

1894 年　〔　　　　　　　　　　　　〕

※ユダヤ系軍人ドレフュスに対する冤罪事件。ドレフュスはドイツのスパイ容疑で流刑に処せられるが，作家のゾラら共和政支持派の救済運動で無罪になる。

→世論はドレフュス支持派と反ドレフュス派に二分された

19 世紀末　パレスチナにユダヤ人の国家建設を目指す〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※ユダヤ人ジャーナリスト**ヘルツル**が提唱。　1897 年にスイスのバーゼルで第 1 回世界シオニスト会議を開催。

19 世紀末　労働運動や社会主義運動が高揚。**サンディカリズム**が出現

※ゼネストなど，労働組合の直接行動による社会改革を目指す運動。

1905 年　共和政政府が**政教分離法**を発布，国家の宗教的中立を定める

1905 年　フランスの社会主義諸党派が〔　　　　　　　　　　　　〕を結成

まとめ

社会主義の諸団体が統合して労働代表委員会が成立し，労働党に改組された。産業革命の進展が停滞ぎみだったフランスでは，ロシアへの資本投下を積極的に行い，帝国主義政策を進めた。

第 17 講　PART 1　確認問題

1 第二次産業革命の中心国となったのは，ドイツとどこか。

① アメリカ　② イギリス
③ フランス　④ オランダ

2 第二次産業革命において，技術革新の動力源となったものは，石油とあともう一つは何か。

① 蒸気機関　② 石炭
③ 電力　④ 天然ガス

3 同一業種の企業が価格や生産量において協定を結ぶ独占資本の一形態はどれか。

① コンツェルン　② カルテル
③ トラスト　④ 金融資本

4 イギリスの植民地相で，帝国主義政策の一環として南アフリカ戦争をおこした人物はだれか。

① セシル＝ローズ　② ディズレーリ
③ グラッドストン　④ ジョゼフ＝チェンバレン

5 イギリスで 1906 年に成立し，のちに保守党に対抗するまでになった政党はどれか。

① 労働党　② 社会革命党
③ 自由党　④ 民主党

6 イギリスで下院（庶民院）の優位を確定した，1911 年の法律はどれか。

① 寛容法　② 審査法
③ 議会法　④ ホームステッド法

7 フランスの世論が共和政擁護と反共和政に二分されることになった，1894 年の出来事はどれか。

① ヴァレンヌ逃亡事件　② ブーランジェ事件
③ ファショダ事件　④ ドレフュス事件

8 19 世紀末にはじまった，パレスチナにユダヤ人の国家を建設しようという運動はどれか。

① ウラービー運動　② シオニズム運動
③ マフディー運動　④ チャーティスト運動

第17講 【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗
PART2 帝国主義時代の欧米諸国２

Chapter 1　ドイツの対外拡大とロシアの改革

目標
ヴィルヘルム２世の帝国主義政策の影響を理解しよう。
血の日曜日事件以降の第一次ロシア革命が，どのように決着したのかをおさえよう。

1　ドイツの帝国主義政策

①**ビスマルク**の政治

A　内政

1878年　**社会主義者鎮圧法**で**ドイツ社会主義労働者党**への弾圧を強化

B　外政

1882年　ドイツ・オーストリア・イタリアの**三国同盟**を結ぶ

1887年　ロシアと**再保障条約**を結ぶ

※フランスの孤立化とヨーロッパの勢力均衡を目指す**ビスマルク体制**。

②新皇帝〔　　　　　　　　　　　　〕の政治

A　内政

1890年　政策上の対立からビスマルクが辞任

1890年　**社会主義者鎮圧法**を廃止し，労働者との融和を図る

1890年　ドイツ社会主義労働者党が〔　　　　　　　　　　　　〕と改称

※漸進的な社会改良を目指す**修正主義**が支持される。

B　外政

〔　　　　　　　　〕と呼ばれる対外膨張政策に転じる

1890年　拡大政策のためロシアとの**再保障条約**を破棄

1898年　清から山東半島の**膠州湾**を租借

1899年　オスマン帝国から**バグダード鉄道敷設権**を獲得

→ベルリン，イスタンブル（ビザンティウム），バグダードを結ぶ**３Ｂ政策**を進める

→イギリスの**３Ｃ政策**（カイロ，ケープタウン，カルカッタ）と対立

1905 年　モロッコ進出を画策し，**モロッコ事件**（第一次）をおこす

2　ロシアの帝国主義と第一次ロシア革命

①〔　　　　　　　　　　〕の即位

A　皇帝による専制政治（ツァーリズム）を継承

B　〔　　　　　　　〕（1894 年）によってフランス資本導入。産業革命が進展する

C　ロシアの東西を結ぶ全長 9300km の〔　　　　　　　　　　〕が完成

②ロシアの諸政党

1898 年　マルクス主義政党〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕結成

→レーニンが指導する過激な〔　　　　　　　　　　　〕（多数派）と，プレハーノフが指導する穏健な〔　　　　　　　　　　　〕（少数派）に分裂

1901 年　ナロードニキの流れを汲む〔　　　　　　　　　　〕（エスエル党）結成

1905 年　ブルジョワ自由主義者の政党〔　　　　　　　　　〕（カデット党）結成

③第一次ロシア革命

1904 年　**日露戦争**が勃発

1905 年　戦況悪化から，〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる（**第一次ロシア革命**）

※生活の改善，戦争の中止を皇帝に請願するデモ隊に，軍隊が発砲。

1905 年　労働者が〔　　　　　　　　〕（評議会）を組織。革命が進む

1905 年　ニコライ２世が〔　　　　　　　〕を出す

※国会（**ドゥーマ**）開設，憲法制定などを約束。改革派の〔　　　　　　　〕を首相に登用するが，革命が沈静化すると再び専制政治を強化。

1906 年　〔　　　　　　　　　　〕が首相になり，反動政治を進めて革命を弾圧

※**ミール**（農村共同体）の解体と自作農の創出を進める。

まとめ　世界政策によって拡大を推し進めたことで英・仏・露との関係が悪化していった。ニコライ２世は十月宣言で国会設立などを約束したが，革命運動が鎮静すると再び専制的体制に戻った。

Chapter 2　アメリカの発展

目標　アメリカが拡大政策に転換した流れを理解しよう。
帝国主義の時代にアメリカがどの地域に拡大したのかを確認しよう。

1　拡大政策への転換

①産業革命の進展

石炭・石油・鉄鋼などの重工業が躍進，19 世紀末には**世界一の工業国**になる

1882 年　**中国人移民禁止法**が成立，移民の制限がはじまる

②労働運動・農民運動の高揚

1886 年　**アメリカ労働総同盟**（**AFL**）が結成される

③独占資本の出現

スタンダード石油会社を創設した**ロックフェラー**などが，**トラスト**（企業合同）を形成

→ 1890 年　独占を禁止する〔　　　　　　　　　　〕を制定

※独占企業の台頭に対し，独占の規制を求める「**革新主義**」運動が広まる。

④**フロンティア**（開拓地と未開拓地の境界）の終焉

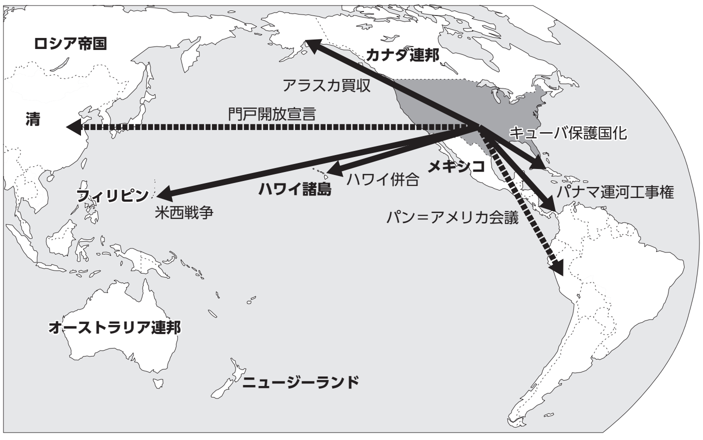
1886 年　アパッチ族の蜂起を最後に，先住民による組織的抵抗が終わる

1890 年代　**フロンティアの消滅**を宣言

⑤孤立主義から拡大政策への転換

工業力の拡大に対して，国内市場の開拓が遅れる

1889 年　ワシントンで第 1 回〔　　　　　　　　　　　　　〕を主催，ラテンアメリカへの影響力を強める



アメリカの拡大政策による進出先

2 アメリカの帝国主義政策

①第 25 代大統領〔　　　　　　　　　　〕(共和党)

帝国主義政策を開始，海外進出を積極的に推進

1898 年 〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕(米西戦争)

※スペインの植民地〔　　　　　　〕の独立支援を口実に, スペインに開戦。

→**フィリピン**，**グアム**，**プエルトリコ**を獲得

1898 年 軍事上の要地である〔　　　　　〕を併合

1899 年 国務長官**ジョン = ヘイ**が〔　　　　　　　　　〕を出す

※中国進出が遅れたアメリカは**門戸開放**，**機会均等**，**領土保全**の 3 原則を列強に提唱。

②第 26 代大統領〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕(共和党)

カリブ海政策を展開, 軍事力を背景にラテンアメリカ諸国に干渉（「〔　　　　　　　〕」）

1901 年 **プラット条項**により，**キューバ**を事実上の保護国化

1902 年 **フィリピン = アメリカ戦争**に勝利し，フィリピンを植民地とする

1903 年 **パナマ**をコロンビアから分離独立させ，〔　　　　　　　　〕の工事権を獲得

③第 27 代大統領**タフト**（共和党）

「ドル外交」を進め，中国の鉄道敷設，中米への投資による市場開拓

④第 28 代大統領〔　　　　　　　　〕(民主党)

A 「新しい自由」を掲げ，反トラスト法の強化などを行う

B 共和党の棍棒外交を批判,「**宣教師外交**」を展開

→ 1914 年 **パナマ運河**が開通，カリブ海・太平洋を結ぶルートを確保

まとめ

フロンティアが消滅すると，工業力を背景に資本投下を行うため，孤立主義から拡大政策に転換した。
フィリピン，グアム，ハワイなどの太平洋や，キューバやプエルトリコなどのカリブ海に進出した。

第17講 PART 2 確認問題

1 世界政策と呼ばれる対外膨張政策を開始したドイツ皇帝はだれか。

① ヴィルヘルム１世　② ヴィルヘルム２世
③ フリードリヒ１世　④ フリードリヒ２世

2 世界政策の展開時期にドイツが清から租借したのはどこか。

① 旅順　② 大連
③ 膠州湾　④ 広州湾

3 ロシア社会民主労働党から分離した，ボリシェヴィキを率いた人物はだれか。

① マルクス　② プレハーノフ
③ エンゲルス　④ レーニン

4 第一次ロシア革命のきっかけとなった，軍隊による民衆への発砲事件はどれか。

① 血の週間　② サン＝バルテルミの虐殺
③ 血の日曜日事件　④ ブーランジェ事件

5 第一次ロシア革命を鎮静化するため，十月宣言を出した皇帝はだれか。

① アレクサンドル１世　② アレクサンドル２世
③ ニコライ１世　④ ニコライ２世

6 キューバ独立支援を口実に，スペインに開戦した大統領はだれか。

① タフト　② セオドア＝ローズヴェルト
③ マッキンリー　④ ウィルソン

7 軍事力を背景として棍棒外交を行った，アメリカ大統領はだれか。

① マッキンリー　② セオドア＝ローズヴェルト
③ タフト　④ ウィルソン

8 1901 年のプラット条項により，事実上アメリカの保護国とされた国はどこか。

① フィリピン　② メキシコ
③ ハワイ　④ キューバ

第17講　【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗

PART3 世界各地の分割

Chapter 1　太平洋地域の分割とラテンアメリカの従属化

目標
ハワイがどのようにしてアメリカに併合されたのかを学ぼう。
メキシコ革命の経緯を理解しよう。

1　太平洋の分割

①オーストラリア

1770年　イギリス人探検家〔　　　　　　〕が探検。イギリスが東部の領有を宣言
※1788年からイギリスの流刑植民地となり，流刑囚が大量に送られる。
→移民が先住民**アボリジニー**を迫害しながら，開拓を進める

1851年　牧羊業の成功と金鉱の発見により，移民が急増。**ゴールドラッシュ**がおこる

1901年　**オーストラリア連邦**が成立，イギリス帝国内の自治領に
※**白豪主義**（白人中心主義）によって非白人住民を差別。

②ニュージーランド

1642年　オランダ人探検家**タスマン**が発見

1769年　イギリス人探検家**クック**が南北両島を探検

1840年　イギリスが先住民〔　　　　　　〕の首長たちと条約を結び，植民地とする
→移民に土地を奪われたマオリが抵抗，マオリ戦争がおこる

1893年　世界で初めて**女性の参政権**が認められる

1907年　イギリスの自治領となる

③太平洋地域

A　フランス…ニューカレドニア島，タヒチ島を獲得
※タヒチ島は後期印象派の画家**ゴーガン**が移り住んだ地として有名。

B　イギリス…フィジー諸島を獲得

C　ドイツ…〔　　　　　　　　　　　〕，マーシャル諸島などを獲得

D　アメリカ
1898年　**米西戦争**に勝利して，フィリピン，〔　　　　　　　〕を獲得

④ハワイ諸島

1778年　イギリス人探検家**クック**が到達
19世紀初頭　カメハメハ1世がハワイ全島を統一，**ハワイ王国**を建国
1840年　立憲君主政となり，近代化を進める
1893年　アメリカ合衆国の圧力で〔　　　　　　　　　　　　〕女王が失脚
1898年　アメリカに併合される

2　ラテンアメリカの従属化

①カリブ海地域
1901年　アメリカが**キューバ**を保護国化
1905年　アメリカがドミニカを保護国化

②メキシコの動乱
1848年　メキシコが**アメリカ＝メキシコ戦争**に敗北，国土の半分近くをアメリカに割譲
1858年　先住民出身の**フアレス**が大統領となる
1858年　自由主義派と保守派が対立，〔　　　　　　　　　　〕が勃発（～61年）
1862年　フランス皇帝**ナポレオン３世**が軍事介入
1864年　ナポレオン3世がオーストリア皇帝の弟をメキシコ皇帝にすえ，帝政が成立
1867年　フアレス軍が，メキシコ皇帝を処刑
1877年　内乱で活躍した軍人〔　　　　　　〕が大統領となり，独裁体制を敷く
1910年　**ディアス**の独裁体制打倒を目指し，自由主義者の〔　　　　　〕の指導で，
民主主義革命〔　　　　　　　　　　〕がはじまる
※農民運動の指導者**サパタ**や**ビリャ**が活躍。
1911年　ディアス政権が倒れ，**マデロ**が大統領に就任
1917年　**カランサ**がメキシコ憲法を制定，大統領に就任

まとめ
アメリカの策謀によりカメハメハ朝が滅亡し，ハワイが併合された。
マデロが独裁政権を打倒したが，新体制を巡る内戦など混乱が続いたのちに新憲法が制定された。

Chapter 2　アフリカの分割

目標
イギリスとフランスのアフリカ政策を比較してみよう。
ドイツのモロッコ進出が及ぼした影響を理解しよう。

1　イギリスのアフリカ進出

①エジプト進出

1882 年　エジプトの軍人**ウラービー**による**ウラービー運動**を制圧

1914 年　スエズ運河を持つエジプトを**保護国**とする

②スーダン進出

1898 年　イギリスの支配に対する抵抗運動〔　　　　　　　　　　〕を制圧

1899 年　エジプト・イギリスの共同統治下に置く

③南アフリカ進出

1814 年　ウィーン会議で**オランダ**から〔　　　　　　　　〕を獲得

→オランダ系移民の子孫〔　　　　　　〕（アフリカーナー）が反発

北上して〔　　　　　　　　〕と

〔　　　　　　　　　　　　〕を建国

1895 年　ケープ植民地首相〔　　　　〕がローデシアを建設

※エジプトとケープ植民地を繋ぐアフリカ〔　　　　　〕を追求。

1899 年　金･ダイヤモンドを巡って〔　　　　　　　　　〕がおこる（～1902年）

※本国の植民地相**ジョゼフ＝チェンバレン**による

→オレンジ自由国とトランスヴァール共和国を併合

1910 年　〔　　　　　　　　　〕が成立，イギリスの自治領となる

※黒人に対する人種差別政策（**アパルトヘイト**）を実施。

2　フランスのアフリカ進出とモロッコ事件

①フランスのアフリカ進出

1830 年　**アルジェリア**を植民地化

1881 年　**チュニジア**を保護国化

1890 年代　サハラ以南に進出（モロッコへ進出）

1896 年　〔　　　　　〕を獲得

※北アフリカからジブチに至るアフリカ〔　　　　　　　　〕を推進。

1898 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕…南スーダンのファショダでイギリスと衝突

→イギリスがスーダンを，フランスがモロッコを確保することで妥協が成立

②モロッコ事件

ドイツの**ヴィルヘルム２世**のモロッコ進出画策に英仏が反発

1904 年　〔　　　　　　　　〕で，モロッコに対する優越的権利を認められる

1905 年　**第一次**〔　　　　　　　　　　　〕（**タンジール事件**）

1911 年　**第二次モロッコ事件**（**アガディール事件**）

→英仏が協力しドイツに抵抗，フランスはモロッコを保護国化

3　その他の地域

①ドイツ…〔　　　　　　　　　　〕，アフリカ南東部・南西部に進出

1884 年　南西アフリカ（現ナミビア）を植民地とする

②イタリア

19 世紀末　北東部に植民地，エリトリアやイタリア領ソマリランドに進出

1895 年　〔　　　　　　　　　　〕に侵入するもアドワの戦いで大敗し失敗

1912 年　**伊土戦争**に勝利，〔　　　　　　〕（**トリポリ・キレナイカ**）を獲得

③ベルギー

1884 年　**ベルリン会議**で，**コンゴ川**流域の統治権を獲得

1885 年　ベルギー王の私的植民地として〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

④ポルトガル…**アンゴラ・モザンビーク**で支配地を拡大

⑤アフリカの独立国家

A　**エチオピア**

1896 年　フランスの支援を受けて，**アドワの戦い**でイタリア軍を撃退

B　〔　　　　　　　　〕

1847 年　アメリカから入植した**黒人解放奴隷**が建国

まとめ

イギリスはカイロとケープを結ぶ縦断政策，フランスはジブチと北アフリカを結ぶ横断政策を進めた。

ドイツ進出に備え英仏協商が結ばれ，モロッコ事件ではイギリスとフランスがドイツに抵抗し，対立が深まった。

第17講　PART3　確認問題

1 イギリスの植民地になったのち，土地を巡る争いから戦争をおこしたニュージーランドの先住民はどれか。

① ブール人　② アボリジニー
③ マオリ　④ クシュ人

2 後期印象派の画家ゴーガンが移住したことでも有名な，フランスの海外領土はどこか。

① タスマニア島　② タヒチ島
③ トンガ諸島　④ クリスマス島

3 米西戦争に勝利したアメリカがスペインから獲得したのは，フィリピンとどこか。

① サモア諸島　② ハワイ諸島
③ フィジー諸島　④ グアム島

4 1910 年にはじまったメキシコ革命を指導した人物はだれか。

① マデロ　② ディアス
③ カランサ　④ フアレス

5 ケープ植民地首相で，アフリカ縦断政策を追求した人物はだれか。

① ジョゼフ = チェンバレン　② セシル = ローズ
③ ディズレーリ　④ グラッドストン

6 1898 年にスーダンで縦断政策を追求するイギリス軍と，横断政策を推進するフランス軍が衝突した事件はどれか。

① アンボイナ事件　② ドレフュス事件
③ ブーランジェ事件　④ ファショダ事件

7 モロッコへの進出を画策して，1905 年と 1911 年の２度にわたりモロッコ事件を引きおこした国はどこか。

① イタリア　② ポルトガル
③ ドイツ　④ ベルギー

8 アフリカで独立を守った国は，エチオピアとどこか。

① エジプト　② リベリア
③ モロッコ　④ チュニジア

第 17 講　【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗

PART4 中国の分割と日露戦争

Chapter 1　中国分割の状況

目標　ロシアと日本は中国のどの地域を勢力圏にしたのかをおさえよう。
戊戌の変法の結末を理解しよう。

1　中国の分割

①中国の衰退

1895 年　日清戦争の下関条約で賠償金を支払い，開港場での企業設立が約される

→財政難に陥った清に列強が**借款**を提供，見返りとして**租借地**を要求

鉄道敷設権や鉱山開発権などを獲得し，その地域を勢力範囲とする

②列強の中国分割

A　ドイツ…山東半島が勢力圏

1898 年　山東半島の〔　　　　　　〕を租借，**青島**に海軍基地を建設

B　ロシア…満洲地方を中心に中国北部が勢力圏

1896 年　清から〔　　　　　　　　〕の敷設権を獲得

1898 年　遼東半島南部の**旅順**と〔　　　　〕を租借

C　イギリス…長江流域が勢力圏

1898 年　山東半島の港〔　　　　　　〕と香港島対岸の

〔　　　　　　　　〕（新界）を租借

D　フランス…広東省など中国南部が勢力圏

1899 年　〔　　　　　　〕を租借

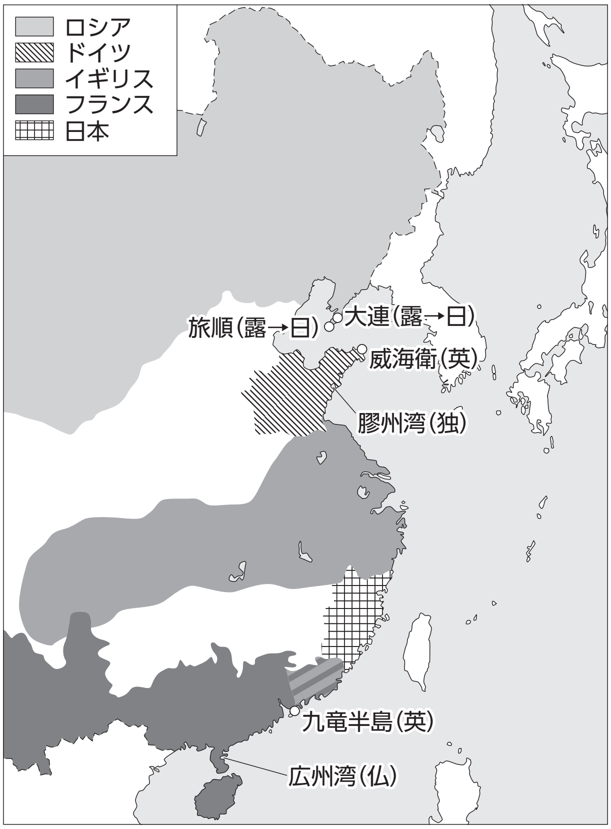
E　日本…福建省が勢力圏

1895 年　下関条約で**台湾**を獲得

F　アメリカ

国務長官**ジョン＝ヘイ**が 1899 年と 1900 年に

〔　　　　　　　　　　　　〕を発し，中国の門戸開放，機会均等，領土保全を提唱



列強による中国分割

2　清末期の改革運動

1898年　公羊学派の〔　　　　　　〕や〔　　　　　　〕らが**光緒帝**に登用され，

〔　　　　　　　　　〕(変法運動）を進める

※日本の明治維新をモデルとして立憲君主政の樹立を目指し，科挙や行政制度の改革，学校制度の創設などを行う。

1898年　〔　　　　　　〕ら保守派による**戊戌の政変**がおこり，改革は短期間で終結

※光緒帝が幽閉され，康有為，梁啓超らは日本へ亡命。

※戊戌の変法は，百日維新と呼ばれる。

まとめ

ロシアは遼東半島を租借すると満洲地方を，日本は台湾の割譲を受けると福建省を勢力圏とした。

康有為らの戊戌の変法に対して，西太后ら保守派が戊戌の政変で改革派を弾圧し，光緒帝が幽閉された。

Chapter 2　日露戦争とその影響

目標
清の西太后が義和団事件に対してどのように対応したのかを学ぼう。
日露戦争がアジア各地に及ぼした影響について理解しよう。

1 義和団事件

19世紀後半　反キリスト教運動〔　　　　　　　　〕がおこる

※キリスト教の布教が公認されて以降，民衆の間で紛争が頻発

1899年　山東省で結成された宗教結社〔　　　　　　〕が蜂起

※「〔　　　　　　　　〕」を掲げて，教会，鉄道の破壊，外交官の殺害を行う。

1900年　**西太后**ら保守派が**義和団**を支持して，**列強に宣戦布告**

1900年　〔　　　　　　　　　　　　　〕

※日本・ロシア・イギリス・アメリカ・フランス・ドイツ・オーストリア・イタリアの８か国連合軍が清軍と義和団を破り，北京を占領（**義和団戦争**）。

1901年　〔　　　　　　　　　　〕（辛丑和約）を締結

※（1）賠償金４億5000万両の支払い，（2）外国軍隊の**北京駐兵権**。

→中国の半植民地化が確定

2 日露戦争

①韓国の権益を巡る日露の対立

義和団事件以降もロシアが満洲に駐兵を続け，大韓（朝鮮半島）に介入

1902年　日本が，ロシアと対立していたイギリスと〔　　　　　　　　〕を結ぶ

1904年　日本がロシアと開戦，〔　　　　　　　　〕がおこる

1905年　日本は日本海海戦や奉天会戦で勝利

※ロシアは，血の日曜日事件以降の第一次ロシア革命で戦争の続行を断念

1905年　アメリカ大統領**セオドア＝ローズヴェルト**の仲介で，講和条約〔　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

※日本は（1）**韓国の指導権**，（2）遼東半島南部（**旅順**，**大連**）の租借権と東清鉄道南部の利権，（3）**樺太（サハリン）**南部の領有権などを獲得，（4）〔　　　　　　　　　　〕の経営権などを獲得。

→賠償金は得られず，日比谷焼き打ち事件が発生

②日露戦争の影響

A　日本はアジアの大国として台頭

→アメリカの南満洲鉄道共同経営権を拒否，日米関係が悪化

B　日露協約で東アジアの現状維持を確認，ロシアは再びバルカン方面への進出を図る

C　欧米列強の植民地だったアジアで民族運動が活発化

あ　ベトナム…1905 年，日本に留学生を派遣する

ドンズー（東遊）運動

い　中国…1905 年，**孫文**らが東京で〔　　　　　　　　　〕を結成

う　イラン…1905 年，イラン立憲革命がおこる

え　インド…1906 年，インド国民会議カルカッタ大会を開催

お　オスマン帝国…1908 年，青年トルコ革命がおこる

日本のポーツマス条約による獲得地

まとめ

義和団が「扶清滅洋」のスローガンをたてると，これに乗じた西太后は列強に宣戦した。

日露戦争での日本の勝利を受け，インドやオスマン帝国など，アジア各地で民族運動が激化した。

第 17 講　PART 4　確認問題

1　1896 年に清がロシアに敷設権を与えた鉄道はどれか。

① シベリア鉄道　② 東清鉄道
③ 南満洲鉄道　④ 川漢鉄道

2　1899 年にフランスが清から租借した地はどこか。

① 広州湾　② 旅順・大連
③ 威海衛　④ 膠州湾

3　1899 年，1900 年に門戸開放宣言を発表して，中国の門戸開放，機会均等，領土保全の 3 原則を提唱した人物はだれか。

① ビスマルク　② マッキンリー
③ セオドア = ローズヴェルト　④ ジョン = ヘイ

4　清朝末期，康有為らが日本の明治維新をモデルとして行った政治改革はどれか。

① 洋務運動　② タンジマート
③ 戊戌の変法　④ 新法

5　清朝末期の 19 世紀末，「扶清滅洋」を掲げて蜂起した宗教結社はどれか。

① 白蓮教　② 東学
③ 義和団　④ 上帝会

6 1900年，列強に宣戦布告した清に対して8か国連合軍が共同出兵し，北京を占領した出来事はどれか。

① 靖康の変　② 義和団戦争
③ 壬午軍乱　④ 甲申事変

7 1905年にアメリカの仲介で結ばれた，日露戦争の講和条約を何というか。

① パリ条約　② 下関条約
③ イリ条約　④ ポーツマス条約

8 20世紀初頭，東京で中国同盟会を結成して革命運動を指導した人物はだれか。

① 孫文　② 袁世凱
③ 曽国藩　④ 李鴻章

第17講　【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗

PART5 日本の韓国併合と中国の辛亥革命

Chapter 1　日本の韓国併合

目標　日本による植民地化に対して，朝鮮の人々がどのように抵抗したのかを知ろう。
韓国を併合した日本による朝鮮支配がどのようなものだったかを理解しよう。

1　日本の植民地化と朝鮮の抵抗

1895年　日本公使が中心となり，親ロシア派の王妃**閔妃**を暗殺
　　　　→反日感情が高まる

1897年　**高宗**が国号を〔　　　　　　　　〕（韓国）に改め，独立国であることを示す

1904年　日本と韓国が，第一次〔　　　　　　　　〕を締結
　　　　※日本が派遣する財政・外交の顧問を採用することを義務付ける。

1905年　日露戦争の講和条約**ポーツマス条約**で，ロシアに日本の韓国に対する優越権を認めさせる

1905年　第二次**日韓協約**（**韓国保護条約**）を締結
　　　　※韓国の外交権を奪い，保護国化する。

1906年　**韓国**〔　　　　　　〕を設置し，〔　　　　　　　　〕を初代韓国統監として派遣

1907年　〔　　　　　　　　　　　　　〕
　　　　※**高宗**が，オランダのハーグで開かれた万国平和会議に密使を派遣。第二次日韓協約の無効を訴えようとするが，列強に拒絶される。
　　　　→日本が高宗を退位させる

1907年　第三次**日韓協約**で日本が韓国の政権を掌握。韓国軍を解散させる
　　　　→朝鮮民衆による武装抗日闘争〔　　　　　　　　〕が激化

2　日本の韓国併合

1909 年　抗日運動家の〔　　　　　　〕がハルビン駅で，**伊藤博文**を暗殺

1910 年　日本が韓国併合に関する条約により，〔　　　　　　　　〕を断行

→韓国を植民地とする

※以後，韓国という国号は廃されて，朝鮮が正式な名称となる。

1910 年　ソウル（京城）に〔　　　　　　　　　　〕を開設（初代総督は寺内正毅）

※武力による政治〔　　　　　　　　〕を行う。

※同化教育を行い，土地を総督府・日本企業・日本人の所有とする。

韓国併合後の日本の領域

まとめ　ハーグ密使事件や義兵闘争をおこし，植民地化に抵抗した。
朝鮮総督府を設置して，武断政治を行った。

Chapter 2　辛亥革命の勃発

目標
中華民国の孫文がいかにして清朝の支配を終わらせたのかを理解しよう。
辛亥革命によって，中国はどのような状況に陥ったのだろうか。

1　光緒新政と革命勢力の形成

①〔　　　　　　　　〕
義和団事件後，**西太后**ら清朝の保守派が近代化改革を推進
1905年　近代的軍隊〔　　　　　〕を設置
1905年　〔　　　　　　　　　　　〕して，新たな学校制度の整備を進める
1908年　〔　　　　　　　　　〕を制定
1908年　〔　　　　　〕**開設を公約**
※1908年には光緒帝と西太后が死去，〔　　　　　　　　　　　〕が即位

②革命勢力の形成
1894年　〔　　　　　〕がハワイで，華僑を中心に**興中会**を結成
1905年　興中会，華興会，光復会が合併し，東京で〔　　　　　　　　　　　〕を組織
※**孫文**は，革命の基本理念〔　　　　　　　　　〕を提唱。
・三民主義…**民族**の独立，**民権**の伸張，**民生**の安定
・四大綱領…駆除韃虜，恢復中華，創立民国，平均地権

2　辛亥革命の勃発

20世紀初め　**民族資本**による〔　　　　　　　　　　　　　〕がおこる
※中国分割で列強に奪われた鉄道や鉱山などの利権を買い戻す運動。
1911年　清朝が民営の〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕
1911年　運動への弾圧をきっかけに〔　　　　　　　　　〕が発生
1911年　〔　　　　　〕で〔　　　　　〕が挙兵
→国内の14省が清朝からの独立を宣言し，〔　　　　　　　　　〕（**第一革命**）が勃発
1912年1月　独立各省が**孫文**を**臨時大総統**として，**南京**で〔　　　　　　　　　〕の成立を宣言

1912 年 2 月　中華民国臨時政府が，清朝の実力者〔　　　　　　〕と取引。**宣統帝溥儀**を退位させる（〔　　　　　　〕）

1912 年 3 月　**袁世凱**が臨時大総統に就任，**臨時約法**を公布

1913 年　中国同盟会を前身とする**国民党**が選挙で勝利するも，袁世凱が弾圧

1913 年　孫文が国民党を率いて蜂起するが，鎮圧される（**第二革命**）

→孫文は日本へ亡命。東京で〔　　　　　　〕を結成

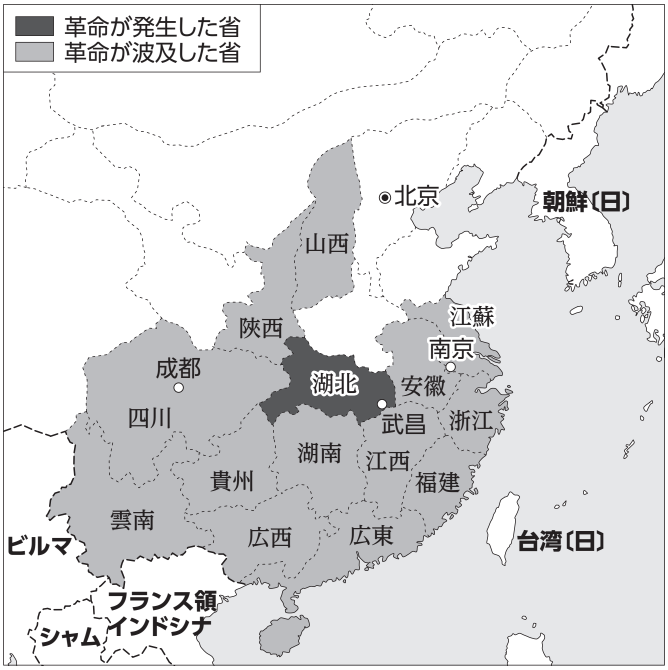
→袁世凱が正式に大総統に就任，独裁を強める

1915 年　袁世凱の**帝政復活宣言**に反対して軍事蜂起がおこる（**第三革命**）

※袁世凱が退位し，失意のうちに翌年病死。

→袁世凱部下の軍人たちが各地に割拠して〔　　　　〕を形成，中国は分裂状態に

直隷派，安徽派，奉天派が列強の支援を受け，北京政府の実権を握る



辛亥革命

まとめ

中華民国を建国した孫文は袁世凱と取引し，宣統帝を廃位して清朝を滅ぼす代わりに，臨時大総統の地位を譲った。
袁世凱の専制政治に対して第二革命，第三革命が勃発したが，革命後各地に軍閥が割拠し，中国は分裂状態となった。

第17講　PART5　確認問題

1 韓国が日本に外交権を奪われ，保護国化された条約を何というか。

① ポーツマス条約　② 第一次日韓協約
③ 第二次日韓協約　④ 下関条約

2 20 世紀初頭の韓国で展開された，朝鮮民衆による武装抗日闘争はどれか。

① 壬午軍乱　② 義兵闘争
③ 東学の乱　④ 甲申政変

3 1909 年にハルビン駅で伊藤博文を暗殺した，朝鮮の抗日運動家はだれか。

① 全琫準　② 李鴻章
③ 金玉均　④ 安重根

4 韓国を併合した日本が，ソウルに開設した統治機関はどれか。

① 総理衙門　② 統監府
③ 朝鮮総督府　④ 都護府

5 1905 年に中国の革命諸派が東京で結成した組織はどれか。

① 興中会　② 光復会
③ 華興会　④ 中国同盟会

6 三民主義を提唱するなどして，革命運動を推進した人物はだれか。

① 袁世凱　② 孫文
③ 梁啓超　④ 康有為

7 1911 年，新軍が武昌で挙兵したことをきっかけにおこった出来事はどれか。

① 辛亥革命　② 戊戌の政変
③ 日清戦争　④ 義和団戦争

8 1913 年の国民選挙で第一党となった政党はどれか。

① 保守党　② 自由党
③ 国民党　④ 労働党

第17講 【近代編】帝国主義と諸地域の抵抗

PART6 南アジアと西アジアの分割と民族運動

Chapter 1 東南アジアの分割

目標 ベトナムの民族運動がどのように進められたかを確認しよう。
フィリピンのスペインに対する民族運動と，その帰結について学ぼう。

各国の東南アジア植民領域

1 フランス植民地・ベトナムの民族運動

1904年 民族運動の指導者〔　　　　　　　　　〕が，フランスからの独立と立憲政の樹立を目指して〔　　　　　〕を結成

1905年 **ファン＝ボイ＝チャウ**が〔　　　　　　　　　〕を組織

※日露戦争に勝利した日本に留学生を派遣して学ばせようとするが，フランスとの協調を重視する日本政府は留学生を追放。

1907年 民族主義運動の指導者**ファン＝チュー＝チン**らが，ハノイにドンキン義塾を設立

1912年 ファン＝ボイ＝チャウらが，中国の広東で**ベトナム光復会**を組織

※ベトナム共和国の樹立を目指すもフランスによる弾圧を受ける。

2 スペイン植民地・フィリピンの独立運動

フィリピンの英雄
ホセ＝リサール像

19世紀後半 〔　　　　　　　　　　　　〕らが**フィリピン民族同盟**を組織し，スペインからの平和的独立を主張

1892年 スペイン支配からの解放を目指す秘密結社**カティプーナン**が結成される

1896年 **カティプーナン**が蜂起，**フィリピン革命**がはじまる

※革命に関与したとしてホセ＝リサールは処刑される。

1898年 **アメリカ＝スペイン戦争**でアメリカが勝利し，フィリピンの領有権を獲得する

1899年 フィリピン革命の指導者〔　　　　　　　　　〕が大統領となり，**フィリピン共和国**を樹立

1899年 〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕がはじまる

1902年 フィリピンがアメリカに敗北，その植民地となる

3 オランダ植民地・インドネシアの状況

1908年 インドネシア最初の民族主義団体**ブディ＝ウトモ**が結成される

※ジャワ人の教育・文化の向上を目指す。

1911年 ムスリムの知識人らが相互扶助を目的に

イスラーム同盟（〔　　　　　　　　　　　　　　〕）を結成

→1910年代から1920年代初頭にかけて独立運動を主導，オランダの弾圧で衰退

まとめ

ベトナムでは，ファン＝ボイ＝チャウら維新会を中心に，日本へ留学生を派遣するドンズー運動が進められた。

ホセ＝リサールを中心にスペインに対する運動が進められ，アギナルドは独立を達成するも，最終的にアメリカがフィリピンを占領した。

Chapter 2　インドの民族運動と西アジアの状況

目標
インド国民会議カルカッタ大会において，四綱領で主張されたことを知ろう。
20 世紀初頭にイランやオスマン帝国で勃発した革命をおさえよう。

1　インドの反英運動

①インドの近代化

A　近代的な学校教育を受けた知識人が増加し，イギリス支配に対する不満が高まる

B　**サティ**（寡婦殉死）の廃止

※夫が死んだとき，妻が亡夫の火葬に身を投じて殉死するヒンドゥー社会の風習。

※啓蒙思想家**ラーム = モーハン = ローイ**らの尽力で，1829 年に法律で禁止された。

②反英運動の高まり

1885 年　インド人の意見を諮問する機関〔　　　　　　　　〕結成

※イギリスによってインド人の知識人層を集められてボンベイ（現ムンバイ）で発足。

→当初は親英的で穏健な団体だったが，次第に反英色を強める

1905 年　イギリスが〔　　　　　　　　〕を発表

※反英運動を分裂させるため，ベンガル州をイスラーム教徒の多い東ベンガルと，ヒンドゥー教徒の多い西ベンガルに分割するとした法令。

1906 年　**インド国民会議**〔　　　　　　　　〕で，**四綱領**を採択

※インド民族運動の指導者〔　　　　　〕が提唱。

※**英貨排斥**（イギリス製品の不買）・〔　　　　　　〕（国産品愛用）・〔　　　　　　〕（自治獲得）・**民族教育**の四綱領。

→インド国民会議が政治結社〔　　　　　　〕になる

1906 年　イギリスの支援でイスラーム教徒が親英的な政治団体〔　　　　　　　　　　〕を結成

※ヒンドゥー教系の**国民会議派**に対抗，民族運動が分裂。

1911 年　イギリスが**ベンガル分割令**を撤回

1911 年　イギリスが首都を反英運動の中心地**カルカッタ**から〔　　　　〕に移す

2 イランとオスマン帝国の革命

①カージャール朝イラン

1891年　**タバコ＝ボイコット運動**が全土に拡大

→これを機にイラン人の民族意識が高まり，立憲運動に発展

1905年　〔　　　　　　　　　　　〕がおこる

1906年　国民議会が開かれ，憲法が制定される

1907年　**英露協商**でイランの北部をロシア，南東部をイギリスの勢力範囲とする

1911年　議会が解散させられ，革命が挫折

②オスマン帝国

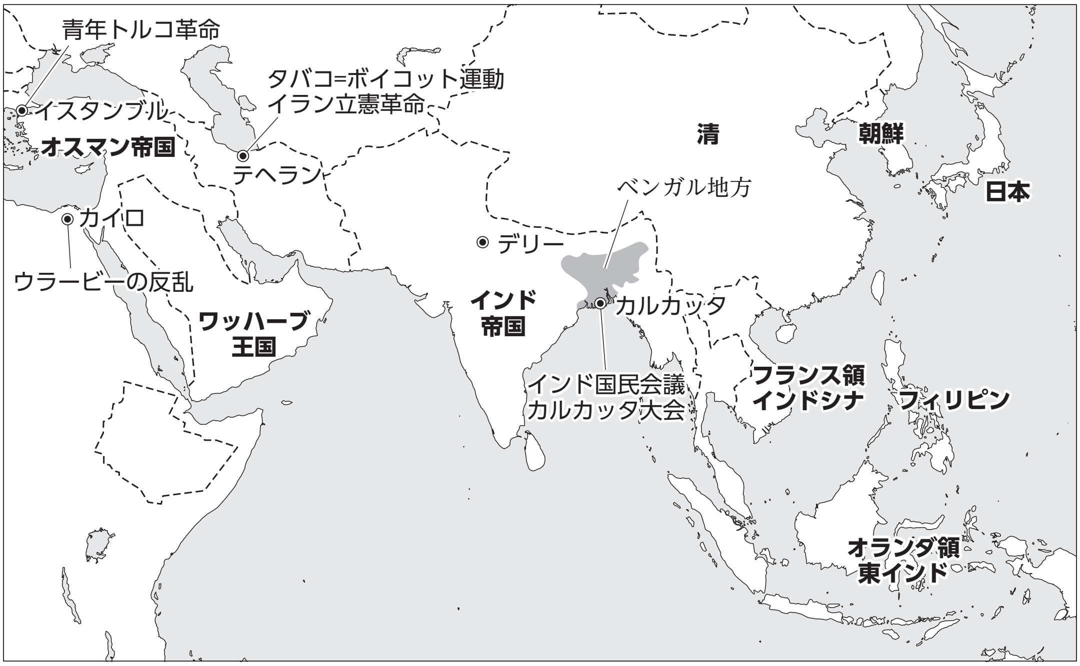
1878年　アブデュルハミト2世が**ミドハト憲法**を停止し専制政治を復活させる

→**青年トルコ人**により専制打倒と憲法復活を目指す運動がおこる

1889年　青年トルコ人が憲法復活を目指す〔　　　　　　　　　　　〕を結成

1908年　無血革命〔　　　　　　　　　　　〕

※青年将校ら（青年トルコ人）が，政府に迫って立憲政治を復活させる。



各国の革命運動

まとめ　英貨排斥，スワデーシ，スワラージ，民族教育が掲げられた。
イランではイラン立憲革命，オスマン帝国では青年トルコ革命が勃発した。

第 17 講　PART6　確認問題

1　フランスからの独立を目指して維新会を結成した，ベトナムの民族主義運動の指導者はだれか。

①　ムハンマド＝アリー　　②　ファン＝チュー＝チン
③　ミドハト＝パシャ　　④　ファン＝ボイ＝チャウ

2　日露戦争後に行われた，ベトナムから日本へ留学生を派遣する運動はどれか。

①　仇教運動　　②　洋務運動
③　ドンズー運動　　④　ナロードニキ運動

3　フィリピン革命の指導者で，1899 年にフィリピン共和国の大統領になった人物はだれか。

①　アギナルド　　②　ホセ＝リサール
③　ウラービー　　④　アフガーニー

4　19 世紀末にスペインと戦って勝利し，フィリピンを植民地とした国はどこか。

①　アメリカ　　②　イギリス
③　日本　　④　オランダ

5　イギリスがインドの反英運動を分裂させるため，分割統治しようとした地域はどこか。

①　ボンベイ　　②　カシミール
③　マドラス　　④　ベンガル

6 インドのイスラーム教徒が，イギリスの支援を受けて結成した政治団体はどれか。

① インド国民会議　② サレカット＝イスラーム
③ 全インド＝ムスリム連盟　④ 国民会議派

7 1891 年，カージャール朝がイギリス人に与えた利権に対し，イランの国民がおこした抵抗運動はどれか。

① ワッハーブ運動　② タバコ＝ボイコット運動
③ 変法運動　④ ウラービー運動

8 オスマン帝国で，青年将校らが立憲政治を復活させた 1908 年の無血革命はどれか。

① タンジマート　② イラン立憲革命
③ 青年トルコ革命　④ 辛亥革命

第 18 講 【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART1 第一次世界大戦

Chapter 1　列強の対立とバルカン半島の情勢

目標
三国協商がどのように形成されていったのかを学ぼう。
バルカン戦争が国際情勢にどのような影響を与えたのかをおさえよう。

1　三国同盟と三国協商

①〔　　　　　　　　〕(1882 年) の成立
ドイツが中心となり，ドイツ・オーストリア・イタリアの同盟が成立

②ドイツの拡大政策
新皇帝〔　　　　　　　　　　　　　　　〕は帝国主義的な「〔　　　　　　　　〕」を推進（**ビスマルク**は辞任）
→ロシアとの**再保障条約**の更新を拒否
⇒ロシアはフランスに接近し，〔　　　　　　　　〕(1891 年～ 94 年) が成立
→バグダード（中東）やモロッコ（北アフリカ）に進出を画策
⇒イギリスは〔　　　　　　　　〕(1904 年) を結んで対抗
※イギリスは 1902 年に日英同盟を結び，「光栄ある孤立」政策を転換していた。

③イタリアの動向
「未回収のイタリア」問題でオーストリアと対立
→フランスに接近し，**仏伊協商**（1902 年）を締結

④〔　　　　　　　　〕(1907 年) の成立
日露戦争に敗北したロシアは極東での南下を断念
→イギリス・ロシアの対立が緩和され，〔　　　　　　　　〕(1907 年) が成立
⇒イギリス・フランス・ロシアによるドイツ包囲網が完成

2　バルカン半島での列強の対立

①バルカン半島情勢
バルカン半島は複雑な民族問題を抱え，列強の利害が対立

→「**ヨーロッパの火薬庫**」と呼ばれた

②〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

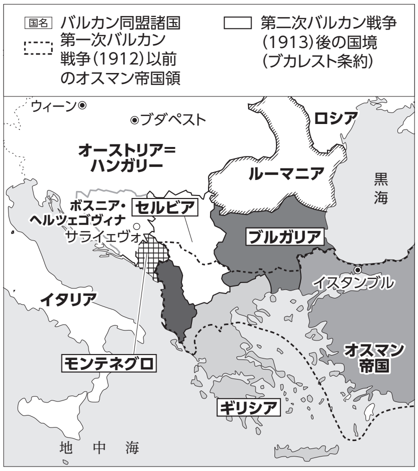
〔　　　　　　　〕が急先鋒（ロシアが支持）

→バルカン半島内のオスマン帝国領獲得を目指す

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

オーストリアが〔　　　　　　　　　　　　　〕に乗じてスラヴ系住民の多い**ボスニア・ヘルツェゴヴィナ**を併合（ドイツが支持）

→セルビアと対立



バルカン戦争の構図

3　バルカン戦争とその影響

①〔　　　　　　　　　〕（1912 年）の成立

セルビア，モンテネグロ，ブルガリア（1908 年，青年トルコ革命に乗じて独立），ギリシアの同盟が結成される

→ロシアが支援

※ブルガリアはオスマン帝国から独立。

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1912 年～ 13 年）

オスマン帝国対バルカン同盟の戦争が勃発

→バルカン同盟側が勝利し，オスマン帝国は領土を縮小される

※オスマン帝国はイタリア = トルコ戦争中であった。

→オスマン帝国は**ドイツに接近**

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1913 年）

第一次バルカン戦争後の領土分割についてバルカン同盟内で対立

→**ブルガリア**対セルビア・ほかのバルカン同盟諸国の戦争が勃発，バルカン同盟側が勝利

→ブルガリアは**ドイツに接近**

まとめ

露仏同盟，英仏協商，英露協商の順に結ばれていき，ドイツを包囲する三国協商が成立した。

第一次バルカン戦争後はオスマン帝国が，第二次バルカン戦争後はブルガリアがドイツに接近した。

Chapter 2　第一次世界大戦の経過と特徴

目標
第一次世界大戦が長期化した理由をおさえよう。
第一次世界大戦の特徴を学ぼう。

1　第一次世界大戦の勃発

①［　　　　　　　　　　　　　　　　　］
1914年6月，オーストリア帝位後継者夫妻が，ボスニアの州都サライェヴォでセルビア人の青年に射殺される
A　オーストリアがセルビアに宣戦布告，ロシアは総動員令を発出
B　ドイツ，ロシア・フランスに宣戦，**第一次世界大戦**が勃発

②大戦の構図
同盟国側：ドイツ，オーストリア＝ハンガリー，オスマン帝国，ブルガリア
協商国側：イギリス，フランス，ロシア，日本，セルビア，イタリア（1915年～），アメリカ（1917年～），中華民国（1917年～）

2　大戦の経過

1914年　ドイツは短期決戦を画策し，**ベルギー**の中立を侵犯→イギリスが参戦
西部戦線　［　　　　　　　　　　　　　　］でフランスがドイツの侵攻を止める
→西部戦線は膠着状態となる
東部戦線　［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］でドイツの司令官ヒンデンブルク将軍がロシアに勝利
日英同盟により日本が参戦　ドイツ領山東半島や南洋諸島に侵攻

1915年　イタリア　協商国側で参戦（「未回収のイタリア」に関する**ロンドン密約**）
イープルの戦い　ドイツ軍が**毒ガス**を使用
ルシタニア号事件　イギリスの客船が撃沈され，アメリカ人100名以上が犠牲に
→アメリカの対独感情が悪化

1916年　ユトランド沖の戦い　イギリス海軍が勝利
ヴェルダン要塞の攻防戦　フランスがドイツの侵入を阻止
ソンムの戦い　イギリス軍が**戦車**を使用

1917 年　ドイツの〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕→アメリカが参戦

ロシア十月革命によりロシアが社会主義化

→「**平和に関する布告**」を発出し，即時停戦を呼びかける

1918 年　ロシア，ドイツと単独講和（ブレスト＝リトフスク条約）

アメリカ大統領〔　　　　　　　　　〕が「〔　　　　　　　〕」を提案

ドイツを除く各国が降伏

キール軍港の水兵反乱により**ドイツ革命**が発生

→帝政が倒れてドイツ共和国が成立，休戦協定に調印

3　秘密外交と第一次世界大戦の特徴

①秘密外交

A　**ロンドン秘密条約**→イタリアが協商国側で参戦

B　イギリスは戦争への協力と引き換えに**インドの戦後自治を約束**→反故

C　**石井・ランシング協定**　日米間で中国に関する協定を締結

②イギリスの三枚舌外交

A　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕→アラブ人の独立を約束

B　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕→英・仏・露の３か国で中東を分割

C　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

→アラブ人が住むパレスチナにユダヤ人国家の建設を認める

③戦争の特徴

A　新兵器の登場→戦争の犠牲が拡大

B　**塹壕戦**による長期化

C　兵士の多くが労働者→社会主義が台頭（ロシア革命など）

D　〔　　　　　　〕体制→女性の後方支援，戦後の社会進出に繋がる

E　**挙国一致体制**

まとめ

ドイツの侵攻をフランスが防いだことで短期決戦の計画がとん挫し，塹壕戦により戦争が長期化した。

新兵器の使用で被害が拡大したほか，各国が総力戦体制をとり，挙国一致体制で戦争に臨んだ。

第 18 講　PART 1　確認問題

1 ビスマルクの辞任後に帝国主義的な「世界政策」を進めたドイツ皇帝はだれか。

① ヴィルヘルム２世　② アレクサンドル１世
③ フリードリヒ２世　④ エカチェリーナ２世

2 イギリス・フランス・ロシアの３か国が連携し，ドイツに対抗した枠組みはどれか。

① 三帝同盟　② 三国協商
③ 神聖同盟　④ 三国同盟

3 第一次世界大戦勃発の原因の一つとなった，ドイツ系の人々を統合して勢力の拡大を図る思想・運動はどれか。

① 大ドイツ主義　② 小ドイツ主義
③ パン＝ゲルマン主義　④ パン＝スラヴ主義

4 オスマン帝国対バルカン同盟の戦争はどれか。

① 第一次バルカン戦争　② 第二次バルカン戦争
③ イタリア＝トルコ戦争　④ エジプト＝トルコ戦争

5 第一次世界大戦の発端となったオーストリア帝位後継者夫妻暗殺事件はどれか。

① ファショダ事件　② ドレフュス事件
③ サライェヴォ事件　④ ブーランジェ事件

6 第一次世界大戦の東部戦線においてドイツ軍がロシア軍に勝利した戦いはどれか。

① マルヌの戦い　② タンネンベルクの戦い
③ イープルの戦い　④ ヴェルダン要塞の攻防戦

7 第一次世界大戦終結の直接のきっかけとなった出来事はどれか。

① 第二次モロッコ事件　② ドイツ革命
③ ロシア革命　④ ルシタニア号事件

8 イギリスが主導し，フランス・ロシアとの間で結んだ中東分割の取り決めはどれか。

① ロンドン秘密条約　② バルフォア宣言
③ フセイン・マクマホン協定　④ サイクス・ピコ協定

第 18 講 【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART2 ロシア革命

Chapter 1　二度の革命とボリシェヴィキ独裁

目標
ロシア革命でボリシェヴィキがどのように勢力を拡大したのかを学ぼう。
ソヴィエト = ロシアが成立後に何を宣言したのかを確認しよう。

1　二月革命とボリシェヴィキの台頭

①ロシア〔　　　　　　　　〕（三月革命）（1917 年）
首都〔　　　　　　　　　　　　〕で市民が蜂起
※第一次世界大戦中，民衆の不満が高まる。
→**ニコライ２世**が退位し，**ロマノフ朝**は滅亡

②〔　　　　　　　　　　〕（評議会）が各地に成立
当初は**メンシェヴィキ**と**社会革命党**左派が主流
※**ボリシェヴィキ**の幹部は国外亡命中。

③二重権力状態
ロシアは**臨時政府**と**ソヴィエト**の二重権力状態に
A　臨時政府
立憲民主党と社会革命党の右派が主流，ブルジョワジーが支持
→社会革命党の**ケレンスキー**を首班とし，戦争を継続
B　ソヴィエト
労働者が支持
→即時停戦を主張

④〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の台頭
〔　　　　　　　　〕が亡命先のスイスから帰国
→〔　　　　　　　　　　〕を発表し，「全ての権力をソヴィエトへ」と訴える

演説するレーニン

2　十月革命とソヴィエト＝ロシアの成立

①ロシア〔　　　　　　　　　〕（十一月革命）（1917 年）

ボリシェヴィキが武装蜂起し，ケレンスキーの臨時政府を打倒

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の成立

全ロシア＝ソヴィエト会議で社会主義政権の樹立を宣言

A　議長**レーニン**，外務人民委員**トロツキー**，民族人民委員**スターリン**

B　「〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕」を発出し，無併合・無賠償・民族自決の原則に基づく即時停戦を交戦国に訴える

C　「〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕」により地主の土地を没収し，国有化→社会主義の確立を掲げる

3　ボリシェヴィキ独裁の成立

ボリシェヴィキの一党独裁

憲法制定議会選挙でボリシェヴィキは第二党に（第一党は社会革命党）

①レーニンは武力で議会を閉鎖し，独裁体制を確立

②ボリシェヴィキは〔　　　　　　〕に名称を変更

まとめ

レーニンが「四月テーゼ」を発表し，ソヴィエトへの権限移譲を訴え，ボリシェヴィキが勢力を拡大した。

「平和に関する布告」で即時停戦を訴え，「土地に関する布告」で社会主義の確立を掲げた。

Chapter 2　世界革命と対ソ干渉戦争

目標　ソヴィエト＝ロシアが反革命の勢力に対してどのように対抗したのかを学ぼう。
対ソ干渉戦争中におけるソヴィエト＝ロシアの経済体制を理解しよう。

1　反革命と対ソ干渉戦争

①ドイツと単独講和

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（1918年）を結んで，同盟国側と講和

→**トロツキー**は無併合・無賠償・民族自決を主張したが，賠償金と領土の割譲が約される

②反革命勢力との抗争

A〔　　　　　　〕（非常委員会）

秘密警察を組織し，反革命派の動きを取り締まる

B〔　　　　〕を創始

白軍（反革命軍）と抗争

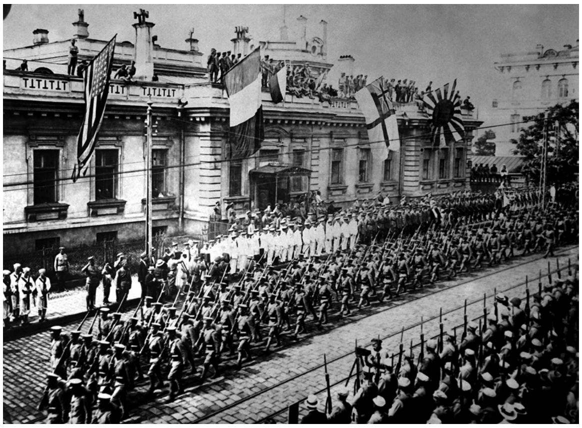
C〔　　　　　　　　　　〕（**第3インターナショナル**）の結成（1919年）

世界革命を画策

③〔　　　　　　　　　　〕（1918年～22年）

列強は白軍を支援し，ソヴィエトの社会主義化を防ぐ

→チェコ兵の救出を口実にイギリス・フランス・アメリカ・日本などが**シベリア出兵**を行う



シベリア出兵

2 戦時共産主義と新経済政策

①［　　　　　　　　　　　　　］（1918年～21年）

対ソ干渉戦争を切り抜けるため,「全てを戦場へ」をスローガンに極度の社会主義を実施

→全企業の国有化や穀物の強制徴発などを行う（→餓死者が増加）

②内戦に勝利

国内の白軍を駆逐し，列強も撤退

③［　　　　　　　　　　　］（**ネップ**）（1921年～27年）

小規模企業の私有を認めるなど，部分的に資本主義を復活

→経済は回復し，ネップマン（私的商人・私的事業家）やクラーク（ロシアの富裕な農民）が出現

まとめ　チェカで反革命派の陰謀を取り締まり，赤軍を組織して抗争したほか，コミンテルンで世界革命を目論んだ。
ソヴィエト＝ロシアは対ソ干渉戦争に際して，戦時共産主義をとった。

第18講 PART 2 確認問題

1 ニコライ2世が退位し，ロマノフ朝が滅亡した出来事はどれか。

① 第一次ロシア革命 ② 二月革命
③ 七月革命 ④ 十月革命

2 帝政崩壊後のロシアにおいて，即時停戦とソヴィエトへの権限移譲を主張した一派はどれか。

① 独立派 ② フイヤン派
③ メンシェヴィキ ④ ボリシェヴィキ

3 全ロシア＝ソヴィエト会議の議長となり，ソヴィエト＝ロシアを主導した人物はだれか。

① レーニン ② ケレンスキー
③ トロツキー ④ スターリン

4 ロシア革命後の憲法制定議会を武力で閉鎖したのち，一党独裁体制を築いた政党はどれか。

① 立憲民主党 ② 共産党
③ 社会革命党 ④ ロシア社会民主労働党

5 ソヴィエト = ロシアが同盟国側と単独講和した条約はどれか。

① ポーツマス条約　② ロンドン秘密条約
③ ブレスト = リトフスク条約　④ パリ条約

6 ソヴィエト = ロシアが結成した世界革命を画策する組織はどれか。

① 赤軍　② 白軍
③ コミンテルン　④ チェカ

7 ソヴィエトの社会主義化を防ぐ目的で列強が行った武力行使はどれか。

① 北方戦争　② アロー戦争
③ 対ソ干渉戦争　④ バルカン戦争

8 内戦終了後にソヴィエト = ロシアが採用した経済立て直しの方針はどれか。

① 重商主義　② 戦時共産主義
③ 新経済政策（ネップ）　④ 鉄血政策

第 18 講　【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART3 ヴェルサイユ体制の成立とアメリカの繁栄

Chapter 1　ヴェルサイユ体制と国際連盟の成立

目標　パリ講和会議で何が原則として用いられたのかを学ぼう。
ヴェルサイユ条約では，ドイツに対してどのようなことが取り決められたのだろうか。

1　パリ講和会議と「十四カ条」

①〔　　　　　　　　　　〕の開催（1919 年 1 月，第一次世界大戦の講和会議）
〔　　　　　　　　　〕（米），**ロイド＝ジョージ**（英），**クレマンソー**（仏）が中心

②会議の原則
ウィルソンが提唱した「〔　　　　　　　〕」が原則
→講和の公開，秘密外交の廃止，関税障壁の廃止，軍備縮小，植民地問題の公正な解決，
〔　　　　　　　〕（→各地の民族運動に発展），国際安全保障機構の設立など

③会議の問題点
A　ソヴィエト＝ロシアや，ドイツなど敗戦国の排除
B　ドイツに過酷な内容
C　イギリス・フランスは植民地を手放さず，戦後は列強が各地を〔　　　　　　　〕
D　民族自治は**非ヨーロッパ地域**には適用されず
→フィンランド，バルト三国（リトアニア，ラトヴィア，エストニア），ポーランド，チェコスロヴァキア，ハンガリー，ユーゴスラヴィアが戦後独立

2　ヴェルサイユ体制の成立

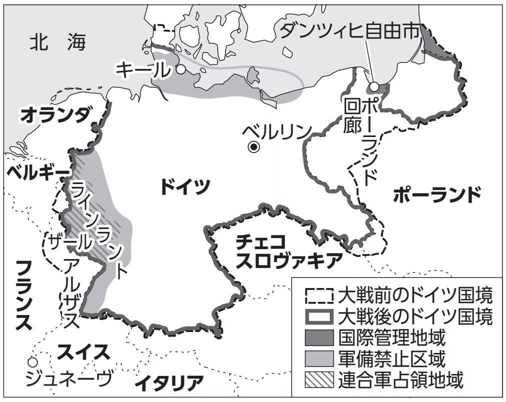
①〔　　　　　　　　　　　　〕の締結（対ドイツ講和条約）
A　領土の割譲・国際管理
〔　　　　　〕・〔　　　　　　　　〕の国際連盟管理，
〔　　　　　　　　　　〕の非武装，**アルザス・ロレーヌ**の返還，**ポーランド回廊**の返還

B　巨額の**賠償金**

C　**軍備制限**

陸軍兵力・軍艦保有量の制限，徴兵制の禁止，空軍と潜水艦の保有禁止

D　全植民地の喪失



ヴェルサイユ条約によるドイツ国境の変化

②その他の講和条約

A　**サン＝ジェルマン条約**（対オーストリア），**トリアノン条約**（対ハンガリー），**ヌイイ条約**（対ブルガリア），［　　　　　　　　　　　］（対オスマン帝国）

B　領土削減や治外法権などを盛り込む（中東地域はイギリス・フランスの委任統治領に）

→パリ講和会議によりつくられた戦後ヨーロッパの国際秩序を**ヴェルサイユ体制**という

3　国際連盟の成立

①［　　　　　　　　］の創設（史上初の国際的集団安全保障機構）

1920年，「十四カ条」をもとに成立（本部は**ジュネーヴ**）

②機関

総会・理事会・連盟事務局のほか，国際労働機関，常設国際司法裁判所などを設置

→イギリス・フランス・イタリア・日本が常任理事国

③問題点

ドイツやソヴィエト＝ロシアの排除，アメリカの不参加（上院が反対），全会一致の原則による制約，制裁手段の不備（武力制裁権なし）

まとめ　パリ講和会議では，ウィルソンの「十四カ条」が原則として用いられた。ザール，ダンツィヒの国際連盟管理，ラインラントの非武装，アルザス・ロレーヌの返還，賠償金の支払いなどが取り決められた。

Chapter 2　アメリカの繁栄

目標　保守化したアメリカではどのようなことがおこったのだろうか。
ワシントン体制の目的を理解しよう。

1　アメリカの繁栄

①債務国から債権国へ

第一次世界大戦中の特需により繁栄し，「黄金の 20 年代」を迎える

→共和党から 3 代続けて大統領が選出される（**ハーディング**，クーリッジ，フーヴァー）

②国際社会への発言力が増大

パリ講和会議を主催し，**ワシントン会議**では日本の勢力伸長を抑制

③アメリカ社会の繁栄

A　**大量生産・大量消費**社会の出現

フォードの自動車のライン生産など，製品を大量に生産し，低価格化を実現

→自動車のほかに，冷蔵庫，洗濯機などの家電が一般家庭へ普及

B　**大衆文化**の発展

都市中間層がジャズやスポーツなどを楽しむようになる

2　保守化するアメリカ

①拡大から［　　　　　　　　］へ

国際連盟不参加（上院の反対による）など，**モンロー主義**への回帰がみられる

② **WASP**（ワスプ）が社会の中核に

同じ白人でも WASP（白人・アングロサクソン・プロテスタント）以外のカトリック系白人は差別される

③［　　　　　　　］の制定（1919 年～ 33 年）

酒類の製造・販売などを禁止する法律を制定

→ピューリタン的な風習を強制

④［　　　　　　　］の制定（1924 年）

日本人などのアジア移民を禁止，新移民（東欧・南欧系）を制限

⑤**サッコ・ヴァンゼッティ事件**

左翼的な思想に対する圧迫が強まるなか，イタリア系アナーキストの冤罪事件が発生

⑥ **KKK**（クー＝クラックス＝クラン）の復活

白人至上主義の秘密結社が黒人などを差別・攻撃

3 ワシントン体制

①日本への警戒

戦後，日本が山東半島やドイツ領南洋諸島に進出

→アメリカが日本の勢力伸長を警戒

②［　　　　　　　　　　］の開催（1921年～22年）

1921年，アメリカ大統領ハーディングが提唱

③［　　　　　　　　］の締結（1921年）

太平洋地域の非軍事基地化・現状維持を取り決め

→**日英同盟**が解消

④［　　　　　　　　　　　　］の締結

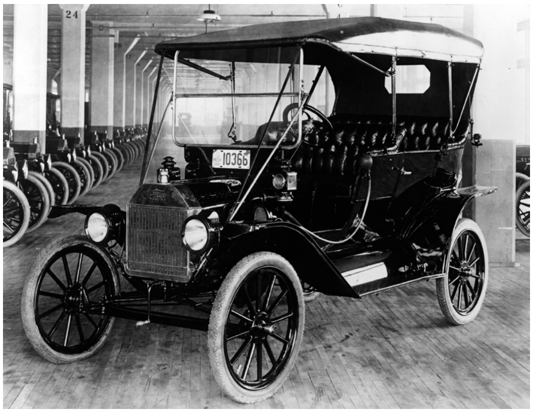
米・英・日の主力艦の比率（5：5：3）を決める

⑤［　　　　　　　　］の締結（1922年）

中国の主権尊重や門戸開放などを定める

A　日本の中国進出が**二十一カ条の要求**以前の状態に

B　こうしてつくられたアジア太平洋地域の秩序は**ワシントン体制**と呼ばれる



T型フォード車

まとめ　WASPの台頭，禁酒法や移民法の成立，左翼主義者や黒人への迫害があった。
ワシントン体制には，日本の勢力伸長を抑制する目的があった。

第18講　PART3　確認問題

1 アメリカ大統領によって示された第一次世界大戦の講和原則はどれか。

① 「平和に関する布告」　② 「十四カ条」
③ シュリーフェン＝プラン　④ モンロー宣言

2 ドイツやオスマン帝国の植民地を列強が代わって治める制度はどれか。

① 集団安全保障　② 治外法権
③ 民族自決　④ 委任統治

3 パリ講和会議においてドイツが協商国側と結んだ条約を何というか。

① ヴェルサイユ条約　② サン＝ジェルマン条約
③ トリアノン条約　④ セーヴル条約

4 史上初の国際的集団安全保障機構はどれか。

① 国際連盟　② 国際司法裁判所
③ 第３インターナショナル　④ 国際連合

5 大量生産による自動車の低価格化を世界で初めて実現した企業はどれか。

① ゼネラル・モーターズ　② フォード
③ フォルクスワーゲン　④ ボルボ

6 第一次世界大戦後に強まったアメリカの対外政策の傾向を何というか。

① ナショナリズム　② 孤立主義
③ 自由主義　④ 正統主義

7 第一次世界大戦後につくられたアジア太平洋地域の秩序はどれか。

① パクス＝アメリカーナ　② パクス＝ブリタニカ
③ ワシントン体制　④ ヴェルサイユ体制

8 第一次世界大戦後に中国の主権尊重などを取り決めた条約を何というか。

① 九カ国条約　② 海軍軍備制限条約
③ 四カ国条約　④ ヌイイ条約

第 18 講 【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART4 ヴェルサイユ体制とヨーロッパの状況

Chapter 1　イギリス，フランスの停滞とドイツの激動

目標
戦間期のドイツで極度のインフレーションが発生した理由をおさえよう。
ドイツが国際連盟に加盟した背景を学ぼう。

1 イギリスとフランスの停滞

①イギリス

A 〔　　　　　　　　　　　　　〕（1918 年）

男性普通選挙（21 歳以上）が導入され，女性参政権が認められる（30 歳以上）

B 〔　　　　　　〕内閣の誕生

失業者が増大するなか，〔　　　　　　　　　　〕を首相とする内閣が成立

C 第 5 回選挙法改正で男女とも 21 歳以上に選挙権が拡大

②フランス

A ドイツへの警戒心とソヴィエトへの不信感（帝政時代の債務を放棄）が続く

B 〔　　　　　　　　　〕（1923 年）

ポワンカレ右派内閣がドイツの賠償金未払いに対してベルギーとともに占領

C 〔　　　　　　　〕の協調外交（左派連合内閣が成立）

→**ロカルノ条約**，**不戦条約**（ケロッグ・ブリアン条約）を締結

2 ドイツ革命とヴァイマル共和国の成立

①〔　　　　　　　　　　　　〕の結成

大戦中に左翼急進派が結成

※**カール = リープクネヒト**と**ローザ = ルクセンブルク**が中心

②ドイツ革命

1918 年，**キール軍港の水兵反乱**をきっかけに〔　　　　　　　　　〕が勃発

A **ヴィルヘルム 2 世**が退位し，**ドイツ帝国**は崩壊

B 各地に労働者と兵士による〔　　　　　　〕（評議会）が結成され，臨時政府と抗争

→**スパルタクス団**は蜂起するが，鎮圧される

③〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の成立（1919年～33年）

当時世界で最も民主的とされる〔　　　　　　　　　　　　　〕が採択される

→**社会民主党**の〔　　　　　　　　　　〕が大統領に就任

3 協調外交とドイツの国際社会復帰

①ドイツの苦境

社会民主党政府の1320億金マルクの賠償金支払い方針は，国民生活を圧迫，一揆が多発

A　賠償金支払いが滞り，フランスが**ルール占領**，工業地帯を占拠→ドイツの労働者はゼネストなどで消極的に抵抗

B　ドイツ政府は賃金支払いのためにマルクを増刷したため，極度の**インフレーション**が発生→経済・社会が混乱するなか，ヒトラーによる**ミュンヘン一揆**が勃発（失敗）

紙幣で遊ぶ子ども

②インフレ抑制策の実施

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が国土を担保に**レンテンマルク**を発行

③〔　　　　　　　　〕

アメリカが賠償金支払いの緩和策を提案するとともに，ドイツに資本投下

→ドイツが案を受け入れ，フランスはルールから撤兵

④ドイツの国際社会復帰

1925年，ヨーロッパの安全保障を取り決める〔　　　　　　　　　　　〕が締結される

→翌年，ドイツは**国際連盟**に加盟

⑤〔　　　　　　　　〕の締結

1928年，パリで**ケロッグ**（米）と**ブリアン**（仏）の主導で締結され，国際紛争を解決する手段としての戦争を禁止

⑥賠償金減額

ヤング案（1929年）により358億金マルクに減額される→大恐慌以降，ローザンヌ会議でさらに減額されるもヒトラーが破棄

まとめ

フランスのルール占領でドイツの労働者が抵抗すると，政府は賃金支払いのためにマルクを増刷し，インフレが発生した。
ドイツがドーズ案を受け入れたことで賠償金返還の目途が立ち，ロカルノ条約締結の翌年に国際連盟への加盟が実現した。

Chapter 2　イタリアや東欧の状況とソ連の成立

目標　イタリアでファシスト党がどのように政権を獲得したのかを知ろう。
ソ連が進めた社会主義政策を学ぼう。

1　イタリアのファシズム

①戦後の財政窮乏
　国民生活が困窮し，右翼と左翼が台頭
②［　　　　　　　　　　］の台頭
　［　　　　　　　　　　］が結党。**ファシズム**を推進し，全体主義，極端な国粋主義によって独裁的政権を目指す→共産党の北イタリアストライキを弾圧
③［　　　　　　　　　　］による政権奪取（1922 年）
　イタリア国王から組閣を命じられる
④拡大政策
　ユーゴスラヴィアから［　　　　　　　］を併合し，［　　　　　　　　］を保護国化
⑤一党独裁体制の確立
　ファシズム大評議会を国の最高機関に
⑥教皇との和解
　［　　　　　　　　　　］（1929 年）を締結→**ヴァチカン市国**が成立

ムッソリーニのローマ進軍

2　東欧諸国の動向

①ポーランド
　［　　　　　　　　］が独裁政治を行う。**ポーランド = ソヴィエト戦争**で領土を拡大
②チェコスロヴァキア
　工業国のチェコスロヴァキアでは，マサリクやベネシュの下で議会民主政が発展
③ハンガリー
　敗戦国となり，**ハンガリー革命**が勃発（1918 年～ 19 年）

→ソヴィエト政権が成立するが，列強が反発して崩壊

→**ホルティ**が独裁政治を行い，**トリアノン条約**での失地回復を進める

3　ソ連の社会主義体制の確立

①〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕成立（1922 年）

ロシア・ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカースにより結成

②〔　　　　　　　　　　〕の権力掌握

レーニンの死後，〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を唱え，世界革命論の

〔　　　　　　　　　　〕と抗争→権力争いに勝利し，トロツキーを追放

③経済回復

新経済政策（ネップ）による

④〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

1928 年，農業と工業の集団化に着手し，社会主義経済の建設を進める

→農業は**コルホーズ**（集団農場）と**ソフホーズ**（国営農場）に集団化するが，農村は荒廃

⑤**第二次五カ年計画**（1933 年～ 37 年）

消費財生産にも注力，のちに重化学工業を重視

⑥スターリンの独裁

A　反対派の**粛清**

スターリン憲法を制定するが，民主的な規定は守られず，反対派の党幹部や市民を次々に逮捕・処刑

B　少数民族の弾圧

朝鮮人やチェチェン人などを中央アジアへ追放・強制移住

⑦社会主義の拡大

コミンテルンの策動により各地に共産党が成立

→**モンゴル人民共和国**が史上２番目の社会主義国として成立

まとめ

ファシスト党のムッソリーニがローマ進軍を行い，イタリア国王から組閣を命じられた。

第一次・第二次五カ年計画を行い，農業と工業の集団化を進めた。

第18講　PART 4　確認問題

1 イギリスにおいて女性参政権が認められるようになった選挙法の改正はどれか。

① 第１回選挙法改正　② 第２回選挙法改正
③ 第４回選挙法改正　④ 第５回選挙法改正

2 ヴェルサイユ体制下で協調外交を推進したフランスの政治家はだれか。

① ブリアン　② ケロッグ
③ ポワンカレ　④ マクドナルド

3 スパルタクス団を主導した人物はだれか。

① ヒトラー　② シュトレーゼマン
③ エーベルト　④ ローザ＝ルクセンブルク

4 国際紛争を解決する手段としての戦争を禁止した条約を何というか。

① ロカルノ条約　② 不戦条約
③ ラパロ条約　④ ラテラノ条約

5 ムッソリーニが結党した政党はどれか。

① 労働党　② 社会民主党
③ トーリー党　④ ファシスト党

6 ムッソリーニの政権奪取に繋がった行動はどれか。

① ルール占領　② ローマ進軍
③ ヴェルサイユ行進　④ カルボナリの蜂起

7 レーニンの死後，トロツキーと後継者争いをするなかでスターリンが主張した考えはどれか。

① パン＝スラヴ主義　② 全体主義
③ 一国社会主義論　④ 世界革命論

8 1928 年，社会主義経済建設を推進するためにスターリンが打ち出したものはどれか。

① 第一次五カ年計画　② スターリン憲法
③ 新経済政策（ネップ）　④ ドーズ案

第 18 講 【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART5 戦間期の東アジア

Chapter 1　戦間期の日本と東アジアの民族運動

目標　戦間期前半の日本でどのような社会潮流がおこったのかを学ぼう。
民族自決の広がりを受け，朝鮮や中国で発生した運動を確認しよう。

1　日本の台頭と大正デモクラシー

1915 年　第一次世界大戦の影響で需要が増大，好景気が発生し，大戦景気を迎える

1915 年　中国に〔　　　　　　　　　　　　〕を行う

※山東省の旧ドイツ利権の日本への譲渡などを求める。

1918 年　列強の**対ソ干渉戦争**〔　　　　　　　　　　〕に参加

※他国の撤退後も日本のみ 1922 年まで出兵する。

1918 年　米不足により米価が高騰，〔　　　　　　〕がおこる

→寺内正毅内閣が責任を取って総辞職

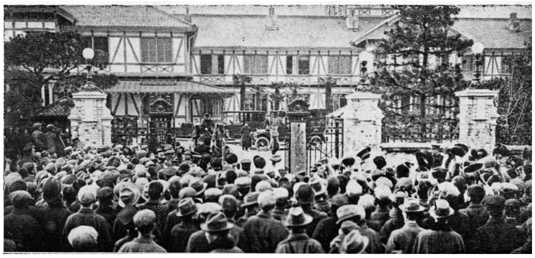
1918 年　**原敬**を首相とする，日本初の本格的な〔　　　　　　　〕が成立

1910 年～ 20 年代　民主主義・自由主義的風潮が高まり，社会運動が盛んになる（**大正デモクラシー**）

1925 年　25 歳以上の男性に選挙権を認める〔　　　　　　　　〕が成立

1925 年　社会運動弾圧法の〔　　　　　　　　　　〕が成立

1927 年～ 28 年　北伐から日本人を保護する名目で 3 度山東省へ軍隊派遣（**山東出兵**）



大正デモクラシー

2　朝鮮半島の情勢

1910 年　日本が韓国を併合，植民地とする（**韓国併合**）

※以後，**朝鮮総督府**が武断政治（武力による政治）を実施。

→土地調査事業によって広大な土地を没収，その結果，多くの農民が困窮

1919年　日本の植民地支配に対して〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※民族自決の原則に影響を受けた朝鮮民衆が,「独立万歳」と叫んでデモを行う。

→日本は運動を武力で鎮圧後,〔　　　　　　　　〕（同化政策）に方針転換

1919年　李承晩を首班として，上海に〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を樹立

3　モンゴルの社会主義化

1911年　辛亥革命勃発を機に，外モンゴルが中華民国からの独立を宣言

1921年　**モンゴル人民党**が，ロシアの赤軍などの支援を得て中国軍を撃退

※革命家の**チョイバルサン**らが創設，のちに**モンゴル人民革命党**と改称。

1924年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建国

※ソ連に次ぐ史上２番目の社会主義共和国となる。

4　中国の文学革命と反帝国主義運動

辛亥革命以降，中国の文化を改革して新たな中国をつくろうとする**新文化運動**が広まり，〔　　　　　　　　〕がおこる。

1915年　〔　　　　　　〕らが雑誌『**新青年**』を創刊

1917年　〔　　　　〕が『新青年』で，口語で文章を書く**白話文学**を提唱

1918年　〔　　　　〕が『新青年』に白話小説『**狂人日記**』を発表

※魯迅は『**阿Ｑ正伝**』なども著して中国近代文学の基礎を築く。

1918年　〔　　　　　　〕が**北京大学**教授となり，マルクス主義を紹介

1919年　**パリ講和会議**に第一次世界大戦の戦勝国として参加

※**二十一カ条の要求**の取り消しや不平等条約改正を訴える。

→ヴェルサイユ条約で，山東省の旧ドイツ利権の日本への譲渡が決定

1919年　５月４日,〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※労働者や学生による反帝国主義運動で，全国に拡大した。

1919年　北京政府が**ヴェルサイユ条約調印を拒否**

まとめ　日本では大正デモクラシーの潮流がおこり，民主主義が進展した。
朝鮮では三・一独立運動が，中国では五・四運動が発生し，反帝国主義運動が高揚した。

Chapter 2　中国国民党と北伐の完成

目標

孫文がソ連や共産党とどのような関係を結んだのかをおさえよう。

蔣介石による北伐完成の経緯を理解しよう。

1　中国国民党と中国共産党

1919 年　**孫文**を中心に上海で〔　　　　　　　　　　〕（中華革命党を改組）が成立

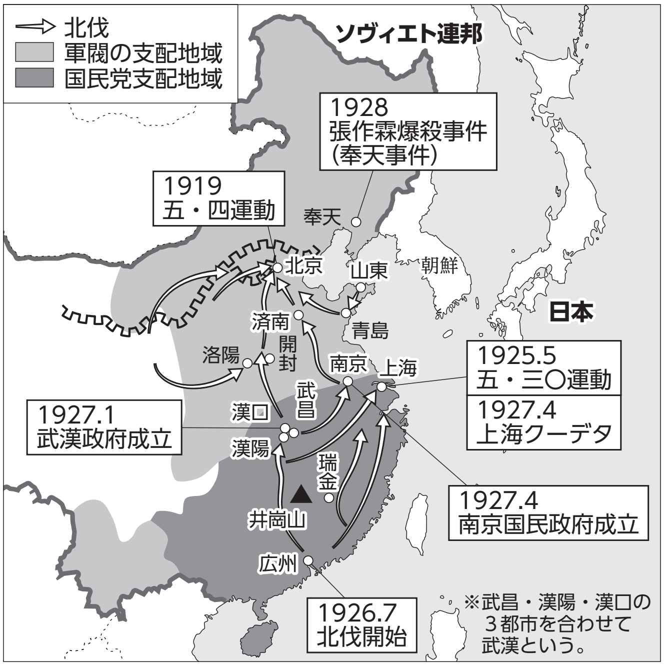
1921 年　**陳独秀**らの呼びかけで〔　　　　　　　　　　〕が成立

1924 年　国民党が第 1 回党大会を開催

※「〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕」（ソ連と連携し，共産党を容認し，労働者・農民を支援する）の方針を決定。

→**国民党**と**共産党**の協力関係が成立〔　　　　　　　　　　〕

2　北伐のはじまりと共産党の弾圧



北伐に関連する事件・都市

1925 年　孫文が死去。以後，〔　　　　　　〕が国民革命軍の指導者になる

1925 年　5 月 30 日，共産党の指導で〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※全国的な反帝国主義運動に発展すると，国民党と蔣介石の不信感をあおる。

1925年　国民党が広州に〔　　　　　　　　〕を樹立

1926年　**蔣介石**率いる国民革命軍が〔　　　　〕を開始

※中国統一を目指す国民革命軍が，北部の軍閥を打倒するために行った軍事行動。

1927年　共産党・汪兆銘など国民党左派が，**武漢政府**を樹立

※国民党右派と共産党・国民党左派の主導権争いが激化。

1927年　蔣介石が〔　　　　　　　　　　　〕をおこして，共産党を弾圧

※共産党の勢力拡大を警戒して共産党員らを虐殺。北伐も一時中断。

1927年　蔣介石が国民党内を統一して〔　　　　　　　　　　　〕を樹立

→第一次国共合作崩壊（**国共分裂**）

3　奉天軍閥と北伐の完成

1928年　北伐を再開。**山東出兵**を行っていた日本軍と国民革命軍が済南で衝突（済南事件）

→国民革命軍は迂回して北京に向かい，**奉天軍閥**を撃破

1928年　〔　　　　　　　　　　　　　〕（奉天事件）がおこる

※日本の関東軍が中国東北部での権益を守るため，奉天軍閥の首領**張作霖**の列車を爆破，殺害する。

1928年　張作霖の子で軍人の〔　　　　　　〕が国民政府支持を表明

→国民政府が中国を統一（北伐の完成）

4　共産党と中華ソヴィエト共和国臨時政府

1927年　〔　　　　　　〕率いる共産党軍（**紅軍**）が**井崗山**を根拠地とする

1931年　共産党が，江西省の**瑞金**を首都として

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を樹立

→国民党軍に包囲されて敗退

まとめ

孫文は国民党のスローガンに「連ソ・容共・扶助工農」を掲げ，共産党との第一次国共合作を成立させた。

蔣介石は共産党を打倒しながら北伐運動を進め，奉天軍閥の張学良が帰順し，北伐が完成した。

第 18 講　PART 5　確認問題

1 日本で初めて本格的な政党内閣を組織した人物はだれか。

① 伊藤博文　② 寺内正毅
③ 原敬　④ 大隈重信

2 日本の植民地支配に対して，1919 年に朝鮮でおこった独立運動はどれか。

① 義兵運動　② 三・一独立運動
③ 五・四運動　④ 五・三〇運動

3 雑誌『新青年』で白話文学を提唱し，文学革命の口火を切った人物はだれか。

① 陳独秀　② 梁啓超
③ 李大釗　④ 胡適

4 中国近代文学の基礎を築くきっかけとなった，魯迅の小説はどれか。

① 『紅楼夢』　② 『狂人日記』
③ 『阿 Q 正伝』　④ 『金瓶梅』

5 日系紡績工場の労働争議から発展した，1925 年の反帝国主義運動はどれか。

① 上海クーデタ　② 五・四運動
③ 済南事件　④ 五・三〇運動

6 1927 年に国民党内を統一して南京国民政府を樹立した人物はだれか。

① 蔣介石　② 汪兆銘
③ 李承晩　④ 袁世凱

7 奉天軍閥の首領である父の死後，国民政府支持を表明した人物はだれか。

① 張作霖　② 趙匡胤
③ 張学良　④ 張居正

8 1931 年に共産党が瑞金を首都として樹立した政府はどれか。

① 中華ソヴィエト共和国臨時政府　② 冀東防共自治政府
③ 武漢国民政府　④ 中華民国政府

第 18 講 【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制
PART6 戦間期の南アジアと西アジア

Chapter 1　インドと東南アジアの民族運動

目標
ベトナムでどのような勢力が民族運動を進めたのかを知ろう。
インドの民族運動家による反英運動の経緯を学ぼう。

1　東南アジアの民族運動

①ベトナム（フランス領インドシナ連邦）

1925 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が**ベトナム青年革命同志会**を組織

1930 年　ホー = チ = ミンがベトナム青年革命同志会を母体に**インドシナ共産党**を結成

※フランス軍の弾圧を受けながらも，農村を拠点に民族運動を展開。

②タイ

1932 年　**タイ立憲革命**（無血革命）により，憲法が発布され，議会が開設される

③ミャンマー（イギリス領ビルマ）

1930 年　元僧侶のサヤー = サンの指導で大規模な農民反乱がおこるが，イギリスが弾圧

学生を中心に〔　　　　　　　　〕が結成される

※**アウン = サン**の指導のもと，反英独立運動を推進。

④インドネシア（オランダ領東インド）

1920 年　アジア最初の共産党である**インドネシア共産党**が成立

1927 年　〔　　　　　　　〕らが**インドネシア国民党**を結成，独立運動を主導

⑤フィリピン（アメリカ領フィリピン）

1934 年　アメリカでフィリピン独立法が成立，10 年後の独立を前提とする

1935 年　**独立準備政府**が発足

2　インドの反英運動の推移

1917 年　イギリスがインドに，参戦の代償として**戦後自治を約束**

1919 年　イギリスが〔　　　　　　　　　　　　〕を制定

※逮捕状なしの逮捕，裁判手続きなしの投獄が可能に。

※アムリットサールの抗議集会では，イギリス軍が民衆に発砲して多数の死傷者が出る（**アムリットサール事件**）。

1919年　州行政の一部をインド人に委ねる〔　　　　　　　　　　　　　〕を制定

→自治要求とは程遠い内容だったため，反対運動がおこる

1920年　〔　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　　　　　〕運動を進める

※「**サティヤーグラハ**」という理念を掲げる。

1922年　農民による警察官殺害事件がおこり，非暴力・不服従運動が中止される

※ヒンドゥー教徒とイスラム教徒の対立もあった。

1925年　インド共産党が結成される

1927年　イギリスがインド統治法の改革を検討する委員会（サイモン委員会）を任命

→委員にインド人が含まれていないことに反対して，反英運動が激化

1929年　**ラホール**の国民会議派大会で，急進派の〔　　　　　　〕らが主張する

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**完全な独立**）を決議

1930年　**ガンディー**が

「〔　　　　　　　　〕」と呼ばれる抵抗運動を組織

※塩の専売制に抵抗して行った**第二次非暴力・不服従運動**。

1930年～32年　イギリスが**英印円卓会議**を開催

※インド人の指導者たちをロンドンに招集するも，成果は上がらず。

ガンディーの「塩の行進」

1935年　各州の自治をある程度認める

〔　　　　　　　　　　　　　　〕を制定

※中央の財政・防衛・外交はイギリス人が掌握，民族運動が続く。

まとめ

インドシナ共産党のホー＝チ＝ミンを中心に，反仏の民族運動が進められた。

ガンディーは非暴力・不服従運動を進めたほか，ネルーはラホール大会でプールナ＝スワラージを掲げた。

Chapter 2　トルコ革命とイスラーム諸地域の動向

目標　トルコ革命の結果，どのような国家が生まれたのかを知ろう。
東地中海地域において，英仏はどの地域を委任統治領としたのだろうか。

1　トルコ革命とトルコ共和国の成立

1918 年　第一次世界大戦でオスマン帝国が敗戦国となる

1919 年　ギリシア軍が小アジアの**イズミル**に侵攻

1920 年　連合国と講和条約〔　　　　　　　　　　　〕を締結

1920 年　軍人〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　〕で
トルコ大国民議会を開催して臨時政府を樹立，**セーヴル条約**を拒否

1922 年　**ケマル**率いるトルコ軍がギリシア軍を撃退，イズミルを回復

1922 年　ケマルが〔　　　　　　　　　　　　　〕を宣言し，**オスマン帝国が滅亡**

1923 年　トルコ新政権が，連合国と講和条約〔　　　　　　　　　　　〕を締結

1923 年　アンカラを首都として〔　　　　　　　　　　　〕を樹立し，ケマルが初代大統領に就任
→**カリフ制の廃止**，政教分離，共和国憲法の公布，**文字改革**（トルコ語のローマ字表記），太陽暦の採用，**女性参政権**など近代化政策を推進（**トルコ革命**）

1934 年　議会がケマルに「**アタテュルク**（父なるトルコ人）」の姓を授与

2　エジプトとサウジアラビアの独立

①エジプト

1914 年　イギリスの保護国となる

1919 年　〔　　　　　　　　〕を中心に独立運動がおこる

1922 年　イギリスから条件付きで独立，〔　　　　　　　　　　　〕が成立

1936 年　**エジプト = イギリス同盟条約**で主権をほぼ回復

②サウジアラビア

1924 年　**ネジド王国**の〔　　　　　　　　　　　　　　〕が**ヒジャーズ王国**を征服

1932 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建国

3　イラン，アフガニスタン，アフリカの状況

①イラン

1921年　軍人の〔　　　　　　　　　　〕がカージャール朝の実権を掌握

1925年　**レザー＝ハーン**が〔　　　　　　　　　　〕を開いて，**シャー**（国王）の称号を名乗り，近代化政策を推進

1935年　国号を「ペルシア」から「**イラン**（アーリヤ人の国の意）」へ改称

②アフガニスタン

1880年　第二次アフガン戦争後，イギリスの保護国となる

1919年　第三次アフガン戦争で勝利，イギリスから独立を達成

③アフリカ

1912年　南アフリカに〔　　　　　　　　　　〕（ANC）が発足
→人種差別撤廃を目指す運動を展開

1919年　パリで〔　　　　　　　　　　〕が開催される

4　東地中海の分割と独立

①アラブ地域

サイクス・ピコ協定（1916年）によって，イラク・ヨルダンがイギリス，シリアとレバノンがフランスの**委任統治領**となる

1932年　**イラク**が王国として独立

1943年　**レバノン**が共和国として独立

1946年　**シリア**が共和国として独立，**トランスヨルダン**が王国として独立

②パレスチナ問題の発生

1915年　イギリスが〔　　　　　　　　　　〕を結ぶ

1917年　イギリスが〔　　　　　　　　　　〕を出す
→アラブ・ユダヤの両民族が対立する**パレスチナ問題**が発生

まとめ　オスマン帝国が滅亡し，トルコ共和国が成立。政教分離など近代化が行われた。英がイラク，ヨルダン，仏がシリア，レバノンを委任統治領とした。

第18講　PART6　確認問題

1 ベトナム青年革命同志会を母体にインドシナ共産党を結成し，民族運動を主導した人物はだれか。

① ファン＝チュー＝チン　② ファン＝ボイ＝チャウ
③ ホー＝チ＝ミン　④ ホセ＝リサール

2 インドネシア国民党を結成して，独立運動を主導したのはだれか。

① カルティニ　② アウンサン
③ サヤー＝サン　④ スカルノ

3 1919年にイギリスが制定した，州行政の一部をインド人に委ねるとした法律はどれか。

① インド統治法　② ローラット法
③ ベンガル分割令　④ 新インド統治法

4 イギリス支配下のインドで，非暴力・不服従運動を展開した人物はだれか。

① ティラク　② ネルー
③ ガンディー　④ ローイ

5 トルコの抵抗運動を主導し，トルコ共和国を建国して初代大統領になった人物はだれか。

① ムハンマド＝アリー　② ミドハト＝パシャ
③ ムスタファ＝カミール　④ ムスタファ＝ケマル

6 トルコ新政権が連合国と締結した講和条約を何というか。

① トルコマンチャーイ条約　② セーヴル条約
③ ローザンヌ条約　④ カルロヴィッツ条約

7 軍人のレザー＝ハーンが 1925 年に開いたイランの王朝はどれか。

① パフレヴィー朝　② カージャール朝
③ サファヴィー朝　④ ティムール朝

8 第一次世界大戦中の 1915 年，イギリスがアラブ王国の建国を約束したのはどれか。

① バルフォア宣言　② サイクス・ピコ協定
③ フセイン・マクマホン協定　④ モンロー宣言

第 19 講 【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦
PART1 世界恐慌とその影響

Chapter 1　世界恐慌とアメリカの対応

目標
世界恐慌が発生したきっかけを学ぼう。
ニューディール政策でとられた対策を知ろう。

1 世界恐慌の発生

1929 年 10 月　ウォール街の**ニューヨーク株式市場で株価が大暴落**
→アメリカの恐慌が世界に波及，〔　　　　　　　　〕がおこる
※工業生産の低下，企業の倒産，商業・貿易の不振，失業者の激増など。
※最初に暴落のあった 10 月 24 日を**「暗黒の木曜日」**と呼ぶ。

1931 年　フーヴァー大統領が〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を実施
※恐慌対策として，ドイツの賠償金と対米戦債の支払いを 1 年間猶予。
→状況は好転せず，恐慌を回復することはできなかった

「暗黒の木曜日」

2 アメリカの恐慌対策

1933 年　民主党の〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が大統領に就任。
経済復興政策〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（新規まきなおし）を推進

①ニューディール

A 〔　　　　　　　　　　〕（**AAA**）の制定

補償金と引き換えに農産物の生産を制限，農産物価格の引き上げを図る

B 〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**NIRA**）の制定

企業生産の抑制，企業の協定，労働者の団結権と団体交渉権を承認する

→ 1935 年に最高裁判所から違憲判決を受ける

C 〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（TVA）の設立

テネシー川流域で大規模な公共事業（ダム建設など）に着手，雇用の拡大を図る

D 〔　　　　　　　　　　〕の制定

全国産業復興法に代わり，労働者の団結権と団体交渉権を保障

→労働運動が活発になり，**産業別組合会議**（CIO）が成立

E **金本位制**の停止

金を貨幣価値の基準とする金本位制から離脱し，政府が貨幣の流通量を管理する管理通貨制度へ移行

②ローズヴェルト大統領の外交

A 1933 年，対立していた**ソ連**を承認

※ソ連の市場開拓を期待して承認，翌年ソ連は国際連盟に加盟した。

B 〔　　　　　　　　〕の展開

カリブ海政策を改め，ラテンアメリカ諸国との関係改善に努める

→ 1934 年，プラット条項を廃止して**キューバの独立**を承認

C 1934 年，10 年後のフィリピンの独立を認める**フィリピン独立法**の制定

D 1935 年，**中立法**を制定し，交戦国への武器，軍需品の売却を禁止

まとめ

ニューヨークのウォール街で株価が暴落し，世界恐慌に発展した。

農業調整法や全国産業復興法で生産の抑制などが行われたほか，テネシー川流域開発公社を設立して失業者に対応した。

Chapter 2　イギリスとフランスのブロック経済

目標
イギリスが世界恐慌にどのように対応したのかをおさえよう。
ドイツのファシズムへのフランスの対応策を理解しよう。

1　イギリスの恐慌対策

1929 年　**第二次マクドナルド内閣**（労働党単独内閣）成立

1931 年　〔　　　　　　　　　　〕首相が，失業保険の給付削減を提案
→与党の労働党が反対して首相が離党

1931 年　マクドナルドが保守党，自由党と結び，**挙国一致内閣**を組織
→失業保険の給付削減，〔　　　　　　　　〕の停止を実施

1931 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立
※本国と自治領が対等な関係であることを法制化。
→イギリス帝国が**イギリス連邦**に再編される

1932 年　カナダで〔　　　　　　　　　　　　〕（イギリス連邦経済会議）を開催
※本国と植民地が相互に特恵を与え，他国製品に高関税を課す
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を形成。
※排他的な経済圏を形成する〔　　　　　　　　　　〕の先駆け。
→これを機に，アメリカが**ドル＝ブロック**，フランスが**フラン＝ブロック**を形成

2　フランスの人民戦線

1920 年　フランス社会党から左派が分離して，フランス共産党が成立

1933 年　自国の植民地を囲い込み，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を形成

1935 年　**仏ソ相互援助条約**を結ぶ

※ドイツの再軍備宣言を受けて，フランスとソ連が結んだ条約。

1935 年　モスクワで**コミンテルン第７回大会**が開催される

※ドイツのファシズム台頭に対して，反ファシズムが協力して民主主義を守り，戦争を防ごうとする〔　　　　　　　　〕の形成を提唱。

→フランスに影響を与えた

1935 年　共産党，社会党，急進社会党が**人民戦線**を結成

1936 年　社会党の〔　　　　　　〕を首相とする**人民戦線内閣（政府）**が成立

※フランス版ニューディールともいわれる大規模な公共事業を実施。

コミンテルンの主要メンバー

まとめ

ポンドの金本位制を廃止し，ブロック経済を敷いて排他的経済圏を形成した。

フランスは人民戦線を形成し，ファシズムに対抗した。

第19講 PART 1 確認問題

1 1929 年に株価大暴落がおこったウォール街は，どこの都市にあるか。

① ロンドン　② モスクワ
③ ニューヨーク　④ フランクフルト

2 恐慌対策として，ニューディールと呼ばれる経済復興政策を推進したアメリカ大統領はだれか。

① セオドア＝ローズヴェルト　② フランクリン＝ローズヴェルト
③ フーヴァー　④ ウィルソン

3 ニューディール政策の一環として制定された，労働者の団結権と団体交渉権を保障する法律はどれか。

① ワグナー法　② 農業調整法
③ 中立法　④ ローラット法

4 ローズヴェルト大統領が，ラテンアメリカ諸国に対して展開した外交政策はどれか。

① ドル外交　② 棍棒外交
③ 善隣外交　④ 宣教師外交

5 1933 年にアメリカが承認して，翌年，国際連盟に加盟した国はどこか。

① ソ連　② キューバ
③ フィリピン　④ メキシコ

6 イギリスで，1931 年に保守党，自由党と結んで挙国一致内閣を組織した人物はだれか。

① スペンサー　② グラッドストン
③ ディズレーリ　④ マクドナルド

7 イギリスのブロック経済政策はどれか。

① ドル = ブロック　② スターリング = ブロック
③ フラン = ブロック　④ 日満経済ブロック

8 1936 年に人民戦線内閣を組織したフランスの首相はだれか。

① ケロッグ　② ブリアン
③ ブルム　④ クレマンソー

第 19 講 【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦
PART2 軍国主義の台頭

Chapter 1　日本軍部の台頭と日中戦争

目標
満洲事変で中国東北地方がどのような状況になったのか考えよう。
日中戦争で中国が日本にどのように抵抗したのかを理解しよう。

1　日本軍部の台頭

金融危機や飢餓で政党政治がゆきづまり，これに乗じて軍部や右翼が勢力を伸ばしていった。

1932 年　海軍青年将校らが〔　　　　　　　　　　〕をおこす
　→政党政治が崩壊，軍部の発言力が強まる
1936 年　陸軍皇道派の青年将校が〔　　　　　　　　　　〕をおこす
　→軍国主義体制が強まる

2　満洲事変

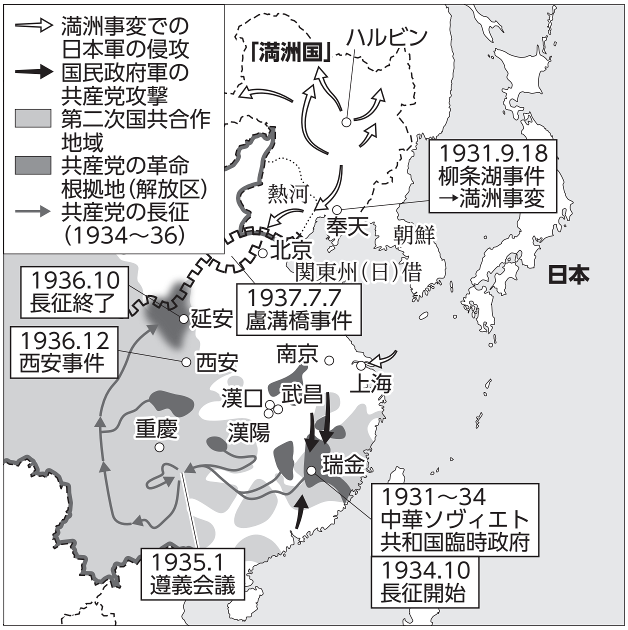
1931 年　関東軍が，南満洲鉄道の線路を爆破〔　　　　　　　　　〕
　→これを中国軍のしわざとして軍事行動をおこし，東北部を占領
　※以降，日本が介入した中国東北地方の動乱を〔　　　　　　　〕という。
1932 年　上海で日本軍と中国軍が衝突，〔　　　　　　　〕が勃発
　※列強の目を満洲から反らすのが目的。
1932 年　国民政府の提訴によって，国際連盟が〔　　　　　　　　　　　　〕を派遣
1932 年　清朝最後の皇帝**溥儀**を執政として〔　　　　　〕　を建国
1933 年　関東軍が**熱河**方面に侵攻，張学良の勢力を破る
1933 年　リットン調査団の報告に基づき，国連総会が満洲国の不承認を決議
　→日本が**国際連盟脱退**を通告
1935 年　関東軍が，河北省東部に傀儡政権（**冀東防共自治政府**）を組織（華北分離工作）

3　日中戦争と国共合作

1931 年　**共産党**が，江西省の**瑞金**に〔　　　　　〕を主席として**中華ソヴィエト共和国臨時政府**を樹立

1934 年　〔　　　　　〕率いる**国民党軍**の攻勢で，共産党軍（紅軍）が瑞金から撤退
→国民党軍と戦いながら行軍を開始
（〔　　　　〕）

1935 年　国民政府が，**通貨の統一**を進める



日中戦争と国共合作に関連する出来事・都市

※銀の使用を禁止し，政府系の銀行が発行する銀行券（法幣）を統一貨幣とする。

1935 年　共産党が〔　　　　　　　　〕を発す
※８月１日，内戦の停止と抗日民族統一戦線の結成を呼びかける。

1936 年　**張学良**が〔　　　　　　　〕をおこす
※**蔣介石**を捕らえて内戦停止と抗日戦を要求，共産党の**周恩来**も来訪。

1936 年　共産党軍が，陝西省**延安**を根拠地に定める

1937 年　〔　　　　　　　　　〕がおこる
→これを機に〔　　　　　　　〕に突入

1937 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が成立（**抗日民族統一戦線**）

1937 年　日本軍が南京を占領し，捕虜や民間人を虐殺する**南京事件**をおこす

1937 年　国民政府が**南京**から〔　　　　〕に拠点を移して，抵抗を続ける

1938 年　日本軍が，華北に加えて長江沿岸部を占領

1940 年　日本が**重慶政府**に対抗して，南京に親日政権を設立
※重慶を脱出した国民党左派の〔　　　　　〕を首班として，占領地を統治。

まとめ
満洲事変により満洲国が建国され，日本の支配下に置かれた。
第二次国共合作を成立させ，国民党と共産党が連携して抗日を進めた。

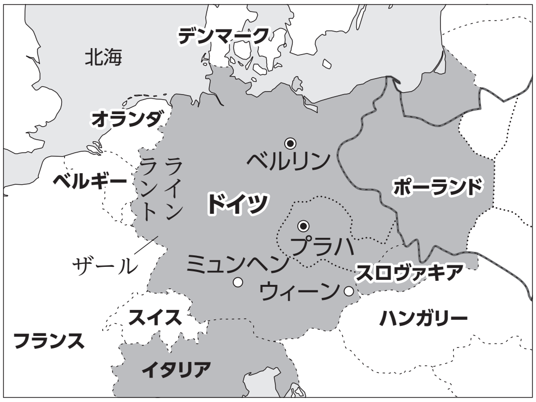
Chapter 2　ナチスの台頭とスペイン内戦

目標
ナチスがどのようにして政権を獲得し，独裁体制を築いたのかを学ぼう。
スペイン内戦の対立構造を理解しよう。

1　ナチスの台頭と拡大

1930 年　選挙で〔　　　　　　　　　〕の率いる**ナチ党**（国民社会主義ドイツ労働者党）が勢力を伸ばす

※〔　　　　　　　　　　　〕の代表的な担い手であるナチ党は，ヴェルサイユ条約の破棄，ヴァイマル共和国反対を訴え，農民や中間層の支持を集める。



ナチス拡大に関連するドイツ諸都市

1932 年　総選挙で**ナチ党**が第一党になる

1933 年　**ヒトラー**が首相に就任，政権を掌握

1933 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を利用して共産党を弾圧

1933 年　政府に立法権を委ねる〔　　　　　　　　　　　　　　〕を制定

→ナチ党以外の政党や団体を解散させ，**一党独裁**体制を実現

1933 年　軍備平等権が否決されたことを理由に，**国際連盟**から脱退

1934 年　ヒトラーが大統領と首相の権限をあわせ持つ〔　　　　　　〕（フューラー）に就任

※**アウトバーン**（高速道路）の建設や軍需産業により，失業者を救済。

※秘密警察（**ゲシュタポ**）や親衛隊（**SS**）によって国民生活を統制し，反対派や**ユダヤ人**，ロマ（ジプシー）の人々を激しく迫害。

→物理学者のアインシュタインや作家のトーマス = マンがアメリカに亡命

1935 年　住民投票によって，独仏国境地帯の炭鉱地帯**ザール地方**を編入

1935 年　〔　　　　　　　　〕を宣言，**徴兵制**を復活

→イギリス，フランス，イタリアが抗議。フランスは仏ソ相互援助条約を締結

1935 年　イギリスが**英独海軍協定**を結び，ドイツの再軍備を追認

1936 年　仏ソ相互援助条約を口実に**ロカルノ条約**を破棄し，非武装地帯〔　　　　　　　　　　　　　　　〕に軍を進駐

1936年　経済計画**四カ年計画**を開始

※戦争遂行のため，食料と戦略物資の自給を目指す。

2 スペイン内戦

1931年　スペイン革命で，共和政が成立

1936年　社会党や共産党からなる〔　　　　　　　　　　〕が成立

※アサーニャが大統領に就任。

1936年　これに反対する保守勢力を率いる〔　　　　　　〕将軍が，スペイン領モロッコで挙兵

→〔　　　　　　　　　　〕がはじまる

※〔　　　　　　　　　〕をとるイギリスやフランスに対し，ドイツとイタリアは**フランコ側**を，ソ連が**人民戦線内閣**を支援。

※アメリカのヘミングウェーやイギリスのオーウェルなどの作家も人民戦線内閣を支援し，〔　　　　　　　　　〕として参加。

1937年　スペインの小都市ゲルニカが，ドイツ空軍の爆撃で廃墟となる

※スペイン出身の画家**ピカソ**が『**ゲルニカ**』を制作。

1939年　人民戦線内閣の拠点マドリードが陥落，フランコ将軍側の勝利で内戦が終結

→フランコ独裁体制の出現

ゲルニカ爆撃の様子

まとめ

1932年の選挙で第一党になると，国会議事堂放火事件で共産党を排除し，全権委任法で一党独裁を確立した。

右派のフランコ将軍を独伊が，左派の人民戦線内閣をソ連と国際義勇軍が支援したが，英仏は不干渉政策をとった。

第19講 PART 2 確認問題

1 日本で軍部の発言力が強まるきっかけとなった，1932 年の出来事はどれか。

① 二・二六事件　② 五・一五事件
③ 五・三〇運動　④ 五・四運動

2 満洲事変の発端となった，関東軍による南満洲鉄道爆破事件はどれか。

① 柳条湖事件　② 西安事件
③ 盧溝橋事件　④ 張作霖爆殺事件

3 抗日民族統一戦線結成を訴えるため，1935 年に中国共産党が発表した宣言はどれか。

① バルフォア宣言　② 共産党宣言
③ 権利の宣言　④ 八・一宣言

4 日本が重慶政府に対抗して南京に設立した，親日政権の首班はだれか。

① 溥儀　② 毛沢東
③ 汪兆銘　④ 蔣介石

5 1934年に首相と大統領の権限をあわせ持つ，ドイツの総統に就任した人物はだれか。

① ヒンデンブルク　② ヒトラー
③ シュトレーゼマン　④ エーベルト

6 1936年にロカルノ条約を破棄して，ドイツが行ったことはどれか。

① アウトバーン建設　② ザール地方編入
③ 国際連盟脱退　④ ラインラント進駐

7 スペインに成立した人民戦線内閣に反対して，モロッコで挙兵した人物はだれか。

① フランコ　② アサーニャ
③ ムッソリーニ　④ ピウスツキ

8 スペイン内戦に際し，不干渉政策をとった国は，イギリスとどこか。

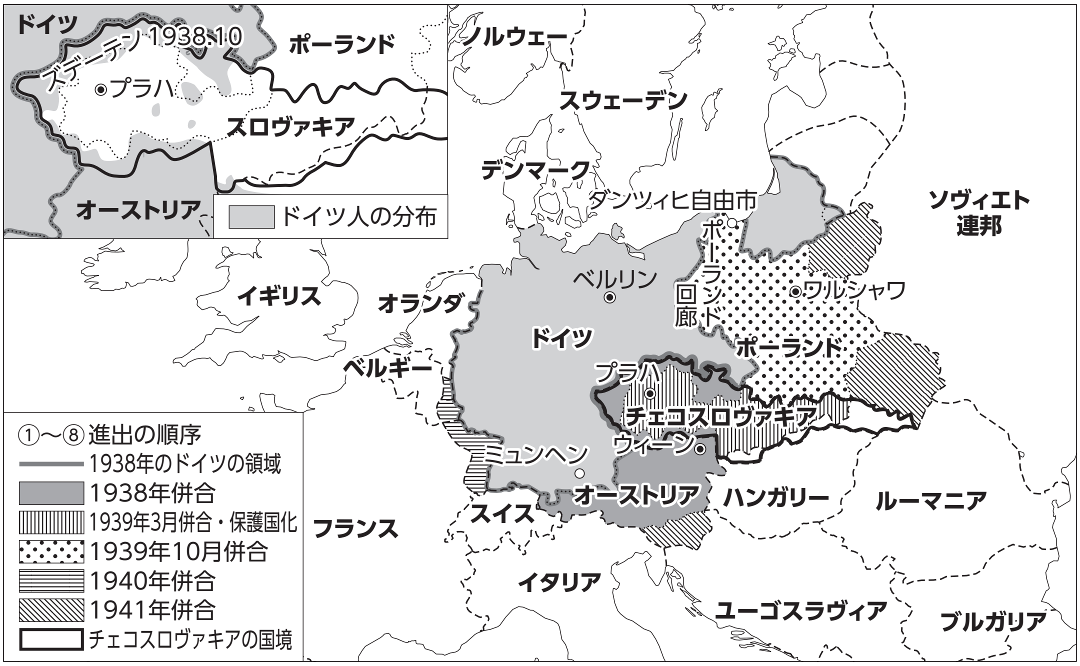
① ソ連　② ドイツ
③ イタリア　④ フランス

第 19 講 【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦

PART3 第二次世界大戦の勃発

Chapter 1　ナチスの侵略と第二次世界大戦の勃発

目標　ナチスのズデーテン割譲の要求に対する英仏の対応を確認しよう。
第二次世界大戦がはじまった経緯を学ぼう。



ナチスの勢力拡大

1　枢軸の形成

1935 年　イタリアの**ムッソリーニ政権**が〔　　　　　　　　　　〕に侵攻

→国際連盟が経済制裁を決議したことを機に，ドイツに接近

1936 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

※ドイツとイタリアの間に成立した協力体制。

1936 年　日本とドイツが反ファシズム運動に対抗して，**日独防共協定**を結ぶ

1937 年　イタリアが参加して〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

→日本・ドイツ・イタリアによる**枢軸国**が形成される

1937 年　イタリアが，ドイツ，日本にならって**国際連盟**を脱退

2 ナチスの侵略と第二次世界大戦

1938年　**ヒトラー**率いるドイツが〔　　　　　　　　　　　　〕を併合

1938年　ドイツがチェコスロヴァキアに〔　　　　　　　　　　　　　　〕の割譲を要求

※ドイツ・ポーランドと国境を接する地域で，ドイツ人が多く居住。

1938年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕開催

※**宥和政策**をとるイギリスの**ネヴィル＝チェンバレン**首相とフランスの**ダラディエ**首相が，ヒトラー，ムッソリーニと会談。ドイツの**ズデーテン地方**併合を承認。

1939年　ドイツが〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を解体

※西部（ベーメンとメーレン）を併合，東部（スロヴァキア）を保護国とする。

1939年　イタリアが**アルバニア**を併合

1939年　ドイツがポーランドに，**ダンツィヒ**（現グダニスク）の返還，**ポーランド回廊**を横断する鉄道の敷設権を要求するが，ポーランドが拒否

1939年　ドイツがソ連と〔　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

※反共を主張するドイツと反ファシズムのソ連の同盟に，世界中が驚く。

1939年9月　ドイツが〔　　　　　　　　　　〕へ侵攻

→ポーランドの同盟国であるイギリス・フランスが，ドイツに宣戦布告

第二次世界大戦がはじまる

1939年　ドイツ軍がポーランドの西半を占領

→ドイツとソ連がポーランドを分割

ヒトラーとムッソリーニ

まとめ

ドイツのズデーテン割譲の要求に対しミュンヘン会談を開催し，これを承認した。

独ソ不可侵条約が結ばれ，ドイツがポーランドに侵攻したことがきっかけで第二次世界大戦がはじまった。

Chapter 2　第二次世界大戦初期の状況

目標
ドイツのヨーロッパ侵略はどのように進んだのだろうか。
日独伊三国同盟の成立後，日本がどの地域に進出したのかを考えよう。

1　第二次世界大戦の構図

枢軸国対**連合国**

枢軸国	第二次世界大戦で連合国と戦った**ドイツ・イタリア・日本**とその同盟諸国（フィンランド・ハンガリー・ブルガリア・ルーマニア・タイ）
連合国	第二次世界大戦で枢軸国と戦った国々 1942 年，ワシントンでアメリカ・イギリス・ソ連・中国の 4 か国を中心とする 26 か国が「連合国共同宣言」を発表。枢軸国と徹底交戦することなどを誓約
中立国	スイス・スウェーデン・スペイン・ポルトガル・エール（アイルランド）・トルコなど

2　ソ連の侵略

1939 年 9 月　ソ連系諸民族の保護を名目に**ポーランド**に侵攻
→独ソでポーランドの領土を分割，東半を占領
1939 年　〔　　　　　　　　　　〕に侵攻（ソ連 = フィンランド戦争）
→国際連盟がソ連の行動を非難，ソ連を除名する
1940 年　フィンランドとの休戦協定が成立し，ソ連は領土を拡大
1940 年　ルーマニアからベッサラビアを獲得
1940 年　**エストニア・ラトヴィア・リトアニア**の〔　　　　　　　　　　〕を併合

3　ドイツの拡大と三国同盟

1940 年　4 月に**デンマーク**と**ノルウェー**，5 月に**オランダ**と**ベルギー**に侵攻

1940年　ドイツ軍が**パリ**を占領。フランスを降伏させる

※西北部をドイツが支配。南部にフランスの**ペタン元帥**を首班とする親ドイツの〔　　　　　　　　　　〕が誕生。これにより第三共和政が崩壊。

1940年　フランスの軍人〔　　　　　　　　　　〕が，ロンドンで〔　　　　　　　　　　〕を樹立，抵抗を呼びかける

→フランス国内で**レジスタンス**（抵抗運動）が活発化

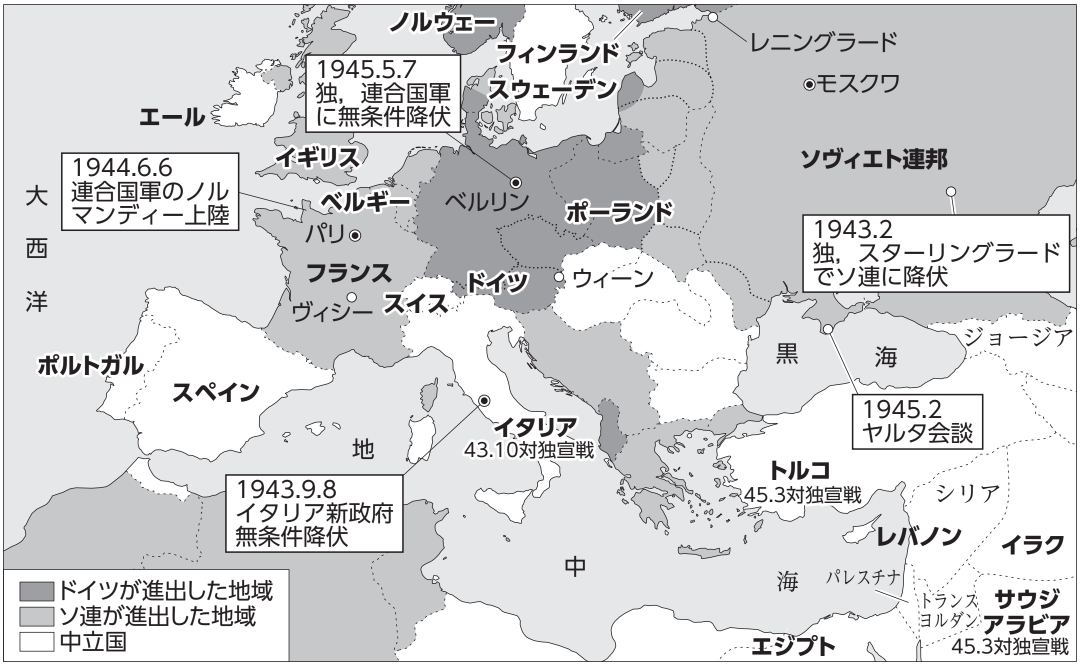
1940年　イギリスでは宥和政策が破綻。チェンバレンに代わり，対独強硬論を唱える〔　　　　　　　　　　〕が首相になる

※ドイツ空軍による空襲に耐え，上陸を阻止する。

1940年　ドイツ軍の優勢を見て，**イタリア**がイギリス・フランスに宣戦

1940年　日本・イタリアと軍事同盟〔　　　　　　　　　　〕を結ぶ

→フランスがドイツに降伏すると，日本は**フランス領インドシナ**北部に進駐



ドイツとソ連の進出地域

まとめ

ドイツはポーランドを侵略した後，デンマークやノルウェー，オランダ・ベルギーに侵攻し，フランスのパリを占領した。

日本は仏領インドシナ北部に進出し，東南アジアへの南進を企てた。

第19講 PART 3 確認問題

1 イタリアが国境紛争を口実に侵攻し，1936 年に併合した国はどこか。

① エジプト ② エチオピア
③ モロッコ ④ リビア

2 ズデーテン問題に対処するため，イギリスなど４か国の首脳によって開催された会議はどれか。

① ウィーン会議 ② ワシントン会議
③ ミュンヘン会談 ④ ベルリン会議

3 第二次世界大戦のきっかけとなった，1939 年９月のドイツの軍事行動はどれか。

① ポーランド分割 ② オーストリア併合
③ チェコスロヴァキア解体 ④ ポーランド侵攻

4 第二次世界大戦で, 枢軸国の主要３か国としてドイツ･イタリアとともに連合国と戦った国はどこか。

① スペイン ② 中国
③ 日本 ④ ソ連

5 第二次世界大戦開始後の 1939 年にポーランドに侵攻して，その領土をドイツと分割した国はどこか。

① ソ連　② イタリア
③ スウェーデン　④ トルコ

6 1939 年に，ソ連が国際連盟を除名されるきっかけとなった出来事はどれか。

① ノルウェー侵攻　② パリ占領
③ バルト三国併合　④ フィンランド侵攻

7 フランスがドイツに降伏したのち，ド＝ゴールがロンドンでつくった政府はどれか。

① ヴィシー政府　② 人民戦線政府
③ 臨時政府　④ 自由フランス政府

8 1940 年にイギリスの首相となり，対独強硬論を唱えた人物はだれか。

① ネヴィル＝チェンバレン　② チャーチル
③ ジョゼフ＝チェンバレン　④ マクドナルド

第 19 講 【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦
PART4 第二次世界大戦の変容と終戦

Chapter 1　独ソ戦，太平洋戦争と戦争の変容

目標　独ソ戦がはじまり，第二次世界大戦がどのように変容したのかを考えよう。
太平洋戦争がはじまった経緯を学ぼう。

1　独ソ戦と戦争の変容

1941 年　ドイツがバルカン半島に侵攻し，**ユーゴスラヴィア**と**ギリシア**を制圧
→ドイツとソ連の関係が悪化
※ユーゴスラヴィアでは，〔　　　　　　　　〕が対独〔　　　　　　　　　　〕（非正規的武装勢力）闘争を展開。

1941 年　ソ連が日本と〔　　　　　　　　　　　　〕を締結，後方の安全を確保

1941 年　6 月，ドイツが**独ソ不可侵条約**を破棄し，ソ連に侵攻
→〔　　　　　　〕を開始
※ユダヤ人絶滅政策が実行に移される。ユダヤ人を**アウシュヴィッツ**などの**強制収容所**に送り，約 600 万人を虐殺（**ホロコースト**）。

1941 年　7 月，ソ連がイギリスと〔　　　　　　　　　　　〕を結ぶ
※ドイツは挟撃される形となり，東方でドイツの戦線が拡大。

1941 年　アメリカが中立を放棄。**武器貸与法**に基づきイギリス・ソ連に物資を援助

1941 年　8 月，アメリカとイギリスが〔　　　　　　　　　　〕を宣言
※**フランクリン＝ローズヴェルト**大統領と**チャーチル**首相が大西洋上で会談。戦後世界の民主主義的構想を示す。

1941 年　12 月，ドイツ・イタリアが**対米宣戦**布告

2　太平洋戦争のはじまりと日本のアジア侵略

①太平洋戦争のはじまり

1941 年　日本がソ連と**日ソ中立条約**を締結，南進体制を確立

1941 年　7 月，日本がフランス領インドシナ南部へ進駐

→日本の東南アジア進出に対し，アメリカが対日石油輸出禁止で対抗

※アメリカ・イギリス・中国・オランダが，対日包囲網 **ABCD ライン**を形成。

1941 年　4 ～ 11 月，**日米交渉**によって戦争回避を模索

1941 年　日本軍がマレー半島に上陸

1941 年　アメリカ国務長官ハルが，最終提案「**ハル = ノート**」を提示

※日本軍の中国およびフランス領インドシナからの全面撤退などを要求。

→日米交渉が事実上決裂

1941 年　12 月 8 日，日本海軍がハワイの〔　　　　　　〕（**パールハーバー**）を攻撃

→米・英に宣戦し，〔　　　　　　　　　〕がはじまる

※同月，日本と同盟関係にあるドイツ・イタリアもアメリカに宣戦。

→ヨーロッパの戦争と太平洋戦争が一体化し，世界戦争に拡大

②日本のアジア侵略

A　1941 年～ 42 年，日本がマレー半島，香港，シンガポール，オランダ領東インド，フィリピン，ビルマを制圧

B　〔　　　　　　　　　　〕を掲げてアジア支配を正統化

※欧米列強による植民地支配の打破と，日本を盟主とする共栄圏の形成を説く。

→人的・物的資源を収奪したため，各地で反日抵抗運動がおこる

C　中国では，1940 年頃から華北を中心に共産党による抗日戦が激化

D　朝鮮

あ　〔　　　　　　　　　〕（同化政策）を強行

※日本語の使用，日本名を名乗らせる**創始改名**などを強要。

い　朝鮮人を強制的に日本へ移住させ，厳しい労働に従事させる

※朝鮮や台湾では徴兵制も実施，兵士や軍属として戦地に動員。

まとめ

独ソ戦がはじまると英ソ軍事同盟が結ばれ，ドイツは挟撃される形になり，東方ではドイツの戦線が拡大した。

日米交渉が難航し，日本が真珠湾に奇襲攻撃をかけたことではじまった。

Chapter 2　第二次世界大戦の終戦

目標　テヘラン会談で何が約束されたのかを確認しよう。
第二次世界大戦終戦までの経緯を学ぼう。

1　ドイツの劣勢

1942 年　1 月，連合国 26 か国が〔　　　　　　　　　　〕を発表
※反ファシズムという戦争目的を示す。これ以後，連合国が反撃。

1942 年　連合国軍が**北アフリカ**に上陸
※ドイツ・イタリア軍を挟撃し一掃する。

1943 年　2 月，〔　　　　　　　　　　〕でドイツ軍が敗北
※現ヴォルゴグラードでの戦いを機に，ソ連が反攻に転じる（**独ソ戦の転換点**）。

1943 年　6 月，ソ連がイギリス・アメリカとの協調のため，**コミンテルンを解散**させる

1943 年　7 月，連合国軍が〔　　　　　　　　　　〕に上陸
→**ムッソリーニ**が失脚し，**イタリア新政府**（**バドリオ政府**）が成立

1943 年　9 月，イタリア新政府が連合国軍に**無条件降伏**する

1943 年　11 月，米・英・ソ連の首脳が〔　　　　　　　　　　〕を開催
※イランのテヘランで，**ローズヴェルト・チャーチル・スターリン**が会談，第二戦線問題（ドイツに対する反攻作戦）を協議。

1944 年　6 月，連合国軍が〔　　　　　　　　　　〕を敢行
※アメリカの軍人**アイゼンハワー**の指揮で行われた北フランス上陸作戦。
→ドイツ軍占領下の**パリ**を解放，**ド＝ゴール**が帰国して臨時政府を組織

2　日本の勢力衰退

1942 年　6 月，日本海軍が〔　　　　　　　　　　〕でアメリカ海軍に大敗

1943 年　2 月，日本軍がソロモン諸島の**ガダルカナル島**でアメリカ軍に大敗，撤退する

1943 年　11 月，米・英・中国の首脳が**カイロ会談**で〔カイロ宣言カイロ宣言〕を発表
※エジプトのカイロで**ローズヴェルト・チャーチル・蔣介石**が会談，日本に無条件降伏させる方針などを協議。

1944 年　**サイパン島**の日本軍が全滅

→アメリカ軍はサイパン島を基地として日本本土を空襲

3 第二次世界大戦の終結

1945年　2月，**ヤルタ会談**で〔　　　　　　　　　　〕を結ぶ

※クリミア半島のヤルタで**ローズヴェルト・チャーチル・スターリン**が会談，ドイツ・東欧・ポーランドの戦後処理，国際連合設立について協議。

※秘密協定として，ドイツ降伏後のソ連の対日参戦を決定。

1945年　2月，連合国軍の爆撃でドイツの古都ドレスデンが壊滅

1945年　3月，アメリカ空軍による**東京大空襲**

1945年　4月，アメリカ軍が〔　　　　　　　　〕に上陸，占領

1945年　5月，ソ連軍の攻撃でドイツの首都〔　　　　　　　　〕が陥落

※**ヒトラー**は首都陥落直前の4月に自殺。

1945年　5月，ドイツが**無条件降伏**する

1945年　7月，米・英・ソ連の首脳が〔　　　　　　　　　　〕を開催

※ベルリン郊外のポツダムで**トルーマン**（アメリカ大統領），**チャーチル**（途中で**アトリー**と交代），**スターリン**が会談，ドイツ・日本の戦後処理などを協議。

1945年　7月，米・英・中国の3国が**ポツダム宣言**を発表，日本に無条件降伏を勧告

→日本はこれを黙殺

1945年　アメリカが8月6日広島に，9日長崎に**原子爆弾**を投下

1945年　8月8日，ソ連が**ヤルタ協定**に基づいて日本に宣戦

1945年　8月14日，日本が**ポツダム宣言**を受諾，**無条件降伏**する

※天皇が玉音放送で終戦を国民に明らかにする（**第二次世界大戦終結**）。

まとめ

第二戦線の形成が約束され，翌年にノルマンディー上陸作戦が行われた。ベルリンが陥落してドイツが無条件降伏すると，日本もポツダム宣言を受諾して無条件降伏，戦争が終結した。

第 19 講　PART 4　確認問題

1 1941 年にイギリスのチャーチル首相と会談し，大西洋憲章を発表したアメリカの大統領はだれか。

① ウィルソン　② トルーマン
③ フランクリン = ローズヴェルト　④ フーヴァー

2 ABCD ラインを形成したのは，アメリカ，イギリス，中国とどこか。

① ソ連　② オランダ
③ フランス　④ スペイン

3 太平洋戦争の発端となった出来事はどれか。

① ノモンハン事件の勃発
② 日本のフランス領インドシナ南部への進駐
③ 日本軍のマレー半島上陸
④ 日本海軍による真珠湾攻撃

4 第二次世界大戦で，独ソ戦の転換点となった戦いはどれか。

① スターリングラードの戦い　② ノルマンディー上陸
③ ミッドウェー海戦　④ ワーテルローの戦い

5 連合国軍のシチリア島上陸によって失脚した，イタリアの首相はだれか。

① ド＝ゴール　② フランコ
③ ムッソリーニ　④ アイゼンハワー

6 第二戦線問題を協議した，1943年11月のアメリカ・イギリス・ソ連の首脳会談はどれか。

① ヤルタ会談　② テヘラン会談
③ ミュンヘン会談　④ カイロ会談

7 ドイツの戦後処理などを協議した，1945年2月のアメリカ・イギリス・ソ連の首脳会談はどれか。

① カイロ会談　② ミュンヘン会談
③ テヘラン会談　④ ヤルタ会談

8 1945年にアメリカ・イギリス・中国が日本に無条件降伏を勧告した宣言はどれか。

① ポツダム宣言　② カイロ宣言
③ 連合国共同宣言　④ バルフォア宣言

第20講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART1 戦後国際秩序と冷戦のはじまり

Chapter 1　戦後国際秩序と国際連合の成立

目標
戦後，ドイツがどのような状況になったのかを確認しよう。
戦後のアメリカを中心とする国際経済体制を理解しよう。

1　ドイツと日本の戦後処理

①ドイツ

1945年　米・英・ソ・仏の4か国によって〔　　　　　　　　〕される
※非ナチ化・非軍事化を遂行，ナチスの関係者を公職や企業の役職から追放。
※オーストリアはドイツと分離され，4か国によって分割管理される。

1945年　米・英・ソ・仏が首都**ベルリン**を**分割管理**

1945年　連合国が〔　　　　　　　　　　　　〕に**国際軍事裁判所**を設置

②日本

1945年　アメリカ軍を中心とする連合国軍の占領下に置かれる
※**マッカーサー**を最高司令官とする連合国軍総司令部（GHQ）の指導のもと，非軍事化・教育改革・農地改革・財閥解体・女性解放などを実施。

1946年　連合国が東京に**極東国際軍事裁判所**を設置

1946年　11月3日，〔　　　　　　　　　〕を公布（翌年施行）
※国民主権・基本的人権の尊重・象徴天皇制・戦争放棄などが定められる。

2　国際連合の成立

①成立まで

1941年　米・英の首脳会談で**大西洋憲章**を採択，国際連合の基礎を確立

1944年　米・英・ソ・中が〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕で国際連合憲章の原案を作成

1945年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕で**国際連合憲章**を採択

1945年　51か国を原加盟国として〔　　　　　　　〕が発足

1948年　第3回総会で**世界人権宣言**を採択，人権の国際法的な基準を提示

②組織

A　本部…ニューヨーク

B　主要機関

あ　〔　　　　　〕…全加盟国で構成，議決は多数決制

い　〔　　　　　　　　　　　　　　〕（安保理）…〔　　　　　　　〕を持つ常任理事国（米・英・ソ・仏・中）5か国と，非常任理事国6か国（現在は10か国）で構成

※のちに中華民国の代表権は中華人民共和国に，ソ連の代表権はロシア連邦に変更。

う　〔　　　　　　　　　　　　　　〕…国際紛争の法的処理を行う

え　事務局…長は事務総長

③主な専門機関

A　ユネスコ（国連教育科学文化機関）…1946年，ユネスコ憲章が発効して設立

B　国際労働機関（ILO）…1946年設立。労働条件の改善など

C　世界保健機関（WHO）…1948年設立。国際的保健事業の指導など

3　戦後の国際経済体制

1944年　連合国のブレトン＝ウッズ会議で，アメリカのドルを中心とする戦後世界の経済体制を構想（〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕）

1945年　〔　　　　　　　　　　　　〕（**IMF**）を設立

1945年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**IBRD**）（世界銀行）を設立

※IMFは為替相場の安定，IBRDは戦後復興と発展途上国への融資が目的。

1947年　**関税と貿易に関する一般協定**（〔　　　　　　　　〕）が成立

※自由貿易の推進を目的とした取り決め。のちに**世界貿易機関**（WTO）となる。

→ドルを基軸通貨とする固定為替相場制（**金・ドル本位制**）が70年代まで続く

まとめ

ドイツは米・英・仏・ソの4か国によって分割占領を受け，東ドイツにあるベルリンも4か国によって分割された。

ブレトン＝ウッズ体制が形成され，ドルを基軸通貨として各国の通貨との固定相場制度になった。

Chapter 2　米ソ冷戦のはじまり

目標
冷戦初期に，アメリカが西側諸国に対して行った支援策を学ぼう。
西側の連携に対して，ソ連が東側陣営に行った政策を理解しよう。

1　冷戦のはじまり

1946 年　イギリスの**チャーチル**前首相が「〔　　　　　　　　　　　　〕」演説を行う
※ソ連がバルト海からアドリア海を境界として東側諸国を囲っていると批判。
→冷戦構造の顕在化

1947 年　アメリカの**トルーマン**大統領がギリシア・トルコに経済援助を約束する
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を発表し，共産主義に対抗
※ソ連勢力への「〔　　　　　　　　　　　　〕」のはじまり。

1947 年　アメリカの国務長官**マーシャル**がヨーロッパ復興のため
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（ヨーロッパ経済復興援助計画）を発表
→西側諸国はこれを受け入れるため 1948 年，**ヨーロッパ経済協力機構**（OEEC）を設立。ソ連・東欧は参加せず

1947 年　ソ連と東欧６か国，フランス・イタリアの共産党が
〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**共産党情報局**）を組織して対抗
→資本主義陣営（西側）と社会主義陣営（東側）が対峙（「**冷戦**」）

1948 年　**チェコスロヴァキア**で共産党がクーデタ，政権を掌握する
※ポーランド・ハンガリー・ルーマニア・ブルガリア・アルバニアでは**人民民主主義**と呼ばれる社会主義体制が成立。

1948 年　**英・仏・ベネルクス３国**が共産主義勢力の拡大を阻止するため，
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（ブリュッセル条約）を締結
※ベネルクスとは，ベルギー・オランダ・ルクセンブルクの３国。

1948 年　ユーゴスラヴィアが〔　　　　　　　　〕指導のもと独自の路線を選択
→**コミンフォルム**から除名される

1949 年　ソ連が経済相互援助会議〔　　　　　　　　〕（COMECON）を組織
※マーシャル＝プランに対抗。

2　ドイツの分離独立と軍事同盟の成立

1948 年　米・英・仏がドイツの占領地区と西ベルリンで**通貨改革**を実施

1948 年　ソ連が西ベルリンへの交通を遮断（〔　　　　　　　　　　　　〕）

※ソ連が西ベルリンを孤立させると，西側 3 国は生活必需品を空輸して対抗。

1949 年　西側諸国が〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（NATO）を結成

※アメリカ・カナダを含む 12 か国による集団防衛機構。西欧に軍事力を配備。

1949 年　ソ連が**ベルリン封鎖**を解除

1949 年　ボンを首都に〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（西ドイツ）が成立

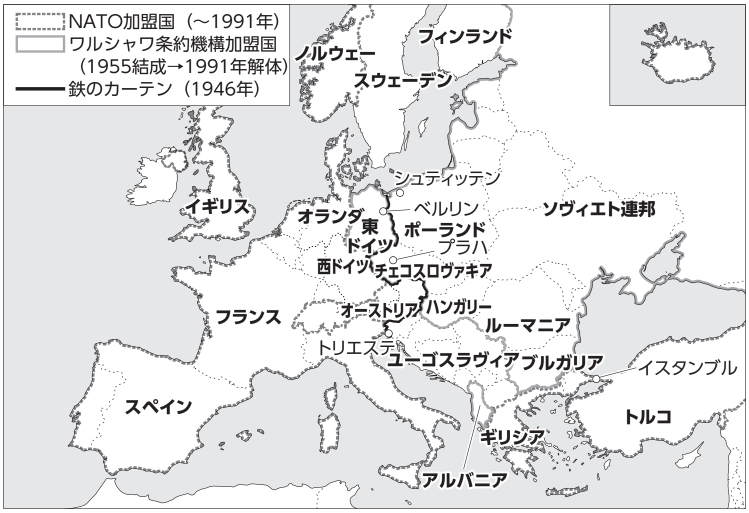
※初代首相**アデナウアー**のもと経済復興に成功。

1949 年　ベルリンを首都に〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（東ドイツ）が成立し，ドイツは東西 2 つの国家に分裂

1954 年　**パリ協定**で西ドイツが主権を回復

1955 年　西ドイツが NATO に加盟

1955 年　東側諸国が共同防衛を定めた〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（東ヨーロッパ相互援助条約）を発足



ヨーロッパの東西分裂

まとめ

トルーマン = ドクトリンでギリシア・トルコへの経済援助を表明し，マーシャル = プランで西側諸国を支援した。

マーシャル = プランに対しコミンフォルムを形成したほか，コメコンで東側諸国への経済支援を進めた。

第 20 講　PART 1　確認問題

1　1945 年に連合国によって開かれ，国際連合憲章を採択した会議はどれか。

①　ダンバートン＝オークス会議　②　ポツダム会談
③　ヤルタ会談　④　サンフランシスコ会議

2　国際連合の安全保障理事会の常任理事国を構成する５か国は，アメリカ，イギリス，ソ連，フランスとどこか。

①　トルコ　②　中国
③　スイス　④　イタリア

3　各国の為替相場の安定化を目的として，1945 年に設立された国連の専門機関はどれか。

①　世界貿易機関　②　国際復興開発銀行
③　国際通貨基金　④　国際労働機関

4　戦後，バルト海からアドリア海まで「鉄のカーテン」を下ろしていると演説してソ連を批判した人物はだれか。

①　チャーチル　②　ネヴィル＝チェンバレン
③　アトリー　④　ティトー

5 1947年に，アメリカによるヨーロッパ復興のための財政支援計画を発表した人物はだれか。

① マーシャル　② トルーマン
③ アイゼンハワー　④ マッカーサー

6 1949年に，ソ連が経済的結びつきを強化するために創設したものはどれか。

① コミンテルン　② コミンフォルム
③ コメコン　④ ミール

7 アメリカ・カナダを含む西側の12か国が1949年に結成した集団防衛機構はどれか。

① ワルシャワ条約機構　② 北大西洋条約機構
③ ヨーロッパ経済協力機構　④ 西ヨーロッパ連合条約

8 1949年に成立したドイツ連邦共和国の初代首相はだれか。

① ビスマルク　② ヒンデンブルク
③ エーベルト　④ アデナウアー

第 20 講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART2 アジア諸地域の独立

Chapter 1　中華人民共和国の成立と朝鮮戦争

目標
中華人民共和国がどのように成立したのかを考えよう。
朝鮮戦争の経緯を理解しよう。

1　国共内戦と台湾国民政府

1937 年　**第二次国共合作**。国民党と共産党が協力して抗日民族統一戦線を展開

1945 年　第二次世界大戦の終結
→国民党と共産党の間で主導権を巡る争いが激化

1946 年　〔　　　　　　　　〕（国民党と共産党の戦争）が本格化

1947 年　国民党が中華民国憲法を公布する

1947 年　台湾で〔　　　　　　　　　　　〕がおこる
※日本の敗戦後，中華民国が統治する台湾で，**外省人**（中国大陸から来た人々）と**本省人**（台湾住民）が衝突。中華民国が軍隊を派遣して本省人を弾圧した事件。

1949 年　国民政府の首都である**南京**が共産党に占領される

1949 年　国民党の指導者〔　　　　　　　〕が台湾に逃れて**中華民国政府**を樹立

2　中華人民共和国の成立

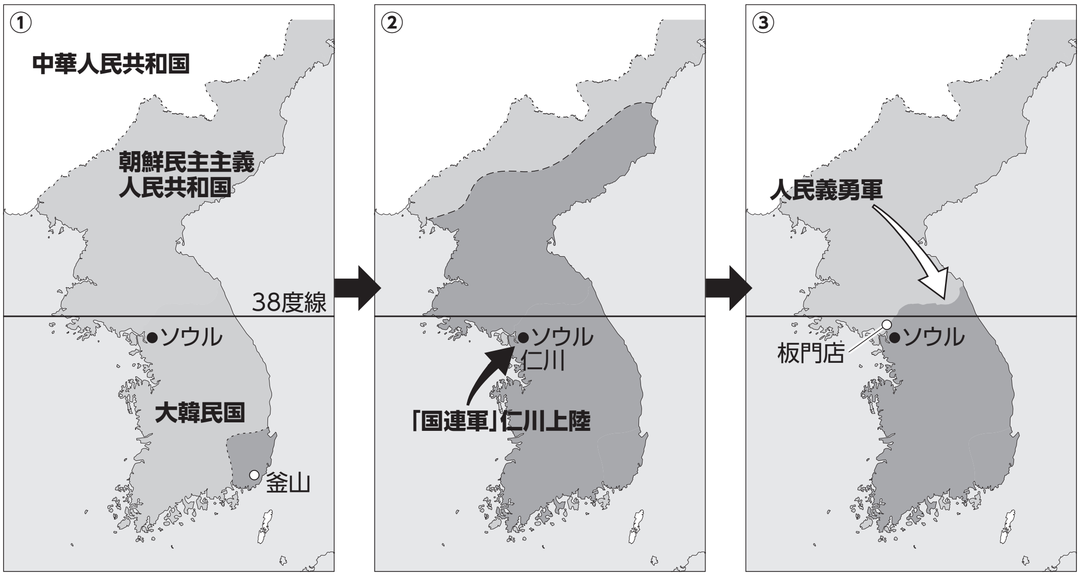
1949 年　共産党を中心とする諸党派が，北京で**人民政治協商会議**を開催。**北京**を首都として〔　　　　　　　　　　　　　　〕を建国
〔　　　　　　〕が主席，〔　　　　　　〕が首相に就任
→北京と台北に 2 つの中国政府が成立
※ソ連など東側諸国は中華人民共和国を承認，西側諸国は中華民国を承認。

1950 年　ソ連と軍事同盟〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結
※以後，ソ連の支援をもとに国家建設を推進，「向ソ一辺倒」といわれる。

1950 年　イギリスから**中華人民共和国**が承認される

1954 年　**中華人民共和国憲法**を公布

3　朝鮮の分裂と朝鮮戦争



朝鮮戦争の経緯

1945年　〔　　　　　　　　　　　〕を境に北部を**ソ連**，南部を**アメリカ**が占領

1948年　南部に〔　　　　　　〕を大統領として〔　　　　　　　　〕（韓国）が成立

1948年　北部に〔　　　　　　〕を首相（72年以降は主席）として

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（北朝鮮）が成立し，南北が分裂

1950年　北朝鮮が南北統一を目指して韓国へ侵攻，**朝鮮戦争**が勃発

1950年　これを侵略と認定した国連の安保理が韓国を支援するため，**国連軍**を派遣

※ソ連は中国の国連代表権を巡って安保理を欠席，拒否権を行使できず。

→中華人民共和国は北朝鮮支援のため**人民義勇軍**を派遣し，北緯38度線で膠着

1953年　〔　　　　　　〕で**休戦協定**が成立

→朝鮮半島の南北分断が固定化

まとめ　共産党が国民政府を台湾に追放して，1949年に中華人民共和国が成立した。北朝鮮が韓国に侵入すると国連軍が大韓民国を支援したが，北朝鮮を支援した人民義勇軍が反攻し，北緯38度線で膠着した。

Chapter 2　アジアの独立と中東問題

目標
インドシナ戦争の構造を理解しよう。
パレスチナ戦争がおこった経緯を学ぼう。

1　インドシナ戦争とフランスの撤退

1941 年　独立を目指し，**ホー = チ = ミン**を中心に**ベトナム独立同盟会**（ベトミン）を結成

1945 年　ホー = チ = ミンが北部に〔　　　　　　　　〕の建国を宣言，初代大統領に就任

1946 年　独立を認めないフランスとの間で〔　　　　　　　　〕が勃発

1949 年　フランスが阮朝最後の皇帝**バオダイ**を擁立し，南部に**ベトナム国**を樹立

1954 年　フランス軍が**ディエンビエンフーの戦い**に敗北

1954 年　〔　　　　　　　　〕を締結，フランス軍が撤退
※北緯 17 度線を暫定的な軍事境界線とする。

2　東南アジアの状況

①フィリピン

1946 年　〔　　　　　　　　〕として，アメリカから独立

②ビルマ（1989 年よりミャンマー）

1948 年　〔　　　　　　　　〕として，イギリスから独立

③インドネシア

1945 年　**スカルノ**を指導者として〔　　　　　　　　〕の建国を宣言，オランダとの間で独立戦争がおこる

1949 年　国連の調停で独立を達成

3　インドの分離独立

戦後，〔　　　　　　〕らの指導のもと，全インドの独立を目指す国民会議派と，〔　　　　　　〕の指導のもと，インド・パキスタンの分離・独立を目指す**全インド = ムスリム連盟**の対立が激化。

1947 年　イギリスのアトリー政権が**インド独立法**を制定

→ヒンドゥー教徒が多数を占める

［　　　　　　　　　　］と，イスラーム教徒が多数を占める

［　　　　　　　　　　］の 2 国に分かれて独立の方針

1948 年　ガンディーが急進派のヒンドゥー教徒に暗殺される

1948 年　セイロン（1972 年よりスリランカ）がイギリス自治領として独立

1950 年　初代首相［　　　　　　］のもと［　　　　　　　　　　　　］が成立

1956 年　［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］が成立

4　中東問題とパレスチナ

戦後，パレスチナでアラブ人とユダヤ人の対立が激化。

1945 年　アラブ諸国が連帯を強めるため，

［アラブ連盟アラブ連盟］を結成

1947 年　国連総会が

［　　　　　　　　　　　　　　　］を決議

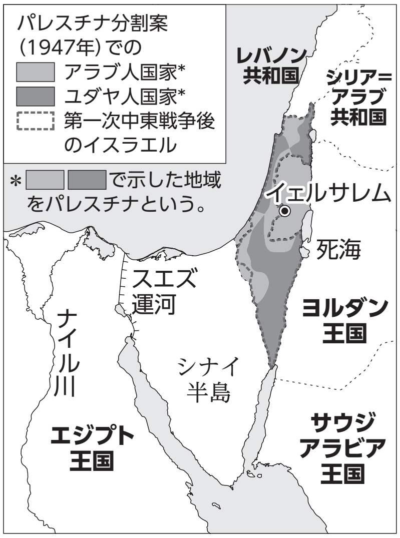
※国連総会は，パレスチナをアラブ・ユダヤ両国家に分割することを決定する。

1948 年　ユダヤ人がパレスチナに

［　　　　　　　　　　］の建国を宣言

→アラブ諸国が出兵，

［　　　　　　　　　　　　］（**第一次中東戦争**）が勃発



パレスチナ分割案とイスラエル拡大領域

1949 年　米・英の支持を得たイスラエルが勝利

→イスラエルは，分割案の 1.5 倍（パレスチナの約 80%）に領土拡大

一方で，約 100 万人のアラブ人が難民になる（**パレスチナ難民**の発生）

まとめ

北部の社会主義国家であるベトナム民主共和国が成立すると，インドシナ戦争が勃発し，南部にはフランスの支援するベトナム国が成立した。
パレスチナ分割案でイスラエルが建国されたことにアラブ諸国が反発し，パレスチナ戦争が勃発した。

第20講　PART2　確認問題

1　1947年におこった，中華民国の軍隊が台湾の住民を弾圧した事件はどれか。

①　西安事件　　②　済南事件
③　二・二八事件　　④　五・一五事件

2　国共内戦に敗れて逃れた台湾に，中華民国政府を樹立させた人物はだれか。

①　汪兆銘　　②　蔣介石
③　毛沢東　　④　周恩来

3　共産党を中心とする諸党派が，1949年に建国した中華人民共和国の首都はどこか。

①　重慶　　②　南京
③　広州　　④　北京

4　1948年に成立した大韓民国の初代大統領となった人物はだれか。

①　李大釗　　②　李承晩
③　李鴻章　　④　李自成

5 1945 年にホー＝チ＝ミンが独立を宣言して建国した，ベトナムの国家はどれか。

① ベトナム国　② ベトナム社会主義共和国
③ ベトナム民主共和国　④ ベトナム共和国

6 1946 年にアメリカから共和国として独立した国はどこか。

① フィリピン　② ビルマ
③ インドネシア　④ タイ

7 全インド＝ムスリム連盟を率いて，インド・パキスタンの分離・独立を主張した人物はだれか。

① ティラク　② ガンディー
③ ネルー　④ ジンナー

8 1948 年にパレスチナに建国されたユダヤ人の国はどれか。

① ヨルダン　② イスラエル
③ レバノン　④ シリア

第20講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART3 東西の安全保障と冷戦の推移

Chapter 1　東西軍事同盟の成立とアメリカの覇権

目標
アメリカは社会主義陣営に対して，どのような同盟を組んだのかを学ぼう。
社会主義陣営に対する，アメリカ大統領の対応について学ぼう。

1 東西の軍事同盟の形成

①西側

1948年　アメリカとラテンアメリカ諸国が〔　　　　　　　　〕（OAS）を発足
1949年　西側諸国が〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（NATO）を結成
1951年　アメリカがオーストラリア・ニュージーランドと
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（ANZUS）を締結
1951年　アメリカが日本と**日米安全保障条約**を締結
1951年　アメリカがフィリピンと**米比相互防衛条約**を締結
1953年　朝鮮戦争の休戦協定が成立。アメリカが韓国と**米韓相互防衛条約**を締結
1954年　アメリカが台湾（中華民国）と**米華相互防衛条約**を締結
→西太平洋における西側陣営の安全保障体制の形成
1954年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（SEATO）を発足
※アメリカ・イギリス・フランス・オーストラリア・ニュージーランド・タイ・フィリピン・パキスタンの8か国が加盟。
1955年　トルコ・イラク・イラン・パキスタン・イギリスの5か国が
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（中東条約機構〈METO〉）を発足
※ 1959年，革命で王政から共和政に移行したイラクが脱退すると，中央条約機構（CENTO）に改称。
→アメリカ・イギリスを中心に反共包囲網を形成

②東側

1950年　ソ連が中国と〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結
※日本およびアメリカを仮想敵国として結ばれた軍事同盟。
1955年　ソ連が東欧7か国と〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

（東ヨーロッパ相互援助条約）を発足，NATO に対抗

2 アメリカの覇権と反共政策

1947 年 〔　　　　　　　　　〕大統領が共産主義に対抗するため，ギリシア・トルコに経済援助を約束する**トルーマン = ドクトリン**を発表

※ソ連勢力への**「封じ込め政策」**のはじまり。

1947 年 国務長官マーシャルがヨーロッパ復興のため**マーシャル = プラン**を発表

1947 年 諜報機関の中央情報局（CIA）を創設，国内の共産主義者などへの監視を強化

1950 年代前半 共産主義者を社会的に排除する「〔　　　　　　〕」が盛んになる

※共和党のマッカーシー上院議員が中心，**マッカーシズム**と呼ばれる。

1953 年 共和党の〔　　　　　　　　　　　　〕が大統領に就任

※ソ連の勢力圏に対し積極的に対抗する**「巻き返し政策」**を唱える。

トルーマン

アイゼンハワー

3 核保有国の増加

①原子爆弾（原爆）の動き

1945 年 アメリカが世界で初めて原爆実験を実施

1945 年 アメリカが広島と長崎に原爆を投下

1949 年 ソ連が初めて原爆実験を実施

→以降，各国で原爆実験が実施される。

イギリス（1952 年），フランス（1960 年），中国（1964 年），

インド（1974 年），パキスタン（1998 年），北朝鮮（2006 年）

②水素爆弾（水爆）の動き

1952 年 アメリカが原爆よりも破壊力のある水爆実験を実施

1953 年 ソ連が水爆を保有

1957 年 イギリスが最初の水爆実験

まとめ

アメリカ大陸に米州機構，西欧には NATO，その他環太平洋地域にも個別に軍事同盟を組み，東側諸国を囲い込んだ。

トルーマンは「封じ込め政策」で社会主義勢力に対抗し，アイゼンハワーは当初「巻き返し政策」で，反ソ反共の姿勢を見せた。

Chapter 2　西欧，日本の復興とソ連の「雪どけ」

目標
日本や西ドイツが主権を回復したきっかけを学ぼう。
冷戦が「雪どけ」の状況になった背景をおさえよう。

1　西欧の復興と各国の状況

①西ドイツ

1949 年　ドイツ連邦共和国（西ドイツ）が成立

※初代首相〔　　　　　　　　　　〕政権のもと，「**経済の奇跡**」と呼ばれる経済復興を実現。

1954 年　〔　　　　　　　〕で**主権を回復**，翌年 NATO に加盟

②イギリス

1945 年　総選挙で**労働党**が圧勝，〔　　　　　　　〕労働党内閣が成立

※「**ゆりかごから墓場まで**」をスローガンに福祉政策の充実，重要産業の国有化に努める。

1949 年　**エール**（アイルランド）がイギリス連邦から完全離脱

1956 年　イーデン保守党政権が，**スエズ出兵**に失敗

③フランス

1946 年　新憲法が成立して〔　　　　　　　　〕が発足

1946 年　ベトナム民主共和国と交戦（**インドシナ戦争**）

1954 年　フランスからの独立を求めて**アルジェリア戦争**がおこる

④イタリア

1946 年　国民投票で王政が廃止され**共和政**になる。共産党が躍進

2　日本の主権回復

1950 年　朝鮮戦争がはじまると，国連軍への物資供給（**朝鮮特需**）などによって経済復興

1950 年　アメリカの要請で**警察予備隊**（のちの**自衛隊**）を設置

1951 年　米・英など 48 か国と〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結し，**主権を回復**

※日本は，朝鮮・台湾・南樺太・千島を正式に放棄，奄美群島，小笠原諸島，沖縄諸島がアメリカの施政下に置かれる。

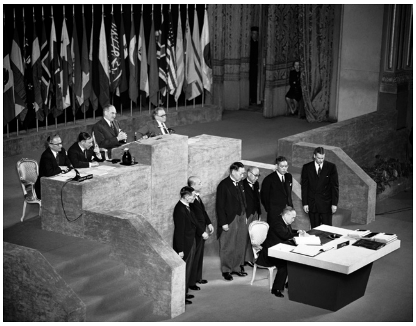
1951年 同時に〔　　　　　　　　　　　　〕に調印

※アメリカ軍の駐留と基地の存続を承認。

1955年 保守政党の合同により自由民主党が成立

1956年 〔　　　　　　　　　　〕でソ連と国交を回復

1956年 国際連合へ加盟，国際社会に復帰



サンフランシスコ講和会議

3 ソ連の平和共存路線と「雪どけ」

1953年 **スターリン**が死去

1955年 ユーゴスラヴィアと和解

1955年 米・英・仏・ソ4か国首脳が〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を開催

1955年 西ドイツと国交回復

→米ソ両国間の冷戦が緩和，「〔　　　　　　〕」と呼ばれる。東欧諸国は動揺

1956年 ソ連共産党第20回大会で〔　　　　　　　　　〕第一書記が演説で「〔　　　　　　　　　　　〕」，西側諸国との〔　　　　　　〕政策を明確にする

1956年 平和共存政策の一環として，**コミンフォルム**（共産党情報局）を解散

フルシチョフの「スターリン批判」

まとめ

日本はサンフランシスコ平和条約で，西ドイツはパリ協定で主権が回復した。

スターリンが死去したのちフルシチョフが平和共存政策を進め，「スターリン批判」などで冷戦構造が緩和された。

第 20 講　PART 3　確認問題

1　1954 年にアメリカがイギリス，オーストラリア，フィリピンなど 7 か国と結成した組織はどれか。

①　米州機構　②　東南アジア条約機構
③　バグダード条約機構　④　ワルシャワ条約機構

2　1955 年に NATO に対抗して，ソ連が東欧 7 か国と結成した組織はどれか。

①　バグダード条約機構　②　東南アジア条約機構
③　ワルシャワ条約機構　④　米州機構

3　1953 年にアメリカ大統領に就任し，「巻き返し政策」を唱えた人物はだれか。

①　アイゼンハワー　②　トルーマン
③　ローズヴェルト　④　マーシャル

4　1949 年に初めて原爆実験を行い，アメリカに次いで世界で 2 番目の核保有国となった国はどこか。

①　インド　②　イギリス
③　フランス　④　ソ連

5 1954年に締結され，西ドイツの主権回復が承認された協定はどれか。

① パリ協定　② ミズーリ協定
③ サイクス・ピコ協定　④ ジュネーヴ休戦協定

6 1945年にイギリスの首相となり，「ゆりかごから墓場まで」をスローガンに福祉政策の充実に努めた人物はだれか。

① イーデン　② アトリー
③ チャーチル　④ アデナウアー

7 日本が主権を回復した，1951年に締結された条約はどれか。

① ロンドン条約　② 日米安全保障条約
③ ヴェルサイユ条約　④ サンフランシスコ平和条約

8 スターリンの死後，ソ連共産党第20回大会でスターリン批判を行った人物はだれか。

① マレンコフ　② ブルガーニン
③ フルシチョフ　④ ティトー

第 20 講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART4 第三世界の連携とキューバ危機

Chapter 1 第三世界の台頭とアフリカ諸国の独立

目標
第三世界が台頭した経緯を理解しよう。
アフリカ諸国の独立がどのように進んだのかを学ぼう。

1 第三世界の台頭

1950 年代半ばからアジア・アフリカの新興諸国が台頭し，東西どちらの陣営にも属さない非同盟中立の第三勢力（**第三世界**）を形成。

1954 年 セイロン（現スリランカ）の**コロンボ**で，インド・パキスタン・インドネシア・ビルマ・セイロンの首脳が会議を開き，アジア = アフリカ会議の開催を提唱

1954 年 **ネルー・周恩来会談**で，〔　　　　　　　　〕を発表
※①領土・主権の尊重，②相互不侵略，③内政不干渉，④平等と互恵，⑤平和共存の五原則。

1955 年 〔　　　　　　　　〕（バンドン会議）を開催
※インドネシアのバンドンに，日本を含むアジア・アフリカの 29 か国が集結，平和五原則に基づく**平和十原則**を発表。

1961 年 ユーゴスラヴィア首相**ティトー**らの呼びかけで，25 か国がベオグラードで第 1 回〔　　　　　　　　〕を開催
※東西対立と距離を置くことで結束を固める。

ネルー・周恩来会談

2 アフリカ諸国の独立

1951 年 イギリス・フランスの占領下にあった**リビア**が独立

1954 年 アルジェリアがフランスからの独立戦争をおこす（**アルジェリア戦争**）
→独立を巡りフランスの世論が二分，第四共和政が崩壊する

1956 年 **スーダン**がイギリスから独立

1956 年　**モロッコ**，**チュニジア**がフランスから独立

1957 年　**ガーナ**が〔　　　　　　　　　　〕（ンクルマ）の指導のもとイギリスから独立，最初の自力独立の黒人共和国となる

1958 年　**ギニア**がフランスから独立

1960 年　一挙に **17 か国**が独立を達成。〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる

※コンゴ，チャド，ナイジェリア，ニジェール，マリ，モーリタニアなど。

1960 年　コンゴで内乱〔　　　　　　　　　　〕が勃発

※旧宗主国のベルギーが，鉱物資源が豊富な地域の分離独立をねらって侵攻し，内戦が発生。国連軍の介入で分離独立は失敗に終わる。

1961 年　南アフリカがイギリス連邦から脱退

※白人政権による**アパルトヘイト**（人種隔離・黒人差別政策）が 1991 年まで続く。

1962 年　フランスが**アルジェリア**の独立を承認

1963 年　エチオピアでアフリカ諸国首脳会議を開催，

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（OAU）を結成

3　反核への動き

1954 年　アメリカが南太平洋のビキニ環礁で水爆実験を行う（ビキニ水爆実験）

※日本の漁船〔　　　　　　　　　　〕が被爆（第五福竜丸事件）。

➞「死の灰」の恐怖から「原水爆禁止運動」が高まる

1955 年　広島で第 1 回〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が開催

1955 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を出す

※哲学者バートランド = ラッセルと物理学者アインシュタインが中心となる。

1957 年　カナダで第 1 回〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を開催

➞各国の科学者が軍縮・平和問題を討議

1957 年　**国際原子力機関**（IAEA）が発足

まとめ

冷戦構造に属さない勢力によりアジア = アフリカ会議が開催され，のちに非同盟諸国首脳会議に繋がって，第三世界が台頭した。
1957 年にガーナが黒人共和国として独立を達成したのに続き，1960 年の「アフリカの年」に 17 か国が一挙に独立した。

Chapter 2　キューバ危機とその影響

目標　ソ連の平和共存政策が，東欧社会に与えた影響を学ぼう。
キューバ危機の影響を理解しよう。

1　東欧の反ソ暴動

1956年　**フルシチョフ**第一書記が〔　　　　　　　　　　〕を行い，西側諸国との平和共存政策を発表
→ソ連の路線変更に東欧諸国が動揺

1956年　**ポーランド**で〔　　　　　　　　　　〕（反政府・反ソ暴動）がおこる
※市民が生活改善と民主化を要求して，西部のポズナニで軍と衝突。
→〔　　　　　　　　〕が経済政策により事態を収拾，ソ連の軍事介入を回避

1956年　**ハンガリー**で〔　　　　　　　　　　〕（反独裁・反ソ暴動）がおこる
※ブダペストで学生・労働者らが蜂起，親スターリン派政権を倒す。改革派の〔　　　　　　　　〕政権が成立するが，軍事介入したソ連軍に鎮圧される。

1961年　アルバニアがソ連と断交

2　ケネディ大統領とアメリカ

1959年　フルシチョフがソ連の首脳として初めてアメリカを訪問
※キャンプ＝デーヴィッドで，**アイゼンハワー**大統領と会談。

1961年　初のカトリック系大統領として民主党の〔　　　　　　　　〕が就任
※**ニューフロンティア政策**を掲げて改革を呼びかけ，黒人差別撤廃を目指す〔　　　　　　　　〕にも理解を示す。

1963年　公民権運動の指導者〔　　　　　　　　〕が**ワシントン大行進**を行う
※非暴力主義を掲げ，公民権運動を指導。

ジョン・F・ケネディ（左）

キング牧師のワシントン大行進

1963年　ケネディ大統領が暗殺される

1964年　**ジョンソン**政権下で〔　　　　　　　　〕が成立

1968年　キング牧師が暗殺される

3　キューバ危機とその影響

1959年　**カストロ**や**ゲバラ**の指導のもと，親米の**バティスタ**独裁政権を打倒，革命政権を樹立。アメリカ系企業を国有化する（**キューバ革命**）

→反革命軍を支援するアメリカとの対立が深まる

1961年　アメリカがキューバと断交

1961年　キューバが**社会主義**化を宣言

→アメリカとの関係が悪化したキューバが，ソ連に接近

1962年　**カストロ**の要請に応えて，ソ連がキューバにミサイル基地を建設

1962年　**ケネディ**大統領がキューバの**海上封鎖**を断行

※ソ連貨物船によるミサイル資材の搬入をキューバ近海の公海上で阻止。

→米ソ間は一触即発の危機状態になる（〔　　　　　　　　　　〕）

1962年　アメリカのキューバ内政への不干渉を条件に，ソ連がミサイル基地を撤去

→ケネディとフルシチョフの間で交渉が成立，米ソ核戦争勃発が回避

1963年　直通通信協定を結ぶ

※米ソ両国首脳間を結ぶ直通通信回線（**ホットライン**）を敷設することを決定。

1963年　米・英・ソが〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（地下を除く核実験禁止条約，PTBT）を締結

1968年　62か国による〔　　　　　　　　　　　　〕（NPT）が成立

※すでに核兵器を保有している米・ソ・英・仏・中国以外の国が，新たに核を保有することを禁止。

※中国とフランスは1992年に加盟。

1969年　米ソ両国間で**第一次戦略兵器制限交渉**（SALT Ⅰ）がはじまる

キューバ危機で出動するソ連の軍用貨物船と米軍機

まとめ

ソ連の外交政策転換を受けて，ポーランドやハンガリーで反ソ暴動が勃発し，ソ連軍はハンガリーに侵攻し暴動を抑圧した。

キューバ危機の後，部分的核実験禁止条約や核拡散防止条約が結ばれるなど，核軍縮が進んだ。

第 20 講　PART 4　確認問題

1　1954 年に中国の周恩来首相と会談し，平和五原則を発表したインドの首相はだれか。

①　ティトー　②　ネルー
③　ナセル　④　スカルノ

2　ガーナのイギリスからの独立運動を指導した人物はだれか。

①　ルムンバ　②　ゴムウカ
③　ジンナー　④　エンクルマ

3　一挙に 17 か国が独立を達成して，「アフリカの年」と呼ばれたのは西暦何年か。

①　1945 年　②　1950 年
③　1960 年　④　1965 年

4　1963 年にアフリカの独立諸国が加盟して設立された組織はどれか。

①　中央条約機構　②　アフリカ民族会議
③　アフリカ統一機構　④　アフリカ連合

5 ソ連のスターリン批判を受けて，反政府・反ソ暴動がおこった東欧の国はどこか。

① ポーランド　② チェコスロヴァキア
③ ルーマニア　④ ブルガリア

6 キューバ革命を指導し，革命政権を樹立させた人物はだれか。

① アフガニー　② バティスタ
③ カストロ　④ アギナルド

7 キューバ危機の際，ソ連のフルシチョフと交渉し，核戦争を回避したアメリカの大統領はだれか。

① ケネディ　② アイゼンハワー
③ トルーマン　④ ジョンソン

8 キューバ危機の後，米・英・ソの間で結ばれた，核実験を禁止した条約はどれか。

① 核兵器禁止条約　② 核拡散防止条約
③ 中距離核戦力全廃条約　④ 部分的核実験禁止条約

第 20 講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART5 疲弊する二大国

Chapter 1 ベトナム戦争とアメリカの疲弊

目標
アメリカ大統領のジョンソンやニクソンがベトナム戦争にどのように対応したのかを知ろう。
ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について学ぼう。

1 ベトナムの状況

1954 年 **インドシナ戦争**の休戦協定**ジュネーヴ休戦協定**が結ばれ，フランス軍が撤退
※北緯 17 度線を境に南北に分断される。
1955 年 南部に〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**南ベトナム**）が成立
※アメリカに支援された**ゴ＝ディン＝ジエム**が独裁政治を行う。
→反米・反政府運動が高まる
1960 年 ゴ＝ディン＝ジエム政権打倒と南北統一を目指して
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立
※ベトナム民主共和国（**北ベトナム**）と連携してゲリラ戦を展開。
→アメリカの**ケネディ**大統領は，南ベトナムへの支援を強化

2 アメリカのベトナム介入

1963 年 ケネディ大統領が暗殺される
1964 年 〔　　　　　　　　　〕政権下のアメリカで**公民権法**が成立
※以降，公民権運動が盛んになる。
1964 年 **トンキン湾事件**がおこる
※アメリカの軍艦がトンキン湾で，北ベトナムの魚雷艇から攻撃を受けたとされる事件。のちにアメリカの捏造と判明。
1965 年 ジョンソン政権が〔　　　　　〕（**北ベトナムへの爆撃**）を開始
→解放民族戦線側の村落を焼き払う焦土戦術をとるアメリカを，国際世論が非難。

ベトナム軍の特殊部隊

3　ベトナム反戦運動とアメリカの撤退

1960 年代後半　アメリカ国内で〔　　　　　　　　　　　　　　〕が高揚

※戦局が泥沼化すると，アメリカの軍事介入への反対運動が全世界に拡大。

1968 年　アメリカが**北爆**を停止，戦争終結に向けてパリで和平会議を開催

1970 年　〔　　　　　　　〕大統領が**ニクソン = ドクトリン**を発表

※アジアにおけるアメリカの軍事介入の縮小を提唱。

1971 年　戦費の増大から，ドルの信用が低下して〔　　　　　　　〕（**ドル = ショック**）がおこる

※**ニクソン**大統領がドルの金兌換停止を発表，世界に衝撃を与えた。

→金・ドル本位制を基盤とするブレトン = ウッズ体制が崩壊

1972 年　ニクソンがアメリカ大統領として初めて**中国**を訪問

※前年には大統領補佐官キッシンジャーが訪中。

1972 年　ニクソンが訪ソ

1973 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

※アメリカ軍が**ベトナムから撤退**。

→ベトナム戦争の長期化によって、アメリカの国力が疲弊

1974 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕でニクソン大統領が辞任

※ 1972 年の大統領選挙で共和党のニクソン陣営が，ウォーターゲート = ビルの民主党本部を盗聴しようとした事件。

1975 年　北ベトナム軍と解放民族戦線が，**サイゴン**（現ホー = チ = ミン）を占領

→南ベトナム全土を制圧（**ベトナム戦争が終結**）

ドル = ショックを伝えるニクソン

1976 年　ベトナムに〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

まとめ

ジョンソン大統領は北爆を行いベトナム戦争に介入したが，ニクソン大統領がアジアの軍縮を進めた。
アメリカ国内でベトナム反戦運動がおこり，アメリカの撤退後はアメリカの国力の疲弊が明らかになった。

Chapter 2　ソ連の行き詰まりとヨーロッパの緊張緩和

目標　「プラハの春」に対して，ソ連がどのように対応したのかをおさえよう。
西ドイツのブラント首相が行った外交政策を理解しよう。

1　ソ連の硬化と行き詰まり

1964年　共産党内の保守派によって**フルシチョフ**が解任される
→〔　　　　　　　　〕が共産党第一書記になる

1968年　**チェコスロヴァキア**で第一書記〔　　　　　　　　〕の指導のもと，民主化と経済改革を進める運動「〔　　　　　　　　〕」がおこる

1968年　ソ連が**ワルシャワ条約機構軍**を率いてチェコスロヴァキアに**軍事介入**し，弾圧
※ブレジネフは「制限主権論」（**ブレジネフ＝ドクトリン**）を主張して，「プラハの春」弾圧を正当化。

ソヴィエトの戦車に破壊されたバリケードの残骸（プラハ）

2　ヨーロッパ共同体の成立

1950年　フランス外相シューマンが**シューマン＝プラン**を提案

1952年　シューマンの提案を受けて，
〔　　　　　　　　　　　　〕（ECSC）を発足
※フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス3国が石炭・鉄鋼資源を共同管理。

1957年　ECSCを全経済分野に広げる**ローマ条約**を締結

1958年　ECSCが〔　　　　　　　　　　　　〕（EEC）に発展

1958年　EECの6か国が**ヨーロッパ原子力共同体**（EURATOM）を結成
※原子力の平和利用を共同で研究。

1960年　EECに対抗して，イギリスが〔　　　　　　　　　　　　〕（EFTA）を結成
※オーストリア・スイス・ポルトガル・デンマーク・ノルウェー・スウェーデンと組織。

1967年　ECSC・EEC・EURATOMが統合して〔　　　　　　　　　　　　〕（EC）が成立

1973 年　イギリス・デンマーク・アイルランドが EC 加盟，〔　　　　　　　　〕が成立
※ 1981 年にギリシア，1986 年にスペイン・ポルトガルが加盟。

3　ヨーロッパの状況

①東ドイツ

1961 年　東ドイツ政府が「〔　　　　　　　　　　　　〕」を建設
→東ベルリンから西ベルリンへの亡命阻止が目的。東西対立の象徴となる

②西ドイツ

1969 年　社会民主党を中心とする連立政権が成立
※〔　　　　　　　　〕首相が，ソ連をはじめとする東側諸国との関係改善を図る**東方外交**を展開。

1970 年　西ドイツとポーランドの国交正常化
※オーデル川とナイセ川を境とする国境線（**オーデル＝ナイセ線**）を承認。

1972 年　東ドイツと，〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結
※東西両ドイツが関係正常化を**相互に承認**
→翌年，東西ドイツが国際連合に加盟

ゲットー英雄の記念碑に跪くブラント

③イギリス

1960 年代　経済不振と国際競争力の低下により「**イギリス病**」と呼ばれる

④フランス

1958 年　第四共和政が，インドシナ・アルジェリアの独立戦争によって崩壊

1958 年　〔　　　　　　　　　〕が政界に復帰，大統領権限の強い**第五共和政**が成立

1960 年　サハラ砂漠で核実験を実施，米・ソ・英に次いで４番目の**核保有国**となる

1962 年　アルジェリアの独立を承認

1964 年　中華人民共和国を承認，国交を正常化

1966 年　NATO の軍事機構から脱退（2009 年復帰）

まとめ
「プラハの春」に対し，ソ連はチェコスロヴァキアに軍事介入を行った。
ブラントは「東方外交」を行いポーランドと国交を結んだほか，東西ドイツ基本条約で東西の関係正常化の相互承認を行った。

第 20 講　PART 5　確認問題

1 1954 年に，インドシナ戦争を終結するために結ばれた協定はどれか。

① サイクス・ピコ協定　② ベトナム和平協定
③ ミズーリ協定　④ ジュネーヴ休戦協定

2 ゴ＝ディン＝ジエム政権打倒と南北統一を目指して，1960 年にベトナムに成立した組織はどれか。

① ベトナム青年革命同志会　② ベトナム独立同盟会（ベトミン）
③ 南ベトナム解放民族戦線　④ ベトナム光復会

3 北爆（北ベトナムへの爆撃）を開始したアメリカ大統領はだれか。

① ジョンソン　② ケネディ
③ アイゼンハワー　④ ニクソン

4 アメリカ大統領として初めて中国を訪問した人物はだれか。

① ジョンソン　② ケネディ
③ アイゼンハワー　④ ニクソン

5 チェコスロヴァキアでおこった「プラハの春」と呼ばれる民主化運動を指導した人物はだれか。

① ブレジネフ　② ドプチェク
③ チャウシェスク　④ ノヴォトニー

6 フランス外相シューマンの提案を受けて，1952 年にフランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス３国が発足させた組織はどれか。

① ヨーロッパ経済共同体　② ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体
③ ヨーロッパ原子力共同体　④ ヨーロッパ自由貿易連合

7 西ドイツのブラント首相が行った，東側諸国との関係改善を図る外交はどれか。

① 善隣外交　② 棍棒外交
③ 東方外交　④ 宣教師外交

8 ド＝ゴールが 1958 年に政界に復帰して成立させた，フランスの政治体制はどれか。

① 復古王政　② 七月王政
③ 第四共和政　④ 第五共和政

第 20 講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART6 中国の停滞とアジアの発展

Chapter 1　中ソ対立とプロレタリア文化大革命

目標
中国の「大躍進」政策がどのような結果に終わったのかを確認しよう。
プロレタリア文化大革命の背景と影響を理解しよう。

1　中ソ対立と「大躍進」政策の失敗

1956 年　ソ連のフルシチョフ第一書記が**スターリン批判**を行い，西側諸国との**平和共存政策**を発表
→スターリンを模範としてきた**毛沢東**が反発

1958 年　急激な社会主義国家建設を目指す「〔　　　　　　　〕」政策を開始

1958 年　農村に〔　　　　　　　　　〕を設立し，農村を組織化
→無理な政策と凶作により農業生産が低下，膨大な餓死者を出す

1959 年　「大躍進」政策の失敗により毛沢東が失脚，〔　　　　　　　〕が国家主席となる
※急進的な社会主義国家建設を緩和。

2　プロレタリア文化大革命

1966 年　毛沢東が権力奪還のため政治闘争
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（文化大革命）を開始

1966 年　毛沢東を崇拝する学生らで〔　　　　　　　〕を組織，全国で闘争
※**劉少奇**や〔　　　　　　　〕などの党幹部や知識人を「実権派」（資本主義復活を図る実権派，走資派とも）と批判，迫害する。

1971 年　毛沢東の後継者とされていた，人民解放軍の指揮者**林彪**が失脚

1976 年　周恩来，毛沢東が死去

1976 年　**華国鋒**首相が，文化大革命を主導した「〔　　　　　　　〕」を逮捕
※毛沢東夫人の江青ら４人で，紅衛兵を操って実権派を糾弾した。
→社会混乱，経済停滞をもたらした**文化大革命**が終結

1978 年　**鄧小平**が復権，「〔　　　　　　　　　　　　〕」を推進（**改革・開放政策**）

※ 1960 年代に周恩来が提唱した，農業・工業・国防・科学技術の現代化。

プロレタリア文化大革命の反乱者の処罰の様子

3　中華人民共和国の外交

1959 年　チベットで反中国運動がおこるが，中国政府が鎮圧

※中国政府が漢人への同化，社会主義化を強制したことに反発。

※チベット仏教指導者〔　　　　　　　　　　　　〕がインドへ亡命。

→これを機に，インドとの関係が悪化

1959 年　ソ連と核開発を巡って対立，ソ連が**中ソ技術者協定**を破棄

→中国への科学技術援助を停止，技術者を中国から引きあげ

※独力で核兵器を開発し，1964 年に核実験を実施。

1962 年　**中印国境紛争**が激化

1963 年　ソ連の対米平和共存路線を批判，**中ソ対立**（**中ソ論争**）が表面化

1969 年　国境地帯でソ連と武力衝突，**中ソ国境紛争**がおこる

1971 年　国連で，台湾（中華民国）に代わり，中国の国連代表権が承認

1972 年　アメリカの大統領**ニクソン**が訪中

※国際的に孤立した中国がアメリカとの関係改善を図り，関係正常化に合意。

1972 年　**田中角栄**首相が訪中。**日中共同声明**に調印して国交を正常化

1978 年　〔　　　　　　　　　　　　〕を締結

1979 年　米中の**国交正常化**が実現

まとめ

「大躍進」政策は急速な社会主義化によって農村が荒廃し，多数の餓死者を出して失敗に終わった。

毛沢東の権力奪還のためにはじまったが，闘争によって社会が混乱し，中国の経済が停滞した。

Chapter 2　アジア諸地域の発展

目標
バングラデシュが成立した背景とその影響を知ろう。
スエズ戦争がどのようにしてはじまったのかを学ぼう。

1　東アジアの経済発展

①日本

1955 年頃　〔　　　　　　　　　　　　　　〕がはじまる

1960 年　池田勇人内閣が成立。「**所得倍増**」を掲げて経済成長を推進

1968 年　小笠原諸島がアメリカから返還される

1972 年　〔　　　　　　〕がアメリカから返還される

1972 年　〔　　　　　　　　　　〕首相が訪中，日中国交が正常化

1978 年　日中共同声明に基づき，〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

②韓国

1961 年　クーデタで軍人の〔　　　　　　　　〕が政権を掌握する

1963 年　**朴正熙**が大統領に就任

　　※反共をスローガンに**開発独裁**体制をとり，高い経済成長率を実現。

1965 年　日本と〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結，対日関係を強化

2　東南アジアの開発独裁

第三世界では 1960 年頃から，独裁体制のもとで経済開発を推進する**開発独裁**体制が見られた。

①フィリピン

1965 年　〔　　　　　　　　　　〕が大統領に就任，開発独裁体制を敷く

②マレーシア・シンガポール

1957 年　マレー半島にマレー人・中国系・インド系の国家（**マラヤ連邦**）が成立

1963 年　マラヤ連邦がシンガポールなどと合体して〔　　　　　　　　　　　　　〕が成立

1965 年　中国系住民の多い〔　　　　　　　　　　　　　　〕がマレーシアから分離独立

　　※リー＝クアンユー首相が開発独裁体制を敷き，経済成長を推進。

③カンボジア

1970 年　親米勢力がクーデタで，**シハヌーク**国王を追放

→親米右派勢力と，急進左派の**赤色クメール**などとの内戦状態になる

1975年　親中国の〔　　　　　　　　　〕が政権を掌握，翌年**民主カンプチア**を樹立

※農業を基盤とした社会主義国家の建設を強行，知識人など反対派を大量虐殺。

1978年　ベトナムが軍事介入し，民主カンプチアが崩壊

1979年　民主カンプチアを支持する中国がベトナムに侵攻し，**中越戦争**が勃発

1989年　ベトナム軍が撤退

④インドネシア

1965年　軍事クーデタ未遂事件〔　　　　　　　　　　　〕が発生

→スカルノ大統領が退陣させられ，軍人の〔　　　　　　　〕が実権を掌握

1968年　**スハルト**が大統領に就任，開発独裁体制を推進

3　南アジアの状況

1971年　東パキスタンの独立運動を支援するインドが，西パキスタンに侵攻。**第三次インド＝パキスタン**（印パ）**戦争**が勃発

1971年　東パキスタンが〔　　　　　　　　　　　　〕としてパキスタンから分離独立

4　西アジアと中東戦争

1952年　軍によるクーデタ〔　　　　　　　　　　　〕がおこる

※〔　　　　　　〕が自由将校団を率いて王政を打倒，国王を追放する。

1953年　エジプト共和国が成立

1954年　政権についた**ナセル**が米・英の援助を受けて，**アスワン＝ハイダム**の建設を決定

1956年　米・英が建設費の援助を撤回

1956年　ナセルが財源確保のため，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を宣言

1956年　英・仏・イスラエルが宣戦し，〔　　　　　　　　　〕（**第二次中東戦争**）が勃発

→国際世論に非難され3か国が撤退。ナセルがアラブ民族運動の英雄になる

まとめ

東パキスタンにインドが接近し，第三次インド＝パキスタン戦争がおこった。その結果，東パキスタンがバングラデシュとして独立した。
エジプトがスエズ運河の国有化を宣言すると，英仏がイスラエルとともに宣戦しスエズ戦争がはじまった。

第20講 PART6 確認問題

1 毛沢東が権力奪還のために，紅衛兵を組織して党幹部や知識人を迫害した政治闘争はどれか。

① 大躍進　② 文化闘争
③ プロレタリア文化大革命　④ 辛亥革命

2 「四人組」逮捕後の 1978 年に中国の政界に復帰し，「四つの現代化」を推進した人物はだれか。

① 華国鋒　② 劉少奇
③ 周恩来　④ 鄧小平

3 1972 年に訪中し，日中共同声明に調印して中国との国交を正常化させた日本の首相はだれか。

① 田中角栄　② 池田勇人
③ 佐藤栄作　④ 吉田茂

4 1963 年に韓国の大統領となり，開発独裁により高い経済成長率を実現させた人物はだれか。

① 金玉均　② 李承晩
③ 朴正熙　④ 崔済愚

5 カンボジアの民主カンプチアを崩壊させたベトナムに，中国が侵攻しておこった戦争はどれか。

① 中印国境紛争　② 中越戦争
③ 日中戦争　④ 中東戦争

6 軍人のスハルトが実権を掌握することになった，インドネシアでおこった軍事クーデタ未遂事件はどれか。

① 二・二六事件　② 二・二八事件
③ 五・一五事件　④ 九・三〇事件

7 第三次インド＝パキスタン戦争の結果，1971 年にパキスタンから分離独立した国はどこか。

① ネパール　② バングラデシュ
③ スリランカ　④ アフガニスタン

8 自由将校団を率いて王政を打倒した，エジプト革命の中心人物はだれか。

① ナセル　② エンクルマ
③ モブツ　④ アタテュルク

第21講 【現代編】冷戦の終結と現代世界
PART1 冷戦構造の変容

Chapter 1　先進国の経済停滞と産業構造の転換

目標
オイル＝ショックが発生した原因と，世界に与えた影響を学ぼう。
1980年代の先進国では，どのような経済政策がとられたのかを考えよう。

1　第一次オイル＝ショックと先進国の経済混乱

1960年　〔　　　　　　　　　　　　〕（OPEC）発足
※産油国のイラン・イラク・サウジアラビア・クウェート・ベネズエラによって設立される。原油の輸出価格などの決定権を持つ。

1968年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（OAPEC）発足
※アラブ産油国のサウジアラビア・クウェート・リビアによって設立される。

1973年　〔　　　　　　　　　　　　〕でイスラエルが勝利
→**石油輸出国機構**が原油価格を大幅引きあげ
→**アラブ石油輸出国機構**はイスラエル支援国への原油輸出を停止（**石油戦略**）

1973年　**第一次石油危機**（〔　　　　　　　　　　　　〕）勃発
※アラブ諸国の石油戦略によって石油価格が高騰，世界経済が混乱。

1975年　**先進国首脳会議**（〔　　　　　　　　〕）開催
※世界経済の主要問題を討議するため，アメリカ・フランス・イギリス・西ドイツ・イタリア・日本の首脳が集結。翌年カナダも参加，G7サミットともいう。

石油危機に伴う混乱の様子

2　先進国の新自由主義

①**カーター**大統領の外交

1977年　民主党のカーターがアメリカ大統領に就任
※人権を重視する**「人権外交」**を展開，新興国の民主化を後押し。

1977年　〔　　　　　　　　　　〕をパナマに返還する条約を成立させる

1979年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を仲介

※エジプトの**サダト**大統領と，イスラエルの**ベギン**首相の間で締結。

※エジプトはアラブ諸国で初めてイスラエルを承認。引き換えに，イスラエルは1982年にシナイ半島をエジプトに返還。

②〔　　　　　　　　　　〕（NIES）の台頭

開発途上国では，低賃金によるコスト削減を利点として先進国の企業を誘致

→韓国・台湾・香港・シンガポール・ブラジル・メキシコなどで工業化が急速に進み，経済が成長

③オイル＝ショックをきっかけに〔　　　　　　　　〕が登場

市場経済を優先，公共サービスを縮減して財政削減を実現する**「小さな政府」**を目指す

3　西欧諸国の状況

①イギリス

1979年　保守党の〔　　　　　　　　〕がイギリス初の女性首相に就任

※「**イギリス病**」克服のため，新自由主義的な政策を推進。社会福祉の削減，国営企業の民営化，規制緩和を進め，インフレの抑制に努める

1982年　〔　　　　　　　　　　〕を軍事力で解決

※イギリス領フォークランド諸島を巡りアルゼンチンと抗争するも，これを奪回。

首相就任式に向かうサッチャー

②スペイン

1975年　フランコが死去

→フアン＝カルロス1世を国王として**ブルボン王朝が復活**

③西ドイツ

1982年　キリスト教民主同盟の〔　　　　　〕が首相に就任

※ソ連や東欧諸国との経済協力を推進。

④フランス

1981年　社会党の**ミッテラン**が大統領に就任，共産党との左派政権を樹立

※主要産業や銀行の国有化を進める。

まとめ

アラブ石油輸出国機構の「石油戦略」により第一次オイル＝ショックが発生し，世界経済が混乱した。

新自由主義政策をとり，国営企業の民営化や規制の緩和が進められた。

Chapter 2　中東問題の状況と途上国の台頭

目標
第三次中東戦争の結果，イスラエルが占領した地域について知ろう。
1980年代の中国がとった政治経済体制を確認しよう。

1　中東の情勢

①パレスチナ問題

1964年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**PLO**）が発足

1967年　アラブ諸国とイスラエルの間で〔　　　　　　　　　　　　　　〕が勃発
→6日間の戦闘でイスラエルが圧勝，ガザ地区，東イェルサレムを含むヨルダン川西岸地区，シナイ半島，ゴラン高原を占領

1969年　〔　　　　　　　　　　〕がPLO議長に就任

1973年　エジプト・シリアがイスラエルを攻撃，〔　　　　　　　　　　　　　　〕が勃発
※エジプト・シリアは第三次中東戦争の失地回復を狙うが，失敗。
→アラブ諸国の「**石油戦略**」によって，第一次**石油危機**（オイル＝ショック）が発生

②イラン革命

1960年代　国王**パフレヴィー2世**が〔　　　　　　　　〕を開始
→近代化によって社会不安が高まり，格差も拡大。人々の不満が高まる

1979年　シーア派の〔　　　　　　　　〕を指導者として，〔　　　　　　　　　　〕がおこり，イラン＝イスラーム共和国が成立

1979年　イラン革命を機に，**第二次石油危機**がおこる

1980年　イラクの〔　　　　　　　　〕がアメリカの支援を受けてイランを攻撃，〔　　　　　　　　　　　　　　〕をおこす

2　中国の「改革・開放」路線

1978年　〔　　　　　　〕が復権し，「四つの現代化」を推進
※**改革・開放政策**のもと人民公社の解体や農業生産の請負制，外国資本の導入による市場経済への移行が進められるが，政治的には共産党の一党独裁を維持。

1979 年　米中国交正常化

1989 年　〔　　　　　　　　　　　〕がおこる

※学生や青年労働者による民主化運動を，人民解放軍を動員して鎮圧。

→運動に同情的な趙紫陽を解任，〔　　　　　　〕を中国共産党総書記に任命

3 諸地域の動向

①ベトナム

1986 年　〔　　　　　　　　　　　〕（刷新）政策を採用

※市場開放を進め，外国企業の進出による工業化の進展で経済状況が好転。

②南米諸国

A　アルゼンチン

1955 年　軍部のクーデタで**ペロン**大統領が失脚

1976 年　親米の軍事政権が成立

1982 年　イギリス領フォークランド諸島へ侵攻（**フォークランド紛争**）

→イギリス軍に大敗し，軍事政権が崩壊

B　チリ

1970 年　〔　　　　　　　　　　　〕が，史上初の選挙による社会主義政権を樹立

1973 年　アメリカの支援を受けた軍部のクーデタで，アジェンデ政権が崩壊

1974 年　**ピノチェト**が大統領に就任し，軍事政権が成立

C　ニカラグア

1979 年　サンディニスタ民族解放戦線が，ソモサ政権を打倒（**ニカラグア革命**）

→アメリカが介入，反政府ゲリラを支援

D　グレナダ・パナマ

1983 年　アメリカが**グレナダ**に侵攻。社会主義政権を打倒し，親米政権を樹立

1989 年　アメリカが**パナマ**へ侵攻，ノリエガ政権を打倒

まとめ

第三次中東戦争の結果，イスラエルはガザ地区，ヨルダン川西岸地区，シナイ半島，ゴラン高原を占領した。

改革・開放政策のもと，外国から資本投下を進めて市場経済を導入したが，政治体制は社会主義をとった。

第21講　PART 1　確認問題

1　1960 年に産油国によって発足した，原油の輸出価格などの決定権を持つ組織はどれか。

①　アラブ石油輸出国機構（OAPEC）　②　石油輸出国機構（OPEC）
③　バグダード条約機構（METO）　④　中央条約機構（CENTO）

2　世界経済の諸問題を討議するため，1975 年に開かれた会議はどれか。

①　全欧安全保障協力会議　②　アジア＝アフリカ会議
③　非同盟諸国首脳会議　④　先進国首脳会議

3　人権を重視する外交を行い，パナマにパナマ運河を返還する条約を成立させたアメリカ大統領はだれか。

①　カーター　②　ケネディ
③　ジョンソン　④　ニクソン

4　新自由主義的政策を推進し，1982 年にはフォークランド紛争を軍事力で解決したイギリスの首相はだれか。

①　ミッテラン　②　コール
③　サッチャー　④　メージャー

5 第一次石油危機がおこるきっかけとなった，1973 年の出来事はどれか。

① 第一次中東戦争　② 第二次中東戦争
③ 第三次中東戦争　④ 第四次中東戦争

6 第二次石油危機がおこるきっかけとなった，1979 年の出来事はどれか。

① イラン立憲革命　② イラン革命
③ 白色革命　④ 青年トルコ革命

7 1989 年の天安門事件後に，中国共産党総書記に任命された人物はだれか。

① 鄧小平　② 趙紫陽
③ 江沢民　④ 胡耀邦

8 1982 年にイギリス領フォークランド諸島へ侵攻した国はどこか。

① アルゼンチン　② チリ
③ ウルグアイ　④ ブラジル

第21講 【現代編】冷戦の終結と現代世界
PART2 冷戦の終結

Chapter 1 「新冷戦」とソ連のペレストロイカ

目標
「新冷戦」に対して，アメリカがどのように対応したのかをおさえよう。
ソ連のペレストロイカの目的を理解しよう。

1 「新冷戦」とアメリカ

1969 年　米ソが**第一次戦略兵器制限交渉**（SALT Ⅰ）を開始
※モスクワでニクソン大統領とブレジネフ書記長が，戦略核兵器のミサイル配備数の凍結について交渉。

1979 年　米ソが**第二次戦略兵器制限交渉**（SALT Ⅱ）に調印
※ミサイルに搭載する核弾頭数について上限を定める。

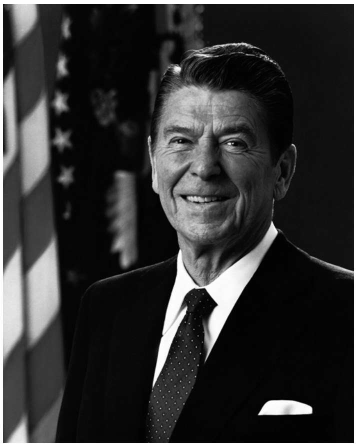
1979 年　ソ連が親ソ政権を支援するため〔　　　　　　　　　　〕へ軍事侵攻
→米ソ関係が悪化，「**新冷戦**」（第二次冷戦）がはじまる。**SALT Ⅱ**は失敗
※多くの西側諸国が 1980 年のモスクワオリンピックをボイコット。

1981 年　共和党の〔　　　　　　　〕がアメリカ大統領に就任
※〔　　　　　　　　　　〕を掲げて，軍備の拡張，強硬な対ソ外交を行う。

1983 年　アメリカがカリブ海の島国**グレナダ**に侵攻，親米政権を樹立
※多くの東側諸国が 1984 年のロサンゼルスオリンピックをボイコット。

1985 年　アメリカが債権国から債務国に転落
※財政赤字と貿易赤字という〔　　　　　　　　　　〕に苦しむ。

1985 年　〔　　　　　　　　　〕で，ドル高の是正と為替レートの調整を行う
※米・英・西ドイツ・仏・日の先進 5 か国がニューヨークのプラザホテルで会談。


レーガン大統領

2 ソ連のペレストロイカ

1985 年　〔　　　　　　　　　　　　〕がソ連共産党書記長に就任

※〔　　　　　　　　　　　　〕（改革），〔　　　　　　　　　　　　〕（情報公開）を掲げて，社会主義体制の改革に着手。

→市場経済への移行，言論・信教の自由，民主主義をもたらす

※外交では「**新思考外交**」（協調外交）を展開。

→ 1985 年に米ソ首脳会談が実現，核軍縮交渉を行う

1986 年　〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※数百万人が被災，被害は周辺諸国にも拡大。

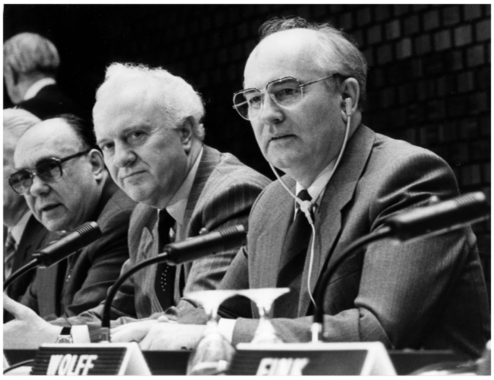
1987 年　アメリカと〔　　　　　　　　　　　　〕を締結

※レーガン大統領とゴルバチョフ書記長の間で結ばれた核軍縮条約。

1989 年　ソ連軍が**アフガニスタン**から撤退

※ゴルバチョフが実行，軍縮の実行を世界に示す。

1989 年　ゴルバチョフが中国を訪問して**鄧小平**と会談。国交を正常化



ペレストロイカを推し進めるゴルバチョフ

まとめ　レーガン大統領が，「強いアメリカ」を掲げ，ソ連に対抗した。
ゴルバチョフがペレストロイカによって社会主義体制の改革を図った。

Chapter 2　民主化の広がりと冷戦の終結

目標
「東欧革命」がはじまったきっかけを理解しよう。
冷戦がどのように終結したのかを確認しよう。

1　冷戦の終結

1980年　ポーランドで労働者が〔　　　　　　〕を指導者として，自主管理労働組合〔　　　　　〕を結成。ポーランドの民主化を目指す

※はじめはヤルゼルスキ大統領により「連帯」は非合法化される。

1988年　ゴルバチョフが新ベオグラード宣言を発表

※東欧諸国に内政干渉を行わないことを表明する。

1989年　ポーランドの総選挙で「**連帯**」が圧勝し，非共産党政権が成立

※翌年，**ワレサ**が大統領に就任。

1989年　ハンガリーで共産党独裁体制が崩壊

1989年　東ドイツの**ホネカー**政権が崩壊

→分断の象徴〔　　　　　　　　　　〕が開放される

1989年　ブルガリアで共産党独裁体制が崩壊

1989年　チェコスロヴァキアで民主化が実現（ビロード革命）

1989年　ルーマニアで独裁体制が崩壊，**チャウシェスク**大統領が処刑される

→東欧社会主義圏が消滅〔　　　　　　　　〕

1989年　米ソ首脳が〔　　　　　　　　　〕で〔　　　　　　　　　〕を宣言

※ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長が地中海のマルタ島沖合でマルタ宣言に調印。

1991年　コメコンが解散，ワルシャワ条約機構が解体される

1991年　米ソが**第一次戦略兵器削減条約**（START Ⅰ）を締結

※大陸間弾道ミサイル（ICBM）など戦略核兵器の削減を規定。

ベルリンの壁開放

マルタ会談

2　東西ドイツの統一とソ連の消滅

1990 年　西ドイツが東ドイツを吸収する形で〔　　　　　　　　　　〕が実現
　※首都はベルリン。

1990 年　〔　　　　　　　　　　〕がソ連からの独立を宣言
　※エストニア・ラトヴィア・リトアニアは 91 年に独立を承認され，国連に加盟。

1990 年　ゴルバチョフが憲法を改正，大統領制を導入して初代大統領に就任

1991 年　改革派の〔　　　　　　　　　　〕がロシア共和国の大統領となる
　※ゴルバチョフ体制を批判し，ロシアのソ連からの独立を主張。

1991 年　**エリツィン**が，反ゴルバチョフのソ連共産党保守派のクーデタを鎮圧

1991 年　〔　　　　　　　　　　〕の解散が宣言される

1991 年　ロシアを中心として〔　　　　　　　　　　〕（CIS）を結成
　※ソ連を構成していた 15 の共和国のうちバルト 3 国を除く 12 か国が参加。
　→ソ連が消滅

まとめ

「連帯」がポーランドを民主化すると，東欧各国の民主化が続き，「東欧革命」がはじまった。
1989 年に「東欧革命」とベルリンの壁開放が続いたのち，マルタ会談で米ソ首脳が冷戦を終結した。

第 21 講　PART 2　確認問題

1 新冷戦（第二次冷戦）がはじまるきっかけとなった，1979 年の出来事はどれか。

① ソ連のチェコスロヴァキア軍事介入　② 中ソ国境紛争
③ ソ連のアフガニスタンへの軍事侵攻　④ キューバ危機

2 アメリカの大統領で，「強いアメリカ」を掲げて軍備を拡張した人物はだれか。

① レーガン　② ニクソン
③ ケネディ　④ カーター

3 1985 年にソ連共産党書記長に就任し，ペレストロイカと呼ばれる改革政策を実行した人物はだれか。

① エリツィン　② ブレジネフ
③ ゴルバチョフ　④ フルシチョフ

4 1987 年にレーガン大統領とゴルバチョフ書記長の間で結ばれた核軍縮条約はどれか。

① 部分的核実験禁止条約　② 中距離核戦力全廃条約
③ 核拡散防止条約　④ 戦略兵器削減条約

5 自主管理労働組合「連帯」の指導者で，1990年にポーランドの大統領になった人物はだれか。

① チャウシェスク　② ゴムウカ
③ ホネカー　④ ワレサ

6 ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長が冷戦の終結を宣言した，1989年の首脳会談はどれか。

① ヤルタ会談　② マルタ会談
③ カイロ会談　④ テヘラン会談

7 ロシア共和国大統領となり，1991年の保守派のクーデタを鎮圧した人物はだれか。

① エリツィン　② ブレジネフ
③ ゴルバチョフ　④ フルシチョフ

8 1991年にソ連を構成していた12か国が参加して結成された共同体はどれか。

① コミンテルン　② ヨーロッパ共同体
③ ヨーロッパ経済共同体　④ 独立国家共同体

第 21 講　【現代編】冷戦の終結と現代世界
PART3 冷戦後の世界

Chapter 1　地域統合の進展とグローバリゼーション

目標
ヨーロッパ連合が成立した経緯を理解しよう。
グローバリゼーションによる問題点について考えよう。

1　地域統合の進展

①ヨーロッパ

1992 年　EC12 か国が〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結

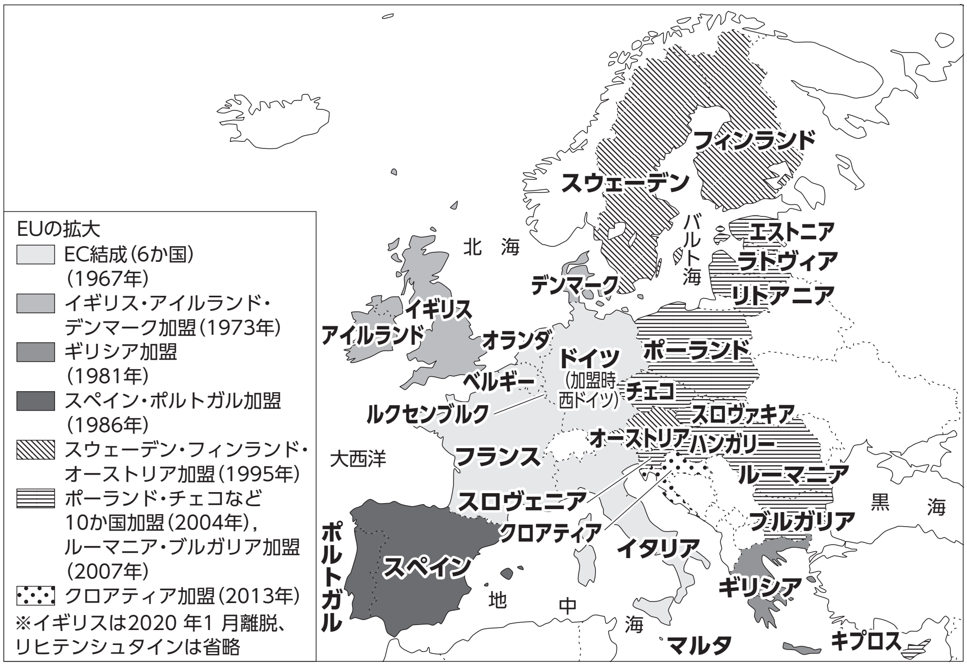
1993 年　マーストリヒト条約が発効され，**ヨーロッパ連合（EU）** が発足

※ 1995 年にオーストリア・フィンランド・スウェーデンが加盟，2004 年以降，旧東欧諸国も加盟する（2020 年にイギリスが離脱）。

2002 年　EU が共通通貨〔　　　　　　〕の使用開始

2004 年　EU 憲法の制定条約に調印

※翌年フランス・オランダが批准を拒否，2007 年にリスボン条約を締結。



EU 加盟国

②アメリカ大陸・アジア太平洋地域

1989年　アメリカとカナダによる米加自由貿易協定が発効

1989年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（APEC）を開催

※ EUなど地域経済圏の出現に対応するために結成。

1994年　米加にメキシコを加えた〔　　　　　　　　　　　　〕（NAFTA）が発効。EUに匹敵する経済圏となる

※ 2020年，新協定「アメリカ＝メキシコ＝カナダ協定」が発効。

1995年　**南米南部共同市場**（MERCOSUR）が発足

※ブラジル・アルゼンチン・パラグアイ・ウルグアイによって発足した共同市場で，2006年にはベネズエラが参加。

1990年代　**東南アジア諸国連合**（〔　　　　　　　　〕）にベトナムなどが加盟

1999年　当時の東南アジア10か国全てが参加する**ASEAN10**が実現

→ 2015年　**ASEAN経済共同体**が発足

2018年　**環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定**が発効

※未発効の**環太平洋パートナーシップ（TPP）**から発展した多国間貿易協定。

③アフリカ

2002年　アフリカ統一機構（OAU）を〔　　　　　　　　　　〕（AU）に改組

2　グローバリゼーション

1995年　〔　　　　　　　　　　〕（WTO）が発足

※ GATTを受け継いで成立，貿易の自由化を推進。

1997年　タイの通貨バーツの暴落を機に**アジア通貨危機**が発生

※通貨危機が東南アジア諸国や韓国に波及。タイやインドネシアでは政権が交代

→ IMF（国際通貨基金）などが各国に資金援助を行うとともに，経済改革を要求。

2008年　**リーマン＝ショック**によって**世界金融危機**が発生

2009年　政権交代によってギリシアの財政危機が発覚。金融不安が広がる（**ユーロ危機**）

まとめ

共通の政治・経済を目指し，マーストリヒト条約によりヨーロッパ連合が成立した。

金融の国際化により，相場の変動の影響が世界規模で波及するなどの問題が挙げられる。

Chapter 2　変容するアジアとアフリカ

目標
中国が西欧諸国から返還された地域を知ろう。
南アフリカでマンデラが大統領に就任した経緯を学ぼう。

1　冷戦後のアジア

①中国

1992年　鄧小平が改革・開放政策を進める
→天安門事件後停滞していた経済が活性化し，市場経済のグローバル化が進む

1997年　イギリスから〔　　　　〕が返還される

1999年　ポルトガルから〔　　　　　　〕が返還される
※香港・マカオを特別行政区として資本主義制度との並存（**一国二制度**）を適用。

香港の街並み

②台湾

1986年　国民党に対抗する政党として民主進歩党（民進党）が結成される

1988年　国民党の〔　　　　　　〕が本省人として初めて総統に就任

2000年　総統選挙で，民進党の〔　　　　　　〕が総統に就任

2016年　民進党の**蔡英文**が女性として初めて総統に就任

③朝鮮半島

1991年　韓国と北朝鮮が同時に**国際連合に加盟**

1993年　韓国で，文民政権の**金泳三**政権が成立

1994年　北朝鮮で，核兵器保有の疑念からアメリカとの対立が激化

1998年　韓国で〔　　　　　　〕が大統領に就任，南北対話を目指す**太陽政策**を推進

2000年　韓国と北朝鮮の〔　　　　　　　　　　　〕が実現
※韓国の金大中と北朝鮮の〔　　　　　　〕が平壌で会談。

2006年　北朝鮮が**核実験**を実施し，南北対話が中断

2013年　朴正熙の娘**朴槿恵**が韓国初の女性大統領に就任

④日本

1986年　好景気（バブル経済）が続く

1991年　バブル経済が収束し，長期の不況に入る

⑤インド

1990年代　ヒンドゥー至上主義を掲げる**インド人民党**が台頭

1992年　インド北部でヒンドゥー教徒によるモスク破壊事件がおこる

→インド各地でヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の衝突が発生

1998年　**インド人民党**が政権を掌握

⑥ミャンマー

1988年　社会主義政権が民主化運動によって崩壊

→軍部が運動を鎮圧，独裁政権を樹立

2011年　民政が復活。〔　　　　　　　　　　　　　　〕を指導者として経済改革や民主化に着手

2　アフリカの変容

①南アフリカのアパルトヘイト廃止

1991年　〔　　　　　　　　　〕大統領が，**アパルトヘイト**（人種隔離政策）を廃止

1994年　反アパルトヘイト運動を展開した**アフリカ民族会議**（ANC）が全民族参加の選挙で勝利。その指導者で黒人の〔　　　　　　　　〕が大統領に就任

※1964年から27年間投獄されていたが，アパルトヘイト廃止後の南アフリカ再建に尽力。

マンデラ大統領

②アフリカの諸問題

A　南南問題…開発途上国の間に広がる経済格差

B　地域紛争…1980年～90年代にかけて，ソマリア，ルワンダなど各地で内戦が継続

まとめ

中国は香港をイギリスから，マカオをポルトガルから返還された。

デクラークがアパルトヘイトを廃止後，アフリカ民族会議の指導者であるマンデラが選挙で勝利し，黒人として初めて大統領に就任した。

第21講　PART3　確認問題

1　1992年に締結された，ヨーロッパ連合の設立を定めた条約はどれか。

①　リスボン条約　②　マーストリヒト条約
③　ウェストファリア条約　④　ヴェルサイユ条約

2　2002年にヨーロッパ連合（EU）が使用を開始した共通通貨はどれか。

①　ポンド　②　ルーブル
③　ユーロ　④　フラン

3　2002年に紛争の平和的解決や，経済統合の推進などを目指して結成されたアフリカの地域機構はどれか。

①　アフリカ連合　②　アフリカ統一機構
③　経済相互援助会議　④　アフリカ民族会議

4　1997年にタイの通貨暴落をきっかけに，諸国に波及した通貨危機はどれか。

①　世界金融危機　②　アジア通貨危機
③　ユーロ危機　④　ドル＝ショック

5 1997年にイギリスから中国に返還されたのはどこか。

① 九竜半島　② マカオ
③ 香港　④ 威海衛

6 太陽政策を推進し，2000年に南北首脳会談を実現させた韓国の大統領はだれか。

① 朴槿恵　② 金泳三
③ 金正日　④ 金大中

7 ヒンドゥー至上主義を掲げ，1998年に政権を掌握したインドの政党はどれか。

① インド人民党　② 国民会議派
③ インド共産党　④ 全インド＝ムスリム連盟

8 南アフリカのマンデラについて述べた文として**誤っているもの**はどれか。

① 1964年から27年間投獄された。
② 反アパルトヘイト運動を指導した。
③ アパルトヘイトを廃止した。
④ 大統領として南アフリカ再建に努めた。

第21講 【現代編】冷戦の終結と現代世界
PART4 現代の課題

Chapter 1　各地の民族紛争や地域紛争

目標
ユーゴスラヴィア内戦が勃発した経緯を知ろう。
アフリカの地域紛争の背景を理解しよう。

1　ユーゴスラヴィア内戦

1980年　初代大統領ティトーが死去すると，民族対立・宗教対立が激化

1991年　**クロアティア**と**スロヴェニア**が独立を宣言

→ユーゴスラヴィア解体。国家の維持を望むセルビアと軍事衝突がおこる

1992年　**ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ**が独立を宣言

※ムスリム・クロアティア人・セルビア人の3者が独立を巡って対立。

→NATOが軍隊を派遣，1995年に紛争が終結（**ボスニア内戦**）

1992年　セルビアとモンテネグロが，**新ユーゴスラヴィア連邦**を建国

1996年　セルビア南部の**コソヴォ**自治州で，アルバニア系住民の独立運動が活発化

1998年　〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※セルビアがアルバニア系住民の独立運動を弾圧。大量の難民が発生。

1999年　NATOがセルビア軍のコソヴォからの撤退を求めて**セルビアへ空爆**

2003年　新ユーゴスラヴィアが，セルビア・モンテネグロに国名変更

2006年　セルビア，モンテネグロが分離

2008年　コソヴォがセルビアから独立宣言

2　湾岸戦争と中東問題の推移

①湾岸戦争

1990年　イラクが，石油資源の豊富な隣国〔　　　　　　　　　　〕に侵攻

→国連がイラクへの武力行使を容認する決議を採択

1991年　アメリカが〔　　　　　　　　〕を組織してイラクを攻撃，撤退させる

→1992年，日本でPKO協力法が成立

②パレスチナ問題（中東問題）

1987年　反イスラエル民衆蜂起〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※イスラエル占領地で，パレスチナ人がイスラエル軍に対し投石やデモで抵抗。

1993年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**オスロ合意**）を結ぶ

※アメリカの〔　　　　　　　　〕大統領の仲介で，**パレスチナ解放機構**の〔　　　　　　　　　〕議長とイスラエルの〔　　　　　〕首相が，相互承認で合意。

1994年　パレスチナ暫定自治政府が成立

1995年　ラビン首相がユダヤ教徒急進派に暗殺される→以降，情勢は混迷

3　世界各地の地域紛争

①アフリカ

A　**ソマリア内戦**…1982年から内戦がおこり，反政府勢力が首都を制圧。1992年，国連が平和維持部隊（PKF）を派遣するが，効果をあげられずに撤退

B　**ルワンダ内戦**…ベルギーの統治下でツチ人とフツ人の対立があおられたことに起因する内戦。1994年にフツ人によるツチ人の大虐殺がおき，大量の難民が発生

C　**コンゴ内戦**…1998年にカビラ政権と反政府勢力による内戦が発生。豊富な鉱物資源に関する利権も絡んで，周辺諸国を巻き込む紛争に拡大（アフリカ大戦）

②旧ソ連領

チェチェン紛争…チェチェン共和国がロシア連邦からの独立を目指し，ロシアとの間で1994年～96年と1999年～2009年の2回紛争が発生

③中国の少数民族問題

A　2008年，**チベット自治区**で反中国運動

B　2009年，**新疆ウイグル自治区**で反中国運動

④クルド人問題

オスマン帝国解体の際に**クルド人**居住区が各国に分断されたことに起因する，クルド人の独立問題。トルコやイラクは，独立運動を武力で鎮圧

まとめ

地域によって民族や宗教が異なるユーゴスラヴィアで，スロヴェニアとクロアティアが離脱したことにセルビアが反発したため。

旧宗主国が民族の分断を支配に利用したため，独立後に紛争になった。

Chapter 2　同時多発テロと世界の多極化

目標　同時多発テロ事件以降，アメリカの外政がどのように転換したのかを理解しよう。
イラク戦争の原因を学ぼう。

1　同時多発テロとアメリカの変容

同時多発テロ事件

2001年　9月11日，〔　　　　　　　　　　　〕が発生

※ハイジャックされた旅客機が，ニューヨークの世界貿易センタービルなどに突入，多くの犠牲者を出す。

2001年　共和党の**ブッシュ**（子）大統領が**「対テロ戦争」**を宣言

→ブッシュ政権では、一国だけで国際問題を解決しようとする**単独行動主義**の軍事行動が増える

2001年　同時多発テロ事件の実行犯とされるイスラーム急進派組織**アル＝カーイダ**を保護しているとして，〔　　　　　　　　　　〕を攻撃

→〔　　　　　　　　　　〕政権を打倒

2009年　民主党の〔　　　　　〕が非白人系として初の大統領に就任

2009年　**オバマ**大統領がプラハで**核兵器廃絶**演説を行う

2017年　共和党の〔　　　　　　〕が大統領に就任

※アメリカ第一主義を掲げて，地球規模の課題への取り組みから撤収。

2　対テロ戦争の混迷

①イラク戦争

2003年　アメリカ・イギリスが，大量破壊兵器を保有し，国際テロ組織を支援しているとしてイラクを攻撃，**イラク戦争**をおこす（単独行動主義の現れ）

→〔　　　　　　　　〕政権を打倒

2003年　日本で**イラク復興支援特別措置法**が成立

2004 年　戦争後の復興支援のため，自衛隊をイラクへ派遣

2006 年　**フセイン**が処刑される

②シリア内戦

2011 年　各地でアサド政権打倒を目指す反政府デモが発生

→反政府側が武装化し，シリア内戦に発展。大量の難民が発生

2010 年代半ば　イスラーム過激派のイスラーム国（IS）が勢力を拡大→内戦が激化

③アフガニスタン

2001 年　国際連合の主導で暫定政権が成立。新たな国づくりがはじまる

2021 年　アメリカ軍が撤退

2021 年　ターリバーンが首都カヴールを制圧し，権力を掌握

3　中国とロシアの先鋭化

①中国の台頭

2010 年　GDP（国内総生産）でアメリカ合衆国に次ぎ世界第 2 位の経済大国になる

2013 年　〔　　　　　　〕が国家主席に就任

※海洋進出を強化し，「一帯一路」構想を提唱。

2019 年　香港で民主的権利擁護運動がおこる

2020 年　香港に対して国家安全維持法を制定，一国二制度を形骸化

②ロシアの動き

2000 年　〔　　　　　　　〕が大統領に就任

※国家による基幹産業・資源への管理を強化。

2014 年　ウクライナのロシアへの併合を宣言，〔　　　　　　　　　　　〕へ侵攻

→ウクライナ東部で，親 EU の政府側と親ロシア勢力の紛争がはじまる

2022 年　〔　　　　　　　　　　〕へ侵攻

まとめ

「対テロ戦争」を掲げ，単独行動主義による軍事行動が増えた。
イラクが大量破壊兵器を保有しているとして，アメリカが先制攻撃を行ったことで，イラク戦争が勃発した。

第 21 講 PART 4 確認問題

1 旧ユーゴスラヴィア内で，1998 年に独立を目指すアルバニア系住民とセルビアとの間でおこった武力衝突はどれか。

① コソヴォ紛争　② ボスニア内戦
③ ポズナニ暴動　④ バルカン戦争

2 1990 年にイラクが軍事侵攻した，石油資源の豊富な隣国はどこか。

① サウジアラビア　② シリア
③ イラン　④ クウェート

3 1993 年のパレスチナ暫定自治協定を仲介したアメリカの大統領はだれか。

① ブッシュ（父）　② クリントン
③ レーガン　④ ブッシュ（子）

4 1994 年にフツ人によるツチ人大虐殺がおこった，アフリカの紛争はどれか。

① コンゴ内戦　② ソマリア内戦
③ ルワンダ内戦　④ リビア内戦

5 「対テロ戦争」に乗り出したアメリカが，同時多発テロ事件の実行犯を保護しているとして攻撃した国はどこか。

① アフガニスタン　② イラク
③ シリア　④ キューバ

6 アメリカの大統領で，2009年にプラハで核兵器の廃絶を訴える演説を行った人物はだれか。

① ブッシュ（子）　② トランプ
③ オバマ　④ バイデン

7 イラク戦争でアメリカ・イギリス軍の攻撃を受けた，イラクの指導者はだれか。

① ナセル　② ホメイニ
③ ラビン　④ フセイン

8 2013年に中国の国家主席に就任し，「一帯一路」構想を提唱した人物はだれか。

① 江沢民　② 習近平
③ 胡錦涛　④ 鄧小平

第 21 講 【現代編】冷戦の終結と現代世界
PART5 現代の文化

Chapter 1 科学技術の進歩と課題

目標
米ソによる宇宙開発の競争が進展した経緯を確認しよう。
地球サミットで採択されたことについて学ぼう。

1 現代の科学技術

①物理学

〔　　　　　　　　　　　　〕の**相対性理論**や，ハイゼンベルクの
量子力学の研究などが**原子力発電**の実用化に繋がる
→スリーマイル島（アメリカ），**チェルノブイリ**（ソ連），**福島第一原発**などで原発事故が
発生し，安全性に対する懸念が高まる

②生理学

A 医学：ペニシリンが発見され，**抗生物質**の製造が可能に

B 生物学

あ DNA 構造の研究が進み，**ヒトゲノム**の解読が完了

い iPS 細胞の研究は再生医療などの発展に繋がると期待されている

③電子工学

A ラジオ・テレビ

1920 年代にラジオ放送，1932 年にはイギリスでテレビの試験放送が開始される

B コンピュータ・インターネット

あ コンピュータ

集積回路などの開発により小型化・低価格化が進む
→パーソナル = コンピュータが開発される

い インターネット

当初は軍事目的で開発されたが，民間に開放される
→ 20 世紀末の〔　　　　　　〕で実用化→情報伝達の手段が変化

④飛行機と宇宙工学

A 飛行機

ライト兄弟が開発。第二次世界大戦中にジェット機が開発され，長距離飛行が可能に

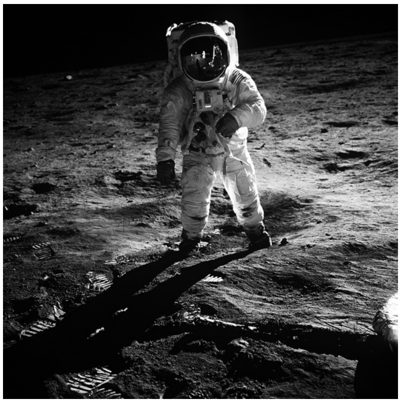
→戦後，民間による大量輸送が実現

B　宇宙工学

戦後，米ソを中心に宇宙開発が進行

あ　ソ連が**人工衛星スプートニク1号**を打ち上げ，その後，有人飛行も実現

い　アメリカは**アポロ11号**によって月面着陸に成功



アポロ11号の月面着陸

2　環境問題

①人口爆発

経済成長や医療の進歩などによって世界人口が爆発的に増加

→資源の枯渇，食糧問題などが発生

②環境破壊

大気汚染，**酸性雨**，フロン放出などによる**オゾン層破壊**，**地球温暖化**による気候変動，森林破壊による**砂漠化**などが進行

→**レイチェル＝カーソン**は『**沈黙の春**』を著し，農薬の危険性に警鐘を鳴らした

③環境問題への対応

A　国連人間環境会議

「かけがえのない地球」をスローガンに，環境問題に関する初の国際会議を開催

B　［　　　　　　　　　　］（**環境と開発に関する国際会議**）

1992年にリオデジャネイロで開催され，**リオ宣言**と「**アジェンダ21**」を採択

→「**持続可能な開発**」という理念が打ち出され，**国連気候変動枠組条約**が調印される

C　［　　　　　　　　　　］

1997年，第3回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP3）が京都で開かれる

→先進国に対して温室効果ガスの削減目標を定める

まとめ　ソ連が人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功し，アメリカはアポロ11号で月面着陸に成功した。
持続可能な開発を目指し，リオ宣言と「アジェンダ21」が採択された。

Chapter 2　現代思想と文化の諸相

目標
カウンター＝カルチャーで進められた運動について理解しよう。
ヘミングウェーやオーウェルが，作品の題材にしたものを知ろう。

1　現代の社会

①映画
　ハリウッドで**トーキー**映画が流行
　→〔　　　　　　　　　　　〕が喜劇を通じて現代社会を風刺
②音楽
　ジャズ・ロックなどの新しい音楽が流行
　→正統的でない大衆向けの文化（**ポップ＝カルチャー**）が発達
③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕
　1960年代以降，**ベトナム反戦運動**や**公民権運動**の高まりとともに主流に対抗する文化がアメリカで広まる
　→他の国々にも影響を及ぼし，フランスでは政体に対するデモ，日本では安保闘争に繋がった

2　現代の美術

①ダダイズム
　虚無・破壊的な芸術運動が展開される（第一次世界大戦～）
②シュルレアリスム
　〔　　　　　　　　〕の**精神分析学**の影響を受け，潜在意識などを表現しようとする芸術運動
　→〔　　　　　〕の「記憶の固執」（やわらかい時計），マグリットの「大家族」など
③立体派（キュビスム）
　対象を複数の視点から捉えて，再構成する
　→〔　　　　　　〕の「**泣く女**」「**ゲルニカ**」など

「大家族」

3　現代の文学

①**ロマン＝ロラン**（フランス）

　反ファシズムの旗手　『ジャン＝クリストフ』

②**トーマス＝マン**（ドイツ）

　反ナチスの作家　『魔の山』

③［　　　　　　　　　　］（イギリス）

　『カタロニア賛歌』（スペイン内戦が題材）

④［　　　　　　　　　　　　　　］（アメリカ）

　『老人と海』『誰がために鐘は鳴る』（スペイン内戦が題材）

⑤**マルロー**（フランス）

　『希望』（スペイン内戦が題材）

⑥**タゴール**（インド）

　アジア人初のノーベル文学賞受賞　『ギーターンジャリ』

⑦［　　　　］（中国）

　中国近代文学　『阿Q正伝』

まとめ

アメリカでベトナム反戦運動や公民権運動が進められ，既存の体制に対する反発が広がった。

スペイン内戦を題材にし，ファシズムを批判した。

第 21 講 PART 5 確認問題

1 相対性理論を発表した物理学者はだれか。

① ハイゼンベルク　② デューイ
③ フレミング　④ アインシュタイン

2 人類初の月面着陸を成功させた宇宙船はどれか。

① アポロ 11 号　② ソユーズ 5 号
③ スペース＝シャトル コロンビア号　④ スプートニク 1 号

3 フロンの放出によって引きおこされる環境破壊はどれか。

① 地盤沈下　② 砂漠化
③ オゾン層破壊　④ 酸性雨

4 リオデジャネイロで開催され，「持続可能な開発」という理念を打ち出した国際会議はどれか。

① 地球サミット　② コペンハーゲン会議
③ 国連人間環境会議　④ 第 3 回国連気候変動枠組条約締約国会議

5 ベトナム反戦運動などの高まりを背景にアメリカで広まった主流の文化に対抗する文化はどれか。

① 大衆文化　② ポスト＝モダニズム
③ カウンター＝カルチャー　④ ポップ＝カルチャー

6 「記憶の固執」を描いた画家はだれか。

① ピカソ　② ロマン＝ロラン
③ ダリ　④ マルロー

7 第一次世界大戦中にはじまった虚無・破壊的な芸術運動はどれか。

① ダダイズム　② シュルレアリスム
③ 立体派　④ 野獣派

8 『老人と海』『誰がために鐘は鳴る』などの代表作を持つ作家はだれか。

① トーマス＝マン　② ヘミングウェー
③ オーウェル　④ タゴール

[写真・映像提供元]
アフロ，Colbase，正倉院宝物，日本銀行貨幣博物館，福岡市博物館所蔵　画像提供：福岡市博物館 / DNPartcom，ロイター / アフロ，AP / アフロ，写真：毎日新聞社 / アフロ，写真：AP / アフロ，動画：AP / アフロ，動画：ロイター / アフロ，写真：AFP/WAA，動画：CCTV+ / アフロ，提供：NASA / TopFoto / アフロ，東京大学史料編纂所　所蔵，画像提供：林原美術館 / DNPartcom，CPCphoto

確認問題　解答

第 1 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④

直立二足歩行によって前足が両手として発達し，道具が使えるようになって，知能を発達させた。

2 解答：①

約 700 万年前のアフリカで最初に出現した人類が，**アウストラロピテクスなどが属する猿人**である。

3 解答：③

約 60 万年前に出現した旧人を代表するのは**ネアンデルタール人**。

4 解答：②

クロマニョン人らの新人による**洞窟絵画**は**スペインのアルタミラ洞窟**をはじめ，**フランスのラスコー洞窟**やショーヴェ洞窟でも発見されている。

5 解答：④

農耕・牧畜のはじまりにより，狩猟・採集によって食料を調達する獲得経済から，**生産経済に移行**した。

6 解答：②

原石を砂や砥石で研磨した**磨製石器**がつくられるようになった時代を**新石器時代**という。

7 解答：③

メソポタミアなど**大河の流域**では，作物を育てるために必要な水を自然の雨水に頼る初期の天水農業・乾地農業などを経て，**人工的に供給する灌漑農業**がはじまった。

8 解答：④

領土意識や国境がない**初期の国家**は，中心都市とその周辺を支配する**都市国家**だった。

第1講　PART2　確認問題 解答

1 解答：③　ティグリス川とユーフラテス川流域は**メソポタミア**と呼ばれ，ほぼ現在のイラクにあたる。

2 解答：②　「肥沃な三日月地帯」は，メソポタミア地方から地中海東岸にあたる**シリア・パレスチナ地方**にかけての弓型の地帯。

3 解答：③　都市国家では都市の神殿を中心に王が神官として君臨する**神権政治**が行われた。

4 解答：③　**楔形文字**は**シュメール人**が絵文字からつくった文字で，都市国家が滅亡しても言語の違いをこえて古代オリエントで広く使われた。

5 解答：①　**アッカド人**はセム語系のアッカド語を使った民族で，メソポタミア最初の統一国家を建てた。

6 解答：③　ハンムラビ王が発布した**ハンムラビ法典**は，「目には目を」の復讐法で知られる。

7 解答：②　インド＝ヨーロッパ語系のヒッタイト人は，**アナトリア（小アジア）**に強力な国家を建てた。

8 解答：④　前15世紀以降，オリエントにはヒッタイトやエジプトと並んで**ミタンニ王国**が割拠した。

第 1 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　前 27～前 22 世紀の古王国時代，強大な王権の象徴として巨大な**ピラミッド**を建設した。

2 解答：②　**アメンホテプ 4 世**は強力になった神官勢力を嫌って宗教改革を行った。

3 解答：④　古代エジプト人は来世信仰によってミイラを作成し，死後の世界のために「**死者の書**」を残した。

4 解答：①　ロゼッタ＝ストーンに刻まれたヒエログリフは，1822 年にフランス人の**シャンポリオン**によって解読された。

5 解答：③　クレタ島を中心に栄えたクレタ文明を象徴するのは**クノッソスの宮殿**である。

6 解答：②　**ミケーネ文明**は，南下してきたギリシア人によってギリシア本土に築かれた。

7 解答：④　**シュリーマン**はドイツの考古学者で，ミケーネ地方やトロイアを発掘してホメロスの叙事詩の史実性を証明した。

8 解答：③　**クレタ文明**は城壁を持たない宮殿や明るい色調で描かれた壁画などが特徴であるとされている。

第 1 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　**フェニキア人**は，東地中海沿岸に都市国家を建設して地中海貿易を独占した。

2 解答：③　フェニキア文字を起源とする**アルファベット**は，ギリシア文字やラテン文字に発達してヨーロッパに広まった。

3 解答：①　パレスチナに建国されたヘブライ王国はイェルサレムを都とし、唯一絶対の神ヤハウェを信仰する**ユダヤ教**を確立させた。

4 解答：④　新バビロニアがユダ王国の住民の多くを強制移住させた事件を**バビロン捕囚**という。

5 解答：④　**アッシリア**は，鉄製の武器や戦車，騎兵隊などによって初めてオリエントを統一した。

6 解答：②　アッシリアの首都は**ニネヴェ**で，アッシュルバニパル王が大図書館を建設したことでも知られる。

7 解答：④　アッシリアの滅亡後，メソポタミアでは**新バビロニア**がおこった。

8 解答：①　リディアは，前 7 世紀後半に世界で初めて金属を鋳造して**貨幣**をつくった。

第 1 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：③　インド北東部を東に流れる川は**ガンジス川**。インド北西部を南西に流れる川はインダス川である。

2 解答：①　季節によって風向きが逆転する風を**モンスーン（季節風）**という。

3 解答：②　インダス川流域におこった**インダス文明**は，すぐれた都市計画による建物群が特徴である。

4 解答：④　インダス文明を代表する最古の遺跡は，インダス川中流域のハラッパーと下流域の**モエンジョ＝ダーロ**である。

5 解答：②　インダス川中流域のパンジャーブ地方に侵入したのは**アーリヤ人**である。

6 解答：①　アーリヤ人の宗教的な知識を集めた文献群をヴェーダといい，その中の**神々への賛歌集**は『**リグ＝ヴェーダ**』である。

7 解答：③　**アーリヤ人**が先住民を征服しながら形成していった厳格な身分制度を**ヴァルナ**という。

8 解答：②　**バラモン教**は，インド各地の民間信仰や慣習を融合しながらインドの民族宗教のヒンドゥー教となった。

第1講　PART 6　確認問題 解答

1 解答：①　淮河以北の黄河流域を**華北**といい，早くから雑穀を中心とする農耕がはじまっていた。

2 解答：④　中国内陸部の高原や砂漠からの土が風によって堆積した地帯は**黄土地帯**である。

3 解答：③　淮河以南の長江流域（華中）では，湿潤な気候を利用して**稲**が栽培されるようになった。

4 解答：②　**竜山文化**は黄河中・下流域に広がった新石器文化で，実用的な灰陶と薄手の黒陶に代表される。

5 解答：③　殷王朝の遺跡を**殷墟**といい，出土品から殷が広い地域と交易していたことが判明している。

6 解答：④　**甲骨文字**は占いの結果を亀の腹甲や獣骨に刻んだ象形文字で，漢字のもととなった。

7 解答：④　**周王朝**は殷を滅ぼし，政治思想や支配体制，社会行動規範などがその後の東アジア社会に大きな影響を与えた。

8 解答：③　**封建制**は，世襲の諸侯に封土と農民を与えて支配させ，国軍に参加する軍役や特産物を貢納する義務を課す支配体制。

第 2 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②　ペルシア人（イラン人）は**インド＝ヨーロッパ語族**に分類される。

2 解答：③　アケメネス朝ペルシアの第 3 代の王は**ダレイオス 1 世**で，オリエントを再統一した。

3 解答：①　ダレイオス 1 世は全土を 20 州に分割して，各州に**サトラップ（知事）**を置いて統治した。

4 解答：④　ペルシア人の民族宗教である**ゾロアスター教**は，**拝火教**ともいわれる。

5 解答：④　メソポタミアを併合した**パルティア**は，シルクロードの中継貿易で栄えた。

6 解答：③　**シャープール 1 世**は，西アジアからインダス川西岸までの広大な地域を統合し，中央集権的な体制で統治した。

7 解答：①　5 世紀後半にササン朝ペルシアに侵入したのは遊牧民の**エフタル**である。

8 解答：③　ゾロアスター教の経典を『**アヴェスター**』といい，ササン朝ペルシアの時代に編さんされた。

第 2 講　PART 2　確認問題 解答

1 **解答：④**　ポリスはギリシア人が建設した都市国家で，中央のアクロポリスには神殿が築かれ，**アゴラ（広場）**が政治の中心となった。

2 **解答：②**　古代のギリシア人は自分たちのことを**ヘレネス**，異民族をバルバロイと呼んだ。

3 **解答：③**　**スパルタ**では奴隷身分の農民である多数のヘイロータイを支配するために市民に軍国主義的規律を課した。

4 **解答：①**　ポリスにおいて平民の支持を利用し，非合法に独裁政治を行う者を**僭主**という。

5 **解答：②**　**クレイステネス**は，民主政の制度的基盤となった 10 部族制や 500 人評議会を創設した。

6 **解答：④**　テミストクレスが指揮した**サラミスの海戦**で，ギリシア連合軍がペルシア軍を破った。

7 **解答：③**　ペルシア戦争勝利後，アテネを盟主として多くのポリスが**デロス同盟**を結んだ。

8 **解答：①**　**ペリクレス**は，民会での直接民主政など，アテネで民主政を完成させた。

第２講　PART３　確認問題 解答

1 解答：③　**ペロポネソス戦争**でアテネはペルシアの支援を受けたスパルタに敗北し，ポリス衰退の契機となった。

2 解答：②　**マケドニア**はフィリッポス２世によって軍事力が強化され，カイロネイアの戦いで全ギリシアを制圧した。

3 解答：④　アレクサンドロスによるアケメネス朝ペルシア討伐のための軍事的行動を**東方遠征**という。

4 解答：①　アレクサンドロスの東方遠征によって生まれたヘレニズム文化が形成され，広まった時代を**ヘレニズム時代**という。

5 解答：④　ギリシア人の民族意識に強い影響を与えた『**イリアス**』などの作者は**ホメロス**である。

6 解答：③　哲学以外にも倫理学や政治学など広い分野での業績で**アリストテレス**は**「万学の祖」**とも呼ばれた。

7 解答：②　アレクサンドロスが建設した**アレクサンドリア**は，ヘレニズム世界の中心都市となった。

8 解答：①　**ストア派**はアテネで活動した哲学者ゼノンが創始したヘレニズム哲学の一派である。

第 2 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：③　**元老院**は公職経験者の貴族から成り，任期は終身制だった。

2 解答：①　**護民官**は平民保護のために設置された官職で，平民会の投票で選出された。

3 解答：④　**ホルテンシウス法**の制定によって，平民と貴族の法律上の権利は同等となった。

4 解答：②　**ポエニ戦争**によってカルタゴを滅ぼしたローマが地中海の覇権を握った。

5 解答：③　属州からの富を独占した元老院貴族や騎士階層による**大規模な農業経営**を**ラティフンディア**という。

6 解答：②　**グラックス兄弟**は護民官として中小農民の再建を目指したが，元老院と対立して失敗に終わった。

7 解答：③　**カエサル**は，のちに主導権を握り，終身独裁官に就任すると共和派によって暗殺された。

8 解答：①　オクタウィアヌスは，**アクティウムの海戦**でプトレマイオス朝の女王クレオパトラと結んだアントニウスを破った。

第 2 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：③　オクタウィアヌスは**「尊厳者」**の意味を持つ**アウグストゥス**の称号を元老院から与えられた。

2 解答：④　市民の第一人者（プリンケプス）による統治体制を**元首政（プリンキパトゥス）**という。

3 解答：③　オクタウィアヌスから五賢帝末期までの**「ローマの平和（パクス＝ロマーナ）」**は**約 200 年**続いた。

4 解答：①　五賢帝の２番目にあたる**トラヤヌス帝**の時代にローマの領土が最大となった。

5 解答：②　３世紀に各属州から軍人出身の皇帝が次々に現れた時代を**軍人皇帝時代**という。

6 解答：④　小作人を使用した所領経営は**コロナトゥス（小作制）**で，従来のラティフンディアから代わった。

7 解答：①　ディオクレティアヌス帝以降，**専制君主政（ドミナトゥス）**となった。

8 解答：④　**テオドシウス帝**は帝国を東ローマ帝国と西ローマ帝国に分割し，キリスト教を国教と定めた。

第２講　PART６　確認問題 解答

1 解答：④　キリスト教の教典『**新約聖書**』は，ギリシア語のコイネーで記されて２～４世紀に現在の形に成立した。

2 解答：①　専制君主政を開始した**ディオクレティアヌス帝**は，皇帝崇拝を拒むキリスト教徒に大規模な迫害を命じた。

3 解答：②　コンスタンティヌス帝は，**ミラノ勅令**によってキリスト教を公認した。

4 解答：③　**ニケーア公会議**によって，アタナシウス派が正統教義でアリウス派が異端とされた。

5 解答：①　**ラテン語**は現在のフランス語，イタリア語，スペイン語などの母体となった。

6 解答：④　『対比列伝』の著者は**プルタルコス**。著書はギリシア・ローマ史の重要な史料となっている。

7 解答：②　**コロッセウム**は，市民のために剣闘士競技などが開かれた円形競技場である。

8 解答：③　『**ローマ法大全**』は，東ローマ帝国のユスティニアヌス帝が編さんさせた古代ローマ法の集大成。

第 3 講　PART 1　確認問題　解答

1 解答：③　ヴァルナ制において司祭者であるバラモンの次の**武士階層**を**クシャトリヤ**という。

2 解答：④　**ウパニシャッド**は祭式中心となったバラモン教の改革運動から生まれた哲学書の総称である。

3 解答：②　**ガウタマ = シッダールタ**が開いた**仏教**はヴァルナ制を否定して慈悲の心と平等を説いた。

4 解答：④　ヴァルダマーナは苦行と不殺生による解脱を説く**ジャイナ教**を開いた。

5 解答：①　コーサラ国を滅ぼして北インド最大の勢力となった国は**マガダ国**である。

6 解答：③　マガダ国の武将だった**チャンドラグプタ**はマウリヤ朝を建て，パータリプトラを首都とした。

7 解答：②　第 3 代の**アショーカ王**の時代にマウリヤ朝は**インド最初の統一王朝**となった。

8 解答：③　アショーカ王は征服活動によって多くの犠牲者を出したことへの反省から**仏教**に深く帰依した。

第３講　PART２　確認問題 解答

1 解答：④　イラン系のクシャーン人（クシャーナ族）が建てたクシャーナ朝は**カニシカ王**の時代に全盛期を迎えた。

2 解答：②　クシャーナ朝の都はガンダーラ地方の**プルシャプラ**（現ペシャワール）。

3 解答：③　**大乗仏教**は**衆生救済**がより重要であるとする新しい仏教であった。

4 解答：①　クシャーナ朝の首都プルシャプラがあるガンダーラ地方を中心に生まれた仏教美術を**ガンダーラ美術**という。

5 解答：②　**グプタ朝**は第３代王のチャンドラグプタ２世の時代に北インドの大部分を統一した。

6 解答：③　古くからバラモンが使用していた**サンスクリット語**はグプタ朝の時代に公用語化された。

7 解答：④　**アジャンター石窟寺院**に描かれた多くの壁画はグプタ様式の代表作とされる。

8 解答：②　中国の僧，**玄奘**はヴァルダナ朝時代のインドを訪れてナーランダー僧院で仏教を学んだ。

第３講　PART３　確認問題　解答

1 解答：③　**「海の道」**は地中海から南アジアを経由して中国を結ぶ海上交易ルート。

2 解答：④　１世紀頃に西北インドを支配したクシャーナ朝は活発に国際交易を行い，ローマ帝国からは大量の**金貨**が輸入された。

3 解答：②　マウリヤ朝衰退後に南インドに勢力を伸ばした**サータヴァーハナ朝**はインド洋交易で栄えた。

4 解答：①　スリランカ（セイロン島）に進出していた**シンハラ人**は上座部仏教を受容した。

5 解答：③　中国の青銅器文化を取り入れてベトナム北部に独特な青銅製の銅鼓で知られる**ドンソン文化**が成立した。

6 解答：①　タイ北部におこったタイ人最古の統一王朝は**スコータイ朝**である。

7 解答：③　マレー人らがスマトラ島東南部に建てたのは**シュリーヴィジャヤ王国**である。

8 解答：②　**ボロブドゥール**はジャワ島中部にシャイレンドラ朝が建てた**大乗仏教の寺院**である。

第 3 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：③　ベーリング海峡が陸続きだった氷期にユーラシア大陸からアメリカ大陸に渡った人々は**モンゴロイド系**と考えられている。

2 解答：②　メキシコ高原から中央アメリカのユカタン半島にかけて生まれた諸文明は**メソアメリカ文明**と総称される。

3 解答：④　アンデスではトウモロコシに加えて**ジャガイモ**が主食として栽培されていた。

4 解答：③　メキシコ湾岸地域におこった**オルメカ文明**はその後の中央アメリカの諸文明に大きな影響を与えた。

5 解答：①　中央アメリカのユカタン半島一帯で栄えた文明を**マヤ文明**という。

6 解答：②　**アステカ王国**は現在のメキシコ市に湖上の大都市テノチティトランを建設した。

7 解答：④　インカ帝国は**クスコ**を都として絶大な宗教的権力を持つ皇帝が広大な領土を支配した。

8 解答：②　インカ帝国では文字の代わりに**キープ（結縄）**によって数量などの情報を記録した。

第 4 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③　**洛邑**は黄河中流に位置する都市で，前 11 世紀に東方統治のために建設された。のちに洛陽と呼ばれ，後漢，魏，晋（西晋）などの都となった。

2 解答：②　燕，斉，楚，秦，韓，魏，趙の 7 国が**戦国の七雄**と呼ばれた。

3 解答：④　**牛耕**は，牛に鉄製の犂を引かせる耕作技術で，深く耕すことが可能となった。

4 解答：②　**刀貨**は小刀を模した**青銅貨幣**で，刀銭ともいう。主に斉，燕，趙などで使用された。貝貨は貝殻でつくられた貨幣で，殷，周の時代に用いられた。

5 解答：③　**孟子**は諸国の為政者に王道政治を説いたが，聞き入れられず，晩年は弟子の教育に専念した。

6 解答：①　**商鞅**は孝公に仕えて秦の発展に貢献したが，孝公の死後，反対派に謀反の罪をきせられ，処刑された。

7 解答：③　**道家**は**老子**を祖とする学派で，前 4 世紀頃，**荘子**によって大成されたとされる。

8 解答：④　**縦横家**の**蘇秦**は，燕，斉，楚，韓，魏，趙の 6 国が同盟して秦に対抗するべきとする合従策を説き，6 国が個別に秦と同盟する連衡策を説いた縦横家の**張儀**と対抗した。

第 4 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：② 　**秦王政**のときに中国統一に成功し，新たな君主の称号である「**皇帝**」を名乗った。

2 解答：③ 　始皇帝は，実用書以外の書物を焼き捨て（**焚書**），政治に批判的な儒家を捕らえて生き埋めにした（**坑儒**）とされる。

3 解答：① 　**郡県制**は，全国を郡と県に分け，中央から官吏（役人）を派遣して治めさせる制度。直轄地を郡県制, 地方を封建制で治める制度は郡国制という。

4 解答：③ 　**劉邦**は，前 209 年の陳勝・呉広の乱をきっかけに挙兵し，前 206 年に秦の都の咸陽を陥落させた。その後，対立していた項羽を破って**漢**を建国した。

5 解答：④ 　**呉，楚などの７国**が同盟して反乱をおこしたが，短期間で鎮圧された。

6 解答：② 　**郷挙里選**は，優秀な人材を地方長官に推薦させる制度だが，実際には，豪族の子弟が多く推薦されて官僚になった。

7 解答：③ 　**張騫**は，大月氏と匈奴挟撃の同盟を結ぶために派遣されたが，大月氏に匈奴と戦う意志はすでになく，目的を達することはできなかった。

8 解答：③ 　**衛氏朝鮮**は，衛氏によって建国された。

第 4 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③

皇帝が幼くして即位したときは，皇后や皇太后の親族が**外戚**として政治の実権を握った。

2 解答：②

幼い皇帝の外戚として実権を握った**王莽**は，皇帝を毒殺して帝位につき，**新**を建国した。

3 解答：②

太平道の教祖の張角が，困窮した農民たちを率いておこした農民反乱で，農民たちが**黄色**の**頭巾**を着用していたので，こう呼ばれた。

4 解答：④

220 年に後漢が滅亡すると，**魏**，**呉**，**蜀**の 3 国が分立した。280 年に呉が晋（西晋）に滅ぼされるまでの 60 年間を，三国時代という。

5 解答：②

『後漢書』東夷伝に，**後漢の光武帝**が**倭の奴国**の使者に金印を授けたとの記述がある。この金印は，福岡県の志賀島で発見された漢委奴国王印とされている。

6 解答：④

紀伝体とは，本紀（王や皇帝の年代記）と列伝（個人の伝記）を合わせて記述する歴史書の形式のことで，**司馬遷**の『**史記**』にはじまる。

7 解答：③

訓詁学は，儒教の経典である経書（五経）を正しく理解するために注釈を加える学問。

8 解答：②

蔡倫によって**製紙法**が改良されると，徐々に**紙が普及**した。それにともない，楷書，行書，草書などの書体が成立した。

第 4 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④

草原の道は，中央ユーラシアのステップ（草原）地帯に形成された交通路で，ここを舞台にスキタイ，匈奴，鮮卑，突厥などの遊牧国家が興亡した。

2 解答：③

スキタイ人は，独特な動物文様を特徴とするスキタイ文化を生み出したことで知られる。

3 解答：④

冒頓単于のもとで強大化した**匈奴**は，前 200 年には漢の高祖（劉邦）を屈服させ，有利な講和条件を結んだ。

4 解答：①

フン人は，5 世紀前半のアッティラ王のとき，パンノニア平原（現在のハンガリー）に大帝国を築いた。

5 解答：①

楽浪郡は，漢の武帝のときに朝鮮半島支配の拠点として設置された。

6 解答：③

高句麗の王**広開土王**は南下策を進め，百済や朝鮮半島に進出していた倭と対立した。

7 解答：②

『魏志倭人伝』によると，**魏**に朝貢した**卑弥呼**は，皇帝から「親魏倭王」の印と銅鏡 100 枚などを授かったとされる。

8 解答：②

南越は前 3 世紀末，中国南部から**ベトナム北部**に越人が建国した。

第５講　PART１　確認問題　解答

1 解答：②　**匈奴**は，モンゴル高原に**最初に遊牧国家**を建てた。

2 解答：①　**高車**は５世紀末に**柔然**の支配から脱し，アルタイ山脈の西側に独立国家を建てたが，６世紀に柔然と**エフタル**に挟撃されて衰退した。

3 解答：③　**鮮卑**は２世紀中頃，匈奴に代わってモンゴル高原に台頭。その後，五胡の一つとして華北に進出して**北魏**を建て，**華北を統一**した。

4 解答：④　**キルギス**は**ウイグル**を滅ぼして国家を建国したが，13 世紀前半にチンギス＝ハンに滅ぼされた。

5 解答：②　**呉**は**孫権**の死後国内が混乱し，280 年，晋（西晋）に滅ぼされた。

6 解答：③　**魏**の文帝は，前漢と後漢で行われていた郷挙里選を改め，**九品中正**を採用した。

7 解答：①　魏の将軍だった**司馬炎**は，265 年に即位して**晋（西晋）**を建国した。司馬遷は『史記』を著した前漢の歴史家である。

8 解答：②　**八王の乱**は司馬氏一族の８人の王による権力争いで，王たちが五胡と呼ばれた遊牧民の武力を利用したことから，五胡の侵入を招いた。

第 5 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　鮮卑の一氏族だった**拓跋氏**は，2 世紀後半から中心氏族になり，鮮卑を統一した。

2 解答：②　第 3 代皇帝**太武帝**のときに，華北が統一された。太武帝は，道士（道教をおさめた人）の寇謙之を重用して道教を国教とし，仏教を弾圧した。

3 解答：③　**北魏**で創始された**均田制**は，隋・唐に継承された。班田収授法は，唐の均田制にならって日本で施行された土地分配制度である。

4 解答：①　北魏は**漢化政策**の一環として，都を平城から漢民族の古都である洛陽に移した。

5 解答：②　**宋，斉，梁，陳**の 4 王朝はいずれも建康（現在の南京）に都を置いた。建康（建業）を都とした呉，東晋と合わせて 6 王朝を六朝と呼ぶ。

6 解答：③　**鳩摩羅什**は約 300 巻の仏典を翻訳した。仏図澄も亀茲出身の僧で，4 世紀初めに洛陽に来て布教活動を行った。

7 解答：②　**法顕**は 399 年，仏典を求めて六十余歳で長安を出発し，西域経由でインドに至り，海路で帰国した。『**仏国記**』は，5 世紀初めの各地の様子を知る貴重な歴史資料である。

8 解答：②　「**女史箴図**」は，宮廷の女官が守るべき教えに絵をつけたもので，**顧愷之**作とされる。

第５講　PART３　確認問題 解答

1 解答：④　外戚として北周の政治の実権を握った楊堅が，禅譲を受けて**初代皇帝（文帝）**となり，**隋**を建てた。

2 解答：②　文帝は儒学の試験によって官吏を選ぶ**科挙**を導入し，貴族の勢力を抑えようとした。

3 解答：②　文帝の大事業を受け継いだ**煬帝**は，610年に華北と江南を結ぶ**大運河**を完成させた。

4 解答：②　３回にわたる**高句麗遠征**に失敗すると，たび重なる遠征や土木工事に疲弊していた人々の不満が爆発し，各地で反乱がおこった。

5 解答：③　**李淵**は隋末期の混乱に乗じて息子の李世民（太宗）とともに挙兵し，隋の第３代皇帝から禅譲を受けて**初代皇帝（高祖）**となり，**唐**を建てた。

6 解答：④　**太宗の治世を称えたことば**で，当時の年号である**貞観**（627年～649年）にちなんでこう呼ばれる。

7 解答：①　唐は, 安東, 単于, 安北, 北庭, 安西, 安南の６つの**都護府**を置いて統治した。

8 解答：③　**府兵制**は**兵農一致の徴兵制度**で，農民に自前で武器を持たせて衛士や防人などの任務につかせた。

第5講　PART4　確認問題 解答

1 解答：③

則天武后は，病身の高宗に代わって政治の実権を握り，高宗の死後は実子の中宗，睿宗を廃して**帝位**についた。

2 解答：②

玄宗は，辺境に**節度使**を置いて，募兵制で採用した傭兵軍団を指揮させた。

3 解答：②

唐軍は751年，アッバース朝軍との戦いに敗北した。このとき捕虜になった唐の紙漉工によって**製紙法**がイスラーム圏へ伝わり，のちにヨーロッパに広がった。

4 解答：①

ウイグルはモンゴル高原を支配していたトルコ系遊牧民で，**安史の乱**がおこると，唐に援軍を派遣してその軍事力で鎮圧に貢献した。

5 解答：④

両税法は唐代の半ば，財政再建のために租庸調制に代わって施行された。夏・秋の**2回徴税**することから，この名前がある。

6 解答：③

875年に塩の密売人の**黄巣**がおこした反乱で，884年に鎮圧された。

7 解答：①

唐を滅ぼした**朱全忠**は，即位して**後梁**を建国した。

8 解答：①

後梁→後唐→後晋→後漢→後周の順に建国され，いずれも短命に終わった。

第 5 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：①　717 年に留学生として入唐した**阿倍仲麻呂**は，唐朝に仕官して玄宗に重用された。753 年，帰国の途上で暴風にあって帰れず，唐にとどまって長安で死去した。

2 解答：④　**玄奘**は 629 年に仏典を求めてインドに赴き，旅行記『**大唐西域記**』を著した。『南海寄帰内法伝』は，671 年にインドに赴いた義浄の旅行記。

3 解答：②　**白居易**の『**長恨歌**』は，『源氏物語』など，日本文学にも影響を与えた。

4 解答：④　文学者の**韓愈**は，柳宗元とともに漢代以前の古文の復興運動に努めた。

5 解答：②　**長安城**の都市プランは周辺国家に伝えられ，長安をモデルにして日本の平城京や平安京，渤海の上京竜泉府などが建設された。

6 解答：②　百済と高句麗を滅ぼした**新羅**は，676 年に朝鮮半島を統一した。都の**慶州**には，仏国寺などの寺院が建設されて仏教文化が開花した。

7 解答：③　**シュリーヴィジャヤ**は，スマトラ島のパレンバンを中心に成立した港市王国で，海上交易で繁栄した。

8 解答：①　**ソンツェン＝ガンポ**が，7 世紀初めに諸氏族を統一して**吐蕃**を建国した。

第 6 講　PART 1　確認問題　解答

1 解答：④　6 世紀半ばに西アジアで東ローマ帝国と対立したのは**ササン朝ペルシア**である。アケメネス朝ペルシアは前 3 世紀に滅亡しており，時代が異なる。

2 解答：②　唯一神アッラーの啓示を受けた**ムハンマド**がイスラーム教を創始した。

3 解答：③　622 年にイスラーム教の創始者ムハンマドがメディナに移住したことを**ヒジュラ（聖遷）**という。この年はイスラーム暦（ヒジュラ暦）の元年とされている。

4 解答：④　ムハンマドはメディナでイスラーム共同体である**ウンマ**を築き，勢力を高めた。

5 解答：③　イスラーム教の聖典**クルアーン（コーラン）**は，ムハンマドがアッラーから受けた啓示をまとめたものである。六信五行はイスラーム教徒が果たすべき義務のことである。

6 解答：①　預言者ムハンマドの後継者として**カリフ**がイスラーム共同体の指導者となった。

7 解答：①　イスラーム教徒の異教徒に対する戦いを**ジハード（聖戦）**と呼び，アラブ軍は広大な地域を支配下におさめた。ミスルはアラブ軍が築いた軍営都市のことである。

8 解答：②　イスラーム政権が課した土地税を**ハラージュ**といい，人頭税をジズヤという。

第６講　PART２　確認問題 解答

1 解答：④　アリー暗殺後に，アリーと対立していたシリア総督の**ムアーウィヤ**がカリフ位に就いた。

2 解答：③　従来の慣習を破ってウマイヤ家の出身者がカリフ位の世襲をはじめ，**ウマイヤ朝**を建てた。

3 解答：①　ウマイヤ朝のアラブ軍は**トゥール・ポワティエ間の戦い**でフランク王国に敗れ，支配地の拡大はイベリア半島で止まった。

4 解答：②　非アラブ人のイスラーム教改宗者である**マワーリー**にはジズヤ・ハラージュの納税義務があり，アラブ人との差別に対する不満が高まったことがウマイヤ朝衰退の一因となった。

5 解答：③　ウマイヤ朝カリフの権威を認める多数派のスンナ派に対して，ムハンマドの血統を重視する一派は**シーア派**と呼ばれ，少数派である。

6 解答：②　ムハンマドの叔父の子孫のアッバース家がウマイヤ朝を滅ぼし，**アッバース朝**を開いた。

7 解答：①　『千夜一夜物語（アラビアン＝ナイト）』の主人公の一人である第５代カリフの**ハールーン＝アッラシード**はアッバース朝の最盛期を築いた。ウスマーンは第３代正統カリフ。

8 解答：④　アラブ人の特権を廃止してムスリムの平等を実現したアッバース朝は「**イスラーム帝国**」と呼ばれる。「アラブ帝国」と呼ばれるのはウマイヤ朝である。

第 6 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：④　後ウマイヤ朝の首都**コルドバ**を中心にイベリア半島でイスラーム文化が発展した。

2 解答：②　後ウマイヤ朝の君主は，当初**アミール**の称号を使用し，アッバース朝カリフの権威を否定しなかった。ウラマーはイスラーム知識人のことをいう。

3 解答：①　北アフリカにシーア派の**ファーティマ朝**がおこり，後ウマイヤ朝とあわせてアッバース朝の分裂が決定的となった。

4 解答：③　ブワイフ朝は軍人に俸給（アター）を支払う代わりに，土地の徴税権（イクター）を与えて土地を管理させる**イクター制**をはじめた。

5 解答：②　トルコ系軍人奴隷の**マムルーク**は，9 世紀初めからアッバース朝カリフらに登用された。

6 解答：④　11 世紀に建国されたトルコ系スンナ派王朝は**セルジューク朝**である。

7 解答：②　セルジューク朝の創始者であるトゥグリル＝ベクは 11 世紀半ばにバグダードに侵攻し，**スルタン**（支配者）の称号を認められた。大アミールはブワイフ朝君主の称号。

8 解答：①　セルジューク朝が内部分裂で弱体化し，小アジアに**ルーム＝セルジューク朝**が成立した。オスマン朝はルーム＝セルジューク朝衰退後に建国され，オスマン帝国に発展した。

第 6 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④　トルコ系マムルーク出身者が**ホラズム＝シャー朝**を建国し，セルジューク朝滅亡後に中央アジアからイランまで支配地を拡大した。サーマーン朝，ブワイフ朝はイラン系王朝。

2 解答：③　イベリア半島南部のグラナダには世界文化遺産の**アルハンブラ宮殿**がある。

3 解答：②　マグリブ（エジプト以西の北アフリカ）の先住民**ベルベル人**はイスラーム教に改宗し，11 世紀半ばにムラービト朝を建てた。

4 解答：③　ムラービト朝を滅ぼして成立した**ムワッヒド朝**はレコンキスタ（国土回復運動）に対抗したが，13 世紀初めにキリスト教徒連合軍に敗れた。

5 解答：①　アイユーブ朝を創始した**サラディン（サラーフ＝アッディーン）**は強力な軍隊を組織し，十字軍国家からイェルサレムを奪還，さらに第 3 回十字軍を撃退した。

6 解答：①　**マムルーク朝**はフラグのモンゴル軍を撃退し，十字軍最後の拠点アッコンを陥落させた。

7 解答：③　チンギス＝ハンの孫の**フラグ**はモンゴル軍を率いてアッバース朝を滅ぼした。

8 解答：③　イル＝ハン国第 7 代君主の**ガザン＝ハン**は，イスラーム教を国教にしてムスリムの支持を得た。ラシード＝アッディーンはガザン＝ハンに仕えたイル＝ハン国の宰相。

第6講　PART5　確認問題　解答

1 解答：③　12世紀にガズナ朝から自立した**ゴール朝**はインド侵入を繰り返した。

2 解答：②　300年以上にわたるデリーを首都とした5つのイスラーム系王朝は**デリー＝スルタン朝**と総称される。

3 解答：①　15世紀末にスマトラ島の**アチェ王国**はイスラーム王朝として成立して発展した。

4 解答：④　**マラッカ王国**は中国（明）の鄭和の南海遠征後，15世紀半ばに東南アジアで最初の本格的なイスラーム国家となった。

5 解答：③　4世紀にナイル川上流に進出してメロエ王国を滅ぼし，紅海交易で栄えた国は**アクスム王国**である。

6 解答：①　西アフリカの**ガーナ王国**は北アフリカのイスラーム化後，ムスリム商人との塩金貿易で繁栄した。

7 解答：③　マリ王国の首都である**トンブクトゥ**は交易やイスラーム文化の中心として繁栄した。

8 解答：④　**スワヒリ語**はアフリカ東海岸で現地の言語とアラビア語が交じり合って成立した。

第6講　PART6　確認問題 解答

1 解答：②　イスラームの礼拝堂を**モスク**といい，イスラーム都市には必ず建設されている。

2 解答：④　イスラームの学者であるウラマーを育成するための教育機関は**マドラサ**である。

3 解答：①　イスラーム法である**シャリーア**は『クルアーン（コーラン）』やハディースの解釈から体系づけられている。

4 解答：②　イスラームに生まれた禁欲的な修行により神との一体感を求める考え方を**スーフィズム**という。

5 解答：③　イスラームを代表する歴史家**イブン＝ハルドゥーン**はアラビア語で『世界史序説』を著した。

6 解答：②　**イブン＝ルシュド**はアリストテレスの著作への注釈でスコラ哲学に大きな影響を与えた。

7 解答：③　イブン＝バットゥータが口述した『**旅行記（三大陸周遊記）**』は14世紀のイスラーム世界の重要資料。

8 解答：②　**アラベスク**は偶像崇拝が禁止されたイスラームの建築の装飾模様として多用された。

第 7 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④　**ケルト人**はヨーロッパの先住民で，前 6 世紀頃から広く定住していた。

2 解答：③　紀元前後頃のゲルマン人の最高意思決定機関は全成年男性の全体集会である**民会**だった。

3 解答：②　4 世紀半ばの**フン人**の移動による圧迫がゲルマン人の大移動の直接の原因となった。

4 解答：③　476 年に西ローマ帝国は傭兵隊長だったゲルマン人の**オドアケル**によって滅亡した。

5 解答：②　東ゲルマン人の一部族である**西ゴート人**は，イベリア半島に西ゴート王国を建てた。

6 解答：④　568 年北イタリアに**ランゴバルド王国**が建てられてゲルマン人の大移動は終息した。

7 解答：①　**アングロ = サクソン人**は大ブリテン島に渡った後に，ヘプターキー（七王国）を建てた。

8 解答：③　フランク人はクローヴィスによって統一され，ガリア北部に**フランク王国**を建てた。

第７講　PART２　確認問題 解答

1 解答：④　**ギリシア正教会**が司教が教皇を自称する**ローマ＝カトリック教会**と教会の首位権を争うようになった。

2 解答：②　496 年にフランク王国の建国者クローヴィスは正統とされた**アタナシウス派**に改宗した。

3 解答：④　カール＝マルテルの子，ピピンはメロヴィング朝を廃して**カロリング朝**を開いた。

4 解答：①　カール大帝は教皇から「西ローマ帝国」の復活を意味する**ローマ皇帝**の帝冠を授けられた。

5 解答：③　フランク王国はイベリア半島から侵入したイスラーム軍を**トゥール・ポワティエ間の戦い**で破った。

6 解答：③　ランゴバルド王国から獲得したラヴェンナ地方を教皇に献上したのは**ピピン**で「ピピンの寄進」と呼ばれる。

7 解答：③　カール大帝は地方の有力豪族を**伯**に任命し，現地を治めさせて集権的に統治した。

8 解答：②　カール大帝が奨励した文芸復興運動は**カロリング＝ルネサンス**と呼ばれる。

第7講　PART3　確認問題 解答

1 解答：②　フランク王国の領土は，843年のヴェルダン条約で東・中部・西フランクに3分割され，870年の**メルセン条約**で中部フランクの北部が東・西フランクに分割・併合された。

2 解答：④　987年に西フランクのカロリング家が断絶し，パリ伯のユーグ・カペーが王位について**カペー朝**を開いた。このときから「フランス」と呼ばれるようになった。

3 解答：②　撃退された**マジャール人**は，パンノニア平原に定住し，ハンガリー王国を建国した。

4 解答：③　**神聖ローマ帝国**はオットー1世の戴冠にはじまる国家で，1806年まで続いた。

5 解答：③　ロロに率いられたノルマン人の一派はフランスに侵攻し，セーヌ川河口に**ノルマンディー公国**を建てて定着した。

6 解答：②　**アルフレッド大王**はデーン人を撃退後，法律や行政制度を整備して国土の回復に努めた。

7 解答：①　1066年，イングランド軍を破ったノルマンディー公ウィリアムは，**ウィリアム1世**として即位し，ノルマン朝初代の国王となった。

8 解答：④　**ノヴゴロド国**はノルマン人の一派のルーシが建国した国で，現在のロシアの起源とされている。

第７講　PART４　確認問題 解答

1 解答：③

恩貸地制度では土地を貸与された者はその代償として，主君に対して奉仕・勤務を行った。

2 解答：④

領主は領地である荘園に対して，課税されない特権（**不輸の権**），役人の立ち入りを拒否する特権（**不入の権**）を持っていた。

3 解答：④

農民に課せられていた義務のうち，領主直営地で一定日数労働する義務を**賦役**といった。

4 解答：②

農民は，教会に収穫物の**十分の一**（約 10％）を納めなければならなかった。

5 解答：③

シトー修道会は 1098 年にフランス中部の荒野に創設された修道会で，12 世紀以降，改革運動の中心となった。

6 解答：①

1122 年のヴォルムス協約で妥協が成立し，教皇が聖職者の任命権を握ることとなった。以降，**教皇権は強く**なり，インノケンティウス３世のときに最盛期を迎えた。

7 解答：④

教皇グレゴリウス７世に破門（教会から追放されること）されたドイツ王**ハインリヒ４世**は，イタリアのカノッサ城で雪のなか３日間許しをこい，破門を解かれた。

8 解答：①

インノケンティウス３世は，世俗君主を臣従させて教皇権の絶頂期を確立した。

第７講　PART５　確認問題 解答

1 解答：②　アジアとヨーロッパ，黒海と地中海を結ぶ接点にある**コンスタンティノープル**は，国際貿易都市として繁栄した。

2 解答：①　**ユスティニアヌス大帝**は，ヴァンダル王国と東ゴート王国を滅ぼし，西ゴート王国からイベリア半島南部を奪って，地中海帝国を復活させた。

3 解答：④　**聖像禁止令**は，聖像をゲルマン人への布教に利用していたローマ＝カトリック教会との対立を深めた。

4 解答：②　**オスマン帝国**は 13 世紀末，アナトリア西部に建国されたイスラーム帝国で，バルカン半島制圧後，1453 年にコンスタンティノープルを攻略し，ビザンツ帝国を滅ぼした。

5 解答：③　**ハギア＝ソフィア大聖堂**は，ユスティニアヌス大帝によってビザンツ様式で建てられた。

6 解答：②　**ヤゲウォ朝**は，1386 年にポーランド女王とリトアニア大公ヤゲウォが結婚して開かれた王朝で，1410 年にはタンネンベルクの戦いでドイツ騎士団を破った。

7 解答：①　モスクワ大公**イヴァン３世**が初めて名乗り，16 世紀のイヴァン４世のときに公式な称号となった。

8 解答：③　マジャール人は，**ハンガリー王国**を建国した。

第 8 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④　11 世紀から耕地を春・秋・休耕地に三分して農業生産力を高める**三圃制**が普及した。

2 解答：②　**セルジューク朝**が 11 世紀にイェルサレムを支配した。

3 解答：③　1095 年に教皇ウルバヌス 2 世は**クレルモン宗教会議**を招集して，十字軍派遣を決定した。

4 解答：①　1099 年に第 1 回十字軍はイェルサレムを占領して，**イェルサレム王国**を建国した。

5 解答：②　第 4 回十字軍は，ビザンツ帝国の**コンスタンティノープル**を占領してラテン帝国を建国した。

6 解答：④　**マムルーク朝**により，イェルサレム王国の最後の拠点だったアッコンが陥落した。

7 解答：③　第 1 回十字軍で成立した**ヨハネ騎士団**は，のちにマルタ騎士団とも呼ばれた。

8 解答：④　ドイツ騎士団は，バルト海沿岸の**東方植民**に参加してドイツ騎士団領を形成した。

第 8 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　大量の人と物資が移動する十字軍運動を契機として，遠距離間で行われる**遠隔地貿易**が発展した。

2 解答：①　**ハンザ同盟**は，12 世紀頃にリューベックを盟主として結成された都市同盟である。

3 解答：②　**フランドル地方**のブリュージュやガンなどの都市は，毛織物産業で発展した。

4 解答：②　**フィレンツェ**は毛織物産業と金融業で栄えた内陸都市である。

5 解答：④　11 ～ 12 世紀になると，都市は領主から闘争や買収により**特許状**を得て自治権を獲得した。

6 解答：③　自治都市では，同業組合である**ギルド**が行政の基礎的な組織となった。

7 解答：②　手工業者が職業別に同職ギルド（ツンフト）を結成して，市政参加権を獲得していった経緯を**ツンフト闘争**という。

8 解答：④　**コムーネ**は貴族や大商人が主導する北イタリアの自治都市で，都市国家に成長した。

第 8 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③
フィリップ４世は，フランスで初めて聖職者・貴族・平民の代表からなる**三部会**を開催した。

2 解答：②
フィリップ４世は，対立する教皇を一時捕らえて憤死させるアナーニ事件をおこした。

3 解答：①
フランス王がアヴィニョンに別の教皇を擁立したために，複数の教皇が対立する**大シスマ**（**教会大分裂**）となった。

4 解答：③
ウィクリフに共鳴した**フス**は，ベーメンでカトリック教会を批判した。

5 解答：③
コンスタンツ公会議は神聖ローマ皇帝の提唱で開催されて，大シスマ（教会大分裂）を終結させた。

6 解答：②
14 世紀の西ヨーロッパでは**ペスト**（**黒死病**）の大流行によって人口が激減した。

7 解答：①
1381 年に，イングランドでジョン＝ボールが指導する**ワット＝タイラーの乱**がおこった。

8 解答：④
農奴解放によって，イングランドでは**ヨーマン**と呼ばれる独立自営農民が出現した。

第 8 講　PART４　確認問題 解答

1 解答：②　フランスのアンジュー伯は，ヘンリ２世としてイングランドに**プランタジネット朝**を開いた。

2 解答：①　1215 年，貴族たちは団結してジョン王に**マグナ＝カルタ**（**大憲章**）を認めさせた。

3 解答：④　**シモン＝ド＝モンフォール**は，ヘンリ３世に対する貴族の反乱の中心的存在となって議会の招集を認めさせた。

4 解答：③　1295 年にイングランド王エドワード１世が招集した身分制議会は，**模範議会**と呼ばれる。

5 解答：②　フランスでカペー朝が断絶すると，フィリップ６世により**ヴァロワ朝**が成立した。

6 解答：④　イングランド王エドワード３世は，王位継承権を主張してフランスとの**百年戦争**を開始した。

7 解答：④　バラ戦争では，イングランドの王位継承権を巡ってヨーク家と**ランカスター家**が争った。

8 解答：④　イングランドのテューダー朝は，**ヘンリ７世**によって開かれた。

第 8 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：③　金印勅書は皇帝**カール 4 世**が発布した。印章に黄金が用いられたので，この名前がある。

2 解答：②　**ハプスブルク家**は 10 世紀にスイスでおこった家系で，1438 年から 1806 年に帝国が滅亡するまで，ほぼ神聖ローマ皇帝位を世襲した。

3 解答：④　**ウェストファリア条約**は，1648 年にヨーロッパのほとんどの国が参加して締結された三十年戦争の講和条約で，ここでスイスの神聖ローマ帝国からの独立も承認された。

4 解答：①　**カルマル同盟**は，スウェーデン南東の都市カルマルで結成された。

5 解答：③　**レコンキスタ**は，8 世紀初めから 1492 年のグラナダ陥落まで約 800 年間続いた。

6 解答：②　**グラナダ**はスペイン南部アンダルシア地方の都市で，ナスル朝の王宮アルハンブラ宮殿が残る。

7 解答：③　1479 年，カスティリャとアラゴンの統合によって**スペイン王国**が成立した。

8 解答：①　イサベル女王の援助を受けた**コロンブス**は，1492 年にスペインのパロス港を出港し，西廻りでインドを目指した。

第 8 講　PART6　確認問題 解答

1 解答：②　中世の西ヨーロッパでは，キリスト教を研究する**神学**が最も重視された。

2 解答：④　**ラテン語**が学者や知識人の共通語として用いられ，アラビア語やギリシア語の文献がラテン語に翻訳された。

3 解答：③　トマス = アクィナスは，『**神学大全**』で神学を体系化した。アウグスティヌスの『神の国』，カルヴァンの『キリスト教綱要』と合わせて「キリスト教三大古典」といわれる。

4 解答：①　**ロジャー = ベーコン**は，17 世紀の科学革命に影響を与えた。フランシス = ベーコンは 17 世紀のイギリスの哲学者である。

5 解答：③　**ボローニャ大学**は 11 世紀後半に設立された現存する最古の大学で，イタリア = ルネサンスの詩人ダンテやペトラルカもここで教鞭をとった。

6 解答：②　中世には『**アーサー王物語**』や『ニーベルンゲンの歌』など, 騎士道をテーマとした口承文学がつくられ，吟遊詩人によって語り伝えられた。

7 解答：④　**ロマネスク様式**は 11 世紀頃から流行した建築様式で, ピサ大聖堂が有名。

8 解答：③　ドームとモザイク壁画を特色とするのは，**ビザンツ様式**の建築である。

第 9 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③　王建が建てた**高麗**は，936 年に朝鮮半島を統一した。

2 解答：④　「国際的な唐の文化の影響を強く受けていた」は，奈良時代の**天平文化**の説明である。平安時代には唐の文化を土台としつつ，日本独自の新しい文化（**国風文化**）が栄えた。

3 解答：②　平氏政権と**宋**との貿易（**日宋貿易**）によって，宋銭や陶磁器などが流入した。

4 解答：①　**大越**は，1054 年から 1802 年までのベトナムの正式な国号だった。

5 解答：③　916 年，契丹人の**耶律阿保機**によって遼が建国された。

6 解答：④　澶淵の盟は**遼**と**北宋**が澶州（現・河南省）で結んだ和議で，これにより両国間に 100 年以上の平和が実現した。

7 解答：①　タングートが建国した西夏は，漢字を参考にして**西夏文字**をつくった。

8 解答：②　完顔阿骨打は 1115 年に女真人の王朝，**金**を建国した。

第 9 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：④　後周の武将だった趙匡胤は，**宋（北宋）**を建国して初代皇帝になった。次の第 2 代皇帝太宗のときに中国統一を完成させた。

2 解答：③　宋代には，**形勢戸**と呼ばれる新興地主層が登場した。彼らのなかから官戸（科挙で合格した官僚を出した家）を多く出し，支配者層を形成した。

3 解答：②　**王安石**は，財政再建，富国強兵を目指して新法と呼ばれる政治改革を実施した。

4 解答：②　**市易法**は，中小の商人の保護と物価の安定を目的とし，物が売れないときは政府がこれを買い上げたり，物資を抵当に低利で貸し付けを行ったりした。

5 解答：①　宋（北宋）の政治家**司馬光**は，王安石の新法に強く反対し，神宗の死によって王安石が辞任すると，宰相となって新法をことごとく廃止した。

6 解答：③　1126（靖康元）年，宋（北宋）の都，開封が金の攻撃を受けて陥落した。翌年，上皇の徽宗，皇帝の欽宗らが捕虜として金に連行され，宋（北宋）は滅亡した。これを**靖康の変**という。

7 解答：②　1127 年に高宗は江南に南宋を建て，**臨安**（現・杭州）を都とした。

8 解答：④　高宗に重用されて宰相になった**秦檜**は，抗戦派の岳飛を処刑して，金との和議を成立させた。

第９講　PART３　確認問題 解答

1 解答：②　宋代の穀物生産の中心は，**長江中流域ではなく，長江下流域**だった。長江中流域が穀物生産の中心となるのは明代になってからである。

2 解答：②　宋代には，手工業者の同業組合の**作**や，商人の同業組合の行が組織された。

3 解答：①　**交子**は，もともと富商が約束手形として発行したものだった。のちに宋朝に引き継がれて紙幣として発行され，流通した。

4 解答：③　宋代には，貴族に代わって資産家官僚の**士大夫**が政治的・社会的指導者になった。彼らは儒学の教養を身につけた知識人で，文化の担い手でもあった。

5 解答：④　宋学は周敦頤がおこし，**朱熹**が大成した。名前を取って朱子学とも呼ばれる。

6 解答：②　**全真教**は，王重陽を開祖として金治世下の華北で開かれた。

7 解答：①　『**資治通鑑**』は，司馬光が北宋の第５代皇帝英宗の命で編さんした歴史書で，戦国時代から五代末までの出来事が年代順に記述されている。

8 解答：③　**文人画**は，士大夫や禅僧など非職業画家が描いた絵で，南宋画，南画とも呼ばれる。

第 9 講　PART 4　確認問題　解答

1 解答：③　モンゴル民族のテムジンが**チンギス = ハン**として即位し，モンゴル帝国を建てた。

2 解答：①　**西夏**は 1038 年にタングートの李元昊が建てた国で，1227 年にチンギス = ハンに滅ぼされるまで，中継貿易で栄えた。

3 解答：④　バトゥ率いる遠征軍は，ポーランドのリーグニッツ近郊で，ポーランド王国と**神聖ローマ帝国**の連合軍を破った。

4 解答：①　1227 年，チャガタイが中央アジアにチャガタイ = ハン国を，1243 年，バトゥが南ロシア平原にキプチャク = ハン国を，1258 年，フラグが西アジアに**イル = ハン国**を建てた。

5 解答：④　フビライは，モンゴル高原と華北の境界に位置する**大都**（現・北京）を元朝の都とした。

6 解答：②　**陳朝**は李朝に次ぐ大越（北部ベトナム）の王朝で，モンゴル軍と元軍から 3 度にわたり侵攻されたが，3 度とも撃退した。

7 解答：③　**色目人**は，さまざまな種類の人という意味で，モンゴル人，漢人（旧金支配下の漢人や契丹人，女真人），南人（旧南宋の住民）以外の人々を指した。

8 解答：②　白蓮教の信者たちは紅い布を頭に巻いて目印としたので，**紅巾の乱**と呼ばれた。

第 9 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：③　13 世紀前半の高麗で，世界に先駆けて**金属活字**が考案された。グーテンベルクが金属活字を使用する印刷技術を実用化したのは，15 世紀半ばである。

2 解答：①　**マジャパヒト王国**は，元軍侵攻の混乱のなかで建国されたヒンドゥー国家で，ジャワ島東部を中心に繁栄した。

3 解答：③　**モンテ = コルヴィノ**は元朝の保護を受け，大都で大司教として約 30 年間活動した。

4 解答：②　マルコ = ポーロは，**フビライ**に厚遇されたとして 17 年間元に滞在した。その間各地を旅行して見聞を広めた。

5 解答：④　**チベット仏教**が栄えた一方で，過度な帰依や寄進が元の財政悪化の一因となった。

6 解答：②　**パスパ文字**は，チベット仏教の高僧パスパがフビライの命で作成した文字で，公文書などに用いられたが，一般には普及しなかった。

7 解答：②　『**漢宮秋**』は元曲の代表作の一つ。ちなみに『金瓶梅』は明の時代の小説である。

8 解答：①　郭守敬は，観星台（元代の天文台）で精密な天体観測を行い，そのデータをもとに**授時暦**を作成した。江戸時代に渋川春海がつくった貞享暦の基礎になった。

第10講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①　オスマン帝国を再建し，**ビザンツ帝国を滅ぼしたのはメフメト２世**である。セリム１世が滅ぼしたのはマムルーク朝。

2 解答：④　**スレイマン１世は第一次ウィーン包囲を行い**，以後，オスマン帝国はヨーロッパ国際政治に影響力を持つようになった。ニコポリスの戦いに勝利したのはバヤジット１世。

3 解答：②　**オスマン帝国軍はプレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊に勝利**し，地中海の覇権を握った。その後のレパントの海戦では敗れたが，地中海での優勢は続いた。

4 解答：②　オスマン帝国は**キリスト教徒の子弟を教育して常備軍イェニチェリ**を組織した。

5 解答：③　**ティムール朝の首都サマルカンド**には，第４代君主ウルグ＝ベクがつくった天文台があり，世界文化遺産に登録されている。

6 解答：④　**ティムールはアンカラの戦いでオスマン帝国軍を破り**，スルタンのバヤジッド１世を捕虜にした。

7 解答：④　**サファヴィー朝が国教としたのはシーア派最大宗派の十二イマーム派**である。

8 解答：②　**アッバース１世が建てた新都イスファハーン**は「イスファハーンは世界の半分」と称されるほど繁栄した。

第 10 講　PART 2　確認問題　解答

1 解答：④

バーブルが建国したムガル帝国は北インドに成立したイスラーム教国である。

2 解答：③

アクバルは非ムスリムに課せられていたジズヤ（人頭税）を廃止した。

3 解答：②

タージ＝マハルはシャー＝ジャハーン帝が妃の死を悼んで建てた墓廟である。

4 解答：④

厳格なムスリムであった第６代君主**アウラングゼーブはジズヤを復活するなど非ムスリムを弾圧**した。

5 解答：④

ヴィジャヤナガル王国はカリカットを中心に，海の道（海のシルクロード）を利用した交易などで繁栄した。デリーはムガル帝国の首都で，インド北部に位置する。

6 解答：②

ジャワ島では最後のヒンドゥー教国となったマジャパヒト王国が衰えた後，イスラーム教国のマタラム王国などが台頭した。アチェ王国，マラッカ王国もイスラーム教国である。

7 解答：②

ミャンマーにおいて**タウングー朝を滅ぼして成立したのはコンバウン朝**である。パガン朝はタウングー朝成立以前に栄えた王朝。

8 解答：②

朱印船貿易で**タイのアユタヤ朝を訪れた日本人が日本人町を形成**した。ラタナコーシン朝は 18 世紀に成立して現在に続くタイ王朝であり，時代が異なる。

第10講　PART3　確認問題 解答

1 解答：②

朱元璋は明を建国し，年号を洪武と定めて一世一元の制をはじめたため洪武帝と呼ばれる。

2 解答：③

明は**租税台帳の賦役黄冊**と土地台帳の魚鱗図冊を作成し，税制基盤を整備した。

3 解答：②

燕王朱棣は**靖難の役により建文帝を廃し，永楽帝として即位**した。③の紅巾の乱は，朱元璋の明建国に繋がった農民反乱。

4 解答：③

鄭和は永楽帝の命を受けて東南アジアからインド洋へ遠征し，明への朝貢を促した。

5 解答：②

土木の変で正統帝を捕虜にしたのはオイラトのエセン（＝ハン）である。タタールのアルタン＝ハンに北京を包囲されるなど，明はモンゴル人の侵入に苦しめられた。

6 解答：④

海賊行為をはたらく前期倭寇に対して**明は海禁政策をとり**，民間商人を貿易から排除して密貿易を取り締まった。①の里甲制は明代の農村統治の制度，②の衛所制は兵制度である。

7 解答：①

万暦帝の時代に**張居正が税制を見直すなどの財政改革を行った**。

8 解答：②

明が滅亡した直接的な原因となったのは李自成の乱などの農民反乱である。北虜南倭や豊臣秀吉の朝鮮出兵に対する援軍派遣も明衰退の一因となった。

第10講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④　**中山王（尚氏）が琉球を統一し，琉球王国が成立**した。

2 解答：④　**朝鮮王朝が首都に定めた漢城**は現在のソウルである。①の大都(現・北京)は元の，②の金陵（現・南京）は明の，③の開城は高麗の首都である。

3 解答：③　李成桂が創始した**朝鮮王朝は，第４代世宗のときに最盛期を迎えた**。

4 解答：①　**足利義満がはじめた日明貿易を勘合貿易という**。倭寇と区別するために明が発行した勘合と呼ばれる割符を携帯したため，この呼称がある。

5 解答：③　**陶磁器の一大生産地となった景徳鎮**では，染付や赤絵の技法ですぐれた陶磁器が作製された。明代には蘇州で絹織物や生糸，杭州で茶などの商品作物が盛んにつくられた。

6 解答：②　メキシコ銀や日本銀が大量に流入していたため，**銀で納める一条鞭法**が取り入れられた。

7 解答：②　**陽明学を創始したのは王守仁（王陽明）**である。③の朱熹は朱子学の創始者，④の李贄は王守仁の後に陽明学を発展させた人物である。

8 解答：①　中国最初の世界地図**『坤輿万国全図』を作製したのはイタリア人のイエズス会士マテオ＝リッチ**である。③のドイツ人のアダム＝シャールは『崇禎暦書』を作成した。

第 10 講 PART 5　確認問題 解答

1 解答：④　建州女真族の族長だった**ヌルハチ**は，周辺の女真族を次々に征服して統一し，1616 年に初代ハンとなって後金を建国した。

2 解答：①　**八旗**はヌルハチが創設した軍事・行政組織。全軍を旗と呼ばれる８つの軍団に分け，黄，白，紅，藍の４色旗と，それらに縁取りをした４色旗の計８種類の旗を標識とした。

3 解答：③　**呉三桂**は，司令官として山海関（万里の長城の東端）で清と対峙したが，明が滅亡すると清に降伏して山海関を開き，清の３代皇帝順治帝を先導した。

4 解答：③　**地丁銀制**は，第４代皇帝康熙帝の時代にはじめられ，次の雍正帝の時代に全国に広まった。

5 解答：②　鄭成功は 1661 年にオランダを追放して**台湾**を占領し，明王朝復興運動の拠点とした。

6 解答：④　康熙帝治世下の 1689 年，清はロシアと**ネルチンスク条約**を結び，アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境とすることを定めた。ヨーロッパの国と結んだ最初の対等な条約である。

7 解答：②　第６代皇帝**乾隆帝**は，豊かな国家財政に支えられて清の最大版図を築いた。

8 解答：①　清は中央官庁に**理藩院**を設置して，モンゴル，チベット，新疆などの藩部を統括した。

第 10 講　PART 6　確認問題 解答

1 解答：②　**ポタラ宮殿**は 17 世紀にダライ＝ラマ 5 世によって造営された宮殿で，チベットの政治・宗教の中心だった。

2 解答：④　**オランダ**は徳川幕府からヨーロッパの国で唯一貿易を許され，日本貿易を独占した。

3 解答：①　1802 年，阮福暎が西山政権を破って全ベトナムを統一し，**阮朝**を建てた。

4 解答：③　清は貿易の秩序を整えるため，1757 年以降ヨーロッパ船の来航を**広州**一港に限定した。

5 解答：④　**考証学**は清の時代に流行した学問で，代表的な学者に顧炎武，黄宗羲，銭大昕がいる。

6 解答：②　『**四庫全書**』は乾隆帝が編さんさせた叢書で，1782 年に刊行した。

7 解答：③　フランス人のイエズス会宣教師ブーヴェは，康熙帝の命で全国を測量し，中国全土最初の実測図『**皇輿全覧図**』を作製した。

8 解答：①　ベルギー人のイエズス会宣教師フェルビーストは，1673 年におこった三藩の乱の際に**大砲を鋳造**して乱の平定に貢献した。

第 11 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②

オスマン帝国の地中海進出で東方貿易が不安定となり，肉や魚の保存などに必要な**香辛料**の価格が高騰した。そのため，直接香辛料を手に入れる交易路を開拓する必要があった。

2 解答：③

エンリケはポルトガル王国の王子で，アフリカ西岸の探検やインド航路開拓を奨励した。

3 解答：①

1488 年，**バルトロメウ＝ディアス**が喜望峰に到達し，インド航路開拓の可能性を開いた。

4 解答：③

トルデシリャス条約で前年に設定された植民地分界線を修正し，分界線から東で発見される土地はポルトガルに，西で発見される土地はスペインに与えられることになった。

5 解答：②

新大陸は，**アメリゴ＝ヴェスプッチ**の名前を取ってアメリカと命名された。

6 解答：①

マゼランはポルトガル人であるが，西回りでの世界周航計画を祖国では受け入れられなかった。そのため，**スペイン**に移り，カルロス 1 世の支援を得て計画を実施した。

7 解答：④

当初，スペインは**エンコミエンダ制**によって植民地を経営しようとしたが，征服者たちが先住民を酷使したため人口が激減。聖職者から批判されたこともあり，のちに廃止した。

8 解答：①

ラス＝カサスは，『インディアスの破壊についての簡潔な報告』で，エンコミエンダ制下のインディオの悲惨な状況を国王に訴えた。

第11講 PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　**メディチ家**は 15 世紀に入ると隆盛を極め，フィレンツェの支配権を握るとともに，芸術家や学者の保護に努めた。

2 解答：③　**ダンテ**は『神曲』をトスカナ地方の口語で著し，イタリア＝ルネサンスの先駆となった。

3 解答：②　ボッカチオの代表作『**デカメロン**』は，イタリア＝ルネサンス散文学の最高傑作といわれ，イギリスのチョーサーなどにも影響を及ぼした。

4 解答：③　ラファエロは，ローマ教皇の依頼を受けてヴァチカン宮殿の署名の間に，古代ギリシアの学者をテーマに壁画**「アテネの学堂」**を描いた。

5 解答：①　**エラスムス**は，代表作『愚神礼賛』で教会の腐敗を批判して宗教改革に影響を与えたが，ルターの宗教改革には同意しなかった。

6 解答：④　**ブリューゲル**は，農民や民衆の風俗を描いた。

7 解答：②　コロンブスは，**トスカネリ**の地球球体説を信じ，大西洋を西航してインドを目指した。

8 解答：①　**羅針盤**は方位を測定する道具で，羅針盤が実用化されたことで遠洋航行が可能となった。

第 11 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：④　ルターは，ヴォルムス帝国議会で**神聖ローマ皇帝カール５世**から自説の撤回を要求されて拒否し，国外追放になった。

2 解答：②　メディチ家出身の教皇**レオ 10 世**は，サン＝ピエトロ大聖堂の改築資金を集めるため，贖宥状の販売を許可した。

3 解答：①　ルター派の諸侯と諸都市は，中部ドイツの都市**シュマルカルデン**で同盟を結成した。

4 解答：③　神聖ローマ皇帝**カール５世**は初めルター派の信仰を容認したが，のちにこれを撤回し，ルター派の諸侯･諸都市とシュマルカルデン戦争を戦った。

5 解答：④　フランス人のカルヴァンは迫害を受けてスイスに逃れ，**ジュネーヴ**を拠点に宗教改革に乗り出した。スイスのチューリヒで宗教改革を進めたのは，ツヴィングリである。

6 解答：③　カルヴァン派はフランスでは**ユグノー**と呼ばれた。ピューリタンはイングランド，ゴイセンはオランダ，プレスビテリアンはスコットランドにおけるカルヴァン派の呼称である。

7 解答：②　イギリス国教会は国王を首長とする教会で，**エリザベス１世**による統一法で確立された。

8 解答：③　イタリアのトリエントで開かれた**トリエント公会議**で，教皇の至上権などが確認された。

第12講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③

イタリア戦争はイタリアにおける覇権を巡る争いで，この戦争をきっかけに主権国家が形成された。

2 解答：③

絶対王政は，封建社会から市民社会へ移り変わる 16 ～ 18 世紀のヨーロッパに見られた。

3 解答：①

ハプスブルク家出身のスペイン王**カルロス 1 世**は 1519 年，フランス王フランソワ 1 世を選挙で破り，神聖ローマ皇帝カール 5 世になった。

4 解答：④

1559 年に**カトー＝カンブレジ条約**が結ばれ，イタリア戦争が終結した。

5 解答：②

ハプスブルク家は 10 世紀にスイスにおこった家系で，その後オーストリアを拠点に勢力を拡大し，1438 年から 1806 年まで神聖ローマ皇帝位をほぼ世襲した。

6 解答：④

「太陽の沈まぬ帝国」とは，「領土のどこかで常に太陽が昇っている国」という意味。**フェリペ 2 世**のポルトガル併合によって，スペインの領土は全世界に及んだ。

7 解答：①

オランダ独立戦争のさなかの 1579 年，北部 7 州はオランダの**ユトレヒト**で同盟を結成し，信教の自由を得るまで，スペインに対して抵抗を続けることを誓った。

8 解答：③

1588 年，イギリスはスペインの無敵艦隊（**アルマダ**）を撃破した。

第 12 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：② **オラニエ公ウィレム**はオランダ独立戦争を指導し，1581 年に独立を宣言すると，ネーデルラント連邦共和国の初代総督になった。

2 解答：① 17 世紀には，**アムステルダム**がアントウェルペンに代わって商業都市として栄えた。

3 解答：④ **アンボイナ事件**は，モルッカ諸島のアンボイナでオランダがイギリス商館員を虐殺した事件で，これを機にイギリスはインドネシアから撤退し，インドに拠点を移した。

4 解答：③ オランダは，北アメリカのハドソン川河口に**ニューネーデルラント植民地**を建設した。

5 解答：① イギリスは 1651 年，オランダの中継貿易に打撃を与えるために**航海法**を制定した。

6 解答：② **テューダー朝**は，1485 年にバラ戦争をおさめたヘンリ 7 世が開いた，イギリスの絶対王政期の王朝。独身を通したエリザベス 1 世の死で断絶した。

7 解答：③ **トマス＝モア**は，イギリスの政治家で人文主義者。著書『ユートピア』の中で，第一次囲い込みを批判した。

8 解答：④ **エリザベス 1 世**はアルマダの海戦でスペインの無敵艦隊を撃破し，海外進出を進めた。

第 12 講　PART 3　確認問題　解答

1 解答：①　1603 年にエリザベス 1 世の死でテューダー朝が断絶すると，テューダー家の血をひくジェームズ 1 世がイングランド王に即位して，**ステュアート朝**を開いた。

2 解答：③　1628 年，イギリス議会は国王チャールズ 1 世に**権利の請願**を提出し，議会の同意のない課税や，国民を不当に逮捕しないことなどを求めた。

3 解答：④　**チャールズ 1 世**が議会と対立したことが，ピューリタン革命の発端になった。

4 解答：②　**長老派**は国王に妥協的な議会派の中の一派で，クロムウェル率いる独立派によって議会から追放された。

5 解答：④　国教会を重視する議会は 1673 年に**審査法**を制定して，カトリックを支持する政策をとるチャールズ 2 世に対抗した。

6 解答：①　イギリスでは名誉革命後，**立憲君主制**が確立した。

7 解答：③　1707 年，イギリスがスコットランドと合併して**グレートブリテン王国**が成立した。

8 解答：②　1721 年に首相となった**ウォルポール**のもとで，責任内閣制が確立した。

第 12 講　PART 4　確認問題　解答

1 解答：④　フランスではカルヴァン派をユグノーと呼んだことから，**ユグノー戦争**と呼ばれた。

2 解答：①　**ブルボン朝**は，ルイ 14 世（在位 1643 年～ 1715 年）の時代に最盛期を迎えた。

3 解答：③　**リシュリュー**はルイ 13 世の宰相となり，絶対王政の基礎を固めた。ハプスブルク家に対抗するため，三十年戦争に介入した。

4 解答：②　**ルイ 14 世**はパリ郊外にヴェルサイユ宮殿を造営して，華やかな宮廷生活を送った。

5 解答：②　ルイ 14 世は盛んに周辺諸国に侵入し，1667 年に**南ネーデルラント継承戦争**，1672 年に**オランダ侵略戦争**，1688 年に**ファルツ継承戦争**，1701 年に**スペイン継承戦争**をおこした。

6 解答：④　スウェーデン王**グスタフ＝アドルフ**は，プロテスタント側について三十年戦争に参戦した。スペインはウェストファリア条約で領土を拡大し，北欧の大国になった。

7 解答：①　傭兵隊長の**ヴァレンシュタイン**は，三十年戦争で皇帝軍を率いてスウェーデンやデンマークなどのプロテスタント軍と戦った。

8 解答：③　**ウェストファリア条約**で神聖ローマ帝国は解体し，有名無実化したため，「神聖ローマ帝国の死亡証明書」といわれた。

第 12 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：④　プロイセン王国は，**ホーエンツォレルン家**のブランデンブルク選帝侯国がプロイセン公国を併合し，成立した。

2 解答：③　**フリードリヒ 2 世**は，啓蒙専制君主の典型とされ，フリードリヒ大王とも呼ばれる。

3 解答：②　フリードリヒ＝ヴィルヘルム 1 世は，**ユンカー**を官僚や将校とした。

4 解答：①　シュレジエンを巡り，イギリスと同盟を結んだプロイセンと，フランスと同盟を結んだオーストリアが戦った戦争を**七年戦争**という。

5 解答：④　ハプスブルク家はイタリア戦争以降，フランスのブルボン家と敵対関係にあったため，この同盟関係は**外交革命**と呼ばれる。

6 解答：③　**ピョートル 1 世**はポーランドやデンマークと結び，北方戦争でスウェーデンに勝利した。

7 解答：③　ロシア，プロイセン，**オーストリア**でポーランドを分割。領地を拡大した。

8 解答：①　エカチェリーナ 2 世統治下のロシアで，コサック出身の**プガチョフ**が指導し，農奴解放を訴えた。

第12講　PART6　確認問題 解答

1 解答：③　**ニュートン**は万有引力の法則を発見し，近代物理学の創始者とされる。

2 解答：②　ジェンナーは天然痘予防のための，**種痘法を開発**して予防医学への道を開いた。

3 解答：③　**デカルト**は法則から現象を説明する演繹法を確立した。「われ思う，ゆえにわれあり」は著書『方法序説』の一節。

4 解答：④　**モンテスキュー**は『法の精神』で三権分立を説いたフランスの哲学者で，社会学の父ともいわれる。

5 解答：③　イギリスの**コーヒーハウス**では新聞や雑誌の閲覧が可能だった。

6 解答：①　**レンブラント**は，「光と影の画家」といわれ，代表作には『夜警』のほか『テュルプ博士の解剖学講義』，『ホメロスの胸像を見つめるアリストテレス』などがある。

7 解答：④　**バロック様式**は躍動的で豪華な表現が特徴。

8 解答：②　**ミルトン**はピューリタン文学の作家。『失楽園』はアダムとイブの楽園追放を題材としている。

第13講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②　ポルトガルはインド西岸の**ゴア**をアジア進出の拠点とした。

2 解答：④　スペインは**ガレオン船**を用いてアカプルコ貿易を行い，メキシコ銀を中国の絹や陶磁器と交換した。

3 解答：③　オランダ東インド会社は，**バタヴィア**に商館を建てた。バタヴィアは現在のジャカルタ。

4 解答：①　イギリス東インド会社はクライヴの指揮のもと**プラッシーの戦い**で勝利した。

5 解答：③　処女王エリザベス 1 世にちなんで**ヴァージニア植民地**と名づけられた。

6 解答：①　**アン女王戦争**はイギリスとフランスのアメリカにおける戦争。スペイン継承戦争と並行しておこった。

7 解答：②　**パリ条約**で，イギリスはフランスからカナダとミシシッピ川以東のルイジアナ，スペインからフロリダを獲得した。

8 解答：④　イギリスは，西ヨーロッパの武器や綿織物を西アフリカに輸出し，北米に**黒人奴隷**を輸入。黒人奴隷を使って生産した砂糖, タバコ, 綿花を西ヨーロッパで販売した。

第13講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　**イギリス**は 18 世紀後半に資本の形成，市場確保，労働力の確保の３つの条件を満たし，世界に先駆けて産業革命がはじまった。

2 解答：①　イギリスの産業革命は**綿工業**の機械化を中心に進展していった。

3 解答：②　**カートライト**が発明した力織機は蒸気機関を動力源としたもので，綿布の生産を飛躍的に増大させた。

4 解答：④　スティーヴンソンは蒸気機関を動力とする**蒸気機関車**を改良した。

5 解答：②　産業革命により，工場で機械によって製品を生産する**工場制機械工業**が普及した。

6 解答：③　**ラダイト運動**は失業のおそれを感じた手工業者，労働者による機械打ちこわし運動。

7 解答：①　**バーミンガム**の周辺には石炭・鉄鉱石の産地があるため，産業革命期には製鉄業や機械工業の中心都市として栄えた。

8 解答：③　ドイツで産業革命が本格化したのはフランスやベルギー，アメリカから少し遅れた **1840 年代**だった。

第 13 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　ピューリタンの一団ピルグリム＝ファーザーズの入植を契機として，**ニューイングランド植民地**が形成されていった。

2 解答：①　植民地は 1774 年に**第 1 回大陸会議**を開き，イギリスに抗議した。

3 解答：②　アメリカ 13 植民地に課税するために制定された**印紙法**は，反発を受けて撤廃に追いこまれた。③の茶法はイギリス東インド会社に茶の独占販売権を与える法律である。

4 解答：④　1775 年，アメリカ市民兵がコンコードへ派遣中のイギリス軍と**レキシントン**で衝突した。

5 解答：①　アメリカ独立宣言を起草した中心人物は**トマス＝ジェファソン**である。②のトマス＝ペインは『コモン＝センス』を著し，アメリカの世論を独立へと傾倒させた。

6 解答：①　レキシントンの戦いからはじまったアメリカ独立戦争は，**ヨークタウンの戦い**で植民地側の勝利が決定的となった。

7 解答：④　アメリカは**パリ条約**で独立を承認され，ミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。

8 解答：③　アメリカ合衆国憲法の制定においては，連邦政府の権限を強化する**連邦主義**を主張する連邦派と反連邦派（州権主義）が対立したが，連邦主義が採用された。

第 13 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：①

革命前のフランスの社会体制は**旧体制（アンシャン＝レジーム）**と呼ばれ，第一身分の聖職者，第二身分の貴族，第三身分の平民に分かれていた。

2 解答：③

ルイ 16 世は，第一身分・第二身分・第三身分の各代表が集まる**三部会**を招集し，財政改革を進めようとした。①の国民議会は第三身分が独自に組織した会議のことである。

3 解答：③

バスティーユ牢獄の襲撃をきっかけに暴動が全国に広がり，フランス革命に発展した。

4 解答：④

フランス革命の理念を示したものは**人権宣言**である。①の権利の請願，②の権利の章典，③の「権利の宣言」はいずれもイギリスの市民革命において発出されたものである。

5 解答：④

パリの女性たちがルイ 16 世一家をパリに連れ戻した事件は**ヴェルサイユ行進**と呼ばれる。②のヴァレンヌ逃亡事件は逃亡を企てたルイ 16 世がヴァレンヌで捕らえられた事件。

6 解答：④

1791 年憲法は制限選挙を規定するなど，革命の現実からずれたものであった。

7 解答：②

立法議会において**フイヤン派**は立憲君主政を主張した。①のジャコバン派（山岳派）と④のジロンド派はどちらも共和政を主張したが，前者は急進的に共和政を進める立場であった。

8 解答：①

国民公会が成立させた政治体制は**第一共和政**であり，翌年ルイ 16 世は処刑された。

第13講　PART5　確認問題 解答

1 解答：②　イギリス首相ピットの主導により，フランスに対抗する**第１回対仏大同盟**が結成された。④の武装中立同盟はアメリカ独立戦争のときにイギリスに対抗して結成された同盟。

2 解答：①　国民公会を主導した人物は**ロベスピエール**である。④のリシュリュー，②のマザランはそれぞれルイ 13 世，ルイ 14 世の時代に宰相を務めた人物である。

3 解答：②　反対派をギロチンで処刑するなどの恐怖政治を行ったのは，**公安委員会**である。

4 解答：④　恐怖政治を強行するロベスピエールは，**テルミドール９日のクーデタ**で処刑された。②のヴァンデーの反乱は，その前年におきた徴兵制に反対する農民反乱のことである。

5 解答：③　テルミドール９日のクーデタ後に成立した 1795 年憲法により**総裁政府**が発足した。

6 解答：①　イタリア遠征でオーストリア軍を破ったナポレオンは，イギリスとインドの連絡路を断つために**エジプト遠征**を行った。

7 解答：④　ブリュメール 18 日のクーデタで総裁政府を倒したナポレオンは，**統領政府**を樹立した。

8 解答：③　ナポレオンは**アミアンの和約**を結び，イギリスとの和平を実現した。①のコンコルダートはローマ＝カトリック教会と，④のリュネヴィルの和約はオーストリアと結んだものである。

第13講 PART6　確認問題 解答

1 解答：③　皇帝に即位したナポレオンは，ナポレオン1世として**第一帝政**をはじめた。

2 解答：①　ナポレオン1世は**アウステルリッツの戦い**でロシア・オーストリア連合軍に勝利した。②のアブキール湾の戦い，③のトラファルガーの海戦ではいずれもネルソンのイギリス艦隊に敗れた。

3 解答：②　ナポレオン1世が西南ドイツ諸邦をまとめた**ライン同盟**を結成したため，神聖ローマ帝国は消滅した。③のハンザ同盟は中世に北ドイツで結成された都市同盟である。

4 解答：④　ナポレオン1世は**大陸封鎖令**を出して大陸諸国とイギリスとの通商の交易を禁止した。

5 解答：①　「ドイツ国民に告ぐ」という連続講演を行ったのは**フィヒテ**である。同時代に②のハルデンベルク，④のシュタインはプロイセン改革を行い，③のフンボルトはベルリン大学を設立した。

6 解答：①　ナポレオン1世はロシア遠征に失敗したあと，**諸国民戦争**（ライプツィヒの戦い）でプロイセン･オーストリア･ロシア連合軍に敗北し，ヨーロッパの覇権を失った。

7 解答：②　ナポレオンは**ワーテルローの戦い**でウェリントン将軍に敗れ，セントヘレナ島に流された。

8 解答：③　ナポレオンの侵略を受けた各地では，国民国家の思想は**ナショナリズム**として統一運動や独立運動に繋がった。

第 14 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③

ウィーン会議を主催したのはオーストリア外相の**メッテルニヒ**である。①のカースルレーはイギリスの，②のハルデンベルクはプロイセンの，③のタレーランはフランスの代表である。

2 解答：①

ウィーン会議の原則はフランス革命前の政治体制を正統とみなす**正統主義**と，勢力均衡の２つである。

3 解答：③

ロシア皇帝のアレクサンドル１世が提唱した**神聖同盟**にはヨーロッパの多くの君主が参加した。④の四国同盟はイギリス・オーストリア・プロイセン・ロシアによる同盟である。

4 解答：③

イタリア統一運動をおこした秘密結社は**カルボナリ**である。ロシアでは青年将校たちによるデカブリストの乱がおこったが，いずれも鎮圧され失敗した。

5 解答：②

フランスの画家**ドラクロワ**はギリシア独立戦争の際に「キオス島の虐殺」を描いた。

6 解答：②

ラテンアメリカ諸国の独立運動は**クリオーリョ**（植民地生まれの白人）を中心に進められた。①のペニンスラールは本国の白人，メスティーソは白人と先住民インディオの混血，④のムラートは白人と黒人の混血。

7 解答：④

フランスから独立したのは**ハイチ**で，トゥサン＝ルヴェルチュールが指導した。

8 解答：④

大コロンビア，ボリビアの独立を指導したのは**シモン＝ボリバル**である。①のサン＝マルティンはアルゼンチン，チリ，ペルーの，③のイダルゴ神父はメキシコの独立を指導した。

第 14 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：①　ナポレオン失脚後に即位したルイ 18 世は中道政治を行ったが，次に即位した**シャルル 10 世**は貴族を保護する反動政治を行った。

2 解答：③　国王シャルル 10 世は 1830 年 7 月に退位させられたため，この出来事を**七月革命**という。

3 解答：①　七月革命の結果，自由主義者**ルイ = フィリップ**が即位して七月王政がはじまった。

4 解答：②　七月革命の影響でオランダから独立を果たしたのは**ベルギー**である。③のポーランドでも独立を求める運動がおこったが，ロシアに鎮圧された。

5 解答：④　イギリスでは 1832 年に有権者の極めて少ない**腐敗選挙区**を廃止するなど，第 1 回選挙法改正が行われた。

6 解答：②　イギリスの労働者は**人民憲章（ピープルズ = チャーター）**を掲げて選挙権を要求したため，この運動をチャーティスト運動という。

7 解答：②　イギリス労働者は機械化に反対する**ラダイト運動**（機械打ちこわし運動）をおこした。

8 解答：③　コブデン・ブライトらが撤廃させたのは**穀物法**である。航海法の廃止と併せて自由主義貿易の確立に繋がった。

第 14 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：④　工場法の成立に尽力したほか，ニューラナークの模範工場運営で知られるのはイギリスの**オーウェン**である。他の 3 人はいずれもフランスの空想的社会主義者。

2 解答：③　**プルードン**は国家権力を否定する無政府主義（アナーキズム）の先駆者とされる。『財産とは何か』を著し，私有財産制を批判した。

3 解答：①　マルクスとエンゲルスは『**共産党宣言**』を発表し，労働者の団結と社会革命を訴えた。

4 解答：②　マルクスは『**資本論**』において資本主義の没落を予言し，社会主義の理論を確立した。③の『社会契約論』はフランスの啓蒙思想家ルソーの著書である。

5 解答：②　1848 年，二月革命により七月王政が倒れ，フランスは**第二共和政**となった。その後，1852 年にはルイ = ナポレオンがナポレオン 3 世となり，第二帝政を開始した。

6 解答：③　オーストリア帝国からのハンガリー独立を指導したのは，**コシュート**である。

7 解答：③　ベルリン三月革命後に開かれた**フランクフルト国民議会**では，ドイツの統一が議論されたが失敗した。①のスラヴ民族会議は，スラヴ民族の自立についての会議。

8 解答：④　イタリアの統一を目指す政治結社・青年イタリアは，**マッツィーニ**によって結成された。

第 15 講 PART 1　確認問題 解答

1 解答：①　**カブール**は 1852 年に首相になると，巧みな外交戦術でイタリア統一に貢献した。

2 解答：③　サルデーニャ王国はイタリア戦争に勝利して，オーストリアから北イタリアの**ロンバルディア**を獲得した。

3 解答：②　**ガリバルディ**は，1860 年に千人隊を率いて両シチリア王国を占領した。

4 解答：④　イタリア王国は 1870 年にイタリア統一をほぼ完成したが，**トリエステ**や南チロルはオーストリア領土として残され，「未回収のイタリア」と呼ばれた。

5 解答：③　1848 年に**フランクフルト国民議会**が開催され，ドイツ統一と憲法制定を議論した。

6 解答：④　**ビスマルク**はプロイセン首相になると，ドイツ統一を目指して鉄血政策（軍備拡張政策）を実行した。

7 解答：③　1870 年，スペイン王位継承問題を機に**プロイセン＝フランス戦争**がおこった。プロイセンを主力とするドイツが勝利し，翌年ドイツ統一が宣言された。

8 解答：①　1873 年，ドイツ，オーストリア，ロシア 3 国の皇帝は**三帝同盟**を締結した。

第 15 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：④　保守党の**ディズレーリ**を中心に，帝国主義的な政策がとられた。

2 解答：①　自由党の**グラッドストン**を中心に，自由主義的な政策がとられた。

3 解答：③　イギリスの労働者は 1837 年から，参政権獲得などを目指して**チャーティスト運動**をおこしたが，成果を得られないまま 1850 年代に終息した。

4 解答：②　都市労働者は，1867 年の**第 2 回選挙法改正**で選挙権を獲得した。

5 解答：④　**ナポレオン 3 世**は，数多くの外征を行ったが，メキシコ出兵に失敗し，ついでプロイセン = フランス（普仏）戦争にも敗れて廃位された。

6 解答：①　フランスはイタリア統一戦争に介入して，サヴォイアと**ニース**を獲得した。

7 解答：②　プロイセン = フランス（普仏）戦争に敗れたフランスは，アルザスと**ロレーヌ**を失った。

8 解答：③　1871 年，蜂起したパリ民衆は革命的な自治政府**パリ = コミューン**を樹立し，臨時政府からの自立を宣言した。

第15講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　**ギリシア**の独立は，1830 年のロンドン会議で国際的に承認された。

2 解答：②　**ムハンマド = アリー**は 1805 年にオスマン帝国のエジプト総督に就任すると，エジプトの近代化を推進した。

3 解答：④　**ロシア**は 1833 年にオスマン帝国と相互援助条約を結び，ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の独占的な通行権を獲得した。

4 解答：③　ロシアは，オスマン帝国内のギリシア正教保護を口実にオスマン帝国に宣戦した。クリミア半島が主戦場になったこの戦争を，**クリミア戦争**という。

5 解答：②　**パン = スラヴ主義**はスラヴ民族の連帯と統一を目指した動きで，19 世紀後半のバルカン半島で盛んになった。ロシアはこれを南下政策に利用した。

6 解答：①　**サン = ステファノ条約**によって，セルビア，ルーマニア，モンテネグロの独立と，ロシアがブルガリアを保護下に置くことが認められた。

7 解答：③　1878 年のベルリン会議は，ドイツの首相**ビスマルク**が調停役となって開催された。

8 解答：④　サン = ステファノ条約を破棄して結ばれた**ベルリン条約**でロシアの南下政策が挫折した。

第15講 PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　1825 年 12 月，自由主義を求める青年士官たちが専制打倒などを掲げて蜂起した。12 月をロシア語でデカーブリということから，蜂起した人々は**デカブリスト**と呼ばれた。

2 解答：④　**アレクサンドル 2 世**はロシアの後進性が敗因と考え，近代化改革に着手した。

3 解答：①　インテリゲンツィアや学生が，「ヴ＝ナロード（人民のなかへ)」を標語に農民に働きかけたので，**ナロードニキ運動**と呼ばれた。

4 解答：④　1700 年，ロシアはポーランド，デンマークと同盟を結び，スウェーデンに対して**北方戦争**をおこした。この戦争に勝ったロシアは，バルト海の覇権を握った。

5 解答：③　ウィーン会議によって，ノルウェーは**スウェーデン**に併合された。

6 解答：③　カトリック教徒解放法の成立に貢献した**オコンネル**は，その後，下院議員となってアイルランドの独立運動を進めた。

7 解答：②　自由党の**グラッドストン**内閣によって，1886 年と 1893 年にアイルランド自治法案が議会に提出されたが，いずれも否決された。

8 解答：③　1855 年，ナポレオン 3 世が**パリ**でフランス初の万国博覧会を開催した。

第15講　PART5　確認問題 解答

1 解答：②　ジェファソンは，フランスから**ルイジアナ**を購入して，農業発展の基礎を築いた。

2 解答：③　**モンロー**は1823年，南北アメリカ大陸に対するヨーロッパ諸国の干渉に反対し，アメリカもヨーロッパ諸国に干渉しないことを表明した。

3 解答：④　ジャクソンは1830年，先住民にミシシッピ川以西への移住を強制する**先住民強制移住法**を制定した。

4 解答：①　アメリカは1845年，メキシコから独立を宣言していたテキサスを併合した。このため翌年，**アメリカ=メキシコ戦争**がおこった。

5 解答：①　アメリカの女性作家**ストウ**は，1852年に悲惨な奴隷の生活を描いた『アンクル=トムの小屋』を刊行した。この本はベストセラーとなり，奴隷制反対の機運を盛り上げた。

6 解答：③　**共和党**は1854年，奴隷制拡大に反対する人々が結成した政党である。

7 解答：②　合衆国から脱退した南部諸州は1861年，**アメリカ連合国**を結成した。

8 解答：④　1863年，**ゲティスバーグ**で南北戦争最大の激戦が行われた。その戦没者追悼式の演説でリンカンが訴えた「人民の，人民による，人民のための政治」は有名である。

第 15 講　PART6　確認問題 解答

1 解答：③　**レントゲン**はX線の発見により，1901 年に第 1 回ノーベル物理学賞を受賞した。

2 解答：②　イギリスの博物学者**ダーウィン**は，著書『種の起源』で進化論を提唱した。

3 解答：④　スウェーデンの技術者ノーベルは，1867 年に**ダイナマイト**を発明した。ダイナマイトは軍事技術にも応用された。

4 解答：③　ドイツ観念論哲学は，**ヘーゲル**が弁証法哲学によって大成した。

5 解答：④　**ヴィクトル = ユゴー**はフランスのロマン主義文学を代表する詩人・作家で，代表作に『静観詩集』『レ = ミゼラブル』『九十三年』などがある。

6 解答：③　**写実主義**は，それまでの古典主義やロマン主義に対する反動としてフランスではじまり，文学や美術の分野で盛んになった。

7 解答：①　フランスの画家**モネ**の代表作「印象・日の出」が，印象派の名前の由来になった。

8 解答：②　オーストリアのロマン主義音楽の作曲家**シューベルト**は，歌曲を数多く残して歌曲の王と呼ばれた。

第 16 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④

預言者ムハンマドの教えに戻ることを主張するワッハーブ派とリヤドの豪族サウード家が協力して，1744 年頃，**ワッハーブ王国**を建国した。

2 解答：①

イギリスは，財政難のエジプトからスエズ運河株式会社の株を買収して，運河の管理権を握った。

3 解答：②

1881 年，エジプトの軍人**ウラービー**が列強の支配に抵抗して反乱をおこした。

4 解答：②

スレイマン 1 世は，帝国の領土を拡大してオスマン帝国の最盛期を現出した。

5 解答：①

アブデュルメジト 1 世は，1839 年にギュルハネ勅令を発布し，大規模な西欧化改革（タンジマート）に着手した。

6 解答：③

ミドハト憲法は，1876 年に宰相**ミドハト = パシャ**が起草した。

7 解答：④

1877 年に**ロシア = トルコ戦争**がおこり，ミドハト憲法は，これを口実に停止された。

8 解答：③

カージャール朝はロシアとの戦争に敗れ，**トルコマンチャーイ条約**でアルメニアなどをロシアに割譲した。

第 16 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：②　イギリス東インド会社は，3 次にわたる**カーナティック戦争**（1744 年～61 年）でフランスを破り，南インドでの優位を確立した。

2 解答：④　イギリスは，2 次にわたるシク戦争でシク王国を破り，**パンジャーブ地方**を獲得した。

3 解答：①　イギリスはインド支配のため，ベンガル管区で**ザミンダーリー制**を実施した。

4 解答：④　1857 年, 北インドで**シパーヒー**が蜂起し, 首都デリーを占領した。シパーヒーには，上層カーストのヒンドゥー教徒と上層のイスラーム教徒が多かった。

5 解答：③　**コンバウン朝**は，イギリスとの 3 次にわたるビルマ戦争に敗北して，インド帝国に併合された。

6 解答：③　**オランダ**はジャワ島中・東部を支配したマタラム王国を滅ぼし，ジャワ島の大半を支配下に置いた。

7 解答：②　清は清仏戦争の講和条約である**天津条約**で，フランスのベトナム支配を承認した。

8 解答：①　**タイ**は東南アジアで唯一独立を維持した。

第 16 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　1796 年に発生した**白蓮教徒の乱**は 1804 年に鎮圧された。反乱鎮圧には多額の費用がかかり，清朝の財政を圧迫した。

2 解答：①　清は**林則徐**を広州に派遣し，外国商人からアヘンを没収して廃棄した。

3 解答：④　清は 1842 年の南京条約で，イギリスに**香港島**を割譲した。

4 解答：②　アロー戦争に敗北した清は，1858 年にイギリス・フランスと**天津条約**を締結した。

5 解答：③　宗教結社（拝上帝会）の指導者**洪秀全**は，1851 年に国号を太平天国とする独立国家を建てた。

6 解答：①　曾国藩は，**湘軍**を組織して太平天国の乱鎮圧に貢献した。淮軍は李鴻章が組織した。

7 解答：②　洋務運動の中心になったのは，曾国藩，李鴻章，左宗棠ら有力**漢人官僚**たちである。

8 解答：④　清は 1858 年の**アイグン条約**で，黒竜江（アムール川）以北をロシアに割譲した。

第 16 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：③　日本の江戸幕府は，1854 年にアメリカと**日米和親条約**を結び，開国した。

2 解答：②　日本とロシアは**樺太・千島交換条約**を結んで，樺太（サハリン）をロシア領，全千島列島を日本領と定めた。

3 解答：③　欧米諸国は朝鮮に対して開国を要求したが，高宗の父**大院君**はこれを拒否した。

4 解答：④　日本は 1875 年に**江華島事件**をおこし，朝鮮に開国を迫った。

5 解答：①　開化派の**金玉均**らは 1884 年に閔氏政権打倒を目指して甲申政変をおこしたが，清軍の介入で失敗した。

6 解答：④　**甲午農民戦争**（東学の乱）を鎮圧するため，日本と清の両国が出兵して日清戦争になった。

7 解答：③　日清戦争後に結ばれた下関条約で，日本は遼東半島，**台湾**，澎湖諸島を獲得した。その後，ロシアなどの干渉で，日本は 3000 万両と引き換えに清に遼東半島を返還した。

8 解答：①　日本が遼東半島を獲得したことに危機感を抱いた**ロシア**は，ドイツ・フランスを誘って三国干渉を行った。

第17講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①　第二次産業革命では，ドイツと**アメリカ**を中心に重化学工業などの技術が発達した。

2 解答：③　19 世紀後半，石油や**電力**を動力源とする技術革新がおこり，重化学工業などが著しく発達した。

3 解答：②　同一業種の企業が独立性を維持しながら，価格や生産量において協定を結ぶことを**カルテル**（企業連合）といい，特にドイツで発達した。

4 解答：④　イギリスの植民地相**ジョゼフ＝チェンバレン**は，帝国主義政策を推進して南アフリカ戦争をおこし，戦争に勝利して，ブール人の 2 つの国家を併合した。

5 解答：①　**労働党**は自由党と連携しつつ議席を拡大し，20 世紀前半に保守党との二大政党になった。

6 解答：③　イギリスでは 1911 年に成立した**議会法**で，下院（庶民院）の優位が確定した。

7 解答：④　ユダヤ系軍人ドレフュスに対する冤罪事件である**ドレフュス事件**は，国論を二分した。

8 解答：②　**シオニズム運動**は，ドレフュス事件にショックを受けたユダヤ人ジャーナリストのヘルツルが提唱した。

第 17 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：②　1888 年にドイツ皇帝となった**ヴィルヘルム 2 世**は，ビスマルクを引退させ，積極的な対外膨張政策（世界政策）をはじめた。

2 解答：③　ヴィルヘルム 2 世の時代，ドイツは，清から山東半島の**膠州湾**を租借した。

3 解答：④　**レーニン**は，ボリシェヴィキを率いて社会主義改革を追求した。

4 解答：③　第一次ロシア革命は，1905 年 1 月 22 日（日曜日）の**血の日曜日事件**をきっかけにはじまった。

5 解答：④　**ニコライ 2 世**は，第一次ロシア革命を鎮静化するため，十月宣言を出して国会開設，憲法制定などを約束した。

6 解答：③　**マッキンリー**大統領は，スペインの植民地キューバの独立支援を口実に，1898 年にアメリカ = スペイン戦争をおこした。

7 解答：②　**セオドア = ローズヴェルト**大統領は，ラテンアメリカ諸国に対して棍棒外交を展開した。

8 解答：④　アメリカはキューバ独立の際，キューバ憲法にプラット条項を盛り込み，**キューバ**を事実上保護国化した。

第 17 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　ニュージーランドの先住民**マオリ**が戦争をおこしたが，イギリスに制圧された。

2 解答：②　南太平洋の**タヒチ島**は，19 世紀半ばにフランス領となった。ゴーガンは 1891 年にタヒチ島に移り住み，タヒチ島の人々を描いた。

3 解答：④　米西戦争に勝ったアメリカは，フィリピンと**グアム島**を獲得した。

4 解答：①　**マデロ**は，メキシコ革命でディアス政権を倒して大統領に就任した。

5 解答：②　ケープ植民地首相の**セシル＝ローズ**やイギリス本国の植民地相ジョゼフ＝チェンバレンらは，エジプトとケープ植民地を繋ぐアフリカ縦断政策を追求した。

6 解答：④　1898 年，スーダンのファショダで，イギリスとフランスが衝突して**ファショダ事件**がおこったが，フランスが譲歩して解決した。

7 解答：③　**ドイツ**はモロッコ進出を画策し，1905 年と 1911 年の 2 度にわたりモロッコ事件を引きおこしたが，いずれも失敗した。

8 解答：②　アメリカで奴隷身分から解放された人々が，1847 年に**リベリア**共和国を建国した。

第 17 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　三国干渉後の 1896 年に清はロシアに**東清鉄道**の敷設権を与えた。

2 解答：①　中国南部を勢力圏としたフランスは，1899 年に**広州湾**を租借した。

3 解答：④　アメリカの国務長官**ジョン = ヘイ**は，1899 年と 1900 年に列強に対して中国の門戸開放・機会均等・領土保全を提唱した。

4 解答：③　康有為らは 1898 年に光緒帝に登用されて，**戊戌の変法**をはじめた。

5 解答：③　**義和団**は「扶清滅洋」を掲げて蜂起し，教会や鉄道など「洋」に関係するものを破壊した。

6 解答：②　義和団を支持して清が列強に宣戦布告すると，日本，ロシアなど 8 か国が共同出兵して北京を占領し，義和団を鎮圧した。これを**義和団戦争**という。

7 解答：④　1905 年，セオドア = ローズヴェルト大統領の仲介で，アメリカのポーツマスで日露戦争の講和条約が結ばれた。これを**ポーツマス条約**という。

8 解答：①　中国の革命家**孫文**は，1905 年に東京で中国同盟会を結成した。

第17講　PART5　確認問題 解答

1 解答：③　日本は 1905 年の**第二次日韓協約**（韓国保護条約）で，韓国を保護国化した。

2 解答：②　日本が 3 次にわたる日韓協約で韓国への支配を強めると，朝鮮民衆は武装抗日闘争を行って抵抗した。これを**義兵闘争**という。

3 解答：④　初代韓国統監の伊藤博文は，1909 年にハルビン駅で抗日運動家の**安重根**に暗殺された。

4 解答：③　1910 年，日本はソウルに**朝鮮総督府**を置き，武断政治を行った。

5 解答：④　孫文の興中会をはじめ，光復会，華興会などの革命諸派は，1905 年に東京で結集して**中国同盟会**を組織した。

6 解答：②　**孫文**は，30 年にわたって中国の革命運動を推進した。

7 解答：①　1911 年の武昌蜂起をきっかけに**辛亥革命**が勃発し，各省が清からの独立を宣言した。

8 解答：③　中国同盟会系の**国民党**は，1913 年の国民選挙で圧勝し，第一党になった。

第 17 講　PART6　確認問題 解答

1 解答：④　ベトナム民族主義運動の指導者**ファン = ボイ = チャウ**は，1904 年に維新会を結成した。

2 解答：③　日露戦争後，ベトナムではファン = ボイ = チャウの提唱で，日本へ留学生を派遣する**ドンズー（東遊）運動**が展開された。

3 解答：①　フィリピン革命の指導者**アギナルド**は 1899 年にフィリピン共和国を樹立し，大統領となった。

4 解答：①　**アメリカ**は 1898 年のアメリカ = スペイン戦争に勝利して，フィリピンを獲得した。

5 解答：④　イギリスは，**ベンガル**州をイスラーム教徒の多い東ベンガルと，ヒンドゥー教徒の多い西ベンガルの 2 つに分割するベンガル分割令を発表した。

6 解答：③　インドのイスラーム教徒は，親英的な政治団体**全インド = ムスリム連盟**を結成した。

7 解答：②　1891 年，カージャール朝がタバコ販売の利権をイギリス人に譲渡すると，イランの国民は**タバコ = ボイコット運動**をおこした。

8 解答：③　1908 年，アブデュルハミト 2 世の専制政治に反対する青年将校らが反乱をおこし，立憲政治を復活させた。これを**青年トルコ革命**という。

第18講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①　ドイツの**ヴィルヘルム２世**は帝国主義政策を推進し，英・仏との対立激化を招いた。

2 解答：②　独・墺・伊の三国同盟に対し，英・仏・露の３か国は**三国協商**を結んでドイツに対抗した。①の三帝同盟はビスマルクが成立させた独・墺・露の同盟。

3 解答：③　全ドイツ人を結集し，勢力拡大を図る**パン＝ゲルマン主義**は，スラヴ人の勢力拡大を図るパン＝スラヴ主義と対立した。①，②の大ドイツ主義・小ドイツ主義はドイツ統一に関する構想。

4 解答：①　オスマン帝国とバルカン同盟の戦争は**第一次バルカン戦争**である。この戦争ののち，ブルガリアがほかのバルカン同盟国と戦ったのが第二次バルカン戦争である。

5 解答：③　オーストリア帝位後継者夫妻はセルビア人の青年により**サライェヴォで暗殺**された。

6 解答：②　ドイツ軍がロシア軍を破ったのは**タンネンベルクの戦い**である。そのほかは西部戦線での戦闘。

7 解答：②　キール軍港の水兵反乱が**ドイツ革命**に発展し，帝政が倒れてドイツは降伏，第一次世界大戦が終結した。

8 解答：④　英・仏・露は**サイクス・ピコ協定**を結んで中東分割を画策した。②のバルフォア宣言はユダヤ人国家の建設を，③のフセイン・マクマホン協定はアラブ王国の建国を約束したもの。

第18講　PART2　確認問題　解答

1 解答：②

二月革命でロマノフ朝が滅亡し，十月革命でボリシェヴィキがソヴィエト＝ロシアを成立させた。①の第一次ロシア革命ではロマノフ朝は存続している。③の七月革命はフランスの革命。

2 解答：④

③のメンシェヴィキが戦争継続を容認したのに対し，**ボリシェヴィキ**は即時停戦を主張した。

3 解答：①

全ロシア＝ソヴィエト会議の議長になったのは**レーニン**である。③のトロツキーは外務人民委員に，④のスターリンは民族人民委員にそれぞれ就任した。

4 解答：②

憲法制定議会選挙で社会革命党に敗れたボリシェヴィキは武力で議会を閉鎖し，独裁体制を確立して**共産党**に名称を変更した。

5 解答：③

ソヴィエト＝ロシアは同盟国側と**ブレスト＝リトフスク条約**を結んで単独講和した。

6 解答：③

ソヴィエト＝ロシアは**コミンテルン**を結成し，世界革命を画策した。①の赤軍は反革命軍である白軍と戦う軍隊，④のチェカは反革命派を取り締まる治安組織である。

7 解答：③

英・仏・米・日がシベリア出兵を行うなど，列強は**対ソ干渉戦争**を行った。

8 解答：③

戦時共産主義をしくなどして内戦をしのいだソヴィエト＝ロシアは小規模企業の私有を認めるなどの**新経済政策（ネップ）**を採用し，経済の立て直しを図った。

第18講　PART 3　確認問題 解答

1 **解答：②**　第一次世界大戦の講和原則はアメリカのウィルソン大統領が提唱した**「十四カ条」**である。「平和に関する布告」はソヴィエト = ロシアが交戦国に即時停戦などを求めた宣言。

2 **解答：④**　イギリス・フランスなどの列強はヨーロッパ以外の地域に民族自決を適用せず，国際連盟が採用した**委任統治**の制度により敗戦国の植民地を事実上支配した。

3 **解答：①**　ドイツと結ばれた講和条約は**ヴェルサイユ条約**である。②のサン = ジェルマン条約はオーストリア，③のトリアノン条約はハンガリー，④のセーヴル条約はオスマン帝国との講和条約。

4 **解答：①**　**国際連盟**は第一次世界大戦後に史上初の国際的集団安全保障機構として創設された。

5 **解答：②**　**フォード**は自動車の大量生産に世界で初めて成功し，T型フォード車を普及させた。

6 **解答：②**　第一次世界大戦後，アメリカは国際連盟不参加など，対外的に**孤立主義**の傾向を強めた。

7 **解答：③**　第一次世界大戦後のアジア太平洋地域の国際秩序を**ワシントン体制**という。④のヴェルサイユ体制は戦後のヨーロッパの国際秩序のことである。

8 **解答：①**　第一次世界大戦後のワシントン会議において中国の主権尊重や門戸開放などを定めたのは**九カ国条約**である。③の四カ国条約では太平洋地域の非軍事基地化・現状維持を取り決めた。

第18講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：③

イギリスでは**第４回選挙法改正**により女性参政権が認められた。第１回改正ではブルジョワの参政権が認められ，第２回改正では都市労働者の選挙権拡大が実現した。

2 解答：①

ルール占領・撤退後にドイツとの和解を進めるなど，協調外交を推進したのは**ブリアン**である。④のマクドナルドはイギリス初の労働党内閣首相となった人物。

3 解答：④

スパルタクス団を主導したのは**ローザ＝ルクセンブルク**とカール＝リープクネヒトである。

4 解答：②

国際紛争を解決する手段としての戦争を禁止した条約は**不戦条約**（ケロッグ・ブリアン条約）である。①のロカルノ条約は第一次世界大戦後のヨーロッパの安全保障を規定した条約。

5 解答：④

ムッソリーニは**ファシスト党**を結成し，イタリアでファシズムを推進した。

6 解答：②

ムッソリーニは**ローマ進軍**と呼ばれる示威行動によって政権を奪取した。①のルール占領はフランスの対ドイツ軍事行動，③，④のヴェルサイユ行進とカルボナリの蜂起は時代が異なる。

7 解答：③

トロツキーが世界革命論を唱えたのに対して，スターリンは**一国社会主義論**を打ち出し，ソ連一国での社会主義建設が可能と主張した。

8 解答：①

市場経済を導入した新経済政策（ネップ）ののち，スターリンは本格的に社会主義経済を建設するため**第一次五カ年計画**を打ち出し，農業・工業の集団化に着手した。

第 18 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：③　**原敬**は，1918 年に日本初の本格的な政党内閣を組閣した。

2 解答：②　1919 年 3 月 1 日，日本の植民地支配に対して朝鮮で独立運動がおこった。これを**三・一独立運動**という。

3 解答：④　**胡適**は，雑誌『新青年』に「文学改良芻議」を発表して，口語で文章を書く白話文学を提唱した。

4 解答：②　1918 年に『新青年』に掲載された魯迅の小説『**狂人日記**』は，白話文学を最初に実践した作品とされ，中国近代文学の基礎を築いた。

5 解答：④　1925 年，上海の日系紡績工場でおこった労働争議をきっかけに，反帝国主義運動に発展した。これを**五・三〇運動**という。

6 解答：①　**蔣介石**は，1927 年に南京に国民党が主導する国民政府を建てた。

7 解答：③　奉天軍閥の首領張作霖が日本の関東軍によって殺害されると，その子で軍人の**張学良**は，1928 年国民政府支持を表明した。

8 解答：①　共産党は，瑞金を首都として**中華ソヴィエト共和国臨時政府**を樹立した。

第18講 PART6　確認問題 解答

1 解答：③

ホー＝チ＝ミンは，1925 年にベトナム青年革命同志会を，1930 年にインドシナ共産党を結成して民族運動を主導した。「ベトナム建国の父」と呼ばれる。

2 解答：④

スカルノは 1927 年にインドネシア国民党を組織し，独立運動を主導した。

3 解答：①

イギリスは第一次世界大戦中，インドに戦争協力の見返りとして戦後自治を約束し，1919 年に**インド統治法**を制定した。しかし，戦後自治とは程遠い内容だった。

4 解答：③

ガンディーはインドの独立運動を主導し，「インド独立の父」と呼ばれている。

5 解答：④

ムスタファ＝ケマルは，1923 年にトルコ共和国を樹立すると初代大統領になり，近代化政策を推進した。のちに議会から「アタテュルク（父なるトルコ人）」の姓を贈られた。

6 解答：③

トルコ新政権はスイスのローザンヌで開かれた講和会議で，連合国と**ローザンヌ条約**を結び，領土の回復，連合国軍の撤退，不平等条約の撤廃を勝ちとった。

7 解答：①

レザー＝ハーンは 1925 年，カージャール朝を倒して**パフレヴィー朝**を開いた。

8 解答：③

イギリスはアラブ人と**フセイン・マクマホン協定**を結び，戦争協力の見返りとしてアラブ王国の建設を約束した。

第19講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③　ウォール街は**ニューヨーク**のマンハッタンにある。ここには証券取引所があり，証券会社や銀行など金融機関が集中している。

2 解答：②　民主党の**フランクリン＝ローズヴェルト**は 1933 年に大統領になると，ニューディール（新規まきなおし）政策を実行した。

3 解答：①　労働者の団結権と団体交渉権を保障した**ワグナー法**は，1935 年に制定された。

4 解答：③　ローズヴェルト大統領は従来の高圧的なカリブ海政策を改め，**善隣外交**を展開した。

5 解答：①　**ソ連**は 1934 年に国際連盟に加盟した。

6 解答：④　**マクドナルド**は 1924 年と 1929 年～ 31 年に労働党内閣を，1931 年～35 年に挙国一致内閣（自由党と保守党の連立政権）を組織し，首相を務めた。

7 解答：②　**スターリング＝ブロック**とは，貿易の決済をポンド通貨（スターリング・ポンド）で行う経済圏のことで，イギリスを中心に自治領，植民地で結成された。

8 解答：③　フランスでは，1936 年に社会党の**ブルム**を首相として人民戦線内閣が成立した。

第 19 講　PART 2　確認問題 解答

1 **解答：②**　1932 年 5 月 15 日，犬養毅首相が海軍青年将校らに暗殺された。これを**五・一五事件**といい，この事件をきっかけに軍部の発言力が強まった。

2 **解答：①**　日本の関東軍は，**柳条湖事件**を中国のしわざとして軍事行動をおこし，中国東北部を占領した。これを満洲事変という。

3 **解答：④**　中国共産党は 8 月 1 日，**八・一宣言**を発表して抗日民族統一戦線の結成を呼びかけた。

4 **解答：③**　日本は南京に国民党左派の**汪兆銘**を首班とする親日政権を設立し，占領地を統治させた。

5 **解答：②**　1934 年にヒンデンブルク大統領が死去すると，**ヒトラー**は大統領と首相を兼ねる総統（フューラー）になった。

6 **解答：④**　ドイツはロカルノ条約を破棄して，非武装地帯の**ラインラントに進駐**した。

7 **解答：①**　1936 年に人民戦線内閣が成立すると，**フランコ**将軍がこれに反対する保守勢力を率いてモロッコで挙兵し，スペイン内戦を引きおこした。

8 **解答：④**　**フランス**はイギリスとともに不干渉政策をとり，人民戦線内閣を支援しなかった。

第 19 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　イタリアは 1895 年にも**エチオピア**に侵攻したが，このときは敗北した。

2 解答：③　1938 年に英・仏・独・伊の 4 か国によって**ミュンヘン会談**が開かれ，ドイツのズデーテン地方併合が承認された。

3 解答：④　1939 年 9 月，ドイツが**ポーランドへ侵攻**すると，イギリス・フランスがドイツに宣戦布告し，第二次世界大戦がはじまった。

4 解答：③　枢軸国とは，第二次世界大戦で連合国と戦った，ドイツ・イタリア・**日本**とその同盟諸国をいう。

5 解答：①　**ソ連**はソ連系諸民族の保護を名目にポーランドへ侵攻し，その領土をドイツと分割した。

6 解答：④　国際連盟はソ連の**フィンランド侵攻**を侵略行為として非難し，ソ連を除名した。

7 解答：④　1940 年にフランスがドイツに降伏すると，ド = ゴールはロンドンに亡命して**自由フランス政府**を樹立し，抵抗を呼びかけた。

8 解答：②　**チャーチル**は，ドイツに譲歩する宥和政策を批判し，対独強硬論を唱えた。

第19講 PART 4　確認問題 解答

1 解答：③　**フランクリン＝ローズヴェルト**大統領は，1941 年 8 月に大西洋上でチャーチル首相と会談し，戦後世界の民主主義的構想を示した大西洋憲章を発表した。

2 解答：②　アメリカ（America），イギリス（Britain），中国（China），**オランダ**（Dutch）が対日包囲網 ABCD ラインを形成した。

3 解答：④　太平洋戦争は，**日本海軍による真珠湾攻撃**をきっかけにはじまった。

4 解答：①　1943 年 2 月，ドイツ軍は**スターリングラードの戦い**でソ連軍に敗北した。この戦い以降，ソ連が反攻に転じた。

5 解答：③　連合国軍がシチリア島に上陸すると，**ムッソリーニ**は失脚し，代わって成立した新政権が無条件降伏した。

6 解答：②　米・英・ソ連の首脳は 1943 年にイランの**テヘランで会談**し，第二戦線問題を協議した。

7 解答：④　米・英・ソ連の首脳は 1945 年にクリミア半島の**ヤルタで会談**し，ドイツ・東欧・ポーランドの戦後処理，国際連合設立について協議した。

8 解答：①　米・英・中国は 1945 年 7 月に**ポツダム宣言**を発表し，日本に無条件降伏を勧告した。

第 20 講　PART 1　確認問題　解答

1 解答：④　1945 年 4 ～ 6 月の**サンフランシスコ会議**で国際連合憲章が採択され，その年の 10 月に 51 か国を原加盟国として国際連合が発足した。

2 解答：②　安全保障理事会の常任理事国は米・英・ソ・仏と**中国**の 5 か国で，拒否権を行使できた。

3 解答：③　**国際通貨基金**（IMF）は，1945 年に国際復興開発銀行とともに設立された。

4 解答：①　イギリスの前首相**チャーチル**は 1946 年にアメリカで，ソ連がバルト海からアドリア海まで「鉄のカーテン」を下ろしていると演説した。

5 解答：①　ヨーロッパ復興のための財政支援計画（マーシャル＝プラン）は，アメリカの**マーシャル**国務長官が発表した。

6 解答：③　ソ連はマーシャル＝プランに対抗して**コメコン**（経済相互援助会議）を組織し，東側諸国の経済的結びつきの強化を図った。

7 解答：②　西側諸国は**北大西洋条約機構**（NATO）を結成し，武力侵略に対して共同で防衛することを決めた。

8 解答：④　**アデナウアー**はドイツ連邦共和国の初代首相になり，経済復興を実現した。

第 20 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：③　**二・二八事件**は，中華民国政府の軍隊が台湾の住民を弾圧した事件で，2 月 28 日が発端となったので，こう呼ばれる。

2 解答：②　国共内戦に敗れた**蔣介石**は台湾に逃れ，台北に中華民国政府を樹立させた。

3 解答：④　共産党を中心とする諸党派は，**北京**を首都として中華人民共和国を建国した。

4 解答：②　1948 年，朝鮮半島南部に**李承晩**を大統領とする大韓民国が成立した。

5 解答：③　ホー＝チ＝ミンは，終戦直後の 1945 年 9 月に**ベトナム民主共和国**の独立を宣言した。

6 解答：①　**フィリピン**独立準備政府は，1946 年に共和国として独立した。

7 解答：④　**ジンナー**は，インド・パキスタンの分離独立を主張した。

8 解答：②　ユダヤ人は，1948 年にパレスチナに**イスラエル**を建国したが，その後もアラブ諸国との紛争が続いている。

第 20 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　アメリカは，イギリス，フランス，オーストラリア，ニュージーランド，タイ，フィリピン，パキスタンとともに**東南アジア条約機構**（SEATO）を結成した。

2 解答：③　ソ連は NATO に対抗する軍事同盟としてポーランド，東ドイツ，チェコスロヴァキア，ハンガリー，ルーマニア，ブルガリア，アルバニアと**ワルシャワ条約機構**を結成した。

3 解答：①　**アイゼンハワー**は，ソ連の勢力圏に対して積極的に対抗する「巻き返し政策」を唱えた。

4 解答：④　**ソ連**は 1949 年に世界で 2 番目に原爆実験を実施した。

5 解答：①　西ドイツは，1954 年の**パリ協定**で主権を回復した。

6 解答：②　1945 年の総選挙で労働党が勝利して首相になった**アトリー**は，福祉政策の充実に努め，重要産業の国有化を図った。

7 解答：④　日本は 1951 年にアメリカやイギリスなど 48 か国と結んだ**サンフランシスコ平和条約**で，主権を回復した。

8 解答：③　1956 年のソ連共産党第 20 回大会で，**フルシチョフ**第一書記がスターリン批判を行った。

第 20 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　1954 年，**ネルー首相**はインドを訪問した周恩来首相と会談し，平和実現のための平和五原則を発表した。

2 解答：④　ガーナは**エンクルマ**の指導のもと，イギリスからの独立を達成した。

3 解答：③　**1960 年**は，コンゴやチャドなど 17 か国が独立して「アフリカの年」と呼ばれた。

4 解答：③　アフリカの独立諸国は 1963 年にアフリカ諸国首脳会議を開催し，**アフリカ統一機構**（OAU）を結成した。

5 解答：①　スターリン批判が伝わると，**ポーランド**では 1956 年に生活改善と民主化を要求する市民による暴動（ポズナニ暴動）が発生した。

6 解答：③　キューバでは，**カストロ**とゲバラに指導された革命軍が 1959 年に親米のバティスタ独裁政権を打倒し，革命政権を樹立させた。

7 解答：①　アメリカの**ケネディ**大統領とフルシチョフの間で交渉が成立し，核戦争が回避された。

8 解答：④　1963 年，米・英・ソの 3 か国は，大気圏内・宇宙空間・水中での核実験を禁止する**部分的核実験禁止条約**に調印した。

第20講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：④　フランスは，ベトナム民主共和国（北ベトナム）と**ジュネーヴ休戦協定**を結んでインドシナから撤退した。

2 解答：③　1960 年に**南ベトナム解放民族戦線**が結成され，ベトナム民主共和国と連携してゲリラ戦を展開した。

3 解答：①　北爆（北ベトナムへの爆撃）は，1965 年，**ジョンソン**大統領のときに開始された。

4 解答：④　**ニクソン**は，1972 年にアメリカの大統領として初めて中国を訪問した。

5 解答：②　チェコスロヴァキアでは，1968 年に共産党第一書記**ドプチェク**の指導のもと，「プラハの春」と呼ばれる民主化と経済改革を進める運動がおきた。

6 解答：②　フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス 3 国は，シューマンの提案で 1952 年，石炭・鉄鋼資源の共同管理を目指す**ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体**（ECSC）を発足させた。

7 解答：③　西ドイツのブラント首相は**東方外交**を行って，東側諸国との関係改善に努めた。

8 解答：④　ド＝ゴールは 1958 年に政界に復帰すると，大統領権限の強い**第五共和政**を成立させ，翌年大統領に就任した。

第 20 講　PART 6　確認問題 解答

1 解答：③

「大躍進」政策の失敗で失脚した毛沢東は，権力を奪還するため，1966 年に**プロレタリア文化大革命**（文化大革命）を開始した。

2 解答：④

華国鋒に代わって実権を握った**鄧小平**は，農業・工業・国防・科学技術の「四つの現代化」を推進した。

3 解答：①

1972 年に**田中角栄**首相が北京を訪問して，中国との国交を正常化させた。

4 解答：③

クーデタによって大統領となった**朴正熙**は，開発独裁体制のもとで経済成長を実現させた。

5 解答：②

ベトナムがカンボジアに軍事介入を行って民主カンプチアを倒すと，中国がこれを非難してベトナムに侵攻し，**中越戦争**がおこった。

6 解答：④

1965 年の**九・三〇事件**（軍事クーデタ未遂事件）を機に，スハルトはスカルノ大統領を退陣させて実権を掌握した。

7 解答：②

第三次インド＝パキスタン戦争の結果，東パキスタンが**バングラデシュ**として独立した。

8 解答：①

ナセルは，1952 年のエジプト革命で自由将校団を率いて王政を倒し，翌年，エジプト共和国を樹立させた。

第 21 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②

1960 年にイラン・イラク・サウジアラビア・クウェート・ベネズエラによって，産油国の協力組織である**石油輸出国機構**（OPEC）が発足した。

2 解答：④

1975 年，世界経済の諸問題を討議するため，アメリカ・フランス・イギリス・西ドイツ・イタリア・日本を参加国として**先進国首脳会議**（サミット）がはじまった。

3 解答：①

カーター大統領は，人権を重視する「人権外交」を展開した。

4 解答：③

保守党の**サッチャー**首相は，福祉国家路線を修正し，新自由主義的政策を推進した。

5 解答：④

1973 年に**第四次中東戦争**がはじまると，アラブ諸国の石油戦略によって石油価格が高騰し，第一次石油危機がおこった。

6 解答：②

1979 年のイラン革命を機に再び石油価格が高騰し，第二次石油危機がおこった。

7 解答：③

1989 年に第二次天安門事件がおこると，中国政府は民主化運動に同情的な趙紫陽総書記を解任して，**江沢民**を中国共産党総書記に任命した。

8 解答：①

アルゼンチンは，フォークランド諸島の奪回を図って侵攻したが，フォークランド戦争でイギリスに大敗した。

第 21 講　PART 2　確認問題　解答

1 解答：③

1979 年に**ソ連のアフガニスタンへの軍事侵攻**をきっかけとして再び米ソ関係が悪化し，新冷戦（第二次冷戦）がはじまった。

2 解答：①

「強いアメリカ」の復活を掲げて大統領となった**レーガン**は，軍備の拡張，強硬な対ソ外交を行った。

3 解答：③

1985 年にソ連共産党書記長に就任した**ゴルバチョフ**は，ペレストロイカ（改革），グラスノスチ（情報公開）を掲げて社会主義体制の改革を実施した。

4 解答：②

レーガンとゴルバチョフは 1987 年に**中距離核戦力**（INF）**全廃条約**を締結した。

5 解答：④

1989 年の総選挙で「連帯」が圧勝し，翌年，**ワレサ**が大統領に就任した。

6 解答：②

ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長は，地中海のマルタ島で首脳会談を行い，冷戦の終結を宣言した。これを**マルタ会談**という。

7 解答：①

エリツィンは，ロシア共和国の大統領となり，1991 年の保守派のクーデタを鎮圧した。

8 解答：④

1991 年末，ロシアを中心に**独立国家共同体**（CIS）が成立し，ソ連が消滅した。

第 21 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　EC12 か国は，1992 年にヨーロッパ連合の設立を定めた**マーストリヒト条約**を締結した。この条約に基づいて 1993 年にヨーロッパ連合（EU）が発足した。

2 解答：③　2002 年，EU12 か国の共通通貨**ユーロ**の使用が開始された。

3 解答：①　2002 年，アフリカ統一機構（OAU）から発展した**アフリカ連合**（AU）が結成された。

4 解答：②　1997 年，タイの通貨バーツの暴落をきっかけに，東アジア・東南アジア諸国で**アジア通貨危機**がおこった。

5 解答：③　中国へは，1997 年にイギリスから**香港**が，1999 年にポルトガルからマカオが返還された。

6 解答：④　**金大中**大統領は，南北対話を目指す太陽政策を推進し，2000 年に北朝鮮の金正日と平壌で会談（南北首脳会談）した。

7 解答：①　インドでは，1990 年代から台頭した**インド人民党**が 1998 年に政権を掌握した。

8 解答：③　1991 年に**アパルトヘイトを廃止した**のは，白人のデクラーク大統領である。デクラークは 1993 年にマンデラとともにノーベル平和賞を受賞した。

第 21 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：①　セルビアが南部のコソヴォ自治州でアルバニア系住民の独立運動を弾圧すると，NATO が空爆を行い，セルビア軍をコソヴォから撤退させた。これを**コソヴォ紛争**という。

2 解答：④　イラン＝イラク戦争で疲弊したイラクは，石油資源の豊富な**クウェート**に軍事侵攻した。

3 解答：②　**クリントン**大統領の仲介で，1993 年にパレスチナ解放機構（PLO）のアラファト議長とイスラエルのラビン首相がパレスチナ暫定自治協定（オスロ合意）を結んだ。

4 解答：③　1994 年の**ルワンダ内戦**では，フツ人によるツチ人の大虐殺が発生した。

5 解答：①　アメリカは，同時多発テロ事件の実行犯を保護しているとして，2001 年に**アフガニスタン**を攻撃し，ターリバーン政権を崩壊させた。

6 解答：③　**オバマ**は，アフリカ系アメリカ人として最初の大統領となり，2009 年にはプラハで核兵器の廃絶を訴える演説を行った。

7 解答：④　アメリカ・イギリスは，大量破壊兵器を保有しているなどとしてイラクを攻撃し，**フセイン**政権を崩壊させた。

8 解答：②　**習近平**は，2012 年に総書記に，2013 年に国家主席に就任した。

第21講　PART5　確認問題 解答

1 解答：④

相対性理論を発表した物理学者は**アインシュタイン**である。ハイゼンベルクは量子力学の基礎を築いた物理学者。

2 解答：①

第二次世界大戦後，宇宙開発は，ソ連が人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功するなど先行したが，アメリカは**アポロ11号**により人類初の月面着陸に成功した。

3 解答：③

放出されたフロンが**オゾン層破壊**を引きおこすと，地上に届く有害な紫外線量が増加する。

4 解答：①

地球サミットでは，「持続可能な開発」という理念が打ち出され，国連気候変動枠組条約が調印された。国連人間環境会議はストックホルム開催の環境問題に関する初の国際会議。

5 解答：③

1960年代後半のアメリカでは主流の文化に対抗する**カウンター＝カルチャー**が広まった。

6 解答：③

「記憶の固執（やわらかい時計）」はスペイン出身の作家**ダリ**の代表作である。

7 解答：①

虚無・破壊的な芸術運動は**ダダイズム**である。シュルレアリスムは潜在意識などを表現しようとする。立体派（キュビスム）は対象を複数の視点から捉えて，再構成する。

8 解答：②

『老人と海』『誰がために鐘は鳴る』などを著したのはアメリカの作家**ヘミングウェー**である。トーマス＝マンはドイツ，オーウェルはイギリス，タゴールはインドの作家。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。